三菱重工

エクシードハイパーシリーズ
ハイパーインバータシリーズ

室内ユニット

技 術 資 料

天井埋込形4方向吹出し（FDTZ）（FDTV）
天井埋込形2方向吹出し（FDTWZ）（FDTWV）
天井埋込形1方向吹出し（FDTSZ）（FDTSV）
天埋カセテリア（FDRZ）（FDRV）
高静圧ダクト形（FDUZ）（FDUV）
天吊形（FDEZ）（FDEV）
壁掛形（FDKZ）（FDKV）
床置形（FDFZ）（FDFV）

4-549-1-D
'19-12 発 行

エクシードハイパー・ハイパーインバータシリーズ

目　次

1. 仕　　様 …… 6
2. 外　形　図 …… 203
3. 運　転　音 …… 233
4. 電気配線図 …… 234
5. 電源・配線仕様 …… 249
6. 据付関連事項 …… 267
7. 耐重塩害仕様室外ユニット …… 408

注（1）室外ユニットなど記載事項以外については，2018・2019 冷熱ハンドブックをご覧ください。

（2）使用範囲，塗装色，能力特性，送風機特性，気流分布，防振設計用資料，冷媒配管系統図，マイコン運転制御機能，電装品故障診断要領，保護装置一覧，標準運転データ，別部品についてはスーパーリンクオプション機種と内容に変更なきため，2018・2019 冷熱ハンドブックをご覧ください。
機種名の対応表については 4 ページ，5 ページをご覧ください。

セゾンエアコン機種一覧表

◆エクシードハイパーシリーズ　　（空冷ヒートポンプ）

機　種	形　式	容量								
		40	45	50	56	63	80	112	140	160
天井埋込形4方向吹出し (FDTZ)	FDTZ-H	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	FDTZ-HP						○	○	○	○
	FDTZ-HT									○
	FDTZ-HK	○	○	○	○	○	○			
	FDTZ-HKP						○			
天井埋込形2方向吹出し (FDTWZ)	FDTWZ-H	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	FDTWZ-HP						○	○	○	○
	FDTWZ-HT									○
	FDTWZ-HK	○	○	○	○	○	○			
	FDTWZ-HKP						○			
天井埋込形1方向吹出し (FDTSZ)	FDTSZ-H	○	○	○	○	○	○			
	FDTSZ-HP						○	○	○	○
	FDTSZ-HT									○
	FDTSZ-HK	○	○	○	○	○	○			
	FDTSZ-HKP						○			
天埋カセテリア (FDRZ)	FDRZ-H	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	FDRZ-HP						○	○	○	○
	FDRZ-HT									○
	FDRZ-HK	○	○	○	○	○	○			
	FDRZ-HKP						○			
高静圧ダクト形 (FDUZ)	FDUZ-H			○	○	○	○	○	○	○
	FDUZ-HP							○	○	○
	FDUZ-HK			○	○	○	○			
天吊形 (FDEZ)	FDEZ-H	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	FDEZ-HP						○	○	○	○
	FDEZ-HT									○
	FDEZ-HK	○	○	○	○	○	○			
	FDEZ-HKP						○			
壁掛形 (FDKZ)	FDKZ-H	○	○	○	○	○	○	○		
	FDKZ-HP						○	○	○	○
	FDKZ-HT									○
	FDKZ-HK	○	○	○	○	○	○			
	FDKZ-HKP						○			
床置形 (FDFZ)	FDFZ-H			○		○	○	○	○	○
	FDFZ-HP							○	○	○
	FDFZ-HK			○		○	○			

注(1) 形式記号説明　H：冷暖房兼用機，HP：ツイン形冷暖房兼用機，HT：トリプル形冷暖房兼用機，
HK：単相電源形冷暖房兼用機，HKP：単相電源ツイン形冷暖房兼用機

(2) 本シリーズはR32冷媒仕様となります。

●形式記号説明（例）

セット形式

FD T(1) Z 160 5 H P 5SA

- 室内シリーズNo.
- 無　シングルタイプ / P　ツインタイプ / T　トリプルタイプ
- H　ヒートポンプ機 / HK　ヒートポンプ単相機
- 室外シリーズNo.
- 冷房最大能力を示す（16.0kW）
- エクシードハイパー
- タイプ(1)
- ファンコイルダイレクト

室内ユニット形式

FD T(1) Z P160 5SA

- シリーズNo.
- 冷房最大能力を示す（16.0kW）
- エクシードハイパー・ハイパーインバータ共用機
- タイプ(1)
- ファンコイルダイレクト

室外ユニット形式

FD C Z P160 5 H

- H　ヒートポンプ機 / HK　ヒートポンプ単相機
- シリーズNo.
- 冷房最大能力を示す（16.0kW）
- エクシードハイパー
- 室外ユニット
- ファンコイルダイレクト

注（1）T…天井埋込形4方向吹出し，TW…天井埋込形2方向吹出し，TS…天井埋込形1方向吹出し，R…天埋カセテリア，U…高静圧ダクト形，E…天吊形，K…壁掛形，F…床置形

セゾンエアコン機種一覧表

◆ハイパーインバータシリーズ　　（空冷ヒートポンプ）

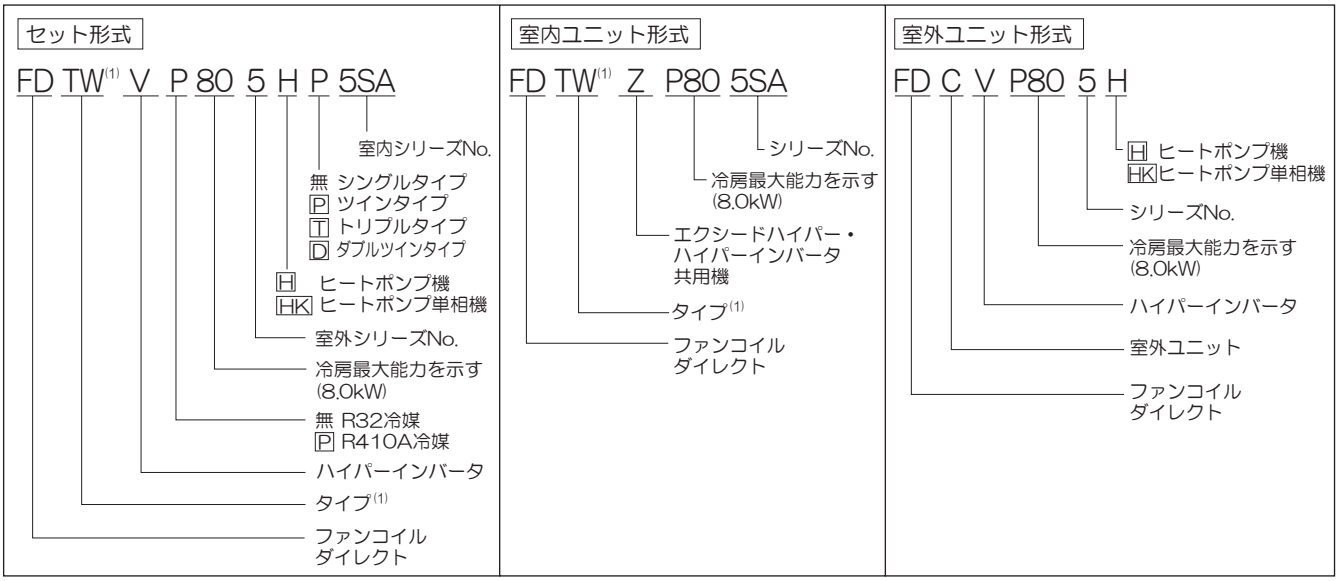
機種	形式	容量										
		40	45	50	56	63	80	112	140	160	224	280
天井埋込形4方向吹出し (FDTV)	FDTV-H	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	FDTV-HP						○	○	○	○	○	○
	FDTV-HT									○	○	
	FDTV-HD										○	○
	FDTV-HK	○	○	○	○	○	○					
	FDTV-HKP						○					
天井埋込形2方向吹出し (FDTWV)	FDTWV-H	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	FDTWV-HP						○	○	○	○	○	○
	FDTWV-HT									○	○	
	FDTWV-HD										○	○
	FDTWV-HK	○	○	○	○	○	○					
	FDTWV-HKP						○					
天井埋込形1方向吹出し (FDTSV)	FDTSV-H	○	○	○	○	○	○					
	FDTSV-HP						○	○	○	○		
	FDTSV-HT									○	○	
	FDTSV-HK	○	○	○	○	○	○					
	FDTSV-HKP						○					
天埋カセテリア (FDRV)	FDRV-H	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	FDRV-HP						○	○	○	○	○	○
	FDRV-HT									○	○	
	FDRV-HD										○	○
	FDRV-HK	○	○	○	○	○	○					
	FDRV-HKP						○					
高静圧ダクト形 (FDUV)	FDUV-H			○	○	○	○	○	○	○	○	○
	FDUV-HP							○	○	○	○	○
	FDUV-HK			○	○	○	○					
天吊形 (FDEV)	FDEV-H	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○(3)	○(3)
	FDEV-HP						○	○	○	○	○	○
	FDEV-HT									○	○	
	FDEV-HK	○	○	○	○	○	○					
	FDEV-HKP						○					
壁掛形 (FDKV)	FDKV-H	○	○	○	○	○	○	○				
	FDKV-HP						○	○	○	○		
	FDKV-HT									○		
	FDKV-HK	○	○	○	○	○	○					
	FDKV-HKP						○					
床置形 (FDFV)	FDFV-H			○		○	○	○	○	○	○(3)	○(3)
	FDFV-HP							○	○	○	○	○
	FDFV-HK			○		○	○					

注(1) 形式記号説明　H：冷暖房兼用機，HP：ツイン形冷暖房兼用機，HT：トリプル形冷暖房兼用機，HD：ダブルツイン形冷暖房兼用機，HK：単相電源形冷暖房兼用機，HKP：単相電源ツイン形冷暖房兼用機

(2) アミ掛け部の機種はR410A冷媒，その他はR32冷媒仕様となります。

(3) FDEVP2244H3AG，FDEVP2804H3AG，FDFVP2244H4AG，FDFVP2804H4AGはダイレクトスーパーリンク非対応となります。

• 形式記号説明（例）



注（1）T…天井埋込形4方向吹出し，TW…天井埋込形2方向吹出し，TS…天井埋込形1方向吹出し，R…天埋カセテリア，U…高静圧ダクト形，E…天吊形，K…壁掛形，F…床置形

従来機種と変更なき内容については下記対応表を元に 2018・2019 冷熱ハンドブックを参照してください。

セット形式対応表

（代表機種：FDT）

従来機種	新機種 （ダイレクトスーパーリンク対応機）
FDTZ405HK5S	FDTZ405HK5SA
FDTZ455HK5S	FDTZ455HK5SA
FDTZ505HK5S	FDTZ505HK5SA
FDTZ565HK5S	FDTZ565HK5SA
FDTZ635HK5S	FDTZ635HK5SA
FDTZ805HK5S	FDTZ805HK5SA
FDTZ405H5S	FDTZ405H5SA
FDTZ455H5S	FDTZ455H5SA
FDTZ505H5S	FDTZ505H5SA
FDTZ565H5S	FDTZ565H5SA
FDTZ635H5S	FDTZ635H5SA
FDTZ805H5S	FDTZ805H5SA
FDTZ1125H5S	FDTZ1125H5SA
FDTZ1405H5S	FDTZ1405H5SA
FDTZ1605H5S	FDTZ1605H5SA
FDTZ805HKP5S	FDTZ805HKP5SA
FDTZ805HP5S	FDTZ805HP5SA
FDTZ1125HP5S	FDTZ1125HP5SA
FDTZ1405HP5S	FDTZ1405HP5SA
FDTZ1605HP5S	FDTZ1605HP5SA
FDTZ1605HT5S	FDTZ1605HT5SA
FDTV405HK5S	FDTV405HK5SA
FDTV455HK5S	FDTV455HK5SA
FDTV505HK5S	FDTV505HK5SA
FDTV565HK5S	FDTV565HK5SA
FDTV635HK5S	FDTV635HK5SA
FDTV805HK5S	FDTV805HK5SA
FDTV405H5S	FDTV405H5SA
FDTV455H5S	FDTV455H5SA
FDTV505H5S	FDTV505H5SA
FDTV565H5S	FDTV565H5SA
FDTV635H5S	FDTV635H5SA
FDTV805H5S	FDTV805H5SA
FDTV1125HA5S	FDTV1125HA5SA
FDTV1405HA5S	FDTV1405HA5SA
FDTV1605HA5S	FDTV1605HA5SA
FDTV805HKP5S	FDTV805HKP5SA
FDTV805HP5S	FDTV805HP5SA
FDTV1125HPA5S	FDTV1125HPA5SA
FDTV1405HPA5S	FDTV1405HPA5SA
FDTV1605HPA5S	FDTV1605HPA5SA
FDTVP2244HP5S	FDTVP2244HP5SA
FDTVP2804HP5S	FDTVP2804HP5SA
FDTV1605HTA5S	FDTV1605HTA5SA
FDTVP2244HT5S	FDTVP2244HT5SA
FDTVP2244HD5S	FDTVP2244HD5SA
FDTVP2804HD5S	FDTVP2804HD5SA

室内ユニット形式対応表

従来機種	新機種 （ダイレクトスーパーリンク対応機）
FDTZP635S	FDTZP635SA
FDTZP715S	FDTZP715SA
FDTZP805S	FDTZP805SA
FDTZP1605S	FDTZP1605SA
FDTWZP565S	FDTWZP565SA
FDTWZP635S	FDTWZP635SA
FDTWZP805S	FDTWZP805SA
FDTWZP1405S	FDTWZP1405SA
FDTWZP1605S	FDTWZP1605SA
FDTSZP505S	FDTSZP505SA
FDTSZP635S	FDTSZP635SA
FDTSZP805S	FDTSZP805SA
FDRZP565S	FDRZP565SA
FDRZP635S	FDRZP635SA
FDRZP805S	FDRZP805SA
FDRZP1125S	FDRZP1125SA
FDRZP1605S	FDRZP1605SA
FDUZP565S	FDUZP565SA
FDUZP635S	FDUZP635SA
FDUZP805S	FDUZP805SA
FDUZP1125S	FDUZP1125SA
FDUZP1605S	FDUZP1605SA
FDUVP2245	FDUVP2245A
FDUVP2805	FDUVP2805A
FDEZP565S	FDEZP565SA
FDEZP635S	FDEZP635SA
FDEZP805S	FDEZP805SA
FDEZP1605S	FDEZP1605SA
FDKZP565S	FDKZP565SA
FDKZP635S	FDKZP635SA
FDKZP1125S	FDKZP1125SA
FDFZP635S	FDFZP635SA
FDFZP805S	FDFZP805SA
FDFZP1605S	FDFZP1605SA

1. 仕　　様

(1) エクシードハイパーシリーズ

(a) 天井埋込形 4 方向吹出し（FDTZ）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTZ-HK〕

PJF000Z519Ⓐ　PJF000Z520Ⓐ
PJF000Z521Ⓐ　PJF000Z522Ⓐ

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTZ405HK5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCZP405HK	FDTZ455HK5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCZP455HK	FDTZ505HK5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCZP505HK
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G (5)		
電源					単相　200V　50/60Hz		
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	3.6 [1.4 ～ 4.0]	4.0 [1.4 ～ 4.5]	4.5 [1.4 ～ 5.0]
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0 [1.0 ～ 4.5]（最小：1.0）	4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.1）	5.0 [1.2 ～ 5.6]（最小：1.2）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			5.0	5.0	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.96	0.94	0.90
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	4.2	5.0	5.9
		暖房			4.5	5.0	5.5
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.720	0.858	1.04
			中間		0.228（中温：0.185）	0.242（中温：0.197）	0.285（中温：0.234）
			最小中温		0.145	0.145	0.145
		暖房	定格標準		0.770（最小：0.167）	0.884（最小：0.182）	0.985（最小：0.193）
			中間		0.257	0.297	0.326
			最大低温		1.58	1.58	2.18
	力率			%	冷：86，暖：86	冷：86，暖：88	冷：88，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：5.00，中間：7.46	定格：4.66，中間：7.44	定格：4.33，中間：7.37
		暖房			定格：5.19，中間：7.00	定格：5.09，中間：7.07	定格：5.08，中間：7.06
	通年エネルギー消費効率	（2015）			7.2	7.2	7.2
		（2006）			6.8	6.8	6.7
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：48，急：45，強：43，弱：42	P急：48，急：45，強：43，弱：42	P急：50，急：46，強：44，弱：42
			暖房		P急：48，急：45，強：41，弱：38	P急：48，急：45，強：41，弱：38	P急：51，急：46，強：43，弱：40
		音圧レベル	冷房		P急：35，急：32，強：30，弱：28	P急：35，急：32，強：30，弱：28	P急：37，急：33，強：31，弱：29
			暖房		P急：35，急：32，強：28，弱：23	P急：35，急：32，強：28，弱：23	P急：37，急：33，強：29，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル			冷：58，暖：60	冷：59，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：43，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：236×840×840 (7)，パネル：35×950×950		
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1		
		風量		m^3/min	P急：17，急：15，強：12，弱：10	P急：17，急：15，強：12，弱：10	P急：18，急：15，強：13，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	58		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65×112ダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法 高さ×幅×奥行			mm	640×800（+71）×290		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×2本（14m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.46（届出不要）	0.52（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。
(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）
(8) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.058kW × 1台
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTZ-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTZ565HK5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCZP565HK	FDTZ635HK5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCZP635HK
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G (5)	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.4～5.6］	5.6［1.4～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.9	6.0
定格冷房時の顕熱比					0.85	0.79
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.4	7.3
		暖房			6.4	7.4
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.17	1.36
			中間		0.327（中温：0.267）	0.372（中温：0.314）
			最小中温		0.145	0.145
		暖房	定格標準		1.18（最小：0.211）	1.44（最小：0.237）
			中間		0.381	0.429
			最大低温		2.34	2.20
	力率			%	冷：91，暖：92	冷：93，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.27，中間：7.03	定格：4.12，中間：6.99
		暖房			定格：4.75，中間：6.82	定格：4.38，中間：6.76
	通年エネルギー消費効率	(2015)			7.1	7.0
		(2006)			6.4	6.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：50，急：46，強：44，弱：42	P急：50，急：46，強：44，弱：42
			暖房		P急：51，急：46，強：43，弱：40	P急：51，急：46，強：43，弱：40
		音圧レベル	冷房		P急：37，急：33，強：31，弱：29	P急：37，急：33，強：31，弱：29
			暖房		P急：37，急：33，強：29，弱：25	P急：37，急：33，強：29，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：236×840×840 (7)，パネル：35×950×950	
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：13，弱：11	P急：19，急：15，強：13，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	58	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65×112ダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(10)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。
(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）
(8) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.058kW×1台
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTZ-HK〕

項目 ＼ セット形式							FDTZ805HK5SA
項目 ＼ 形式							室内：FDTZP805SA 室外：FDCZP805HK
パネル形式（別売品）							266ページをご覧ください。
リモートコントローラ							RC-DX3B，RC-D4G (5)
電源							単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格				kW	7.1［1.9～8.0］
		中間					3.2（中温：3.2）
		最小中温					1.9
	暖房能力	定格標準					8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間					3.6
		最大低温					8.4
定格冷房時の顕熱比							0.92
(1)運転特性	運転電流	冷房				A	8.3
		暖房					8.2
	始動電流（最大電流）						5（18.5）
	消費電力	冷房	定格			kW	1.65
			中間				0.455（中温：0.375）
			最小中温				0.207
		暖房	定格標準				1.62（最小：0.338）
			中間				0.536
			最大低温				2.60
	力率					%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房					定格：4.30，中間：7.03
		暖房					定格：4.94，中間：6.72
	通年エネルギー消費効率	(2015)					6.8
		(2006)					6.5
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房			dB(A)	P急：57，急：51，強：46，弱：43
			暖房				P急：58，急：51，強：46，弱：43
		音圧レベル	冷房				P急：43，急：35，強：31，弱：28
			暖房				P急：43，急：35，強：31，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル					冷：65，暖：66
		音圧レベル					冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）					mm	本体：298×840×840 (7)，パネル：35×950×950
	製品質量					kg	本体：24.5，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12
	空気熱交換器						アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数					ターボファン×1
		風量				m^3/min	P急：30，急：22，強：18，弱：15
		機外静圧（標準風量時）				Pa	0
		電動機	定格出力			W	120
		エアフィルタ					プラスチックネット(防カビ仕様)，ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口						側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）
	新鮮空気取入口						側板を利用して可能（65×112ダクト接続）
	運転調整						操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能						遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器						－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材						送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行				mm	845×970×370
	製品質量					kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数				RMT5118SWE1×1
			電動機出力			kW	1.4
		空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器					電子膨張弁
		冷媒封入量				kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量				ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数					プロペラファン×1
		風量				m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力			W	86
	クランクケースヒータ					W	20
	低外気温時冷房運転制御機能						室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)
	除霜						マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置						圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管				mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管					φ15.88（フレア接続）
	排水口						〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）					mm^2	3.5×2本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）					A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）						30（30）
	アース線サイズ					mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線					mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力						MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力						トン	0.74（届出不要）
IPコード							室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置							高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。
(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）
(8) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.120kW×1台
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTZ-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDTZ405H5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCZP405H	FDTZ455H5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCZP455H	FDTZ505H5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCZP505H
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G (5)		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	3.6 [1.4 ～ 4.0]	4.0 [1.4 ～ 4.5]	4.5 [1.4 ～ 5.0]
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0 [1.0 ～ 4.5]（最小：1.0）	4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.1）	5.0 [1.2 ～ 5.6]（最小：1.2）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			5.0	5.0	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.96	0.94	0.90
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	2.5	2.9	3.4
		暖房			2.6	2.9	3.1
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.715	0.850	1.03
			中間		0.226（中温：0.183）	0.240（中温：0.195）	0.283（中温：0.232）
			最小中温		0.144	0.144	0.144
		暖房	定格標準		0.763（最小：0.166）	0.876（最小：0.181）	0.971（最小：0.191）
			中間		0.256	0.294	0.322
			最大低温		1.57	1.57	2.17
	力率			%	冷：83，暖：85	冷：85，暖：87	冷：87，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：5.03，中間：7.52	定格：4.71，中間：7.50	定格：4.37，中間：7.42
		暖房			定格：5.24，中間：7.03	定格：5.14，中間：7.14	定格：5.15，中間：7.14
	通年エネルギー消費効率	（2015）			7.3	7.3	7.3
		（2006）			6.9	6.9	6.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：48，急：45，強：43，弱：42	P急：48，急：45，強：43，弱：42	P急：50，急：46，強：44，弱：42
			暖房		P急：48，急：45，強：41，弱：38	P急：48，急：45，強：41，弱：38	P急：51，急：46，強：43，弱：40
		音圧レベル	冷房		P急：35，急：32，強：30，弱：28	P急：35，急：32，強：30，弱：28	P急：37，急：33，強：31，弱：29
			暖房		P急：35，急：32，強：28，弱：23	P急：35，急：32，強：28，弱：23	P急：37，急：33，強：29，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル			冷：58，暖：60	冷：59，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：43，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：236×840×840 (7)，パネル：35×950×950		
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12		
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1		
		風量		m^3/min	P急：17，急：15，強：12，弱：10	P急：17，急：15，強：12，弱：10	P急：18，急：15，強：13，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	58		
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65×112ダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(10)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×3本（21m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				15（15）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.46（届出不要）	0.52（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。

(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）

(8) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.058kW × 1台

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTZ565H5SA	FDTZ635H5SA
					室内：FDTZP635SA 室外：FDCZP565H	室内：FDTZP635SA 室外：FDCZP635H
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G (5)	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0 [1.4 ～ 5.6]	5.6 [1.4 ～ 6.3]
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）	6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.9	6.0
定格冷房時の顕熱比					0.85	0.79
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	3.9	4.4
		暖房			3.8	4.5
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.15	1.35
			中間		0.324（中温：0.265）	0.367（中温：0.311）
			最小中温		0.144	0.144
		暖房	定格標準		1.17（最小：0.209）	1.42（最小：0.234）
			中間		0.377	0.425
			最大低温		2.33	2.19
	力率			%	冷：85，暖：89	冷：89，暖：91
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.35，中間：7.10	定格：4.15，中間：7.08
		暖房			定格：4.79，中間：6.90	定格：4.44，中間：6.82
	通年エネルギー消費効率	(2015)			7.2	7.0
		(2006)			6.5	6.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：50，急：46，強：44，弱：42	P急：50，急：46，強：44，弱：42
			暖房		P急：51，急：46，強：43，弱：40	P急：51，急：46，強：43，弱：40
		音圧レベル	冷房		P急：37，急：33，強：31，弱：29	P急：37，急：33，強：31，弱：29
			暖房		P急：37，急：33，強：29，弱：25	P急：37，急：33，強：29，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：236×840×840 (7)，パネル：35×950×950	
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：13，弱：11	P急：19，急：15，強：13，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	58	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65×112ダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(10)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	2.0×3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				15（15）	
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。

(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）

(8) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.058kW × 1台

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTZ-H〕

項目 ＼ セット形式					FDTZ805H5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTZP805SA 室外：FDCZP805H
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G (5)
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.9～8.0］
		中間			3.2（中温：3.2）
		最小中温			1.9
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間			3.6
		最大低温			8.4
定格冷房時の顕熱比					0.92
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.2
		暖房			5.2
	始動電流（最大電流）				5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.64
			中間		0.452（中温：0.360）
			最小中温		0.196
		暖房	定格標準		1.61（最小：0.322）
			中間		0.533
			最大低温		2.60
	力率			%	冷：91，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.33，中間：7.08
		暖房			定格：4.97，中間：6.75
	通年エネルギー消費効率	（2015）			7.0
		（2006）			6.5
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：57，急：51，強：46，弱：43
			暖房		P急：58，急：51，強：46，弱：43
		音圧レベル	冷房		P急：43，急：35，強：31，弱：28
			暖房		P急：43，急：35，強：31，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：298×840×840 (7)，パネル：35×950×950
	製品質量			kg	本体：24.5，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1
		風量		m^3/min	P急：30，急：22，強：18，弱：15
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	120
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65×112ダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(10)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（31m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交換器センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。

(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）

(8) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.120kW×1台

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTZ-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDTZ1125H5SA 室内：FDTZP1605SA 室外：FDCZP1125H	FDTZ1405H5SA 室内：FDTZP1605SA 室外：FDCZP1405H	FDTZ1605H5SA 室内：FDTZP1605SA 室外：FDCZP1605H
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G (5)		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	10.0［2.7～11.2］	12.5［3.4～14.0］	14.0［3.7～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.9）	6.3（中温：6.5）
		最小中温			2.7	3.4	3.7
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.5～18.3］（最小：3.5）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			14.5	15.5	15.5
定格冷房時の顕熱比					0.84	0.75	0.71
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	6.5	9.7	11.8
		暖房			7.1	9.9	11.8
	始動電流（最大電流）				5（23）	5（23）	5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.15	3.18	3.88
			中間		0.679（中温：0.565）	0.895（中温：0.755）	1.02（中温：0.865）
			最小中温		0.306	0.355	0.420
		暖房	定格標準		2.34（最小：0.438）	3.26（最小：0.525）	3.89（最小：0.636）
			中間		0.748	1.00	1.17
			最大低温		4.98	5.88	5.88
	力率			%	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.65，中間：6.63	定格：3.93，中間：6.73	定格：3.61，中間：6.18
		暖房			定格：4.79，中間：6.82	定格：4.29，中間：6.30	定格：4.11，中間：6.15
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.9	6.6	6.2
		（2006）			6.4	5.9	5.7
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：62，急：58，強：50，弱：45	P急：62，急：58，強：51，弱：46	P急：62，急：58，強：53，弱：46
			暖房		P急：63，急：58，強：50，弱：44	P急：63，急：58，強：51，弱：45	P急：63，急：58，強：53，弱：45
		音圧レベル	冷房		P急：48，急：42，強：35，弱：29	P急：48，急：42，強：36，弱：29	P急：48，急：42，強：38，弱：29
			暖房		P急：48，急：42，強：35，弱：29	P急：48，急：42，強：36，弱：29	P急：48，急：42，強：38，弱：29
	室外ユニット	パワーレベル			冷：66，暖：66	冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：49，暖：50	冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：298×840×840 (7)，パネル：35×950×950		
	製品質量			kg	本体：27，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1		
		風量		m^3/min	P急：36，急：25，強：22，弱：18	P急：36，急：27，強：24，弱：19	P急：36，急：28，強：25，弱：20
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	120		
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65×112ダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505×970×370		
	製品質量			kg	115		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2×1		
			電動機出力	kW	2.0	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2		
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92		冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86×2		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管			φ15.88（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（30m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	1.04（届出不要）	1.39（届出不要）	1.62（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。

(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）

(8) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.120kW × 1台

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTZ-HKP〕

項目			単位	セット形式 FDTZ805HKP5SA
				形式 室内：FDTZP635SA × 2台 室外：FDCZP805HK
パネル形式（別売品）				266ページをご覧ください。
リモートコントローラ				RC-DX3B，RC-D4G (5)
電源				単相　200V　50/60Hz
(1) 能力	冷房能力	定格	kW	7.1［1.9 ～ 8.0］
		中間	kW	3.2（中温：3.3）
		最小中温	kW	1.9
	暖房能力	定格標準	kW	8.0［2.0 ～ 10.0］（最小：2.0）
		中間	kW	3.6
		最大低温	kW	8.4
定格冷房時の顕熱比				0.96
(1) 運転特性	運転電流	冷房	A	7.1
		暖房	A	8.0
	始動電流（最大電流）		A	5（18.5）
	消費電力	冷房 定格	kW	1.41
		冷房 中間	kW	0.430（中温：0.341）
		冷房 最小中温	kW	0.217
		暖房 定格標準	kW	1.58　（最小：0.329）
		暖房 中間	kW	0.528
		暖房 最大低温	kW	2.60
	力率		%	冷：99　，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房		定格：5.04，中間：7.44
		暖房		定格：5.06，中間：6.82
	通年エネルギー消費効率	（2015）		7.2
		（2006）		6.7
運転音	室内ユニット	パワーレベル 冷房	dB(A)	P急：48，急：45，強：43，弱：42
		パワーレベル 暖房	dB(A)	P急：48，急：45，強：41，弱：38
		音圧レベル 冷房	dB(A)	P急：35，急：32，強：30，弱：28
		音圧レベル 暖房	dB(A)	P急：35，急：32，強：28，弱：23
	室外ユニット	パワーレベル	dB(A)	冷：65，暖：66
		音圧レベル	dB(A)	冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）		mm	本体：236 × 840 × 840 (7)，パネル：35 × 950 × 950
	製品質量		kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12
	空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数		ターボファン × 1
		風量	m^3/min	P急：17，急：15，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）	Pa	0
		電動機 定格出力	W	58
		エアフィルタ		プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口			側板を利用して可能（100 × 100，200 × 100 ダクト接続）
	新鮮空気取入口			側板を利用して可能（65 × 112ダクト接続）
	運転調整			操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）
	遠方発停用機能			遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器			ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材			送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行	mm	845 × 970 × 370
	製品質量		kg	70
	冷却装置	圧縮機 形式・台数		RMT5118SWE1 × 1
		圧縮機 電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器		アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器		電子膨張弁
		冷媒封入量	kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量	ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数		プロペラファン × 1
		風量	m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機 定格出力	W	86
	クランクケースヒータ		W	20
	低外気温時冷房運転制御機能			室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(12)
	除霜			マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置			圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(10)（外径）	液管	mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）
		ガス管	mm	室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口			〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）		mm^2	3.5 × 2本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）		A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）		A	30（30）
	アース線サイズ		mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線		mm^2	2.0（φ1.6）× 3本
設計圧力			MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力			トン	0.74（届出不要）
IPコード				室内：IPX0，室外：IPX4
保護装置				高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1)　冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2)　通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3)　運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4)　運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5)　エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。
(6)　パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(7)　お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）
(8)　BEST計算用　室内送風機消費電力：0.058kW × 2台
(9)　外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(10)　ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(11)　室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12)　外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：２台，室外ユニット：１台）〔FDTZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDTZ805HP5SA	FDTZ1125HP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTZP635SA × 2台 室外：FDCZP805H	室内：FDTZP635SA × 2台 室外：FDZP1125H
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G (5)	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [1.9 ～ 8.0]	10.0 [2.8 ～ 11.2]
		中間			3.2（中温：3.3）	4.5 （中温：4.6）
		最小中温			1.9	2.8
	暖房能力	定格標準			8.0 [2.0 ～ 10.0]（最小：2.0）	11.2 [3.5 ～ 14.3]（最小：3.5）
		中間			3.6	5.1
		最大低温			8.4	14.5
定格冷房時の顕熱比					0.96	0.85
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.4	6.4
		暖房			5.0	7.0
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.39	2.12
			中間		0.423（中温：0.341）	0.630（中温：0.495）
			最小中温		0.205	0.310
		暖房	定格標準		1.55 （最小：0.324）	2.31 （最小：0.540）
			中間		0.519	0.740
			最大低温		2.60	4.98
	力率			%	冷：91 ，暖：89	冷：96 ，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：5.11，中間：7.57	定格：4.72，中間：7.14
		暖房			定格：5.16，中間：6.94	定格：4.85，中間：6.89
	通年エネルギー消費効率	（2015）			7.3	7.1
		（2006）			6.8	6.6
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：48，急：45，強：43，弱：42	P急：50，急：46，強：44，弱：42
			暖房		P急：48，急：45，強：41，弱：38	P急：51，急：46，強：43，弱：40
		音圧レベル	冷房		P急：35，急：32，強：30，弱：28	P急：37，急：33，強：31，弱：29
			暖房		P急：35，急：32，強：28，弱：23	P急：37，急：33，強：29，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66	冷：66，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48	冷：49，暖：50
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：236 × 840 × 840 (7)，パネル：35 × 950 × 950	
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：17，急：15 ，強：12，弱：10	P急：18，急：15，強：13，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	58	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100 × 100，200 × 100 ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65 × 112ダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845 × 970 × 370	1505 × 970 × 370
	製品質量			kg	70	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1 × 1	RMT5126SWE2 × 1
			電動機出力	kW	1.4	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	プロペラファン × 2
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48	冷：92，暖：92
		電動機	定格出力	W	86	86 × 2
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(12)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(10)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52， 室外接続：φ9.52 （フレア）	
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 3本（31m）	5.5 × 3本（30m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）	1.04（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。
(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）
(8) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.058kW × 2台
(9) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(10) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(11) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P56形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：２台，室外ユニット：１台）〔FDTZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDTZ1405HP5SA	FDTZ1605HP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTZP715SA × 2台 室外：FDCZP1405H	室内：FDTZP805SA × 2台 室外：FDCZP1605H
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G (5)	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	12.5［3.2 ～ 14.0］	14.0［3.5 ～ 16.0］
		中間			5.7（中温：5.9）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.2	3.5
	暖房能力	定格標準			14.0［3.5 ～ 18.3］（最小：3.5）	16.0［4.0 ～ 20.3］（最小：4.0）
		中間			6.3	7.2
		最大低温			15.5	15.5
定格冷房時の顕熱比					0.76	0.92
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	9.5	10.4
		暖房			9.9	10.9
	始動電流（最大電流）				5（23）	
	消費電力	冷房	定格	kW	3.14	3.42
			中間		0.865（中温：0.732）	0.940（中温：0.825）
			最小中温		0.360	0.385
		暖房	定格標準		3.26（最小：0.530）	3.60（最小：0.625）
			中間		0.950	1.07
			最大低温		5.83	5.83
	力率			%	冷：95 ，暖：95	冷：95 ，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.98，中間：6.59	定格：4.09，中間：6.70
		暖房			定格：4.29，中間：6.63	定格：4.44，中間：6.73
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.7	6.6
		（2006）			6.1	6.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：50，急：46，強：44，弱：42	P急：57，急：51，強：46，弱：43
			暖房		P急：51，急：46，強：43，弱：40	P急：58，急：51，強：46，弱：43
		音圧レベル	冷房		P急：37，急：33，強：31，弱：29	P急：43，急：35，強：31，弱：28
			暖房		P急：37，急：33，強：31，弱：29	P急：43，急：35，強：31，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：236 × 840 × 840 (7)，パネル：35 × 950 × 950	本体：298 × 840 × 840 (7)，パネル：35 × 950 × 950
	製品質量			kg	本体：21（P140形），24.5（P160形），標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：19，急：15 ，強：13，弱：11	P急：30，急：22 ，強：18，弱：15
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	58	120
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100 × 100，200 × 100 ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65 × 112ダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505 × 970 × 370	
	製品質量			kg	115	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2 × 1	
			電動機出力	kW	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92	冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(12)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(10)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5 × 3本（30m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.39（届出不要）	1.62（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。
(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）
(8) BEST計算用　室内送風機消費電力：P140形：0.058kW × 2台，P160形：0.120kW × 2台
(9) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(10) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(11) 室内ユニットは共用タイプ（P71用）および共用タイプ（P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）トリプル形（室内ユニット：３台，室外ユニット：１台）〔FDTZ-HT〕

項目 ＼ セット形式						FDTZ1605HT5SA
項目 ＼ 形式						室内：FDTZP635SA × 3台 室外：FDCZP1605H
パネル形式（別売品）						266ページをご覧ください。
リモートコントローラ						RC-DX3B，RC-D4G (5)
電源						三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	14.0［3.5 ～ 16.0］
		中間				6.3（中温：6.4）
		最小中温				3.5
	暖房能力	定格標準				16.0［4.0 ～ 20.3］（最小：4.0）
		中間				7.2
		最大低温				15.5
定格冷房時の顕熱比						0.90
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	10.5
		暖房				11.0
	始動電流（最大電流）					5（23）
	消費電力	冷房	定格		kW	3.46
			中間			0.970（中温：0.830）
			最小中温			0.390
		暖房	定格標準			3.62（最小：0.605）
			中間			1.09
			最大低温			5.83
	力率				%	冷：95 ，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房				定格：4.05，中間：6.49
		暖房				定格：4.42，中間：6.61
	通年エネルギー消費効率	（2015）				6.6
		（2006）				6.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房		dB(A)	P急：50 ，急：46 ，強：44 ，弱：42
			暖房			P急：51 ，急：46 ，強：43 ，弱：40
		音圧レベル	冷房			P急：37 ，急：33 ，強：31 ，弱：29
			暖房			P急：37 ，急：33 ，強：29 ，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル				冷：68 ，暖：70
		音圧レベル				冷：52 ，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）				mm	本体：236 × 840 × 840 (7)，パネル：35 × 950 × 950
	製品質量				kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12
	空気熱交換器					アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				ターボファン × 1
		風量			m^3/min	P急：18 ，急：15 ，強：13 ，弱：11
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	58
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口					側板を利用して可能（100 × 100，200 × 100 ダクト接続）
	新鮮空気取入口					側板を利用して可能（65 × 112ダクト接続）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	1505 × 970 × 370
	製品質量				kg	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5126SWE2 × 1
			電動機出力		kW	3.4
		空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			ℓ	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン × 2
		風量			m^3/min	冷：92 ，暖：100
		電動機	定格出力		W	86 × 2
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(12)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(10)（外径）	液管			mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）
		ガス管				室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	5.5 × 3本（30m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（30）
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 ×3本（～120m）
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	1.62（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。
(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）
(8) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.058kW × 3台
(9) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(10) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TA1G　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1Gを2セット
(11) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(b) 天井埋込形2方向吹出し（FDTWZ）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTWZ-HK〕

PJB001Z845 **PJB001Z850**

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTWZ405HK5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCZP405HK	FDTWZ455HK5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCZP455HK	FDTWZ505HK5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCZP505HK
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G		
電源					単相 200V 50/60Hz		
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	3.6 [1.3 ～ 4.0]	4.0 [1.3 ～ 4.5]	4.5 [1.3 ～ 5.0]
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.3	1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			4.0 [1.0 ～ 4.5]（最小：1.0）	4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.1）	5.0 [1.3 ～ 5.6]（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.6	5.2
定格冷房時の顕熱比					0.82	0.78	0.74
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	4.7	5.6	6.2
		暖房			5.0	6.0	6.2
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.855	1.04	1.19
			中間		0.282（中温：0.230）	0.307（中温：0.255）	0.363（中温：0.315）
			最小中温		0.170	0.170	0.170
		暖房	定格標準		0.895（最小：0.193）	1.10（最小：0.211）	1.18（最小：0.246）
			中間		0.303	0.340	0.373
			最大低温		1.68	1.68	2.67
	力率			%	冷：91，暖：90	冷：93，暖：92	冷：96，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.21，中間：6.03	定格：3.85，中間：5.86	定格：3.78，中間：5.79
		暖房			定格：4.47，中間：5.94	定格：4.09，中間：6.18	定格：4.24，中間：6.17
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.0	5.9	5.8
		（2006）			5.7	5.6	5.5
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46		
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31		
	室外ユニット	パワーレベル			冷：58，暖：60	冷：59，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：43，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：325×820×620，パネル：20×1120×680		
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1		
		風量		m^3/min	P急：14.5，急：12，強：10，弱：9		
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	35		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(8)		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×2本（14m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.46（届出不要）	0.52（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.04kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTWZ-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTWZ565HK5SA	FDTWZ635HK5SA
					室内：FDTWZP565SA 室外：FDCZP565HK	室内：FDTWZP635SA 室外：FDCZP635HK
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G	
電源					単相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.3～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.5	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.72	0.71
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.9	8.7
		暖房			7.4	9.0
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.34	1.68
			中間		0.415（中温：0.350）	0.473（中温：0.405）
			最小中温		0.170	0.185
		暖房	定格標準		1.43（最小：0.260）	1.74（最小：0.290）
			中間		0.443	0.514
			最大低温		2.88	2.55
	力率			%	冷：97，暖：97	冷：97，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.73，中間：5.54	定格：3.33，中間：5.50
		暖房			定格：3.92，中間：5.87	定格：3.62，中間：5.64
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7	5.5
		（2006）			5.2	5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46	P急：58，急：54，強：50，弱：47
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31	P急：42，急：38，強：34，弱：31
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：325×820×620，パネル：20×1120×680	
	製品質量			kg	本体：21（P63形：23），標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m^3/min	P急：14.5，急：12，強：10，弱：9	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	35	40
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(8)	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.04kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTWZ-HK〕

項目 ＼ セット形式					FDTWZ805HK5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTWZP805SA 室外：FDCZP805HK
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G
電源					単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0～10.0］（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			8.1
定格冷房時の顕熱比					0.68
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	10.2
		暖房			11.1
	始動電流（最大電流）				5（18.5）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.02
			中間		0.577（中温：0.474）
			最小中温		0.221
		暖房	定格標準		2.19（最少：0.372）
			中間		0.661
			最大低温		3.23
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.51，中間：5.55
		暖房			定格：3.65，中間：5.45
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6
		（2006）			5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：61，急：56，強：54，弱：50
		音圧レベル			P急：45，急：40，強：38，弱：34
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：325×820×620，パネル：20×1120×680
	製品質量			kg	本体：23，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1
		風量		m^3/min	P急：16.5，急：13，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(8)
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	30 30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.06kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTWZ-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDTWZ405H5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCZP405H	FDTWZ455H5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCZP455H	FDTWZ505H5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCZP505H
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.3～4.0］	4.0［1.3～4.5］	4.5［1.3～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.3	1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.0）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.1）	5.0［1.3～5.6］（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.6	5.2
定格冷房時の顕熱比					0.82	0.78	0.74
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	2.9	3.4	3.9
		暖房			3.0	3.7	3.8
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.845	1.03	1.18
			中間		0.280（中温：0.229）	0.304（中温：0.253）	0.360（中温：0.313）
			最小中温		0.169	0.169	0.169
		暖房	定格標準		0.885（最小：0.192）	1.09（最小：0.210）	1.17（最小：0.244）
			中間		0.300	0.337	0.370
			最大低温		1.67	1.67	2.66
	力率			%	冷：84，暖：85	冷：87，暖：85	冷：87，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.26，中間：6.07	定格：3.88，中間：5.92	定格：3.81，中間：5.83
		暖房			定格：4.52，中間：6.00	定格：4.13，中間：6.23	定格：4.27，中間：6.22
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.1	6.0	5.9
		（2006）			5.8	5.7	5.6
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46		
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31		
	室外ユニット	パワーレベル			冷：58，暖：60	冷：59，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：43，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：325×820×620，パネル：20×1120×680		
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1		
		風量		m^3/min	P急：14.5，急：12，強：10，弱：9		
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	35		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(8)		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×3本（21m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				15（15）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.46（届出不要）	0.52（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.04kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTWZ-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDTWZ565H5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCZP565H	FDTWZ635H5SA 室内：FDTWZP635SA 室外：FDCZP635H
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.3～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.5	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.72	0.71
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.2	5.0
		暖房			4.4	5.2
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.33	1.67
			中間		0.412（中温：0.348）	0.469（中温：0.402）
			最小中温		0.169	0.184
		暖房	定格標準		1.42（最小：0.258）	1.73（最小：0.288）
			中間		0.440	0.510
			最大低温		2.87	2.54
	力率			%	冷：91，暖：93	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.76，中間：5.58	定格：3.35，中間：5.54
		暖房			定格：3.94，中間：5.91	定格：3.64，中間：5.69
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.8	5.6
		(2006)			5.3	5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46	P急：58，急：54，強：50，弱：47
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31	P急：42，急：38，強：34，弱：31
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：325×820×620，パネル：20×1120×680	
	製品質量			kg	本体：21（P63形：23），標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m^3/min	P急：14.5，急：12，強：10，弱：9	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	35	40
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(8)	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	15 15（15）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.04kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTWZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTWZ805H5SA 室内：FDTWZP805SA 室外：FDCZP805H
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0～10.0］（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			8.1
定格冷房時の顕熱比					0.68
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.3
		暖房			6.9
	始動電流（最大電流）				5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.99
			中間		0.572（中温：0.465）
			最小中温		0.219
		暖房	定格標準		2.15（最少：0.362）
			中間		0.654
			最大低温		3.17
	力率			%	冷：91，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.57，中間：5.59
		暖房			定格：3.72，中間：5.50
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.7
		(2006)			5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：61，急：56，強：54，弱：50
		音圧レベル			P急：45，急：40，強：38，弱：34
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：325×820×620，パネル：20×1120×680
	製品質量			kg	本体：23，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1
		風量		m^3/min	P急：16.5，急：13，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(8)
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（31m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.06kW × 1台
(7) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTWZ-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDTWZ1125H5SA 室内：FDTWZP1405SA 室外：FDCZP1125H	FDTWZ1405H5SA 室内：FDTWZP1405SA 室外：FDCZP1405H	FDTWZ1605H5SA 室内：FDTWZP1605SA 室外：FDCZP1605H
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［2.7～11.2］	12.5［3.2～14.0］	14.0［3.7～16.0］
		中間			4.5（中温：4.6）	5.7（中温：5.9）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			2.7	3.2	3.7
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.5～18.3］（最小：3.5）	16.0［4.1～20.3］（最小：4.1）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			13.5	14.5	14.7
定格冷房時の顕熱比					0.76	0.69	0.67
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.9	12.0	14.1
		暖房			8.1	11.7	14.1
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.60	3.95	4.64
			中間		0.700（中温：0.544）	0.986（中温：0.795）	1.11（中温：0.916）
			最小中温		0.314	0.393	0.444
		暖房	定格標準		2.67（最小：0.477）	3.85（最小：0.629）	4.63（最小：0.728）
			中間		0.842	1.09	1.34
			最大低温		5.40	6.21	6.25
	力率			%	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.85，中間：6.43	定格：3.16，中間：5.78	定格：3.02，中間：5.68
		暖房			定格：4.19，中間：6.06	定格：3.64，中間：5.78	定格：3.46，中間：5.37
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.4	5.8	5.6
		（2006）			5.8	5.2	5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：63，急：60，強：56，弱：52		
		音圧レベル			P急：48，急：45，強：41，弱：37		
	室外ユニット	パワーレベル			冷：66，暖：66	冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：49，暖：50	冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：325×1535×620，パネル：20×1835×680		
	製品質量			kg	本体：35，標準パネル：13，ラクリーナパネル：15		
	送風装置	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		形式・台数			ターボファン×2		
		風量		m^3/min	P急：31，急：27，強：23，弱：20		
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	35×2		40×2
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(8)		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505×970×370		
	製品質量			kg	115		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2×1		
			電動機出力	kW	2.0	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2		
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92		冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86×2		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管			φ15.88（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（30m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	1.04（届出不要）	1.39（届出不要）	1.62（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112，P140形：0.10kW × 1台，P160形：0.11kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140用）および共用タイプ（P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTWZ-HKP〕

項目 ＼ セット形式						FDTWZ805HKP5SA
項目 ＼ 形式						室内：FDTWZP565SA × 2台 室外：FDCZP805HK
パネル形式（別売品）						266ページをご覧ください。
リモートコントローラ						RC-DX3B，RC-D4G
電源						単相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	7.1［1.8～8.0］
		中間				3.2（中温：3.4）
		最小中温				1.8
	暖房能力	定格標準				8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間				3.6
		最大低温				8.1
定格冷房時の顕熱比						0.86
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	8.7
		暖房				9.1
	始動電流（最大電流）					5（18.5）
	消費電力	冷房	定格		kW	1.72
			中間			0.583（中温：0.483）
			最小中温			0.264
		暖房	定格標準			1.81 （最小：0.414）
			中間			0.635
			最大低温			3.23
	力率				%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房				定格：4.13，中間：5.49
		暖房				定格：4.42，中間：5.67
	通年エネルギー消費効率	(2015)				5.7
		(2006)				5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46
		音圧レベル				P急：42，急：38，強：34，弱：31
	室外ユニット	パワーレベル				冷：65，暖：66
		音圧レベル				冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）				mm	本体：325×820×620，パネル：20×1120×680
	製品質量				kg	本体：21，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10
	送風装置	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		形式・台数				ターボファン×1
		風量			m^3/min	P急：14.5，急：12，強：10，弱：9
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	35
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口					φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(10)
	新鮮空気取入口					側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	845×970×370
	製品質量				kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5118SWE1×1
			電動機出力		kW	1.4
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×1
		風量			m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力		W	86
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管			mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管				室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
排水口						〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	3.5×2本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（30）
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	0.74（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.04kW × 2台

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：２台，室外ユニット：１台）〔FDTWZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDTWZ805HP5SA	FDTWZ1125HP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTWZP565SA × 2台 室外：FDCZP805H	室内：FDTWZP565SA × 2台 室外：FDCZP1125H
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］	10.0［2.5～11.2］
		中間			3.2（中温：3.4）	4.5（中温：4.7）
		最小中温			1.8	2.5
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1 ～ 10.0］（最小：2.1）	11.2［2.7 ～ 14.3］（最小：2.7）
		中間			3.6	5.1
		最大低温			8.1	12.5
定格冷房時の顕熱比					0.86	0.73
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.3	8.1
		暖房			5.6	8.4
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.67	2.66
			中間		0.569（中温：0.473）	0.760（中温：0.620）
			最小中温		0260	0.310
		暖房	定格標準		1.76 （最小：0.404）	2.76 （最小：0.465）
			中間		0.619	0.830
			最大低温		3.17	5.48
	力率			%	冷：91 ，暖：91	冷：95 ，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.25 ，中間：5.62	定格：3.76 ，中間：5.92
		暖房			定格：4.55 ，中間：5.82	定格：4.06 ，中間：6.14
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.8	6.2
		（2006）			5.5	5.6
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57 ，急：53 ，強：49 ，弱：46	
		音圧レベル			P急：42 ，急：38 ，強：34 ，弱：31	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66	冷：66 ，暖：66
		音圧レベル			冷：48 ，暖：48	冷：49 ，暖：50
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：325×820 ×620，パネル：20×1120×680	
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m^3/min	P急：14.5，急：12 ，強：10 ，弱：9	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	35	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(10)	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370	1505×970×370
	製品質量			kg	70	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1	RMT5126SWE2×1
			電動機出力	kW	1.4	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	プロペラファン×2
		風量		m^3/min	冷：52 ，暖：48	冷：92 ，暖：92
		電動機	定格出力	W	86	86×2
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(11)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52 （フレア）	
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（31m）	5.5×3本（30m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）	1.04（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.04kW × 2台

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P56形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：２台，室外ユニット：１台）〔FDTWZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDTWZ1405HP5SA	FDTWZ1605HP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTWZP805SA × 2台 室外：FDCZP1405H	室内：FDTWZP805SA × 2台 室外：FDCZP1605H
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	12.5［3.2～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			5.7（中温：5.9）	6.3（中温：6.3）
		最小中温			3.2	3.5
	暖房能力	定格標準			14.0［3.5～18.3］（最小：3.5）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			6.3	7.2
		最大低温			14.5	14.8
定格冷房時の顕熱比					0.68	0.67
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	12.0	14.3
		暖房			11.6	13.7
	始動電流（最大電流）				5（23）	
	消費電力	冷房	定格	kW	3.94	4.70
			中間		0.965（中温：0.800）	1.06（中温：0.910）
			最小中温		0.390	0.415
		暖房	定格標準		3.83（最小：0.580）	4.50（最小：0.695）
			中間		1.08	1.27
			最大低温		6.10	6.35
	力率			%	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.17，中間：5.91	定格：2.98，中間：5.94
		暖房			定格：3.66，中間：5.83	定格：3.56，中間：5.67
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.9	5.6
		（2006）			5.3	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：58，急：54，強：50，弱：47	P急：61，急：56，強：54，弱：50
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31	P急：45，急：40，強：38，弱：34
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：325×820×620，パネル：20×1120×680	
	製品質量			kg	本体：23，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m^3/min	P急：14.5，急：12，強：10，弱：9	P急：16.5，急：13，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	40	50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(10)	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505×970×370	
	製品質量			kg	115	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2×1	
			電動機出力	kW	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2	
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92	冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86×2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（30m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.39（届出不要）	1.62（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P140形：0.04kW × 2台，P160形：0.06kW × 2台
(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）トリプル形（室内ユニット：３台，室外ユニット：１台）〔FDTWZ-HT〕

項目 ＼ セット形式						FDTWZ1605HT5SA
項目 ＼ 形式						室内：FDTWZP565SA × 3台 室外：FDCZP1605H
パネル形式（別売品）						266ページをご覧ください。
リモートコントローラ						RC-DX3B，RC-D4G
電源						三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	14.0［3.5～16.0］
		中間				6.3（中温：6.5）
		最小中温				3.5
	暖房能力	定格標準				16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間				7.2
		最大低温				14.8
定格冷房時の顕熱比						0.76
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	13.0
		暖房				12.6
	始動電流（最大電流）					5（23）
	消費電力	冷房	定格		kW	4.28
			中間			1.11（中温：0.930）
			最小中温			0.440
		暖房	定格標準			4.14（最小：0.700）
			中間			1.27
			最大低温			6.35
	力率				%	冷：95 ，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.27 ，中間：5.68
		暖房				定格：3.86 ，中間：5.67
	通年エネルギー消費効率	（2015）				5.7
		（2006）				5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46
		音圧レベル				P急：42，急：38，強：34，弱：31
	室外ユニット	パワーレベル				冷：68，暖：70
		音圧レベル				冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）				mm	本体：325×820×620，パネル：20×1120×680
	製品質量				kg	本体：21，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				ターボファン×1
		風量			m^3/min	P急：14.5，急：12，強：10，弱：9
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	35
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口					φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(10)
	新鮮空気取入口					側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	1505×970×370
	製品質量				kg	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5126SWE2×1
			電動機出力		kW	3.4
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			ℓ	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×2
		風量			m^3/min	冷：92，暖：100
		電動機	定格出力		W	86×2
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(11)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管			mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52 （フレア）
		ガス管				室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	5.5×3本（30m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（30）
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	1.62（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.04kW × 3台
(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TA1G ② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1Gを2セット
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(c) 天井埋込形 1 方向吹出し（FDTSZ）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTSZ-HK〕

PJC001Z441 | **PJC001Z444**

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTSZ405HK5SA 室内：FDTSZP505SA 室外：FDCZP405HK	FDTSZ455HK5SA 室内：FDTSZP505SA 室外：FDCZP455HK	FDTSZ505HK5SA 室内：FDTSZP505SA 室外：FDCZP505HK
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW		
	下がり天井仕様・オートスイングなし				TS-PNA-3AW		
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G		
電源					単相 200V 50/60Hz		
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	3.6 [1.3 ～ 4.0]	4.0 [1.3 ～ 4.5]	4.5 [1.3 ～ 5.0]
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.3	1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			4.0 [1.0 ～ 4.5]（最小：1.0）	4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.1）	5.0 [1.3 ～ 5.6]（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.8	5.2
定格冷房時の顕熱比					0.78	0.75	0.79
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	4.8	5.7	6.5
		暖房			4.9	5.9	6.4
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.848	1.02	1.21
			中間		0.280（中温：0.223）	0.300（中温：0.250）	0.350（中温：0.297）
			最小中温		0.162	0.162	0.162
		暖房	定格標準		0.865（最小：0.199）	1.10（最小：0.218）	1.19（最小：0.246）
			中間		0.310	0.348	0.380
			最大低温		1.68	1.76	2.50
	力率			%	冷：88，暖：88	冷：89，暖：93	冷：93，暖：93
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.25，中間：6.07	定格：3.92，中間：6.00	定格：3.72，中間：6.00
		暖房			定格：4.62，中間：5.81	定格：4.09，中間：6.03	定格：4.20，中間：6.05
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.0	5.9	5.9
		（2006）			5.7	5.6	5.6
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：55，強：53，弱：50	P急：57，急：55，強：53，弱：50	P急：59，急：56，強：53，弱：50
		音圧レベル			P急：42，急：40，強：38，弱：35	P急：42，急：40，強：38，弱：35	P急：44，急：41，強：38，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：58，暖：60	冷：59，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：43，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：220×1150×565，パネル：35×1460×650		
	製品質量			kg	本体：27，標準パネル：6，下がり天井パネル：6		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4		
		風量		m^3/min	P急：13，急：12，強：11，弱：9.5	P急：13，急：12，強：11，弱：9.5	P急：14.5，急：12.5，強：11，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	35		50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				下がり天井仕様の場合：可能		
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（組込不可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(8)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×2本（14m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.46（届出不要）	0.52（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P40，P45形：0.04kW × 1台，P50形：0.06kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTSZ-HK〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDTSZ565HK5SA 室内：FDTSZP635SA 室外：FDCZP565HK	FDTSZ635HK5SA 室内：FDTSZP635SA 室外：FDCZP635HK
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW	
	下がり天井仕様・オートスイングなし				TS-PNA-3AW	
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.4～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.5	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.71	0.72
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.4	8.4
		暖房			7.2	8.6
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.39	1.59
			中間		0.410（中温：0.352）	0.460（中温：0.410）
			最小中温		0.181	0.197
		暖房	定格標準		1.35（最小：0.271）	1.64（最小：0.300）
			中間		0.445	0.500
			最大低温		2.74	2.48
	力率			%	冷：94，暖：94	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.60，中間：5.61	定格：3.52，中間：5.65
		暖房			定格：4.15，中間：5.84	定格：3.84，中間：5.80
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.6	5.5
		(2006)			5.3	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：57，強：54，弱：50	P急：63，急：57，強：54，弱：50
		音圧レベル			P急：45，急：42，強：39，弱：35	P急：48，急：42，強：39，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：220×1150×565，パネル：35×1460×650	
	製品質量			kg	本体：28，標準パネル：6，下がり天井パネル：6	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4	
		風量		m^3/min	P急：14.5，急：12.5，強：11，弱：9.5	P急：16，急：12.5，強：11，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	50	70
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				下がり天井仕様の場合：可能	
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(8)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.06kW×1台，P63形：0.08kW×1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTS-HK〕

項目 ＼ セット形式					FDTSZ805HK5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTSZP805SA 室外：FDCZP805HK
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW
	下がり天井仕様・オートスイングなし				TS-PNA-3AW
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G
電源					単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.2）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			8.1
定格冷房時の顕熱比					0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	9.7
		暖房			10.9
	始動電流（最大電流）				5（18.5）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.93
			中間		0.602（中温：0.495）
			最小中温		0.241
		暖房	定格標準		2.16（最小：0.381）
			中間		0.690
			最大低温		3.42
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.68，中間：5.32
		暖房			定格：3.70，中間：5.22
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.4
		(2006)			4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：65，急：61，強：56，弱：51
		音圧レベル			P急：50，急：46，強：41，弱：36
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：220×1150×565，パネル：35×1460×650
	製品質量			kg	本体：28，標準パネル：6，下がり天井パネル：6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	70
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				下がり天井仕様の場合：可能
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(8)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.09kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTSZ-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDTSZ405H5SA 室内：FDTSZP505SA 室外：FDCZP405H	FDTSZ455H5SA 室内：FDTSZP505SA 室外：FDCZP455H	FDTSZ505H5SA 室内：FDTSZP505SA 室外：FDCZP505H
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW		
	下がり天井仕様・オートスイングなし				TS-PNA-3AW		
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.3～4.0］	4.0［1.3～4.5］	4.5［1.3～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.3	1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.0）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.1）	5.0［1.3～5.6］（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.8	5.2
定格冷房時の顕熱比					0.78	0.75	0.79
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	2.8	3.4	3.9
		暖房			2.9	3.6	3.8
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.840	1.01	1.19
			中間		0.278（中温：0.221）	0.298（中温：0.248）	0.347（中温：0.295）
			最小中温		0.161	0.161	0.161
		暖房	定格標準		0.860（最小：0.198）	1.09（最小：0.217）	1.17（最小：0.244）
			中間		0.307	0.345	0.378
			最大低温		1.67	1.75	2.49
	力率			%	冷：87，暖：86	冷：86，暖：87	冷：88，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.29，中間：6.12	定格：3.96，中間：6.04	定格：3.78，中間：6.05
		暖房			定格：4.65，中間：5.86	定格：4.13，中間：6.09	定格：4.27，中間：6.08
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.1	6.0	6.0
		（2006）			5.8	5.7	5.6
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：55，強：53，弱：50	P急：57，急：55，強：53，弱：50	P急：59，急：56，強：53，弱：50
		音圧レベル			P急：42，急：40，強：38，弱：35	P急：42，急：40，強：38，弱：35	P急：44，急：41，強：38，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：58，暖：60	冷：59，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：43，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：220×1150×565，パネル：35×1460×650		
	製品質量			kg	本体：27，標準パネル：6，下がり天井パネル：6		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4		
		風量		m³/min	P急：13，急：12，強：11，弱：9.5	P急：13，急：12，強：11，弱：9.5	P急：14.5，急：12.5，強：11，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	35		50
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				下がり天井仕様の場合：可能		
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（組込不可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m³/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(8)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	2.0×3本（21m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				15（15）		
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.46（届出不要）	0.52（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P40，P45形：0.04kW × 1台，P50形：0.06kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTSZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTSZ565H5SA 室内：FDTSZP635SA 室外：FDCZP565H	FDTSZ635H5SA 室内：FDTSZP635SA 室外：FDCZP635H
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW	
	下がり天井仕様・オートスイングなし				TS-PNA-3AW	
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.4～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.5	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.71	0.72
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.5	4.8
		暖房			4.2	4.9
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.38	1.58
			中間		0.407（中温：0.350）	0.457（中温：0.415）
			最小中温		0.180	0.196
		暖房	定格標準		1.34（最小：0.269）	1.63（最小：0.295）
			中間		0.441	0.495
			最大低温		2.73	2.47
	力率			%	冷：89，暖：92	冷：95，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.62，中間：5.65	定格：3.54，中間：5.69
		暖房			定格：4.18，中間：5.90	定格：3.87，中間：5.86
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7	5.6
		（2006）			5.4	5.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：57，強：54，弱：50	P急：63，急：57，強：54，弱：50
		音圧レベル			P急：45，急：42，強：39，弱：35	P急：48，急：42，強：39，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：220×1150×565，パネル：35×1460×650	
	製品質量			kg	本体：28，標準パネル：6，下がり天井パネル：6	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4	
		風量		m^3/min	P急：14.5，急：12.5，強：11，弱：9.5	P急：16，急：12.5，強：11，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	50	70
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				下がり天井仕様の場合：可能	
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(8)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				15（15）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.06kW×1台，P63形：0.08kW×1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTSZ-H〕

項目 ＼ セット形式					FDTSZ805H5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTSZP805SA 室外：FDCZP805H
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW
	下がり天井仕様・オートスイングなし				TS-PNA-3AW
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.2）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0～10.0］（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			8.1
定格冷房時の顕熱比					0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.0
		暖房			6.8
	始動電流（最大電流）				5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.90
			中間		0.592（中温：0.485）
			最小中温		0.238
		暖房	定格標準		2.11（最小：0.375）
			中間		0.678
			最大低温		3.35
	力率			%	冷：91，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.74，中間：5.41
		暖房			定格：3.79，中間：5.31
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.5
		(2006)			5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：65，急：61，強：56，弱：51
		音圧レベル			P急：50，急：46，強：41，弱：36
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：220×1150×565，パネル：35×1460×650
	製品質量			kg	本体：28，標準パネル：6，下がり天井パネル：6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	70
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				下がり天井仕様の場合：可能
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(8)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（31m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.09kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTSZ-HKP〕

項目 ＼ セット形式					FDTSZ805HKP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTSZP505SA × 2台 室外：FDCZP805HK
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW × 2枚
	下がり天井仕様・オートスイングなし				TS-PNA-3AW × 2枚
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G
電源					単相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8 ～8.0 ］
		中間			3.2（中温：3.3 ）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0 ～ 10.0］（最小：2.0 ）
		中間			3.6
		最大低温			8.1
定格冷房時の顕熱比					0.77
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	9.0
		暖房			9.5
	始動電流（最大電流）				5（18.5）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.78
			中間		0.568（中温：0.470）
			最小中温		0.281
		暖房	定格標準		1.88 （最小：0.414）
			中間		0.633
			最大低温		3.43
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.99，中間：5.63
		暖房			定格：4.26，中間：5.69
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6
		（2006）			5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：55，強：53，弱：50
		音圧レベル			P急：42，急：40，強：38，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：220 ×1150×565，パネル：35 ×1460×650
	製品質量			kg	本体：27，標準パネル：6，下がり天井パネル：6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4
		風量		m^3/min	P急：13，急：12 ，強：11，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	35
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				下がり天井仕様の場合：可能
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52， 室外接続：φ9.52 （フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.04kW × 2台

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：２台，室外ユニット：１台）〔FDTSZ-HP〕

項目 ＼ セット形式 ＼ 形式					FDTSZ805HP5SA	FDTSZ1125HP5SA
					室内：FDTSZP505SA × 2台 室外：FDCZP805H	室内：FDTSZP635SA × 2台 室外：FDCZP1125H
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW × 2枚	
	下がり天井仕様・オートスイングなし				TS-PNA-3AW × 2枚	
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8 ～8.0 ］	10.0［2.5 ～11.2］
		中間			3.2（中温：3.3）	4.5（中温：4.7）
		最小中温			1.8	2.5
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0 ～ 10.0］（最小：2.0）	11.2［3.2 ～14.3 ］（最小：3.2）
		中間			3.6	5.1
		最大低温			8.1	12.0
定格冷房時の顕熱比					0.77	0.69
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.5	7.2
		暖房			5.9	7.9
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.74	2.37
			中間		0.560（中温：0.463）	0.780（中温：0.650）
			最小中温		0.269	0.360
		暖房	定格標準		1.84 （最小：0.407）	2.60 （最小：0.610）
			中間		0.623	0.910
			最大低温		3.36	5.30
	力率			%	冷：91，暖：90	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.08，中間：5.71	定格：4.22，中間：5.77
		暖房			定格：4.35，中間：5.78	定格：4.31，中間：5.60
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.7	5.7
		(2006)			5.5	5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：55，強：53，弱：50	P急：60，急：57，強：54，弱：50
		音圧レベル			P急：42，急：40，強：38，弱：35	P急：45，急：42，強：39，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66	冷：66，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48	冷：49，暖：50
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：220 × 1150 × 565，パネル：35 × 1460 × 650	
	製品質量			kg	本体：27，標準パネル：6，下がり天井パネル：6	本体：28，標準パネル：6，下がり天井パネル：6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 4	
		風量		m^3/min	P急：13，急：12 ，強：11，弱：9.5	P急：14.5，急：12.5，強：11 ，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	35	50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				下がり天井仕様の場合：可能	
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845 × 970× 370	1505 × 970 × 370
	製品質量			kg	70	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1 × 1	RMT5126SWE2 × 1
			電動機出力	kW	1.4	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	プロペラファン × 2
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48	冷：92，暖：92
		電動機	定格出力	W	86	86 × 2
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52， 室外接続：φ9.52 （フレア）	
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 3本（31m）	5.5 × 3本（30m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）	1.04（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P80形：0.04kW × 2台，P112形：0.06kW × 2台

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50用）および共用タイプ（P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P56形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTSZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDTSZ1405HP5SA	FDTSZ1605HP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTSZP805SA × 2台 室外：FDCZP1405H	室内：FDTSZP805SA × 2台 室外：FDCZP1605H
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW × 2枚	
	下がり天井仕様・オートスイングなし				TS-PNA-3AW × 2枚	
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	12.5［3.2 ～ 14.0］	14.0［3.5 ～ 16.0］
		中間			5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.2	3.5
	暖房能力	定格標準			14.0［3.5 ～ 18.3］（最小：3.5）	16.0［4.0 ～ 20.3］（最小：4.0）
		中間			6.3	7.2
		最大低温			14.5	14.5
定格冷房時の顕熱比					0.69	0.65
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	10.8	13.5
		暖房			11.6	14.4
	始動電流（最大電流）				5（23）	
	消費電力	冷房	定格	kW	3.56	4.43
			中間		1.05（中温：0.890）	1.18（中温：1.04）
			最小中温		0.420	0.490
		暖房	定格標準		3.81（最小：0.645）	4.75（最小：0.765）
			中間		1.20	1.40
			最大低温		6.20	6.20
	力率			%	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.51，中間：5.43	定格：3.16，中間：5.34
		暖房			定格：3.67，中間：5.25	定格：3.37，中間：5.14
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.4	5.1
		（2006）			5.0	4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：61，強：56，弱：51	P急：65，急：61，強：56，弱：51
		音圧レベル			P急：49，急：46，強：41，弱：36	P急：50，急：46，強：41，弱：36
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：220 × 1150 × 565，パネル：35 × 1460 × 650	
	製品質量			kg	本体：28，標準パネル：6，下がり天井パネル：6	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 4	
		風量		m^3/min	P急：17，急：15，強：12，弱：10	P急：18，急：15，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	70	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				下がり天井仕様の場合：可能	
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505 × 970 × 370	
	製品質量			kg	115	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2 × 1	
			電動機出力	kW	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92	冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(10)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5 × 3本（30m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.39（届出不要）	1.62（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.09kW × 2台

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）トリプル形（室内ユニット：３台，室外ユニット：１台）〔FDTSZ-HT〕

項目 ＼ セット形式					FDTSZ1605HT5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTSZP505SA × 3台 室外：FDCZP1605H
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW × 3枚
	下がり天井仕様・オートスイングなし				TS-PNA-3AW × 3枚
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	14.0［3.5 ～ 16.0］
		中間			6.3（中温：6.6）
		最小中温			3.5
	暖房能力	定格標準			16.0［4.0 ～ 20.3］（最小：4.0）
		中間			7.2
		最大低温			14.5
定格冷房時の顕熱比					0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	12.4
		暖房			12.9
	始動電流（最大電流）				5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	4.08
			中間		1.12（中温：0.990）
			最小中温		0.490
		暖房	定格標準		4.25（最小：0.770）
			中間		1.33
			最大低温		6.20
	力率			%	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.43，中間：5.63
		暖房			定格：3.76，中間：5.41
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.4
		(2006)			5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：59，急：56，強：53，弱：50
		音圧レベル			P急：44，急：41，強：38，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：220 × 1150 × 565，パネル：35 × 1460 × 650
	製品質量			kg	本体：27，標準パネル：6，下がり天井パネル：6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 4
		風量		m^3/min	P急：14.5，急：12.5，強：11，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				下がり天井仕様の場合：可能
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505 × 970 × 370
	製品質量			kg	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2 × 1
			電動機出力	kW	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2
		風量		m^3/min	冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86 × 2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法（外径）	冷媒配管(8)	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5 × 3本（30m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 ×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.62（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.06kW × 3台

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TA1G　　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1Gを2セット

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(d) 天埋カセテリア（FDRZ）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRZ-HK〕

PJG000Z595 **PJG000Z599**

項目 ＼ セット形式 / 形式				FDRZ405HK5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCZP405HK		FDRZ455HK5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCZP455HK		FDRZ505HK5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCZP505HK	
吸込パネル				サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）				R-PNS-2AW	R-PNC-2AW	R-PNS-2AW	R-PNC-2AW	R-PNS-2AW	R-PNC-2AW
リモートコントローラ				RC-DX3B					
電源				単相　200V　50/60Hz					
(1)能力	冷房能力	定格	kW	3.6 [1.3 ～ 4.0]		4.0 [1.3 ～ 4.5]		4.5 [1.3 ～ 5.0]	
		中間		1.7（中温：1.8）		1.8（中温：1.9）		2.1（中温：2.2）	
		最小中温		1.3		1.3		1.3	
	暖房能力	定格標準		4.0 [1.0 ～ 4.5]（最小：1.0）		4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.1）		5.0 [1.2 ～ 5.6]（最小：1.2）	
		中間		1.8		2.1		2.3	
		最大低温		4.6		4.6		5.0	
定格冷房時の顕熱比				0.87		0.82		0.78	
(1)運転特性	運転電流	冷房	A	5.5		6.5		7.8	
		暖房		5.1		5.7		6.3	
	始動電流（最大電流）			5（17）		5（17）		5（17）	
	消費電力	冷房 定格	kW	0.950		1.12		1.35	
		冷房 中間		0.300（中温：0.240）		0.340（中温：0.270）		0.420（中温：0.350）	
		冷房 最小中温		0.180		0.180		0.180	
		暖房 定格標準		0.890（最小：0.195）		1.00（最小：0.220）		1.14（最小：0.240）	
		暖房 中間		0.325		0.370		0.400	
		暖房 最大低温		1.83		1.83		2.54	
	力率		%	冷：86，暖：87		冷：86，暖：88		冷：87，暖：90	
	エネルギー消費効率	冷房		定格：3.79，中間：5.67		定格：3.57，中間：5.29		定格：3.33，中間：5.00	
		暖房		定格：4.49，中間：5.54		定格：4.50，中間：5.68		定格：4.39，中間：5.75	
	通年エネルギー消費効率	(2015)		5.7		5.6		5.4	
		(2006)		5.4		5.3		5.1	
運転音	室内ユニット	パワーレベル	dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58
		音圧レベル		P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル		冷：58，暖：60		冷：59，暖：61		冷：60，暖：61	
		音圧レベル		冷：43，暖：45		冷：45，暖：46		冷：45，暖：46	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体	mm	サイレントパネル使用：348 × 750 × 635，キャンバスパネル使用：（348 ＋α）× 750 × 635 (6)					
		パネル		20 × 1040 × 750	20 × 864 × 585	20 × 1040 × 750	20 × 864 × 585	20 × 1040 × 750	20 × 864 × 585
	製品質量		kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6
	空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式					
	送風装置	形式・台数		シロッコファン × 1					
		風量	m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8		P急：13，急：10，強：9，弱：8		P急：13，急：10，強：9，弱：8	
		機外静圧（標準風量時）	Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）					
		電動機 定格出力	W	100					
		エアフィルタ		プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能					
	吹出ダクト接続口			前面（φ200mm フレキシブルダクト × 2 スポット接続）					
	新鮮空気取入口			新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）					
	運転調整			操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）					
	遠方発停用機能			遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）					
	加湿器			－（気化式加湿器取付可能）					
	防振装置・防音・断熱材			送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付					
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行	mm	640 × 800（+71）× 290					
	製品質量		kg	47					
	冷却装置	圧縮機 形式・台数		RMT5113SWE11 × 1					
		圧縮機 電動機出力	kW	0.6		0.8		0.9	
		空気熱交換器		アルミフィン＆銅チューブ式					
		冷媒制御器		電子膨張弁					
		冷媒封入量	kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］					
		冷凍機油封入量	ℓ	0.450（M-MB75）					
	送風装置	形式・台数		プロペラファン × 1					
		風量	m^3/min	冷：33，暖：33					
		電動機 定格出力	W	34					
	クランクケースヒータ		W	20					
	低外気温時冷房運転制御機能			室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)					
	除霜			マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式					
	防振・防音装置			圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付					
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管	mm	φ6.35（フレア接続）					
		ガス管		φ12.7（フレア接続）					
	排水口			〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個					
電気配線	電源配線サイズ（こう長）		mm^2	2.0 × 2本（13m）					
	漏電しゃ断器（高調波対応品）		A	30					
	開閉器容量（ヒューズ容量）			30（30）					
	アース線サイズ		mm^2	2.0以上（M5）					
	室内外ユニット接続配線		mm^2	2.0（φ1.6）× 3本					
設計圧力			MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26					
法定冷凍能力			トン	0.46（届出不要）		0.52（届出不要）		0.56（届出不要）	
IPコード				室内：IPXO，室外：IPX4					
保護装置				吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ					

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）

(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧100Pa）× 1台となります。］

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRZ-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDRZ565HK5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCZP565HK		FDRZ635HK5SA 室内：FDRZP635SA 室外：FDCZP635HK	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンパスパネル	サイレントパネル	キャンパスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-2AW	R-PNC-2AW	R-PNS-3AW	R-PNC-3AW
リモートコントローラ					RC-DX3B			
電源					単相 200V 50/60Hz			
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0 [1.3 ～ 5.6]		5.6 [1.4 ～ 6.3]	
		中間			2.3（中温：2.4）		2.6（中温：2.7）	
		最小中温			1.3		1.4	
	暖房能力	定格標準			5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）		6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）	
		中間			2.6		2.9	
		最大低温			5.3		5.8	
定格冷房時の顕熱比					0.74		0.87	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	8.7		9.6	
		暖房			7.3		8.0	
	始動電流（最大電流）				5（17）		5（18）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.59		1.76	
			中間		0.480（中温：0.414）		0.484（中温：0.410）	
			最小中温		0.200		0.195	
		暖房	定格標準		1.35（最小：0.270）		1.52（最小：0.270）	
			中間		0.455		0.475	
			最大低温		2.71		2.43	
	力率			%	冷：91，暖：92		冷：92，暖：95	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.14，中間：4.79		定格：3.18，中間：5.37	
		暖房			定格：4.15，中間：5.71		定格：4.14，中間：6.11	
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.2		5.7	
		(2006)			4.9		5.3	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：66，急：60，強：57，弱：53	P急：67，急：61，強：58，弱：54
		音圧レベル			P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：45，急：39，強：36，弱：32	P急：46，急：40，強：37，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61		冷：63，暖：64	
		音圧レベル			冷：49，暖：47		冷：49，暖：49	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	348 × 750 × 635	(348 ＋α) × 750 × 635 (6)	348 × 950 × 635	(348 ＋α) × 950 × 635 (6)
		パネル			20 × 1040 × 750	20 × 864 × 585	20 × 1240 × 750	20 ×1064 × 585
	製品質量			kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式			
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1（P63形：2）			
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8		P急：20，急：15，強：13，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）			
		電動機	定格出力	W	100		130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能			
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 2（P63形：3）スポット接続）			
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）			
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）			
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）			
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）			
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640 × 800（+71）× 290			
	製品質量			kg	47			
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1			
			電動機出力	kW	1.0		1.2	
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式			
		冷媒制御器			電子膨張弁			
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］			
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）			
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1			
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33		冷：38，暖：38	
		電動機	定格出力	W	34			
	クランクケースヒータ			W	20			
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(9)			
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式			
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付			
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）			
		ガス管			φ12.7（フレア接続）			
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個			
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0 × 2本（13m）			
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30			
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）			
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）			
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本			
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26			
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）		0.72（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4			
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ			

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）

(7) BEST計算用 室内送風機消費電力：P56形：0.07kW × 1台，P63形：0.1kW × 1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP56形：最大0.095kW（静圧100Pa）× 1台，P63形：最大0.140kW（静圧100Pa）× 1台となります。］

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRZ-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDRZ805HK5SA	
					室内：FDRZP805SA 室外：FDCZP805HK	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-3AW	R-PNC-3AW
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］	
		中間			3.2（中温：3.3）	
		最小中温			1.8	
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）	
		中間			3.6	
		最大低温			8.1	
定格冷房時の顕熱比					0.83	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	9.8	
		暖房			9.9	
	始動電流（最大電流）				5（20）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.94	
			中間		0.592（中温：0.467）	
			最小中温		0.269	
		暖房	定格標準		1.96（最小：0.416）	
			中間		0.661	
			最大低温		2.99	
	力率			%	冷：99，暖：99	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.66，中間：5.41	
		暖房			定格：4.08，中間：5.45	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.5	
		（2006）			5.2	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53
		音圧レベル			P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66	
		音圧レベル			冷：48，暖：48	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル使用：348×950×635，キャンバスパネル使用：（348＋α）×950×635 (6)	
		パネル			20×1240×750	20×1064×585
	製品質量			kg	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2	
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）	
		電動機	定格出力	W	130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×3 スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法 高さ×幅×奥行			mm	845×970×370	
	製品質量			kg	70	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1	
			電動機出力	kW	1.4	
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48	
		電動機	定格出力	W	86	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）	
		ガス管			φ15.88（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（17m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）	
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.14kW × 1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）× 1台となります。］
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDRZ-H〕

項目 ＼ セット形式				FDRZ405H5SA		FDRZ455H5SA		FDRZ505H5SA	
項目 ＼ 形式				室内：FDRZP565SA 室外：FDCZP405H		室内：FDRZP565SA 室外：FDCZP455H		室内：FDRZP565SA 室外：FDCZP505H	
吸込パネル				サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）				R-PNS-2AW	R-PNC-2AW	R-PNS-2AW	R-PNC-2AW	R-PNS-2AW	R-PNC-2AW
リモートコントローラ				RC-DX3B					
電源				三相　200V　50/60Hz					
(1)能力	冷房能力	定格	kW	3.6［1.3～4.0］		4.0［1.3～4.5］		4.5［1.3～5.0］	
		中間		1.7（中温：1.8）		1.8（中温：1.9）		2.1（中温：2.2）	
		最小中温		1.3		1.3		1.3	
	暖房能力	定格標準		4.0［1.0～4.5］（最小：1.0）		4.5［1.1～5.0］（最小：1.1）		5.0［1.2～5.6］（最小：1.2）	
		中間		1.8		2.1		2.3	
		最大低温		4.6		4.6		5.0	
定格冷房時の顕熱比				0.87		0.82		0.78	
(1)運転特性	運転電流	冷房	A	3.2		3.7		4.4	
		暖房		3.0		3.4		3.7	
	始動電流（最大電流）			5（13）		5（13）		5（13）	
	消費電力	冷房 定格	kW	0.940		1.11		1.34	
		冷房 中間		0.298（中温：0.238）		0.337（中温：0.268）		0.417（中温：0.347）	
		冷房 最小中温		0.179		0.179		0.179	
		暖房 定格標準		0.880（最小：0.194）		0.996（最小：0.219）		1.13（最小：0.238）	
		暖房 中間		0.322		0.367		0.396	
		暖房 最大低温		1.82		1.82		2.53	
	力率		%	冷：85，暖：85		冷：87，暖：85		冷：88，暖：88	
	エネルギー消費効率	冷房		定格：3.83，中間：5.70		定格：3.60，中間：5.34		定格：3.36，中間：5.04	
		暖房		定格：4.55，中間：5.59		定格：4.52，中間：5.72		定格：4.42，中間：5.81	
	通年エネルギー消費効率	(2015)		5.8		5.7		5.5	
		(2006)		5.5		5.4		5.2	
運転音	室内ユニット	パワーレベル	dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58
		音圧レベル		P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル		冷：58，暖：60		冷：59，暖：61		冷：60，暖：61	
		音圧レベル		冷：43，暖：45		冷：45，暖：45		冷：45，暖：46	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体	mm	サイレントパネル使用：348×750×635，キャンバスパネル使用：（348＋α）×750×635 (6)					
		パネル		20×1040×750	20×864×585	20×1040×750	20×864×585	20×1040×750	20×864×585
	製品質量		kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6
	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式					
	送風装置	形式・台数		シロッコファン×1					
		風量	m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8		P急：13，急：10，強：9，弱：8		P急：13，急：10，強：9，弱：8	
		機外静圧（標準風量時）	Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）					
		電動機 定格出力	W	100					
		エアフィルタ		プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能					
	吹出ダクト接続口			前面（φ200mm フレキシブルダクト×2スポット接続）					
	新鮮空気取入口			新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）					
	運転調整			操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）					
	遠方発停用機能			遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）					
	加湿器			－（気化式加湿器取付可能）					
	防振装置・防音・断熱材			送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付					
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行	mm	640×800（+71）×290					
	製品質量		kg	46					
	冷却装置	圧縮機 形式・台数		RMT5113SWE11×1					
		圧縮機 電動機出力	kW	0.6		0.8		0.9	
		空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式					
		冷媒制御器		電子膨張弁					
		冷媒封入量	kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］					
		冷凍機油封入量	ℓ	0.450（M-MB75）					
	送風装置	形式・台数		プロペラファン×1					
		風量	m^3/min	冷：33，暖：33					
		電動機 定格出力	W	34					
	クランクケースヒータ		W	20					
	低外気温時冷房運転制御機能			室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)					
	除霜			マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式					
	防振・防音装置			圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付					
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管	mm	φ6.35（フレア接続）					
		ガス管		φ12.7（フレア接続）					
	排水口			〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個					
電気配線	電源配線サイズ（こう長）		mm^2	2.0×3本（18m）					
	漏電しゃ断器（高調波対応品）		A	20					
	開閉器容量（ヒューズ容量）			30（20）					
	アース線サイズ		mm^2	2.0以上（M5）					
	室内外ユニット接続配線		mm^2	2.0（φ1.6）×3本					
設計圧力			MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26					
法定冷凍能力			トン	0.46（届出不要）		0.52（届出不要）		0.56（届出不要）	
IPコード				室内：IPX0，室外：IPX4					
保護装置				吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ					

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW×1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧100Pa）×1台となります。］
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDRZ-H〕

項目 ＼ セット形式					FDRZ565H5SA		FDRZ635H5SA	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP565SA 室外：FDCZP565H		室内：FDRZP635SA 室外：FDCZP635H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-2AW	R-PNC-2AW	R-PNS-3AW	R-PNC-3AW
リモートコントローラ					RC-DX3B			
電源					三相　200V　50/60Hz			
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］		5.6［1.4～6.3］	
		中間			2.3（中温：2.4）		2.6（中温：2.7）	
		最小中温			1.3		1.4	
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）		6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）	
		中間			2.6		2.9	
		最大低温			5.3		5.8	
定格冷房時の顕熱比					0.74		0.87	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.1		5.7	
		暖房			4.2		4.8	
	始動電流（最大電流）				5（13）		5（14）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.58		1.75	
			中間		0.475（中温：0.410）		0.486（中温：0.413）	
			最小中温		0.199		0.194	
		暖房	定格標準		1.34（最小：0.267）		1.51（最小：0.268）	
			中間		0.450		0.468	
			最大低温		2.70		2.42	
	力率			%	冷：89，暖：92		冷：89，暖：91	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.16，中間：4.84		定格：3.20，中間：5.35	
		暖房			定格：4.18，中間：5.78		定格：4.17，中間：6.20	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.3		5.8	
		（2006）			5.0		5.4	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：66，急：60，強：57，弱：53	P急：67，急：61，強：58，弱：54
		音圧レベル			P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：45，急：39，強：36，弱：32	P急：46，急：40，強：37，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61		冷：63，暖：64	
		音圧レベル			冷：49，暖：47		冷：49，暖：49	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	348×750×635	(348＋α)×750×635 (6)	348×950×635	(348＋α)×950×635 (6)
		パネル			20×1040×750	20×864×585	20×1240×750	20×1064×585
	製品質量			kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式			
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1（P63形：2）			
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8		P急：20，急：15，強：13，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）			
		電動機	定格出力	W	100		130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能			
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2（P63形：3）スポット接続）			
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）			
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）			
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）			
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）			
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290			
	製品質量			kg	46			
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1			
			電動機出力	kW	1.0		1.2	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式			
		冷媒制御器			電子膨張弁			
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］			
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）			
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1			
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33		冷：38，暖：38	
		電動機	定格出力	W	34			
	クランクケースヒータ			W	20			
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)			
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式			
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付			
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）			
		ガス管			φ12.7（フレア接続）			
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個			
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×3本（18m）			
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20			
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）			
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）			
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本			
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26			
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）		0.72（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4			
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ			

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）

(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.07kW×1台，P63形：0.1kW×1台［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP56形：最大0.095kW（静圧100Pa）×1台，P63形：最大0.140kW（静圧100Pa）×1台となります。］

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDRZ-H〕

項目 ＼ セット形式					FDRZ805H5SA	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP805SA 室外：FDCZP805H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-3AW	R-PNC-3AW
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］	
		中間			3.2（中温：3.3）	
		最小中温			1.8	
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）	
		中間			3.6	
		最大低温			8.1	
定格冷房時の顕熱比					0.83	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.0	
		暖房			6.2	
	始動電流（最大電流）				5（15）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.90	
			中間		0.582（中温：0.460）	
			最小中温		0.265	
		暖房	定格標準		1.92（最小：0.410）	
			中間		0.651	
			最大低温		2.97	
	力率			%	冷：91，暖：89	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.74，中間：5.50	
		暖房			定格：4.17，中間：5.53	
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.6	
		(2006)			5.3	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53
		音圧レベル			P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66	
		音圧レベル			冷：48，暖：48	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル使用：348×950×635，キャンバスパネル使用：（348＋α）×950×635 (6)	
		パネル			20×1240×750	20×1064×585
	製品質量			kg	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2	
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）	
		電動機	定格出力	W	130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×3スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370	
	製品質量			kg	70	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1	
			電動機出力	kW	1.4	
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48	
		電動機	定格出力	W	86	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）	
		ガス管			φ15.88（フレア接続）	
	排水口				［室内］VP25の排水管の接続可能［室外］内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（27m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）	
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）

(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.14kW×1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）×1台となります。］

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDRZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDRZ1125H5SA 室内：FDRZP1125SA 室外：FDCZP1125H		FDRZ1405H5SA 室内：FDRZP1605SA 室外：FDCZP1405H		FDRZ1605H5SA 室内：FDRZP1605SA 室外：FDCZP1605H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-4AW	R-PNC-4AW	R-PNS-4AW	R-PNC-4AW	R-PNS-4AW	R-PNC-4AW
リモートコントローラ					RC-DX3B					
電源					三相　200V　50/60Hz					
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［2.7～11.2］		12.5［3.2～14.0］		14.0［3.7～16.0］	
		中間			4.5（中温：4.5）		5.7（中温：5.8）		6.3（中温：6.4）	
		最小中温			2.7		3.2		3.7	
	暖房能力	定格標準			11.2［2.9～14.3］（最小：2.9）		14.0［3.5～18.3］（最小：3.5）		16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）	
		中間			5.1		6.3		7.2	
		最大低温			13.5		14.5		14.5	
定格冷房時の顕熱比					0.84		0.77		0.79	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.4		11.2		13.0	
		暖房			8.4		12.0		13.1	
	始動電流（最大電流）				5（25）		5（26）		5（27）	
	消費電力	冷房	定格	kW	2.44		3.70		4.28	
			中間		0.766（中温：0.680）		1.05（中温：0.940）		1.20（中温：1.05）	
			最小中温		0.350		0.445		0.505	
		暖房	定格標準		2.75（最小：0.541）		3.95（最小：0.705）		4.32（最小：0.830）	
			中間		0.932		1.23		1.45	
			最大低温		5.45		6.04		6.10	
	力率			%	冷：95，暖：95		冷：95，暖：95		冷：95，暖：95	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.10，中間：5.87		定格：3.38，中間：5.43		定格：3.27，中間：5.25	
		暖房			定格：4.07，中間：5.47		定格：3.54，中間：5.12		定格：3.70，中間：4.97	
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.6		5.1		5.0	
		(2006)			5.4		4.9		4.8	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：65，強：62，弱：56	P急：71，急：66，強：63，弱：57	P急：71，急：67，強：62，弱：57	P急：72，急：68，強：63，弱：58	P急：74，急：68，強：63，弱：58	P急：75，急：69，強：64，弱：59
		音圧レベル			P急：49，急：44，強：41，弱：35	P急：50，急：45，強：42，弱：36	P急：50，急：46，強：41，弱：36	P急：51，急：47，強：42，弱：37	P急：53，急：47，強：42，弱：37	P急：54，急：48，強：43，弱：38
	室外ユニット	パワーレベル			冷：66，暖：66		冷：67，暖：69		冷：68，暖：70	
		音圧レベル			冷：49，暖：50		冷：50，暖：52		冷：52，暖：53	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル使用：348×1368×738，キャンバスパネル使用：（348＋α）×1368×738 (6)					
		パネル			20×1658×850	20×1484×585	20×1658×850	20×1484×585	20×1658×850	20×1484×585
	製品質量			kg	本体：54，パネル：17	本体：54，パネル：13.5	本体：54，パネル：17	本体：54，パネル：13.5	本体：54，パネル：17	本体：54，パネル：13.5
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式					
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×3					
		風量		m^3/min	P急：36，急：28，強：25，弱：19		P急：39，急：32，強：25，弱：20		P急：48，急：35，強：28，弱：22	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）					
		電動機	定格出力	W	100+130		100+200			
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能					
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×4 スポット接続）					
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）					
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）					
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）					
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）					
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付					
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505×970×370					
	製品質量			kg	115					
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2×1					
			電動機出力	kW	2.0		2.7		3.4	
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式					
		冷媒制御器			電子膨張弁					
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［配管30m分封入済］					
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）					
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2					
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92				冷：92，暖：100	
		電動機	定格出力	W	86×2					
	クランクケースヒータ			W	20					
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)					
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式					
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付					
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）					
		ガス管			φ15.88（フレア接続）					
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個					
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（26m）				5.5×3本（25m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）開閉器容量（ヒューズ容量）			A	40 60（40）					
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）					
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）					
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26					
法定冷凍能力				トン	1.04（届出不要）		1.39（届出不要）		1.62（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4					
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ					

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）

(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.22kW×1台，P140形：0.26kW×1台，P160形：0.40kW×1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP112形：最大0.30kW（静圧100Pa）×1台，P140形：最大0.36kW（静圧100Pa）×1台，P160形：最大0.44kW（静圧100Pa）×1台となります。］

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P112用）および共用タイプ（P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDRZ-HKP〕

項目 ＼ セット形式					FDRZ805HKP5SA	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP565SA × 2台 室外：FDCZP805HK	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-2AW × 2枚	R-PNC-2AW × 2枚
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8 ～8.0］	
		中間			3.2（中温：3.3）	
		最小中温			1.8	
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1 ～10.0］（最小：2.1）	
		中間			3.6	
		最大低温			8.1	
定格冷房時の顕熱比					0.88	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	9.4	
		暖房			9.5	
	始動電流（最大電流）				5（20）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.86	
			中間		0.589（中温：0.470）	
			最小中温		0.257	
		暖房	定格標準		1.88（最小：0.423）	
			中間		0.671	
			最大低温		2.99	
	力率			%	冷：99，暖：99	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.82，中間：5.43	
		暖房			定格：4.26，中間：5.37	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.5	
		（2006）			5.2	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58
		音圧レベル			P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66	
		音圧レベル			冷：48，暖：48	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル使用：348 × 750 × 635，キャンバスパネル使用：（348 ＋α）× 750 × 635 (6)	
		パネル			20 × 1040 × 750	20 × 864 × 585
	製品質量			kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）	
		電動機	定格出力	W	100	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 2スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845 × 970 × 370	
	製品質量			kg	70	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1 × 1	
			電動機出力	kW	1.4	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48	
		電動機	定格出力	W	86	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 2本（17m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）	
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 2台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧100Pa）× 2台となります。］
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDRZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDRZ805HP5SA		FDRZ1125HP5SA	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP565SA × 2台 室外：FDCZP805H		室内：FDRZP635SA × 2台 室外：FDCZP1125H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-2AW × 2枚	R-PNC-2AW × 2枚	R-PNS-3AW × 2枚	R-PNC-3AW × 2枚
リモートコントローラ					RC-DX3B			
電源					三相　200V　50/60Hz			
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］		10.0［2.7～11.2］	
		中間			3.2（中温：3.3）		4.5（中温：4.6）	
		最小中温			1.8		2.7	
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）		11.2［2.9～14.3］（最小：2.9）	
		中間			3.6		5.1	
		最大低温			8.1		13.0	
定格冷房時の顕熱比					0.88		0.93	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.8		7.4	
		暖房			5.9		7.5	
	始動電流（最大電流）				5（15）		5（25）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.83		2.45	
			中間		0.580（中温：0.462）		0.730（中温：0.600）	
			最小中温		0.252		0.360	
		暖房	定格標準		1.84　（最小：0.414）		2.51　（最小：0.535）	
			中間		0.660		0.905	
			最大低温		2.97		5.10	
	力率			%	冷：91，暖：90		冷：96，暖：97	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.88，中間：5.52		定格：4.08，中間：6.16	
		暖房			定格：4.35，中間：5.45		定格：4.46，中間：5.64	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6		5.9	
		（2006）			5.3		5.6	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：66，急：60，強：57，弱：53	P急：67，急：61，強：58，弱：54
		音圧レベル			P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：45，急：39，強：36，弱：32	P急：46，急：40，強：37，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66		冷：66，暖：66	
		音圧レベル			冷：48，暖：48		冷：49，暖：50	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル使用：348×750（P63形：950）×635，キャンバスパネル使用：（348＋α）×750（P63形：950）×635 (6)			
		パネル			20×1040×750	20×864×585	20×1240×750	20×1064×585
	製品質量			kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式			
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1		シロッコファン×2	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8		P急：20，急：15，強：13，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）			
		電動機	定格出力	W	100		130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能			
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2 スポット接続）		前面（φ200mm フレキシブルダクト×3 スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）			
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）			
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）			
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）			
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370		1505×970×370	
	製品質量			kg	70		115	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1		RMT5126SWE2×1	
			電動機出力	kW	1.4		2.0	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式			
		冷媒制御器			電子膨張弁			
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］		4.2（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）		0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		プロペラファン×2	
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48		冷：92，暖：92	
		電動機	定格出力	W	86		86×2	
	クランクケースヒータ			W	20			
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)			
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式			
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付			
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）			
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）			
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個			
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（27m）		5.5×3本（26m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		40	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		60（40）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本		2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26			
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）		1.04（届出不要）	
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4		室内：IPX0，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ			

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）

(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：P80形：0.07kW × 2台，P112形：0.1kW × 2台　［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP80形：最大0.095kW（静圧100Pa）× 2台，P112形：最大0.140kW（静圧100Pa）× 2台となります。］

(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(9) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(10) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(12) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDRZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDRZ1405HP5SA		FDRZ1605HP5SA	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP805SA × 2台 室外：FDCZP1405H		室内：FDRZP805SA × 2台 室外：FDCZP1605H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-3AW × 2枚	R-PNC-3AW × 2枚	R-PNS-3AW × 2枚	R-PNC-3AW × 2枚
リモートコントローラ					RC-DX3B			
電源					三相 200V 50/60Hz			
(1)能力	冷房能力	定格		kW	12.5［3.2 ～ 14.0］		14.0［3.5 ～ 16.0］	
		中間			5.7（中温：5.8）		6.3（中温：6.4）	
		最小中温			3.2		3.5	
	暖房能力	定格標準			14.0［3.5 ～ 18.3］（最小：3.5）		16.0［4.0 ～ 20.3］（最小：4.0）	
		中間			6.3		7.2	
		最大低温			15.0		15.0	
定格冷房時の顕熱比					0.89		0.83	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	10.0		12.5	
		暖房			10.3		12.8	
	始動電流（最大電流）				5（27）			
	消費電力	冷房	定格	kW	3.30		4.10	
			中間		0.935（中温：0.815）		1.08（中温：0.955）	
			最小中温		0.415		0.450	
		暖房	定格標準		3.39（最小：0.655）		4.21（最小：0.770）	
			中間		1.27		1.34	
			最大低温		6.20		6.20	
	力率			%	冷：95，暖：95		冷：95，暖：95	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.79，中間：6.10		定格：3.41，中間：5.83	
		暖房			定格：4.13，中間：4.96		定格：3.80，中間：5.37	
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.5		5.4	
		(2006)			5.2		5.1	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53
		音圧レベル			P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32	P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：69		冷：68，暖：70	
		音圧レベル			冷：50，暖：52		冷：52，暖：53	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル使用：348 × 950 × 635，キャンバスパネル使用：（348＋α）× 950 × 635 (6)			
		パネル			20 × 1240 × 750	20 × 1064 × 585	20 × 1240 × 750	20 × 1064 × 585
	製品質量			kg	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式			
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2			
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10			
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）			
		電動機	定格出力	W	130			
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能			
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 3 スポット接続）			
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）			
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）			
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）			
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）			
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505 × 970 × 370			
	製品質量			kg	115			
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2 × 1			
			電動機出力	kW	2.7		3.4	
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式			
		冷媒制御器			電子膨張弁			
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］			
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）			
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2			
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92		冷：92，暖：100	
		電動機	定格出力	W	86 × 2			
	クランクケースヒータ			W	20			
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)			
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式			
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付			
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）			
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）			
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個			
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5 × 3本（25m）			
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	40			
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（40）			
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）			
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）			
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26			
法定冷凍能力				トン	1.39（届出不要）		1.62（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4			
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ			

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）
(7) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.14kW × 2台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）× 2台となります。］
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）トリプル形（室内ユニット：3 台，室外ユニット：1 台）〔FDRZ-HT〕

項目 ＼ セット形式					FDRZ1605HT5SA	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP565SA × 3台 室外：FDCZP1605H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-2AW × 3枚	R-PNC-2AW × 3枚
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	14.0［3.5 ～ 16.0］	
		中間			6.3（中温：6.5）	
		最小中温			3.5	
	暖房能力	定格標準			16.0［4.0 ～ 20.3］（最小：4.0）	
		中間			7.2	
		最大低温			15.0	
定格冷房時の顕熱比					0.76	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	13.3	
		暖房			13.2	
	始動電流（最大電流）				5（27）	
	消費電力	冷房	定格	kW	4.38	
			中間		1.19（中温：1.05 ）	
			最小中温		0.490	
		暖房	定格標準		4.34（最小：0.770）	
			中間		1.39	
			最大低温		6.20	
	力率			%	冷：95，暖：95	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.20，中間：5.29	
		暖房			定格：3.69，中間：5.18	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.2	
		（2006）			4.9	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58
		音圧レベル			P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：68，暖：70	
		音圧レベル			冷：52，暖：53	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル使用：348 × 750× 635，キャンバスパネル使用：（348＋α）× 750 × 635 (6)	
		パネル			20 × 1040 × 750	20 × 864 × 585
	製品質量			kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）	
		電動機	定格出力	W	100	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 2 スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505 × 970 × 370	
	製品質量			kg	115	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2 × 1	
			電動機出力	kW	3.4	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷：92，暖：100	
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52 （フレア）	
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5 × 3本（25m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	40	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（40）	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.62（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 3台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧100Pa）× 3台となります。］
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TB1G　　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1G，DIS-WB1Gを各1セット
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

■天井リターン設置仕様（オプション）
冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRZ-HK〕

PJG000Z603

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDRZ405HK5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCZP405HK	FDRZ455HK5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCZP455HK	FDRZ505HK5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCZP505HK
天井リターンキット					R-FL-2A		
リモートコントローラ					RC-DX3B		
電源					単相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.3～4.0］	4.0［1.3～4.5］	4.5［1.3～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.3	1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.0）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.1）	5.0［1.2～5.6］（最小：1.2）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.6	5.0
定格冷房時の顕熱比					0.87	0.82	0.78
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.5	6.5	7.8
		暖房			5.1	5.7	6.3
	始動電流（最大電流）				5（17）	5（17）	5（17）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.950	1.12	1.35
			中間		0.300（中温：0.240）	0.340（中温：0.270）	0.420（中温：0.350）
			最小中温		0.180	0.180	0.180
		暖房	定格標準		0.890（最小：0.195）	1.00（最小：0.220）	1.14（最小：0.240）
			中間		0.325	0.370	0.400
			最大低温		1.83	1.83	2.54
	力率			%	冷：86，暖：87	冷：86，暖：88	冷：87，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.79，中間：5.67	定格：3.57，中間：5.29	定格：3.33，中間：5.00
		暖房			定格：4.49，中間：5.54	定格：4.50，中間：5.68	定格：4.39，中間：5.75
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.7	5.6	5.4
		(2006)			5.4	5.3	5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：70，急：66，強：63，弱：61
		音圧レベル			P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：49，急：45，強：42，弱：40
	室外ユニット	パワーレベル			冷：58，暖：60	冷：59，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：43，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	(280 +37) × 750 × 635		
	製品質量			kg	本体：29，フィルタキット：2.1		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1		
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：13，急：10，強：9，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：35，最小：15，最大：95（リモコンから設定）(5)		
		電動機	定格出力	W	100		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2スポット接続）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(8)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×2本（13m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）開閉器容量（ヒューズ容量）			A	30 30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.46（届出不要）	0.52（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧95Pa）× 1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が−5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRZ-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDRZ565HK5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCZP565HK	FDRZ635HK5SA 室内：FDRZP635SA 室外：FDCZP635HK
天井リターンキット					R-FL-2A	R-FL-3A
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.4～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.3	5.8
定格冷房時の顕熱比					0.74	0.87
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	8.7	9.6
		暖房			7.3	8.0
	始動電流（最大電流）				5（17）	5（18）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.59	1.76
			中間		0.480（中温：0.414）	0.484（中温：0.410）
			最小中温		0.200	0.195
		暖房	定格標準		1.35（最小：0.270）	1.52（最小：0.270）
			中間		0.455	0.475
			最大低温		2.71	2.43
	力率			%	冷：91，暖：92	冷：92，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.14，中間：4.79	定格：3.18，中間：5.37
		暖房			定格：4.15，中間：5.71	定格：4.14，中間：6.11
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.2	5.7
		(2006)			4.9	5.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：71，急：66，強：63，弱：59
		音圧レベル			P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：50，急：45，強：42，弱：38
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	(280＋37)×750×635	(280＋37)×950×635
	製品質量			kg	本体：29，フィルタキット：2.1	本体：34，フィルタキット：2.6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1（P63形：2）	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：20，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：35，最小：15，最大：95（リモコンから設定）(5)	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	100	130
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2　(P63形：3) スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(8)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×2本（13m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P56形

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	60	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

P63形

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.07kW×1台，P63形：0.1kW×1台［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP56形：最大0.095kW（静圧95Pa）×1台，P63形：最大0.140kW（静圧100Pa）×1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が−5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRZ-HK〕

項目 ＼ セット形式					FDRZ805HK5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP805SA 室外：FDCZP805HK
天井リターンキット					R-FL-3A
リモートコントローラ					RC-DX3B
電源					単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間			3.6
		最大低温			8.1
定格冷房時の顕熱比					0.83
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	9.8
		暖房			9.9
	始動電流（最大電流）				5（20）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.94
			中間		0.592（中温：0.467）
			最小中温		0.269
		暖房	定格標準		1.96（最小：0.416）
			中間		0.661
			最大低温		2.99
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.66，中間：5.41
		暖房			定格：4.08，中間：5.45
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.5
		（2006）			5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：74，急：70，強：66，弱：58
		音圧レベル			P急：53，急：49，強：45，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	（280＋37）×950×635
	製品質量			kg	本体：34，フィルタキット：2.6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	130
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×3 スポット接続）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(8)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（17m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	30 30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.14kW×1台［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）×1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDRZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDRZ405H5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCZP405H	FDRZ455H5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCZP455H	FDRZ505H5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCZP505H
天井リターンキット					R-FL-2A		
リモートコントローラ					RC-DX3B		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.3～4.0］	4.0［1.3～4.5］	4.5［1.3～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.3	1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.0）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.1）	5.0［1.2～5.6］（最小：1.2）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.6	5.0
定格冷房時の顕熱比					0.87	0.82	0.78
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	3.2	3.7	4.4
		暖房			3.0	3.4	3.7
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（13）	5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.940	1.11	1.34
			中間		0.298（中温：0.238）	0.337（中温：0.268）	0.417（中温：0.347）
			最小中温		0.179	0.179	0.179
		暖房	定格標準		0.880（最小：0.194）	0.996（最小：0.219）	1.13（最小：0.238）
			中間		0.322	0.367	0.396
			最大低温		1.82	1.82	2.53
	力率			%	冷：85，暖：85	冷：87，暖：85	冷：88，暖：88
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.83，中間：5.70	定格：3.60，中間：5.34	定格：3.36，中間：5.04
		暖房			定格：4.55，中間：5.59	定格：4.52，中間：5.72	定格：4.42，中間：5.81
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.8	5.7	5.5
		(2006)			5.5	5.4	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：70，急：66，強：63，弱：61
		音圧レベル			P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：49，急：45，強：42，弱：40
	室外ユニット	パワーレベル			冷：58，暖：60	冷：59，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：43，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	（280＋37）×750×635		
	製品質量			kg	本体：29，フィルタキット：2.1		
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1		
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：13，急：10，強：9，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：35，最小：15，最大：95（リモコンから設定）(5)		
		電動機	定格出力	W	100		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2スポット接続）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(8)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×3本（18m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.46（届出不要）	0.52（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW×1台［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧95Pa）×1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDRZ-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式						FDRZ565H5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCZP565H	FDRZ635H5SA 室内：FDRZP635SA 室外：FDCZP635H
天井リターンキット						R-FL-2A	R-FL-3A
リモートコントローラ						RC-DX3B	
電源						三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格			kW	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.4～6.3］
		中間				2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温				1.3	1.4
	暖房能力	定格標準				5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間				2.6	2.9
		最大低温				5.3	5.8
定格冷房時の顕熱比						0.74	0.87
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	5.1	5.7
		暖房				4.2	4.8
	始動電流（最大電流）					5（13）	5（14）
	消費電力	冷房	定格		kW	1.58	1.75
			中間			0.475（中温：0.410）	0.486（中温：0.413）
			最小中温			0.199	0.194
		暖房	定格標準			1.34（最小：0.267）	1.51（最小：0.268）
			中間			0.450	0.468
			最大低温			2.70	2.42
	力率				%	冷：89，暖：92	冷：89，暖：91
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.16，中間：4.84	定格：3.20，中間：5.35
		暖房				定格：4.18，中間：5.78	定格：4.17，中間：6.20
	通年エネルギー消費効率	(2015)				5.3	5.8
		(2006)				5.0	5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：71，急：66，強：63，弱：59
		音圧レベル				P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：50，急：45，強：42，弱：38
	室外ユニット	パワーレベル				冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル				冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	(280＋37)×750×635	(280＋37)×950×635
	製品質量				kg	本体：29，フィルタキット：2.1	本体：34，フィルタキット：2.6
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数				シロッコファン×1（P63形：2）	
		風量			m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：20，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）			Pa	定格：35，最小：15，最大：95（リモコンから設定）(5)	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力		W	100	130
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口					前面（φ200mm フレキシブルダクト×2　(P63形：3) スポット接続）	
	新鮮空気取入口					新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器					ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	640×800（+71）×290	
	製品質量				kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5113SWE11×1	
			電動機出力		kW	1.0	1.2
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器				電子膨張弁	
		冷媒封入量			kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量			ℓ	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×1	
		風量			m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力		W	34	
	クランクケースヒータ				W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(8)	
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管			mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管				φ12.7（フレア接続）	
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	2.0×3本（18m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）（開閉器容量（ヒューズ容量））				A	20 30（20）	
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力					トン	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置						吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P56形

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

P63形

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.07kW×1台，P63形：0.1kW×1台［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP56形：最大0.095kW（静圧95Pa）×1台，P63形：最大0.140kW（静圧100Pa）×1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が−5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDRZ-H〕

項目 ＼ セット形式						FDRZ805H5SA
項目 ＼ 形式						室内：FDRZP805SA 室外：FDCZP805H
天井リターンキット						R-FL-3A
リモートコントローラ						RC-DX3B
電源						三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	7.1［1.8～8.0］
		中間				3.2（中温：3.3）
		最小中温				1.8
	暖房能力	定格標準				8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間				3.6
		最大低温				8.1
定格冷房時の顕熱比						0.83
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	6.0
		暖房				6.2
	始動電流（最大電流）					5（15）
	消費電力	冷房	定格		kW	1.90
			中間			0.582（中温：0.460）
			最小中温			0.265
		暖房	定格標準			1.92（最小：0.410）
			中間			0.651
			最大低温			2.97
	力率				%	冷：91，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.74，中間：5.50
		暖房				定格：4.17，中間：5.53
	通年エネルギー消費効率	(2015)				5.6
		(2006)				5.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：74，急：70，強：66，弱：58
		音圧レベル				P急：53，急：49，強：45，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル				冷：65，暖：66
		音圧レベル				冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	（280＋37）×950×635
	製品質量				kg	本体：34，フィルタキット：2.6
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				シロッコファン×2
		風量			m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10
		機外静圧（標準風量時）			Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力		W	130
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口					前面（φ200mm フレキシブルダクト×3Pスポット接続）
	新鮮空気取入口					新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	845×970×370
	製品質量				kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5118SWE1×1
			電動機出力		kW	1.4
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×1
		風量			m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力		W	86
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(8)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管			mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管				φ15.88（フレア接続）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	3.5×3本（27m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）（高調波対応品）				A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（20）
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	0.74（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.14kW×1台［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）×1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDRZ-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDRZ1125H5SA 室内：FDRZP1125SA 室外：FDCZP1125H	FDRZ1405H5SA 室内：FDRZP1605SA 室外：FDCZP1405H	FDRZ1605H5SA 室内：FDRZP1605SA 室外：FDCZP1605H
天井リターンキット					R-FL-4A		
リモートコントローラ					RC-DX3B		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［2.7～11.2］	12.5［3.2～14.0］	14.0［3.7～16.0］
		中間			4.5（中温：4.5）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			2.7	3.2	3.7
	暖房能力	定格標準			11.2［2.9～14.3］（最小：2.9）	14.0［3.5～18.3］（最小：3.5）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			13.5	14.5	14.5
定格冷房時の顕熱比					0.84	0.77	0.79
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.4	11.2	13.0
		暖房			8.4	12.0	13.1
	始動電流（最大電流）				5（25）	5（26）	5（27）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.44	3.70	4.28
			中間		0.766（中温：0.680）	1.05（中温：0.940）	1.20（中温：1.05）
			最小中温		0.350	0.445	0.505
		暖房	定格標準		2.75（最小：0.541）	3.95（最小：0.705）	4.32（最小：0.830）
			中間		0.932	1.23	1.45
			最大低温		5.45	6.04	6.10
	力率			%	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.10，中間：5.87	定格：3.38，中間：5.43	定格：3.27，中間：5.25
		暖房			定格：4.07，中間：5.47	定格：3.54，中間：5.12	定格：3.70，中間：4.97
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.6	5.1	5.0
		(2006)			5.4	4.9	4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：77，急：72，強：68，弱：62	P急：78，急：74，強：68，弱：63	P急：80，急：75，強：69，弱：64
		音圧レベル			P急：56，急：51，強：47，弱：41	P急：57，急：53，強：47，弱：42	P急：59，急：54，強：48，弱：43
	室外ユニット	パワーレベル			冷：66，暖：66	冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：49，暖：50	冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	（280＋37）×1368×738		
	製品質量			kg	本体：54，フィルタキット：3.3		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×3		
		風量		m^3/min	P急：36，急：28，強：25，弱：19	P急：39，急：32，強：25，弱：20	P急：48，急：35，強：28，弱：22
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)		
		電動機	定格出力	W	100＋130	100＋200	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×4スポット接続）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505×970×370		
	製品質量			kg	115		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2×1		
			電動機出力	kW	2.0	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2		
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92		冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86×2		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(8)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管			φ15.88（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（26m）		5.5×3本（25m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）開閉器容量（ヒューズ容量）			A	40		
					60（40）		
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	1.04（届出不要）	1.39（届出不要）	1.62（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.22kW × 1台，P140形：0.26kW×1台，P160形：0.40kW×1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP112形：最大0.30kW（静圧100Pa）× 1台，P140形：最大0.36kW（静圧100Pa）× 1台，P160形：最大0.44kW（静圧100Pa）× 1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P112用）および共用タイプ（P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDRZ-HKP〕

項目 ＼ セット形式						FDRZ805HKP5SA
項目 ＼ 形式						室内：FDRZP565SA × 2台 室外：FDCZP805HK
天井リターンキット						R-FL-2A
リモートコントローラ						RC-DX3B
電源						単相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	7.1［1.8 ～8.0］
		中間				3.2（中温：3.3）
		最小中温				1.8
	暖房能力	定格標準				8.0［2.1 ～10.0］（最小：2.1）
		中間				3.6
		最大低温				8.1
定格冷房時の顕熱比						0.88
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	9.4
		暖房				9.5
	始動電流（最大電流）					5（20）
	消費電力	冷房	定格		kW	1.86
			中間			0.589（中温：0.470）
			最小中温			0.257
		暖房	定格標準			1.88 （最小：0.423）
			中間			0.671
			最大低温			2.99
	力率				%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.82，中間：5.43
		暖房				定格：4.26，中間：5.37
	通年エネルギー消費効率	（2015）				5.5
		（2006）				5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61
		音圧レベル				P急：49，急：45，強：42，弱：40
	室外ユニット	パワーレベル				冷：65，暖：66
		音圧レベル				冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	（280＋37）×750×635
	製品質量				kg	本体：29，フィルタキット：2.1
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				シロッコファン×1
		風量			m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8
		機外静圧（標準風量時）			Pa	定格：35，最小：15，最大：95（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力		W	100
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口					前面（φ200mm フレキシブルダクト×2スポット接続）
	新鮮空気取入口					新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	845×970×370
	製品質量				kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5118SWE1×1
			電動機出力		kW	1.4
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×1
		風量			m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力		W	86
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(10)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管			mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52， 室外接続：φ9.52 （フレア）
		ガス管				室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	3.5×3本（17m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）				A	30 30（30）
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	0.74（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.07kW × 2台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧95Pa）× 2台となります。］

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDRZ-HP〕

項目 ＼ セット形式						FDRZ805HP5SA	FDRZ1125HP5SA
項目 ＼ 形式						室内：FDRZP565SA × 2台 室外：FDCZP805H	室内：FDRZP635SA × 2台 室外：FDCZP1125H
天井リターンキット						R-FL-2A	R-FL-3A
リモートコントローラ						RC-DX3B	
電源						三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格			kW	7.1 [1.8 ～ 8.0]	10.0 [2.7 ～ 11.2]
		中間				3.2（中温：3.3）	4.5（中温：4.6）
		最小中温				1.8	2.7
	暖房能力	定格標準				8.0 [2.1 ～ 10.0]（最小：2.1）	11.2 [2.9 ～ 14.3]（最小：2.9）
		中間				3.6	5.1
		最大低温				8.1	13.0
定格冷房時の顕熱比						0.88	0.93
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	5.8	7.4
		暖房				5.9	7.5
	始動電流（最大電流）					5（15）	5（25）
	消費電力	冷房	定格		kW	1.83	2.45
			中間			0.580（中温：0.462）	0.730（中温：0.600）
			最小中温			0.252	0.360
		暖房	定格標準			1.84 （最小：0.414）	2.51 （最小：0.535）
			中間			0.660	0.905
			最大低温			2.97	5.10
	力率				%	冷：91，暖：90	冷：96，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.88，中間：5.52	定格：4.08，中間：6.16
		暖房				定格：4.35，中間：5.45	定格：4.46，中間：5.64
	通年エネルギー消費効率	（2015）				5.6	5.9
		（2006）				5.3	5.6
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：71，急：66，強：63，弱：59
		音圧レベル				P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：50，急：45，強：42，弱：38
	室外ユニット	パワーレベル				冷：65，暖：66	冷：66，暖：66
		音圧レベル				冷：48，暖：48	冷：49，暖：50
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	（280 +37）×750×635	（280 +37）×950×635
	製品質量				kg	本体：29，フィルタキット：2.1	本体：34，フィルタキット：2.6
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数				シロッコファン×1	シロッコファン×2
		風量			m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：20，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）			Pa	定格：35，最小：15，最大：95（リモコンから設定）(5)	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力		W	100	130
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口					前面（φ200mm フレキシブルダクト×2 スポット接続）	前面（φ200mm フレキシブルダクト×3 スポット接続）
	新鮮空気取入口					新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器					ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	845 × 970 × 370	1505 × 970 × 370
	製品質量				kg	70	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5118SWE1 × 1	RMT5126SWE2 × 1
			電動機出力		kW	1.4	2.0
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器				電子膨張弁	
		冷媒封入量			kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			ℓ	0.675（M-MB75）	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×1	プロペラファン×2
		風量			m^3/min	冷：52，暖：48	冷：92，暖：92
		電動機	定格出力		W	86	86 × 2
	クランクケースヒータ				W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(10)	
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管			mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52 （フレア）	
		ガス管				室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	3.5 × 3本（27m）	5.5 × 3本（26m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）開閉器容量（ヒューズ容量）				A	20	40
						30（20）	60（40）
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）	φ3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力					トン	0.74（届出不要）	1.04（届出不要）
IPコード						室内：IPX0，室外：IPX4	室内：IPX0，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P80形

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

P112形

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：P80形：0.07kW × 2台，P112形：0.1kW× 2台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP80形：最大0.095kW（静圧95Pa）× 2台，P112形：最大0.140kW（静圧100Pa）× 2台となります。］

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDRZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDRZ1405HP5SA	FDRZ1605HP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP805SA × 2台 室外：FDCZP1405H	室内：FDRZP805SA × 2台 室外：FDCZP1605H
天井リターンキット					R-FL-3A	
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	12.5 [3.2～14.0]	14.0 [3.5 ～ 16.0]
		中間			5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.2	3.5
	暖房能力	定格標準			14.0 [3.5 ～ 18.3]（最小：3.5）	16.0 [4.0 ～ 20.3]（最小：4.0）
		中間			6.3	7.2
		最大低温			15.0	15.0
定格冷房時の顕熱比					0.89	0.83
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	10.0	12.5
		暖房			10.3	12.8
	始動電流（最大電流）				5（27）	
	消費電力	冷房	定格	kW	3.30	4.10
			中間		0.935（中温：0.815）	1.08（中温：0.955 ）
			最小中温		0.415	0.450
		暖房	定格標準		3.39（最小：0.655）	4.21（最小：0.770）
			中間		1.27	1.34
			最大低温		6.20	6.20
	力率			%	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.79，中間：6.10	定格：3.41，中間：5.83
		暖房			定格：4.13，中間：4.96	定格：3.80，中間：5.37
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.5	5.4
		(2006)			5.2	5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：74，急：70，強：66，弱：58	
		音圧レベル			P急：53，急：49，強：45，弱：37	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	（280 +37）× 950 × 635	
	製品質量			kg	本体：34，フィルタキット：2.6	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2	
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)	
		電動機	定格出力	W	130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 3 スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm, 背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505 × 970 × 370	
	製品質量			kg	115	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2 × 1	
			電動機出力	kW	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92	冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(10)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52 （フレア），分岐管：φ9.52， 主管：φ9.52， 室外接続：φ9.52 （フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5 × 3本（25m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	40 60（40）	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.39（届出不要）	1.62（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.14kW × 2台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）× 2台となります。］

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）トリプル形（室内ユニット：3台，室外ユニット：1台）〔FDRZ-HT〕

項目 ＼ セット形式					FDRZ1605HT5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP565SA × 3台 室外：FDCZP1605H
天井リターンキット					R-FL-2A
リモートコントローラ					RC-DX3B
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	14.0［3.5～16.0］
		中間			6.3（中温：6.5）
		最小中温			3.5
	暖房能力	定格標準			16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			7.2
		最大低温			15.0
定格冷房時の顕熱比					0.76
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	13.3
		暖房			13.2
	始動電流（最大電流）				5（27）
	消費電力	冷房	定格	kW	4.38
			中間		1.19（中温：1.05）
			最小中温		0.490
		暖房	定格標準		4.34（最小：0.770）
			中間		1.39
			最大低温		6.20
	力率			%	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.20，中間：5.29
		暖房			定格：3.69，中間：5.18
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.2
		（2006）			4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61
		音圧レベル			P急：49，急：45，強：42，弱：40
	室外ユニット	パワーレベル			冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	(280＋37)×750×635
	製品質量			kg	本体：29，フィルタキット：2.1
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：35，最小：15，最大：95（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	100
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2 スポット接続）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505×970×370
	製品質量			kg	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2×1
			電動機出力	kW	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2
		風量		m^3/min	冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86×2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(10)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（25m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	40 60（40）
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.62（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 3台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧95Pa）× 3台となります。］

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TA1G　　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1Gを2セット

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(e) 高静圧ダクト形（FDUZ）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDUZ-HK〕

PJG000Z610 A

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDUZ505HK5SA 室内：FDUZP565SA 室外：FDCZP505HK	FDUZ565HK5SA 室内：FDUZP565SA 室外：FDCZP565HK	FDUZ635HK5SA 室内：FDUZP635SA 室外：FDCZP635HK
リモートコントローラ					RC-DX3B		
電源					単相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	4.5 [1.3 ～ 5.0]	5.0 [1.3 ～ 5.6]	5.6 [1.4 ～ 6.3]
		中間			2.1（中温：2.2）	2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.3	1.4
	暖房能力	定格標準			5.0 [1.2 ～ 5.6]（最小：1.2）	5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）	6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）
		中間			2.3	2.6	2.9
		最大低温			5.0	5.3	5.8
定格冷房時の顕熱比					0.78	0.74	0.87
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.3	8.6	9.5
		暖房			6.2	7.4	8.1
	始動電流（最大電流）				5（17）	5（17）	5（18）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.37	1.60	1.78
			中間		0.423（中温：0.355）	0.485（中温：0.415）	0.488（中温：0.410）
			最小中温		0.190	0.210	0.205
		暖房	定格標準		1.16（最小：0.245）	1.37（最小：0.283）	1.54（最小：0.285）
			中間		0.405	0.460	0.485
			最大低温		2.56	2.73	2.45
	力率			%	冷：94，暖：94	冷：93，暖：93	冷：94，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.28，中間：4.96	定格：3.13，中間：4.74	定格：3.15，中間：5.33
		暖房			定格：4.31，中間：5.68	定格：4.09，中間：5.65	定格：4.09，中間：5.98
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.3	5.1	5.6
		(2006)			5.1	4.9	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：66，急：61，強：59，弱：56	P急：66，急：61，強：59，弱：56	P急：66，急：60，強：57，弱：52
		音圧レベル			P急：40，急：35，強：33，弱：30	P急：40，急：35，強：33，弱：30	P急：42，急：36，強：33，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル			冷：60，暖：61	冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：45，暖：46	冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	280 × 750 × 635		280 × 950 × 635
	製品質量			kg	29		34
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1（P63形：2）		
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：20，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：100，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(6)		
		電動機	定格出力	W	100		130
		エアフィルタ			－（現地手配）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640 × 800 (+71) × 290		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1		
			電動機出力	kW	0.9	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0× 2本（13m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.56（届出不要）	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：P50，P56形：0.09kW × 1台，P63形：0.130kW × 1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP50，P56形：最大0.100kW（静圧200Pa）× 1台，P63形：最大0.190kW（静圧200Pa）× 1台となります。］

(6) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。

(7) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P50形，P56形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120

P63形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	50	60	70	90	100	110	120

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP50形，P56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDUZ-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式						FDUZ805HK5SA 室内：FDUZP805SA 室外：FDCZP805HK
リモートコントローラ						RC-DX3B
電源						単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	7.1［1.8～8.0］
		中間				3.2（中温：3.3）
		最小中温				1.8
	暖房能力	定格標準				8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間				3.6
		最大低温				8.1
定格冷房時の顕熱比						0.83
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	9.9
		暖房				10.0
	始動電流（最大電流）					5（20）
	消費電力	冷房	定格		kW	1.97
			中間			0.605（中温：0.478）
			最小中温			0.275
		暖房	定格標準			1.98（最小：0.426）
			中間			0.670
			最大低温			3.02
	力率				%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.60，中間：5.29
		暖房				定格：4.04，中間：5.37
	通年エネルギー消費効率	（2015）				5.4
		（2006）				5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：68，急：62，強：58，弱：52
		音圧レベル				P急：44，急：38，強：34，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル				冷：65，暖：66
		音圧レベル				冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	280×950×635
	製品質量				kg	34
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				シロッコファン×2
		風量			m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10
		機外静圧（標準風量時）			Pa	定格：100，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(6)
		電動機	定格出力		W	130
		エアフィルタ				－（現地手配）
	新鮮空気取入口					新鮮外気取入（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	845×970×370
	製品質量				kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5118SWE1×1
			電動機出力		kW	1.4
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×1
		風量			m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力		W	86
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御及び圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管			mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管				φ15.88（フレア接続）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	3.5×2本（17m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（30）
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	0.74（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.160kW × 1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.250kW（静圧200Pa）× 1台となります。］

(6) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。

(7) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDUZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDUZ505H5SA 室内：FDUZP565SA 室外：FDCZP505H	FDUZ565H5SA 室内：FDUZP565SA 室外：FDCZP565H	FDUZ635H5SA 室内：FDUZVP635SA 室外：FDCZP635H
リモートコントローラ					RC-DX3B		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	4.5［1.3～5.0］	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.4～6.3］
		中間			2.1（中温：2.2）	2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.3	1.4
	暖房能力	定格標準			5.0［1.2～5.6］（最小：1.2）	5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.3	2.6	2.9
		最大低温			5.0	5.3	5.8
定格冷房時の顕熱比					0.78	0.74	0.87
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.5	5.1	5.7
		暖房			3.8	4.3	4.9
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（13）	5（14）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.36	1.59	1.77
			中間		0.420（中温：0.352）	0.480（中温：0.411）	0.484（中温：0.407）
			最小中温		0.189	0.209	0.204
		暖房	定格標準		1.15（最小：0.244）	1.36（最小：0.280）	1.53（最小：0.282）
			中間		0.400	0.455	0.480
			最大低温		2.55	2.72	2.44
	力率			%	冷：87，暖：87	冷：90，暖：91	冷：90，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.31，中間：5.00	定格：3.14，中間：4.79	定格：3.16，中間：5.37
		暖房			定格：4.35，中間：5.75	定格：4.12，中間：5.71	定格：4.12，中間：6.04
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.4	5.2	5.7
		（2006）			5.1	4.9	5.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：66，急：61，強：59，弱：56	P急：66，急：61，強：59，弱：56	P急：66，急：60，強：57，弱：52
		音圧レベル			P急：40，急：35，強：33，弱：30	P急：40，急：35，強：33，弱：30	P急：42，急：36，強：33，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル			冷：60，暖：61	冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：45，暖：46	冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	280×750×635		280×950×635
	製品質量			kg	29		34
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1（P63形：2）		
		風量		m³/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：20，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：100，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(6)		
		電動機	定格出力	W	100		130
		エアフィルタ			－（現地手配）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.9	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m³/min	冷：33，暖：33	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	2.0×3本（18m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.56（届出不要）	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P50，P56形：0.09kW×1台，P63形：0.130kW×1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP50，P56形：最大0.100kW（静圧200Pa）×1台，P63形：最大0.190kW（静圧200Pa）×1台となります。］

(6) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。

(7) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P50形，P56形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120

P63形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	50	60	70	90	100	110	120

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP50形，P56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDUZ-H〕

項目 ＼ セット形式						FDUZ805H5SA
項目 ＼ 形式						室内：FDUZP805SA 室外：FDCZP805H
リモートコントローラ						RC-DX3B
電源						三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	7.1［1.8～8.0］
		中間				3.2（中温：3.3）
		最小中温				1.8
	暖房能力	定格標準				8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間				3.6
		最大低温				8.1
定格冷房時の顕熱比						0.83
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	6.1
		暖房				6.2
	始動電流（最大電流）					5（15）
	消費電力	冷房	定格		kW	1.93
			中間			0.595（中温：0.471）
			最小中温			0.271
		暖房	定格標準			1.94（最小：0.420）
			中間			0.659
			最大低温			2.99
	力率				%	冷：91，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.68，中間：5.38
		暖房				定格：4.12，中間：5.46
	通年エネルギー消費効率	(2015)				5.5
		(2006)				5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：68，急：62，強：58，弱：52
		音圧レベル				P急：44，急：38，強：34，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル				冷：65，暖：66
		音圧レベル				冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	280×950×635
	製品質量				kg	34
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				シロッコファン×2
		風量			m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10
		機外静圧（標準風量時）			Pa	定格：100，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(6)
		電動機	定格出力		W	130
		エアフィルタ				－（現地手配）
	新鮮空気取入口					新鮮外気取入（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	845×970×370
	製品質量				kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5118SWE1×1
			電動機出力		kW	1.4
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×1
		風量			m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力		W	86
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管			mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管				φ15.88（フレア接続）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	3.5×3本（27m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（20）
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	0.74（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.160kW × 1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.250kW（静圧200Pa）× 1台となります。］

(6) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。

(7) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDUZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDUZ1125H5SA 室内：FDUZP1125SA 室外：FDCZP1125H	FDUZ1405H5SA 室内：FDUZP1605SA 室外：FDCZP1405H	FDUZ1605H5SA 室内：FDUZP1605SA 室外：FDCZP1605H
リモートコントローラ					RC-DX3B		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［2.7～11.2］	12.5［3.2～14.0］	14.0［3.7～16.0］
		中間			4.5（中温：4.5）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			2.7	3.2	3.7
	暖房能力	定格標準			11.2［2.9～14.3］（最小：2.9）	14.0［3.5～18.3］（最小：3.5）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			13.5	14.5	14.5
定格冷房時の顕熱比					0.84	0.77	0.79
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.4	11.2	12.7
		暖房			8.4	12.0	12.9
	始動電流（最大電流）				5（26）	5（26）	5（26）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.44	3.70	4.17
			中間		0.766（中温：0.684）	1.04（中温：0.930）	1.17（中温：1.02）
			最小中温		0.352	0.440	0.495
		暖房	定格標準		2.75（最小：0.546）	3.95（最小：0.700）	4.26（最小：0.800）
			中間		0.932	1.21	1.42
			最大低温		5.45	6.04	6.04
	力率			%	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.10，中間：5.87	定格：3.38，中間：5.48	定格：3.36，中間：5.38
		暖房			定格：4.07，中間：5.47	定格：3.54，中間：5.21	定格：3.76，中間：5.07
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.5	5.2	5.2
		（2006）			5.4	4.9	4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：65，強：62，弱：57	P急：71，急：67，強：61，弱：57	P急：74，急：67，強：62，弱：57
		音圧レベル			P急：45，急：40，強：37，弱：32	P急：46，急：42，強：36，弱：32	P急：49，急：42，強：37，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：66，暖：66	冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：49，暖：50	冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	280 × 1368 × 738		
	製品質量			kg	54		
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 3		
		風量		m^3/min	P急：36，急：28，強：25，弱：19	P急：39，急：32，強：26，弱：20	P急：48，急：35，強：28，弱：22
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：100，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(6)		
		電動機	定格出力	W	100 + 130	100 + 200	
		エアフィルタ			－（現地手配）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505 × 970 × 370		
	製品質量			kg	115		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2 × 1		
			電動機出力	kW	2.0	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2		
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92		冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86 × 2		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管			φ15.88（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5 × 3本（26m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	40		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（40）		
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	1.04（届出不要）	1.39（届出不要）	1.62（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.230kW × 1台，P140形：0.250kW × 1台，P160形：0.350kW × 1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP112形：最大0.320kW（静圧200Pa）× 1台，P140形：最大0.360kW（静圧200Pa）× 1台，P160形：最大0.430kW（静圧200Pa）× 1台となります。］

(6) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。

(7) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P112形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

P140形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	30	40	50	60	70	80	90	110	120	130

P160形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	40	50	60	70	80	90	100	110	130	140

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P112用）および共用タイプ（P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDUZ-HP〕

項目 ＼ セット形式	形式	FDUZ1125HP5SA 室内：FDUZP635SA × 2台 室外：FDCZP1125H	FDUZ1405HP5SA 室内：FDUZP805SA × 2台 室外：FDCZP1405H	FDUZ1605HP5SA 室内：FDUZP805SA × 2台 室外：FDCZP1605H
リモートコントローラ		RC-DX3B		
電源		三相　200V　50/60Hz		
(1)能力 冷房能力	定格	10.0［2.7～11.2］	12.5［3.2～14.0］	14.0［3.5～16.0］
	中間	4.5（中温：4.6）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
	最小中温	2.7	3.2	3.5
(1)能力 暖房能力	定格標準	11.2［2.7～14.3］（最小：2.7）	14.0［3.5～18.3］（最小：3.5）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
	中間	5.1	6.3	7.2
	最大低温	13.0	15.0	15.0
定格冷房時の顕熱比		0.93	0.89	0.83
(1)運転特性 運転電流	冷房	7.7	10.4	12.7
	暖房	7.9	10.5	12.9
始動電流（最大電流）		5（27）		5（26）
消費電力 冷房	定格	2.55	3.41	4.19
	中間	0.740（中温：0.630）	0.970（中温：0.830）	1.11（中温：0.960）
	最小中温	0.390	0.430	0.460
消費電力 暖房	定格標準	2.59　（最小：0.520）	3.46（最小：0.660）	4.26（最小：0.780）
	中間	0.910	1.22	1.35
	最大低温	5.16	6.25	6.25
力率		冷：96，暖：95	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
エネルギー消費効率	冷房	定格：3.92，中間：6.08	定格：3.67，中間：5.88	定格：3.34，中間：5.68
エネルギー消費効率	暖房	定格：4.32，中間：5.60	定格：4.05，中間：5.16	定格：3.76，中間：5.33
通年エネルギー消費効率	（2015）	5.7	5.5	5.4
通年エネルギー消費効率	（2006）	5.5	5.2	5.1
運転音 室内ユニット	パワーレベル	P急：66，急：60，強：57，弱：52	P急：68，急：62，強：58，弱：52	
運転音 室内ユニット	音圧レベル	P急：42，急：36，強：33，弱：28	P急：44，急：38，強：34，弱：28	
運転音 室外ユニット	パワーレベル	冷：66，暖：66	冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
運転音 室外ユニット	音圧レベル	冷：49，暖：50	冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット 外形寸法	高さ×幅×奥行	280×950×635		
室内ユニット 製品質量		34		
室内ユニット 空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式		
室内ユニット 送風装置 形式・台数		シロッコファン×2		
室内ユニット 送風装置 風量		P急：20，急：15，強：13，弱：10	P急：24，急：19，強：15，弱：10	
室内ユニット 送風装置 機外静圧（標準風量時）(4)		定格：100，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(8)		
室内ユニット 送風装置 電動機 定格出力		130		
室内ユニット 送風装置 エアフィルタ		－（現地手配）		
室内ユニット 新鮮空気取入口		新鮮外気取入（側面：φ125mmフレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
室内ユニット 運転調整		操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
室内ユニット 遠方発停用機能		遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
室内ユニット 加湿器		－（気化式加湿器取付可能）		
室内ユニット 防振装置・防音・断熱材		送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット 外形寸法	高さ×幅×奥行	1505×970×370		
室外ユニット 製品質量		115		
室外ユニット 冷却装置 圧縮機 形式・台数		RMT5126SWE2×1		
室外ユニット 冷却装置 圧縮機 電動機出力	kW	2.0	2.7	3.4
室外ユニット 冷却装置 空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式		
室外ユニット 冷却装置 冷媒制御器		電子膨張弁		
室外ユニット 冷却装置 冷媒封入量	kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］		
室外ユニット 冷却装置 冷凍機油封入量	ℓ	0.9（M-MB75）		
室外ユニット 送風装置 形式・台数		プロペラファン×2		
室外ユニット 送風装置 風量		冷：92，暖：92		冷：92，暖：100
室外ユニット 送風装置 電動機 定格出力	W	86×2		
室外ユニット クランクケースヒータ	W	20		
室外ユニット 低外気温時冷房運転制御機能		室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)		
室外ユニット 除霜		マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
室外ユニット 防振・防音装置		圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法 冷媒配管(7)（外径） 液管	mm	室内接続：φ6.35（フレア）（P140，P160形：φ9.52（フレア）），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）		
配管寸法 冷媒配管(7)（外径） ガス管	mm	室内接続：φ12.7（フレア）（P140，P160形：φ15.88（フレア）），分岐管：φ12.7（P140，P160形：φ15.88），主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）		
配管寸法 排水口		〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
電気配線 電源配線サイズ（こう長）	mm²	5.5×3本（25m）		5.5×3本（26m）
電気配線 漏電しゃ断器（高調波対応品）	A	40		
電気配線 開閉器容量（ヒューズ容量）	A	60（40）		
電気配線 アース線サイズ	mm²	3.5以上（M5）		
電気配線 室内外ユニット接続配線	mm²	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）		
設計圧力	MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力	トン	1.04（届出不要）	1.39（届出不要）	1.62（届出不要）
IPコード		室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置		高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.130kW × 2台，P140形，P160形：0.160kW × 2台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により，P112形：最大0.190kW（静圧200Pa）× 2台，P140形，P160形：最大0.250kW（静圧200Pa）× 2台となります。］

(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(8) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。

(9) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P112形（室内63形）

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	50	60	70	90	100	110	120

P140，P160形（室内71，80形）

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

(10) 室内ユニットは共用タイプ（P63用）および共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP63形，P71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(12) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

(f) 天吊形（FDEZ）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDEZ-HK〕

PFA004Z105

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDEZ405HK5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCZP405HK	FDEZ455HK5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCZP455HK	FDEZ505HK5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCZP505HK
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G		
電源					単相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.3～4.0］	4.0［1.3～4.5］	4.5［1.3～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.3	1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.0）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.1）	5.0［1.2～5.6］（最小：1.2）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.6	5.3
定格冷房時の顕熱比					0.81	0.76	0.93
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.6	5.3	6.4
		暖房			5.0	5.9	6.6
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.847	0.985	1.20
			中間		0.270（中温：0.225）	0.287（中温：0.247）	0.343（中温：0.290）
			最小中温		0.158	0.158	0.158
		暖房	定格標準		0.918（最小：0.197）	1.11（最小：0.210）	1.24（最小：0.222）
			中間		0.310	0.345	0.380
			最大低温		1.61	1.61	2.47
	力率			%	冷：92，暖：92	冷：93，暖：94	冷：94，暖：94
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.25，中間：6.30	定格：4.06，中間：6.27	定格：3.75，中間：6.12
		暖房			定格：4.36，中間：5.81	定格：4.05，中間：6.09	定格：4.03，中間：6.05
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.0	6.0	6.0
		（2006）			5.7	5.7	5.6
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：60，急：51，強：49，弱：45
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：47，急：38，強：36，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：58，暖：60	冷：59，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：43，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	210×1070×690		
	製品質量			kg	28		
	送風装置	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		形式・台数			シロッコファン×2		
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7	P急：13，急：10，強：9，弱：7	P急：13，急：10，強：9，弱：7
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	30		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×2本（14m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.46（届出不要）	0.52（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.05kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDEZ-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDEZ565HK5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCZP565HK	FDEZ635HK5SA 室内：FDEZP635SA 室外：FDCZP635HK
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.5～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.5
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.5	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.90	0.86
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.1	7.5
		暖房			7.7	8.1
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.37	1.46
			中間		0.380（中温：0.324）	0.420（中温：0.355）
			最小中温		0.158	0.166
		暖房	定格標準		1.49（最小：0.247）	1.58（最小：0.277）
			中間		0.449	0.463
			最大低温		2.65	2.27
	力率			%	冷：96，暖：97	冷：97，暖：98
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.65，中間：6.05	定格：3.84，中間：6.19
		暖房			定格：3.76，中間：5.79	定格：3.99，中間：6.26
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.9	6.2
		(2006)			5.3	5.6
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：60，急：51，強：48，弱：45
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：48，急：39，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	210×1070×690	210×1320×690
	製品質量			kg	28	33
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2（P63形：4）	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7	P急：20，急：15，強：12.5，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	30	50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.05kW×1台，P63形：0.06kW×1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDEZ-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDEZ805HK5SA 室内：FDEZP805SA 室外：FDCZP805HK
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G
電源					単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.2）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間			3.6
		最大低温			8.1
定格冷房時の顕熱比					0.74
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	9.1
		暖房			9.3
	始動電流（最大電流）				5（18.5）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.80
			中間		0.509（中温：0.416）
			最小中温		0.215
		暖房	定格標準		1.85（最小：0.367）
			中間		0.615
			最大低温		2.93
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.94，中間：6.29
		暖房			定格：4.32，中間：5.85
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.1
		（2006）			5.7
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：63，急：52，強：49，弱：46
		音圧レベル			P急：50，急：39，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	210×1320×690
	製品質量			kg	33
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4
		風量		m^3/min	P急：22，急：15，強：12.5，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	55
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				不可能
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDEZ-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDEZ405H5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCZP405H	FDEZ455H5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCZP455H	FDEZ505H5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCZP505H
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.3～4.0］	4.0［1.3～4.5］	4.5［1.3～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.3	1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.0）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.1）	5.0［1.2～5.6］（最小：1.2）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.6	5.3
定格冷房時の顕熱比					0.81	0.76	0.93
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	2.8	3.2	3.9
		暖房			3.1	3.6	4.0
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.839	0.970	1.19
			中間		0.268（中温：0.223）	0.285（中温：0.245）	0.340（中温：0.288）
			最小中温		0.157	0.157	0.157
		暖房	定格標準		0.910（最小：0.194）	1.10（最小：0.208）	1.23（最小：0.220）
			中間		0.307	0.342	0.376
			最大低温		1.60	1.60	2.46
	力率			%	冷：86，暖：85	冷：88，暖：88	冷：88，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.29，中間：6.34	定格：4.12，中間：6.32	定格：3.78，中間：6.18
		暖房			定格：4.40，中間：5.86	定格：4.09，中間：6.14	定格：4.07，中間：6.12
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.1	6.1	6.1
		（2006）			5.8	5.8	5.6
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：60，急：51，強：49，弱：45
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：47，急：38，強：36，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：58，暖：60	冷：59，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：43，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	210×1070×690		
	製品質量			kg	28		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2		
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7	P急：13，急：10，強：9，弱：7	P急：13，急：10，強：9，弱：7
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	30		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×3本（21m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				15（15）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.46（届出不要）	0.52（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.05kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDEZ-H〕

項目 ＼ セット形式					FDEZ565H5SA	FDEZ635H5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDEZP565SA 室外：FDCZP565H	室内：FDEZP635SA 室外：FDCZP635H
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.5～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.5
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.5	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.90	0.86
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.3	4.4
		暖房			4.7	4.8
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.36	1.45
			中間		0.377（中温：0.320）	0.417（中温：0.353）
			最小中温		0.157	0.165
		暖房	定格標準		1.48（最小：0.245）	1.57（最小：0.275）
			中間		0.445	0.460
			最大低温		2.64	2.26
	力率			%	冷：91，暖：91	冷：95，暖：94
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.68，中間：6.10	定格：3.86，中間：6.24
		暖房			定格：3.78，中間：5.84	定格：4.01，中間：6.30
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.0	6.3
		(2006)			5.4	5.7
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：60，急：51，強：48，弱：45
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：48，急：39，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：47
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	210×1070×690	210×1320×690
	製品質量			kg	28	33
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2（P63形：4）	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7	P急：20，急：15，強：12.5，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	30	50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付加能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				［室内］VP20の排水管の接続可能［室外］内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				15（15）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.05kW × 1台，P63形：0.06kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDEZ-H〕

項目 ＼ セット形式					FDEZ805H5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDEZP805SA 室外：FDCZP805H
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.2）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間			3.6
		最大低温			8.1
定格冷房時の顕熱比					0.74
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.5
		暖房			5.8
	始動電流（最大電流）				5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.73
			中間		0.500（中温：0.409）
			最小中温		0.211
		暖房	定格標準		1.81（最小：0.361）
			中間		0.610
			最大低温		2.88
	力率			%	冷：91，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.10，中間：6.40
		暖房			定格：4.42，中間：5.90
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.2
		(2006)			5.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：63，急：52，強：49，弱：46
		音圧レベル			P急：50，急：39，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	210×1320×690
	製品質量			kg	33
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4
		風量		m^3/min	P急：22，急：15，強：12.5，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	55
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				不可能
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付加能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（31m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDEZ-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDEZ1125H5SA 室内：FDEZP1605SA 室外：FDCZP1125H	FDEZ1405H5SA 室内：FDEZP1605SA 室外：FDCZP1405H	FDEZ1605H5SA 室内：FDEZP1605SA 室外：FDCZP1605H
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［2.6～11.2］	12.5［3.2～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			4.5（中温：4.6）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			2.6	3.2	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.5～18.3］（最小：3.5）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			13.5	15.0	15.0
定格冷房時の顕熱比					0.73	0.70	0.68
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.4	11.0	13.7
		暖房			8.4	11.4	14.1
	始動電流（最大電流）				5（23）	5（23）	5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.43	3.62	4.51
			中間		0.693（中温：0.586）	0.940（中温：0.860）	1.14（中温：0.992）
			最小中温		0.327	0.414	0.467
		暖房	定格標準		2.77（最小：0.488）	3.76（最小：0.651）	4.65（最小：0.749）
			中間		0.861	1.10	1.35
			最大低温		5.50	6.12	6.12
	力率			%	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.12，中間：6.49	定格：3.45，中間：6.06	定格：3.10，中間：5.53
		暖房			定格：4.04，中間：5.92	定格：3.72，中間：5.73	定格：3.44，中間：5.33
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.1	5.6	5.3
		（2006）			5.7	5.3	4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：61，急：58，強：54，弱：50	P急：64，急：60，強：56，弱：51	P急：65，急：62，強：56，弱：52
		音圧レベル			P急：45，急：42，強：38，弱：34	P急：48，急：44，強：40，弱：35	P急：49，急：46，強：40，弱：36
	室外ユニット	パワーレベル			冷：66，暖：66	冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：49，暖：50	冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	250×1620×690		
	製品質量			kg	43		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4		
		風量		m³/min	P急：28，急：26，強：21，弱：16.5	P急：32，急：29，強：23，弱：17	P急：34，急：30，強：23，弱：18
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	65	80	90
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505×970×370		
	製品質量			kg	115		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2×1		
			電動機出力	kW	2.0	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2		
		風量		m³/min	冷：92，暖：92		冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86×2		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管			φ15.88（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	5.5×3本（30m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	1.04（届出不要）	1.39（届出不要）	1.62（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.08kW × 1台，P140形：0.11kW × 1台，P160形：0.12kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDEZ-HKP〕

項目 ＼ セット形式					FDEZ805HKP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDEZP565SA × 2台 室外：FDCZP805HK
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G
電源					単相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.2）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間			3.6
		最大低温			8.1
定格冷房時の顕熱比					0.77
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	8.6
		暖房			8.9
	始動電流（最大電流）				5（18.5）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.70
			中間		0.520（中温：0.413）
			最小中温		0.221
		暖房	定格標準		1.77（最小：0.393）
			中間		0.592
			最大低温		2.93
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.18，中間：6.15
		暖房			定格：4.52，中間：6.08
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.1
		(2006)			5.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	210×1070×690
	製品質量			kg	28
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	30
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				不可能
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RM5118SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.05kW × 2台

(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDEZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDEZ805HP5SA	FDEZ1125HP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDEZP565SA × 2台 室外：FDCZP805H	室内：FDEZP565SA × 2台 室外：FDCZP1125H
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］	10.0［2.5～11.2］
		中間			3.2（中温：3.2）	4.5（中温：4.6）
		最小中温			1.8	2.5
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）	11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）
		中間			3.6	5.1
		最大低温			8.1	12.5
定格冷房時の顕熱比					0.77	0.90
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.3	7.8
		暖房			5.6	9.0
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.68	2.56
			中間		0.513（中温：0.408）	0.755（中温：0.635）
			最小中温		0.218	0.310
		暖房	定格標準		1.74 （最小：0.385）	2.97 （最小：0.510）
			中間		0.582	0.925
			最大低温		2.88	5.80
	力率			%	冷：92，暖：90	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.23，中間：6.24	定格：3.91，中間：5.96
		暖房			定格：4.60，中間：6.19	定格：3.77，中間：5.51
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.2	5.8
		(2006)			5.9	5.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45	
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66	冷：66，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48	冷：49，暖：50
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	210×1070×690	
	製品質量			kg	28	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	30	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370	1505×970×370
	製品質量			kg	70	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1	RMT5126SWE2×1
			電動機出力	kW	1.4	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	プロペラファン×2
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48	冷：92，暖：92
		電動機	定格出力	W	86	86×2
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（31m）	5.5×3本（30m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）	1.04（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4	室内：IPX0，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.05kW × 2台

(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P56形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：２台，室外ユニット：１台）〔FDEZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDEZ1405HP5SA	FDEZ1605HP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDEZP805SA × 2台 室外：FDCZP1405H	室内：FDEZP805SA × 2台 室外：FDCZP1605H
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	12.5［3.3～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			5.7（中温：6.0）	6.3（中温：6.5）
		最小中温			3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			14.0［3.5～18.3］（最小：3.5）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			6.3	7.2
		最大低温			15.0	15.0
定格冷房時の顕熱比					0.80	0.74
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	10.1	12.5
		暖房			10.1	12.7
	始動電流（最大電流）				5（23）	
	消費電力	冷房	定格	kW	3.33	4.13
			中間		0.940（中温：0.810）	1.07（中温：0.925）
			最小中温		0.420	0.430
		暖房	定格標準		3.33　（最小：0.640）	4.19　（最小：0.740）
			中間		1.07	1.31
			最大低温		6.12	6.12
	力率			%	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.75，中間：6.06	定格：3.39，中間：5.89
		暖房			定格：4.20，中間：5.89	定格：3.82，中間：5.50
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.9	5.6
		(2006)			5.6	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：63，急：52，強：49，弱：46	
		音圧レベル			P急：50，急：39，強：36，弱：33	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	210×1320×690	
	製品質量			kg	33	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4	
		風量		m^3/min	P急：22，急：15，強：12.5，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	55	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505×970×370	
	製品質量			kg	115	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2×1	
			電動機出力	kW	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2	
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92	冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86×2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（30m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.39（届出不要）	1.62（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 2台

(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）トリプル形（室内ユニット：３台，室外ユニット：１台）〔FDEZ-HT〕

項目 ＼ セット形式					FDEZ1605HT5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDEZP565SA × 3台 室外：FDCZP1605H
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	14.0［3.5～16.0］
		中間			6.3（中温：6.5）
		最小中温			3.5
	暖房能力	定格標準			16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			7.2
		最大低温			15.0
定格冷房時の顕熱比					0.90
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	12.6
		暖房			13.1
	始動電流（最大電流）				5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	4.15
			中間		1.09（中温：0.940）
			最小中温		0.430
		暖房	定格標準		4.32（最小：0.730）
			中間		1.30
			最大低温		6.12
	力率			%	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.37，中間：5.78
		暖房			定格：3.70，中間：5.54
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.6
		(2006)			5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	210×1070×690
	製品質量			kg	28
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	30
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				不可能
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505×970×370
	製品質量			kg	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2×1
			電動機出力		3.4
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2
		風量		m^3/min	冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86×2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（30m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）（ヒューズ容量）			A	30
	開閉器容量				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.62（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.05kW × 3台

(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(7) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TA1G　　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1Gを2セット

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(h) 壁掛形（FDKZ）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDKZ-HK〕

PHA001Z149

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDKZ405HK5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCZP405HK	FDKZ455HK5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCZP455HK	FDKZ505HK5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCZP505HK
リモートコントローラ					RC-DX3B		
電源					単相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.4～4.0］	4.0［1.4～4.5］	4.5［1.4～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0［1.1～4.5］（最小：1.1）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.1）	5.0［1.2～5.6］（最小：1.2）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			5.0	5.0	5.6
定格冷房時の顕熱比					0.76	0.75	0.75
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.9	5.7	6.8
		暖房			5.6	6.9	7.4
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.840	0.990	1.19
			中間		0.266（中温：0.223）	0.306（中温：0.260）	0.356（中温：0.291）
			最小中温		0.178	0.178	0.179
		暖房	定格標準		0.970（最小：0.184）	1.20（最小：0.184）	1.31（最小：0.201）
			中間		0.293	0.348	0.387
			最大低温		1.92	1.92	2.34
	力率			%	冷：86，暖：87	冷：87，暖：87	冷：88，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.29，中間：6.39	定格：4.04，中間：5.88	定格：3.78，中間：5.90
		暖房			定格：4.12，中間：6.14	定格：3.75，中間：6.03	定格：3.82，中間：5.94
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.3	6.1	6.1
		(2006)			5.8	5.5	5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：55，急：53，強：50，弱：46	P急：55，急：53，強：50，弱：46	P急：59，急：57，強：53，弱：47
		音圧レベル			P急：40，急：37，強：34，弱：30	P急：40，急：37，強：34，弱：30	P急：44，急：42，強：37，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：58，暖：60	冷：59，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：43，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	290×870×230		
	製品質量			kg	11		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン×1		
		風量		m^3/min	P急：11，急：10，強：9，弱：8	P急：11，急：10，強：9，弱：8	P急：14，急：12，強：10，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	42		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）		
	吹出ダクト接続口				―		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				―（組込不可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×2本（14m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）開閉器容量（ヒューズ容量）			A	20 30（20）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.46（届出不要）	0.52（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P40形，P45形：0.025kW × 1台，P50形：0.03kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDKZ-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDKZ565HK5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCZP565HK	FDKZ635HK5SA 室内：FDKZP635SA 室外：FDCZP635HK
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.4～5.6］	5.6［1.4～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6［1.6～6.3］（最小：1.6）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.6	5.6
定格冷房時の顕熱比					0.72	0.81
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	8.0	8.2
		暖房			8.8	9.0
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.42	1.45
			中間		0.407（中温：0.337）	0.398（中温：0.323）
			最小中温		0.175	0.150
		暖房	定格標準		1.59（最小：0.272）	1.62（最小：0.259）
			中間		0.451	0.468
			最大低温		2.34	2.30
	力率			%	冷：89，暖：90	冷：88，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.52，中間：5.65	定格：3.86，中間：6.53
		暖房			定格：3.52，中間：5.76	定格：3.89，中間：6.20
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.8	6.5
		(2006)			5.2	5.6
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：59，急：57，強：53，弱：47	P急：53，急：51，強：49，弱：46
		音圧レベル			P急：44，急：42，強：37，弱：32	P急：37，急：34，強：31，弱：27
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	290×870×230	339×1197×262
	製品質量			kg	11	17
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン×1	
		風量		m^3/min	P急：14，急：12，強：10，弱：8	P急：18，急：16，強：14，弱：13
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	42	56
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）	
	吹出ダクト接続口				ー	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御及び圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.03kW × 1台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDKZ-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式						FDKZ805HK5SA 室内：FDKZP1125SA 室外：FDCZP805HK
リモートコントローラ						RC-DX3B
電源						単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力		定格		kW	7.1［1.8～8.0］
			中間			3.2（中温：3.4）
			最小中温			1.8
	暖房能力		定格標準			8.0［2.0～10.0］（最小：2.0）
			中間			3.6
			最大低温			8.0
定格冷房時の顕熱比						0.71
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	10.0
		暖房				11.6
	始動電流（最大電流）					5（18.5）
	消費電力	冷房	定格		kW	1.98
			中間			0.549（中温：0.440）
			最小中温			0.230
		暖房	定格標準			2.29（最小：0.396）
			中間			0.657
			最大低温			3.24
	力率				%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.59，中間：5.83
		暖房				定格：3.49，中間：5.48
	通年エネルギー消費効率	(2015)				5.8
		(2006)				5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：56，急：54，強：52，弱：49
		音圧レベル				P急：40，急：38，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル				冷：65，暖：66
		音圧レベル				冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	339×1197×262
	製品質量				kg	17
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				タンゼンシャルファン×1
		風量			m^3/min	P急：19，急：18，強：16，弱：14
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	56
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）
	吹出ダクト接続口					-
	新鮮空気取入口					不可能
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					－（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	845×970×370
	製品質量				kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5118SWE1×1
			電動機出力		kW	1.4
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×1
		風量			m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力		W	86
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管			mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管				φ15.88（フレア接続）
	排水口					〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	3.5×2本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（30）
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	0.74（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.05kW×1台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80，P112用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDKZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDKZ405H5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCZP405H	FDKZ455H5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCZP455H	FDKZ505H5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCZP505H
リモートコントローラ					RC-DX3B		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.4～4.0］	4.0［1.4～4.5］	4.5［1.4～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0［1.1～4.5］（最小：1.1）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.1）	5.0［1.2～5.6］（最小：1.2）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			5.0	5.0	5.6
定格冷房時の顕熱比					0.76	0.75	0.75
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	2.9	3.3	3.9
		暖房			3.3	4.0	4.3
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.830	0.980	1.18
			中間		0.263（中温：0.222）	0.303（中温：0.256）	0.353（中温：0.289）
			最小中温		0.176	0.176	0.178
		暖房	定格標準		0.960（最小：0.183）	1.19（最小：0.183）	1.29（最小：0.200）
			中間		0.291	0.345	0.384
			最大低温		1.90	1.90	2.32
	力率			%	冷：83，暖：84	冷：86，暖：86	冷：87，暖：87
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.34，中間：6.46	定格：4.08，中間：5.94	定格：3.81，中間：5.95
		暖房			定格：4.17，中間：6.19	定格：3.78，中間：6.09	定格：3.88，中間：5.99
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.3	6.1	6.1
		（2006）			5.8	5.5	5.5
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：55，急：53，強：50，弱：46	P急：55，急：53，強：50，弱：46	P急：59，急：57，強：53，弱：47
		音圧レベル			P急：40，急：37，強：34，弱：30	P急：40，急：37，強：34，弱：30	P急：44，急：42，強：37，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：58，暖：60	冷：59，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：43，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	290×870×230		
	製品質量			kg	11		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン×1		
		風量		m^3/min	P急：11，急：10，強：9，弱：8	P急：11，急：10，強：9，弱：8	P急：14，急：12，強：10，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	42		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）		
	吹出ダクト接続口				―		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				―（組込不可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×3本（21m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				15（15）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.46（届出不要）	0.52（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P40形，P45形：0.025kW × 1台，P50形：0.03kW × 1台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDKZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDKZ565H5SA	FDKZ635H5SA
					室内：FDKZP565SA 室外：FDCZP565H	室内：FDKZP635SA 室外：FDCZP635H
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.4～5.6］	5.6［1.4～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6［1.6～6.3］（最小：1.6）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.6	5.6
定格冷房時の顕熱比					0.72	0.81
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.7	4.8
		暖房			5.2	5.2
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.41	1.44
			中間		0.404（中温：0.334）	0.394（中温：0.321）
			最小中温		0.173	0.149
		暖房	定格標準		1.58（最小：0.267）	1.60（最小：0.257）
			中間		0.445	0.464
			最大低温		2.32	2.28
	力率			%	冷：87，暖：88	冷：87，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.55，中間：5.69	定格：3.89，中間：6.60
		暖房			定格：3.54，中間：5.84	定格：3.94，中間：6.25
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.9	6.6
		（2006）			5.2	5.7
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：59，急：57，強：53，弱：47	P急：53，急：51，強：49，弱：46
		音圧レベル			P急：44，急：42，強：37，弱：32	P急：37，急：34，強：31，弱：27
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：47
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	290×870×230	339×1197×262
	製品質量			kg	11	17
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン×1	
		風量		m^3/min	P急：14，急：12，強：10，弱：8	P急：18，急：16，強：14，弱：13
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	42	56
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ＋サンフィルタ（脱臭）	
	吹出ダクト接続口				ー	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				15（15）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.03kW × 1台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDKZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDKZ805H5SA 室内：FDKZP1125SA 室外：FDCZP805H	FDKZ1125H5SA 室内：FDKZP1125SA 室外：FDCZP1125H
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］	10.0［2.7～11.2］
		中間			3.2（中温：3.4）	4.5（中温：4.7）
		最小中温			1.8	2.7
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0～10.0］（最小：2.0）	11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）
		中間			3.6	5.1
		最大低温			8.0	11.2
定格冷房時の顕熱比					0.71	0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.2	8.1
		暖房			7.4	10.4
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.94	2.67
			中間		0.539（中温：0.432）	0.738（中温：0.609）
			最小中温		0.226	0.299
		暖房	定格標準		2.28（最小：0.387）	3.42（最小：0.528）
			中間		0.645	0.900
			最大低温		3.17	4.57
	力率			%	冷：90，暖：89	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.66，中間：5.94	定格：3.75，中間：6.10
		暖房			定格：3.51，中間：5.58	定格：3.27，中間：5.67
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.9	5.9
		(2006)			5.2	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：56，急：54，強：52，弱：49	P急：60，急：58，強：55，弱：51
		音圧レベル			P急：40，急：38，強：36，弱：33	P急：45，急：43，強：39，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66	冷：66，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48	冷：49，暖：50
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	339×1197×262	
	製品質量			kg	17	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン×1	
		風量		m^3/min	P急：19，急：18，強：16，弱：14	P急：24，急：22，強：18，弱：16
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	56	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）	
	吹出ダクト接続口				-	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370	1505×970×370
	製品質量			kg	70	115
	冷却装置 圧縮機	形式・台数			RMT5118SWE1×1	RMT5126SWE2×1
		電動機出力		kW	1.4	2.0
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	冷媒制御器				電子膨張弁	
	冷媒封入量			kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］	4.2（R32）［配管30m分封入済］
	冷凍機油封入量			ℓ	0.675（M-MB75）	0.9（M-MB75）
	送風装置 形式・台数				プロペラファン×1	プロペラファン×2
	風量			m^3/min	冷：52，暖：48	冷：92，暖：92
	電動機	定格出力		W	86	86×2
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）	
		ガス管			φ15.88（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（31m）	5.5×3本（30m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）	1.04（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P80形：0.05kW×1台，P112形：0.06kW×1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80，P112用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP80形，P112形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDKZ-HKP〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDKZ805HKP5SA
					室内：FDKZP565SA × 2台 室外：FDCZP805HK
リモートコントローラ					RC-DX3B
電源					単相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.4）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0～10.0］（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			8.0
定格冷房時の顕熱比					0.78
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	9.4
		暖房			11.6
	始動電流（最大電流）				5（18.5）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.86
			中間		0.552（中温：0.440）
			最小中温		0.233
		暖房	定格標準		2.29（最小：0.368）
			中間		0.659
			最大低温		3.22
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.82，中間：5.80
		暖房			定格：3.49，中間：5.46
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.9
		(2006)			5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：55，急：53，強：50，弱：46
		音圧レベル			P急：40，急：37，強：34，弱：30
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	290×870×230
	製品質量			kg	11
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン×1
		風量		m^3/min	P急：11，急：10，強：9，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	42
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）
	吹出ダクト接続口				―
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P）を保有（室内基板上）
	加湿器				―（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア）分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア）分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.025kW × 2台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDKZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDKZ805HP5SA	FDKZ1125HP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDKZP565SA × 2台 室外：FDCZP805H	室内：FDKZP565SA × 2台 室外：FDCZP1125H
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [1.8～8.0]	10.0 [2.7～11.2]
		中間			3.2（中温：3.4）	4.5（中温：4.7）
		最小中温			1.8	2.7
	暖房能力	定格標準			8.0 [2.0～10.0]（最小：2.0）	11.2 [2.8～14.3]（最小：2.8）
		中間			3.6	5.1
		最大低温			8.0	12.5
定格冷房時の顕熱比					0.78	0.71
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.8	7.6
		暖房			7.3	9.5
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.82	2.49
			中間		0.543（中温：0.433）	0.705（中温：0.587）
			最小中温		0.229	0.311
		暖房	定格標準		2.27（最小：0.361）	3.14（最小：0.548）
			中間		0.647	0.870
			最大低温		3.16	6.66
	力率			%	冷：91，暖：90	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.90，中間：5.89	定格：4.02，中間：6.38
		暖房			定格：3.52，中間：5.56	定格：3.57，中間：5.86
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.0	6.0
		(2006)			5.2	5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：55，急：53，強：50，弱：46	P急：59，急：57，強：53，弱：47
		音圧レベル			P急：40，急：37，強：34，弱：30	P急：44，急：42，強：37，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66	冷：66，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48	冷：49，暖：50
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	290 × 870 × 230	
	製品質量			kg	11	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：11，急：10，強：9，弱：8	P急：14，急：12，強：10，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	42	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）	
	吹出ダクト接続口				-	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845 × 970 × 370	1505× 970 × 370
	製品質量			kg	70	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1 × 1	RMT5126SWE2 × 1
			電動機出力	kW	1.4	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	プロペラファン × 2
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48	冷：92，暖：92
		電動機	定格出力	W	86	86× 2
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52， 室外接続：φ9.52 （フレア）	
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 3本（31m）	5.5 × 3本（30m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）	1.04（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：P80形：0.025kW × 2台，P112形：0.03kW × 2台

(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P56形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：２台，室外ユニット：１台）〔FDKZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDKZ1405HP5SA	FDKZ1605HP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDKZP1125SA × 2台 室外：FDCZP1405H	室内：FDKZP1125SA × 2台 室外：FDCZP1605H
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	12.5［3.3～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			5.7（中温：5.9）	6.3（中温：6.6）
		最小中温			3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			14.0［3.5～18.3］（最小：3.5）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			6.3	7.2
		最大低温			14.0	14.2
定格冷房時の顕熱比					0.75	0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	10.2	12.9
		暖房			10.7	13.6
	始動電流（最大電流）				5（23）	5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	3.35	4.25
			中間		0.885（中温：0.724）	1.05（中温：0.867）
			最小中温		0.360	0.394
		暖房	定格標準		3.53（最小：0.606）	4.47（最小：0.712）
			中間		1.09	1.33
			最大低温		5.66	5.66
	力率			%	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.73，中間：6.44	定格：3.29，中間：6.00
		暖房			定格：3.97，中間：5.78	定格：3.58，中間：5.41
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.2	5.9
		（2006）			5.5	5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：56，急：54，強：52，弱：49	P急：56，急：54，強：52，弱：49
		音圧レベル			P急：40，急：38，強：36，弱：33	P急：40，急：38，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	339 × 1197 × 262	
	製品質量			kg	17	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：19，急：18，強：16，弱：14	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	56	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）	
	吹出ダクト接続口				-	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505× 970 × 370	
	製品質量			kg	115	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2 × 1	
			電動機出力	kW	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92	冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86× 2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5 × 3本（30m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.39（届出不要）	1.62（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.05kW × 2台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80，P112用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）トリプル形（室内ユニット：3 台，室外ユニット：1 台）〔FDKZ-HT〕

項目 ＼ セット形式						FDKZ1605HT5SA
項目 ＼ 形式						室内：FDKZP565SA × 3台 室外：FDCZP1605H
リモートコントローラ						RC-DX3B
電源						三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	14.0［3.5 ～ 16.0］
		中間				6.3（中温：6.6）
		最小中温				3.5
	暖房能力	定格標準				16.0［4.0 ～ 20.3］（最小：4.0）
		中間				7.2
		最大低温				14.9
定格冷房時の顕熱比						0.73
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	12.4
		暖房				13.6
	始動電流（最大電流）					5（23）
	消費電力	冷房	定格		kW	4.09
			中間			1.04（中温：0.890）
			最小中温			0.410
		暖房	定格標準			4.49（最小：0.732）
			中間			1.30
			最大低温			6.19
	力率				%	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.42，中間：6.06
		暖房				定格：3.56，中間：5.54
	通年エネルギー消費効率	（2015）				5.8
		（2006）				5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：59，急：57，強：53，弱：47
		音圧レベル				P急：44，急：42，強：37，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル				冷：68，暖：70
		音圧レベル				冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	290 × 870 × 230
	製品質量				kg	11
	空気熱交換器					アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				タンゼンシャルファン × 1
		風量			m^3/min	P急：14，急：12，強：10，弱：8
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	42
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）
	吹出ダクト接続口					-
	新鮮空気取入口					不可能
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					ー（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	1505 × 970 × 370
	製品質量				kg	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5126SWE2 × 1
			電動機出力			3.4
		空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			ℓ	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン × 2
		風量			m^3/min	冷：92，暖：100
		電動機	定格出力		W	86 × 2
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管			mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）
		ガス管				室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口					〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	5.5 × 3本（30m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）				A	30 30（30）
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	1.62（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.03kW × 3台

(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(7) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TA1G　　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1Gを2セット

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

（i） 床置形（FDFZ）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDFZ-HK〕

PGA000Z832 A

項目 ＼ セット形式					FDFZ505HK5SA	FDFZ635HK5SA	FDFZ805HK5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDFZP635SA 室外：FDCZP505HK	室内：FDFZP635SA 室外：FDCZP635HK	室内：FDFZP805SA 室外：FDCZP805HK
リモートコントローラ					RC-DX3B（標準装備）		
電源					単相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	4.5［1.4～5.0］	5.6［1.4～6.3］	7.1［1.8～8.0］
		中間			2.1（中温：2.2）	2.6（中温：2.7）	3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.4	1.4	1.8
	暖房能力	定格標準			5.0［1.2～5.6］（最小：1.2）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）	8.0［2.5～10.0］（最小：2.5）
		中間			2.3	2.9	3.6
		最大低温			5.6	6.0	8.1
定格冷房時の顕熱比					0.91	0.78	0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.3	8.5	9.7
		暖房			6.6	9.0	11.4
	始動電流（最大電流）				5（16）		5（18.5）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.11	1.50	1.93
			中間		0.342（中温：0.297）	0.440（中温：0.365）	0.590（中温：0.490）
			最小中温		0.182	0.185	0.250
		暖房	定格標準		1.17（最小：0.207）	1.62（最小：0.275）	2.26（最小：0.535）
			中間		0.394	0.500	0.700
			最大低温		2.18	2.28	3.28
	力率			%	冷：88，暖：89	冷：88，暖：90	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.05，中間：6.14	定格：3.73，中間：5.91	定格：3.68，中間：5.42
		暖房			定格：4.27，中間：5.84	定格：3.89，中間：5.80	定格：3.54，中間：5.14
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.0	6.0	5.2
		(2006)			5.6	5.4	4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：54，急：51，強：48，弱：46		P急：54，急：52，強：49，弱：47
		音圧レベル			P急：42，急：37，強：34，弱：32		P急：42，急：39，強：35，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：60，暖：61	冷：63，暖：64	冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：45，暖：46	冷：49，暖：49	冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1850×600×329		
	製品質量			kg	46		47
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1		
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：13，弱：12		P急：18，急：16，強：14，弱：12
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	157		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290		845×970×370
	製品質量			kg	47		70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	0.9	1.2	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33	冷：38，暖：38	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	34		86
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個（P80形：3個）		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×2本（14m）		3.5×2本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.56（届出不要）	0.72（届出不要）	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏洩センサ，ファンモータマイコン式過負荷保護		高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏洩センサ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.06kW×1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P50，P63用）および共用タイプ（P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP50形，P63形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDFZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDFZ505H5SA 室内：FDFZP635SA 室外：FDCZP505H	FDFZ635H5SA 室内：FDFZP635SA 室外：FDCZP635H	FDFZ805H5SA 室内：FDFZP805SA 室外：FDCZP805H
リモートコントローラ					RC-DX3B（標準装備）		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	4.5［1.4～5.0］	5.6［1.4～6.3］	7.1［1.8～8.0］
		中間			2.1（中温：2.2）	2.6（中温：2.7）	3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.4	1.4	1.8
	暖房能力	定格標準			5.0［1.2～5.6］（最小：1.2）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）	8.0［2.5～10.0］（最小：2.5）
		中間			2.3	2.9	3.6
		最大低温			5.6	6.0	8.1
定格冷房時の顕熱比					0.91	0.78	0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	3.6	4.9	6.0
		暖房			3.8	5.2	7.1
	始動電流（最大電流）				5（12）		5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.10	1.49	1.90
			中間		0.340（中温：0.295）	0.432（中温：0.360）	0.580（中温：0.480）
			最小中温		0.180	0.180	0.250
		暖房	定格標準		1.16　（最小：0.205）	1.61　（最小：0.270）	2.22　（最小：0.535）
			中間		0.390	0.490	0.690
			最大低温		2.17	2.27	3.22
	力率			%	冷：88，暖：88	冷：88，暖：89	冷：91，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.09，中間：6.18	定格：3.76，中間：6.02	定格：3.74，中間：5.52
		暖房			定格：4.31，中間：5.90	定格：3.91，中間：5.92	定格：3.60，中間：5.22
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.1	6.1	5.3
		（2006）			5.7	5.5	5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：54，急：51，強：48，弱：46		P急：54，急：52，強：49，弱：47
		音圧レベル			P急：42，急：37，強：34，弱：32		P急：42，急：39，強：35，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：60，暖：61	冷：63，暖：64	冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：45，暖：46	冷：49，暖：49	冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1850×600×329		
	製品質量			kg	46		47
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1		
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：13，弱：12		P急：18，急：16，強：14，弱：12
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	157		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290		845×970×370
	製品質量			kg	46		70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	0.9	1.2	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33	冷：38，暖：38	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	34		86
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個（P80形：3個）		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×3本（21m）		3.5×3本（31m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15		20
	開閉器容量（ヒューズ容量）				15（15）		30（20）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.56（届出不要）	0.72（届出不要）	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏洩センサ，ファンモータマイコン式過負荷保護		高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏洩センサ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.06kW×1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P50，P63用）および共用タイプ（P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP50形，P63形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDFZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDFZ1125H5SA 室内：FDFZP1605SA 室外：FDCZP1125H	FDFZ1405H5SA 室内：FDFZP1605SA 室外：FDCZP1405H	FDFZ1605H5SA 室内：FDFZP1605SA 室外：FDCZP1605H
リモートコントローラ					RC-DX3B（標準装備）		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［2.7～11.2］	12.5［3.4～14.0］	14.0［3.7～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.9）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			2.7	3.4	3.7
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～ 14.3］（最小：2.8）	14.0［3.5～18.3］（最小：3.5）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			13.5	14.5	14.5
定格冷房時の顕熱比					0.78	0.70	0.67
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.7	11.9	14.9
		暖房			8.1	11.8	14.7
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.54	3.91	4.90
			中間		0.780（中温：0.670）	1.06（中温：0.900）	1.18（中温：1.02）
			最小中温		0.350	0.430	0.490
		暖房	定格標準		2.68（最小：0.540）	3.88（最小：0.670）	4.83（最小：0.750）
			中間		0.930	1.20	1.39
			最大低温		5.48	5.80	5.80
	力率			%	冷：95，暖：96	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.94，中間：5.77	定格：3.20，中間：5.38	定格：2.86，中間：5.34
		暖房			定格：4.18，中間：5.48	定格：3.61，中間：5.25	定格：3.31，中間：5.18
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.7	5.4	5.2
		(2006)			5.4	4.9	4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：66，急：63，強：61，弱：56		
		音圧レベル			P急：55，急：51，強：49，弱：44		
	室外ユニット	パワーレベル			冷：66，暖：66	冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：49，暖：50	冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1850×600×329		
	製品質量			kg	49		
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1		
		風量		m^3/min	P急：29，急：26，強：23，弱：19		
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	157		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505×970×370		
	製品質量			kg	115		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2×1		
			電動機出力	kW	2.0	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2		
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92		冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86×2		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管			φ15.88（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（30m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	1.04（届出不要）	1.39（届出不要）	1.62（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏洩センサ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.21kW×1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDFZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDFZ1125HP5SA	FDFZ1405HP5SA	FDFZ1605HP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDFZP635SA × 2台 室外：FDCZP1125H	室内：FDFZP805SA × 2台 室外：FDCZP1405H	室内：FDFZP805SA × 2台 室外：FDCZP1605H
リモートコントローラ					RC-DX3B（標準装備）		
電源					三相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0 [2.7 ～ 11.2]	12.5 [3.4 ～ 14.0]	14.0 [3.7 ～ 16.0]
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			2.7	3.4	3.7
	暖房能力	定格標準			11.2 [2.8 ～ 14.3]（最小：2.8）	14.0 [3.5 ～ 18.3]（最小：3.5）	16.0 [4.0 ～ 20.3]（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			13.0	14.5	14.5
定格冷房時の顕熱比					0.78	0.70	0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.4	10.6	13.4
		暖房			7.6	11.0	14.2
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.43	3.48	4.42
			中間		0.720（中温：0.600）	0.960（中温：0.840）	1.12（中温：0.980）
			最小中温		0.340	0.420	0.480
		暖房	定格標準		2.51 （最小：0.520）	3.61 （最小：0.650）	4.66 （最小：0.740）
			中間		0.870	1.12	1.34
			最大低温		5.25	5.69	5.69
	力率			%	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.12，中間：6.25	定格：3.59，中間：5.94	定格：3.17，中間：5.63
		暖房			定格：4.46，中間：5.86	定格：3.88，中間：5.63	定格：3.43，中間：5.37
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.1	5.7	5.4
		（2006）			5.7	5.3	5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：54，急：51，強：48，弱：46	P急：54，急：52，強：49，弱：47	
		音圧レベル			P急：42，急：37，強：34，弱：32	P急：42，急：39，強：35，弱：33	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：66，暖：66	冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：49，暖：50	冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1850 × 600 × 329		
	製品質量			kg	46	47	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1		
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：13，弱：12	P急：18，急：16，強：14，弱：12	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	157		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505 × 970 × 370		
	製品質量			kg	115		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2 × 1		
			電動機出力	kW	2.0	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2		
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92	冷：92，暖：100	
		電動機	定格出力	W	86 × 2		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（P112：φ6.35）（フレア），室内分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）		
		ガス管			室内接続：φ15.88（P112：φ12.7）（フレア），室内分岐管：φ15.88（P112：φ12.7），主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）		
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5 × 3本（30m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	30 30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	1.04（届出不要）	1.39（届出不要）	1.62（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏洩センサ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.06kW × 2台

(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P50，P63用）および共用タイプ（P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP63形，P80形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(2) ハイパーインバータシリーズ
(a) 天井埋込形４方向吹出し（FDTV）
冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTV-HK〕

PJF000Z519A　PJF000Z520A
PJF000Z521A　PJF000Z522A

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTV405HK5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCVP405HK	FDTV455HK5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCVP455HK	FDTV505HK5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCVP505HK
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G(5)		
電源					単相　200V　50/60Hz		
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.4～4.0］	4.0［1.4～4.5］	4.5［1.4～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.0）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.1）	5.0［1.2～5.6］（最小：1.2）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			5.0	5.0	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.96	0.94	0.90
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	4.4	5.2	6.2
		暖房			4.7	5.3	5.8
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.756	0.896	1.09
			中間		0.244（中温：0.198）	0.257（中温：0.209）	0.302（中温：0.248）
			最小中温		0.154	0.154	0.154
		暖房	定格標準		0.807（最小：0.177）	0.937（最小：0.194）	1.04（最小：0.205）
			中間		0.275	0.315	0.346
			最大低温		1.66	1.66	2.29
	力率			%	冷：86，暖：86	冷：86，暖：88	冷：88，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.76，中間：6.97	定格：4.46，中間：7.00	定格：4.13，中間：6.95
		暖房			定格：4.96，中間：6.55	定格：4.80，中間：6.67	定格：4.81，中間：6.65
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.8	6.8	6.8
		(2006)			6.4	6.4	6.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：48，急：45，強：43，弱：42	P急：48，急：45，強：43，弱：42	P急：50，急：46，強：44，弱：42
			暖房		P急：48，急：45，強：41，弱：38	P急：48，急：45，強：41，弱：38	P急：51，急：46，強：43，弱：40
		音圧レベル	冷房		P急：35，急：32，強：30，弱：28	P急：35，急：32，強：30，弱：28	P急：37，急：33，強：31，弱：29
			暖房		P急：35，急：32，強：28，弱：23	P急：35，急：32，強：28，弱：23	P急：37，急：33，強：29，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル			冷：58，暖：60	冷：59，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：43，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：236×840×840(7)，パネル：35×950×950		
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1		
		風量		m^3/min	P急：17，急：15，強：12，弱：10	P急：17，急：15，強：12，弱：10	P急：18，急：15，強：13，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	58		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65×112ダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×2本（14m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	20 30（20）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.46（届出不要）	0.52（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。
(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）
(8) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.058kW × 1台
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTV-HK〕

項目 ＼ セット形式					FDTV565HK5SA	FDTV635HK5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTZP635SA 室外：FDCVP565HK	室内：FDTZP635SA 室外：FDCVP635HK
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G(5)	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.4～5.6］	5.6［1.4～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.9	6.0
定格冷房時の顕熱比					0.85	0.79
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.8	7.7
		暖房			6.8	7.9
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.24	1.43
			中間		0.350（中温：0.283）	0.398（中温：0.324）
			最小中温		0.154	0.154
		暖房	定格標準		1.25（最小：0.224）	1.53（最小：0.245）
			中間		0.408	0.459
			最大低温		2.46	2.31
	力率			%	冷：91，暖：92	冷：93，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.03，中間：6.57	定格：3.92，中間：6.53
		暖房			定格：4.48，中間：6.37	定格：4.12，中間：6.32
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.7	6.7
		（2006）			6.0	5.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：50，急：46，強：44，弱：42	P急：50，急：46，強：44，弱：42
			暖房		P急：51，急：46，強：43，弱：40	P急：51，急：46，強：43，弱：40
		音圧レベル	冷房		P急：37，急：33，強：31，弱：29	P急：37，急：33，強：31，弱：29
			暖房		P急：37，急：33，強：29，弱：25	P急：37，急：33，強：29，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：236×840×840 (7)，パネル：35×950×950	
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：13，弱：11	P急：19，急：15，強：13，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	58	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65×112ダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。
(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）
(8) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.058kW × 1台
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTV-HK〕

項目 ＼ セット形式						FDTV805HK5SA
項目 ＼ 形式						室内：FDTZP805SA 室外：FDCVP805HK
パネル形式（別売品）						266ページをご覧ください。
リモートコントローラ						RC-DX3B，RC-D4G (5)
電源						単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	7.1［1.9～8.0］
		中間				3.2（中温：3.2）
		最小中温				1.9
	暖房能力	定格標準				8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間				3.6
		最大低温				7.8
定格冷房時の顕熱比						0.92
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	8.7
		暖房				8.6
	始動電流（最大電流）					5（18.5）
	消費電力	冷房	定格		kW	1.73
			中間			0.487（中温：0.396）
			最小中温			0.221
		暖房	定格標準			1.70（最小：0.349）
			中間			0.567
			最大低温			2.57
	力率				%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房				定格：4.10，中間：6.57
		暖房				定格：4.71，中間：6.35
	通年エネルギー消費効率	（2015）				6.5
		（2006）				6.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房		dB(A)	P急：57，急：51，強：46，弱：43
			暖房			P急：58，急：51，強：46，弱：43
		音圧レベル	冷房			P急：43，急：35，強：31，弱：28
			暖房			P急：43，急：35，強：31，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル				冷：65，暖：66
		音圧レベル				冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）				mm	本体：298×840×840 (7)，パネル：35×950×950
	製品質量				kg	本体：24.5，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				ターボファン×1
		風量			m^3/min	P急：30，急：22，強：18，弱：15
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	120
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口					側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）
	新鮮空気取入口					側板を利用して可能（65×112ダクト接続）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	845×970×370
	製品質量				kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5118SWE1×1
			電動機出力		kW	1.4
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×1
		風量			m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力		W	86
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(10)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管			mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管				φ15.88（フレア接続）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	3.5×2本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（30）
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	0.74（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。
(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）
(8) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.120kW×1台
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTV-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDTV405H5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCVP405H	FDTV455H5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCVP455H	FDTV505H5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCVP505H
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G(5)		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.4～4.0］	4.0［1.4～4.5］	4.5［1.4～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.0）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.1）	5.0［1.2～5.6］（最小：1.2）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			5.0	5.0	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.96	0.94	0.90
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	2.6	3.0	3.6
		暖房			2.7	3.1	3.3
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.751	0.888	1.08
			中間		0.242（中温：0.193）	0.254（中温：0.206）	0.300（中温：0.245）
			最小中温		0.153	0.153	0.153
		暖房	定格標準		0.799（最小：0.175）	0.930（最小：0.192）	1.03（最小：0.202）
			中間		0.274	0.312	0.341
			最大低温		1.65	1.65	2.28
	力率			%	冷：83，暖：85	冷：85，暖：87	冷：87，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.79，中間：7.02	定格：4.50，中間：7.09	定格：4.17，中間：7.00
		暖房			定格：5.01，中間：6.57	定格：4.84，中間：6.73	定格：4.85，中間：6.74
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.9	6.9	6.9
		（2006）			6.5	6.5	6.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：48，急：45，強：43，弱：42	P急：48，急：45，強：43，弱：42	P急：50，急：46，強：44，弱：42
			暖房		P急：48，急：45，強：41，弱：38	P急：48，急：45，強：41，弱：38	P急：51，急：46，強：43，弱：40
		音圧レベル	冷房		P急：35，急：32，強：30，弱：28	P急：35，急：32，強：30，弱：28	P急：37，急：33，強：31，弱：29
			暖房		P急：35，急：32，強：28，弱：23	P急：35，急：32，強：28，弱：23	P急：37，急：33，強：29，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル			冷：58，暖：60	冷：59，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：43，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：236×840×840(7)，パネル：35×950×950		
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12		
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1		
		風量		m^3/min	P急：17，急：15，強：12，弱：10	P急：17，急：15，強：12，弱：10	P急：18，急：15，強：13，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	58		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65×112ダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	2.0×3本（21m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				15（15）		
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.46（届出不要）	0.52（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。
(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）
(8) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.058kW × 1台
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTV-H〕

項目 ＼ セット形式					FDTV565H5SA	FDTV635H5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTZP635SA 室外：FDCVP565H	室内：FDTZP635SA 室外：FDCVP635H
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G(5)	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0 [1.4 ～ 5.6]	5.6 [1.4 ～ 6.3]
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）	6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.9	6.0
定格冷房時の顕熱比					0.85	0.79
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.1	4.6
		暖房			4.0	4.8
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.21	1.42
			中間		0.347（中温：0.280）	0.393（中温：0.321）
			最小中温		0.153	0.153
		暖房	定格標準		1.23（最小：0.222）	1.51（最小：0.243）
			中間		0.403	0.455
			最大低温		2.45	2.30
	力率			%	冷：85，暖：89	冷：89，暖：91
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.13，中間：6.63	定格：3.94，中間：6.62
		暖房			定格：4.55，中間：6.45	定格：4.17，中間：6.37
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.8	6.7
		（2006）			6.1	5.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：50，急：46，強：44，弱：42	P急：50，急：46，強：44，弱：42
			暖房		P急：51，急：46，強：43，弱：40	P急：51，急：46，強：43，弱：40
		音圧レベル	冷房		P急：37，急：33，強：31，弱：29	P急：37，急：33，強：31，弱：29
			暖房		P急：37，急：33，強：29，弱：25	P急：37，急：33，強：29，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：236×840×840 (7)，パネル：35×950×950	
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：13，弱：11	P急：19，急：15，強：13，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	58	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65×112ダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(10)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	2.0×3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				15（15）	
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。
(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）
(8) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.058kW × 1台
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTV-H〕

項目 ＼ セット形式						FDTV805H5SA
項目 ＼ 形式						室内：FDTZP805SA 室外：FDCVP805H
パネル形式（別売品）						266ページをご覧ください。
リモートコントローラ						RC-DX3B，RC-D4G (5)
電源						三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	7.1［1.9～8.0］
		中間				3.2（中温：3.2）
		最小中温				1.9
	暖房能力	定格標準				8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間				3.6
		最大低温				7.8
定格冷房時の顕熱比						0.92
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	5.4
		暖房				5.4
	始動電流（最大電流）					5（13）
	消費電力	冷房	定格		kW	1.71
			中間			0.479（中温：0.390）
			最小中温			0.218
		暖房	定格標準			1.68（最小：0.338）
			中間			0.560
			最大低温			2.53
	力率				%	冷：91，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房				定格：4.15，中間：6.68
		暖房				定格：4.76，中間：6.43
	通年エネルギー消費効率	(2015)				6.6
		(2006)				6.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房		dB(A)	P急：57，急：51，強：46，弱：43
			暖房			P急：58，急：51，強：46，弱：43
		音圧レベル	冷房			P急：43，急：35，強：31，弱：28
			暖房			P急：43，急：35，強：31，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル				冷：65，暖：66
		音圧レベル				冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）				mm	本体：298×840×840 (7)，パネル：35×950×950
	製品質量				kg	本体：24.5，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				ターボファン×1
		風量			m^3/min	P急：30，急：22，強：18，弱：15
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	120
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口					側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）
	新鮮空気取入口					側板を利用して可能（65×112ダクト接続）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	845×970×370
	製品質量				kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5118SWE1×1
			電動機出力		kW	1.4
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×1
		風量			m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力		W	86
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(10)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管			mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管				φ15.88（フレア接続）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	3.5×3本（31m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（20）
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	0.74（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。
(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）
(8) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.120kW×1台
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTV-HA〕

項目 ＼ セット形式					FDTV1125HA5SA	FDTV1405HA5SA	FDTV1605HA5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTZP1605SA 室外：FDCVP1125HA	室内：FDTZP1605SA 室外：FDCVP1405HA	室内：FDTZP1605SA 室外：FDCVP1605HA
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G (5)		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.3～11.2］	12.5［3.3～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.5）
		最小中温			3.3	3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.8～18.3］（最小：3.8）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			13.5	14.5	14.9
定格冷房時の顕熱比					0.84	0.75	0.71
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.2	10.1	12.4
		暖房			7.1	9.5	11.6
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.41	3.44	4.20
			中間		0.795（中温：0.610）	0.990（中温：0.832）	1.10（中温：1.00）
			最小中温		0.414	0.430	0.480
		暖房	定格標準		2.35（最小：0.500）	3.20（最小：0.610）	3.91（最小：0.610）
			中間		0.765	1.00	1.18
			最大低温		5.30	5.85	5.85
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.15，中間：5.66	定格：3.63，中間：5.76	定格：3.33，中間：5.73
		暖房			定格：4.77，中間：6.67	定格：4.38，中間：6.30	定格：4.09，中間：6.10
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.4	6.0	5.8
		（2006）			6.0	5.7	5.5
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：62，急：58，強：50，弱：45	P急：62，急：58，強：51，弱：46	P急：62，急：58，強：53，弱：46
			暖房		P急：63，急：58，強：50，弱：44	P急：63，急：58，強：51，弱：45	P急：63，急：58，強：53，弱：45
		音圧レベル	冷房		P急：48，急：42，強：35，弱：29	P急：48，急：42，強：36，弱：29	P急：48，急：42，強：38，弱：29
			暖房		P急：48，急：42，強：35，弱：29	P急：48，急：42，強：36，弱：29	P急：48，急：42，強：38，弱：29
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：298×840×840 (7)，パネル：35×950×950		
	製品質量			kg	本体：27，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1		
		風量		m^3/min	P急：36，急：25，強：22，弱：18	P急：36，急：27，強：24，弱：19	P急：36，急：28，強：25，弱：20
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	120		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65×112ダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1050×970×370		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(10)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管			φ15.88（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（30m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～105m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	1.22（届出不要）	1.55（届出不要）	1.77（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。
(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）
(8) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.120kW × 1台
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTV-HKP〕

項目 ＼ セット形式						FDTV805HKP5SA
項目 ＼ 形式						室内：FDTZP635SA × 2台 室外：FDCVP805HK
パネル形式（別売品）						266ページをご覧ください。
リモートコントローラ						RC-DX3B，RC-D4G (5)
電源						単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	7.1［1.9～8.0］
		中間				3.2（中温：3.3）
		最小中温				1.9
	暖房能力	定格標準				8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間				3.6
		最大低温				7.8
定格冷房時の顕熱比						0.96
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	7.9
		暖房				8.2
	始動電流（最大電流）					5（18.5）
	消費電力	冷房	定格		kW	1.56
			中間			0.467（中温：0.391）
			最小中温			0.246
		暖房	定格標準			1.62（最小：0.368）
			中間			0.561
			最大低温			2.57
	力率				%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房				定格：4.55，中間：6.85
		暖房				定格：4.94，中間：6.42
	通年エネルギー消費効率	（2015）				6.5
		（2006）				6.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房		dB(A)	P急：48，急：45，強：43，弱：42
			暖房			P急：48，急：45，強：41，弱：38
		音圧レベル	冷房			P急：35，急：32，強：30，弱：28
			暖房			P急：35，急：32，強：28，弱：23
	室外ユニット	パワーレベル				冷：65，暖：66
		音圧レベル				冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）				mm	本体：236×840×840 (7)，パネル：35×950×950
	製品質量				kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				ターボファン×1
		風量			m^3/min	P急：17，急：15，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	58
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口					側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）
	新鮮空気取入口					側板を利用して可能（65×112ダクト接続）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	845×970×370
	製品質量				kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5118SWE1×1
			電動機出力		kW	1.4
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×1
		風量			m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力		W	86
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(12)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(10)（外径）	液管			mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）
		ガス管				室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	3.5×2本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（30）
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	0.74（届出不要）
IPコード						室内：IPX0，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。
(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）
(8) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.058kW × 2台
(9) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(10) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(11) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTV-HP〕

項目 ＼ セット形式						形式	FDTV805HP5SA
							室内：FDTZP635SA × 2台 室外：FDCVP805H
パネル形式（別売品）							266ページをご覧ください。
リモートコントローラ							RC-DX3B，RC-D4G(5)
電源							三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格				kW	7.1［1.9 ～ 8.0］
		中間					3.2（中温：3.3）
		最小中温					1.9
	暖房能力	定格標準					8.0［2.1 ～ 10.0］（最小：2.1）
		中間					3.6
		最大低温					7.8
定格冷房時の顕熱比							0.96
(1)運転特性	運転電流	冷房				A	4.9
		暖房					5.1
	始動電流（最大電流）						5（13）
	消費電力	冷房	定格			kW	1.53
			中間				0.461（中温：0.385）
			最小中温				0.243
		暖房	定格標準				1.59（最小：0.361）
			中間				0.552
			最大低温				2.53
	力率					%	冷：90，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房					定格：4.64，中間：6.94
		暖房					定格：5.03，中間：6.52
	通年エネルギー消費効率	(2015)					6.6
		(2006)					6.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房			dB(A)	P急：48，急：45，強：43，弱：42
			暖房				P急：48，急：45，強：41，弱：38
		音圧レベル	冷房				P急：35，急：32，強：30，弱：28
			暖房				P急：35，急：32，強：28，弱：23
	室外ユニット	パワーレベル					冷：65，暖：66
		音圧レベル					冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）					mm	本体：236 × 840 × 840 (7)，パネル：35 × 950 × 950
	製品質量					kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12
	空気熱交換器						アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数					ターボファン × 1
		風量				m^3/min	P急：17，急：15，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）				Pa	0
		電動機	定格出力			W	58
		エアフィルタ					プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口						側板を利用して可能（口 100ダクト接続）
	新鮮空気取入口						側板を利用して可能（65 × 112ダクト接続）
	運転調整						操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能						遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器						ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材						送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行				mm	845 ×970× 370
	製品質量					kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数				RMT5118SWE1 × 1
			電動機出力			kW	1.4
		空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器					電子膨張弁
		冷媒封入量				kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量				ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数					プロペラファン × 1
		風量				m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力			W	86
	クランクケースヒータ					W	20
	低外気温時冷房運転制御機能						室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(12)
	除霜						マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置						圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(10)（外径）	液管				mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管					室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口						〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）					mm^2	3.5 × 3本（31m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）					A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）						30（20）
	アース線サイズ					mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線					mm^2	2.0（φ1.6）× 3本
設計圧力						MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力						トン	0.74（届出不要）
IPコード							室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置							高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。
(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）
(8) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.058kW × 2台
(9) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(10) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(11) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2 台，室外ユニット：1 台）〔FDTV-HPA〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTV1125HPA5SA 室内：FDTZP635SA × 2台 室外：FDCVP1125HA	FDTV1405HPA5SA 室内：FDTZP715SA × 2台 室外：FDCVP1405HA	FDTV1605HPA5SA 室内：FDTZP805SA × 2台 室外：FDCVP1605HA
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G (5)		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	10.0 [3.3 ～ 11.2]	12.5 [3.3 ～ 14.0]	14.0 [3.7 ～ 16.0]
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.3	3.3	3.7
	暖房能力	定格標準			11.2 [2.8 ～ 14.3]（最小：2.8）	14.0 [3.6 ～ 18.3]（最小：3.6）	16.0 [4.0 ～ 20.3]（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			12.5	14.0	14.0
定格冷房時の顕熱比					0.85	0.76	0.92
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	6.7	9.9	11.1
		暖房			7.3	9.7	9.9
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.25	3.35	3.77
			中間		0.663（中温：0.535）	0.931（中温：0.805）	1.09（中温：0.986）
			最小中温		0.378	0.370	0.426
		暖房	定格標準		2.43（最小：0.468）	3.25（最小：0.539）	3.33（最小：0.659）
			中間		0.767	0.966	1.09
			最大低温		5.26	5.64	5.98
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.44，中間：6.79	定格：3.73，中間：6.12	定格：3.71，中間：5.78
		暖房			定格：4.61，中間：6.65	定格：4.31，中間：6.52	定格：4.80，中間：6.61
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.8	6.3	6.0
		（2006）			6.2	5.8	5.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：50，急：46，強：44，弱：42	P急：50，急：46，強：44，弱：42	P急：57，急：51，強：46，弱：43
			暖房		P急：51，急：46，強：43，弱：40	P急：51，急：46，強：43，弱：40	P急：58，急：51，強：46，弱：43
		音圧レベル	冷房		P急：37，急：33，強：31，弱：29	P急：37，急：33，強：31，弱：29	P急：43，急：35，強：31，弱：28
			暖房		P急：37，急：33，強：29，弱：25	P急：37，急：33，強：31，弱：29	P急：43，急：35，強：31，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：236（P805S：298）× 840 × 840 (7)，パネル：35 × 950 × 950		
	製品質量			kg	本体：21（P805S：24.5），標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12		
	熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1		
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：13，弱：11	P急：19，急：15，強：13，弱：11	P急：30，急：22，強：18，弱：15
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	58		120
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100 × 100，200 × 100ダクト接続）		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65 × 112ダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1050 × 970 × 370		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3 × 1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1		
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(12)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管(10)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（P140，P160：φ9.52）（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）		
		ガス管			室内接続：φ12.7（P140，P160：φ15.88）（フレア），分岐管：φ12.7（P140，P160：φ15.88），主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5 × 3本（30m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～105m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	1.22（届出不要）	1.55（届出不要）	1.77（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。
(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）
(8) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形，P140形：0.058kW × 2台，P160形：0.120kW × 2台
(9) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(10) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(11) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用），共用タイプ（P71用）および共用タイプ（P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTVP-HP〕

項目 ＼ セット形式						FDTVP2244HP5SA	FDTVP2804HP5SA
項目 ＼ 形式						室内：FDTZP1605SA × 2台 室外：FDCVP2244H	室内：FDTZP1605SA × 2台 室外：FDCVP2804H
パネル形式（別売品）						266ページをご覧ください。	
リモートコントローラ						RC-DX3B，RC-D4G(5)	
電源						三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格			kW	20.0［7.0 ～ 22.4］	25.0［7.4 ～ 28.0］
		中間				9.0（中温：9.3）	11.3（中温：11.8）
		最小中温				7.0	7.4
	暖房能力	定格標準				22.4［5.7 ～ 28.0］（最小：5.7）	28.0［7.2 ～ 31.5］（最小：7.2）
		中間				10.1	12.6
		最大低温				22.0	22.6
定格冷房時の顕熱比						0.84	0.75
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	17.8	25.1
		暖房				16.3	21.7
	始動電流（最大電流）					5（33）	5（35）
	消費電力	冷房	定格		kW	5.81	8.25
			中間			1.78（中温：1.46）	2.35（中温：1.97）
			最小中温			1.16	1.14
		暖房	定格標準			5.30（最小：1.04）	7.15（最小：1.30）
			中間			1.78	2.26
			最大低温			7.64	7.75
	力率				%	冷：94 ，暖：94	冷：95 ，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.44，中間：5.06	定格：3.03，中間：4.81
		暖房				定格：4.23，中間：5.67	定格：3.92，中間：5.58
	通年エネルギー消費効率	(2015)				5.4	5.3
		(2006)				5.2	4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房		dB(A)	P急：62，急：58，強：50，弱：45	P急：62，急：58，強：51，弱：46
			暖房			P急：63，急：58，強：50，弱：44	P急：63，急：58，強：51，弱：45
		音圧レベル	冷房			P急：48，急：42，強：35，弱：29	P急：48，急：42，強：36，弱：29
			暖房			P急：48，急：42，強：35，弱：29	P急：48，急：42，強：36，弱：29
	室外ユニット	パワーレベル				冷：73，暖：73	冷：74，暖：77
		音圧レベル				冷：59，暖：60	冷：60，暖：63
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）				mm	本体：298 × 840 × 840 (7)，パネル：35 × 950 × 950	
	製品質量				kg	本体：27，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12	
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数				ターボファン × 1	
		風量			m^3/min	P急：36，急：25 ，強：22，弱：18	P急：36，急：27 ，強：24，弱：19
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0	
		電動機	定格出力		W	120	
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口					側板を利用して可能（口 100ダクト接続）	
	新鮮空気取入口					側板を利用して可能（65 × 112ダクト接続）	
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器					ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	1505 × 970 × 370	
	製品質量				kg	165	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			GTC5150MC40KC × 1	
			電動機出力		kW	4.2	7.3
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器				電子膨張弁	
		冷媒封入量			kg	7.2（R410A）［主管配管30m分封入済］	7.6（R410A）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			ℓ	1.55（M-MA32R）	
	送風装置	形式・台数				プロペラファン × 2	
		風量			m^3/min	冷：135，暖：135	
		電動機	定格出力		W	86 × 2	
	クランクケースヒータ				W	33	
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(13)	
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(11)（外径）	液管(10)			mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52（P280形：φ12.7），室外接続：φ9.52（フレア）（P280形：φ12.7（フレア））	
		ガス管				室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）	
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	8.0 × 3本（32m）(14)	14.0 × 3本（51m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）（開閉器容量（ヒューズ容量）				A	50	
						60（50）	
	アース線サイズ				mm^2	5.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21	
法定冷凍能力					トン	3.13（届出不要）	3.75（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IP24	
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。
(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）
(8) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.120kW × 2台
(9) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(10) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(11) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WB1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(12) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形に設定され，上記の仕様で運転します。
(13) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(14) 外気温が45℃を超える場所に据付ける場合は，電源線太さは14mm^2配線こう長54mになります。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）トリプル形（室内ユニット:3台，室外ユニット:1台）〔FDTV-HTA〕

項目 ＼ セット形式							FDTV1605HTA5SA
項目 ＼ 形式							室内：FDTZP635SA × 3台 室外：FDCVP1605HA
パネル形式（別売品）							266ページをご覧ください。
リモートコントローラ							RC-DX3B，RC-D4G(5)
電源							三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格				kW	14.0［3.7～16.0］
		中間					6.3（中温：6.4）
		最小中温					3.7
	暖房能力	定格標準					16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間					7.2
		最大低温					14.0
定格冷房時の顕熱比							0.90
(1)運転特性	運転電流	冷房				A	11.1
		暖房					10.1
	始動電流（最大電流）						5（23）
	消費電力	冷房	定格			kW	3.76
			中間				1.08（中温：0.926）
			最小中温				0.418
		暖房	定格標準				3.38（最小：0.615）
			中間				1.10
			最大低温				5.59
	力率					%	冷：98　，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房					定格：3.72，中間：5.83
		暖房					定格：4.73，中間：6.55
	通年エネルギー消費効率	(2015)					6.2
		(2006)					5.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房			dB(A)	P急：50　，急：46　，強：44　，弱：42
			暖房				P急：51　，急：46　，強：43　，弱：40
		音圧レベル	冷房				P急：37　，急：33　，強：31　，弱：29
			暖房				P急：37　，急：33　，強：29　，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル					冷：72　，暖：73
		音圧レベル					冷：58　，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）					mm	本体：236×840×840 (7)，パネル：35×950×950
	製品質量					kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12
	空気熱交換器						アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数					ターボファン×1
		風量				m^3/min	P急：18　，急：15　，強：13　，弱：11
		機外静圧（標準風量時）				Pa	0
		電動機	定格出力			W	58
		エアフィルタ					プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口						側板を利用して可能（口100ダクト接続）
	新鮮空気取入口						側板を利用して可能（65×112ダクト接続）
	運転調整						操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能						遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器						－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材						送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行				mm	1050×970×370
	製品質量					kg	86
	冷却装置	圧縮機	形式・台数				RMT5134SWE3×1
			電動機出力			kW	3.7
		空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器					電子膨張弁
		冷媒封入量				kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量				ℓ	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数					プロペラファン×1
		風量				m^3/min	冷：86　，暖：86
		電動機	定格出力			W	144
	クランクケースヒータ					W	20
	低外気温時冷房運転制御機能						室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(12)
	除霜						マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置						圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(10)（外径）	液管				mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）
		ガス管					室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，　室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口						〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）					mm²	5.5×3本（30m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）					A	30 30（30）
	アース線サイズ					mm²	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線					mm²	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～105m）
設計圧力						MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力						トン	1.77（届出不要）
IPコード							室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置							高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。
(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）
(8) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.058kW × 3台
(9) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(10) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
　① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TA1G　　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1Gを2セット
(11) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）トリプル形（室内ユニット:3台，室外ユニット:1台）〔FDTVP-HT〕

項目 ＼ セット形式							FDTVP2244HT5SA
項目 ＼ 形式							室内：FDTZP715SA × 3台 室外：FDCVP2244H
パネル形式（別売品）							266ページをご覧ください。
リモートコントローラ							RC-DX3B，RC-D4G(5)
電源							三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格				kW	20.0［7.2～22.4］
		中間					9.0（中温：9.5）
		最小中温					7.2
	暖房能力	定格標準					22.4［5.7～28.0］（最小：5.7）
		中間					10.1
		最大低温					21.5
定格冷房時の顕熱比							0.74
(1)運転特性	運転電流	冷房				A	18.8
		暖房					17.4
	始動電流（最大電流）						5（33）
	消費電力	冷房	定格			kW	6.12
			中間				1.72（中温：1.43）
			最小中温				1.18
		暖房	定格標準				5.74（最小：1.06）
			中間				1.81
			最大低温				8.30
	力率					%	冷：94 ，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房					定格：3.27，中間：5.23
		暖房					定格：3.90，中間：5.58
	通年エネルギー消費効率	（2015）					5.4
		（2006）					5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房			dB(A)	P急：50 ，急：46 ，強：44 ，弱：42
			暖房				P急：51 ，急：46 ，強：43 ，弱：40
		音圧レベル	冷房				P急：37 ，急：33 ，強：31 ，弱：29
			暖房				P急：37 ，急：33 ，強：31 ，弱：29
	室外ユニット	パワーレベル					冷：73 ，暖：73
		音圧レベル					冷：59 ，暖：60
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）					mm	本体：236×840×840 (7)，パネル：35×950×950
	製品質量					kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12
	空気熱交換器						アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数					ターボファン×1
		風量				m^3/min	P急：19 ，急：15 ，強：13 ，弱：11
		機外静圧（標準風量時）				Pa	0
		電動機	定格出力			W	58
		エアフィルタ					プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口						側板を利用して可能（口100ダクト接続）
	新鮮空気取入口						側板を利用して可能（65×112ダクト接続）
	運転調整						操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能						遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器						－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材						送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行				mm	1505×970×370
	製品質量					kg	165
	冷却装置	圧縮機	形式・台数				GTC5150MC40KC×1
			電動機出力			kW	4.2
		空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器					電子膨張弁
		冷媒封入量				kg	7.2（R410A）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量				ℓ	1.55（M-MA32R）
	送風装置	形式・台数					プロペラファン×2
		風量				m^3/min	冷：135，暖：135
		電動機	定格出力			W	86×2
	クランクケースヒータ					W	33
	低外気温時冷房運転制御機能						室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(13)
	除霜						マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置						圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(11)（外径）	液管(10)				mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管					室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口						〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）					mm^2	8.0×3本（32m）(14)
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）					A	50 60（50）
	アース線サイズ					mm^2	5.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線					mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力						MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21
法定冷凍能力						トン	3.13（届出不要）
IPコード							室内：IPXO，室外：IP24
保護装置							高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。
(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）
(8) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.058kW × 3台
(9) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(10) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(11) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TB1G ② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1G，DIS-WB1Gを各1セット
(12) 室内ユニットは共用タイプ（P71用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP71形に設定され，上記の仕様で運転します。
(13) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(14) 外気温が45℃を超える場所に据付ける場合は，電源線太さは14mm^2配線こう長54mになります。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ダブルツイン形（室内ユニット：4台，室外ユニット：1台）〔FDTVP-HD〕

項目 ＼ セット形式						FDTVP2244HD5SA
項目 ＼ 形式						室内：FDTZP635SA × 4台 室外：FDCVP2244H
パネル形式（別売品）						266ページをご覧ください。
リモートコントローラ						RC-DX3B，RC-D4G(5)
電源						三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	20.0［7.7～22.4］
		中間				9.0（中温：9.5）
		最小中温				7.7
	暖房能力	定格標準				22.4［5.7～28.0］（最小：5.7）
		中間				10.1
		最大低温				22.0
定格冷房時の顕熱比						0.86
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	16.4
		暖房				16.3
	始動電流（最大電流）					5（33）
	消費電力	冷房	定格		kW	5.41
			中間			1.59（中温：1.29）
			最小中温			1.17
		暖房	定格標準			5.42（最小：1.04）
			中間			1.69
			最大低温			7.72
	力率				%	冷：95　，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.70　，中間：5.66
		暖房				定格：4.13　，中間：5.98
	通年エネルギー消費効率	（2015）				5.8
		（2006）				5.5
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房		dB(A)	P急：50　，急：46　，強：44　，弱：42
			暖房			P急：51　，急：46　，強：43　，弱：40
		音圧レベル	冷房			P急：37　，急：33　，強：31　，弱：29
			暖房			P急：37　，急：33　，強：29　，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル				冷：73　，暖：73
		音圧レベル				冷：59　，暖：60
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）				mm	本体：236×840×840 (7)，パネル：35×950×950
	製品質量				kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				ターボファン×1
		風量			m^3/min	P急：18　，急：15　，強：13　，弱：11
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	58
	エアフィルタ					プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口					側板を利用して可能（口100ダクト接続）
	新鮮空気取入口					側板を利用して可能（65×112ダクト接続）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	1505×970×370
	製品質量				kg	165
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			GTC5150MC40KC×1
			電動機出力		kW	4.2
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	7.2（R410A）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			ℓ	1.55（M-MA32R）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×2
		風量			m^3/min	冷：135，暖：135
		電動機	定格出力		W	86×2
	クランクケースヒータ				W	33
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(14)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(12)（外径）	液管(10)			mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管②：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管				室内接続：φ12.7(フレア)，分岐管②：φ12.7，①：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	8.0×3本（32m）(15)
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）				A	50 60（50）
	アース線サイズ				mm^2	5.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21
法定冷凍能力					トン	3.13（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IP24
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。
(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）
(8) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.058kW×4台
(9) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット4台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(10) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(11) 冷媒配管の分岐管①は第1分岐～第2分岐の間，②は第2分岐～室内ユニットの間を示します。
(12) ダブルツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1Gを2セット，DIS-WB1Gを1セット（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(13) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP56形に設定され，上記の仕様で運転します。
(14) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(15) 外気温が45℃を超える場所に据付ける場合は，電源線太さは14mm^2配線こう長54mになります。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ダブルツイン形（室内ユニット：4台，室外ユニット：1台）〔FDTVP-HD〕

項目 ＼ セット形式						FDTVP2804HD5SA
項目 ＼ 形式						室内：FDTZP715SA × 4台 室外：FDCVP2804H
パネル形式（別売品）						266ページをご覧ください。
リモートコントローラ						RC-DX3B，RC-D4G(5)
電源						三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW		25.0［7.8～28.0］
		中間				11.3（中温：12.0）
		最小中温				7.8
	暖房能力	定格標準				28.0［7.2～31.5］（最小：7.2）
		中間				12.6
		最大低温				22.4
定格冷房時の顕熱比						0.76
(1)運転特性	運転電流	冷房		A		23.7
		暖房				23.2
	始動電流（最大電流）					5（35）
	消費電力	冷房	定格	kW		7.81
			中間			2.08（中温：1.66）
			最小中温			1.17
		暖房	定格標準			7.65（最小：1.36）
			中間			2.27
			最大低温			8.00
	力率			%		冷：95　，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.20　，中間：5.43
		暖房				定格：3.66　，中間：5.55
	通年エネルギー消費効率	(2015)				5.6
		(2006)				5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)		P急：50　，急：46　，強：44　，弱：42
			暖房			P急：51　，急：46　，強：43　，弱：40
		音圧レベル	冷房			P急：37　，急：33　，強：31　，弱：29
			暖房			P急：37　，急：33　，強：31　，弱：29
	室外ユニット	パワーレベル				冷：74　，暖：77
		音圧レベル				冷：60　，暖：63
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm		本体：236×840×840(7)，パネル：35×950×950
	製品質量			kg		本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				ターボファン×1
		風量		m^3/min		P急：19　，急：15　，強：13　，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa		0
		電動機	定格出力	W		58
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口					側板を利用して可能（口100ダクト接続）
	新鮮空気取入口					側板を利用して可能（65×112ダクト接続）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm		1505×970×370
	製品質量			kg		165
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			GTC5150MC40KC×1
			電動機出力	kW		7.3
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量		kg		7.6（R410A）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ		1.55（M-MA32R）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×2
		風量		m^3/min		冷：135，暖：135
		電動機	定格出力	W		86×2
	クランクケースヒータ			W		33
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(13)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(11)（外径）	液管		mm		室内接続：φ9.52（フレア），分岐管②①：φ9.52，主管：φ12.7，室外接続：φ12.7（フレア）
		ガス管				室内接続：φ15.88（フレア），分岐管②①：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2		14.0×3本（51m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A		50
	開閉器容量（ヒューズ容量）					60（50）
	アース線サイズ			mm^2		5.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2		2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力				MPa		高圧部：4.15，低圧部：2.21
法定冷凍能力				トン		3.75（届出不要）
IPコード						室内：IPX0，室外：IP24
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルについては，RC-DX3Bのみ使用可能です。
(6) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時，外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。（詳細は外形図をご覧ください。）
(8) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.058kW×4台
(9) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット4台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(10) 冷媒配管の分岐管①は第1分岐～第2分岐の間，②は第2分岐～室内ユニットの間を示します。
(11) ダブルツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1Gを2セット，DIS-WB1Gを1セット（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(12) 室内ユニットは共用タイプ（P71用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP71形に設定され，上記の仕様で運転します。
(13) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(b) 天井埋込形２方向吹出し（FDTWV）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTWV-HK〕

PJB001Z845 | PJB001Z850

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTWV405HK5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCVP405HK	FDTWV455HK5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCVP455HK	FDTWV505HK5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCVP505HK
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G		
電源					単相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.4～4.0］	4.0［1.3～4.5］	4.5［1.3～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.0）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.1）	5.0［1.3～5.6］（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.6	5.2
定格冷房時の顕熱比					0.82	0.78	0.74
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.0	5.9	6.5
		暖房			5.3	6.3	6.5
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.910	1.10	1.25
			中間		0.305（中温：0.248）	0.332（中温：0.273）	0.396（中温：0.340）
			最小中温		0.182	0.182	0.182
		暖房	定格標準		0.955（最小：0.207）	1.16（最小：0.226）	1.24（最小：0.263）
			中間		0.327	0.367	0.407
			最大低温		1.77	1.77	2.81
	力率			%	冷：91，暖：90	冷：93，暖：92	冷：96，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.96，中間：5.57	定格：3.64，中間：5.42	定格：3.60，中間：5.30
		暖房			定格：4.19，中間：5.50	定格：3.88，中間：5.72	定格：4.03，中間：5.65
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6	5.5	5.4
		（2006）			5.3	5.2	5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46		
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31		
	室外ユニット	パワーレベル			冷：58，暖：60	冷：59，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：43，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：325×820×620，パネル：20×1120×680		
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1		
		風量		m^3/min	P急：14.5，急：12，強：10，弱：9		
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	35		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(8)		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×2本（14m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.46（届出不要）	0.52（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.04kW × 1台
(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTWV-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTWV565HK5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCVP565HK	FDTWV635HK5SA 室内：FDTWZP635SA 室外：FDCVP635HK
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.3～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.5	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.72	0.71
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.2	9.1
		暖房			7.8	9.4
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.40	1.77
			中間		0.448（中温：0.380）	0.482（中温：0.433）
			最小中温		0.182	0.198
		暖房	定格標準		1.52（最小：0.278）	1.84（最小：0.310）
			中間		0.478	0.529
			最大低温		3.03	2.67
	力率			%	冷：97，暖：97	冷：97，暖：98
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.57，中間：5.13	定格：3.16，中間：5.39
		暖房			定格：3.68，中間：5.44	定格：3.42，中間：5.48
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.3	5.2
		（2006）			4.9	4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46	P急：58，急：54，強：50，弱：47
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31	P急：42，急：38，強：34，弱：31
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：325×820×620，パネル：20×1120×680	
	製品質量			kg	本体：21（P63形：23），標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m³/min	P急：14.5，急：12，強：10，弱：9	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	35	40
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(8)	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m³/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	2.0×2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.04kW × 1台
(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTWV-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTWV805HK5SA 室内：FDTWZP805SA 室外：FDCVP805HK
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G
電源					単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.4）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0～10.0］（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			7.6
定格冷房時の顕熱比					0.68
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	10.7
		暖房			11.4
	始動電流（最大電流）				5（18.5）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.11
			中間		0.601（中温：0.509）
			最小中温		0.242
		暖房	定格標準		2.25（最小：0.378）
			中間		0.687
			最大低温		3.21
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.36，中間：5.32
		暖房			定格：3.56，中間：5.24
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.4
		（2006）			4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：61，急：56，強：54，弱：50
		音圧レベル			P急：45，急：40，強：38，弱：34
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：325×820×620，パネル：20×1120×680
	製品質量			kg	本体：23，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1
		風量		m^3/min	P急：16.5，急：13，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(8)
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	30 30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.06kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTWV-H〕

項目 ＼ セット形式					FDTWV405H5SA	FDTWV455H5SA	FDTWV505H5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTWZP565SA 室外：FDCVP405H	室内：FDTWZP565SA 室外：FDCVP455H	室内：FDTWZP565SA 室外：FDCVP505H
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6 [1.4 ～ 4.0]	4.0 [1.3 ～ 4.5]	4.5 [1.3 ～ 5.0]
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			4.0 [1.0 ～ 4.5]（最小：1.0）	4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.1）	5.0 [1.3 ～ 5.6]（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.6	5.2
定格冷房時の顕熱比					0.82	0.78	0.74
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	3.1	3.6	4.1
		暖房			3.2	3.9	4.0
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.900	1.09	1.24
			中間		0.302（中温：0.247）	0.328（中温：0.271）	0.392（中温：0.338）
			最小中温		0.181	0.181	0.181
		暖房	定格標準		0.950（最小：0.205）	1.15（最小：0.225）	1.23（最小：0.261）
			中間		0.324	0.364	0.403
			最大低温		1.76	1.76	2.80
	力率			%	冷：84，暖：86	冷：87，暖：85	冷：87，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.00，中間：5.63	定格：3.67，中間：5.49	定格：3.63，中間：5.36
		暖房			定格：4.21，中間：5.56	定格：3.91，中間：5.77	定格：4.07，中間：5.71
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7	5.6	5.5
		（2006）			5.4	5.3	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46		
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31		
	室外ユニット	パワーレベル			冷：58，暖：60	冷：59，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：43，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：325×820×620，パネル：20×1120×680		
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1		
		風量		m^3/min	P急：14.5，急：12，強：10，弱：9		
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	35		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(8)		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×3本（21m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				15（15）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.46（届出不要）	0.52（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.04kW × 1台
(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTWV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTWV565H5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCVP565H	FDTWV635H5SA 室内：FDTWZP635SA 室外：FDCVP635H
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.3～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.5	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.72	0.71
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.4	5.3
		暖房			4.7	5.5
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.39	1.76
			中間		0.445（中温：0.378）	0.478（中温：0.430）
			最小中温		0.181	0.197
		暖房	定格標準		1.51（最小：0.276）	1.83（最小：0.308）
			中間		0.475	0.525
			最大低温		3.02	2.66
	力率			%	冷：91，暖：93	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.60，中間：5.17	定格：3.18，中間：5.44
		暖房			定格：3.71，中間：5.47	定格：3.44，中間：5.52
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.4	5.3
		(2006)			4.9	4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46	P急：58，急：54，強：50，弱：47
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31	P急：42，急：38，強：34，弱：31
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：325×820×620，パネル：20×1120×680	
	製品質量			kg	本体：21（P63形：23），標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m^3/min	P急：14.5，急：12，強：10，弱：9	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	35	40
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(8)	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×200	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				15（15）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.04kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(9) 外気温度が−5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTWV-H〕

項目 ＼ セット形式					FDTWV805H5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTWZP805SA 室外：FDCVP805H
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.4）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0～10.0］（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			7.6
定格冷房時の顕熱比					0.68
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.5
		暖房			7.1
	始動電流（最大電流）				5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.05
			中間		0.591（中温：0.502）
			最小中温		0.238
		暖房	定格標準		2.21（最小：0.370）
			中間		0.674
			最大低温		3.16
	力率			%	冷：91，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.46，中間：5.41
		暖房			定格：3.62，中間：5.34
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.5
		(2006)			4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：61，急：56，強：54，弱：50
		音圧レベル			P急：45，急：40，強：38，弱：34
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：325×820×620，パネル：20×1120×680
	製品質量			kg	本体：23，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1
		風量		m^3/min	P急：16.5，急：13，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(8)
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（31m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.06kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTWV-HA〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTWV1125HA5SA 室内：FDTWZP1405SA 室外：FDCVP1125HA	FDTWV1405HA5SA 室内：FDTWZP1405SA 室外：FDCVP1405HA	FDTWV1605HA5SA 室内：FDTWZP1605SA 室外：FDCVP1605HA
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.3～11.2］	12.5［3.3～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.3	3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.8～18.3］（最小：3.8）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			12.5	13.0	14.0
定格冷房時の顕熱比					0.76	0.69	0.67
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.5	11.3	16.1
		暖房			8.3	11.8	14.1
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.52	3.83	5.46
			中間		0.748（中温：0.619）	1.08（中温：1.14）	1.28（中温：1.16）
			最小中温		0.442	0.465	0.432
		暖房	定格標準		2.76（最小：0.500）	3.96（最小：0.647）	4.73（最小：0.703）
			中間		0.899	1.16	1.29
			最大低温		5.87	5.68	6.64
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.97，中間：6.02	定格：3.26，中間：5.28	定格：2.56，中間：4.92
		暖房			定格：4.06，中間：5.67	定格：3.54，中間：5.43	定格：3.38，中間：5.58
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.9	4.9	5.1
		（2006）			5.4	4.9	4.7
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：63，急：60，強：56，弱：52		
		音圧レベル			P急：48，急：45，強：41，弱：37		
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：325×1535×620，パネル：20×1835×680		
	製品質量			kg	本体：35，標準パネル：13，ラクリーナパネル：15		本体：37，標準パネル：13，ラクリーナパネル：15
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン×2		
		風量		m^3/min	P急：31，急：27，強：23，弱：20		
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	35×2		40×2
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(8)		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1050×970×370		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管			φ15.88（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（30m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～105m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	1.22（届出不要）	1.55（届出不要）	1.77（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112，P140形：0.10kW × 1台，P160形：0.11kW × 1台
(7) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140用）および共用タイプ（P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。
(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTWV-HKP〕

項目 ＼ セット形式					FDTWV805HKP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTWZP565SA × 2台 室外：FDCVP805HK
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G
電源					単相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.4）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間			3.6
		最大低温			7.6
定格冷房時の顕熱比					0.86
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	9.3
		暖房			9.9
	始動電流（最大電流）				5（18.5）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.85
			中間		0.587（中温：0.488）
			最小中温		0.294
		暖房	定格標準		1.96（最小：0.423）
			中間		0.645
			最大低温		3.21
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.84，中間：5.45
		暖房			定格：4.08，中間：5.58
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.5
		(2006)			5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：325 × 820× 620，パネル：20 × 1120 × 680
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1
		風量		m^3/min	P急：14.5，急：12，強：10，弱：9
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	35
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト × 1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(10)
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845 × 970 × 370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 2本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.04kW × 2台

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：２台，室外ユニット：１台）〔FDTWV-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDTWV805HP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTWZP565SA × 2台 室外：FDCVP805H
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.4）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1 ～ 10.0］（最小：2.1）
		中間			3.6
		最大低温			7.6
定格冷房時の顕熱比					0.86
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.8
		暖房			6.2
	始動電流（最大電流）				5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.82
			中間		0.578（中温：0.477）
			最小中温		0.291
		暖房	定格標準		1.94 （最小：0.410）
			中間		0.624
			最大低温		3.16
	力率			%	冷：91 ，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.90 ，中間：5.54
		暖房			定格：4.12 ，中間：5.77
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6
		（2006）			5.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57 ，急：53 ，強：49 ，弱：46
		音圧レベル			P急：42 ，急：38 ，強：34 ，弱：31
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65 ，暖：66
		音圧レベル			冷：48 ，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：325×820 ×620，パネル：20×1120×680
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1
		風量		m^3/min	P急：14.5，急：12 ，強：10 ，弱：9
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	35
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(10)
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52 ，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(11)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法（外径）	冷媒配管(8)	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52， 室外接続：φ9.52 （フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（31m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.04kW × 2台

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット:2 台，室外ユニット:1 台）〔FDTWV-HPA〕

項目 ＼ セット形式					FDTWV1125HPA5SA	FDTWV1405HPA5SA	FDTWV1605HPA5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTWZP565SA × 2台 室外：FDCVP1125HA	室内：FDTWZP805SA × 2台 室外：FDCVP1405HA	室内：FDTWZP805SA × 2台 室外：FDCVP1605HA
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G		
電源					三相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.3～11.2］	12.5［3.3～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.3	3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.6～18.3］（最小：3.6）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			12.5	13.0	14.0
定格冷房時の顕熱比					0.73	0.68	0.67
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.5	11.1	15.1
		暖房			8.6	11.5	12.9
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.53	3.77	5.11
			中間		0.797（中温：0.617）	1.02（中温：0.858）	1.20（中温：1.01）
			最小中温		0.478	0.443	0.468
		暖房	定格標準		2.86（最小：0.511）	3.86（最小：0.617）	4.35（最小：0.720）
			中間		0.882	1.10	1.28
			最大低温		5.69	5.68	6.13
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.95，中間：5.65	定格：3.32，中間：5.59	定格：2.74，中間：5.25
		暖房			定格：3.92，中間：5.78	定格：3.63，中間：5.73	定格：3.68，中間：5.63
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.9	5.7	5.4
		（2006）			5.3	5.1	4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46	P急：58，急：54，強：50，弱：47	P急：61，急：56，強：54，弱：50
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31	P急：42，急：38，強：34，弱：31	P急：45，急：40，強：38，弱：34
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：325×820×620，パネル：20×1120×680		
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10	本体：23，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1		
		風量		m^3/min	P急：14.5，急：12，強：10，弱：9		P急：16.5，急：13，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	35		50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(10)		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1050×970×370		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(11)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管(8)	液管		mm	室内接続：φ6.35（P140，P160：φ9.52）（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）		
		ガス管			室内接続：φ12.7（P140，P160：φ15.88）（フレア），分岐管：φ12.7（P140，P160：φ15.88），主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（30m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～105m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	1.22（届出不要）	1.55（届出不要）	1.77（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：P112形，P140形：0.04kW × 2台，P160形：0.06kW×2台

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTWVP-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDTWVP2244HP5SA	FDTWVP2804HP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTWZP1405SA × 2台 室外：FDCVP2244H	室内：FDTWZP1405SA × 2台 室外：FDCVP2804H
パネル形式（別売品）					266ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [6.8 ～ 22.4]	25.0 [7.1 ～ 28.0]
		中間			9.0（中温：9.5）	11.3（中温：12.1）
		最小中温			6.8	7.1
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.6 ～ 28.0]（最小：5.6）	28.0 [7.1 ～ 31.5]（最小：7.1）
		中間			10.1	12.6
		最大低温			22.0	24.0
定格冷房時の顕熱比					0.73	0.67
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	20.3	29.7
		暖房			18.7	26.4
	始動電流（最大電流）				5（33）	5（35）
	消費電力	冷房	定格	kW	6.60	9.79
			中間		1.94（中温：1.66）	2.95（中温：2.78）
			最小中温		1.34	1.31
		暖房	定格標準		6.10（最小：1.28）	8.59（最小：1.62）
			中間		2.10	2.66
			最大低温		8.83	9.65
	力率			%	冷：94，暖：94	冷：95，暖：94
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.03，中間：4.64	定格：2.55，中間：3.83
		暖房			定格：3.67，中間：4.81	定格：3.26，中間：4.74
	通年エネルギー消費効率	（2015）			4.6	4.1
		（2006）			4.5	4.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：63，急：60，強：56，弱：52	
		音圧レベル			P急：48，急：45，強：41，弱：37	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：73，暖：73	冷：74，暖：77
		音圧レベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：63
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：325 × 1535 × 620，パネル：20 × 1835 × 680	
	製品質量			kg	本体：35，標準パネル：13，ラクリーナパネル：15	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 2	
		風量		m^3/min	P急：31，急：27，強：23，弱：20	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	35 × 2	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト × 1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(11)	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505 × 970 × 370	
	製品質量			kg	165	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		GTC5150MC40KC × 1	
			電動機出力	kW	4.2	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	7.2（R410A）［主管配管30m分封入済］	7.6（R410A）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	1.55（M-MA32R）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	135	
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	33	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(12)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管(8)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52（P280形：φ12.7），室外接続：φ9.52（フレア）（P280形：φ12.7（フレア））	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（32m）(13)	14.0 × 3本（51m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）	
	アース線サイズ			mm^2	5.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21	
法定冷凍能力				トン	3.13（届出不要）	3.75（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IP24	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.10kW × 2台
(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(9) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WB1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(13) 外気温が45℃を超える場所に据付ける場合は，電源線太さは14mm^2配線こう長54mになります。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）トリプル形（室内ユニット:3台，室外ユニット:1台）〔FDTWV-HTA〕

項目 ＼ セット形式						FDTWV1605HTA5SA
項目 ＼ 形式						室内：FDTWZP565SA × 3台 室外：FDCVP1605HA
パネル形式（別売品）						266ページをご覧ください。
リモートコントローラ						RC-DX3B，RC-D4G
電源						三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	14.0［3.5～16.0］
		中間				6.3（中温：6.4）
		最小中温				3.5
	暖房能力	定格標準				16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間				7.2
		最大低温				14.0
定格冷房時の顕熱比						0.76
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	12.8
		暖房				11.7
	始動電流（最大電流）					5（23）
	消費電力	冷房	定格		kW	4.33
			中間			1.27（中温：1.02）
			最小中温			0.625
		暖房	定格標準			3.93（最小：0.724）
			中間			1.27
			最大低温			6.06
	力率				%	冷：98　，暖：97
	エネルギー消費効率		冷房			定格：3.23　，中間：4.96
			暖房			定格：4.07　，中間：5.67
	通年エネルギー消費効率	（2015）				5.3
		（2006）				5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46
		音圧レベル				P急：42，急：38，強：34，弱：31
	室外ユニット	パワーレベル				冷：72，暖：73
		音圧レベル				冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）				mm	本体：325×820×620，パネル：20×1120×680
	製品質量				kg	本体：21，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				ターボファン×1
		風量			m^3/min	P急：14.5，急：12，強：10，弱：9
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	35
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口					φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(10)
	新鮮空気取入口					側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	1050×970×370
	製品質量				kg	86
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5134SWE3×1
			電動機出力		kW	3.7
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			ℓ	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×1
		風量			m^3/min	冷：86，暖：86
		電動機	定格出力		W	144
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管			mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）
		ガス管				室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	5.5×3本（30m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（30）
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～105m）
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	1.77（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.04kW × 3台
(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満　：DIS-TA1G　　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上　：DIS-WA1Gを2セット
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）トリプル形（室内ユニット：3台，室外ユニット：1台）〔FDTWVP-HT〕

項目 ＼ セット形式						FDTWVP2244HT5SA
項目 ＼ 形式						室内：FDTWZP805SA × 3台 室外：FDCVP2244H
パネル形式（別売品）						266ページをご覧ください。
リモートコントローラ						RC-DX3B，RC-D4G
電源						三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	20.0［6.7～22.4］
		中間				9.0（中温：9.4）
		最小中温				6.7
	暖房能力	定格標準				22.4［5.7～28.0］（最小：5.7）
		中間				10.1
		最大低温				22.0
定格冷房時の顕熱比						0.69
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	22.5
		暖房				19.6
	始動電流（最大電流）					5（33）
	消費電力	冷房	定格		kW	7.25
			中間			1.96（中温：1.72）
			最小中温			1.31
		暖房	定格標準			6.37（最小：1.26）
			中間			2.20
			最大低温			9.13
	力率				%	冷：93　，暖：94
	エネルギー消費効率	冷房				定格：2.76　，中間：4.59
		暖房				定格：3.52　，中間：4.59
	通年エネルギー消費効率	(2015)				4.5
		(2006)				4.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：61，急：56，強：54，弱：50
		音圧レベル				P急：45，急：40，強：38，弱：34
	室外ユニット	パワーレベル				冷：73，暖：73
		音圧レベル				冷：59，暖：60
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）				mm	本体：325×820×620，パネル：20×1120×680
	製品質量				kg	本体：23，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				ターボファン×1
		風量			m^3/min	P急：16.5，急：13，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	50
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口					φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(11)
	新鮮空気取入口					側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	1505×970×370
	製品質量				kg	165
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			GTC5150MC40KC×1
			電動機出力		kW	4.2
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	7.2（R410A）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			ℓ	1.55（M-MA32R）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×2
		風量			m^3/min	135
		電動機	定格出力		W	86×2
	クランクケースヒータ				W	33
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(12)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管(8)			mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管				室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	8.0×3本（32m）(13)
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	50
	開閉器容量（ヒューズ容量）					60（50）
	アース線サイズ				mm^2	5.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21
法定冷凍能力					トン	3.13（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IP24
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.06kW × 3台
(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(9) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TB1G　　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1G，DIS-WB1Gを各1セット
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(13) 外気温が45℃を超える場所に据付ける場合は，電源線太さは14mm^2配線こう長54mになります。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ダブルツイン形（室内ユニット：4 台，室外ユニット：1 台）〔FDTWVP-HD〕

項目 ＼ セット形式						FDTWVP2244HD5SA
項目 ＼ 形式						室内：FDTWZP565SA × 4台 室外：FDCVP2244H
パネル形式（別売品）						266ページをご覧ください。
リモートコントローラ						RC-DX3B，RC-D4G
電源						三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力		定格		kW	20.0［7.0 ～ 22.4］
			中間			9.0（中温：9.5）
			最小中温			7.0
	暖房能力		定格標準			22.4［5.7 ～ 28.0］（最小：5.7）
			中間			10.1
			最大低温			22.0
定格冷房時の顕熱比						0.73
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	18.6
		暖房				18.3
	始動電流（最大電流）					5（33）
	消費電力	冷房	定格		kW	6.05
			中間			1.91（中温：1.72）
			最小中温			1.31
		暖房	定格標準			6.02（最小：1.23）
			中間			1.91
			最大低温			8.70
	力率				%	冷：94　，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.31　，中間：4.71
		暖房				定格：3.72　，中間：5.29
	通年エネルギー消費効率	（2015）				4.8
		（2006）				4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：57　，急：53　，強：49　，弱：46
		音圧レベル				P急：42　，急：38　，強：34　，弱：31
	室外ユニット	パワーレベル				冷：73　，暖：73
		音圧レベル				冷：59　，暖：60
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）				mm	本体：325 × 820 × 620，パネル：20 × 1120 × 680
	製品質量				kg	本体：21，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				ターボファン × 1
		風量			m^3/min	P急：14.5，急：12　，強：10，弱：9
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	35
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口					φ200mmフレシキブルダクト × 1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(12)
	新鮮空気取入口					側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	1505 × 970 × 370
	製品質量				kg	165
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			GTC5150MC40KC × 1
			電動機出力		kW	4.2
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	7.2（R410A）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			ℓ	1.55（M-MA32R）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン × 2
		風量			m^3/min	135
		電動機	定格出力		W	86 × 2
	クランクケースヒータ				W	33
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(13)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(10)（外径）	液管(8)			mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管②①：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管				室内接続：φ12.7（フレア），分岐管②：φ12.7，①：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	8.0 × 3本（32m）(14)
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	50
	開閉器容量（ヒューズ容量）					60（50）
	アース線サイズ				mm^2	5.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21
法定冷凍能力					トン	3.13（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IP24
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.04kW × 4台
(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット4台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) P224形の場合，主管配管長が40mを超える場合は主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(9) 冷媒配管の分岐管①は第１分岐～第２分岐の間，②は第２分岐～室内ユニットの間を示します。
(10) ダブルツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1Gを2セット，DIS-WB1Gを1セット（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(11) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP56形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(13) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(14) 外気温が45℃を超える場所に据付ける場合は，電源線太さは14mm^2配線こう長54mになります。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ダブルツイン形（室内ユニット：4台，室外ユニット：1台）〔FDTWVP-HD〕

項目 ＼ セット形式						FDTWVP2804HD5SA
項目 ＼ 形式						室内：FDTWZP805SA × 4台 室外：FDCVP2804H
パネル形式（別売品）						266ページをご覧ください。
リモートコントローラ						RC-DX3B，RC-D4G
電源						三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	25.0［7.0～28.0］
		中間				11.3（中温：12.1）
		最小中温				7.0
	暖房能力	定格標準				28.0［7.2～31.5］（最小：7.2）
		中間				12.6
		最大低温				24.0
定格冷房時の顕熱比						0.68
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	29.6
		暖房				27.7
	始動電流（最大電流）					5（35）
	消費電力	冷房	定格		kW	9.63
			中間			2.76（中温：2.49）
			最小中温			1.29
		暖房	定格標準			9.03（最小：1.61）
			中間			2.53
			最大低温			10.3
	力率				%	冷：94 ，暖：94
	エネルギー消費効率	冷房				定格：2.60 ，中間：4.09
		暖房				定格：3.10 ，中間：4.98
	通年エネルギー消費効率	（2015）				4.4
		（2006）				4.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：58 ，急：54 ，強：50 ，弱：47
		音圧レベル				P急：42 ，急：38 ，強：34 ，弱：31
	室外ユニット	パワーレベル				冷：74 ，暖：77
		音圧レベル				冷：60 ，暖：63
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）				mm	本体：325×820 ×620，パネル：20 ×1120×680
	製品質量				kg	本体：23，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				ターボファン×1
		風量			m^3/min	P急：14.5，急：12 ，強：10，弱：9
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	40
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口					φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(11)
	新鮮空気取入口					側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	1505 × 970 × 370
	製品質量				kg	165
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			GTC5150MC40KC × 1
			電動機出力		kW	7.3
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	7.6（R410A）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			ℓ	1.55（M-MA32R）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×2
		風量			m^3/min	135
		電動機	定格出力		W	86 × 2
	クランクケースヒータ				W	33
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(12)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管			mm	室内接続：φ9.52 （フレア），分岐管②①：φ9.52，主管：φ12.7，室外接続：φ12.7（フレア）
		ガス管				室内接続：φ15.88（フレア），分岐管②①：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	14.0 × 3本（51m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	50
	開閉器容量（ヒューズ容量）					60（50）
	アース線サイズ				mm^2	5.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21
法定冷凍能力					トン	3.75（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IP24
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.04kW × 4台

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット4台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) 冷媒配管の分岐管①は第1分岐～第2分岐の間，②は第2分岐～室内ユニットの間を示します。

(9) ダブルツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1Gを2セット，DIS-WB1Gを1セット（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(10) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP71形に設定され，上記の仕様で運転します。

(11) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(c) 天井埋込形 1 方向吹出し（FDTSV）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTSV-HK〕

PJC001Z441 | **PJC001Z444**

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDTSV405HK5SA 室内：FDTSZP505SA 室外：FDCVP405HK	FDTSV455HK5SA 室内：FDTSZP505SA 室外：FDCVP455HK	FDTSV505HK5SA 室内：FDTSZP505SA 室外：FDCVP505HK
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW		
	下がり天井仕様・オートスイングなし				TS-PNA-3AW		
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G		
電源					単相 200V 50/60Hz		
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.3～4.0］	4.0［1.3～4.5］	4.5［1.3～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.3	1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.0）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.1）	5.0［1.3～5.6］（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.8	5.2
定格冷房時の顕熱比					0.78	0.75	0.79
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	5.2	6.0	6.8
		暖房			5.3	6.4	6.7
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.910	1.09	1.27
			中間		0.300（中温：0.239）	0.321（中温：0.270）	0.375（中温：0.321）
			最小中温		0.173	0.173	0.173
		暖房	定格標準		0.930（最小：0.213）	1.19（最小：0.233）	1.25（最小：0.263）
			中間		0.335	0.372	0.407
			最大低温		1.77	1.85	2.63
	力率			%	冷：88，暖：88	冷：91，暖：93	冷：93，暖：93
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.96，中間：5.67	定格：3.67，中間：5.61	定格：3.54，中間：5.60
		暖房			定格：4.30，中間：5.37	定格：3.78，中間：5.65	定格：4.00，中間：5.65
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6	5.5	5.5
		（2006）			5.3	5.2	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：55，強：53，弱：50	P急：57，急：55，強：53，弱：50	P急：59，急：56，強：53，弱：50
		音圧レベル			P急：42，急：40，強：38，弱：35	P急：42，急：40，強：38，弱：35	P急：44，急：41，強：38，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：58，暖：60	冷：59，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：43，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：220×1150×565，パネル：35×1460×650		
	製品質量			kg	本体：27，標準パネル：6，下がり天井パネル：6		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4		
		風量		m^3/min	P急：13，急：12，強：11，弱：9.5	P急：13，急：12，強：11，弱：9.5	P急：14.5，急：12.5，強：11，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	35		50
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				下がり天井仕様の場合：可能		
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（組込不可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(8)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×2本（14m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.46（届出不要）	0.52（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：P40，P45形：0.04kW × 1台，P50形：0.06kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTSV-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTSV565HK5SA 室内：FDTSZP635SA 室外：FDCVP565HK	FDTSV635HK5SA 室内：FDTSZP635SA 室外：FDCVP635HK
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW	
	下がり天井仕様・オートスイングなし				TS-PNA-3AW	
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G	
電源					単相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.4～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.5	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.71	0.72
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.9	8.8
		暖房			7.5	9.2
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.49	1.68
			中間		0.435（中温：0.373）	0.492（中温：0.445）
			最小中温		0.190	0.213
		暖房	定格標準		1.41（最小：0.285）	1.74（最小：0.324）
			中間		0.472	0.535
			最大低温		2.88	2.63
	力率			%	冷：94，暖：94	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.36，中間：5.29	定格：3.33，中間：5.28
		暖房			定格：3.97，中間：5.51	定格：3.62，中間：5.42
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.3	5.1
		（2006）			5.0	4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：57，強：54，弱：50	P急：63，急：57，強：54，弱：50
		音圧レベル			P急：45，急：42，強：39，弱：35	P急：48，急：42，強：39，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：220×1150×565，パネル：35×1460×650	
	製品質量			kg	本体：28，標準パネル：6，下がり天井パネル：6	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4	
		風量		m^3/min	P急：14.5，急：12.5，強：11，弱：9.5	P急：16，急：12.5，強：11，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	50	70
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				下がり天井仕様の場合：可能	
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(8)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.06kW×1台，P63形：0.08kW×1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTSV-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTSV805HK5SA 室内：FDTSZP805SA 室外：FDCVP805HK
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW
	下がり天井仕様・オートスイングなし				TS-PNA-3AW
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G
電源					単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.2）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0～10.0］（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			7.5
定格冷房時の顕熱比					0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	10.5
		暖房			11.6
	始動電流（最大電流）				5（18.5）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.07
			中間		0.619（中温：0.529）
			最小中温		0.260
		暖房	定格標準		2.29（最小：0.393）
			中間		0.702
			最大低温		3.01
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.43，中間：5.17
		暖房			定格：3.49，中間：5.13
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.1
		（2006）			4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：65，急：61，強：56，弱：51
		音圧レベル			P急：50，急：46，強：41，弱：36
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：220×1150×565，パネル：35×1460×650
	製品質量			kg	本体：28，標準パネル：6，下がり天井パネル：6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	70
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				下がり天井仕様の場合：可能
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(8)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.09kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTSV-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDTSV405H5SA 室内：FDTSZP505SA 室外：FDCVP405H	FDTSV455H5SA 室内：FDTSZP505SA 室外：FDCVP455H	FDTSV505H5SA 室内：FDTSZP505SA 室外：FDCVP505H
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW		
	下がり天井仕様・オートスイングなし				TS-PNA-3AW		
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.3～4.0］	4.0［1.3～4.5］	4.5［1.3～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.3	1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.0）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.1）	5.0［1.3～5.6］（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.8	5.2
定格冷房時の顕熱比					0.78	0.75	0.79
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	3.0	3.6	4.1
		暖房			3.1	3.9	4.0
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.900	1.08	1.25
			中間		0.297（中温：0.236）	0.319（中温：0.268）	0.371（中温：0.319）
			最小中温		0.172	0.172	0.172
		暖房	定格標準		0.920（最小：0.212）	1.18（最小：0.232）	1.23（最小：0.261）
			中間		0.332	0.369	0.404
			最大低温		1.76	1.84	2.62
	力率			%	冷：87，暖：86	冷：87，暖：87	冷：88，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.00，中間：5.72	定格：3.70，中間：5.64	定格：3.60，中間：5.66
		暖房			定格：4.35，中間：5.42	定格：3.81，中間：5.69	定格：4.07，中間：5.69
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7	5.6	5.6
		（2006）			5.4	5.3	5.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：55，強：53，弱：50	P急：57，急：55，強：53，弱：50	P急：59，急：56，強：53，弱：50
		音圧レベル			P急：42，急：40，強：38，弱：35	P急：42，急：40，強：38，弱：35	P急：44，急：41，強：38，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：58，暖：60	冷：59，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：43，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：220×1150×565，パネル：35×1460×650		
	製品質量			kg	本体：27，標準パネル：6，下がり天井パネル：6		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4		
		風量		m^3/min	P急：13，急：12，強：11，弱：9.5	P急：13，急：12，強：11，弱：9.5	P急：14.5，急：12.5，強：11，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	35		
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				下がり天井仕様の場合：可能		
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（組込不可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(8)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×3本（21m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				15（15）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.46（届出不要）	0.52（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P40，P45形：0.04kW × 1台，P50形：0.06kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTSV-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDTSV565H5SA 室内：FDTSZP635SA 室外：FDCVP565H	FDTSV635H5SA 室内：FDTSZP635SA 室外：FDCVP635H
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW	
	下がり天井仕様・オートスイングなし				TS-PNA-3AW	
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.4～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.5	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.71	0.72
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.8	5.1
		暖房			4.4	5.2
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.48	1.67
			中間		0.431（中温：0.371）	0.489（中温：0.450）
			最小中温		0.189	0.212
		暖房	定格標準		1.40（最小：0.282）	1.73（最小：0.319）
			中間		0.467	0.530
			最大低温		2.87	2.62
	力率			%	冷：89，暖：92	冷：95，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.38，中間：5.34	定格：3.35，中間：5.32
		暖房			定格：4.00，中間：5.57	定格：3.64，中間：5.47
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.4	5.2
		（2006）			5.1	4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：57，強：54，弱：50	P急：63，急：57，強：54，弱：50
		音圧レベル			P急：45，急：42，強：39，弱：35	P急：48，急：42，強：39，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：220×1150×565，パネル：35×1460×650	
	製品質量			kg	本体：28，標準パネル：6，下がり天井パネル：6	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4	
		風量		m^3/min	P急：14.5，急：12.5，強：11，弱：9.5	P急：16，急：12.5，強：11，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	50	70
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				下がり天井仕様の場合：可能	
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(8)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				15（15）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.06kW×1台，P63形：0.08kW×1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTSV-H〕

項目 ＼ セット形式					FDTSV805H5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTSZP805SA 室外：FDCVP805H
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW
	下がり天井仕様・オートスイングなし				TS-PNA-3AW
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.2）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0～10.0］（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			7.5
定格冷房時の顕熱比					0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.5
		暖房			7.2
	始動電流（最大電流）				5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.04
			中間		0.610（中温：0.521）
			最小中温		0.257
		暖房	定格標準		2.25（最小：0.386）
			中間		0.700
			最大低温		2.96
	力率			%	冷：91，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.48，中間：5.25
		暖房			定格：3.56，中間：5.14
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.2
		（2006）			4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：65，急：61，強：56，弱：51
		音圧レベル			P急：50，急：46，強：41，弱：36
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：220×1150×565，パネル：35×1460×650
	製品質量			kg	本体：28，標準パネル：6，下がり天井パネル：6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	70
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				下がり天井仕様の場合：可能
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(8)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（31m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.09kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTSV-HKP〕

項目 ＼ セット形式					FDTSV805HKP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTSZP505SA × 2台 室外：FDCVP805HK
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW × 2枚
	下がり天井仕様・オートスイングなし				TS-PNA-3AW × 2枚
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G
電源					単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0～10.0］（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			7.5
定格冷房時の顕熱比					0.77
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	9.4
		暖房			9.9
	始動電流（最大電流）				5（18.5）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.86
			中間		0.572（中温：0.484）
			最小中温		0.286
		暖房	定格標準		1.96（最小：0.416）
			中間		0.654
			最大低温		3.01
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.82，中間：5.59
		暖房			定格：4.08，中間：5.50
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.4
		（2006）			5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：55，強：53，弱：50
		音圧レベル			P急：42，急：40，強：38，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：220×1150×565，パネル：35×1460×650
	製品質量			kg	本体：27，標準パネル：6，下がり天井パネル：6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4
		風量		m^3/min	P急：13，急：12，強：11，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	35
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				下がり天井仕様の場合：可能
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.04kW × 2台

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：２台，室外ユニット：１台）〔FDTSV-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDTSV805HP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTSZP505SA × 2台 室外：FDCVP805H
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW × 2枚
	下がり天井仕様・オートスイングなし				TS-PNA-3AW × 2枚
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8 ～8.0 ］
		中間			3.2（中温：3.3 ）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0 ～ 10.0］（最小：2.0 ）
		中間			3.6
		最大低温			7.5
定格冷房時の顕熱比					0.77
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.8
		暖房			6.2
	始動電流（最大電流）				5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.84
			中間		0.564（中温：0.478）
			最小中温		0.283
		暖房	定格標準		1.94 （最小：0.409）
			中間		0.643
			最大低温		2.96
	力率			%	冷：92，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.86，中間：5.67
		暖房			定格：4.12，中間：5.60
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.5
		（2006）			5.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：55，強：53，弱：50
		音圧レベル			P急：42，急：40，強：38，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：220×1150 ×565，パネル：35 ×1460×650
	製品質量			kg	本体：27，標準パネル：6，下がり天井パネル：6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4
		風量		m^3/min	P急：13，急：12 ，強：11，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	35
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				下がり天井仕様の場合：可能
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845 × 970 × 370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52 （フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（31m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P80形：0.04kW × 2台

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50用）および共用タイプ（P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット:2 台，室外ユニット:1 台）〔FDTSV-HPA〕

項目 ＼ セット形式					FDTSV1125HPA5SA 室内：FDTSZP635SA × 2台 室外：FDCVP1125HA	FDTSV1405HPA5SA 室内：FDTSZP805SA × 2台 室外：FDCVP1405HA	FDTSV1605HPA5SA 室内：FDTSZP805SA × 2台 室外：FDCVP1605HA
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW × 2枚		
	下がり天井仕様・オートスイングなし				TS-PNA-3AW × 2枚		
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.3 ～ 11.2］	12.5［3.3 ～ 14.0］	14.0［3.5 ～ 16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.3	3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2［2.9 ～ 14.3］（最小：2.9）	14.0［3.6 ～ 18.3］（最小：3.6）	16.0［4.0 ～ 20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			12.5	13.0	14.0
定格冷房時の顕熱比					0.69	0.69	0.65
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	7.6	10.6	14.8
		暖房			8.2	11.2	13.5
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.55	3.60	5.04
			中間		0.824（中温：0.710）	1.08（中温：0.967）	1.27（中温：1.14）
			最小中温		0.476	0.457	0.532
		暖房	定格標準		2.72（最小：0.566）	3.78（最小：0.628）	4.55（最小：0.725）
			中間		0.921	1.16	1.34
			最大低温		5.93	5.87	6.13
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.92，中間：5.46	定格：3.47，中間：5.28	定格：2.78，中間：4.96
		暖房			定格：4.12，中間：5.54	定格：3.70，中間：5.43	定格：3.52，中間：5.37
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.5	5.3	5.0
		（2006）			5.2	4.9	4.7
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：57，強：54，弱：50	P急：64，急：61，強：56，弱：51	P急：65，急：61，強：56，弱：51
		音圧レベル			P急：45，急：42，強：39，弱：35	P急：49，急：46，強：41，弱：36	P急：50，急：46，強：41，弱：36
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：220 × 1150× 565，パネル：35 × 1460 × 650		
	製品質量			kg	本体：28，標準パネル：6，下がり天井パネル：6		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 4		
		風量		m^3/min	P急：14.5，急：12.5，強：11，弱：9.5	P急：17，急：15，強：12，弱：10	P急：18，急：15，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	50	70	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				下がり天井仕様の場合：可能		
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（組込不可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1050 × 970 × 370		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3 × 1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1		
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(10)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（P140，P160：φ9.52）（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）		
		ガス管			室内接続：φ12.7（P140，P160：φ15.88）（フレア），分岐管：φ12.7（P140，P160：φ15.88），主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5 × 3本（30m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～105m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	1.22（届出不要）	1.55（届出不要）	1.77（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.06kW × 2台，P140形，P160形：0.09kW × 2台

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P56，P63用）および共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）トリプル形（室内ユニット：３台，室外ユニット：１台）〔FDTSV-HTA〕

項目 ＼ セット形式					FDTSV1605HTA5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTSZP505SA × 3台 室外：FDCVP1605HA
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW × 3枚
	下がり天井仕様・オートスイングなし				TS-PNA-3AW × 3枚
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	14.0［3.5 ～16.0］
		中間			6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.5
	暖房能力	定格標準			16.0［4.0 ～ 20.3］（最小：4.0）
		中間			7.2
		最大低温			14.0
定格冷房時の顕熱比					0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	13.5
		暖房			12.1
	始動電流（最大電流）				5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	4.58
			中間		1.29（中温：1.11 ）
			最小中温		0.541
		暖房	定格標準		4.08（最小：0.738）
			中間		1.37
			最大低温		6.25
	力率			%	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.06，中間：4.88
		暖房			定格：3.92，中間：5.26
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.1
		(2006)			4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：59，急：56，強：53，弱：50
		音圧レベル			P急：44，急：41，強：38，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：220×1150×565，パネル：35 ×1460×650
	製品質量			kg	本体：27，標準パネル：6，下がり天井パネル：6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4
		風量		m^3/min	P急：14.5，急：12.5，強：11，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				下がり天井仕様の場合：可能
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1050×970×370
	製品質量			kg	86
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1
			電動機出力	kW	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86
		電動機	定格出力	W	144
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(10)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52 （フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（30m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 ×3本（～105m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.77（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.06kW × 3台
(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TA1G　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1Gを2セット
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）トリプル形（室内ユニット:3台，室外ユニット:1台）〔FDTSVP-HT〕

項目 ＼ セット形式					FDTSVP2244HT5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTSZP805SA × 3台 室外：FDCVP2244H
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW × 3枚
	下がり天井仕様・オートスイングなし				TS-PNA-3AW × 3枚
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0［6.6 ～ 22.4］
		中間			9.0（中温：9.2）
		最小中温			6.6
	暖房能力	定格標準			22.4［5.6 ～ 28.0］（最小：5.6）
		中間			10.1
		最大低温			22.0
定格冷房時の顕熱比					0.74
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	21.2
		暖房			19.4
	始動電流（最大電流）				5（33）
	消費電力	冷房	定格	kW	6.83
			中間		1.94（中温：1.68）
			最小中温		1.31
		暖房	定格標準		6.24（最小：1.22）
			中間		2.03
			最大低温		8.99
	力率			%	冷：93，暖：93
	エネルギー消費効率	冷房			定格：2.93，中間：4.64
		暖房			定格：3.59，中間：4.98
	通年エネルギー消費効率	（2015）			4.6
		（2006）			4.6
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：65，急：61，強：56，弱：51
		音圧レベル			P急：50，急：46，強：41，弱：36
	室外ユニット	パワーレベル			冷：73，暖：73
		音圧レベル			冷：59，暖：60
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	本体：220×1150×565，パネル：35 ×1460×650
	製品質量			kg	本体：28，標準パネル：6，下がり天井パネル：6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	70
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				下がり天井仕様の場合：可能
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505 × 970 × 370
	製品質量			kg	165
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		GTC5150MC40KC × 1
			電動機出力	kW	4.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	7.2（R410A）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	1.55（M-MA32R）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2
		風量		m^3/min	135
		電動機	定格出力	W	86 × 2
	クランクケースヒータ			W	33
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(11)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管(8)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（32m）(12)
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）
	アース線サイズ			mm^2	5.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 ×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21
法定冷凍能力				トン	3.13（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.09kW × 3台
(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(9) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TB1G　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1G，DIS-WB1Gを各1セット
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 外気温が45℃を超える場所に据付ける場合は，電源線太さは14mm^2配線こう長54mになります。

(d) 天埋カセテリア（FDRV）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRV-HK〕

PJG000Z595 | PJG000Z599

項目 ＼ セット形式 / 形式				FDRV405HK5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCVP405HK		FDRV455HK5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCVP455HK		FDRV505HK5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCVP505HK	
吸込パネル				サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）				R-PNS-2AW	R-PNC-2AW	R-PNS-2AW	R-PNC-2AW	R-PNS-2AW	R-PNC-2AW
リモートコントローラ				RC-DX3B					
電源				単相 200V 50/60Hz					
(1)能力	冷房能力	定格	kW	3.6 [1.3 ～ 4.0]		4.0 [1.3 ～ 4.5]		4.5 [1.3 ～ 5.0]	
		中間		1.7（中温：1.8）		1.8（中温：1.9）		2.1（中温：2.2）	
		最小中温		1.3		1.3		1.3	
	暖房能力	定格標準		4.0 [1.0 ～ 4.5]（最小：1.0）		4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.1）		5.0 [1.2 ～ 5.6]（最小：1.2）	
		中間		1.8		2.1		2.3	
		最大低温		4.6		4.6		5.0	
定格冷房時の顕熱比				0.87		0.82		0.78	
(1)運転特性	運転電流	冷房	A	5.9		6.6		7.9	
		暖房		5.5		5.9		6.5	
	始動電流（最大電流）			5（17）		5（17）		5（17）	
	消費電力	冷房 定格	kW	1.01		1.16		1.38	
		冷房 中間		0.315（中温：0.262）		0.350（中温：0.289）		0.428（中温：0.378）	
		冷房 最小中温		0.194		0.191		0.193	
		暖房 定格標準		0.955（最小：0.211）		1.04（最小：0.233）		1.17（最小：0.257）	
		暖房 中間		0.341		0.381		0.408	
		暖房 最大低温		1.93		1.94		2.61	
	力率		%	冷：86，暖：87		冷：88，暖：88		冷：87，暖：90	
	エネルギー消費効率	冷房		定格：3.56，中間：5.40		定格：3.45，中間：5.14		定格：3.26，中間：4.91	
		暖房		定格：4.19，中間：5.28		定格：4.33，中間：5.51		定格：4.27，中間：5.64	
	通年エネルギー消費効率	(2015)		5.3		5.3		5.1	
		(2006)		5.1		5.1		5.0	
運転音	室内ユニット	パワーレベル	dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58
		音圧レベル		P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル		冷：58，暖：60		冷：59，暖：61		冷：60，暖：61	
		音圧レベル		冷：43，暖：45		冷：45，暖：45		冷：45，暖：46	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体	mm	サイレントパネル使用：348 × 750 × 635，キャンバスパネル使用：（348 ＋α）× 750 × 635 (6)					
		パネル		20 × 1040 × 750	20 × 864 × 585	20 × 1040 × 750	20 × 864 × 585	20 × 1040 × 750	20 × 864 × 585
	製品質量		kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6
	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式					
	送風装置	形式・台数		シロッコファン × 1					
		風量	m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8		P急：13，急：10，強：9，弱：8		P急：13，急：10，強：9，弱：8	
		機外静圧（標準風量時）	Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）					
		電動機 定格出力	W	100					
		エアフィルタ		プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能					
	吹出ダクト接続口			前面（φ200mm フレキシブルダクト × 2 スポット接続）					
	新鮮空気取入口			新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）					
	運転調整			操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）					
	遠方発停用機能			遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）					
	加湿器			ー（気化式加湿器取付可能）					
	防振装置・防音・断熱材			送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付					
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行	mm	640 × 800 (+71) × 290					
	製品質量		kg	47					
	冷却装置	圧縮機 形式・台数		RMT5113SWE11 × 1					
		圧縮機 電動機出力	kW	0.6		0.8		0.9	
		空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式					
		冷媒制御器		電子膨張弁					
		冷媒封入量	kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］					
		冷凍機油封入量	ℓ	0.450（M-MB75）					
	送風装置	形式・台数		プロペラファン × 1					
		風量	m^3/min	冷：33，暖：33					
		電動機 定格出力	W	34					
	クランクケースヒータ		W	20					
	低外気温時冷房運転制御機能			室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)					
	除霜			マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式					
	防振・防音装置			圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付					
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管	mm	φ6.35（フレア接続）					
		ガス管		φ12.7（フレア接続）					
	排水口			〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個					
電気配線	電源配線サイズ（こう長）		mm^2	2.0 × 2本（13m）					
	漏電しゃ断器（高調波対応品）		A	30					
	開閉器容量（ヒューズ容量）			30（30）					
	アース線サイズ		mm^2	2.0以上（M5）					
	室内外ユニット接続配線		mm^2	2.0（φ1.6）× 3本					
設計圧力			MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26					
法定冷凍能力			トン	0.46（届出不要）		0.52（届出不要）		0.56（届出不要）	
IPコード				室内：IPXO，室外：IPX4					
保護装置				吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ					

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）

(7) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.07kW × 1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧100Pa）× 1台となります。］

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRV-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDRV565HK5SA		FDRV635HK5SA	
					室内：FDRZP565SA 室外：FDCVP565HK		室内：FDRZP635SA 室外：FDCVP635HK	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-2AW	R-PNC-2AW	R-PNS-3AW	R-PNC-3AW
リモートコントローラ					RC-DX3B			
電源					単相　200V　50/60Hz			
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0 [1.3 ～ 5.6]		5.6 [1.4 ～ 6.3]	
		中間			2.3（中温：2.4）		2.6（中温：2.7）	
		最小中温			1.3		1.4	
	暖房能力	定格標準			5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）		6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）	
		中間			2.6		2.9	
		最大低温			5.3		5.8	
定格冷房時の顕熱比					0.74		0.87	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	8.9		9.9	
		暖房			7.5		8.3	
	始動電流（最大電流）				5（17）		5（18）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.62		1.82	
			中間		0.485（中温：0.431）		0.503（中温：0.435）	
			最小中温		0.208		0.207	
		暖房	定格標準		1.38（最小：0.281）		1.58（最小：0.286）	
			中間		0.460		0.494	
			最大低温		2.76		2.48	
	力率			%	冷：91，暖：92		冷：92，暖：95	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.09，中間：4.74		定格：3.08，中間：5.17	
		暖房			定格：4.06，中間：5.65		定格：3.99，中間：5.87	
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.0		5.4	
		(2006)			4.9		5.1	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：66，急：60，強：57，弱：53	P急：67，急：61，強：58，弱：54
		音圧レベル			P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：45，急：39，強：36，弱：32	P急：46，急：40，強：37，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61		冷：63，暖：64	
		音圧レベル			冷：49，暖：47		冷：49，暖：49	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	348 × 750 × 635	(348 ＋α) × 750 × 635 (6)	348 × 950 × 635	(348 ＋α) × 950 × 635 (6)
		パネル			20 × 1040 × 750	20 × 864 × 585	20 × 1240 × 750	20 ×1064 × 585
	製品質量			kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式			
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1（P63形：2）			
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8		P急：20，急：15，強：13，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）			
		電動機	定格出力	W	100		130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能			
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 2（P63形：3）スポット接続）			
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）			
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）			
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）			
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）			
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640 × 800 (+71) × 290			
	製品質量			kg	47			
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1			
			電動機出力	kW	1.0		1.2	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式			
		冷媒制御器			電子膨張弁			
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］			
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）			
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1			
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33		冷：38，暖：38	
		電動機	定格出力	W	34			
	クランクケースヒータ			W	20			
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)			
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式			
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付			
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）			
		ガス管			φ12.7（フレア接続）			
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個			
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0 × 2本（13m）			
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30			
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）			
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）			
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本			
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26			
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）		0.72（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4			
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ			

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）

(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.07kW × 1台，P63形：0.1kW × 1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP56形：最大0.095kW（静圧100Pa）× 1台，P63形：最大0.140kW（静圧100Pa）× 1台となります。］

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRV-HK〕

項目 ＼ セット形式					FDRV805HK5SA	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP805SA 室外：FDCVP805HK	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-3AW	R-PNC-3AW
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］	
		中間			3.2（中温：3.3）	
		最小中温			1.8	
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）	
		中間			3.6	
		最大低温			7.8	
定格冷房時の顕熱比					0.83	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	10.4	
		暖房			10.4	
	始動電流（最大電流）				5（20）	
	消費電力	冷房	定格	kW	2.05	
			中間		0.625（中温：0.514）	
			最小中温		0.275	
		暖房	定格標準		2.05（最小：0.426）	
			中間		0.687	
			最大低温		2.85	
	力率			%	冷：99，暖：99	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.46，中間：5.12	
		暖房			定格：3.90，中間：5.24	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.2	
		（2006）			4.9	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53
		音圧レベル			P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66	
		音圧レベル			冷：48，暖：48	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル使用：348×950×635，キャンバスパネル使用：（348＋α）×950×635 (6)	
		パネル			20×1240×750	20×1064×585
	製品質量			kg	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2	
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）	
		電動機	定格出力	W	130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×3 スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法 高さ×幅×奥行			mm	845×970×370	
	製品質量			kg	70	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1	
			電動機出力	kW	1.4	
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48	
		電動機	定格出力	W	86	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）	
		ガス管			φ15.88（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（17m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）	
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）

(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.14kW×1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）×1台となります。］

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDRV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDRV405H5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCVP405H		FDRV455H5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCVP455H		FDRV505H5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCVP505H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-2AW	R-PNC-2AW	R-PNS-2AW	R-PNC-2AW	R-PNS-2AW	R-PNC-2AW
リモートコントローラ					RC-DX3B					
電源					三相　200V　50/60Hz					
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6 [1.3 ～ 4.0]		4.0 [1.3 ～ 4.5]		4.5 [1.3 ～ 5.0]	
		中間			1.7（中温：1.8）		1.8（中温：1.9）		2.1（中温：2.2）	
		最小中温			1.3		1.3		1.3	
	暖房能力	定格標準			4.0 [1.0 ～ 4.5]（最小：1.0）		4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.1）		5.0 [1.2 ～ 5.6]（最小：1.2）	
		中間			1.8		2.1		2.3	
		最大低温			4.6		4.6		5.0	
定格冷房時の顕熱比					0.87		0.82		0.78	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	3.4		3.8		4.5	
		暖房			3.2		3.5		3.8	
	始動電流（最大電流）				5（13）		5（13）		5（13）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.00		1.15		1.37	
			中間		0.313（中温：0.259）		0.347（中温：0.287）		0.425（中温：0.375）	
			最小中温		0.193		0.190		0.192	
		暖房	定格標準		0.945（最小：0.210）		1.03（最小：0.232）		1.16（最小：0.255）	
			中間		0.338		0.378		0.404	
			最大低温		1.92		1.93		2.60	
	力率			%	冷：85，暖：85		冷：87，暖：85		冷：88，暖：88	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.60，中間：5.43		定格：3.48，中間：5.19		定格：3.28，中間：4.94	
		暖房			定格：4.23，中間：5.33		定格：4.37，中間：5.56		定格：4.31，中間：5.69	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.4		5.4		5.2	
		（2006）			5.2		5.2		5.1	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58
		音圧レベル			P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：58，暖：60		冷：59，暖：61		冷：60，暖：61	
		音圧レベル			冷：43，暖：45		冷：45，暖：45		冷：45，暖：46	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル使用：348 × 750 × 635，キャンバスパネル使用：（348 ＋α）× 750 × 635 (6)					
		パネル			20 × 1040 × 750	20 × 864 × 585	20 × 1040 × 750	20 × 864 × 585	20 × 1040 × 750	20 × 864 × 585
	製品質量			kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式					
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1					
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8		P急：13，急：10，強：9，弱：8		P急：13，急：10，強：9，弱：8	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）					
		電動機	定格出力	W	100					
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能					
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 2 スポット接続）					
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）					
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）					
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）					
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）					
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付					
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640 × 800（+71）× 290					
	製品質量			kg	46					
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1					
			電動機出力	kW	0.6		0.8		0.9	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式					
		冷媒制御器			電子膨張弁					
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］					
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）					
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1					
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33					
		電動機	定格出力	W	34					
	クランクケースヒータ			W	20					
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)					
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式					
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付					
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）					
		ガス管			φ12.7（フレア接続）					
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個					
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0 × 3本（18m）					
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20					
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）					
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）					
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本					
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26					
法定冷凍能力				トン	0.46（届出不要）		0.52（届出不要）		0.56（届出不要）	
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4					
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ					

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）

(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 1台　[ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧100Pa）× 1台となります。]

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDRV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDRV565H5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCVP565H		FDRV635H5SA 室内：FDRZP635SA 室外：FDCVP635H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-2AW	R-PNC-2AW	R-PNS-3AW	R-PNC-3AW
リモートコントローラ					RC-DX3B			
電源					三相　200V　50/60Hz			
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0 [1.3 ～ 5.6]		5.6 [1.4 ～ 6.3]	
		中間			2.3（中温：2.4）		2.6（中温：2.7）	
		最小中温			1.3		1.4	
	暖房能力	定格標準			5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）		6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）	
		中間			2.6		2.9	
		最大低温			5.3		5.8	
定格冷房時の顕熱比					0.74		0.87	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.2		5.9	
		暖房			4.3		5.0	
	始動電流（最大電流）				5（13）		5（14）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.61		1.81	
			中間		0.480（中温：0.426）		0.505（中温：0.438）	
			最小中温		0.207		0.206	
		暖房	定格標準		1.37（最小：0.278）		1.57（最小：0.284）	
			中間		0.455		0.487	
			最大低温		2.75		2.47	
	力率			%	冷：89，暖：92		冷：89，暖：91	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.11，中間：4.79		定格：3.09，中間：5.15	
		暖房			定格：4.09，中間：5.71		定格：4.01，中間：5.95	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.1		5.5	
		（2006）			4.9		5.2	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：66，急：60，強：57，弱：53	P急：67，急：61，強：58，弱：54
		音圧レベル			P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：45，急：39，強：36，弱：32	P急：46，急：40，強：37，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61		冷：63，暖：64	
		音圧レベル			冷：49，暖：47		冷：49，暖：49	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	348 × 750 × 635	(348＋α) × 750 × 635 (6)	348 × 950 × 635	(348＋α) × 950 × 635 (6)
		パネル			20 × 1040 × 750	20 × 864 × 585	20 × 1240 × 750	20 ×1064 × 585
	製品質量			kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式			
	送風装置	形式・台数			シロッコファン ×1（P63形：2）			
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8		P急：20，急：15，強：13，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）			
		電動機	定格出力	W	100		130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能			
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト ×2（P63形：3）スポット接続）			
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）			
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）			
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）			
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）			
	防振装置·防音·断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640 × 800（+71）× 290			
	製品質量			kg	46			
	冷却装置	圧縮機	形式·台数		RMT5113SWE11 × 1			
			電動機出力	kW	1.0		1.2	
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式			
		冷媒制御器			電子膨張弁			
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］			
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）			
	送風装置	形式·台数			プロペラファン × 1			
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33		冷：38，暖：38	
		電動機	定格出力	W	34			
	クランクケースヒータ			W	20			
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)			
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式			
	防振·防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付			
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）			
		ガス管			φ12.7（フレア接続）			
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個			
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0 × 3本（18m）			
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20			
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）			
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）			
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本			
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26			
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）		0.72（届出不要）	
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4			
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ			

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）

(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.07kW × 1台，P63形：0.1kW × 1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP56形：最大0.095kW（静圧100Pa）× 1台，P63形：最大0.140kW（静圧100Pa）× 1台となります。］

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDRV-H〕

項目 ＼ セット形式				FDRV805H5SA	
項目 ＼ 形式				室内：FDRZP805SA 室外：FDCVP805H	
吸込パネル				サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）				R-PNS-3AW	R-PNC-3AW
リモートコントローラ				RC-DX3B	
電源				三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格	kW	7.1［1.8～8.0］	
		中間		3.2（中温：3.3）	
		最小中温		1.8	
	暖房能力	定格標準		8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）	
		中間		3.6	
		最大低温		7.8	
定格冷房時の顕熱比				0.83	
(1)運転特性	運転電流	冷房	A	6.4	
		暖房		6.4	
	始動電流（最大電流）			5（15）	
	消費電力	冷房 定格	kW	2.02	
		冷房 中間		0.615（中温：0.507）	
		冷房 最小中温		0.270	
		暖房 定格標準		2.00（最小：0.418）	
		暖房 中間		0.676	
		暖房 最大低温		2.81	
	力率		%	冷：91，暖：90	
	エネルギー消費効率	冷房		定格：3.51，中間：5.20	
		暖房		定格：4.00，中間：5.33	
	通年エネルギー消費効率	（2015）		5.3	
		（2006）		5.0	
運転音	室内ユニット	パワーレベル	dB(A)	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53
		音圧レベル		P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル		冷：65，暖：66	
		音圧レベル		冷：48，暖：48	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体	mm	サイレントパネル使用：348×950×635，キャンバスパネル使用：（348＋α）×950×635 (6)	
		パネル		20×1240×750	20×1064×585
	製品質量		kg	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数		シロッコファン×2	
		風量	m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）	Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）	
		電動機 定格出力	W	130	
		エアフィルタ		プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口			前面（φ200mm フレキシブルダクト×3スポット接続）	
	新鮮空気取入口			新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整			操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能			遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器			－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材			送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行	mm	845×970×370	
	製品質量		kg	70	
	冷却装置 圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1	
		電動機出力	kW	1.4	
	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
	冷媒制御器			電子膨張弁	
	冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］	
	冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数		プロペラファン×1	
		風量	m^3/min	冷：52，暖：48	
		電動機 定格出力	W	86	
	クランクケースヒータ		W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能			室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜			マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置			圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管	mm	φ9.52（フレア接続）	
		ガス管		φ15.88（フレア接続）	
	排水口			〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）		mm^2	3.5×3本（27m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）		A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）			30（20）	
	アース線サイズ		mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線		mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力			MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力			トン	0.74（届出不要）	
IPコード				室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置				高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.14kW×1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）×1台となります。］
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDRV-HA〕

項目 ＼ セット形式				FDRV1125HA5SA		FDRV1405HA5SA		FDRV1605HA5SA	
項目 ＼ 形式				室内：FDRZP1125SA 室外：FDCVP1125HA		室内：FDRZP1605SA 室外：FDCVP1405HA		室内：FDRZP1605SA 室外：FDCVP1605HA	
吸込パネル				サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）				R-PNS-4AW	R-PNC-4AW	R-PNS-4AW	R-PNC-4AW	R-PNS-4AW	R-PNC-4AW
リモートコントローラ				RC-DX3B					
電源				三相　200V　50/60Hz					
(1)能力	冷房能力	定格	kW	10.0［3.2～11.2］		12.5［3.3～14.0］		14.0［3.5～16.0］	
		中間		4.5（中温：4.7）		5.7（中温：5.8）		6.3（中温：6.4）	
		最小中温		3.2		3.3		3.5	
	暖房能力	定格標準		11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）		14.0［3.6～18.3］（最小：3.6）		16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）	
		中間		5.1		6.3		7.2	
		最大低温		12.5		13.0		14.0	
定格冷房時の顕熱比				0.84		0.77		0.79	
(1)運転特性	運転電流	冷房	A	8.0		11.3		14.5	
		暖房		8.4		11.2		11.8	
	始動電流（最大電流）			5（25）		5（26）		5（27）	
	消費電力	冷房 定格	kW	2.68		3.83		4.92	
		冷房 中間		0.851（中温：0.767）		1.19（中温：1.01）		1.37（中温：1.23）	
		冷房 最小中温		0.465		0.523		0.564	
		暖房 定格標準		2.80（最小：0.575）		3.78（最小：0.733）		3.96（最小：0.780）	
		暖房 中間		0.960		1.16		1.34	
		暖房 最大低温		5.77		5.95		6.37	
	力率		%	冷：97，暖：96		冷：98，暖：97		冷：98，暖：97	
	エネルギー消費効率	冷房		定格：3.73，中間：5.29		定格：3.26，中間：4.79		定格：2.85，中間：4.60	
		暖房		定格：4.00，中間：5.31		定格：3.70，中間：5.43		定格：4.04，中間：5.37	
	通年エネルギー消費効率	（2015）		5.2		5.0		4.8	
		（2006）		5.1		4.8		4.7	
運転音	室内ユニット	パワーレベル	dB(A)	P急：70，急：65，強：62，弱：56	P急：71，急：66，強：63，弱：57	P急：71，急：67，強：62，弱：57	P急：72，急：68，強：63，弱：58	P急：74，急：68，強：63，弱：58	P急：75，急：69，強：64，弱：59
		音圧レベル		P急：49，急：44，強：41，弱：35	P急：50，急：45，強：42，弱：36	P急：50，急：46，強：41，弱：36	P急：51，急：47，強：42，弱：37	P急：53，急：47，強：42，弱：37	P急：54，急：48，強：43，弱：38
	室外ユニット	パワーレベル		冷：70，暖：71		冷：70，暖：72		冷：72，暖：73	
		音圧レベル		冷：58，暖：59		冷：58，暖：59		冷：58，暖：59	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体	mm	サイレントパネル使用：348×1368×738，キャンバスパネル使用：（348＋α）×1368×738 (6)					
		パネル		20×1658×850	20×1484×585	20×1658×850	20×1484×585	20×1658×850	20×1484×585
	製品質量		kg	本体：54，パネル：17	本体：54，パネル：13.5	本体：54，パネル：17	本体：54，パネル：13.5	本体：54，パネル：17	本体：54，パネル：13.5
	空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式					
	送風装置	形式・台数		シロッコファン×3					
		風量	m^3/min	P急：36，急：28，強：25，弱：19		P急：39，急：32，強：25，弱：20		P急：48，急：35，強：28，弱：22	
		機外静圧（標準風量時）	Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）					
		電動機 定格出力	W	100+130		100+200			
		エアフィルタ		プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能					
	吹出ダクト接続口			前面（φ200mm フレキシブルダクト×4 スポット接続）					
	新鮮空気取入口			新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）					
	運転調整			操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）					
	遠方発停用機能			遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）					
	加湿器			ー（気化式加湿器取付可能）					
	防振装置・防音・断熱材			送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付					
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行	mm	1050×970×370					
	製品質量		kg	86					
	冷却装置 圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1					
		電動機出力	kW	2.0		3.0		3.7	
	空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式					
	冷媒制御器			電子膨張弁					
	冷媒封入量		kg	3.3（R32）［配管30m分封入済］					
	冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）					
	送風装置 形式・台数			プロペラファン×1					
	風量		m^3/min	冷：86，暖：86					
	電動機 定格出力		W	144					
	クランクケースヒータ		W	20					
	低外気温時冷房運転制御機能			室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)					
	除霜			マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式					
	防振・防音装置			圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付					
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管	mm	φ9.52（フレア接続）					
		ガス管		φ15.88（フレア接続）					
	排水口			〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個					
電気配線	電源配線サイズ（こう長）		mm^2	5.5×3本（26m）				5.5×3本（25m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）		A	40					
	開閉器容量（ヒューズ容量）			60（40）					
	アース線サイズ		mm^2	3.5以上（M5）					
	室内外ユニット接続配線		mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～105m）					
設計圧力			MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26					
法定冷凍能力			トン	1.22（届出不要）		1.55（届出不要）		1.77（届出不要）	
IPコード				室内：IPXO，室外：IPX4					
保護装置				高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ					

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）

(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.22kW×1台，P140形：0.26kW×1台，P160形：0.40kW×1台［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP112形：最大0.30kW（静圧100Pa）×1台，P140形：最大0.36kW（静圧100Pa）×1台，P160形：最大0.44kW（静圧100Pa）×1台となります。］

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P112用）および共用タイプ（P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機(ヒータレス単相電源形)ツイン形(室内ユニット:2台,室外ユニット:1台)〔FDRV-HKP〕

項目 ＼ セット形式					FDRV805HKP5SA	
項目 ＼ 形式					室内:FDRZP565SA × 2台 室外:FDCVP805HK	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式(別売品)					R-PNS-2AW × 2枚	R-PNC-2AW × 2枚
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					単相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [1.8 ～ 8.0]	
		中間			3.2 (中温:3.3)	
		最小中温			1.8	
	暖房能力	定格標準			8.0 [2.1 ～ 10.0] (最小:2.1)	
		中間			3.6	
		最大低温			7.8	
定格冷房時の顕熱比					0.88	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	10.1	
		暖房			10.1	
	始動電流(最大電流)				5 (20)	
	消費電力	冷房	定格	kW	2.00	
			中間		0.641 (中温:0.521)	
			最小中温		0.288	
		暖房	定格標準		2.00 (最小:0.436)	
			中間		0.706	
			最大低温		2.85	
	力率			%	冷:99, 暖:99	
	エネルギー消費効率	冷房			定格:3.55, 中間:4.99	
		暖房			定格:4.00, 中間:5.10	
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.2	
		(2006)			4.9	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急:64, 急:60, 強:58, 弱:57	P急:65, 急:61, 強:59, 弱:58
		音圧レベル			P急:43, 急:39, 強:37, 弱:36	P急:44, 急:40, 強:38, 弱:37
	室外ユニット	パワーレベル			冷:65, 暖:66	
		音圧レベル			冷:48, 暖:48	
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	本体		mm	サイレントパネル使用:348 × 750 × 635, キャンバスパネル使用:(348 + α) × 750 × 635 (6)	
		パネル			20 × 1040 × 750	20 × 864 × 585
	製品質量			kg	本体:29, パネル:10	本体:29, パネル:7.6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1	
		風量		m^3/min	P急:13, 急:10, 強:9, 弱:8	
		機外静圧(標準風量時)		Pa	定格:30, 最小:10, 最大:100 (リモコンから設定)	
		電動機	定格出力	W	100	
		エアフィルタ			プラスチックネット(防カビ仕様), ロングライフフィルタ, 洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面(φ200mm フレキシブルダクト × 2スポット接続)	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入(側面:φ125mm, 背面:φ150mm フレキシブルダクト接続), 排気(側面:φ125mm フレキシブルダクト接続)	
	運転調整				操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気), 室温調節(電子サーモスタット), 表示(運転·点検用·LED, 液晶表示)	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ(CnT:6P, CnTA:2P)を保有(室内基板上)	
	加湿器				ー(気化式加湿器取付可能)	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機:防振ゴム, 外板:吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845 × 970 × 370	
	製品質量			kg	70	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1 × 1	
			電動機出力	kW	1.4	
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.6 (R32) [主管配管30m分封入済]	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675 (M-MB75)	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷:52, 暖:48	
		電動機	定格出力	W	86	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(11)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機:防振ゴム, 吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(9)(外径)	液管		mm	室内接続:φ6.35 (フレア), 分岐管:φ9.52, 主管:φ9.52, 室外接続:φ9.52 (フレア)	
		ガス管			室内接続:φ12.7 (フレア), 分岐管:φ12.7, 主管:φ15.88, 室外接続:φ15.88 (フレア)	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ(こう長)			mm^2	3.5 × 2本 (17m)	
	漏電しゃ断器(高調波対応品)			A	30	
	開閉器容量(ヒューズ容量)				30 (30)	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上 (M5)	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0 (φ1.6) × 3本	
設計圧力				MPa	高圧部:4.15, 低圧部:2.26	
法定冷凍能力				トン	0.74 (届出不要)	
IPコード					室内:IPXO, 室外:IPX4	
保護装置					高圧スイッチ, 低圧センサ, 吐出管温度センサ, 吸込管温度センサ, 熱交温度センサ, パワトラ温度センサ, 電流センサ, ヒューズ, ファンモータマイコン式過負荷保護, フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力, 通年エネルギー消費効率(2015)および電気特性は, 適正冷媒量においてJIS B 8616:2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率(2006)はJIS B 8616:2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音(パワーレベル)はJIS B 8616:2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音(音圧レベル)はJIS B 8616:2006に準拠し, 反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け, 表示値より大きくなるのが普通です。なお, 室外ユニットは本体前方1m, 高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し, 天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはα されます。(外形図参照)
(7) BEST計算用 室内送風機消費電力:0.07kW × 2台 [ダクト機の場合, 機外静圧設定により最大0.095kW(静圧100Pa) × 2台となります。]
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し, その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) ツイン機の分岐配管は, 必ず分岐管セットDIS-WA1G(別売品)を使用して接続してください。(詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。)
(10) 室内ユニットは共用タイプ(P40, P45, P50, P56用)で, 室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され, 上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合, フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売)を取付けてください。
(12) 機外静圧調整は, ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDRV-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDRV805HP5SA	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP565SA × 2台 室外：FDCVP805H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-2AW × 2枚	R-PNC-2AW × 2枚
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］	
		中間			3.2（中温：3.3）	
		最小中温			1.8	
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）	
		中間			3.6	
		最大低温			7.8	
定格冷房時の顕熱比					0.88	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.2	
		暖房			6.3	
	始動電流（最大電流）				5（15）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.96	
			中間		0.636（中温：0.513）	
			最小中温		0.284	
		暖房	定格標準		1.96（最小：0.428）	
			中間		0.694	
			最大低温		2.81	
	力率			%	冷：91，暖：90	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.62，中間：5.03	
		暖房			定格：4.08，中間：5.19	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.3	
		（2006）			5.0	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58
		音圧レベル			P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：65	
		音圧レベル			冷：48，暖：48	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル使用：348×750×635，キャンバスパネル使用：（348＋α）×750×635 (6)	
		パネル			20×1040×750	20×864×585
	製品質量			kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）	
		電動機	定格出力	W	100	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2 スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370	
	製品質量			kg	70	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1	
			電動機出力	kW	1.4	
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48	
		電動機	定格出力	W	86	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（27m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 2台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧100Pa）× 2台となります。］
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDRV-HPA〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDRV1125HPA5SA 室内：FDRZP635SA × 2台 室外：FDCVP1125HA		FDRV1405HPA5SA 室内：FDRZP805SA × 2台 室外：FDCVP1405HA		FDRV1605HPA5SA 室内：FDRZP805SA × 2台 室外：FDCVP1605HA	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-3AW × 2枚	R-PNC-3AW × 2枚	R-PNS-3AW × 2枚	R-PNC-3AW × 2枚	R-PNS-3AW × 2枚	R-PNC-3AW × 2枚
リモートコントローラ					RC-DX3B					
電源					三相　200V　50/60Hz					
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.3～11.2］		12.5［3.3～14.0］		14.0［3.5～16.0］	
		中間			4.5（中温：4.7）		5.7（中温：5.8）		6.3（中温：6.4）	
		最小中温			3.3		3.3		3.5	
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）		14.0［3.6～18.3］（最小：3.6）		16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）	
		中間			5.1		6.3		7.2	
		最大低温			12.5		13.0		14.0	
定格冷房時の顕熱比					0.93		0.89		0.83	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.7		10.6		13.6	
		暖房			7.4		9.9		11.5	
	始動電流（最大電流）				5（25）		5（27）		5（27）	
	消費電力	冷房	定格	kW	2.60		3.60		4.60	
			中間		0.835（中温：0.714）		1.12（中温：0.985）		1.27（中温：1.11）	
			最小中温		0.445		0.442		0.550	
		暖房	定格標準		2.45（最小：0.521）		3.31（最小：0.657）		3.85（最小：0.775）	
			中間		0.868		1.10		1.29	
			最大低温		5.20		5.56		5.91	
	力率			%	冷：97，暖：96		冷：98，暖：97		冷：98，暖：97	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.85，中間：5.39		定格：3.47，中間：5.09		定格：3.04，中間：4.96	
		暖房			定格：4.57，中間：5.88		定格：4.23，中間：5.73		定格：4.16，中間：5.58	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7		5.4		5.1	
		（2006）			5.5		5.1		5.0	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：66，急：60，強：57，弱：53	P急：67，急：61，強：58，弱：54	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53
		音圧レベル			P急：45，急：39，強：36，弱：32	P急：46，急：40，強：37，弱：33	P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32	P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71		冷：70，暖：72		冷：72，暖：73	
		音圧レベル			冷：58，暖：59		冷：58，暖：59		冷：58，暖：59	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル使用：348 × 950 × 635，キャンバスパネル使用：（348＋α）× 950 × 635 (6)					
		パネル			20 × 1240 × 750	20 × 1064 × 585	20 × 1240 × 750	20 × 1064 × 585	20 × 1240 × 750	20 × 1064 × 585
	製品質量			kg	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式					
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2					
		風量		m^3/min	P急：20，急：15，強：13，弱：10		P急：24，急：19，強：15，弱：10			
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）					
		電動機	定格出力	W	130					
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能					
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 3 スポット接続）					
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）					
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）					
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）					
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）					
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付					
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1050 × 970 × 370					
	製品質量			kg	86					
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3 × 1					
			電動機出力	kW	2.0		3.0		3.7	
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式					
		冷媒制御器			電子膨張弁					
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］					
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）					
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1					
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86					
		電動機	定格出力	W	144					
	クランクケースヒータ			W	20					
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(11)					
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式					
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付					
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（P140，P160：φ9.52）（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）					
		ガス管			室内接続：φ12.7（P140，P160：φ15.88）（フレア），分岐管：φ12.7（P140，P160：φ15.88），主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）					
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個					
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5 × 3本（26m）		5.5 × 3本（25m）			
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	40					
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（40）					
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）					
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～105m）					
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26					
法定冷凍能力				トン	1.22（届出不要）		1.55（届出不要）		1.77（届出不要）	
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4					
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交換温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ					

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.1kW × 2台，P140形，P160形：0.14kW × 2台　［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP112形：最大0.140kW（静圧100Pa）× 2台，P140形，P160形：最大0.190kW（静圧100Pa）× 2台となります。］
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(10) 室内ユニットは共用タイプ（63用）および共用タイプ（P71用，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP63形，P71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDRVP-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDRVP2244HP5SA		FDRVP2804HP5SA	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP1125SA × 2台 室外：FDCVP2244H		室内：FDRZP1605SA × 2台 室外：FDCVP2804H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-4AW × 2枚	R-PNC-4AW × 2枚	R-PNS-4AW × 2枚	R-PNC-4AW × 2枚
リモートコントローラ					RC-DX3B			
電源					三相　200V　50/60Hz			
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [7.0 ～ 22.4]		25.0 [7.9 ～ 28.0]	
		中間			9.0（中温：9.6）		11.3（中温：12.2）	
		最小中温			7.0		7.9	
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.6 ～ 28.0]（最小：5.6）		28.0 [7.0 ～ 31.5]（最小：7.0）	
		中間			10.1		12.6	
		最大低温			22.0		24.0	
定格冷房時の顕熱比					0.74		0.73	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	19.0		28.1	
		暖房			17.6		27.7	
	始動電流（最大電流）				5（41）		5（45）	
	消費電力	冷房	定格	kW	6.12		9.15	
			中間		2.16（中温：1.89）		2.64（中温：2.46）	
			最小中温		1.34		1.45	
		暖房	定格標準		5.67（最小：1.27）		9.01（最小：1.69）	
			中間		2.00		2.59	
			最大低温		7.93		10.1	
	力率			%	冷：93，暖：93		冷：94，暖：94	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.27，中間：4.17		定格：2.73，中間：4.28	
		暖房			定格：3.95，中間：5.05		定格：3.11，中間：4.86	
	通年エネルギー消費効率	(2015)			4.6		4.3	
		(2006)			4.6		4.2	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：65，強：62，弱：56	P急：71，急：66，強：63，弱：57	P急：71，急：67，強：62，弱：57	P急：72，急：68，強：63，弱：58
		音圧レベル			P急：49，急：44，強：41，弱：35	P急：50，急：45，強：42，弱：36	P急：50，急：46，強：41，弱：36	P急：51，急：47，強：42，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：73，暖：73		冷：74，暖：77	
		音圧レベル			冷：59，暖：60		冷：60，暖：63	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル使用：348 × 1368 × 738，キャンバスパネル使用：（348＋α）× 1368× 738 (6)			
		パネル			20 × 1658 × 850	20 × 1484 × 585	20 × 1658 × 850	20 × 1484 × 585
	製品質量			kg	本体：54，パネル：17	本体：54，パネル：13.5	本体：54，パネル：17	本体：54，パネル：13.5
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式			
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 3			
		風量		m^3/min	P急：36，急：28，強：25，弱：19		P急：39，急：32，強：25，弱：20	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）			
		電動機	定格出力	W	100 ＋ 130		100 ＋ 200	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能			
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 4 スポット接続）			
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）			
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）			
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）			
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）			
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505 × 970 × 370			
	製品質量			kg	165			
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		GTC5150MC40KC × 1			
			電動機出力	kW	4.2		7.3	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式			
		冷媒制御器			電子膨張弁			
		冷媒封入量		kg	7.2（R410A）［主管配管30m分封入済］		7.6（R410A）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	1.55（M-MA32R）			
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2			
		風量		m^3/min	135			
		電動機	定格出力	W	86 × 2			
	クランクケースヒータ			W	33			
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(12)			
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式			
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付			
配管寸法（外径）	冷媒配管(10)	液管(9)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52（P280形：φ12.7），室外接続：φ9.52（フレア）（P280形：φ12.7（フレア））			
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）			
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個			
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	8.0 × 3本（32m）(13)		14.0 × 3本（39m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	60			
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（60）			
	アース線サイズ			mm²	5.5以上（M5）			
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）			
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21			
法定冷凍能力				トン	3.13（届出不要）		3.75（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IP24			
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ			

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：P224形：0.22kW × 2台，P280形：0.26kW × 2台［ダクト機の場合，機外静圧設定により，P224形：最大0.30kW（静圧100Pa）× 2台，P280形：最大0.36kW（静圧100Pa）× 2台となります。］
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(10) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WB1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(11) 室内ユニットは共用タイプ（P112用）および共用タイプ（P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(13) 外気温が45℃を超える場所に据付ける場合は，電線太さは14mm²配線こう長43mになります。
(14) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）トリプル形（室内ユニット:3 台，室外ユニット:1 台）〔FDRV-HTA〕

項目 ＼ セット形式					FDRV1605HTA5SA	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP565SA × 3台 室外：FDCVP1605HA	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-2AW × 3枚	R-PNC-2AW × 3枚
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	14.0 [3.5 ～ 16.0]	
		中間			6.3（中温：6.4）	
		最小中温			3.5	
	暖房能力	定格標準			16.0 [4.0 ～ 20.3]（最小：4.0）	
		中間			7.2	
		最大低温			14.0	
定格冷房時の顕熱比					0.76	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	14.9	
		暖房			11.5	
	始動電流（最大電流）				5（27）	
	消費電力	冷房	定格	kW	5.05	
			中間		1.37（中温：1.15 ）	
			最小中温		0.578	
		暖房	定格標準		3.88（最小：0.754）	
			中間		1.29	
			最大低温		5.90	
	力率			%	冷：98，暖：97	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：2.77，中間：4.60	
		暖房			定格：4.12，中間：5.58	
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.0	
		(2006)			4.8	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58
		音圧レベル			P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：72，暖：73	
		音圧レベル			冷：58，暖：59	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル使用：348 × 750 × 635，キャンバスパネル使用：（348＋α）× 750 × 635 (6)	
		パネル			20 × 1040 × 750	20 × 864 × 585
	製品質量			kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）	
		電動機	定格出力	W	100	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 2 スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1050 × 970 × 370	
	製品質量			kg	86	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3 × 1	
			電動機出力	kW	3.7	
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）	
	送風装置量	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86	
		電動機	定格出力	W	144	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(11)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52， 室外接続：φ9.52 （フレア）	
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	5.5 × 3本（25m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	40	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（40）	
	アース線サイズ			mm²	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～105m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.77（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。

(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）

(7) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.07kW × 3台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧100Pa）× 3台となります。］

(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(9) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TB1G　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1G，DIS-WB1Gを各1セット

(10) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(12) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）トリプル形（室内ユニット：3台，室外ユニット：1台）〔FDRVP-HT〕

項目 ＼ セット形式					FDRVP2244HT5SA	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP805SA × 3台 室外：FDCVP2244H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-3AW × 3枚	R-PNC-3AW × 3枚
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0［7.0～22.4］	
		中間			9.0（中温：9.5）	
		最小中温			7.0	
	暖房能力	定格標準			22.4［5.6～28.0］（最小：5.6）	
		中間			10.1	
		最大低温			22.0	
定格冷房時の顕熱比					0.76	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	20.3	
		暖房			18.0	
	始動電流（最大電流）				5（41）	
	消費電力	冷房	定格	kW	6.60	
			中間		2.15（中温：1.80）	
			最小中温		1.37	
		暖房	定格標準		5.81（最小：1.26）	
			中間		2.05	
			最大低温		8.18	
	力率			%	冷：94，暖：93	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.03，中間：4.19	
		暖房			定格：3.86，中間：4.93	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			4.5	
		（2006）			4.5	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53
		音圧レベル			P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：73，暖：73	
		音圧レベル			冷：59，暖：60	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル使用：348×950×635，キャンバスパネル使用：（348＋α）×950×635 (6)	
		パネル			20×1240×750	20×1064×585
	製品質量			kg	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2	
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）	
		電動機	定格出力	W	130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×3 スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505×970×370	
	製品質量			kg	165	
	冷却装置 圧縮機	形式・台数			GTC5150MC40KC×1	
		電動機出力		kW	4.2	
	冷却装置 空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	冷却装置 冷媒制御器				電子膨張弁	
	冷却装置 冷媒封入量			kg	7.2（410A）［主管配管30m分封入済］	
	冷却装置 冷凍機油封入量			ℓ	1.55（M-MA32R）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2	
		風量		m^3/min	135	
		電動機	定格出力	W	86×2	
	クランクケースヒータ			W	33	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(12)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(10)（外径）	液管(9)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0×3本（32m）(13)	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	60	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（60）	
	アース線サイズ			mm^2	5.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21	
法定冷凍能力				トン	3.13（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IP24	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.14kW × 3台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）× 3台となります。］
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) P224形の場合は液管サイズφ12.7の場合15m，φ9.52の場合30m相当分までは冷媒追加チャージ不要です。
(10) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TB1G　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1G，DIS-WB1Gを各1セット
(11) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(13) 外気温が45℃を超える場所に据付ける場合は，電線太さは14mm^2配線こう長43mになります。
(14) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ダブルツイン形（室内ユニット：4 台，室外ユニット：1 台）〔FDRVP-HD〕

項目 ＼ セット形式					FDRVP2244HD5SA	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP565SA × 4台 室外：FDCVP2244H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-2AW × 4枚	R-PNC-2AW × 4枚
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [6.5 ～ 22.4]	
		中間			9.0（中温：9.5）	
		最小中温			6.5	
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.7 ～ 28.0]（最小：5.7）	
		中間			10.1	
		最大低温			22.0	
定格冷房時の顕熱比					0.93	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	21.2	
		暖房			20.4	
	始動電流（最大電流）				5（41）	
	消費電力	冷房	定格	kW	6.84	
			中間		2.24（中温：1.90）	
			最小中温		1.37	
		暖房	定格標準		6.58（最小：1.38）	
			中間		2.09	
			最大低温		9.15	
	力率			%	冷：93，暖：93	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：2.92，中間：4.02	
		暖房			定格：3.40，中間：4.83	
	通年エネルギー消費効率	(2015)			4.3	
		(2006)			4.3	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58
		音圧レベル			P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：73，暖：73	
		音圧レベル			冷：59，暖：60	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル使用：348 × 750 × 635，キャンバスパネル使用：（348＋α）× 750 × 635 (6)	
		パネル			20 × 1040 × 750	20 × 864 × 585
	製品質量			kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）	
		電動機	定格出力	W	100	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 2 スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505 × 970 × 370	
	製品質量			kg	165	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		GTC5150MC40KC × 1	
			電動機出力	kW	4.2	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	7.2（R410A）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	1.55（M-MA32R）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	135	
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	33	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(13)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(11)（外径）	液管(9)		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管②①：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管②：φ12.7，①：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（32m）(14)	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	60	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（60）	
	アース線サイズ			mm^2	5.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21	
法定冷凍能力				トン	3.13（届出不要）	
IPコード					室内：IPX0，室外：IP24	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 4台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧100Pa）× 4台となります。］
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット4台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) P224形の場合，主管配管長が40mを超える場合は主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(10) 冷媒配管の分岐管①は第１分岐～第２分岐の間，②は第２分岐～室内ユニットの間を示します。
(11) ダブルツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1Gを2セット，DIS-WB1Gを1セット（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(12) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP56形に設定され，上記の仕様で運転します。
(13) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(14) 外気温が45℃を超える場所に据付ける場合は，電線太さは14mm^2配線こう長43mになります。
(15) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ダブルツイン形（室内ユニット：4台，室外ユニット：1台）〔FDRVP-HD〕

項目 ＼ セット形式					FDRVP2804HD5SA	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP805SA × 4台 室外：FDCVP2804H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-3AW × 4枚	R-PNC-3AW × 4枚
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	25.0［7.4 ～ 28.0］	
		中間			11.3（中温：12.1）	
		最小中温			7.4	
	暖房能力	定格標準			28.0［7.3 ～ 31.5］（最小：7.3）	
		中間			12.6	
		最大低温			24.0	
定格冷房時の顕熱比					0.89	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	27.0	
		暖房			25.6	
	始動電流（最大電流）				5（45）	
	消費電力	冷房	定格	kW	8.80	
			中間		2.55（中温：2.40）	
			最小中温		1.27	
		暖房	定格標準		8.34（最小：1.59）	
			中間		2.47	
			最大低温		9.45	
	力率			%	冷：94，暖：94	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：2.84，中間：4.43	
		暖房			定格：3.36，中間：5.10	
	通年エネルギー消費効率	(2015)			4.5	
		(2006)			4.4	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53
		音圧レベル			P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：74，暖：77	
		音圧レベル			冷：60，暖：63	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル使用：348 × 950 × 635，キャンバスパネル使用：（348＋α）× 950 × 635 (6)	
		パネル			20 × 1240 × 750	20 × 1064 × 585
	製品質量			kg	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2	
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：10，最大：100（リモコンから設定）	
		電動機	定格出力	W	130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 3 スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505 × 970 × 370	
	製品質量			kg	165	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		GTC5150MC40KC × 1	
			電動機出力	kW	7.3	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	7.6（R410A）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	1.55（M-MA32R）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	135	
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	33	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(12)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(10)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管②①：φ9.52，主管：φ12.7，室外接続：φ12.7（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管②①：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	14.0 × 3本（39m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	60	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（60）	
	アース線サイズ			mm^2	5.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21	
法定冷凍能力				トン	3.75（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IP24	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井内部分は本体高さに含まれます。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（外形図参照）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.14kW × 4台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）× 4台となります。］
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット4台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) 冷媒配管の分岐管①は第1分岐～第2分岐の間，②は第2分岐～室内ユニットの間を示します。
(10) ダブルツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1Gを2セット，DIS-WB1Gを1セット（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(11) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP71形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(13) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

■天井リターン設置仕様（オプション）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRV-HK〕

PJG000Z603

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDRV405HK5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCVP405HK	FDRV455HK5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCVP455HK	FDRV505HK5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCVP505HK
天井リターンキット					R-FL-2A		
リモートコントローラ					RC-DX3B		
電源					単相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6 [1.3 ～ 4.0]	4.0 [1.3 ～ 4.5]	4.5 [1.3 ～ 5.0]
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.3	1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			4.0 [1.0 ～ 4.5]（最小：1.0）	4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.1）	5.0 [1.2 ～ 5.6]（最小：1.2）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.6	5.0
定格冷房時の顕熱比					0.87	0.82	0.78
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.9	6.6	7.9
		暖房			5.5	5.9	6.5
	始動電流（最大電流）				5（17）	5（17）	5（17）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.01	1.16	1.38
			中間		0.315（中温：0.262）	0.350（中温：0.289）	0.428（中温：0.378）
			最小中温		0.194	0.191	0.193
		暖房	定格標準		0.955（最小：0.211）	1.04（最小：0.233）	1.17（最小：0.257）
			中間		0.341	0.381	0.408
			最大低温		1.93	1.94	2.61
	力率			%	冷：86，暖：87	冷：88，暖：88	冷：87，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.56，中間：5.40	定格：3.45，中間：5.14	定格：3.26，中間：4.91
		暖房			定格：4.19，中間：5.28	定格：4.33，中間：5.51	定格：4.27，中間：5.64
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.3	5.3	5.1
		（2006）			5.1	5.1	5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：70，急：66，強：63，弱：61
		音圧レベル			P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：49，急：45，強：42，弱：40
	室外ユニット	パワーレベル			冷：58，暖：60	冷：59，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：43，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	（280 +37）× 750 × 635		
	製品質量			kg	本体：29，フィルタキット：2.1		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1		
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：13，急：10，強：9，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：35，最小：15，最大：95（リモコンから設定）(5)		
		電動機	定格出力	W	100		
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト ×2スポット接続）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm, 背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640 × 800（+71）× 290		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(8)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0 × 2本（13m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.46（届出不要）	0.52（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.07kW × 1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧95Pa）× 1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRV-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDRV565HK5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCVP565HK	FDRV635HK5SA 室内：FDRZP635SA 室外：FDCVP635HK
天井リターンキット					R-FL-2A	R-FL-3A
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					単相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0 [1.3 ～ 5.6]	5.6 [1.4 ～ 6.3]
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）	6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.3	5.8
定格冷房時の顕熱比					0.74	0.87
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	8.9	9.9
		暖房			7.5	8.3
	始動電流（最大電流）				5（17）	5（18）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.62	1.82
			中間		0.485（中温：0.431）	0.503（中温：0.435）
			最小中温		0.208	0.207
		暖房	定格標準		1.38（最小：0.281）	1.58（最小：0.286）
			中間		0.460	0.494
			最大低温		2.76	2.48
	力率			%	冷：91，暖：92	冷：92，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.09，中間：4.74	定格：3.08，中間：5.17
		暖房			定格：4.06，中間：5.65	定格：3.99，中間：5.87
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.0	5.4
		（2006）			4.9	5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：71，急：66，強：63，弱：59
		音圧レベル			P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：50，急：45，強：42，弱：38
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	(280 +37) × 750 × 635	(280 +37) × 950 × 635
	製品質量			kg	本体：29，フィルタキット：2.1	本体：34，フィルタキット：2.6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1（P63形：2）	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：20，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：35，最小：15，最大：95（リモコンから設定）(5)	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	100	130
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 2（P63形：3）スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640 × 800（+71）× 290	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(8)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0 × 2本（13m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P56形

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

P63形

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：P56形：0.07kW × 1台，P63形：0.1kW × 1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP56形：最大0.095kW（静圧95Pa）× 1台，P63形：最大0.140kW（静圧100Pa）× 1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRV-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDRV805HK5SA 室内：FDRZP805SA 室外：FDCVP805HK
天井リターンキット					R-FL-3A
リモートコントローラ					RC-DX3B
電源					単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間			3.6
		最大低温			7.8
定格冷房時の顕熱比					0.83
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	10.4
		暖房			10.4
	始動電流（最大電流）				5（20）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.05
			中間		0.625（中温：0.514）
			最小中温		0.275
		暖房	定格標準		2.05（最小：0.426）
			中間		0.687
			最大低温		2.85
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.46，中間：5.12
		暖房			定格：3.90，中間：5.24
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.2
		（2006）			4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：74，急：70，強：66，弱：58
		音圧レベル			P急：53，急：49，強：45，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	（280 +37）× 950 × 635
	製品質量			kg	本体：34，フィルタキット：2.6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	130
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 3 スポット接続）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845 × 970 × 370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(8)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 2本（17m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.14kW × 1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）× 1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDRV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDRV405H5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCVP405H	FDRV455H5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCVP455H	FDRV505H5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCVP505H
天井リターンキット					R-FL-2A		
リモートコントローラ					RC-DX3B		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6 [1.3 ～ 4.0]	4.0 [1.3 ～ 4.5]	4.5 [1.3 ～ 5.0]
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.3	1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			4.0 [1.0 ～ 4.5]（最小：1.0）	4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.1）	5.0 [1.2 ～ 5.6]（最小：1.2）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.6	5.0
定格冷房時の顕熱比					0.87	0.82	0.78
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	3.4	3.8	4.5
		暖房			3.2	3.5	3.8
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（13）	5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.00	1.15	1.37
			中間		0.313（中温：0.259）	0.347（中温：0.287）	0.425（中温：0.375）
			最小中温		0.193	0.190	0.192
		暖房	定格標準		0.945（最小：0.210）	1.03（最小：0.232）	1.16（最小：0.255）
			中間		0.338	0.378	0.404
			最大低温		1.92	1.93	2.6
	力率			%	冷：85，暖：85	冷：87，暖：85	冷：88，暖：88
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.60，中間：5.43	定格：3.48，中間：5.19	定格：3.28，中間：4.94
		暖房			定格：4.23，中間：5.33	定格：4.37，中間：5.56	定格：4.31，中間：5.69
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.4	5.4	5.2
		（2006）			5.2	5.2	5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：70，急：66，強：63，弱：61
		音圧レベル			P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：49，急：45，強：42，弱：40
	室外ユニット	パワーレベル			冷：58，暖：60	冷：59，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：43，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	（280 +37）× 750 × 635		
	製品質量			kg	本体：29，フィルタキット：2.1		
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1		
		風量		m³/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：13，急：10，強：9，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：35，最小：15，最大：95（リモコンから設定）(5)		
		電動機	定格出力	W	100		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト ×2スポット接続）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640 × 800（+71）× 290		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1		
		風量		m³/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(8)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	2.0 × 3本（18m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	20 30（20）		
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6）× 3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.46（届出不要）	0.52（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧95Pa）× 1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDRV-H〕

項目 ＼ セット形式					FDRV565H5SA	FDRV635H5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP565SA 室外：FDCVP565H	室内：FDRZP635SA 室外：FDCVP635H
天井リターンキット					R-FL-2A	R-FL-3A
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0 [1.3 ～ 5.6]	5.6 [1.4 ～ 6.3]
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）	6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.3	5.8
定格冷房時の顕熱比					0.74	0.87
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.2	5.9
		暖房			4.3	5.0
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（14）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.61	1.81
			中間		0.480（中温：0.426）	0.505（中温：0.438）
			最小中温		0.207	0.206
		暖房	定格標準		1.37（最小：0.278）	1.57（最小：0.284）
			中間		0.455	0.487
			最大低温		2.75	2.47
	力率			%	冷：89，暖：92	冷：89，暖：91
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.11，中間：4.79	定格：3.09，中間：5.15
		暖房			定格：4.09，中間：5.71	定格：4.01，中間：5.95
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.1	5.5
		（2006）			4.9	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：71，急：66，強：63，弱：59
		音圧レベル			P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：50，急：45，強：42，弱：38
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	(280 +37) × 750 × 635	(280 +37) × 950 × 635
	製品質量			kg	本体：29，フィルタキット：2.1	本体：34，フィルタキット：2.6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1（P63形：2）	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：20，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：35，最小：15，最大：95（リモコンから設定）(5)	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	100	130
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 2（P63形：3）スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640 × 800（+71）× 290	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(8)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0 × 3本（18m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P56形

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

P63形

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：P56形：0.07kW × 1台，P63形：0.1kW × 1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP56形：最大0.095kW（静圧95Pa）× 1台，P63形：最大0.140kW（静圧100Pa）× 1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDRV-H〕

項目＼セット形式					FDRV805H5SA
項目＼形式					室内：FDRZP805SA 室外：FDCVP805H
天井リターンキット					R-FL-3A
リモートコントローラ					RC-DX3B
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間			3.6
		最大低温			7.8
定格冷房時の顕熱比					0.83
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.4
		暖房			6.4
	始動電流（最大電流）				5（15）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.02
			中間		0.615（中温：0.507）
			最小中温		0.270
		暖房	定格標準		2.00（最小：0.418）
			中間		0.676
			最大低温		2.81
	力率			%	冷：91，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.51，中間：5.20
		暖房			定格：4.00，中間：5.33
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.3
		（2006）			5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：74，急：70，強：66，弱：58
		音圧レベル			P急：53，急：49，強：45，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	（280 +37）× 950 × 635
	製品質量			kg	本体：34，フィルタキット：2.6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	130
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト ×3スポット接続）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845 × 970 × 370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(8)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	3.5 × 3本（27m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.14kW × 1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）× 1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDRV-HA〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDRV1125HA5SA 室内：FDRZP1125SA 室外：FDCVP1125HA	FDRV1405HA5SA 室内：FDRZP1605SA 室外：FDCVP1405HA	FDRV1605HA5SA 室内：FDRZP1605SA 室外：FDCVP1605HA
天井リターンキット					R-FL-4A		
リモートコントローラ					RC-DX3B		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.2～11.2］	12.5［3.3～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.2	3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.6～18.3］（最小：3.6）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			12.5	13.0	14.0
定格冷房時の顕熱比					0.84	0.77	0.79
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	8.0	11.3	14.5
		暖房			8.4	11.2	11.8
	始動電流（最大電流）				5（25）	5（26）	5（27）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.68	3.83	4.92
			中間		0.851（中温：0.767）	1.19（中温：1.01）	1.37（中温：1.23）
			最小中温		0.465	0.523	0.564
		暖房	定格標準		2.80（最小：0.575）	3.78（最小：0.733）	3.96（最小：0.780）
			中間		0.960	1.16	1.34
			最大低温		5.77	5.95	6.37
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.73，中間：5.29	定格：3.26，中間：4.79	定格：2.85，中間：4.60
		暖房			定格：4.00，中間：5.31	定格：3.70，中間：5.43	定格：4.04，中間：5.37
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.2	5.0	4.8
		（2006）			5.1	4.8	4.7
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：77，急：72，強：68，弱：62	P急：78，急：74，強：68，弱：63	P急：80，急：75，強：69，弱：64
		音圧レベル			P急：56，急：51，強：47，弱：41	P急：57，急：53，強：47，弱：42	P急：59，急：54，強：48，弱：43
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	（280＋37）×1368×738		
	製品質量			kg	本体：54，フィルタキット：3.3		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×3		
		風量		m^3/min	P急：36，急：28，強：25，弱：19	P急：39，急：32，強：25，弱：20	P急：48，急：35，強：28，弱：22
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)		
		電動機	定格出力	W	100＋130	100＋200	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×4スポット接続）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1050×970×370		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(8)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管			φ15.88（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（26m）		5.5×3本（25m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	40		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（40）		
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～105m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	1.22（届出不要）	1.55（届出不要）	1.77（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.22kW×1台，P140形：0.26kW×1台，P160形：0.40kW×1台［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP112形：最大0.30kW（静圧100Pa）×1台，P140形：最大0.36kW（静圧100Pa）×1台，P160形：最大0.44kW（静圧100Pa）×1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P112用）および共用タイプ（P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDRV-HKP〕

項目 ＼ セット形式					FDRV805HKP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP565SA × 2台 室外：FDCVP805HK
天井リターンキット					R-FL-2A × 2セット
リモートコントローラ					RC-DX3B
電源					単相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8 ～8.0］
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間			3.6
		最大低温			7.8
定格冷房時の顕熱比					0.88
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	10.1
		暖房			10.1
	始動電流（最大電流）				5（20）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.00
			中間		0.641（中温：0.521）
			最小中温		0.288
		暖房	定格標準		2.00 （最小：0.436）
			中間		0.706
			最大低温		2.85
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.55，中間：4.99
		暖房			定格：4.00，中間：5.10
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.2
		（2006）			4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61
		音圧レベル			P急：49，急：45，強：42，弱：40
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	（280 + 37）×750×635
	製品質量			kg	本体：29，フィルタキット：2.1
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：35，最小：15，最大：95（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	100
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 2スポット接続）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845 × 970 × 370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52， 室外接続：φ9.52 （フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 3本（17m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.07kW × 2台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧95Pa）× 2台となります。］

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDRV-HP〕

項目 ＼ セット形式						FDRV805HP5SA
項目 ＼ 形式						室内：FDRZP565SA × 2台 室外：FDCVP805H
天井リターンキット						R-FL-2A × 2セット
リモートコントローラ						RC-DX3B
電源						三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	7.1［1.8～8.0］
		中間				3.2（中温：3.3）
		最小中温				1.8
	暖房能力	定格標準				8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間				3.6
		最大低温				7.8
定格冷房時の顕熱比						0.88
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	6.2
		暖房				6.3
	始動電流（最大電流）					5（15）
	消費電力	冷房	定格		kW	1.96
			中間			0.636（中温：0.513）
			最小中温			0.284
		暖房	定格標準			1.96（最小：0.428）
			中間			0.694
			最大低温			2.81
	力率				%	冷：91，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.62，中間：5.03
		暖房				定格：4.08，中間：5.19
	通年エネルギー消費効率	(2015)				5.3
		(2006)				5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61
		音圧レベル				P急：49，急：45，強：42，弱：40
	室外ユニット	パワーレベル				冷：65，暖：65
		音圧レベル				冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	(280 +37) × 750 × 635
	製品質量				kg	本体：29，フィルタキット：2.1
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				シロッコファン × 1
		風量			m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8
		機外静圧（標準風量時）			Pa	定格：35，最小：15，最大：95（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力		W	100
	エアフィルタ					プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口					前面（φ200mm フレキシブルダクト × 2 スポット接続）
	新鮮空気取入口					新鮮外気取入（側面：φ125mm, 背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	845 × 970 × 370
	製品質量				kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5118SWE1 × 1
			電動機出力		kW	1.4
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン × 1
		風量			m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力		W	86
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(10)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管			mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）
		ガス管				室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	3.5 × 3本（27m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（20）
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	φ1.6 × 3本
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	0.74（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 2台，　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧95Pa）× 2台となります。］
(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDRV-HPA〕

項目 ＼ セット形式					FDRV1125HPA5SA	FDRV1405HPA5SA	FDRV1605HPA5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP635SA × 2台 室外：FDCVP1125HA	室内：FDRZP805SA × 2台 室外：FDCVP1405HA	室内：FDRZP805SA × 2台 室外：FDCVP1605HA
天井リターンキット					R-FL-3A × 2セット		
リモートコントローラ					RC-DX3B		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.3～11.2］	12.5［3.3～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.3	3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.6～18.3］（最小：3.6）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			12.5	13.0	14.0
定格冷房時の顕熱比					0.93	0.89	0.83
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.7	10.6	13.6
		暖房			7.4	9.9	11.5
	始動電流（最大電流）				5（25）	5（27）	5（27）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.60	3.60	4.60
			中間		0.835（中温：0.714）	1.12（中温：0.985）	1.27（中温：1.11）
			最小中温		0.445	0.442	0.550
		暖房	定格標準		2.45（最小：0.521）	3.31（最小：0.657）	3.85（最小：0.775）
			中間		0.868	1.10	1.29
			最大低温		5.20	5.56	5.91
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.85，中間：5.39	定格：3.47，中間：5.09	定格：3.04，中間：4.96
		暖房			定格：4.57，中間：5.88	定格：4.23，中間：5.73	定格：4.16，中間：5.58
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7	5.4	5.1
		（2006）			5.5	5.1	5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：71，急：66，強：63，弱：59	P急：74，急：70，強：66，弱：58	
		音圧レベル			P急：50，急：45，強：42，弱：38	P急：53，急：49，強：45，弱：37	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	(280 +37) × 950 × 635		
	製品質量			kg	本体：34，フィルタキット：2.6		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2		
		風量		m^3/min	P急：20，急：15，強：13，弱：10	P急：24，急：19，強：15，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)		
		電動機	定格出力	W	130		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 3スポット接続）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1050 × 970 × 370		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3 × 1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1		
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(10)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（P140，P160：φ9.52）（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）		
		ガス管			室内接続：φ12.7（P140，P160：φ15.88）（フレア），分岐管：φ12.7（P140，P160：φ15.88），主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5 × 3本（26m）	5.5 × 3本（25m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	40		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（40）		
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～105m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	1.22（届出不要）	1.55（届出不要）	1.77（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.1kW × 2台，P140形，P160形：0.14kW × 2台［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP112形：最大0.140kW（静圧100Pa）× 2台，P140形，P160形：最大0.190kW（静圧100Pa）× 2台となります。］

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P63用）および共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP63形，P71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が−5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDRVP-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDRVP2244HP5SA	FDRVP2804HP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP1125SA × 2台 室外：FDCVP2244H	室内：FDRZP1605SA × 2台 室外：FDCVP2804H
天井リターンキット					R-FL-4A × 2セット	
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [7.0 ～ 22.4]	25.0 [7.9 ～ 28.0]
		中間			9.0（中温：9.6）	11.3（中温：12.2）
		最小中温			7.0	7.9
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.6 ～ 28.0]（最小：5.6）	28.0 [7.0 ～ 31.5]（最小：7.0）
		中間			10.1	12.6
		最大低温			22.0	24.0
定格冷房時の顕熱比					0.74	0.73
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	19.0	28.1
		暖房			17.6	27.7
	始動電流（最大電流）				5（41）	5（45）
	消費電力	冷房	定格	kW	6.12	9.15
			中間		2.16（中温：1.89）	2.64（中温：2.46）
			最小中温		1.34	1.45
		暖房	定格標準		5.67（最小：1.27）	9.01（最小：1.69）
			中間		2.00	2.59
			最大低温		7.93	10.1
	力率			%	冷：93，暖：93	冷：94，暖：94
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.27，中間：4.17	定格：2.73，中間：4.28
		暖房			定格：3.95，中間：5.05	定格：3.11，中間：4.86
	通年エネルギー消費効率	（2015）			4.6	4.3
		（2006）			4.6	4.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：77，急：72，強：68，弱：62	P急：78，急：74，強：68，弱：63
		音圧レベル			P急：56，急：51，強：47，弱：41	P急：57，急：53，強：47，弱：42
	室外ユニット	パワーレベル			冷：73，暖：73	冷：74，暖：77
		音圧レベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：63
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	（280 +37）× 1368 × 738	
	製品質量			kg	本体：54，フィルタキット：3.3	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 3	
		風量		m^3/min	P急：36，急：28，強：25，弱：19	P急：39，急：32，強：25，弱：20
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)	
		電動機	定格出力	W	100 + 130	100 + 200
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 4 スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm, 背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505 × 970 × 370	
	製品質量			kg	165	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		GTC5150MC40KC × 1	
			電動機出力	kW	4.2	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	7.2（R410A）	7.6（R410A）
		冷凍機油封入量		ℓ	1.55（M-MA32R）〔主管配管30m分封入済〕	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	135	
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	33	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(11)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管(8)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52（P280形：φ12.7），室外接続：φ9.52（フレア）（P280形：φ12.7（フレア））	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（32m）(12)	14.0 × 3本（39m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	60	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（60）	
	アース線サイズ			mm^2	5.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21	
法定冷凍能力				トン	3.13（届出不要）	3.75（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IP24	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P224形：0.22kW × 2台，P280形：0.26kW × 2台　[ダクト機の場合，機外静圧設定により，P224形：最大0.30kW（静圧100Pa）× 2台，P280形：最大0.36kW（静圧100Pa）× 2台となります。]

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。

(9) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WB1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(10) 室内ユニットは共用タイプ（P112用）および共用タイプ（P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形に設定され，上記の仕様で運転します。

(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(12) 外気温が45℃を超える場所に据付ける場合は，電線太さは14mm^2配線こう長43mになります。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）トリプル形（室内ユニット：3台，室外ユニット：1台）〔FDRV-HTA〕

項目 ＼ セット形式					FDRV1605HTA5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP565SA × 3台 室外：FDCVP1605HA
天井リターンキット					R-FL-2A × 3セット
リモートコントローラ					RC-DX3B
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	14.0［3.5～16.0］
		中間			6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.5
	暖房能力	定格標準			16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			7.2
		最大低温			14.0
定格冷房時の顕熱比					0.76
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	14.9
		暖房			11.5
	始動電流（最大電流）				5（27）
	消費電力	冷房	定格	kW	5.05
			中間		1.37（中温：1.15）
			最小中温		0.578
		暖房	定格標準		3.88（最小：0.754）
			中間		1.29
			最大低温		5.90
	力率			%	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：2.77，中間：4.60
		暖房			定格：4.12，中間：5.58
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.0
		(2006)			4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61
		音圧レベル			P急：49，急：45，強：42，弱：40
	室外ユニット	パワーレベル			冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	（280＋37）×750×635
	製品質量			kg	本体：29，フィルタキット：2.1
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：35，最小：15，最大：95（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	100
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2 スポット接続）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1050×970×370
	製品質量			kg	86
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1
			電動機出力	kW	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86
		電動機	定格出力	W	144
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（25m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	40
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（40）
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～105m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.77（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 3台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧95Pa）× 3台となります。］

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TA1G　　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1Gを2セット

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）トリプル形（室内ユニット：3 台，室外ユニット：1 台）〔FDRVP-HT〕

項目 ＼ セット形式					FDRVP2244HT5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP805SA × 3台 室外：FDCVP2244H
天井リターンキット					R-FL-3A × 3セット
リモートコントローラ					RC-DX3B
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [7.0 ～ 22.4]
		中間			9.0（中温：9.5）
		最小中温			7.0
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.6 ～ 28.0]（最小：5.6）
		中間			10.1
		最大低温			22.0
定格冷房時の顕熱比					0.76
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	20.3
		暖房			18.0
	始動電流（最大電流）				5（41）
	消費電力	冷房	定格	kW	6.60
			中間		2.15（中温：1.80）
			最小中温		1.37
		暖房	定格標準		5.81（最小：1.26）
			中間		2.05
			最大低温		8.18
	力率			%	冷：94，暖：93
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.03，中間：4.19
		暖房			定格：3.86，中間：4.93
	通年エネルギー消費効率	(2015)			4.5
		(2006)			4.5
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：74，急：70，強：66，弱：58
		音圧レベル			P急：53，急：49，強：45，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：73，暖：73
		音圧レベル			冷：59，暖：60
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	(280 +37) × 950 × 635
	製品質量			kg	本体：34，フィルタキット：2.6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	130
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 3 スポット接続）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505 × 970 × 370
	製品質量			kg	165
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		GTC5150MC40KC × 1
			電動機出力	kW	4.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	7.2（410A）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	1.55（M-MA32R）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2
		風量		m^3/min	135
		電動機	定格出力	W	86 × 2
	クランクケースヒータ			W	33
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管(8)		mm	室内接続：φ9.52 （フレア），分岐管：φ9.52，　主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0× 3本（32m）(12)
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	60
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（60）
	アース線サイズ			mm^2	5.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21
法定冷凍能力				トン	3.13（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.14kW × 3台　[ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）× 3台となります。]

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。

(9) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TB1G　　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1G，DIS-WB1Gを各1セット

(10) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(12) 外気温が45℃を超える場所に据付ける場合は，電線太さは14mm^2配線こう長43mになります。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ダブルツイン形（室内ユニット：4台，室外ユニット：1台）〔FDRVP-HD〕

項目 ＼ セット形式					FDRVP2244HD5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP565SA × 4台 室外：FDCVP2244H
天井リターンキット					R-FL-2A × 4セット
リモートコントローラ					RC-DX3B
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0［6.5～22.4］
		中間			9.0（中温：9.5）
		最小中温			6.5
	暖房能力	定格標準			22.4［5.7～28.0］（最小：5.7）
		中間			10.1
		最大低温			22.0
定格冷房時の顕熱比					0.93
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	21.2
		暖房			20.4
	始動電流（最大電流）				5（41）
	消費電力	冷房	定格	kW	6.84
			中間		2.24（中温：1.90）
			最小中温		1.37
		暖房	定格標準		6.58（最小：1.38）
			中間		2.09
			最大低温		9.15
	力率			%	冷：93，暖：93
	エネルギー消費効率	冷房			定格：2.92，中間：4.02
		暖房			定格：3.40，中間：4.83
	通年エネルギー消費効率	（2015）			4.3
		（2006）			4.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61
		音圧レベル			P急：49，急：45，強：42，弱：40
	室外ユニット	パワーレベル			冷：73，暖：73
		音圧レベル			冷：59，暖：60
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	（280＋37）×750×635
	製品質量			kg	本体：29，フィルタキット：2.1
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：35，最小：15，最大：95（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	100
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2 スポット接続）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505×970×370
	製品質量			kg	165
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		GTC5150MC40KC×1
			電動機出力	kW	4.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	7.2（R410A）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	1.55（M-MA32R）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2
		風量		m^3/min	135
		電動機	定格出力	W	86×2
	クランクケースヒータ			W	33
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(12)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(10)（外径）	液管(8)		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管②①：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管②：φ12.7，①：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0×3本（32m）(13)
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	60
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（60）
	アース線サイズ			mm^2	5.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21
法定冷凍能力				トン	3.13（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IP24
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 4台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧95Pa）× 4台となります。］
(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット4台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(9) 冷媒配管の分岐管①は第1分岐～第2分岐の間，②は第2分岐～室内ユニットの間を示します。
(10) ダブルツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1Gを2セット，DIS-WB1Gを1セット（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(11) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP56形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(13) 外気温が45℃を超える場所に据付ける場合は，電線太さは14mm^2配線こう長43mになります。

冷暖房兼用機(ヒータレス形)ダブルツイン形(室内ユニット:4 台, 室外ユニット:1 台)〔FDRVP-HD〕

項目				セット形式	FDRVP2804HD5SA
				形式	室内:FDRZP805SA × 4台 室外:FDCVP2804H
天井リターンキット					R-FL-3A × 4セット
リモートコントローラ					RC-DX3B
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	25.0 [7.4 ～ 28.0]
		中間			11.3 (中温 : 12.1)
		最小中温			7.4
	暖房能力	定格標準			28.0 [7.3 ～ 31.5] (最小 : 7.3)
		中間			12.6
		最大低温			24.0
定格冷房時の顕熱比					0.89
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	27.0
		暖房			25.6
	始動電流(最大電流)				5 (45)
	消費電力	冷房	定格	kW	8.80
			中間		2.55 (中温 : 2.40)
			最小中温		1.27
		暖房	定格標準		8.34 (最小 : 1.59)
			中間		2.47
			最大低温		9.45
	力率			%	冷 : 94, 暖 : 94
	エネルギー消費効率	冷房			定格 : 2.84, 中間 : 4.43
		暖房			定格 : 3.36, 中間 : 5.10
	通年エネルギー消費効率	(2015)			4.5
		(2006)			4.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急 : 74, 急 : 70, 強 : 66, 弱 : 58
		音圧レベル			P急 : 53, 急 : 49, 強 : 45, 弱 : 37
	室外ユニット	パワーレベル			冷 : 74, 暖 : 77
		音圧レベル			冷 : 60, 暖 : 63
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	(280 +37) × 950 × 635
	製品質量			kg	本体 : 34, フィルタキット : 2.6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2
		風量		m^3/min	P急 : 24, 急 : 19, 強 : 15, 弱 : 10
		機外静圧(標準風量時)		Pa	定格 : 30, 最小 : 20, 最大 : 100 (リモコンから設定)(5)
		電動機	定格出力	W	130
		エアフィルタ			プラスチックネット(防カビ仕様), ロングライフフィルタ, 洗浄可能
	吹出ダクト接続口				前面 (φ200mm フレキシブルダクト × 3 スポット接続)
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入 (側面 : φ125mm, 背面 : φ150mm フレキシブルダクト接続), 排気 (側面 : φ125mm フレキシブルダクト接続)
	運転調整				操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気), 室温調節(電子サーモスタット), 表示(運転·点検用·LED, 液晶表示)
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ (CnT : 6P, CnTA : 2P) を保有(室内基板上)
	加湿器				ー (気化式加湿器取付可能)
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機 : 防振ゴム, 外板 : 吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505 × 970 × 370
	製品質量			kg	165
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		GTC5150MC40KC × 1
			電動機出力	kW	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	7.6 (R410A) [主管30m分封入済]
		冷凍機油封入量		ℓ	1.55 (M-MA32R)
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2
		風量		m^3/min	135
		電動機	定格出力	W	86 × 2
	クランクケースヒータ			W	33
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(11)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機 : 防振ゴム, 吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(9)(外径)	液管		mm	室内接続 : φ9.52 (フレア), 分岐管②① : φ9.52, 主管 : φ12.7, 室外接続 : φ12.7 (フレア)
		ガス管			室内接続 : φ15.88 (フレア), 分岐管②① : φ15.88, 主管 : φ25.4, 室外接続 : φ25.4 (ろう付)
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ(こう長)			mm^2	14.0 × 3本 (39m)
	漏電しゃ断器(高調波対応品)			A	60
	開閉器容量(ヒューズ容量)				60 (60)
	アース線サイズ			mm^2	5.5以上 (M5)
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0 (φ1.6) × 3本 (～70m), 3.5 × 3本 (～120m)
設計圧力				MPa	高圧部 : 4.15, 低圧部 : 2.21
法定冷凍能力				トン	3.75 (届出不要)
IPコード					室内 : IPXO, 室外 : IP24
保護装置					高圧スイッチ, 低圧センサ, 吐出管温度センサ, 吸込管温度センサ, 熱交温度センサ, パワトラ温度センサ, 電流センサ, ヒューズ, ファンモータマイコン式過負荷保護, フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力, 通年エネルギー消費効率(2015)および電気特性は, 適正冷媒量においてJIS B 8616 : 2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率(2006)はJIS B 8616 : 2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音(パワーレベル)はJIS B 8616 : 2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音(音圧レベル)はJIS B 8616 : 2006に準拠し, 反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け, 表示値より大きくなるのが普通です。なお, 室外ユニットは本体前方1m, 高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は, 標準機に対して機内圧力損失が低減するため, リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧(Pa)	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定(Pa)	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力 : 0.14kW × 4台 [ダクト機の場合, 機外静圧設定により最大0.190kW(静圧100Pa) × 4台となります。]

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し, その他の項目は記載の室内ユニット4台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) 冷媒配管の分岐管①は第1分岐～第2分岐の間, ②は第2分岐～室内ユニットの間を示します。

(9) ダブルツイン機の分岐配管は, 必ず分岐管セットDIS-WA1Gを2セット, DIS-WB1Gを1セット(別売品)を使用して接続してください。(詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。)

(10) 室内ユニットは共用タイプ(P71, P80用)で, 室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP71形に設定され, 上記の仕様で運転します。

(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合, フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売)を取付けてください。

(e) 高静圧ダクト形（FDUV）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDUV-HK〕

PJG000Z610A

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDUV505HK5SA 室内：FDUZP565SA 室外：FDCVP505HK	FDUV565HK5SA 室内：FDUZP565SA 室外：FDCVP565HK	FDUV635HK5SA 室内：FDUZP635SA 室外：FDCVP635HK
リモートコントローラ					RC-DX3B		
電源					単相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	4.5 [1.3 ～ 5.0]	5.0 [1.3 ～ 5.6]	5.6 [1.4 ～ 6.3]
		中間			2.1（中温：2.2）	2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.3	1.4
	暖房能力	定格標準			5.0 [1.2 ～ 5.6]（最小：1.2）	5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）	6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）
		中間			2.3	2.6	2.9
		最大低温			5.0	5.3	5.8
定格冷房時の顕熱比					0.78	0.74	0.87
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.4	8.8	9.7
		暖房			6.3	7.5	8.3
	始動電流（最大電流）				5（17）	5（17）	5（18）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.39	1.63	1.82
			中間		0.425（中温：0.373）	0.488（中温：0.423）	0.494（中温：0.426）	
			最小中温		0.198	0.214	0.213
		暖房	定格標準		1.19（最小：0.255）	1.38（最小：0.289）	1.57（最小：0.296）
			中間		0.407	0.463	0.495
			最大低温		2.61	2.78	2.52
	力率			%	冷：94，暖：94	冷：93，暖：92	冷：94，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.24，中間：4.94	定格：3.07，中間：4.71	定格：3.08，中間：5.26
		暖房			定格：4.20，中間：5.65	定格：4.06，中間：5.62	定格：4.01，中間：5.86
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.1	5.0	5.4
		（2006）			5.0	4.9	5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：66，急：61，強：59，弱：56	P急：66，急：61，強：59，弱：56	P急：66，急：60，強：57，弱：52
		音圧レベル			P急：40，急：35，強：33，弱：30	P急：40，急：35，強：33，弱：30	P急：42，急：36，強：33，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル			冷：60，暖：61	冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：45，暖：46	冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	280 × 750 × 635		280 × 950 × 635
	製品質量			kg	29		34
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1（P63形：2）		
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：20，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：100，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(6)		
		電動機	定格出力	W	100		130
		エアフィルタ			－（現地手配）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640 × 800（+71）× 290		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1		
			電動機出力	kW	0.9	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0 × 2本（13m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.56（届出不要）	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：P50，P56形：0.09kW × 1台，P63形：0.130kW × 1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP50，P56形：最大0.100kW（静圧200Pa）× 1台，P63形：最大0.190kW（静圧200Pa）× 1台となります。］

(6) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。

(7) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P50形	必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
P56形	リモコンの設定（Pa）	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120

P63形	必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
	リモコンの設定（Pa）	10	20	30	50	60	70	90	100	110	120

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP50形，P56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDUV-HK〕

項目					セット形式	FDUV805HK5SA
					形式	室内：FDUZP805SA 室外：FDCVP805HK
リモートコントローラ						RC-DX3B
電源						単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力		定格		kW	7.1［1.8～8.0］
			中間			3.2（中温：3.4）
			最小中温			1.8
	暖房能力		定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
			中間			3.6
			最大低温			7.8
定格冷房時の顕熱比						0.83
(1)運転特性	運転電流		冷房		A	10.6
			暖房			10.4
	始動電流（最大電流）					5（20）
	消費電力	冷房	定格		kW	2.10
			中間			0.646（中温：0.534）
			最小中温			0.284
		暖房	定格標準			2.06（最小：0.435）
			中間			0.695
			最大低温			2.85
	力率				%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率		冷房			定格：3.38，中間：4.95
			暖房			定格：3.88，中間：5.18
	通年エネルギー消費効率		（2015）			5.2
			（2006）			4.9
運転音	室内ユニット		パワーレベル		dB(A)	P急：68，急：62，強：58，弱：52
			音圧レベル			P急：44，急：38，強：34，弱：28
	室外ユニット		パワーレベル			冷：65，暖：66
			音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法		高さ×幅×奥行		mm	280×950×635
	製品質量				kg	34
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				シロッコファン×2
		風量			m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10
		機外静圧（標準風量時）			Pa	定格：100，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(6)
		電動機	定格出力		W	130
		エアフィルタ				－（現地手配）
	新鮮空気取入口					新鮮外気取入（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法		高さ×幅×奥行		mm	845×970×370
	製品質量				kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5118SWE1×1
			電動機出力		kW	1.4
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×1
		風量			m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力		W	86
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管			mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管				φ15.88（フレア接続）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	3.5×2本（17m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（30）
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	0.74（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け0，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.160kW × 1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.250kW（静圧200Pa）× 1台となります。］

(6) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。

(7) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDUV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDUV505H5SA 室内：FDUZP565SA 室外：FDCVP505H	FDUV565H5SA 室内：FDUZP565SA 室外：FDCVP565H	FDUV635H5SA 室内：FDUZP635SA 室外：FDCVP635H
リモートコントローラ					RC-DX3B		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	4.5［1.3～5.0］	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.4～6.3］
		中間			2.1（中温：2.2）	2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.3	1.4
	暖房能力	定格標準			5.0［1.2～5.6］（最小：1.2）	5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.3	2.6	2.9
		最大低温			5.0	5.3	5.8
定格冷房時の顕熱比					0.78	0.74	0.87
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.6	5.2	5.8
		暖房			3.9	4.4	5.0
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（13）	5（14）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.38	1.62	1.81
			中間		0.422（中温：0.370）	0.483（中温：0.419）	0.494（中温：0.423）
			最小中温		0.197	0.213	0.212
		暖房	定格標準		1.18（最小：0.254）	1.38（最小：0.286）	1.56（最小：0.293）
			中間		0.402	0.458	0.490
			最大低温		2.60	2.77	2.51
	力率			%	冷：87，暖：87	冷：90，暖：91	冷：90，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.26，中間：4.98	定格：3.09，中間：4.76	定格：3.09，中間：5.26
		暖房			定格：4.24，中間：5.72	定格：4.06，中間：5.68	定格：4.04，中間：5.92
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.2	5.1	5.5
		（2006）			5.1	4.9	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：66，急：61，強：59，弱：56	P急：66，急：61，強：59，弱：56	P急：66，急：60，強：57，弱：52
		音圧レベル			P急：40，急：35，強：33，弱：30	P急：40，急：35，強：33，弱：30	P急：42，急：36，強：33，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル			冷：60，暖：61	冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：45，暖：46	冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	280×750×635		280×950×635
	製品質量			kg	29		34
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1（P63形：2）		
		風量		m³/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：20，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：100，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(6)		
		電動機	定格出力	W	100		130
		エアフィルタ			－（現地手配）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.9	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m³/min	冷：33，暖：33	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	2.0×3本（18m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.56（届出不要）	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P50，P56形：0.09kW × 1台，P63形：0.130kW × 1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP50，P56形：最大0.100kW（静圧200Pa）× 1台，P63形：最大0.190kW（静圧200Pa）× 1台となります。］

(6) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。

(7) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P50，P56形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120

P63形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	50	60	70	90	100	110	120

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP50形，P56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDUV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式						FDUV805H5SA 室内：FDUZP805SA 室外：FDCVP805H
リモートコントローラ						RC-DX3B
電源						三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	7.1［1.8～8.0］
		中間				3.2（中温：3.4）
		最小中温				1.8
	暖房能力	定格標準				8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間				3.6
		最大低温				7.8
定格冷房時の顕熱比						0.83
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	6.5
		暖房				6.5
	始動電流（最大電流）					5（15）
	消費電力	冷房	定格		kW	2.06
			中間			0.626（中温：0.527）
			最小中温			0.279
		暖房	定格標準			2.02（最小：0.427）
			中間			0.684
			最大低温			2.81
	力率				%	冷：91，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.45，中間：5.11
		暖房				定格：3.96，中間：5.26
	通年エネルギー消費効率	（2015）				5.3
		（2006）				5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：68，急：62，強：58，弱：52
		音圧レベル				P急：44，急：38，強：34，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル				冷：65，暖：66
		音圧レベル				冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	280×950×635
	製品質量				kg	34
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				シロッコファン×2
		風量			m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10
		機外静圧（標準風量時）			Pa	定格：100，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(6)
		電動機	定格出力		W	130
		エアフィルタ				－（現地手配）
	新鮮空気取入口					新鮮外気取入（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	845×970×370
	製品質量				kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5118SWE1×1
			電動機出力		kW	1.4
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×1
		風量			m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力		W	86
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管			mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管				φ15.88（フレア接続）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	3.5×3本（27m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（20）
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	0.74（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.160kW × 1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.250kW（静圧200Pa）× 1台となります。］

(6) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。

(7) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDUV-HA〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDUV1125HA5SA 室内：FDUZP1125SA 室外：FDCVP1125HA	FDUV1405HA5SA 室内：FDUZP1605SA 室外：FDCVP1405HA	FDUV1605HA5SA 室内：FDUZP1605SA 室外：FDCVP1605HA
リモートコントローラ					RC-DX3B		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.3～11.2］	12.5［3.3～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.3	3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.6～18.3］（最小：3.6）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			12.5	13.0	14.0
定格冷房時の顕熱比					0.84	0.77	0.79
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	8.0	11.1	14.1
		暖房			8.3	11.2	11.8
	始動電流（最大電流）				5（26）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.70	3.78	4.77
			中間		0.862（中温：0.777）	1.18（中温：0.986）	1.37（中温：1.19）
			最小中温		0.465	0.517	0.552
		暖房	定格標準		2.77（最小：0.576）	3.77（最小：0.725）	3.98（最小：0.760）
			中間		0.955	1.16	1.37
			最大低温		5.77	5.94	6.11
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.70，中間：5.22	定格：3.31，中間：4.83	定格：2.94，中間：4.60
		暖房			定格：4.04，中間：5.34	定格：3.71，中間：5.43	定格：4.02，中間：5.26
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.2	5.1	4.9
		（2006）			5.1	4.8	4.7
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：65，強：62，弱：57	P急：71，急：67，強：61，弱：57	P急：74，急：67，強：62，弱：57
		音圧レベル			P急：45，急：40，強：37，弱：32	P急：46，急：42，強：36，弱：32	P急：49，急：42，強：37，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	280×1368×738		
	製品質量			kg	54		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×3		
		風量		m³/min	P急：36，急：28，強：25，弱：19	P急：39，急：32，強：26，弱：20	P急：48，急：35，強：28，弱：22
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：100，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(6)		
		電動機	定格出力	W	100＋130	100＋200	
		エアフィルタ			－（現地手配）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1050×970×370		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m³/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管			φ15.88（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	5.5×3本（26m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	40		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（40）		
	アース線サイズ			mm²	3.5以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～105m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	1.22（届出不要）	1.55（届出不要）	1.77（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.230kW×1台，P140形：0.250kW×1台，P160形：0.350kW×1台［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP112形：最大0.320kW（静圧200Pa）×1台，P140形：最大0.360kW（静圧200Pa）×1台，P160形：最大0.430kW（静圧200Pa）×1台となります。］

(6) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。

(7) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P112形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

P140形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	30	40	50	60	70	80	90	110	120	130

P160形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	40	50	60	70	80	90	100	110	130	140

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P112用）および共用タイプ（P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDUVP-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDUVP2244H5A 室内：FDUVP2245A 室外：FDCVP2244H	FDUVP2804H5A 室内：FDUVP2805A 室外：FDCVP2804H
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [7.1 ～ 22.4]	25.0 [7.7 ～ 28.0]
		中間			9.0（中温：9.6）	11.3（中温：12.0）
		最小中温			7.1	7.7
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.9 ～ 28.0]（最小：5.9）	28.0 [7.0 ～ 31.5]（最小：7.0）
		中間			10.1	12.6
		最大低温			22.0	22.0
定格冷房時の顕熱比					0.91	0.78
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	18.9	27.1
		暖房			18.0	26.2
	始動電流（最大電流）				5（40）	5（42）
	消費電力	冷房	定格	kW	6.30	9.10
			中間		2.30（中温：2.05）	2.70（中温：2.51）
			最小中温		1.50	1.60
		暖房	定格標準		6.00（最小：1.30）	8.80（最小：1.60）
			中間		2.17	2.70
			最大低温		8.40	8.40
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：97，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.17，中間：3.91	定格：2.75，中間：4.19
		暖房			定格：3.73，中間：4.65	定格：3.18，中間：4.67
	通年エネルギー消費効率	（2015）			4.3	4.2
		（2006）			4.3	4.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：77，急：74，強：71，弱：68	
		音圧レベル			P急：55，急：52，強：49，弱：46	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：73，暖：73	冷：74，暖：77
		音圧レベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：63
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	379 × 1600 × 893	
	製品質量			kg	89	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 3	
		風量		m^3/min	P急：80，急：72，強：64，弱：56	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：100，最小：10，最大：200（リモコンから設定）	
		電動機	定格出力	W	130 + 350	
		エアフィルタ			－（現地手配）	
	新鮮空気取入口				吸込ダクト接続	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505 × 970 × 370	
	製品質量			kg	165	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		GTC5150MC40KC × 1	
			電動機出力	kW	4.2	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	7.2（R410A）	7.6（R410A）
		冷凍機油封入量		ℓ	1.55（M-MA32R）［主管配管30m分封入済］	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	135	
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	33	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管(6)		mm	φ9.52（室内：ろう付接続，室外：フレア接続）	φ12.7（室内：ろう付接続，室外：フレア接続）
		ガス管			φ25.4（ろう付接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	14.0 × 3本（44m）	14.0 × 3本（42m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50	60
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）	60（60）
	アース線サイズ			mm^2	5.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21	
法定冷凍能力				トン	3.13（届出不要）	3.75（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IP24	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.930kW × 1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大1.080kW（静圧200Pa）× 1台となります。］

(6) P224形の場合，主管配管長が40mを超える場合は主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(8) 丸ダクト 変換キットは，接続できません。

(9) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDUV-HPA〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDUV1125HPA5SA	FDUV1405HPA5SA	FDUV1605HPA5SA
					室内：FDUZP635SA × 2台 室外：FDCVP1125HA	室内：FDUZP805SA × 2台 室外：FDCVP1405HA	室内：FDUZP805SA × 2台 室外：FDCVP1605HA
リモートコントローラ					RC-DX3B		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.3～11.2］	12.5［3.3～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.3	3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.6～18.3］（最小：3.6）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			12.5	13.0	14.0
定格冷房時の顕熱比					0.93	0.89	0.83
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	8.3	10.8	13.7
		暖房			7.7	9.9	11.6
	始動電流（最大電流）				5（27）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.79	3.66	4.65
			中間		0.802（中温：0.668）	1.09（中温：0924）	1.27（中温：1.12）
			最小中温		0.474	0.462	0.557
		暖房	定格標準		2.56　（最小：0.552）	3.34　（最小：0.676）	3.89（最小：0.757）
			中間		0.914	1.11	1.28
			最大低温		5.44	5.60	5.87
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.58，中間：5.61	定格：3.42，中間：5.23	定格：3.01，中間：4.96
		暖房			定格：4.38，中間：5.58	定格：4.19，中間：5.68	定格：4.11，中間：5.63
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6	5.4	5.1
		（2006）			5.4	5.1	5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：66，急：60，強：57，弱：52	P急：68，急：62，強：58，弱：52	
		音圧レベル			P急：42，急：36，強：33，弱：28	P急：44，急：38，強：34，弱：28	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	280×950×635		
	製品質量			kg	34		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2		
		風量		m³/min	P急：20，急：15，強：13，弱：10	P急：24，急：19，強：15，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：100，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(8)		
		電動機	定格出力	W	130		
		エアフィルタ			－（現地手配）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mmフレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1050×970×370		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m³/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（P140，P160形：φ9.52）（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）		
		ガス管			室内接続：φ12.7（P140，P160形：φ15.88）（フレア），分岐管：φ12.7（P140，P160形：φ15.88），主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	5.5×3本（25m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	40		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（40）		
	アース線サイズ			mm²	3.5以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～105m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	1.22（届出不要）	1.55（届出不要）	1.77（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.130kW×2台，P140形，P160形：0.160kW×2台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により，P112形：最大0.190kW（静圧200Pa）×2台，P140形，P160形：最大0.250kW（静圧200Pa）×2台となります。］

(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(8) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。

(9) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P112形（室内63形）

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	50	60	70	90	100	110	120

P140，P160形（室内71，80形）

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

(10) 室内ユニットは共用タイプ（P63用）および共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP63形，P71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(12) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDUVP-HP〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDUVP2244HP5SA	FDUVP2804HP5SA
					室内：FDUZP1125SA × 2台 室外：FDCVP2244H	室内：FDUZP1605SA × 2台 室外：FDCVP2804H
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [7.1 ～ 22.4]	25.0 [7.2 ～ 28.0]
		中間			9.0（中温：9.4）	11.3（中温：12.0）
		最小中温			7.1	7.2
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.7 ～ 28.0]（最小：5.7）	28.0 [7.1 ～ 31.5]（最小：7.1）
		中間			10.1	12.6
		最大低温			22.0	24.0
定格冷房時の顕熱比					0.84	0.77
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	18.2	27.2
		暖房			17.4	27.5
	始動電流（最大電流）				5（41）	5（45）
	消費電力	冷房	定格	kW	5.93	8.86
			中間		2.06（中温：1.74）	2.56（中温：2.36）
			最小中温		1.35	1.25
		暖房	定格標準		5.61（最小：1.25）	8.97（最小：1.59）
			中間		1.91	2.45
			最大低温		7.93	9.99
	力率			%	冷：94，暖：93	冷：94，暖：94
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.37，中間：4.37	定格：2.82，中間：4.41
		暖房			定格：3.99，中間：5.29	定格：3.12，中間：5.14
	通年エネルギー消費効率	（2015）			4.7	4.5
		（2006）			4.7	4.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：65，強：62，弱：57	P急：71，急：67，強：61，弱：57
		音圧レベル			P急：45，急：40，強：37，弱：32	P急：46，急：42，強：36，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：73，暖：73	冷：74，暖：77
		音圧レベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：63
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	280 × 1368 × 738	
	製品質量			kg	54	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 3	
		風量		m^3/min	P急：36，急：28，強：25，弱：19	P急：39，急：32，強：26，弱：20
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：100，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(9)	
		電動機	定格出力	W	100 + 130	100 + 200
		エアフィルタ			－（現地手配）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mmフレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505 × 970 × 370	
	製品質量			kg	165	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		GTC5150MC40KC × 1	
			電動機出力	kW	4.2	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	7.2（R410A）［主管配管30m分封入済］	7.6（R410A）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	1.55（M-MA32R）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	135	
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	33	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(12)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管(8)	液管(7)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52（P280形：φ12.7），室外接続：φ9.52（フレア）（P280形：φ12.7（フレア））	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（32m）(13)	14.0 × 3本（39m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	60	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（60）	
	アース線サイズ			mm^2	5.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21	
法定冷凍能力				トン	3.13（届出不要）	3.75（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IP24	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：P224形：0.230kW × 2台，P280形：0.250kW × 2台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により，P224形：最大0.320kW（静圧200Pa）× 2台，P280形：最大0.360kW（静圧200Pa）× 2台となります。］

(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(7) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WB1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(9) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。

(10) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P224形（室内112形）

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

P280形（室内140形）

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	30	40	50	60	70	80	90	110	120	130

(11) 室内ユニットは共用タイプ（P112用）および共用タイプ（P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形に設定され，上記の仕様で運転します。

(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(13) 外気温が45℃を超える場所に据付ける場合は，電線太さは14mm^2配線こう長43mになります。

(14) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Bメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

(f) 天吊形（FDEV）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDEV-HK〕

PFA004Z105

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDEV405HK5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCVP405HK	FDEV455HK5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCVP455HK	FDEV505HK5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCVP505HK
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G		
電源					単相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.3～4.0］	4.0［1.3～4.5］	4.5［1.3～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.3	1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.0）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.1）	5.0［1.2～5.6］（最小：1.2）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.6	5.3
定格冷房時の顕熱比					0.81	0.76	0.93
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.7	5.8	6.7
		暖房			5.2	6.2	6.9
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.865	1.08	1.26
			中間		0.284（中温：0.243）	0.301（中温：0.267）	0.357（中温：0.316）
			最小中温		0.171	0.171	0.171
		暖房	定格標準		0.955（最小：0.213）	1.17（最小：0.227）	1.30（最小：0.240）
			中間		0.326	0.362	0.395
			最大低温		1.69	1.69	2.60
	力率			%	冷：92，暖：92	冷：93，暖：94	冷：94，暖：94
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.16，中間：5.99	定格：3.70，中間：5.98	定格：3.57，中間：5.88
		暖房			定格：4.19，中間：5.52	定格：3.85，中間：5.80	定格：3.85，中間：5.82
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.6	5.6	5.6
		(2006)			5.4	5.4	5.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：60，急：51，強：49，弱：45
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：47，急：38，強：36，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：58，暖：60	冷：59，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：43，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	210×1070×690		
	製品質量			kg	28		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2		
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7	P急：13，急：10，強：9，弱：7	P急：13，急：10，強：9，弱：7
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	30		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×2本（14m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.46（届出不要）	0.52（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.05kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDEV-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDEV565HK5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCVP565HK	FDEV635HK5SA 室内：FDEZP635SA 室外：FDCVP635HK
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0 [1.3 ～ 5.6]	5.6 [1.5 ～ 6.3]
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.5
	暖房能力	定格標準			5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）	6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.5	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.90	0.86
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.6	7.9
		暖房			8.2	8.4
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.46	1.53
			中間		0.391（中温：0.353）	0.433（中温：0.383）
			最小中温		0.171	0.179
		暖房	定格標準		1.59（最小：0.267）	1.64（最小：0.299）
			中間		0.462	0.477
			最大低温		2.73	2.34
	力率			%	冷：96，暖：97	冷：97，暖：98
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.42，中間：5.88	定格：3.66，中間：6.00
		暖房			定格：3.52，中間：5.63	定格：3.84，中間：6.08
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.5	5.8
		(2006)			5.1	5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：60，急：51，強：48，弱：45
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：48，急：39，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	210 × 1070 × 690	210 × 1320 × 690
	製品質量			kg	28	33
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2（P63形：4）	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7	P急：20，急：15，強：12.5，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	30	50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640 × 800（+71）× 290	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0 × 2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.05kW × 1台，P63形：0.06kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDEV-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDEV805HK5SA 室内：FDEZP805SA 室外：FDCVP805HK
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G
電源					単相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0～10.0］（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			7.9
定格冷房時の顕熱比					0.74
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	9.6
		暖房			9.9
	始動電流（最大電流）				5（18.5）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.91
			中間		0.552（中温：0.442）
			最小中温		0.229
		暖房	定格標準		1.96（最小：0.359）
			中間		0.646
			最大低温		3.20
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.72，中間：5.80
		暖房			定格：4.08，中間：5.57
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.9
		(2006)			5.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：63，急：52，強：49，弱：46
		音圧レベル			P急：50，急：39，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	210×1320×690
	製品質量			kg	33
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4
		風量		m^3/min	P急：22，急：15，強：12.5，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	55
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				不可能
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDEV-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式						FDEV405H5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCVP405H	FDEV455H5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCVP455H	FDEV505H5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCVP505H
リモートコントローラ						RC-DX3B，RC-D4G		
電源						三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格			kW	3.6［1.3～4.0］	4.0［1.3～4.5］	4.5［1.3～5.0］
		中間				1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温				1.3	1.3	1.3
	暖房能力	定格標準				4.0［1.0～4.5］（最小：1.0）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.1）	5.0［1.2～5.6］（最小：1.2）
		中間				1.8	2.1	2.3
		最大低温				4.6	4.6	5.3
定格冷房時の顕熱比						0.81	0.76	0.93
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	2.9	3.5	4.1
		暖房				3.2	3.8	4.2
	始動電流（最大電流）					5（12）	5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格		kW	0.860	1.07	1.25
			中間			0.281（中温：0.241）	0.299（中温：0.265）	0.354（中温：0.314）
			最小中温			0.170	0.170	0.170
		暖房	定格標準			0.945（最小：0.210）	1.16（最小：0.225）	1.29（最小：0.238）
			中間			0.322	0.359	0.391
			最大低温			1.68	1.68	2.59
	力率				%	冷：86，暖：85	冷：88，暖：88	冷：88，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房				定格：4.19，中間：6.05	定格：3.74，中間：6.02	定格：3.60，中間：5.93
		暖房				定格：4.23，中間：5.59	定格：3.88，中間：5.85	定格：3.88，中間：5.88
	通年エネルギー消費効率	（2015）				5.7	5.7	5.7
		（2006）				5.5	5.5	5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：60，急：51，強：49，弱：45
		音圧レベル				P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：47，急：38，強：36，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル				冷：58，暖：60	冷：59，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル				冷：43，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	210×1070×690		
	製品質量				kg	28		
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数				シロッコファン×2		
		風量			m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7	P急：13，急：10，強：9，弱：7	P急：13，急：10，強：9，弱：7
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0		
		電動機	定格出力		W	30		
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口					不可能		
	新鮮空気取入口					不可能		
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	640×800（+71）×290		
	製品質量				kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5113SWE11×1		
			電動機出力		kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器				電子膨張弁		
		冷媒封入量			kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量			ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×1		
		風量			m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力		W	34		
	クランクケースヒータ				W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管			mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管				φ12.7（フレア接続）		
	排水口					〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	2.0×3本（21m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	15		
	開閉器容量（ヒューズ容量）					15（15）		
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力					トン	0.46（届出不要）	0.52（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置						吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.05kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDEV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDEV565H5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCVP565H	FDEV635H5SA 室内：FDEZP635SA 室外：FDCVP635H
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.5～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.5
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.5	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.90	0.86
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.6	4.6
		暖房			5.0	5.0
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.45	1.52
			中間		0.388（中温：0.349）	0.430（中温：0.381）
			最小中温		0.170	0.178
		暖房	定格標準		1.58（最小：0.265）	1.63（最小：0.297）
			中間		0.458	0.474
			最大低温		2.72	2.33
	力率			%	冷：91，暖：91	冷：95，暖：94
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.45，中間：5.93	定格：3.68，中間：6.05
		暖房			定格：3.54，中間：5.68	定格：3.87，中間：6.12
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.6	5.9
		(2006)			5.2	5.5
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：60，急：51，強：48，弱：45
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：48，急：39，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	210×1070×690	210×1320×690
	製品質量			kg	28	33
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2（P63形：4）	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7	P急：20，急：15，強：12.5，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	30	50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				15（15）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.05kW×1台，P63形：0.06kW×1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDEV-H〕

項目 ＼ セット形式					FDEV805H5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDEZP805SA 室外：FDCVP805H
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0～10.0］（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			7.9
定格冷房時の顕熱比					0.74
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.9
		暖房			6.1
	始動電流（最大電流）				5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.87
			中間		0.543（中温：0.435）
			最小中温		0.226
		暖房	定格標準		1.92（最小：0.351）
			中間		0.635
			最大低温		3.15
	力率			%	冷：91，暖：91
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.80，中間：5.89
		暖房			定格：4.17，中間：5.67
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.0
		(2006)			5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：63，急：52，強：49，弱：46
		音圧レベル			P急：50，急：39，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	210×1320×690
	製品質量			kg	33
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4
		風量		m^3/min	P急：22，急：15，強：12.5，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	55
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				不可能
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（31m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.07kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDEV-HA〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDEV1125HA5SA 室内：FDEZP1605SA 室外：FDCVP1125HA	FDEV1405HA5SA 室内：FDEZP1605SA 室外：FDCVP1405HA	FDEV1605HA5SA 室内：FDEZP1605SA 室外：FDCVP1605HA
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.3～11.2］	12.5［3.3～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.3	3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.6～18.3］（最小：3.6）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			12.5	13.0	14.0
定格冷房時の顕熱比					0.73	0.70	0.68
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.7	10.9	14.1
		暖房			8.3	10.7	13.8
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.58	3.70	4.80
			中間		0.719（中温：0.591）	0.997（中温：0.880）	1.16（中温：0.988）
			最小中温		0.408	0.437	0.439
		暖房	定格標準		2.76（最小：0.525）	3.61（最小：0.624）	4.65（最小：0.715）
			中間		0.864	1.14	1.33
			最大低温		5.98	6.39	6.39
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.88，中間：6.26	定格：3.38，中間：5.72	定格：2.92，中間：5.43
		暖房			定格：4.06，中間：5.90	定格：3.88，中間：5.53	定格：3.44，中間：5.41
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.0	5.6	5.4
		（2006）			5.6	5.1	4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：61，急：58，強：54，弱：50	P急：64，急：60，強：56，弱：51	P急：65，急：62，強：56，弱：52
		音圧レベル			P急：45，急：42，強：38，弱：34	P急：48，急：44，強：40，弱：35	P急：49，急：46，強：40，弱：36
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	250×1620×690		
	製品質量			kg	43		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4		
		風量		m^3/min	P急：28，急：26，強：21，弱：16.5	P急：32，急：29，強：23，弱：17	P急：34，急：30，強：23，弱：18
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	65	80	90
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1050×970×370		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管			φ15.88（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（30m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～105m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	1.22（届出不要）	1.55（届出不要）	1.77（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.08kW×1台，P140形：0.11kW×1台，P160形：0.12kW×1台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDEVP-H〕

(50/60Hz)

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDEVP2244H3AG 室内：FDEVP2243AG(9) 室外：FDCVP2244H	FDEVP2804H3AG 室内：FDEVXP2803AG(9) 室外：FDCVP2804H
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [7.0 ～ 22.4]	25.0 [7.1 ～ 28.0]
		中間			9.0（中温：9.3）	11.3（中温：11.9）
		最小中温			7.0	7.1
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.8 ～ 28.0]（最小：5.8）	28.0 [7.3 ～ 31.5]（最小：7.3）
		中間			10.1	12.6
		最大低温			22.0	24.0
定格冷房時の顕熱比					0.85	0.76
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	21.6／21.7	32.2
		暖房			19.9／19.9	28.9
	始動電流（最大電流）				5（33）	5（35）
	消費電力	冷房	定格	kW	6.95／6.99	10.5
			中間		2.05／2.10（中温：1.75／1.78）	2.66（中温：2.33）
			最小中温		1.50／1.52	1.55
		暖房	定格標準		6.40／6.42（最小：1.41／1.42）	9.40（最小：1.78）
			中間		2.20／2.21	2.83
			最大低温		9.28／9.28	10.7
	力率			%	冷：93，暖：93	冷：94，暖：94
	エネルギー消費効率	冷房			定格：2.88／2.86，中間：4.39／4.29	定格：2.38，中間：4.25
		暖房			定格：3.50／3.49，中間：4.59／4.57	定格：2.98，中間：4.45
	通年エネルギー消費効率	(2015)			4.3／4.2	4.1
		(2006)			4.3／4.3	4.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	急：72，弱：66	
		音圧レベル			急：53，弱：47	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：73，暖：73	冷：74，暖：77
		音圧レベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：63
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	350 × 2000 × 830	
	製品質量			kg	110	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 4	
		風量		m^3/min	急：70，弱：56	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	110 × 2	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505 × 970 × 370	
	製品質量			kg	165	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		GTC5150MC40KC × 1	
			電動機出力	kW	4.2	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	7.2（R410A）	7.6（R410A）
		冷凍機油封入量		ℓ	1.55（M-MA32R）［主管配管30m分封入済］	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	135	
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	33	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管(6)		mm	φ9.52（室内：ろう付接続，室外：フレア接続）	φ12.7（室内：ろう付接続，室外：フレア接続）
		ガス管			φ25.4（ろう付接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（32m）(8)	14.0 × 3本（51m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）	
	アース線サイズ			mm^2	5.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 ×3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21	
法定冷凍能力				トン	3.13（届出不要）	3.75（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IP24	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータ:インターナルサーモ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力（50/60Hz）：0.38kW/ 0.48kW× 1台
(6) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 外気温が45℃を超える場所に据付ける場合は，電源線太さは14mm^2配線こう長54mになります。
(9) 本ユニットはダイレクトスーパーリンク非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDEV-HKP〕

項目			単位	セット形式 / 形式
セット形式				FDEV805HKP5SA
形式				室内：FDEZP565SA × 2台 室外：FDCVP805HK
リモートコントローラ				RC-DX3B，RC-D4G
電源				単相　200V　50/60Hz
(1) 能力	冷房能力	定格	kW	7.1［1.8 ～ 8.0］
		中間	kW	3.2（中温：3.3）
		最小中温	kW	1.8
	暖房能力	定格標準	kW	8.0［2.0 ～ 10.0］（最小：2.0）
		中間	kW	3.6
		最大低温	kW	7.9
定格冷房時の顕熱比				0.77
(1) 運転特性	運転電流	冷房	A	9.1
		暖房	A	9.3
	始動電流（最大電流）		A	5（19）
	消費電力	冷房 定格	kW	1.80
		冷房 中間	kW	0.570（中温：0.448）
		冷房 最小中温	kW	0.247
		暖房 定格標準	kW	1.84　（最小：0.378）
		暖房 中間	kW	0.633
		暖房 最大低温	kW	3.20
	力率		%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房		定格：3.94，中間：5.61
		暖房		定格：4.35，中間：5.69
	通年エネルギー消費効率	(2015)		5.9
		(2006)		5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル	dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45
		音圧レベル	dB(A)	P急：47，急：38，強：36，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル	dB(A)	冷：65，暖：66
		音圧レベル	dB(A)	冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行	mm	210 × 1070 × 690
	製品質量		kg	28
	空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数		シロッコファン × 2
		風量	m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7
		機外静圧（標準風量時）	Pa	0
		電動機 定格出力	W	30
		エアフィルタ		プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口			不可能
	新鮮空気取入口			不可能
	運転調整			操作（運転切換，風量調整，タイマ，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）
	遠方発停用機能			遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器			ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材			送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行	mm	845 × 970 × 370
	製品質量		kg	70
	冷却装置	圧縮機 形式・台数		RM5118SWE1 × 1
		圧縮機 電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器		アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御		電子膨張弁
		冷媒封入量	kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量	ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数		プロペラファン × 1
		風量	m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機 定格出力	W	86
	クランクケースヒータ		W	20
	低外気温時冷房運転制御機能			室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜			マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置			圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管	mm	室内接続：ϕ6.35（フレア），分岐管：ϕ9.52，主管：ϕ9.52，　室外接続：ϕ9.52　（フレア）
		ガス管	mm	室内接続：ϕ12.7（フレア），分岐管：ϕ12.7，主管：ϕ15.88，室外接続：ϕ15.88（フレア）
	排水口			〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径ϕ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）		mm^2	3.5 × 2本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）		A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）		A	30（30）
	アース線サイズ		mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線		mm^2	2.0（ϕ1.6）× 3本
設計圧力			MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力			トン	0.74（届出不要）
IPコード				室内：IPX0，室外：IPX4
保護装置				高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1)　冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2)　通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3)　運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4)　運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5)　BEST計算用　室内送風機消費電力：0.05kW × 2台
(6)　外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7)　ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(8)　室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9)　外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDEV-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDEV805HP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDEZP565SA × 2台 室外：FDCVP805H
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0～10.0］（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			7.9
定格冷房時の顕熱比					0.77
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.6
		暖房			5.8
	始動電流（最大電流）				5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.77
			中間		0.562（中温：0.441）
			最小中温		0.244
		暖房	定格標準		1.81 （最小：0.371）
			中間		0.624
			最大低温		3.15
	力率			%	冷：91，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.01，中間：5.69
		暖房			定格：4.42，中間：5.77
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.0
		(2006)			5.5
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	210 × 1070 × 690
	製品質量			kg	28
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	30
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				不可能
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845 × 970 × 370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52 （フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 3本（31m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.05kW × 2台

(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDEV-HPA〕

項目 ＼ セット形式					FDEV1125HPA5SA	FDEV1405HPA5SA	FDEV1605HPA5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDEZP565SA × 2台 室外：FDCVP1125HA	室内：FDEZP805SA × 2台 室外：FDCVP1405HA	室内：FDEZP805SA × 2台 室外：FDCVP1605HA
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.1～11.2］	12.5［3.3～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.1	3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.6～18.3］（最小：3.6）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			12.5	13.0	13.8
定格冷房時の顕熱比					0.90	0.80	0.74
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	8.0	10.0	12.8
		暖房			9.0	9.5	11.4
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.68	3.41	4.33
			中間		0.795（中温：0.677）	0.982（中温：0.881）	1.18（中温：1.06）
			最小中温		0.410	0.413	0.469
		暖房	定格標準		2.98（最小：0.527）	3.19（最小：0.582）	3.84（最小：0.716）
			中間		0.921	1.07	1.27
			最大低温		6.14	6.21	6.13
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.73，中間：5.66	定格：3.67，中間：5.80	定格：3.23，中間：5.34
		暖房			定格：3.76，中間：5.54	定格：4.39，中間：5.89	定格：4.17，中間：5.67
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.6	5.8	5.4
		(2006)			5.2	5.4	5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：63，急：52，強：49，弱：46	
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：50，急：39，強：36，弱：33	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	210×1070×690	210×1320×690	
	製品質量			kg	28	33	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2	シロッコファン×4	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7	P急：22，急：15，強：12.5，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	30	55	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1050×970×370		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（P140，P160：φ9.52）（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）		
		ガス管			室内接続：φ12.7（P140，P160：φ15.88）（フレア），分岐管：φ12.7（P140，P160：φ15.88），主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）		
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（30m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～105m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	1.22（届出不要）	1.55（届出不要）	1.77（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.05kW × 2台，P140形，P160形：0.07kW × 2台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用），および共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDEVP-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDEVP2244HP5SA	FDEVP2804HP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDEZP1605SA × 2台 室外：FDCVP2244H	室内：FDEZP1605SA × 2台 室外：FDCVP2804H
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [7.0 ～ 22.4]	25.0 [7.1 ～ 28.0]
		中間			9.0（中温：9.3）	11.3（中温：11.7）
		最小中温			7.0	7.1
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.6 ～ 28.0]（最小：5.6）	28.0 [7.4 ～ 31.5]（最小：7.4）
		中間			10.1	12.6
		最大低温			22.0	24.0
定格冷房時の顕熱比					0.73	0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	20.8	30.7
		暖房			19.2	26.2
	始動電流（最大電流）				5（33）	5（35）
	消費電力	冷房	定格	kW	6.69	9.99
			中間		1.88（中温：1.64）	2.38（中温：2.13）
			最小中温		1.26	1.20
		暖房	定格標準		6.20（最小：1.24）	8.63（最小：1.59）
			中間		1.98	2.58
			最大低温		8.90	9.81
	力率			%	冷：93，暖：93	冷：94，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：2.99，中間：4.79	定格：2.50，中間：4.75
		暖房			定格：3.61，中間：5.10	定格：3.24，中間：4.88
	通年エネルギー消費効率	(2015)			4.7	4.6
		(2006)			4.7	4.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：61，急：58，強：54，弱：50	P急：64，急：60，強：56，弱：51
		音圧レベル			P急：45，急：42，強：38，弱：34	P急：48，急：44，強：40，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：73，暖：73	冷：74，暖：77
		音圧レベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：63
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	250 × 1620 × 690	
	製品質量			kg	43	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 4	
		風量		m^3/min	P急：28，急：26，強：21，弱：16.5	P急：32，急：29，強：23，弱：17
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	65	80
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505 × 970 × 370	
	製品質量			kg	165	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		GTC5150MC40KC × 1	
			電動機出力	kW	4.2	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	7.2（R410A）［主管配管30m分封入済］	7.6（R410A）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	1.55（M-MA32R）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	135	
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	33	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管(7)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52（P280形：φ12.7），室外接続：φ9.52（フレア）（P280形：φ12.7（フレア））	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（32m）(11)	14.0 × 3本（51m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）	
	アース線サイズ			mm^2	5.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21	
法定冷凍能力				トン	3.13（届出不要）	3.75（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IP24	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P224形：0.08kW × 2台，P280形：0.11kW × 2台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WB1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(11) 外気温が45℃を超える場所に据付ける場合は，電源線太さは14mm^2配線こう長54mになります。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）トリプル形（室内ユニット:3 台, 室外ユニット:1 台）〔FDEV-HTA〕

項目 ＼ セット形式					FDEV1605HTA5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDEZP565SA × 3台 室外：FDCVP1605HA
リモートコントローラ					RC-DX3B, RC-D4G
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	14.0 [3.5 ～ 16.0]
		中間			6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.5
	暖房能力	定格標準			16.0 [4.0 ～ 20.3]（最小：4.0）
		中間			7.2
		最大低温			14.0
定格冷房時の顕熱比					0.90
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	12.9
		暖房			11.8
	始動電流（最大電流）				5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	4.37
			中間		1.22（中温：1.07）
			最小中温		0.452
		暖房	定格標準		3.97（最小：0.686）
			中間		1.27
			最大低温		6.46
	力率			%	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.20，中間：5.16
		暖房			定格：4.03，中間：5.67
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.4
		(2006)			5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	210 × 1070 × 690
	製品質量			kg	28
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	30
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				不可能
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1050 × 970 × 370
	製品質量			kg	86
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3 × 1
			電動機出力		3.7
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86
		電動機	定格出力	W	144
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5 × 3本（30m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～105m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.77（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.05kW × 3台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TA1G　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1Gを2セット
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）トリプル形（室内ユニット:3 台，室外ユニット:1 台）〔FDEVP-HT〕

項目 ＼ セット形式					FDEVP2244HT5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDEZP805SA × 3台 室外：FDCVP2244H
リモートコントローラ					RC-DX3B，RC-D4G
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [6.7 ～ 22.4]
		中間			9.0（中温：9.1）
		最小中温			6.7
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.6 ～ 28.0]（最小：5.6）
		中間			10.1
		最大低温			22.0
定格冷房時の顕熱比					0.77
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	19.7
		暖房			17.8
	始動電流（最大電流）				5（33）
	消費電力	冷房	定格	kW	6.40
			中間		1.83（中温：1.56）
			最小中温		1.22
		暖房	定格標準		5.86（最小：1.21）
			中間		1.93
			最大低温		8.48
	力率			%	冷：94，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.13，中間：4.92
		暖房			定格：3.82，中間：5.23
	通年エネルギー消費効率	(2015)			4.8
		(2006)			4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：63，急：52，強：49，弱：46
		音圧レベル			P急：50，急：39，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：73，暖：73
		音圧レベル			冷：59，暖：60
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	210 × 1320 × 690
	製品質量			kg	33
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 4
		風量		m^3/min	P急：22，急：15，強：12.5，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	55
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				不可能
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505 × 970 × 370
	製品質量			kg	165
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		GTC5150MC40KC × 1
			電動機出力		4.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	7.2（R410A）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	1.55（M-MA32）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2
		風量		m^3/min	135
		電動機	定格出力	W	86 × 2
	クランクケースヒータ			W	33
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(10)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管(7)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（32m）(11)
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）
	アース線サイズ			mm^2	5.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21
法定冷凍能力				トン	3.13（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IP24
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.07kW × 3台

(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(7) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。

(8) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TB1G　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1G，DIS-WB1Gを各1セット

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(11) 外気温が45℃を超える場所に据付ける場合は，電源線太さは14mm^2配線こう長54mになります。

(h) 壁掛形（FDKV）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDKV-HK〕

PHA001Z149

項目 ＼ セット形式					FDKV405HK5SA	FDKV455HK5SA	FDKV505HK5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDKZP565SA 室外：FDCVP405HK	室内：FDKZP565SA 室外：FDCVP455HK	室内：FDKZP565SA 室外：FDCVP505HK
リモートコントローラ					RC-DX3B		
電源					単相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6 [1.4 ～ 4.0]	4.0 [1.4 ～ 4.5]	4.5 [1.4 ～ 5.0]
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0 [1.1 ～ 4.5]（最小：1.1）	4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.1）	5.0 [1.2 ～ 5.6]（最小：1.2）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			5.0	5.0	5.6
定格冷房時の顕熱比					0.76	0.75	0.75
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.9	5.7	6.9
		暖房			5.7	7.0	7.5
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.850	1.00	1.21
			中間		0.272（中温：0.228）	0.311（中温：0.266）	0.364（中温：0.300）
			最小中温		0.187	0.187	0.188
		暖房	定格標準		0.980（最小：0.194）	1.22（最小：0.194）	1.33（最小：0.212）
			中間		0.299	0.354	0.395
			最大低温		1.96	1.96	2.39
	力率			%	冷：87，暖：86	冷：88，暖：87	冷：88，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.24，中間：6.25	定格：4.00，中間：5.79	定格：3.72，中間：5.77
		暖房			定格：4.08，中間：6.02	定格：3.69，中間：5.93	定格：3.76，中間：5.82
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.1	5.9	5.9
		(2006)			5.7	5.4	5.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：55，急：53，強：50，弱：46	P急：55，急：53，強：50，弱：46	P急：59，急：57，強：53，弱：47
		音圧レベル			P急：40，急：37，強：34，弱：30	P急：40，急：37，強：34，弱：30	P急：44，急：42，強：37，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：58，暖：60	冷：59，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：43，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	290 × 870 × 230		
	製品質量			kg	11		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1		
		風量		m^3/min	P急：11，急：10，強：9，弱：8	P急：11，急：10，強：9，弱：8	P急：14，急：12，強：10，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	42		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）		
	吹出ダクト接続口				ー		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（組込不可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640 × 800（+71）× 290		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0 × 2本（14m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.46（届出不要）	0.52（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P40形，P45形：0.025kW × 1台，P50形：0.03kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDKV-HK〕

項目 ＼ セット形式					FDKV565HK5SA	FDKV635HK5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDKZP565SA 室外：FDCVP565HK	室内：FDKZP635SA 室外：FDCVP635HK
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					単相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0 [1.4 ～ 5.6]	5.6 [1.4 ～ 6.3]
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6 [1.6 ～ 6.3]（最小：1.6）	6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.6	5.6
定格冷房時の顕熱比					0.72	0.81
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	8.1	8.6
		暖房			8.9	9.4
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.44	1.51
			中間		0.412（中温：0.346）	0.418（中温：0.340）
			最小中温		0.184	0.158
		暖房	定格標準		1.61（最小：0.286）	1.69（最小：0.272）
			中間		0.457	0.492
			最大低温		2.39	2.42
	力率			%	冷：89，暖：90	冷：88，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.47，中間：5.58	定格：3.71，中間：6.22
		暖房			定格：3.48，中間：5.69	定格：3.73，中間：5.89
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7	6.2
		（2006）			5.1	5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：59，急：57，強：53，弱：47	P急：53，急：51，強：49，弱：46
		音圧レベル			P急：44，急：42，強：37，弱：32	P急：37，急：34，強：31，弱：27
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：47
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	290 × 870 × 230	339 × 1197 × 262
	製品質量			kg	11	17
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：14，急：12，強：10，弱：8	P急：18，急：16，強：14，弱：13
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	42	56
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）	
	吹出ダクト接続口				ー	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640 × 800（+71）× 290	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0 × 2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.03kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（単相電源形）〔FDKV-HK〕

項目 ＼ セット形式					FDKV805HK5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDKZP1125SA 室外：FDCVP805HK
リモートコントローラ					RC-DX3B
電源					単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.4）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0～10.0］（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			7.8
定格冷房時の顕熱比					0.71
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	10.3
		暖房			12.3
	始動電流（最大電流）				5（18.5）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.04
			中間		0.591（中温：0.478）
			最小中温		0.243
		暖房	定格標準		2.44　（最小：0.400）
			中間		0.686
			最大低温		3.43
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.48，中間：5.41
		暖房			定格：3.28，中間：5.25
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.5
		(2006)			4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：56，急：54，強：52，弱：49
		音圧レベル			P急：40，急：38，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	339×1197×262
	製品質量			kg	17
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン×1
		風量		m^3/min	P急：19，急：18，強：16，弱：14
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	56
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）
	吹出ダクト接続口				－
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.05kW×1台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80，P112用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDKV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDKV405H5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCVP405H	FDKV455H5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCVP455H	FDKV505H5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCVP505H
リモートコントローラ					RC-DX3B		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6 [1.4 ～ 4.0]	4.0 [1.4 ～ 4.5]	4.5 [1.4 ～ 5.0]
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0 [1.1 ～ 4.5]（最小：1.1）	4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.1）	5.0 [1.2 ～ 5.6]（最小：1.2）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			5.0	5.0	5.6
定格冷房時の顕熱比					0.76	0.75	0.75
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	2.9	3.3	4.0
		暖房			3.3	4.0	4.3
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.840	0.990	1.20
			中間		0.269（中温：0.227）	0.308（中温：0.262）	0.361（中温：0.298）
			最小中温		0.185	0.185	0.187
		暖房	定格標準		0.970（最小：0.193）	1.21（最小：0.193）	1.31（最小：0.210）
			中間		0.297	0.351	0.392
			最大低温		1.94	1.94	2.37
	力率			%	冷：84，暖：85	冷：87，暖：87	冷：87，暖：88
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.29，中間：6.32	定格：4.04，中間：5.84	定格：3.75，中間：5.82
		暖房			定格：4.12，中間：6.06	定格：3.72，中間：5.98	定格：3.82，中間：5.87
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.1	5.9	5.9
		（2006）			5.7	5.4	5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：55，急：53，強：50，弱：46	P急：55，急：53，強：50，弱：46	P急：59，急：57，強：53，弱：47
		音圧レベル			P急：40，急：37，強：34，弱：30	P急：40，急：37，強：34，弱：30	P急：44，急：42，強：37，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：58，暖：60	冷：59，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：43，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	290 × 870 × 230		
	製品質量			kg	11		
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1		
		風量		m^3/min	P急：11，急：10，強：9，弱：8	P急：11，急：10，強：9，弱：8	P急：14，急：12，強：10，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	42		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ＋サンフィルタ（脱臭）		
	吹出ダクト接続口				－		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（組込不可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640 × 800（+71）× 290		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0 × 3本（21m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				15（15）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.46（届出不要）	0.52（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P40形，P45形：0.025kW × 1台，P50形：0.03kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDKV-H〕

項目 ＼ セット形式					FDKV565H5SA	FDKV635H5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDKZP565SA 室外：FDCVP565H	室内：FDKZP635SA 室外：FDCVP635H
リモートコントローラ					RC-DX3B	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0 [1.4 ～ 5.6]	5.6 [1.4 ～ 6.3]
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6 [1.6 ～ 6.3]（最小：1.6）	6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.6	5.6
定格冷房時の顕熱比					0.72	0.81
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.7	5.0
		暖房			5.2	5.4
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.43	1.50
			中間		0.409（中温：0.343）	0.414（中温：0.338）
			最小中温		0.182	0.157
		暖房	定格標準		1.60（最小：0.281）	1.67（最小：0.270）
			中間		0.451	0.488
			最大低温		2.37	2.40
	力率			%	冷：88，暖：89	冷：87，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.50，中間：5.62	定格：3.73，中間：6.28
		暖房			定格：3.50，中間：5.76	定格：3.77，中間：5.94
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.7	6.3
		(2006)			5.1	5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：59，急：57，強：53，弱：47	P急：53，急：51，強：49，弱：46
		音圧レベル			P急：44，急：42，強：37，弱：32	P急：37，急：34，強：31，弱：27
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	290 × 870 × 230	339 × 1197 × 262
	製品質量			kg	11	17
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：14，急：12，強：10，弱：8	P急：18，急：16，強：14，弱：13
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	42	56
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ＋サンフィルタ（脱臭）	
	吹出ダクト接続口				－	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640 × 800（+71）× 290	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0 × 3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				15（15）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.64（届出不要）	0.72（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.03kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDKV-H〕

項目 ＼ セット形式					FDKV805H5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDKZP1125SA 室外：FDCVP805H
リモートコントローラ					RC-DX3B
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.4）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0～10.0］（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			7.8
定格冷房時の顕熱比					0.71
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.4
		暖房			7.7
	始動電流（最大電流）				5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.01
			中間		0.581（中温：0.471）
			最小中温		0.238
		暖房	定格標準		2.39（最小：0.392）
			中間		0.673
			最大低温		3.36
	力率			%	冷：91，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.53，中間：5.51
		暖房			定格：3.35，中間：5.35
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.6
		(2006)			4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：56，急：54，強：52，弱：49
		音圧レベル			P急：40，急：38，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	339×1197×262
	製品質量			kg	17
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン×1
		風量		m^3/min	P急：19，急：18，強：16，弱：14
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	56
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）
	吹出ダクト接続口				－
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845×970×370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（31m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P80形：0.05kW×1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80，P112用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDKV-HA〕

項目 ＼ セット形式						FDKV1125HA5SA
項目 ＼ 形式						室内：FDKZP1125SA 室外：FDCVP1125HA
リモートコントローラ						RC-DX3B
電源						三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	10.0［3.3～11.2］
		中間				4.5（中温：4.7）
		最小中温				3.3
	暖房能力	定格標準				11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）
		中間				5.1
		最大低温				10.3
定格冷房時の顕熱比						0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	8.2
		暖房				10.5
	始動電流（最大電流）					5（23）
	消費電力	冷房	定格		kW	2.75
			中間			0.725（中温：0.664）
			最小中温			0.429
		暖房	定格標準			3.50（最小：0.574）
			中間			0.918
			最大低温			3.90
	力率				%	冷：97，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.64，中間：6.21
		暖房				定格：3.20，中間：5.56
	通年エネルギー消費効率	（2015）				5.5
		（2006）				5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：60，急：58，強：55，弱：51
		音圧レベル				P急：45，急：43，強：39，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル				冷：70，暖：71
		音圧レベル				冷：58，暖：58
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	339×1197×262
	製品質量				kg	17
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				タンゼンシャルファン×1
		風量			m^3/min	P急：24，急：22，強：18，弱：16
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	56
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）
	吹出ダクト接続口					－
	新鮮空気取入口					不可能
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P）を保有（室内基板上）
	加湿器					－（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	1050×970×370
	製品質量				kg	86
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5134SWE3×1
			電動機出力		kW	2.0
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	3.3（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			ℓ	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×1
		風量			m^3/min	冷：86，暖：86
		電動機	定格出力		W	144
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管			mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管				φ15.88（フレア接続）
	排水口					〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	5.5×3本（30m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（30）
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～105m）
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	1.22（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.06kW×1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80，P112用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP112形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDKV-HKP〕

項目 ＼ セット形式					FDKV805HKP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDKZP565SA × 2台 室外：FDCVP805HK
リモートコントローラ					RC-DX3B
電源					単相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [1.8 ～ 8.0]
		中間			3.2 (中温：3.4)
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0 [2.0 ～ 10.0] (最小：2.0)
		中間			3.6
		最大低温			7.8
定格冷房時の顕熱比					0.78
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	9.7
		暖房			11.9
	始動電流（最大電流）				5 (18.5)
	消費電力	冷房	定格	kW	1.93
			中間		0.561 (中温：0.465)
			最小中温		0.253
		暖房	定格標準		2.35 (最小：0.374)
			中間		0.670
			最大低温		3.37
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.68，中間：5.70
		暖房			定格：3.40，中間：5.37
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.6
		(2006)			5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：55，急：53，強：50，弱：46
		音圧レベル			P急：40，急：37，強：34，弱：30
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	290 × 870 × 230
	製品質量			kg	11
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1
		風量		m^3/min	P急：11，急：10，強：9，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	42
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）
	吹出ダクト接続口				—
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P）を保有（室内基板上）
	加湿器				—（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845 × 970 × 370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6 (R32) [主管配管30m分封入済]
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675 (M-MB75)
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35 (フレア)，分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52 (フレア)
		ガス管			室内接続：φ12.7 (フレア)，分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88 (フレア)
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 2本 (19m)
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30 (30)
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上 (M5)
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0 (φ1.6) × 3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	0.74 (届出不要)
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.025kW × 2台

(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット:2 台, 室外ユニット:1 台）〔FDKV-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDKV805HP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDKZP565SA × 2台 室外：FDCVP805H
リモートコントローラ					RC-DX3B
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [1.8 ～ 8.0]
		中間			3.2 (中温 : 3.4)
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0 [2.0 ～ 10.0] (最小 : 2.0)
		中間			3.6
		最大低温			7.8
定格冷房時の顕熱比					0.78
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.0
		暖房			7.4
	始動電流（最大電流）				5 (13)
	消費電力	冷房	定格	kW	1.89
			中間		0.551 (中温 : 0.457)
			最小中温		0.250
		暖房	定格標準		2.31 (最小 : 0.366)
			中間		0.658
			最大低温		3.30
	力率			%	冷 : 91, 暖 : 90
	エネルギー消費効率	冷房			定格 : 3.76, 中間 : 5.81
		暖房			定格 : 3.46, 中間 : 5.47
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.8
		(2006)			5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急 : 55, 急 : 53, 強 : 50, 弱 : 46
		音圧レベル			P急 : 40, 急 : 37, 強 : 34, 弱 : 30
	室外ユニット	パワーレベル			冷 : 65, 暖 : 66
		音圧レベル			冷 : 48, 暖 : 48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	290 × 870 × 230
	製品質量			kg	11
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1
		風量		m^3/min	P急 : 11, 急 : 10, 強 : 9, 弱 : 8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	42
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様）, 酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）
	吹出ダクト接続口				−
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換, 風量調整, タイマ）, 室温調節（電子サーモスタット）, 表示（運転･点検用･LED, 液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT : 6P）を保有（室内基板上）
	加湿器				−（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム, 外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	845 × 970 × 370
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6 (R32) [主管配管30m分封入済]
		冷凍機油封入量		ℓ	0.675 (M-MB75)
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷 : 52, 暖 : 48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム, 吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35 (フレア), 分岐管：φ9.52, 主管：φ9.52, 室外接続：φ9.52 (フレア)
		ガス管			室内接続：φ12.7 (フレア), 分岐管：φ12.7, 主管：φ15.88, 室外接続：φ15.88 (フレア)
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 3本 (31m)
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30 (20)
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上 (M5)
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0 (φ1.6) × 3本
設計圧力				MPa	高圧部 : 4.15, 低圧部 : 2.26
法定冷凍能力				トン	0.74 (届出不要)
IPコード					室内 : IPXO, 室外 : IPX4
保護装置					高圧スイッチ, 低圧センサ, 吐出管温度センサ, 吸込管温度センサ, 熱交温度センサ, パワトラ温度センサ, 電流センサ, ヒューズ, ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力, 通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は, 適正冷媒量においてJIS B 8616 : 2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616 : 2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616 : 2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616 : 2006に準拠し, 反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け, 表示値より大きくなるのが普通です。なお, 室外ユニットは本体前方1m, 高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用 室内送風機消費電力 : P80形 : 0.025kW × 2台

(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し, その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(7) ツイン機の分岐配管は, 必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40, P45, P50, P56用）で, 室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され, 上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合, フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDKV-HPA〕

項目 ＼ セット形式					FDKV1125HPA5SA	FDKV1405HPA5SA	FDKV1605HPA5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDKZP565SA × 2台 室外：FDCVP1125HA	室内：FDKZP1125SA × 2台 室外：FDCVP1405HA	室内：FDKZP1125SA × 2台 室外：FDCVP1605HA
リモートコントローラ					RC-DX3B		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.3～11.2］	12.5［3.3～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.3	3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.6～18.3］（最小：3.6）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			10.4	13.0	13.8
定格冷房時の顕熱比					0.71	0.75	0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	8.1	9.8	13.0
		暖房			9.4	10.1	12.4
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.73	3.31	4.40
			中間		0.778（中温：0.648）	0.946（中温：0.769）	1.17（中温：0.961）
			最小中温		0.426	0.387	0.435
		暖房	定格標準		3.11（最小：0.518）	3.39（最小：0.551）	4.16（最小：0.637）
			中間		0.890	1.09	1.26
			最大低温		4.46	6.07	6.32
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.66，中間：5.78	定格：3.78，中間：6.03	定格：3.18，中間：5.38
		暖房			定格：3.60，中間：5.73	定格：4.13，中間：5.78	定格：3.85，中間：5.71
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.8	6.2	5.8
		（2006）			5.2	5.4	5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：59，急：57，強：53，弱：47	P急：56，急：54，強：52，弱：49	
		音圧レベル			P急：44，急：42，強：37，弱：32	P急：40，急：38，強：36，弱：33	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	290×870×230	339×1197×262	
	製品質量			kg	11	17	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン×1		
		風量		m^3/min	P急：14，急：12，強：10，弱：8	P急：19，急：18，強：16，弱：14	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	42	56	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）		
	吹出ダクト接続口				ー		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（組込不可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1050×970×370		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（P140，P160：φ9.52）（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）		
		ガス管			室内接続：φ12.7（P140，P160：φ15.88）（フレア），分岐管：φ12.7（P140，P160：φ15.88），主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）		
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（30m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～105m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	1.22（届出不要）	1.55（届出不要）	1.77（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.03kW × 2台，P140形，P160形：0.05kW × 2台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P71，P80，P112用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）トリプル形（室内ユニット:3 台, 室外ユニット:1 台）〔FDKV-HTA〕

項目 ＼ セット形式					FDKV1605HTA5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDKZP565SA × 3台 室外：FDCVP1605HA
リモートコントローラ					RC-DX3B
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	14.0 [3.5 ～ 16.0]
		中間			6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.5
	暖房能力	定格標準			16.0 [4.0 ～ 20.3]（最小：4.0）
		中間			7.2
		最大低温			13.8
定格冷房時の顕熱比					0.73
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	12.7
		暖房			12.3
	始動電流（最大電流）				5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	4.32
			中間		1.16（中温：0.984）
			最小中温		0.457
		暖房	定格標準		4.14（最小：0.659）
			中間		1.25
			最大低温		6.18
	力率			%	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.24，中間：5.43
		暖房			定格：3.86，中間：5.76
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.7
		(2006)			5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：59，急：57，強：53，弱：47
		音圧レベル			P急：44，急：42，強：37，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	290 × 870 × 230
	製品質量			kg	11
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1
		風量		m^3/min	P急：14，急：12，強：10，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	42
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）
	吹出ダクト接続口				—
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P）を保有（室内基板上）
	加湿器				—（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1050 × 970 × 370
	製品質量			kg	86
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3 × 1
			電動機出力	kW	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86
		電動機	定格出力	W	144
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5 × 3本（30m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～105m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.77（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.03kW × 3台

(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(7) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TA1G ② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1Gを2セット

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

（i） 床置形（FDFV）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDFV-HK〕

PGA000Z832 A

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDFV505HK5SA 室内：FDFZP635SA 室外：FDCVP505HK	FDFV635HK5SA 室内：FDFZP635SA 室外：FDCVP635HK	FDFV805HK5SA 室内：FDFZP805SA 室外：FDCVP805HK
リモートコントローラ					RC-DX3B（標準装備）		
電源					単相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	4.5［1.4～5.0］	5.6［1.4～6.3］	7.1［1.8～8.0］
		中間			2.1（中温：2.2）	2.6（中温：2.7）	3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.4	1.4	1.8
	暖房能力	定格標準			5.0［1.2～5.6］（最小：1.2）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）	8.0［2.5～10.0］（最小：2.5）
		中間			2.3	2.9	3.6
		最大低温			5.6	6.0	7.8
定格冷房時の顕熱比					0.91	0.78	0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.6	8.9	10.3
		暖房			6.7	9.9	11.8
	始動電流（最大電流）				5（16）		5（19）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.16	1.56	2.04
			中間		0.370（中温：0.317）	0.471（中温：0.383）	0.598（中温：0.520）
			最小中温		0.193	0.196	0.270
		暖房	定格標準		1.19　（最小：0.219）	1.79　（最小：0.291）	2.33　（最小：0.545）
			中間		0.420	0.535	0.720
			最大低温		2.26	2.39	3.25
	力率			%	冷：88，暖：89	冷：88，暖：90	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.88，中間：5.68	定格：3.59，中間：5.52	定格：3.48，中間：5.35
		暖房			定格：4.20，中間：5.48	定格：3.52，中間：5.42	定格：3.43，中間：5.00
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.7	5.6	5.0
		(2006)			5.3	5.0	4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：54，急：51，強：48，弱：46		P急：54，急：52，強：49，弱：47
		音圧レベル			P急：42，急：37，強：34，弱：32		P急：42，急：39，強：35，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：60，暖：61	冷：63，暖：64	冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：45，暖：46	冷：49，暖：49	冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1850×600×329		
	製品質量			kg	46		47
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1		
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：13，弱：12		P急：18，急：16，強：14，弱：12
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	157		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290		845×970×370
	製品質量			kg	47		70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	0.9	1.2	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33	冷：38，暖：38	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	34		86
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個（P80形：3個）		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×2本（14m）		3.5×2本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.56（届出不要）	0.72（届出不要）	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏洩センサ，ファンモータマイコン式過負荷保護		高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏洩センサ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.06kW×1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P50，P63用）および共用タイプ（P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP50形，P63形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDFV-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDFV505H5SA 室内：FDFZP635SA 室外：FDCVP505H	FDFV635H5SA 室内：FDFZP635SA 室外：FDCVP635H	FDFV805H5SA 室内：FDFZP805SA 室外：FDCVP805H
リモートコントローラ					RC-DX3B（標準装備）		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	4.5［1.4～5.0］	5.6［1.4～6.3］	7.1［1.8～8.0］
		中間			2.1（中温：2.2）	2.6（中温：2.7）	3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.4	1.4	1.8
	暖房能力	定格標準			5.0［1.2～5.6］（最小：1.2）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）	8.0［2.5～10.0］（最小：2.5）
		中間			2.3	2.9	3.6
		最大低温			5.6	6.0	7.8
定格冷房時の顕熱比					0.91	0.78	0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	3.8	5.1	6.4
		暖房			3.9	5.8	7.3
	始動電流（最大電流）				5（12）		5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.15	1.55	2.01
			中間		0.368（中温：0.315）	0.463（中温：0.378）	0.593（中温：0.510）
			最小中温		0.191	0.191	0.270
		暖房	定格標準		1.18　（最小：0.217）	1.78　（最小：0.286）	2.29　（最小：0.545）
			中間		0.416	0.525	0.713
			最大低温		2.25	2.38	3.19
	力率			%	冷：87，暖：87	冷：88，暖：89	冷：91，暖：91
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.91，中間：5.71	定格：3.61，中間：5.62	定格：3.53，中間：5.40
		暖房			定格：4.24，中間：5.53	定格：3.54，中間：5.52	定格：3.49，中間：5.05
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7	5.7	5.0
		（2006）			5.4	5.1	4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：54，急：51，強：48，弱：46		P急：54，急：52，強：49，弱：47
		音圧レベル			P急：42，急：37，強：34，弱：32		P急：42，急：39，強：35，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：60，暖：61	冷：63，暖：64	冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：45，暖：46	冷：49，暖：49	冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1850×600×329		
	製品質量			kg	46		47
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1		
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：13，弱：12		P急：18，急：16，強：14，弱：12
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	157		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	640×800（+71）×290		845×970×370
	製品質量			kg	46		70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	0.9	1.2	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.5（R32）［配管30m分封入済］		3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	0.450（M-MB75）		0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33	冷：38，暖：38	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	34		86
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個（P80形：3個）		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0×3本（21m）		3.5×3本（31m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15		20
	開閉器容量（ヒューズ容量）				15（15）		30（20）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.56（届出不要）	0.72（届出不要）	0.74（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏洩センサ，ファンモータマイコン式過負荷保護		高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏洩センサ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.06kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P50，P63用）および共用タイプ（P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP50形，P63形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDFV-HA〕

項目 ＼ セット形式						FDFV1125HA5SA	FDFV1405HA5SA	FDFV1605HA5SA
項目 ＼ 形式						室内：FDFZP1605SA 室外：FDCVP1125HA	室内：FDFZP1605SA 室外：FDCVP1405HA	室内：FDFZP1605SA 室外：FDCVP1605HA
リモートコントローラ						RC-DX3B（標準装備）		
電源						三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格			kW	10.0［3.3～11.2］	12.5［3.3～14.0］	14.0［3.7～16.0］
		中間				4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.9）	6.3（中温：6.4）
		最小中温				3.3	3.3	3.7
	暖房能力	定格標準				11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.6～18.3］（最小：3.6）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間				5.1	6.3	7.2
		最大低温				12.5	13.6	13.6
定格冷房時の顕熱比						0.78	0.70	0.67
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	7.9	11.6	16.6
		暖房				8.3	11.8	14.8
	始動電流（最大電流）					5（23）		
	消費電力	冷房	定格		kW	2.65	3.93	5.65
			中間			0.870（中温：0.750）	1.11（中温：0.980）	1.34（中温：1.10）
			最小中温			0.475	0.475	0.520
		暖房	定格標準			2.77（最小：0.580）	3.98（最小：0.714）	4.96（最小：0.820）
			中間			0.950	1.21	1.39
			最大低温			5.72	6.26	6.26
	力率				%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.77，中間：5.17	定格：3.18，中間：5.14	定格：2.48，中間：4.70
		暖房				定格：4.04，中間：5.37	定格：3.52，中間：5.21	定格：3.23，中間：5.18
	通年エネルギー消費効率	（2015）				5.3	5.1	4.9
		（2006）				5.1	4.8	4.5
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：66，急：63，強：61，弱：56		
		音圧レベル				P急：55，急：51，強：49，弱：44		
	室外ユニット	パワーレベル				冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル				冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	1850×600×329		
	製品質量				kg	49		
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数				シロッコファン×1		
		風量			m^3/min	P急：29，急：26，強：23，弱：19		
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0		
		電動機	定格出力		W	157		
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能		
	吹出ダクト接続口					不可能		
	新鮮空気取入口					不可能		
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	1050×970×370		
	製品質量				kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5134SWE3×1		
			電動機出力		kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器				電子膨張弁		
		冷媒封入量			kg	3.3（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量			ℓ	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×1		
		風量			m^3/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力		W	144		
	クランクケースヒータ				W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管			mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管				φ15.88（フレア接続）		
	排水口					〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	5.5×3本（30m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（30）		
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～105m）		
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力					トン	1.22（届出不要）	1.55（届出不要）	1.77（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏洩センサ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.21kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140, P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDFVP-H〕

（50/60Hz）

項目 ＼ セット形式					FDFVP2244H4AG	FDFVP2804H4AG
項目 ＼ 形式					室内：FDFVXP2244AG(6) 室外：FDCVP2244H	室内：FDFVXP2804AG(6) 室外：FDCVP2804H
リモートコントローラ					RC-DX2（標準装備）	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [6.5 ～ 22.4]	25.0 [7.2 ～ 28.0]
		中間			9.0（中温：9.3）	11.3（中温：11.8）
		最小中温			6.5	7.2
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.7/5.8 ～ 28.0]（最小：5.7/5.8）	28.0 [7.2 ～ 31.5]（最小：7.2）
		中間			10.1	12.6
		最大低温			22.0	24.0
定格冷房時の顕熱比					0.78	0.81
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	21.7／22.3	32.2/32.9
		暖房			19.1／19.3	28.6/28.7
	始動電流（最大電流）				5（33）	5（35）
	消費電力	冷房	定格	kW	6.99／7.18	10.5／10.7
			中間		2.12/2.13（中温：1.92/1.97）	2.79/2.80（中温：2.61/2.65）
			最小中温		1.45／1.48	1.60/1.70
		暖房	定格標準		6.14/6.21（最小：1.44/1.48）	9.20/9.25（最小：1.76/1.82）
			中間		2.21／2.22	2.78/2.79
			最大低温		8.99／9.09	10.6/10.7
	力率			%	冷：93/93，暖：93/93	冷：94/94，暖：93/93
	エネルギー消費効率	冷房			定格：2.86/2.79　，中間：4.25/4.23	定格：2.38/2.34　，中間：4.05/4.04
		暖房			定格：3.65/3.61　，中間：4.57/4.55	定格：3.04/3.03　，中間：4.53/4.52
	通年エネルギー消費効率	（2015）			4.1／4.0	4.0/3.9
		（2006）			4.3／4.3	4.0/4.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	急：73，強：71，弱：67	
		音圧レベル			急：54，強：52，弱：48	
	室外ユニット	パワーレベル			73	冷：74，暖：77
		音圧レベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：63
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1850 × 1200 × 320	
	製品質量			kg	102	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2	
		風量		m^3/min	急：80，強：72，弱：60	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	150 × 2	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面上部を利用して可能（ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505 × 970 × 370	
	製品質量			kg	165	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		GTC5150MC40KC × 1	
			電動機出力	kW	4.2	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	7.2（R410A）［配管30m分封入済］	7.6（R410A）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	1.55（M-MA32R）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	135	
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	33	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御及び圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(3)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管(2)		mm	φ9.52（室内：ろう付接続，室外：フレア接続）	φ12.7（室内：ろう付接続，室外：フレア接続）
		ガス管			φ25.4（ろう付接続）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（32m）(5)	14.0 × 3本（51m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）	
	アース線サイズ			mm^2	5.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21	
法定冷凍能力				トン	3.13（届出不要）	3.75（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IP24	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏洩センサ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
通年エネルギー消費効率（2006）は，JIS B 8616：2006条件，（2015）は，JIS B 8616：2015条件に基づいた値です。
運転音のパワーレベルは，JIS B 8616：2015，音圧レベルは，JIS B 8616：2006条件に基づいた値です。
(2) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(3) 外気温度が−5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。
(4) BEST計算用　室内送風機消費電力（50/60Hz）：0.56/0.66kW × 1台
(5) 外気温が45℃を超える場所に据付ける場合は，電源線太さは14mm^2配線こう長54mになります。
(6) 本ユニットはダイレクトスーパーリンク非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：２台，室外ユニット：１台）〔FDFV-HPA〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDFV1125HPA5SA 室内：FDFZP635SA × 2台 室外：FDCVP1125HA	FDFV1405HPA5SA 室内：FDFZP805SA × 2台 室外：FDCVP1405HA	FDFV1605HPA5SA 室内：FDFZP805SA × 2台 室外：FDCVP1605HA
リモートコントローラ					RC-DX3B（標準装備）		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.3～11.2］	12.5［3.4～14.0］	14.0［3.7～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.9）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.3	3.4	3.7
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.6～18.3］（最小：3.6）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			12.5	13.8	13.8
定格冷房時の顕熱比					0.78	0.70	0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.5	10.7	13.3
		暖房			7.9	11.4	14.0
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.53	3.62	4.53
			中間		0.810（中温：0.670）	1.05（中温：0.905）	1.20（中温：1.06）
			最小中温		0.450	0.450	0.510
		暖房	定格標準		2.64　（最小：0.540）	3.82　（最小：0.710）	4.72　（最小：0.780）
			中間		0.920	1.16	1.36
			最大低温		5.54	6.13	6.13
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.95，中間：5.56	定格：3.45，中間：5.43	定格：3.09，中間：5.25
		暖房			定格：4.24，中間：5.54	定格：3.66，中間：5.43	定格：3.39，中間：5.29
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7	5.4	5.1
		（2006）			5.3	5.0	4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：54，急：51，強：48，弱：46	P急：54，急：52，強：49，弱：47	
		音圧レベル			P急：42，急：37，強：34，弱：32	P急：42，急：39，強：35，弱：33	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1850×600×329		
	製品質量			kg	46	47	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1		
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：13，弱：12	P急：18，急：16，強：14，弱：12	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	157		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1050×970×370		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		ℓ	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（P140, P160：φ9.52）（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）		
		ガス管			室内接続：φ12.7（P140, P160：φ15.88）（フレア），分岐管：φ12.7（P140, P160：φ15.88），主管：φ15.88，室内接続：φ15.88（フレア）		
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（30m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～105m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	1.22（届出不要）	1.55（届出不要）	1.77（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏洩センサ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.06kW × 2台

(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P50，P63用）および共用タイプ（P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP63形，P80形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDFVP-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDFVP2244HP5SA	FDFVP2804HP5SA
項目 ＼ 形式					室内：FDFZP1605SA × 2台 室外：FDCVP2244H	室内：FDFZP1605SA × 2台 室外：FDCVP2804H
リモートコントローラ					RC-DX3B（標準装備）	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [6.7 ～ 22.4]	25.0 [7.1 ～ 28.0]
		中間			9.0（中温：9.3）	11.3（中温：12.2）
		最小中温			6.7	7.1
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.7 ～ 28.0]（最小：5.7）	28.0 [7.3 ～ 31.5]（最小：7.3）
		中間			10.1	12.6
		最大低温			22.0	22.8
定格冷房時の顕熱比					0.78	0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	21.1	31.9
		暖房			18.8	27.0
	始動電流（最大電流）				5（33）	5（35）
	消費電力	冷房	定格	kW	6.79	10.4
			中間		2.05（中温：1.76）	2.72（中温：2.41）
			最小中温		1.27	1.28
		暖房	定格標準		6.05（最小：1.22）	8.60（最小：1.52）
			中間		2.09	2.58
			最大低温		8.98	9.95
	力率			%	冷：93，暖：93	冷：94，暖：92
	エネルギー消費効率	冷房			定格：2.95，中間：4.39	定格：2.40，中間：4.15
		暖房			定格：3.70，中間：4.83	定格：3.26，中間：4.88
	通年エネルギー消費効率	(2015)			4.6	4.5
		(2006)			4.5	4.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：66，急：63，強：61，弱：56	
		音圧レベル			P急：55，急：51，強：49，弱：44	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：73，暖：73	冷：74，暖：77
		音圧レベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：63
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1850 × 600 × 329	
	製品質量			kg	49	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：29，急：26，強：23，弱：19	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	157	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	1505 × 970 × 370	
	製品質量			kg	165	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		GTC5150MC40KC × 1	
			電動機出力	kW	4.2	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	7.2（R410A）［主管配管30m分封入済］	7.6（R410A）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		ℓ	1.55（M-MB32R）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷：135，暖：135	
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	33	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管(7)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ12.7，（P224：40m以内φ9.52），室外接続：φ9.52（P280：φ12.7）（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（32m）(11)	14.0 × 3本（51m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）	
	アース線サイズ			mm^2	5.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21	
法定冷凍能力				トン	3.13（届出不要）	3.75（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IP24	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏洩センサ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.21kW × 2台

(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(7) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WB1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は2018・2019冷熱ハンドブック設計・施工編461ページをご覧ください。）

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形に設定され，上記の仕様で運転します。

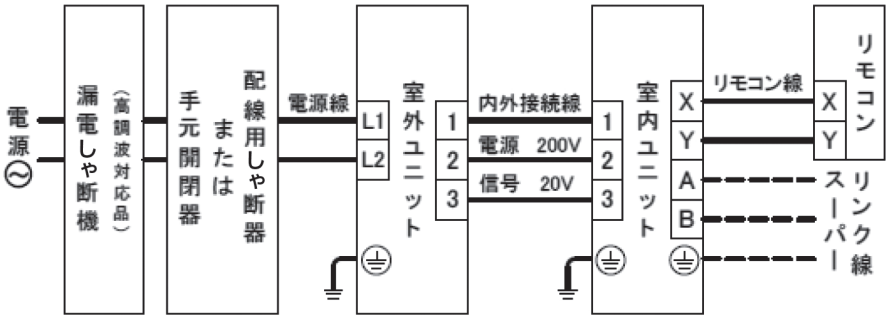
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(11) 外気温が45℃を超える場所に据付ける場合は，電源線太さは14mm^2配線こう長54mになります。

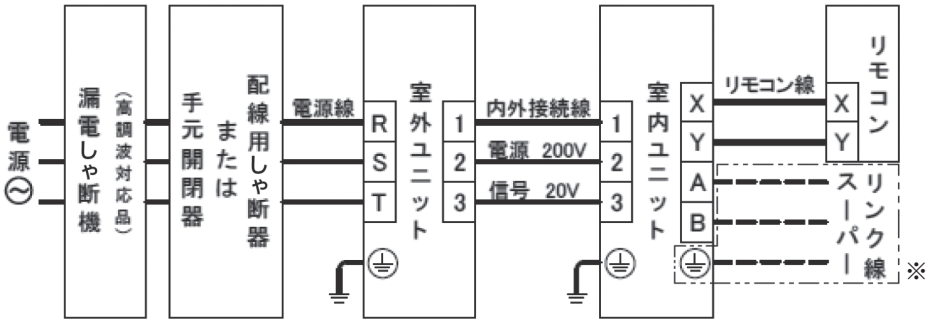
● 電気配線接続図

電源は室外ユニットに接続してください。

(1) 単相電源形冷暖暖兼用機

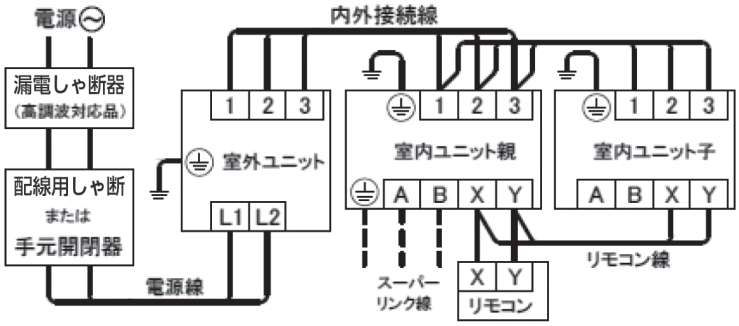


(2) 冷暖房兼用機

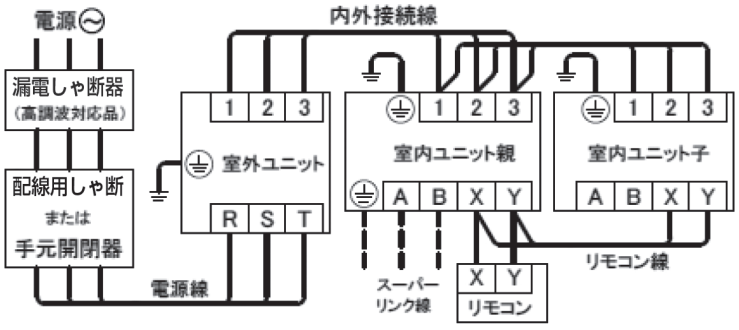


注(1) FDEVP2244H3AG，FDEVP2804H3AG，FDFVP2244H3AG，FDFVP2804H3AG の場合，※印部はありません。

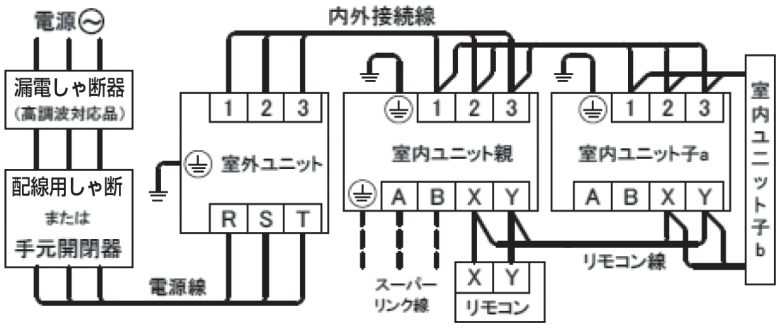
(3) 単相電源ツイン形冷暖房兼用機



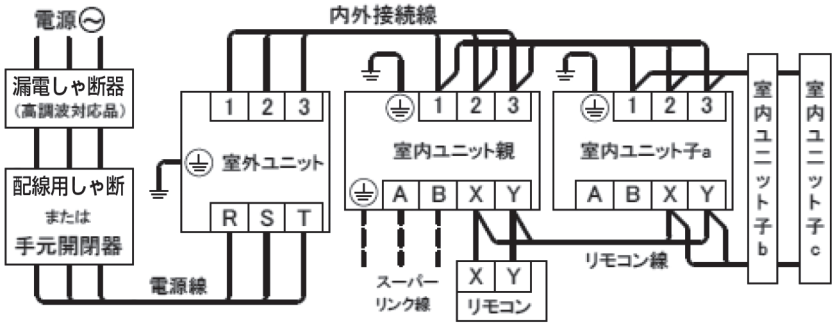
(4) ツイン形冷暖房兼用機



(5) トリプル形冷暖房兼用機



(6) ダブルツイン形冷暖房兼用機



2. 外形図

（単位：mm）

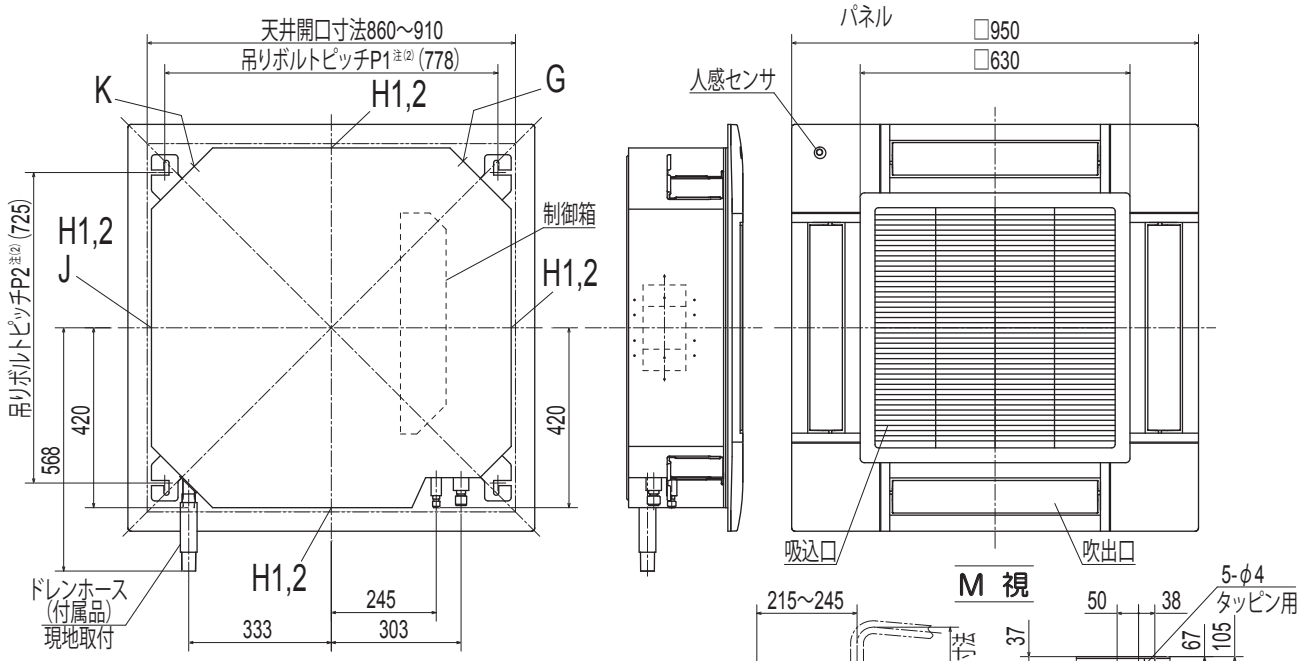
(1) 室内ユニット

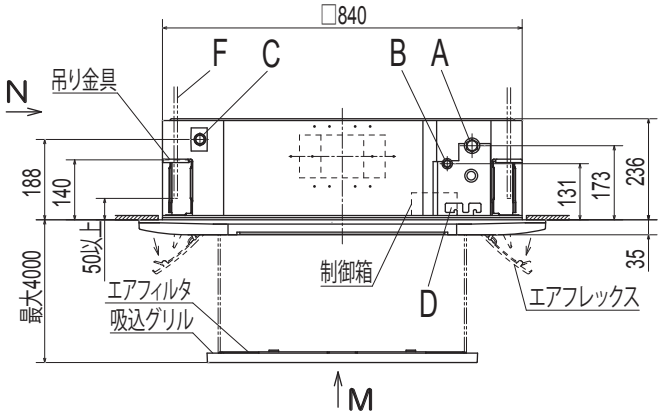
(a) 天井埋込形 4 方向吹出し（FDT）

(i) 標準パネル・エアフレックスパネル・ラクリーナパネル仕様

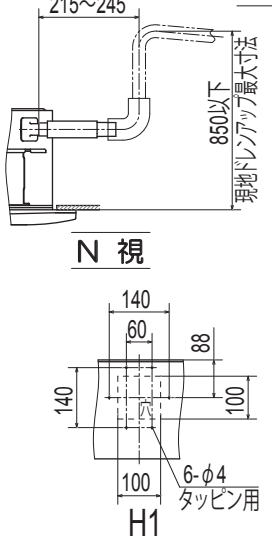
FDTZP635SA, 715SA

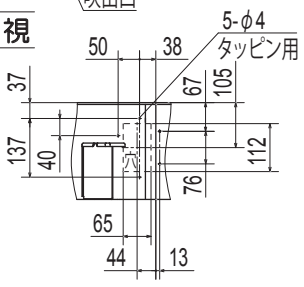
注(1) P63 ユニットをツイン，トリプル，ダブルツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。

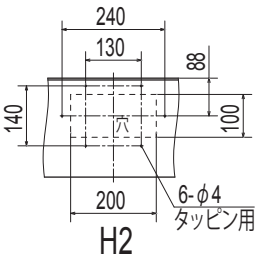


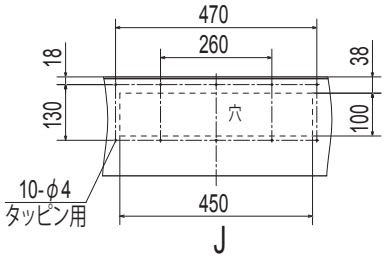


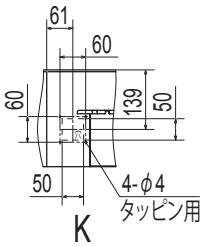
グリル昇降範囲内に障害物を置かないでください。

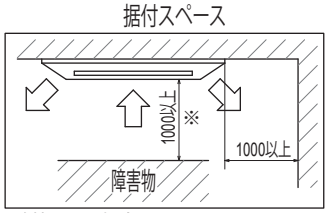












隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。
ラクリーナパネル仕様の場合，※寸法は1400です。

●記号説明

記号	内容		
	機種	P63	P71
A	冷媒ガス側配管	φ12.7(フレア)	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)	φ9.52(フレア)
C	ドレン配管接続口	VP25（I.D.25,O.D.32）	
D	電源取入口		
F	吊りボルト	M10またはM8	
G	OA取入口		
H1	吹出分岐ダクト接続口	φ125	
H2		φ200	
J	加湿器接続口		
K	加湿器余剰水接続口		

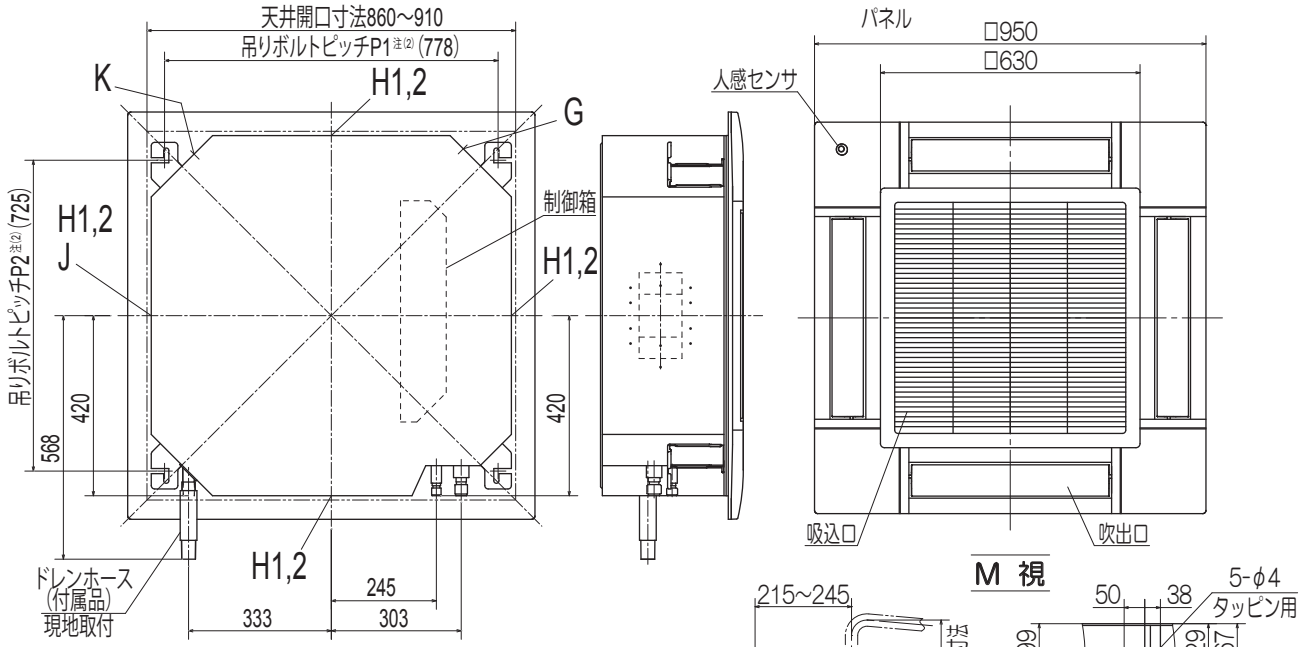
注(1)装置銘板は制御箱の蓋に付いてます。
(2)吊りボルトピッチP1,P2は下表のパターンで調整可能です。

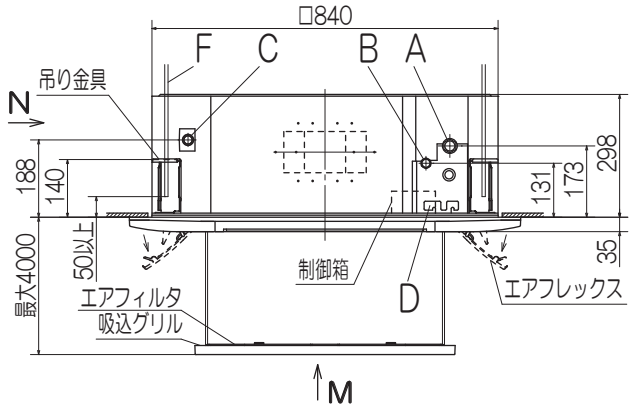
吊りボルトピッチ範囲表

パターン＼記号	P1	P2
1	770	725～770
2	770～800	725

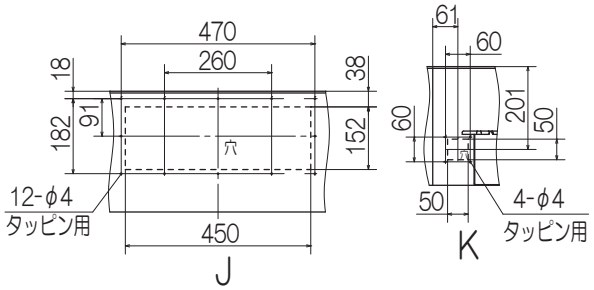
PJF000Z523
PJF000Z524
PJF000Z525

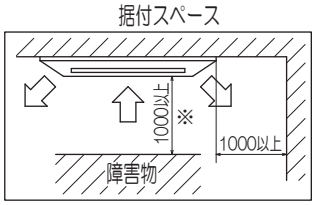
FDTZP805SA，1605SA



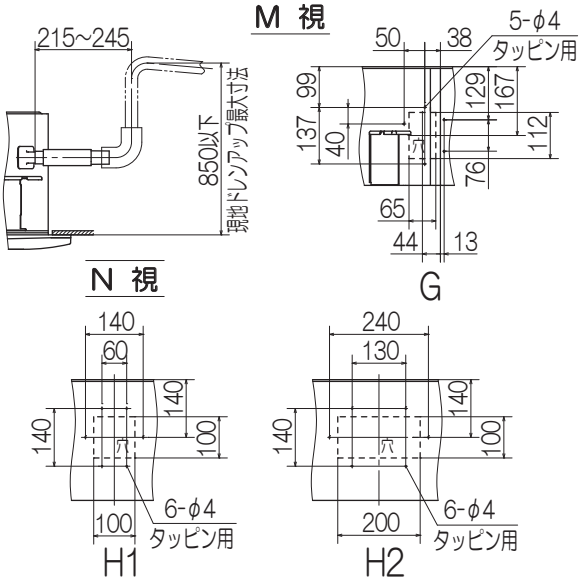


グリル昇降範囲内に障害物を置かないでください。





隣接設置の場合は、ユニット間を5000以上離してください。
ラクリーナパネル仕様の場合、※寸法は1400です。



●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88（フレア）
B	冷媒液側配管	φ9.52（フレア）
C	ドレン配管接続口	VP25（I.D.25,O.D.32）
D	電源取入口	
F	吊りボルト	M10またはM8
G	OA取入口	
H1	吹出分岐ダクト接続口	φ125
H2		φ200
J	加湿器接続口	
K	加湿器余剰水接続口	

注（1）装置銘板は制御箱の蓋に付いてます。
（2）吊りボルトピッチP1，P2は下表のパターンで調整可能です。

吊りボルトピッチ範囲表

パターン ＼ 記号	P1	P2
1	770	725～770
2	770～800	725

PJF000Z527

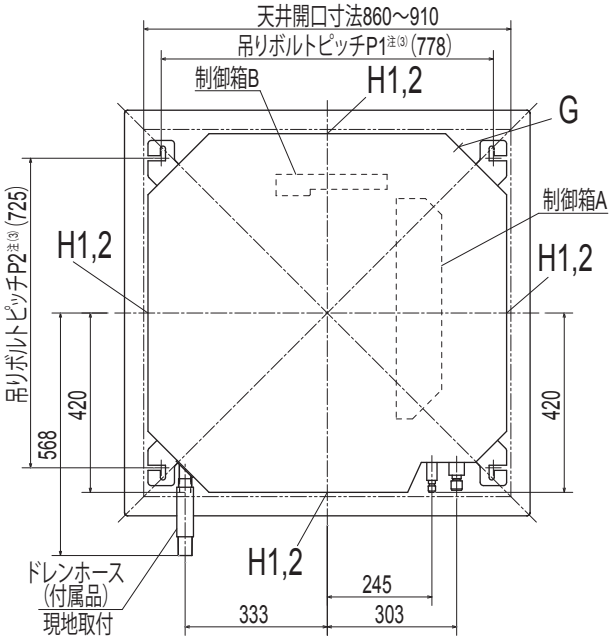
PJF000Z528

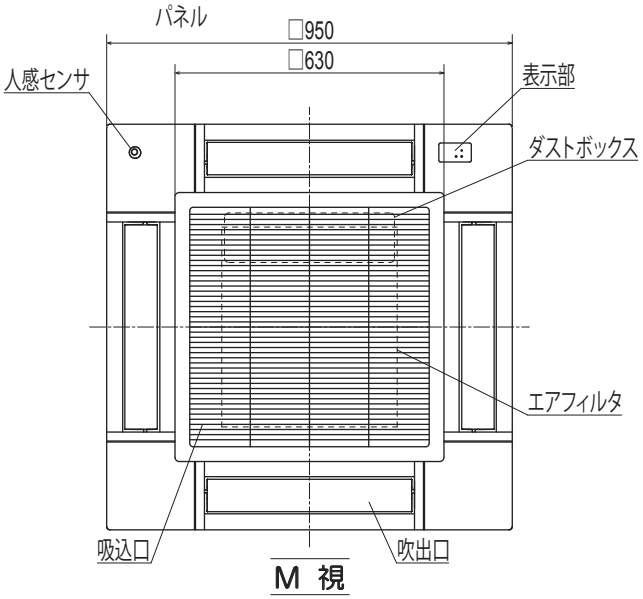
PJF000Z529

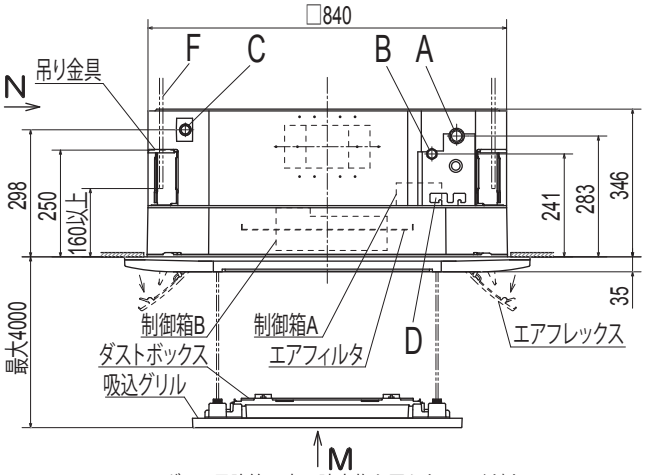
(ii) お掃除ラクリーナパネル仕様

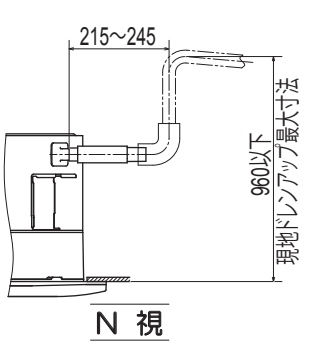
FDTZP635SA，715SA

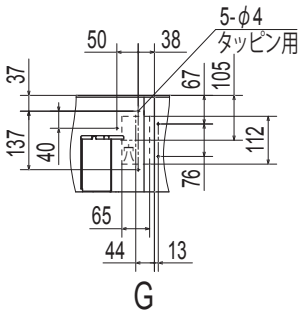
注(1) P63 ユニットをツイン，トリプル，ダブルツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。

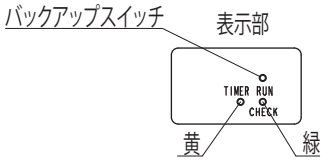




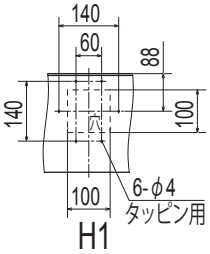


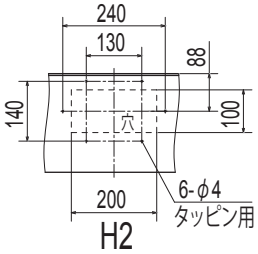






グリル昇降範囲内に障害物を置かないでください。





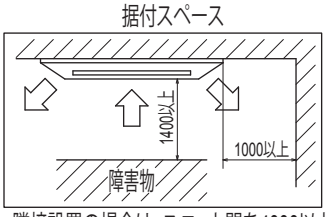
●記号説明

記号	内容		
	機種	P63	P71
A	冷媒ガス側配管	φ12.7(フレア)	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)	φ9.52(フレア)
C	ドレン配管接続口	VP25（I.D.25,O.D.32）	
D	電源取入口		
F	吊りボルト	M10またはM8	
G	OA取入口		
H1	吹出分岐ダクト接続口	φ125	
H2		φ200	

注(1) 装置銘板は制御箱Aの蓋に付いてます。
(2) 吸込グリルには方向性があります、
90度回転方向には取付きません。
(3) 吊りボルトピッチP1,P2は下表の
パターンで調整可能です。

吊りボルトピッチ範囲表

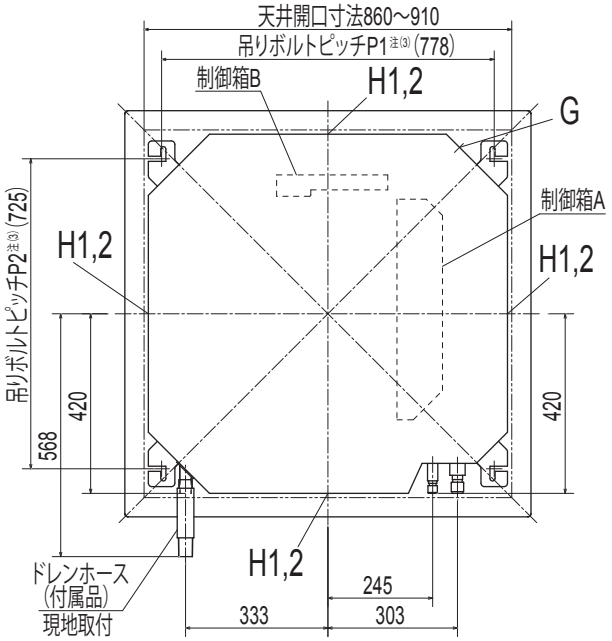
パターン＼記号	P1	P2
1	770	725～770
2	770～800	725

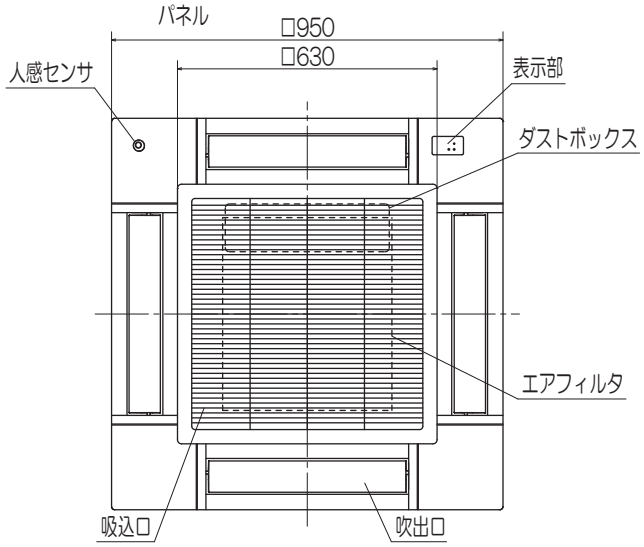


隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。

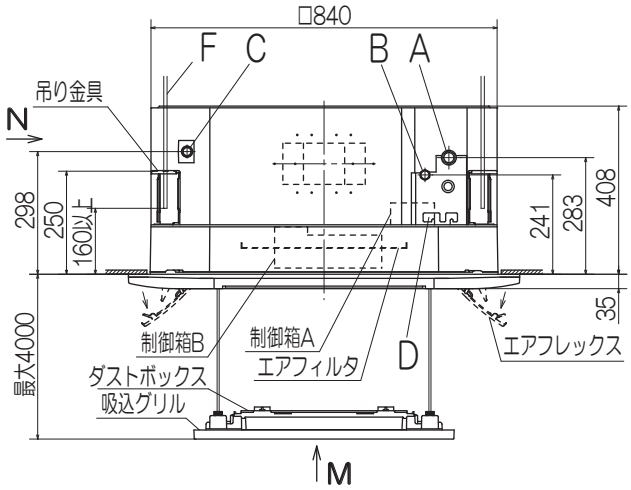
PJF000Z526

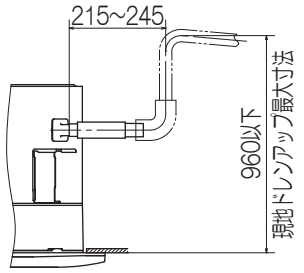
FDTZP805SA，1605SA



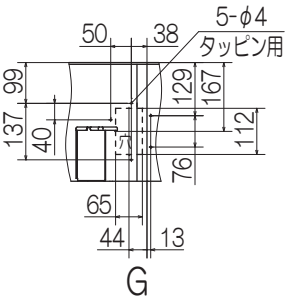


M 視

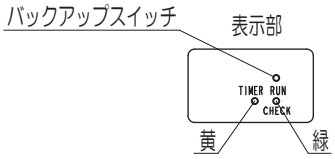




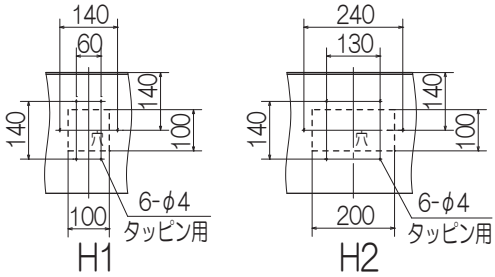
N 視

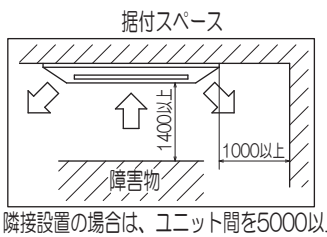


G



グリル昇降範囲内に障害物を置かないでください。





隣接設置の場合は、ユニット間を5000以上離してください。

●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88（フレア）
B	冷媒液側配管	φ9.52（フレア）
C	ドレン配管接続口	VP25（I.D.25,O.D.32）
D	電源取入口	
F	吊りボルト	M10またはM8
G	OA取入口	
H1	吹出分岐ダクト接続口	φ125
H2		φ200

注（1）装置銘板は制御箱Aの蓋に付いてます。
（2）吸込グリルには方向性があります，
90度回転方向には取付きません。
（3）吊りボルトピッチP1,P2は下表の
パターンで調整可能です。

吊りボルトピッチ範囲表

パターン ＼ 記号	P1	P2
1	770	725～770
2	770～800	725

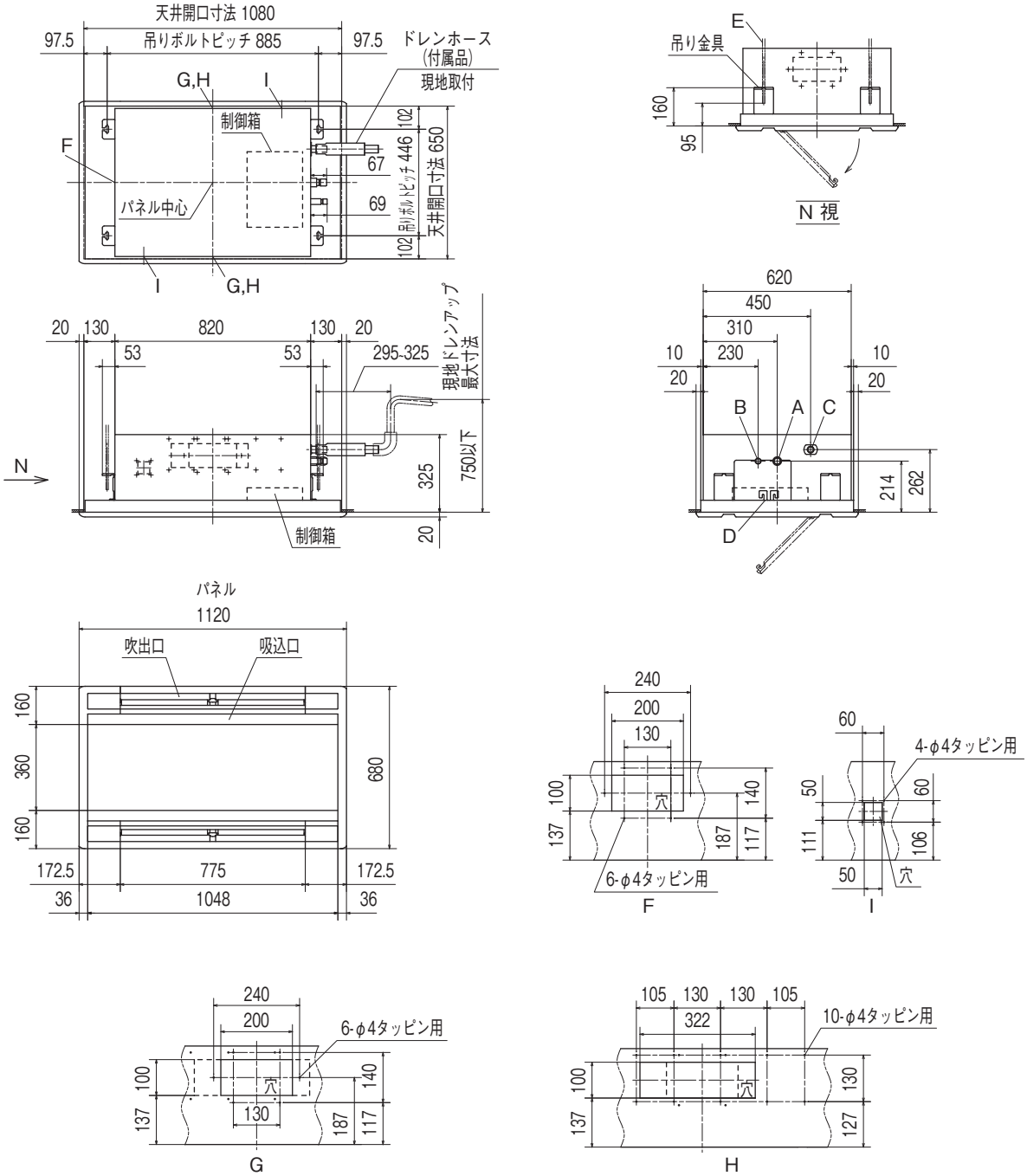
PJF000Z530

(b) 天井埋込形 2 方向吹出し（FDTW）

(i) 標準パネル仕様

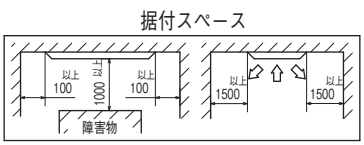
FDTWZP565SA，635SA，805SA

注(1) P56 ユニットをツイン，トリプル，ダブルツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。



●記号説明

記号	内容		
	機種	P56,63	P80
A	冷媒ガス側配管	φ12.7(フレア)	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)	φ9.52(フレア)
C	ドレン配管接続口	VP25(I.D.25,O.D.32)	
D	電源取入口		
E	吊りボルト	M10	
F	0A取入口		
G	吹出分岐ダクト接続口		
H	加湿器接続口		
I	加湿器余剰水接続口		

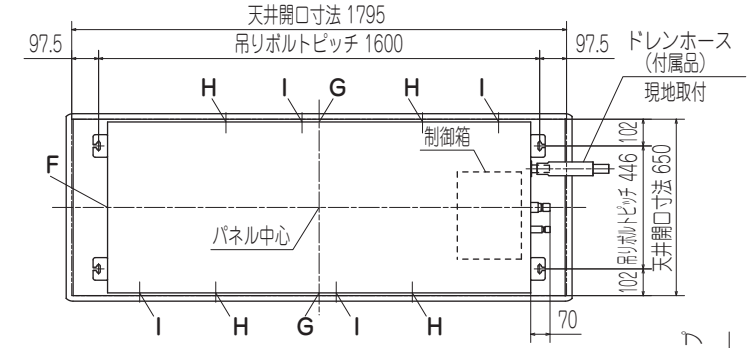


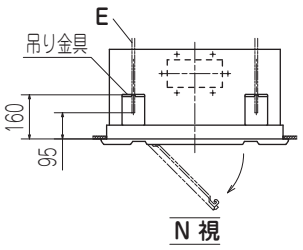
隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。

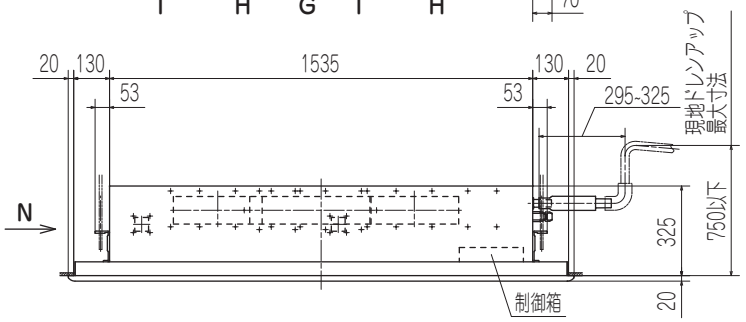
注（1）装置銘板は制御箱の蓋に付いてます。

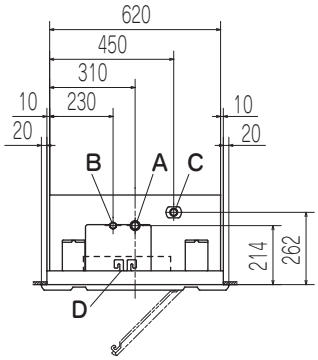
PJB001Z846

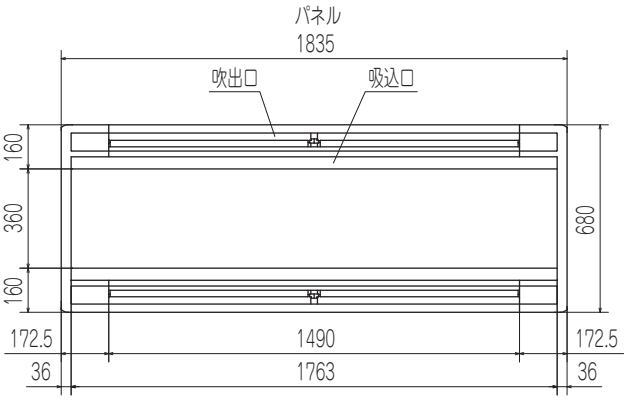
FDTWZP1405SA，1605SA

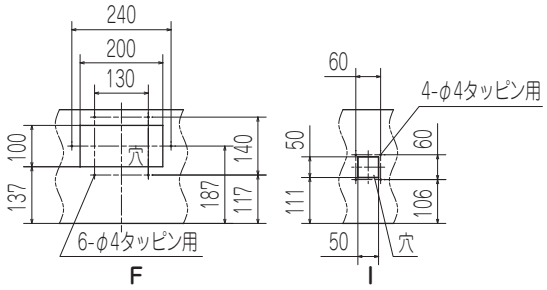


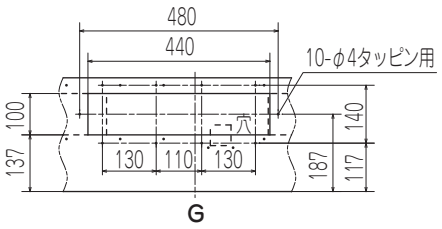


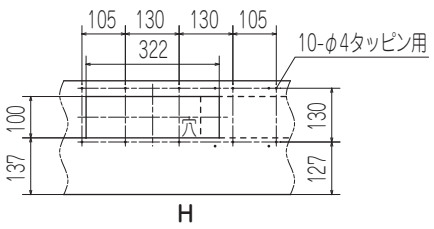








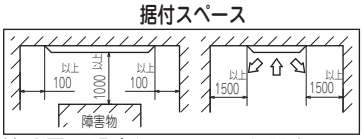




●記号説明

記号	内　　容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ9.52(フレア)
C	ドレン配管接続口	VP25(I.D.25,O.D.32)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F	OA取入口	
G	吹出分岐ダクト接続口	
H	加湿器接続口	
I	加湿器余剰水接続口	

据付スペース



隣接設置の場合は、ユニット間を5000以上離してください。

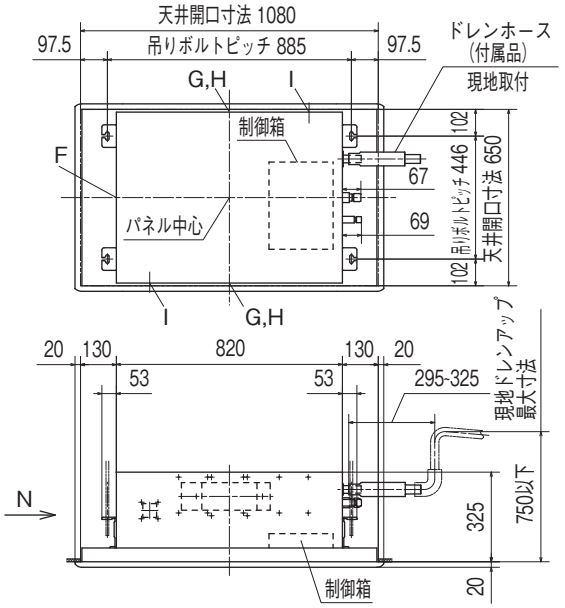
注（1）装置銘板は制御箱の蓋に付いてます。

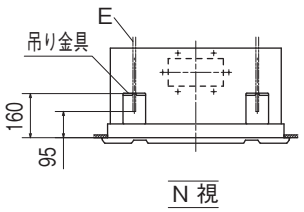
PJB001Z848

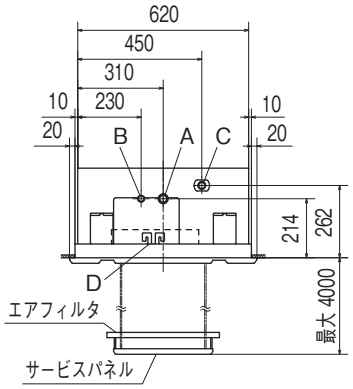
(ii) ラクリーナパネル仕様

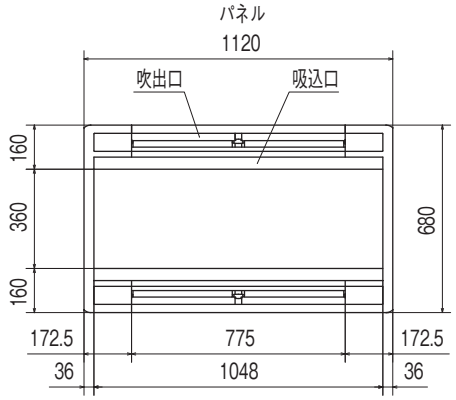
FDTWZP565SA，635SA，805SA

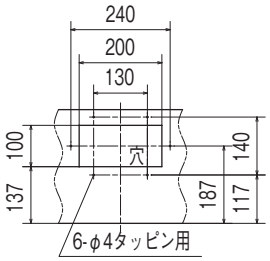
注(1) P56 ユニットをツイン，トリプル，ダブルツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。

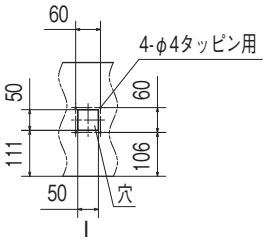


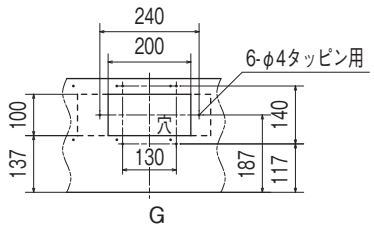


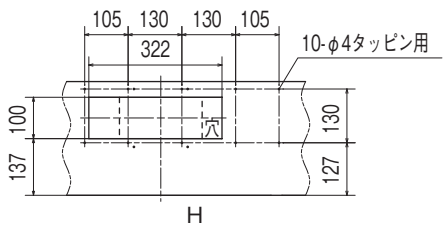








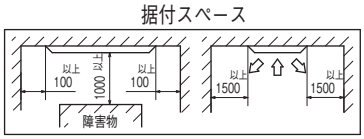




●記号説明

記号	内容		
	機種	P56,63	P80
A	冷媒ガス側配管	φ12.7(フレア)	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)	φ9.52(フレア)
C	ドレン配管接続口	VP25(I.D.25,O.D.32)	
D	電源取入口		
E	吊りボルト	M10	
F	OA取入口		
G	吹出分岐ダクト接続口		
H	加湿器接続口		
I	加湿器余剰水接続口		

据付スペース

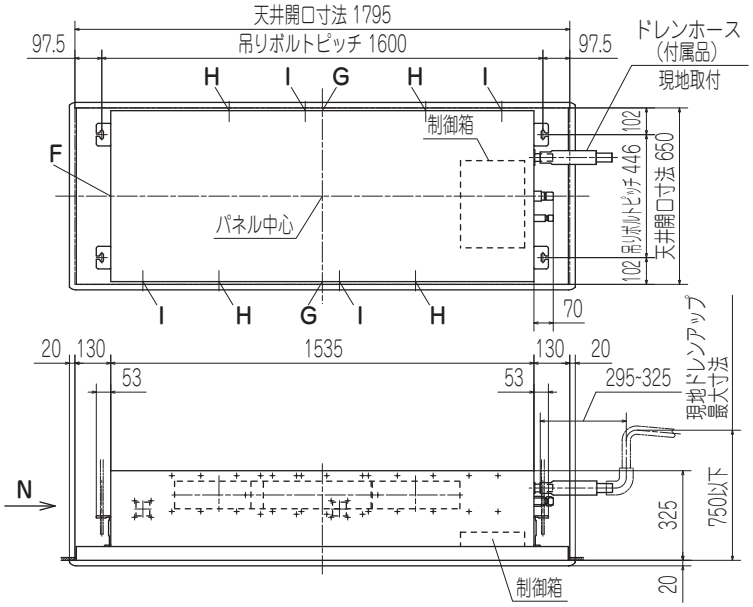


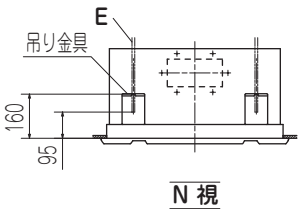
隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。

注（1）装置銘板は制御箱の蓋に付いてます。

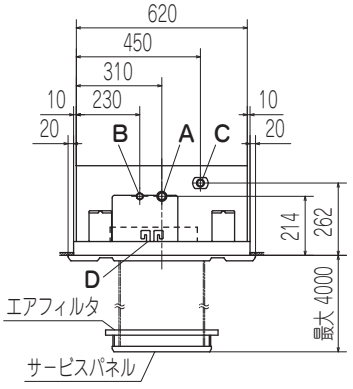
PJB001Z851

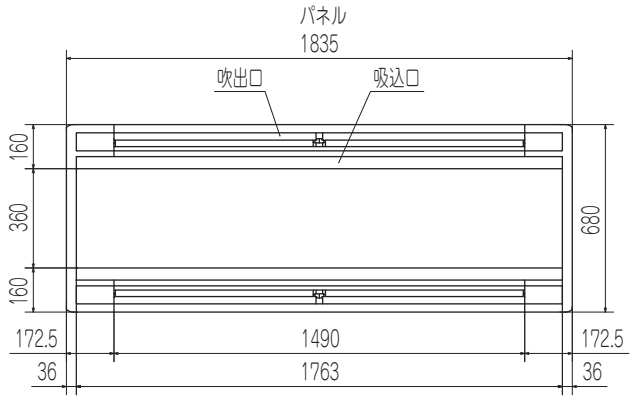
FDTWZP1405SA，1605SA

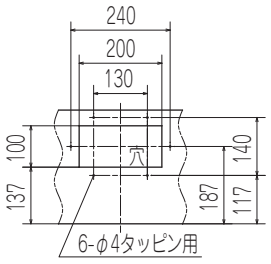


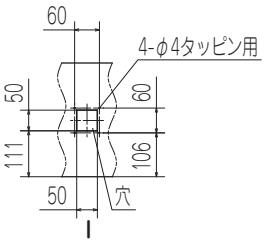


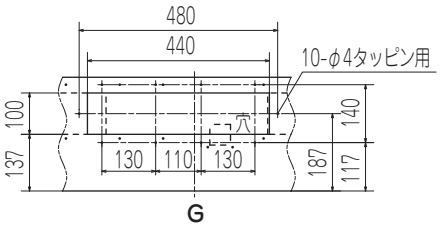
N 視

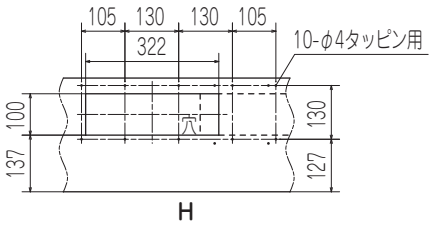








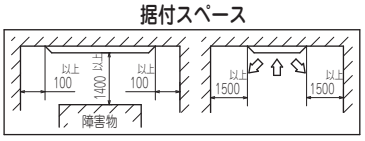




●記号説明

記号	内　　容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ9.52（フレア）
C	ドレン配管接続口	VP25(I.D.25,O.D.32)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F	OA取入口	
G	吹出分岐ダクト接続口	
H	加湿器接続口	
I	加湿器余剰水接続口	

据付スペース



隣接設置の場合は、ユニット間を5000以上離してください。

注（1）装置銘板は制御箱の蓋に付いてます。

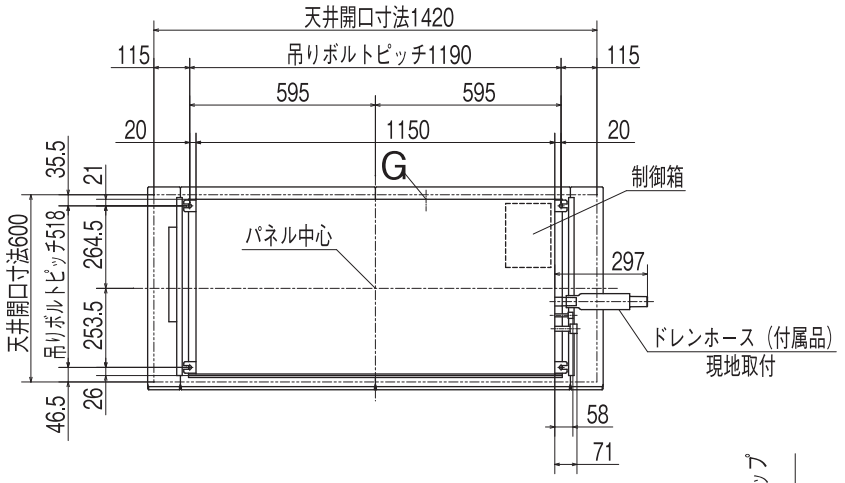
PJB001Z853

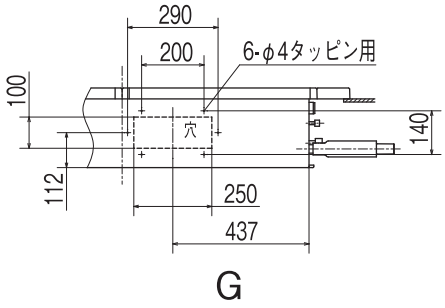
(c) 天井埋込形 1 方向吹出し（FDTS）

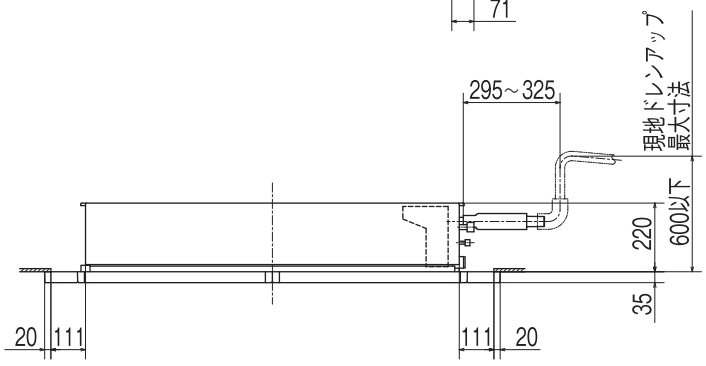
(i) 天井埋込仕様（直吹き）

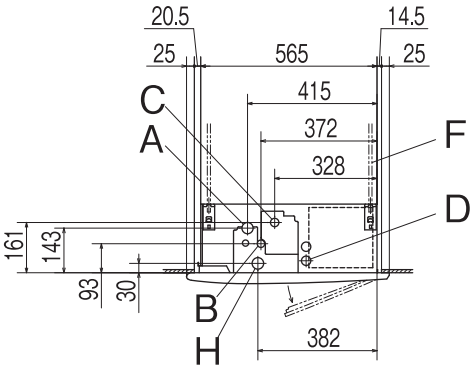
FDTSZP505SA，635SA，805SA

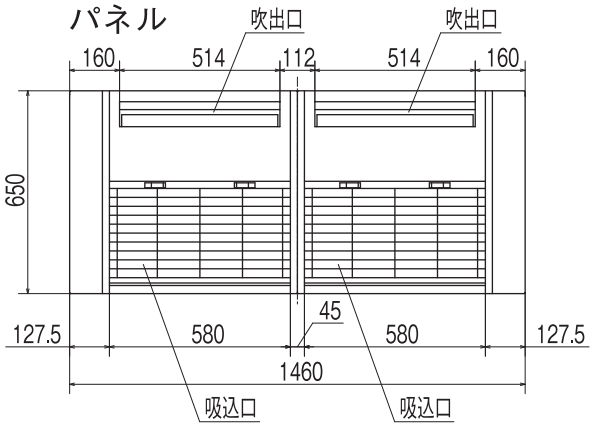
注(1) P50，P63 ユニットをツイン，トリプルに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。









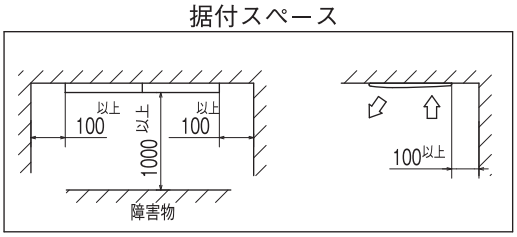


●記号説明

記号	内容		
	機種	P50,63	P80
A	冷媒ガス側配管	φ12.7(フレア)	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)	φ9.52(フレア)
C	ドレン配管接続口	VP25(I.D.25,O.D.32)	
D	電源取入口		
F	吊りボルト	M10	
G	OA取入口		
H	ドレン配管（自然排水）	VP25(I.D.25,O.D.32)	

注（1）装置銘板は吸込グリル内に付いてます。

据付スペース



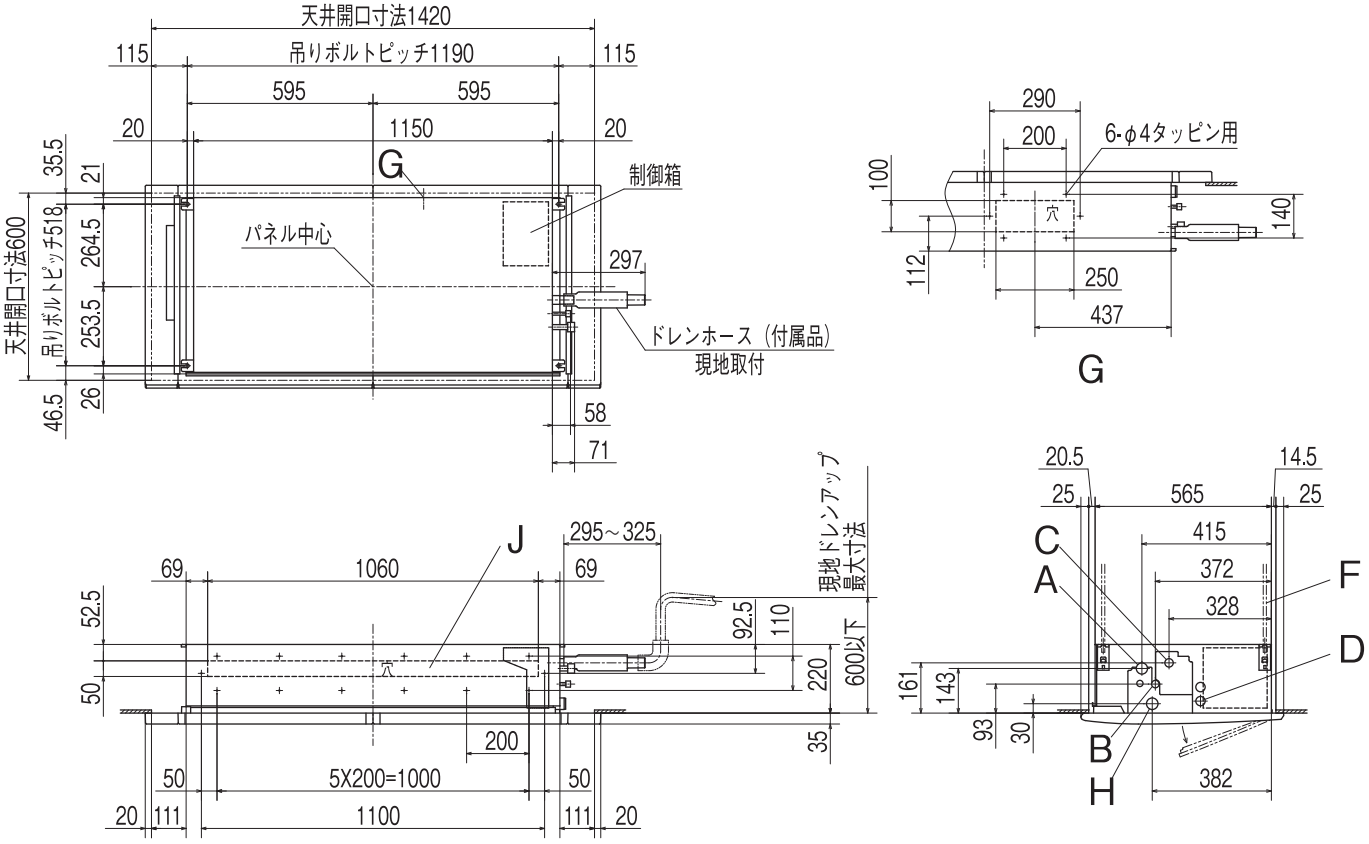
隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。

PJC001Z442

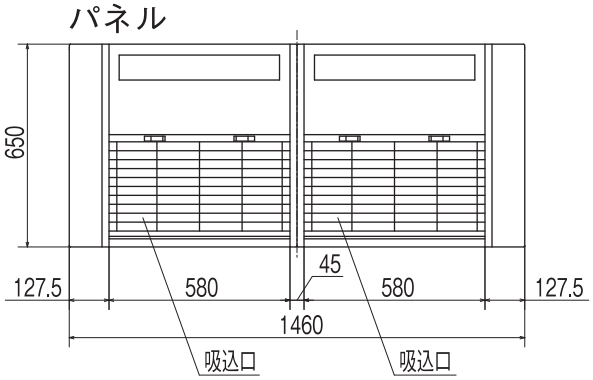
(ii) 下がり天井仕様

FDTSZP505SA，635SA，805SA

注(1) P50, P63 ユニットをツイン, トリプルに使用する場合は, 分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。



パネル

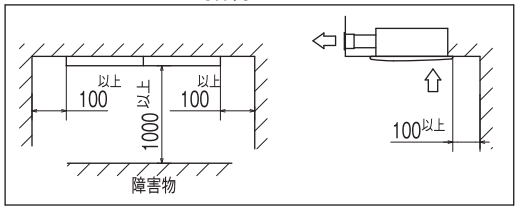


●記号説明

記号	内容		
	機種	P50,63	P80
A	冷媒ガス側配管	φ12.7(フレア)	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)	φ9.52(フレア)
C	ドレン配管接続口	VP25(I.D.25,O.D.32)	
D	電源取入口		
F	吊りボルト	M10	
G	OA取入口		
H	ドレン配管（自然排水）	VP25(I.D.25,O.D.32)	
J	下がり天井設置時吹出口		

注（1）装置銘板は吸込グリル内に付いてます。

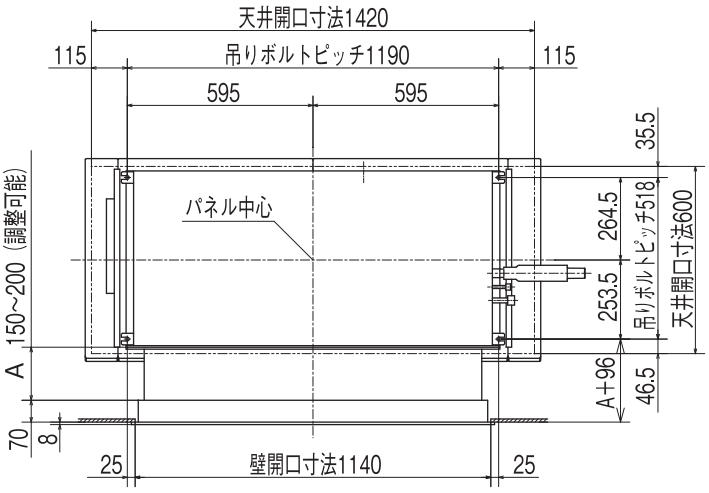
据付スペース



隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。

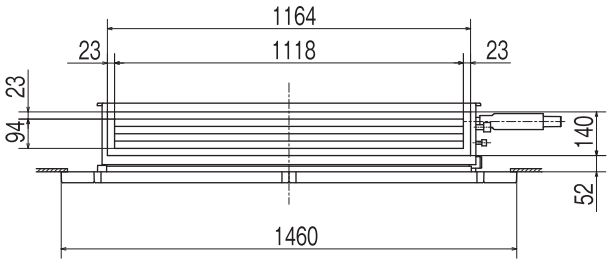
PJC001Z445

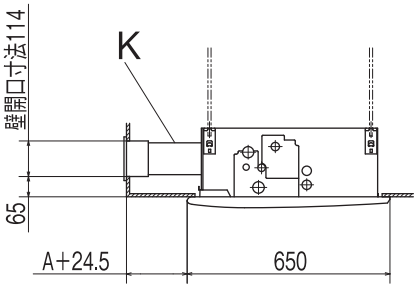
●吹出グリル取付図



本図は下記オプション部品を組合わせた場合を示す。

K	下がり天井用吹出グリル	三菱重工空調システム HA06241



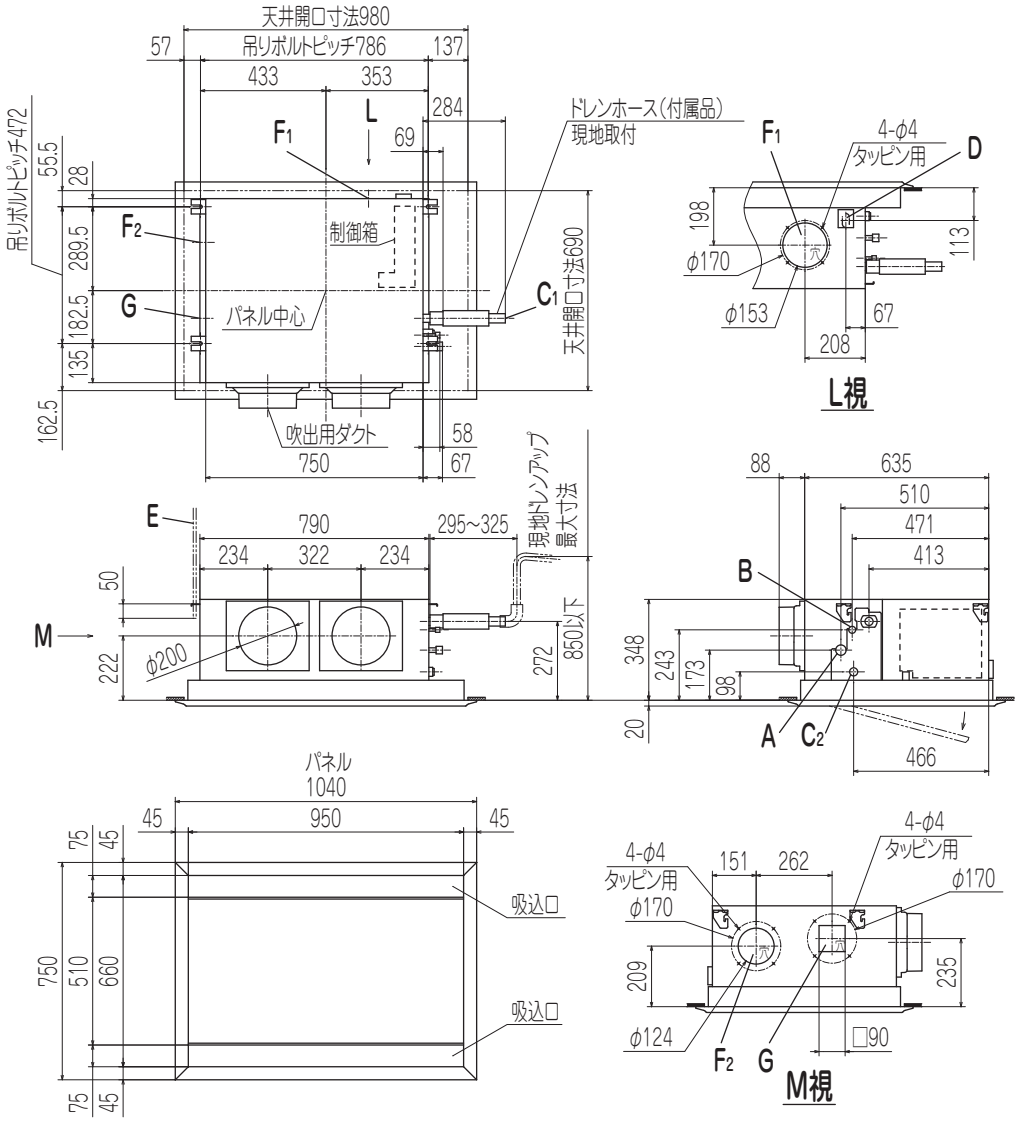


PJC001Z445

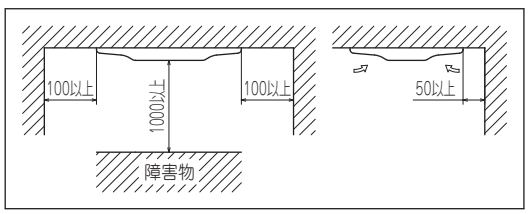
(d) 天理カセテリア（FDR）
FDRZP565SA

注(1) P56 ユニットをツイン，トリプル，ダブルツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。

サイレントパネル（品番：R-PNS-2AW）使用の場合



据付スペース



注（1）装置銘板は制御箱蓋に付いています。

●記号説明

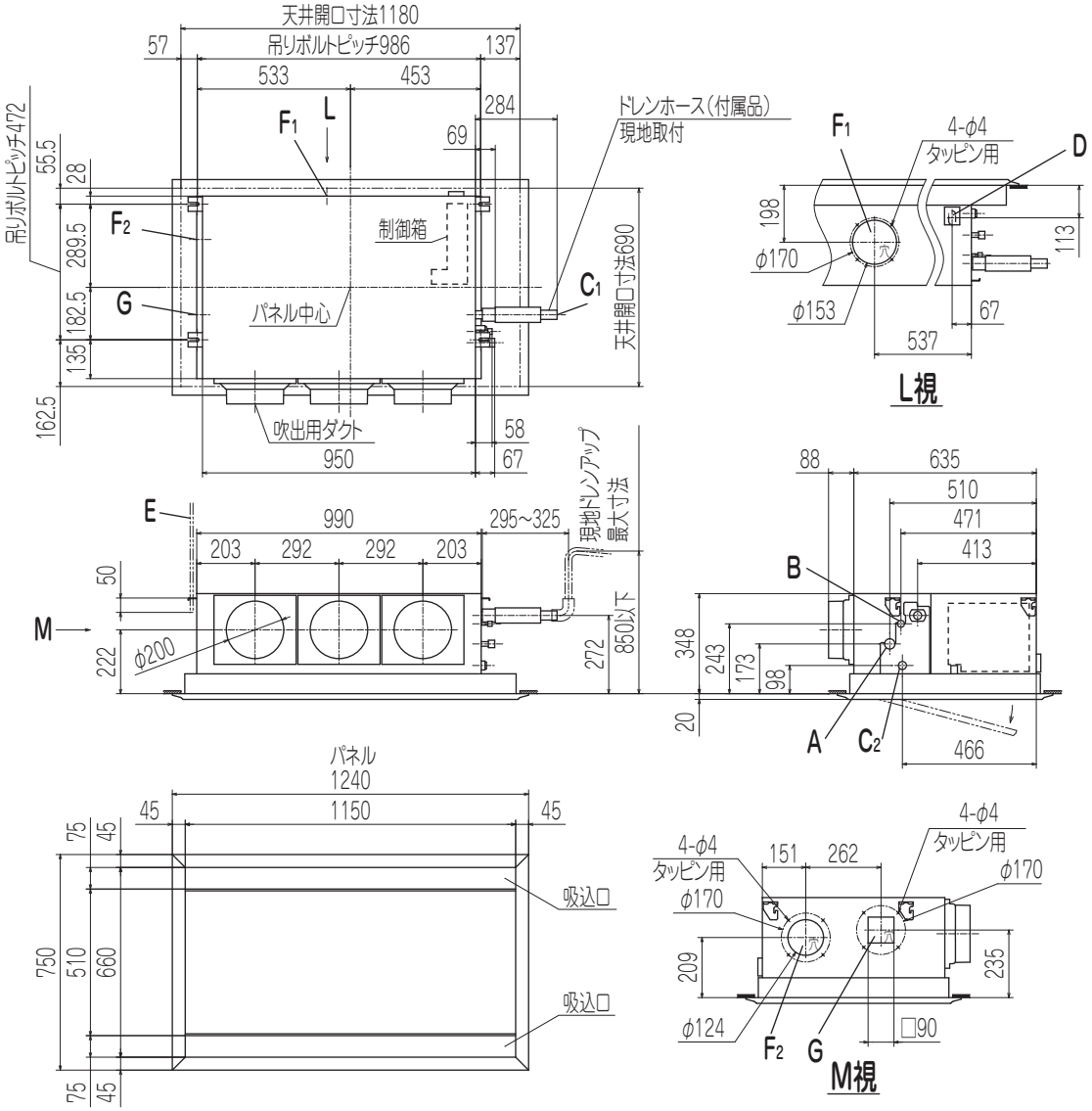
記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ12.7（フレア）
B	冷媒液側配管	φ6.35（フレア）
C_1	ドレン配管接続口	VP25(I.D.25,O.D.32)
C_2	ドレン自然排水用	VP20(I.D.20,O.D.26)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F_1	OA取入口	φ150用ノックアウト
F_2		φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト

PJG000Z596

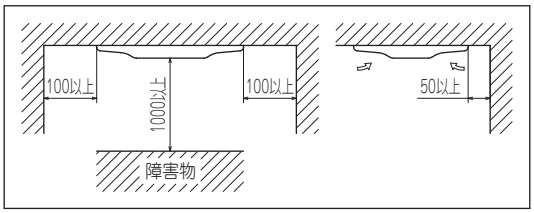
FDRZP635SA，805SA

注(1) P63 ユニットをツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。

サイレントパネル（品番：R-PNS-3AW）使用の場合



据付スペース



注（1）装置銘板は制御箱蓋に付いています。

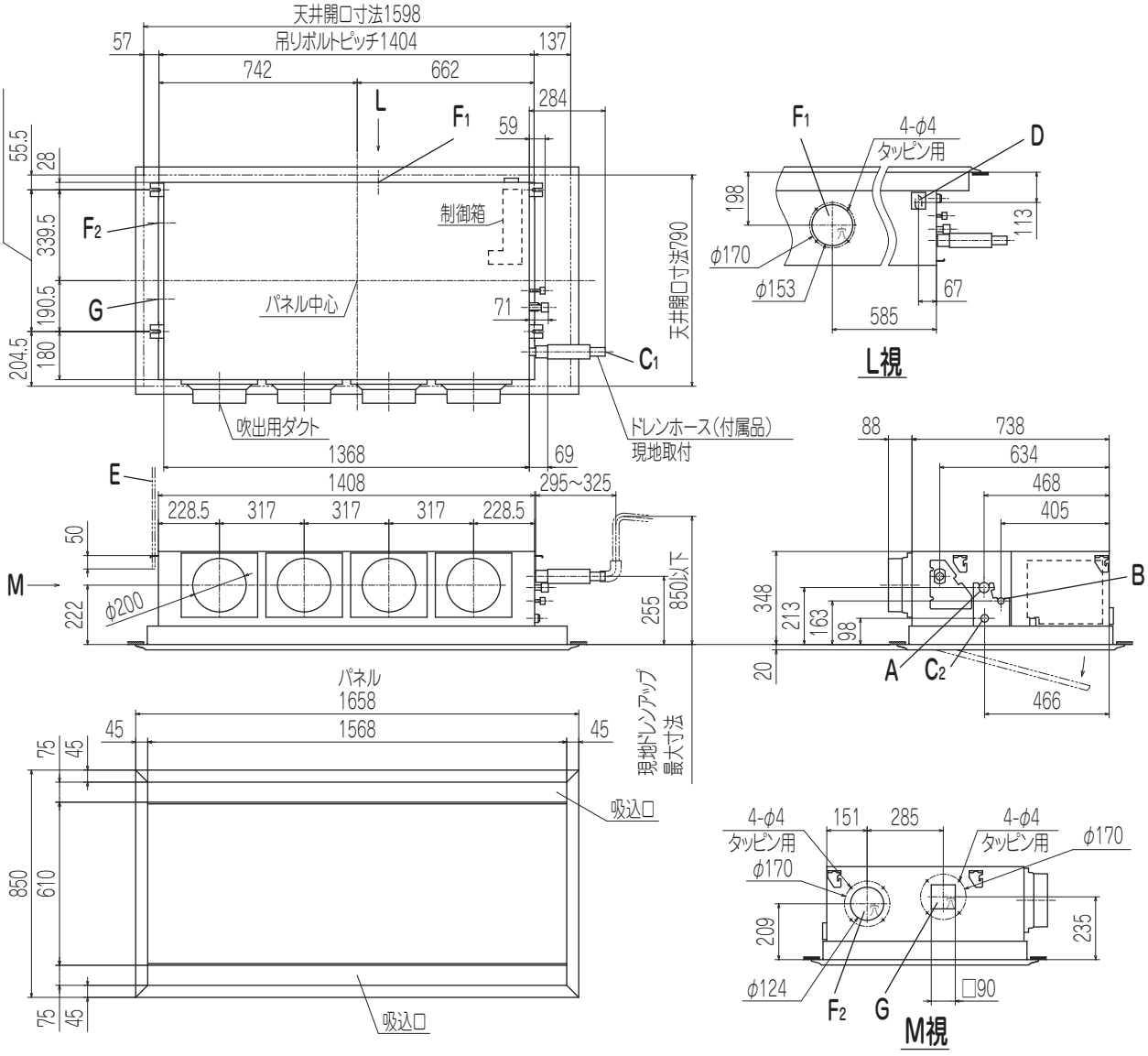
●記号説明

記号	内容		
	機種	P63	P80
A	冷媒ガス側配管	φ12.7（フレア）	φ15.88（フレア）
B	冷媒液側配管	φ6.35（フレア）	φ9.52（フレア）
C_1	ドレン配管接続口	VP25（I.D.25,O.D.32）	
C_2	ドレン自然排水用	VP20（I.D.20,O.D.26）	
D	電源取入口		
E	吊りボルト	M10	
F_1	OA取入口	φ150用ノックアウト	
F_2		φ125用ノックアウト	
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト	

PJG000Z597

FDRZP1125SA，1605SA

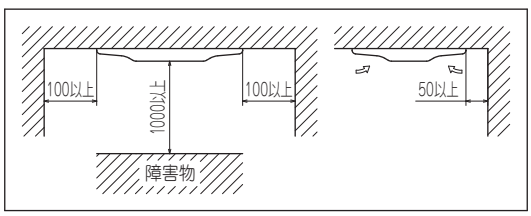
サイレントパネル（品番：R-PNS-4AW）使用の場合



●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88（フレア）
B	冷媒液側配管	φ9.52（フレア）
C1	ドレン配管接続口	VP25（I.D.25,O.D.32）
C2	ドレン自然排水用	VP20（I.D.20,O.D.26）
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F1	OA取入口	φ150用ノックアウト
F2		φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト

据付スペース



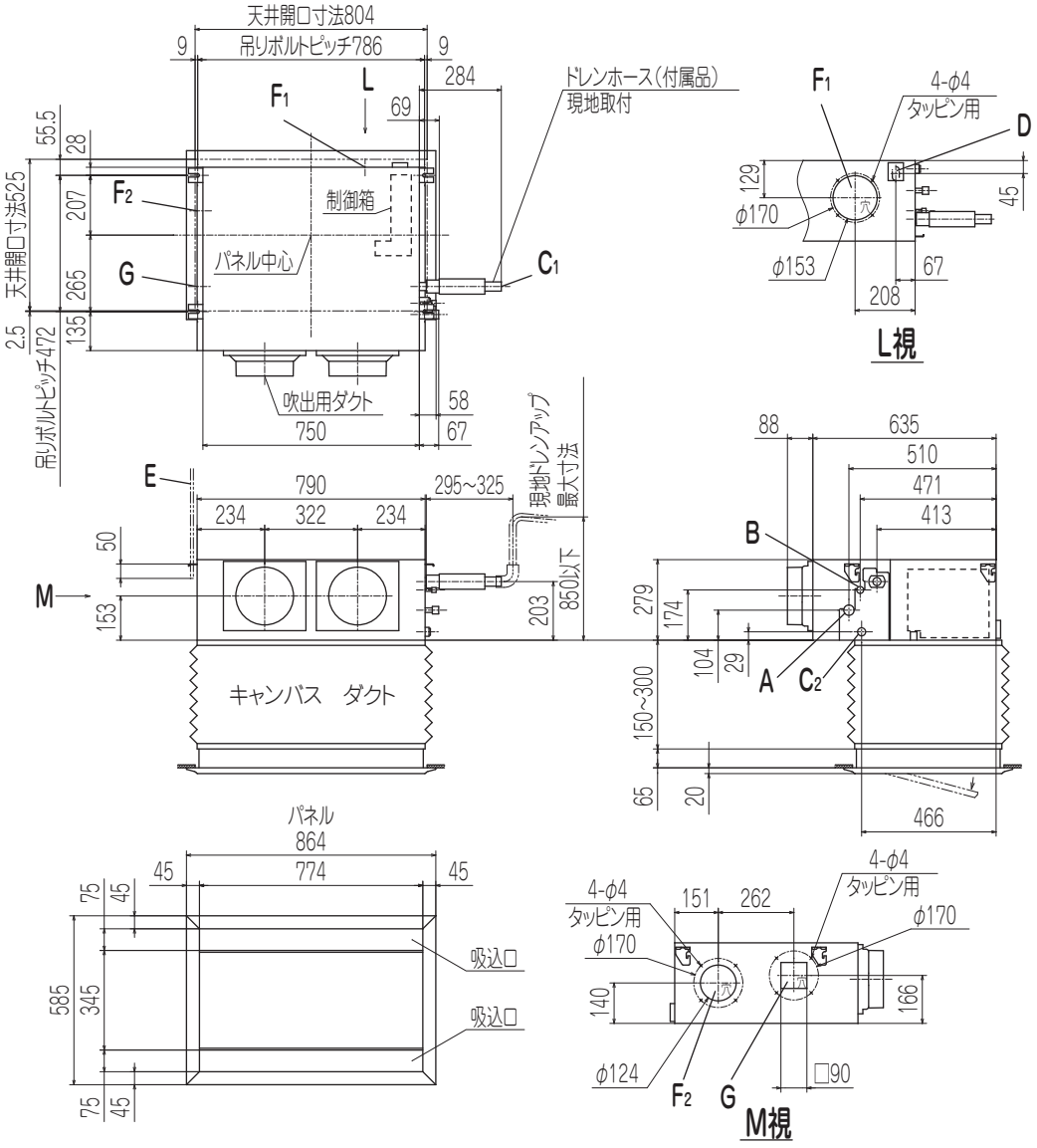
注（1）装置銘板は制御箱蓋に付いています。

PJG000Z598

FDRZP565SA

注(1) P56 ユニットをツイン，トリプル，ダブルツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。

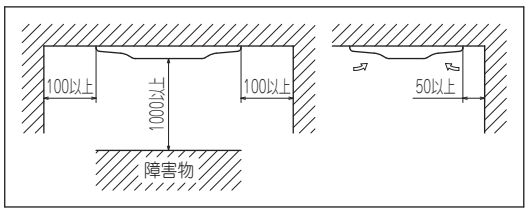
キャンバスパネル（品番：R-PNC-2AW）使用の場合



●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ12.7（フレア）
B	冷媒液側配管	φ6.35（フレア）
C_1	ドレン配管接続口	VP25（I.D.25,O.D.32）
C_2	ドレン自然排水用	VP20（I.D.20,O.D.26）
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F_1	OA取入口	φ150用ノックアウト
F_2		φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト

据付スペース



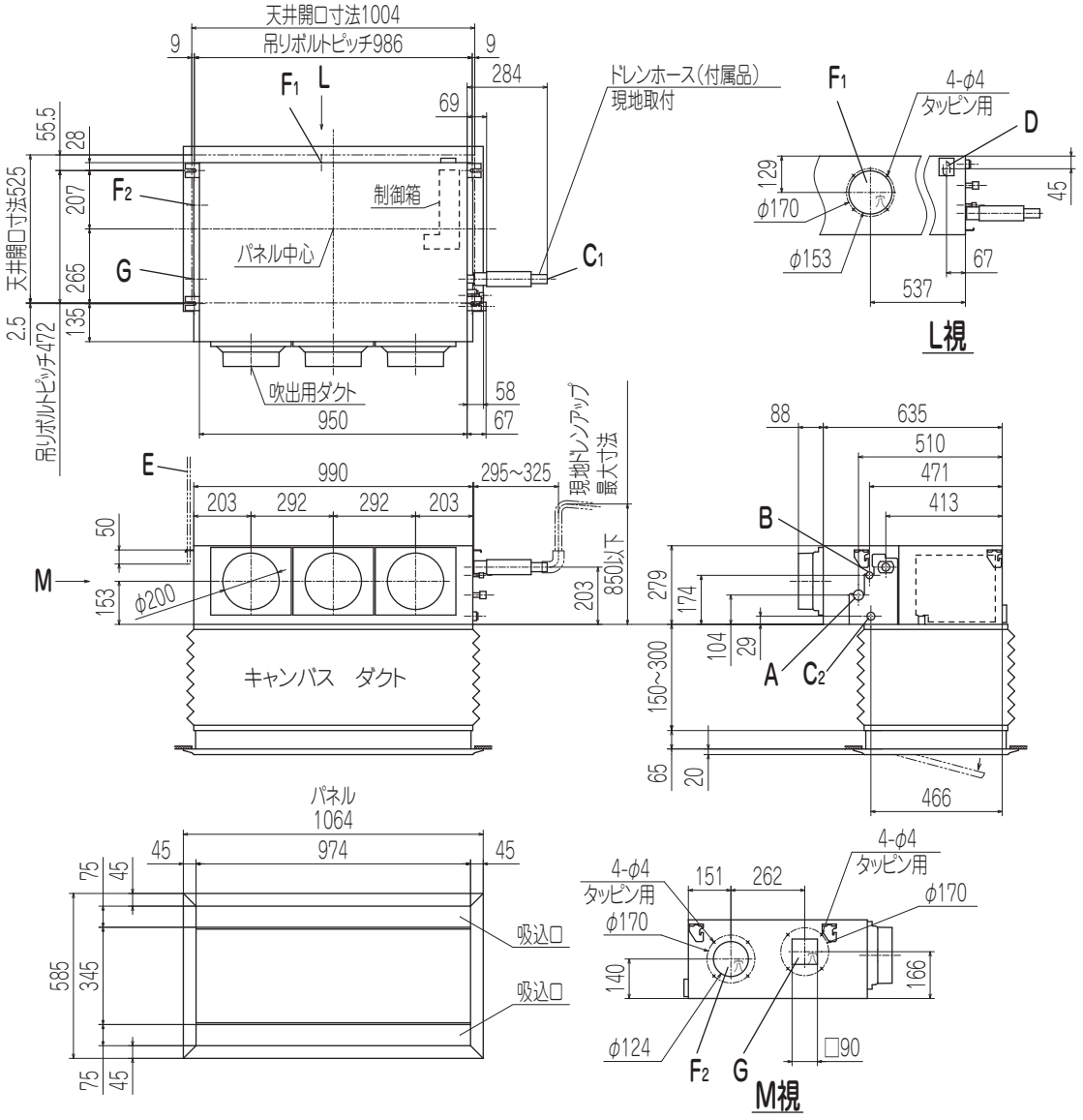
注（1）装置銘板は制御箱蓋に付いています。

PJG000Z600

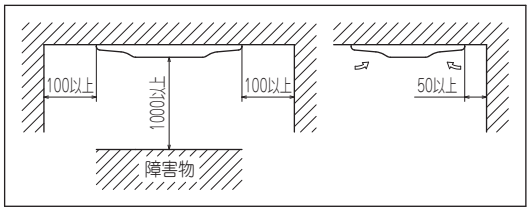
FDRZP635SA，805SA

注(1) P63 ユニットをツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。

キャンバスパネル（品番：R-PNC-3AW）使用の場合



据付スペース



注（1）装置銘板は制御箱蓋に付いています。

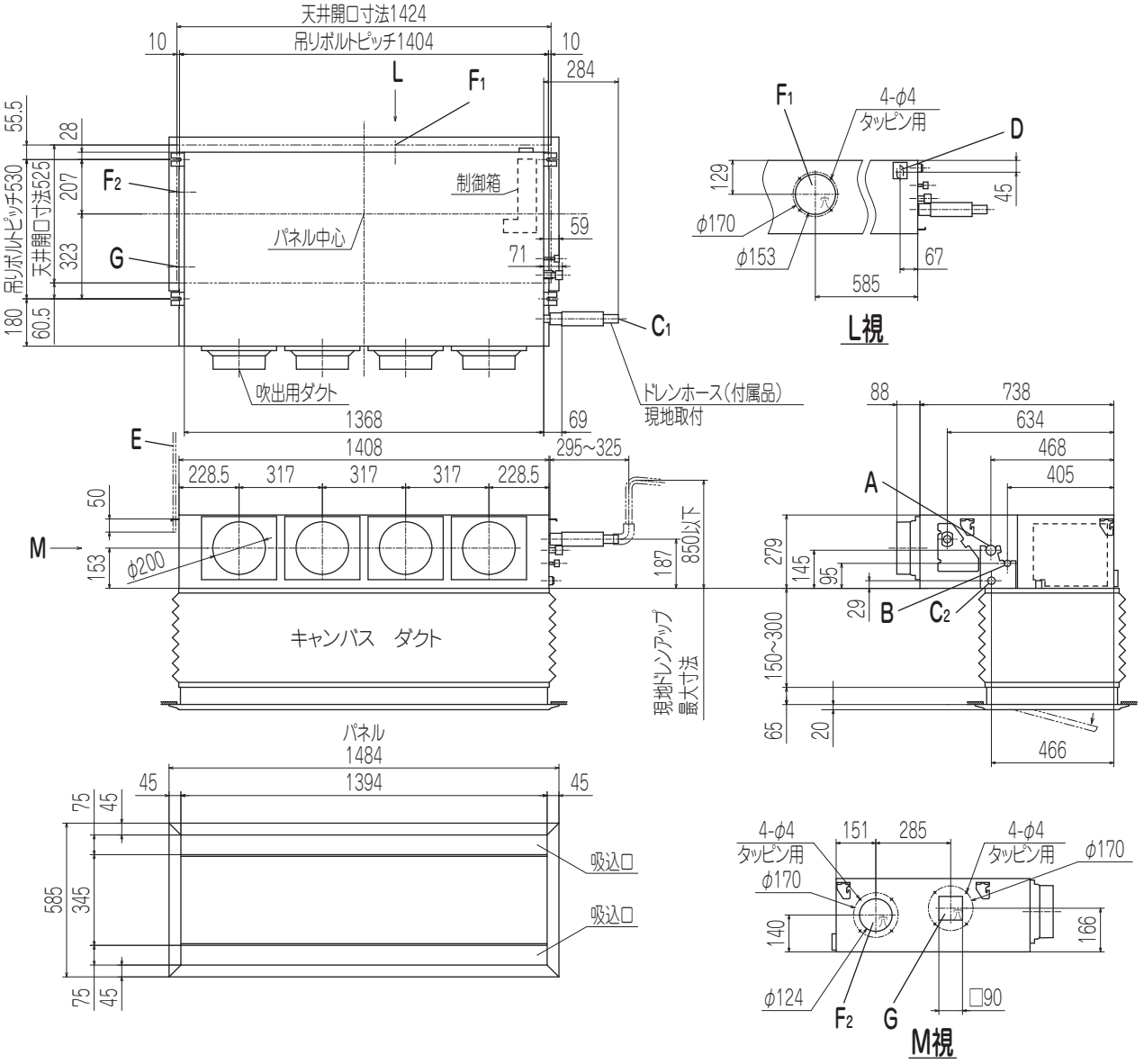
●記号説明

記号	内容		
	機種	P63	P80
A	冷媒ガス側配管	φ12.7(フレア)	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)	φ9.52(フレア)
C_1	ドレン配管接続口	VP25(I.D.25,O.D.32)	
C_2	ドレン自然排水用	VP20(I.D.20,O.D.26)	
D	電源取入口		
E	吊りボルト	M10	
F_1	OA取入口	φ150用ノックアウト	
F_2		φ125用ノックアウト	
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト	

PJG000Z601

FDRZP1125SA，1605SA

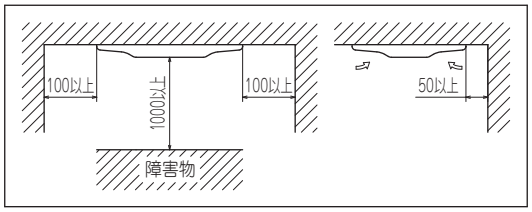
キャンバスパネル（品番：R-PNC-4AW）使用の場合



●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88（フレア）
B	冷媒液側配管	φ9.52（フレア）
C1	ドレン配管接続口	VP25（I.D.25,O.D.32）
C2	ドレン自然排水用	VP20（I.D.20,O.D.26）
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F1	OA取入口	φ150用ノックアウト
F2		φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト

据付スペース



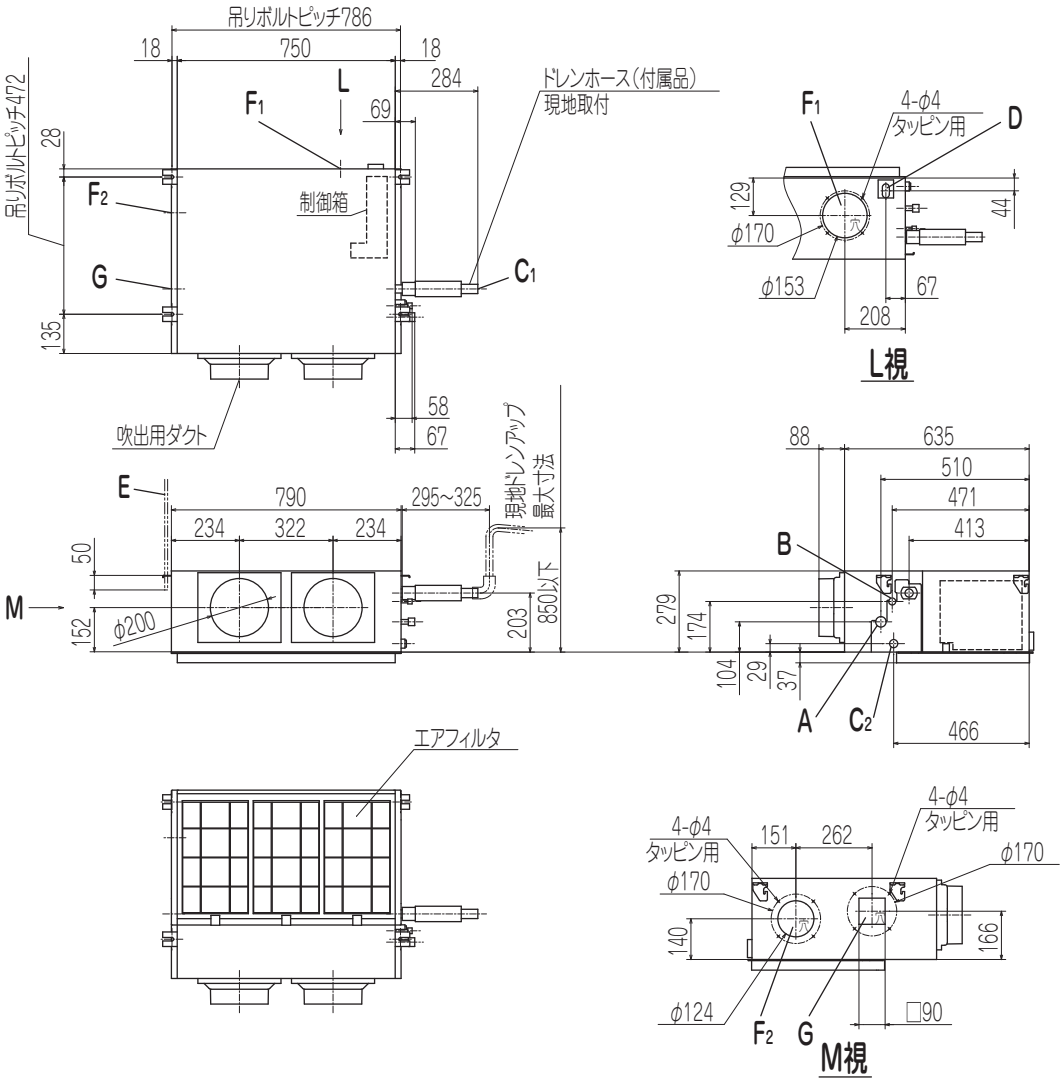
注（1）装置銘板は制御箱蓋に付いています。

PJG000Z602

FDRZP565SA

注(1) P56 ユニットをツイン，トリプル，ダブルツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。

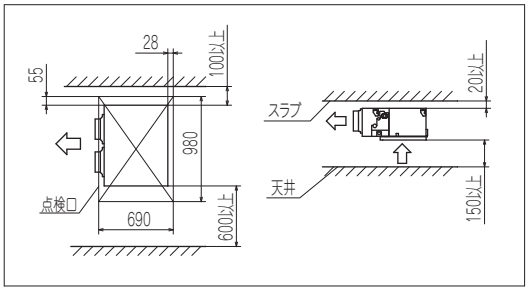
天井リターンキット（品番：R-FL-2A）使用の場合



●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ12.7(フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)
C1	ドレン配管接続口	VP25(I.D.25,O.D.32)
C2	ドレン自然排水用	VP20(I.D.20,O.D.26)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F1	OA取入口	φ150用ノックアウト
F2		φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト

据付スペース



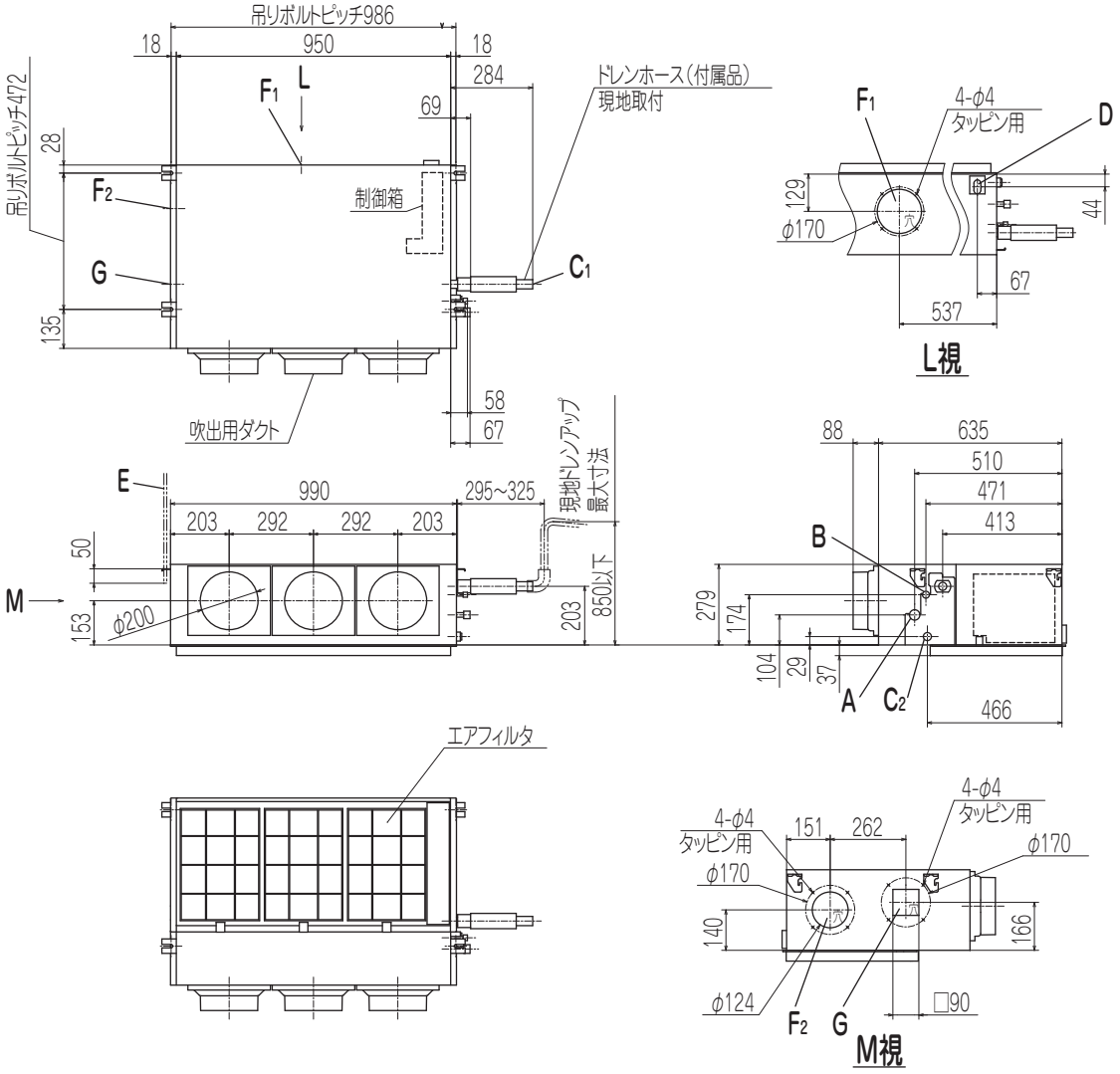
注（1）装置銘板は制御箱蓋に付いています。

PJG000Z604

FDRZP635SA，805SA

注(1) P63 ユニットをツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。

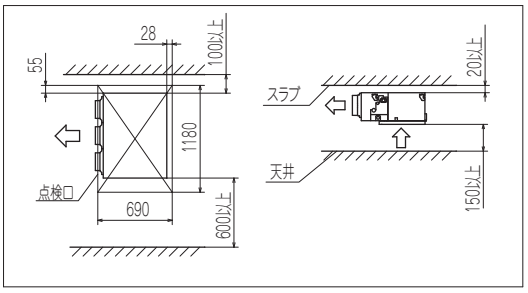
天井リターンキット（品番：R-FL-3A）使用の場合



●記号説明

記号	内容		
	機種	P63	P80
A	冷媒ガス側配管	φ12.7（フレア）	φ15.88（フレア）
B	冷媒液側配管	φ6.35（フレア）	φ9.52（フレア）
C_1	ドレン配管接続口	VP25（I.D.25,O.D.32）	
C_2	ドレン自然排水用	VP20（I.D.20,O.D.26）	
D	電源取入口		
E	吊りボルト	M10	
F_1	OA取入口	φ150用ノックアウト	
F_2		φ125用ノックアウト	
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト	

据付スペース

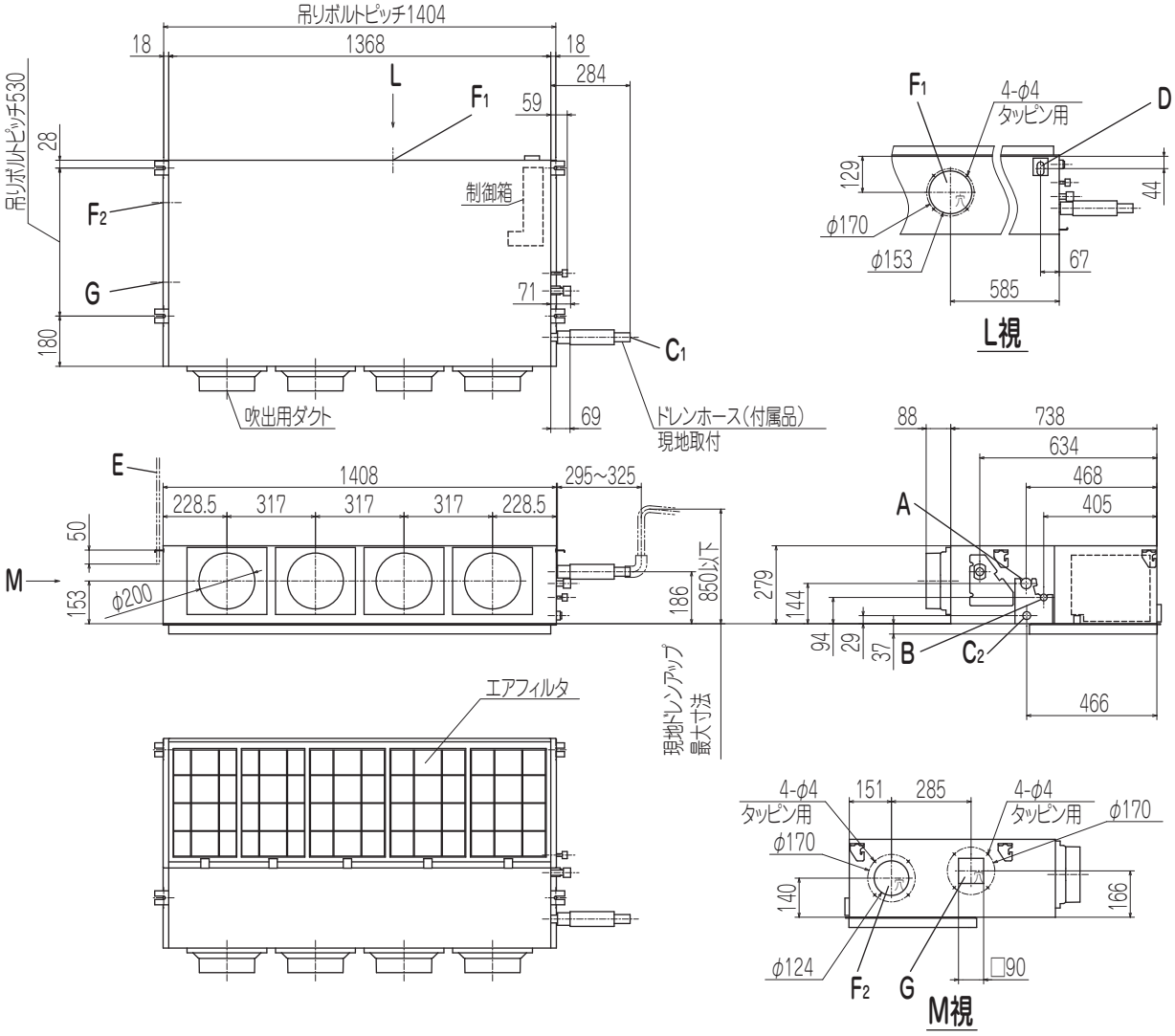


注（1）装置銘板は制御箱蓋に付いています。

PJG000Z605

FDRZP1125SA，1605SA

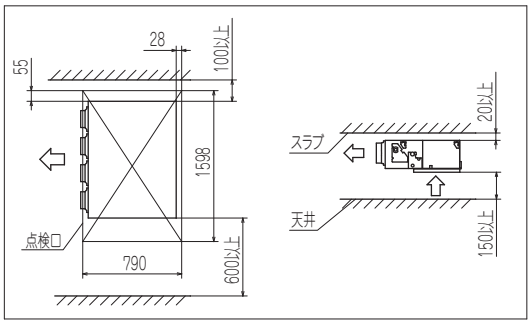
天井リターンキット（品番：R-FL-4A）使用の場合



●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ9.52(フレア)
C1	ドレン配管接続口	VP25(I.D.25,O.D.32)
C2	ドレン自然排水用	VP20(I.D.20,O.D.26)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F1	OA取入口	φ150用ノックアウト
F2		φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト

据付スペース



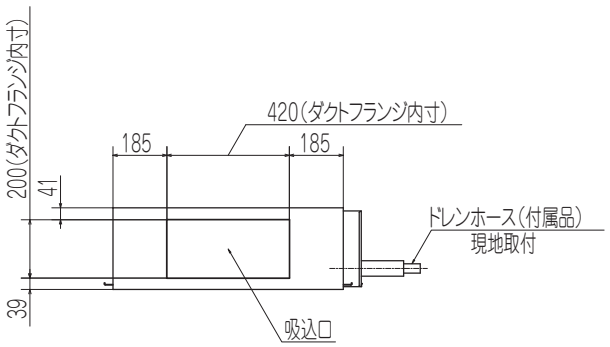
注（1）装置銘板は制御箱蓋に付いています。

PJG000Z606

(e) 高静圧ダクト形（FDU）

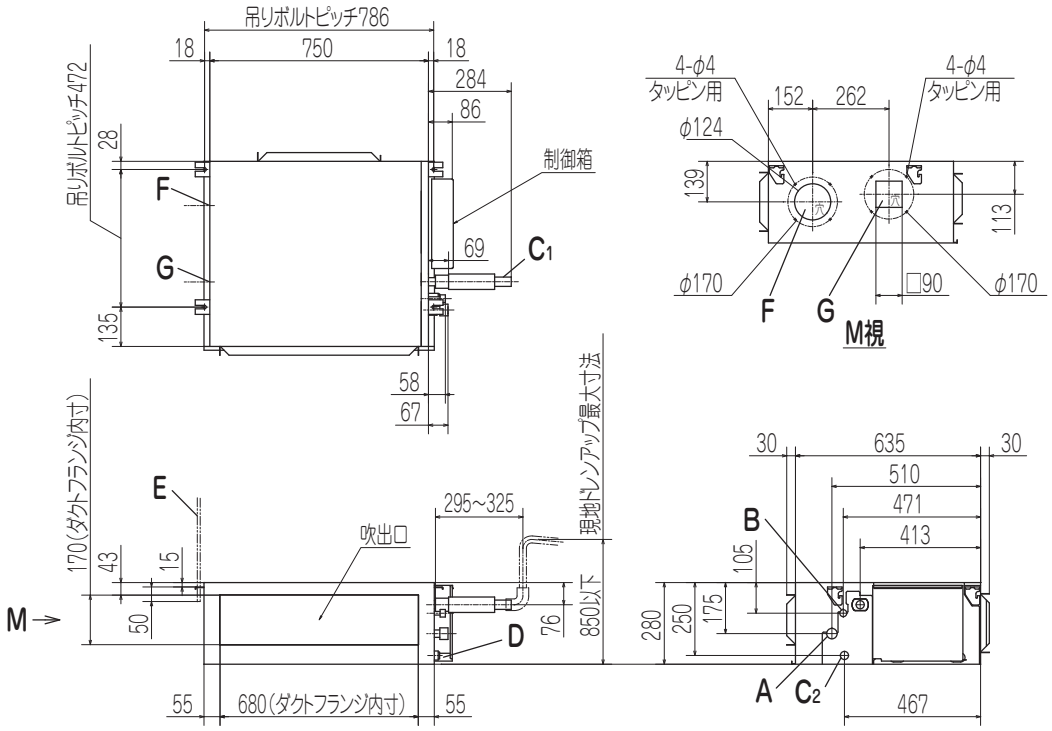
● 標準仕様

FDUZP565SA



●記号説明

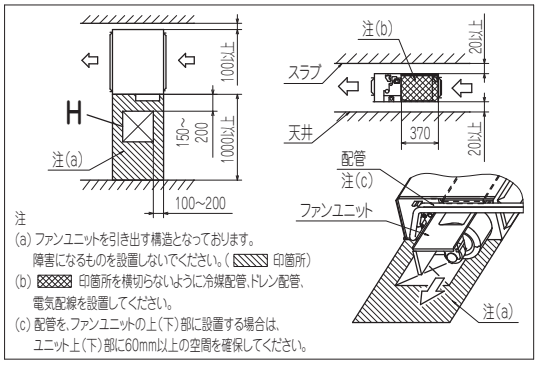
記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ12.7(フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)
C_1	ドレン配管接続口	VP25(I.D.25,O.D.32)
C_2	ドレン自然排水用	VP20(I.D.20,O.D.26)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F	OA取入口	φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト
H	点検口	450×450



室内ユニット据付スペース

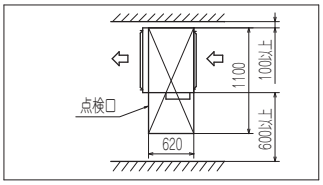
必ず吸込・吹出口にダクトを接続し、ファンおよび他の内部部品に手が触れない様に配慮してください。また、吸込ダクトにはエアフィルタを取付けてください。
吸込側を直吸込みで使用する場合は、吸込口にエアフィルタを取付けてください。
また、据付高さは2.5m以上としてください。
据付時には、下記2ケースのどちらかのサービススペースを確保してください。

(ケース1) ユニット側面から



注
(a) ファンユニットを引き出す構造となっております。
障害になるものを設置しないでください。(印箇所)
(b) 印箇所を横切らないように冷媒配管、ドレン配管、
電気配線を設置してください。
(c) 配管を、ファンユニットの上(下)部に設置する場合は、
ユニット上(下)部に60mm以上の空間を確保してください。

(ケース2) ユニット下面から

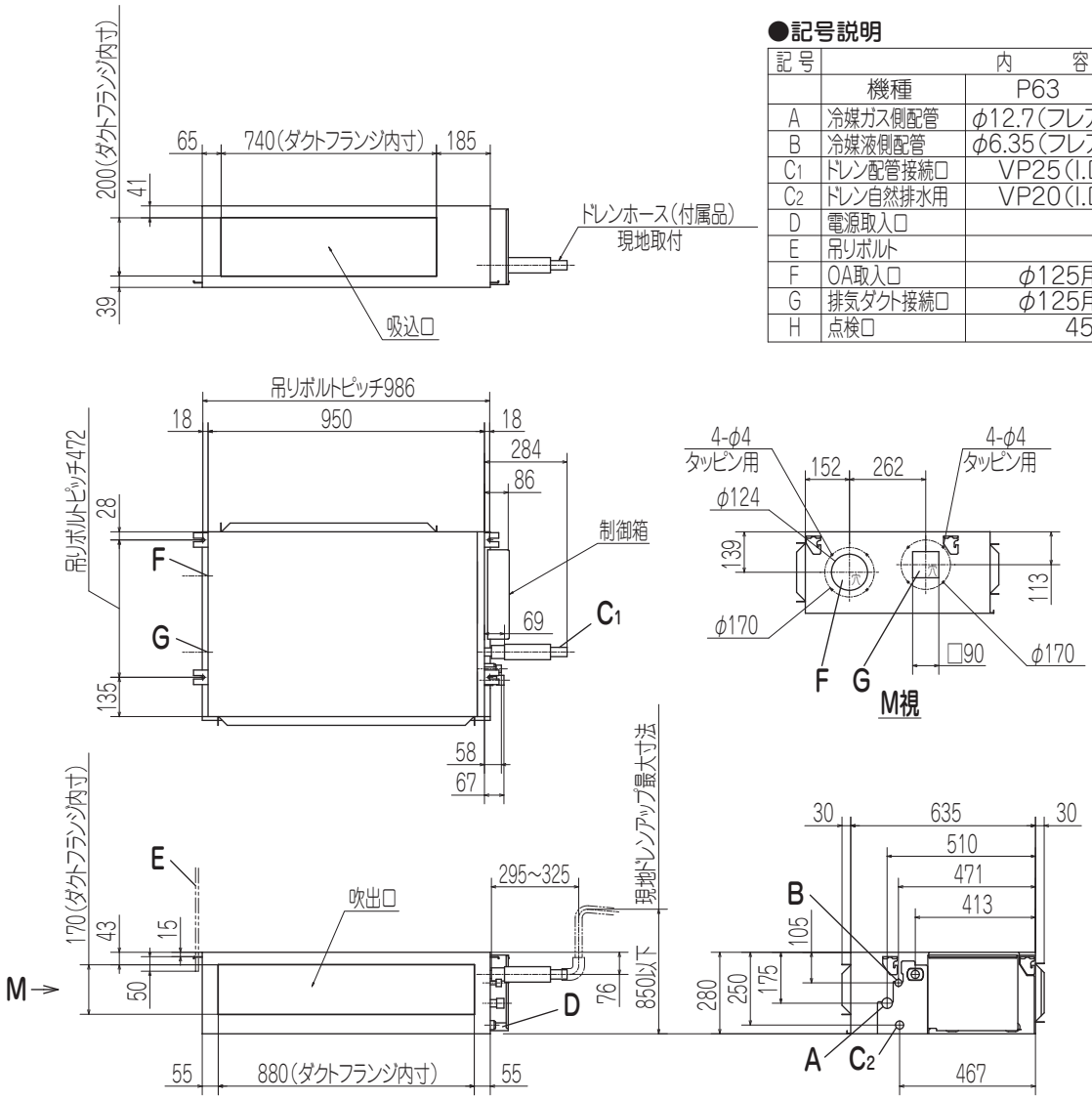


注 (1) 装置銘板は制御箱蓋に付いています。

PJG000Z611

FDUZP635SA，805SA

注(1) P63 ユニットをツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。



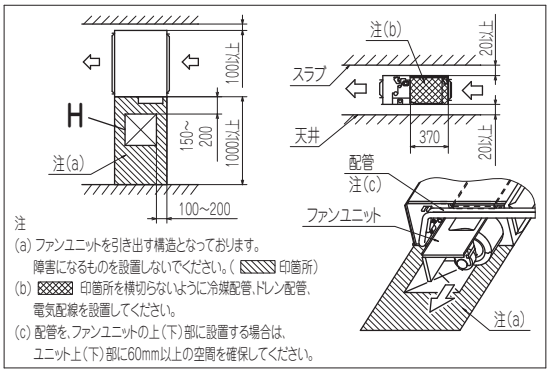
●記号説明

記号	内容		
	機種	P63	P80
A	冷媒ガス側配管	φ12.7(フレア)	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)	φ9.52(フレア)
C_1	ドレン配管接続口	VP25(I.D.25,O.D.32)	
C_2	ドレン自然排水用	VP20(I.D.20,O.D.26)	
D	電源取入口		
E	吊りボルト	M10	
F	OA取入口	φ125用ノックアウト	
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト	
H	点検口	450×450	

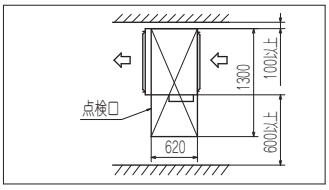
室内ユニット据付スペース

必ず吸込･吹出口にダクトを接続し､ファンおよび他の内部部品に手が触れない様に配慮してください｡また､吸込ダクトにはエアフィルタを取付けてください。
吸込側を直吸込みで使用する場合は､吸込口にエアフィルタを取付けてください。
また､据付高さは2.5m以上としてください。
据付時には､下記2ケースのどちらかのサービススペースを確保してください。

(ケース1) ユニット側面から



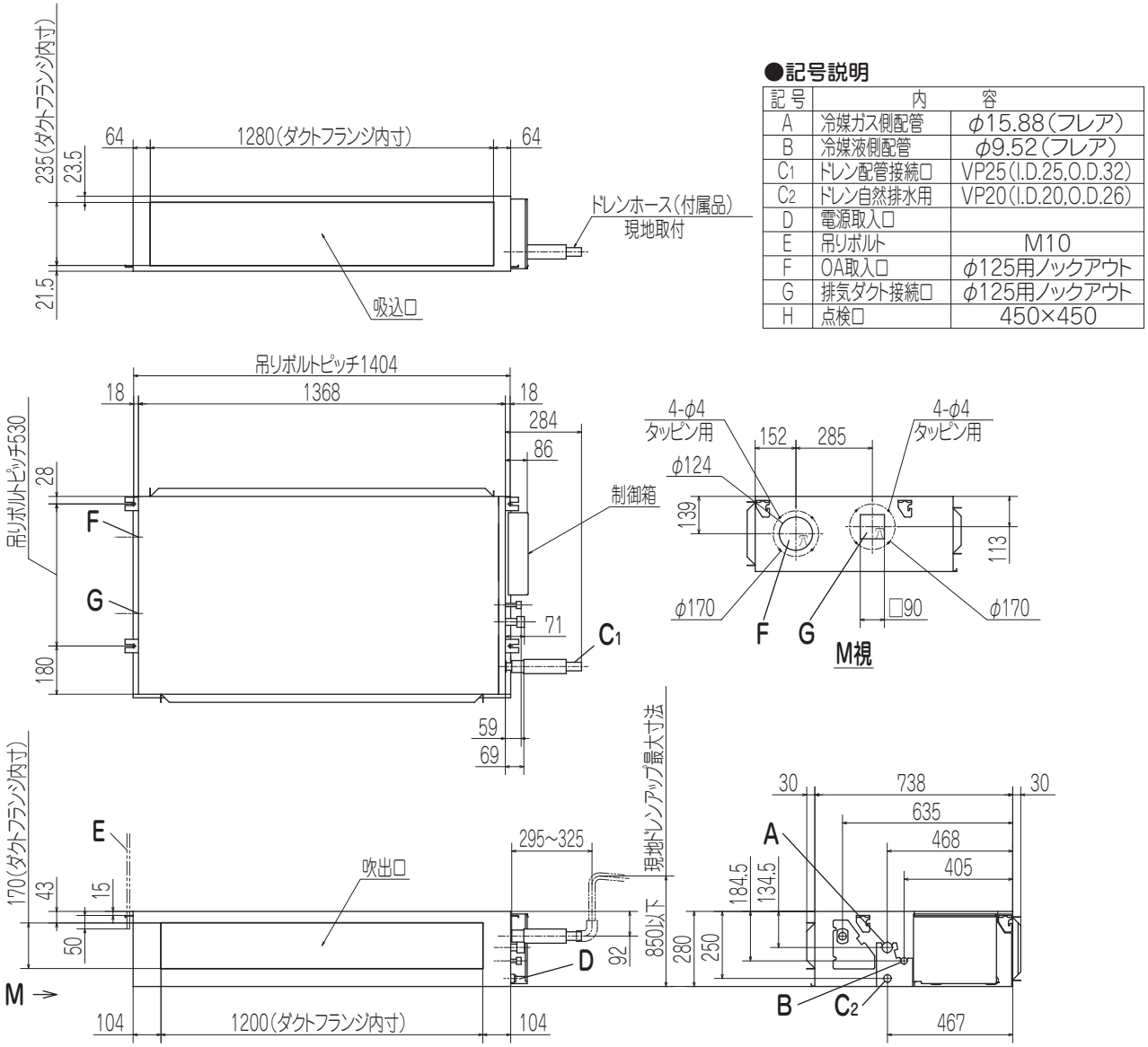
(ケース2) ユニット下面から



注（1）装置銘板は制御箱蓋に付いています。

PJG000Z612

FDUZP1125SA，1605SA



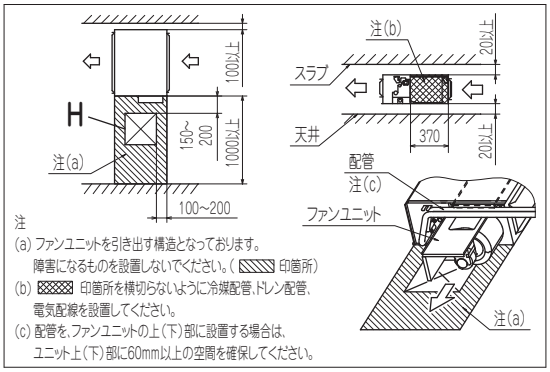
●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ9.52(フレア)
C1	ドレン配管接続口	VP25(I.D.25,O.D.32)
C2	ドレン自然排水用	VP20(I.D.20,O.D.26)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F	OA取入口	φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト
H	点検口	450×450

室内ユニット据付スペース

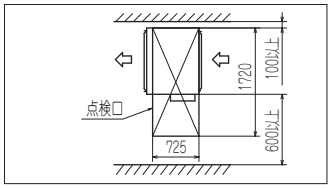
吸込･吹出口にダクトを接続し､ファンおよび他の内部部品に手が触れない様に配慮してください。また､吸込ダクトにはエアフィルタを取付けてください。
吸込側を直吸込みで使用する場合は､吸込口にエアフィルタを取付けてください。
また､据付高さは2.5m以上としてください。
据付時には､下記2ケースのどちらかのサービススペースを確保してください。

(ケース1) ユニット側面から



注
(a) ファンユニットを引き出す構造となっております。
障害になるものを設置しないでください。(▨ 印箇所)
(b) ▩ 印箇所を横切らないように冷媒配管､ドレン配管､電気配線を設置してください。
(c) 配管を､ファンユニットの上(下)部に設置する場合は､ユニット上(下)部に60mm以上の空間を確保してください。

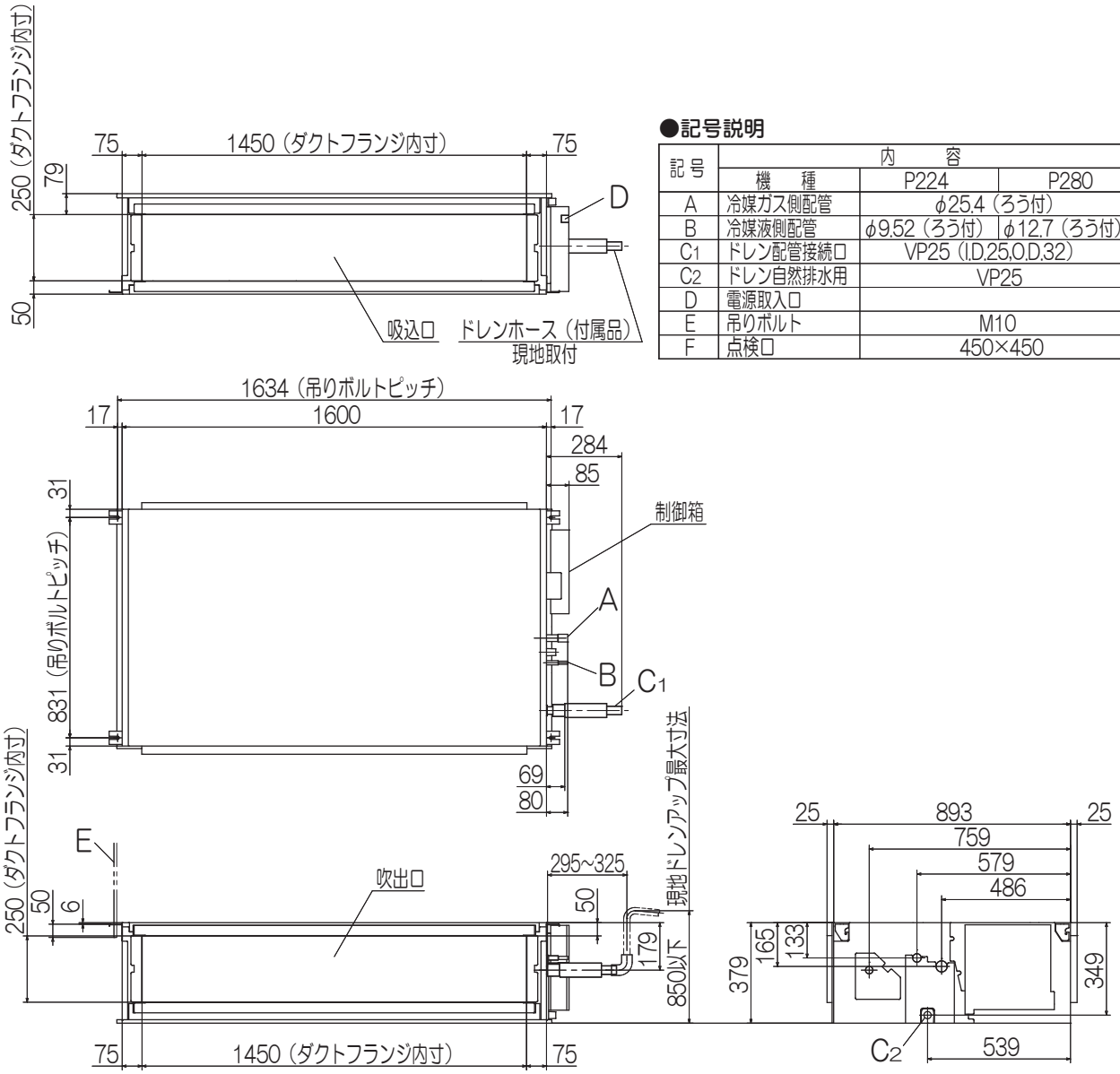
(ケース2) ユニット下面から



注 (1) 装置銘板は制御箱蓋に付いています。

PJG000Z613

FDUVP2245A, 2805A



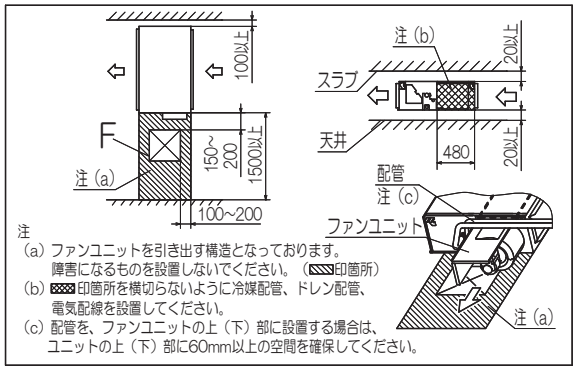
●記号説明

記号	内容		
	機種	P224	P280
A	冷媒ガス側配管	φ25.4（ろう付）	
B	冷媒液側配管	φ9.52（ろう付）	φ12.7（ろう付）
C1	ドレン配管接続口	VP25（I.D.25,O.D.32）	
C2	ドレン自然排水用	VP25	
D	電源取入口		
E	吊りボルト	M10	
F	点検口	450×450	

室内ユニット据付スペース

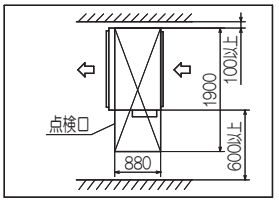
吸込・吹出口にダクトを接続し、ファンおよび他の内部部品に手が触れない様に配慮してください。また、吸込ダクトにはエアフィルタを取付けてください。
吸込側を直吸込みで使用する場合は、吸込口にエアフィルタを取付けてください。
また、据付高さは2.5m以上としてください。
据付時には、下記2ケースのどちらかのサービススペースを確保してください。

（ケース1） ユニット側面から



注
（a）ファンユニットを引き出す構造となっております。
障害になるものを設置しないでください。（▨印箇所）
（b）▩印箇所を横切らないように冷媒配管、ドレン配管、
電気配線を設置してください。
（c）配管を、ファンユニットの上（下）部に設置する場合は、
ユニットの上（下）部に60mm以上の空間を確保してください。

（ケース2） ユニット下面から

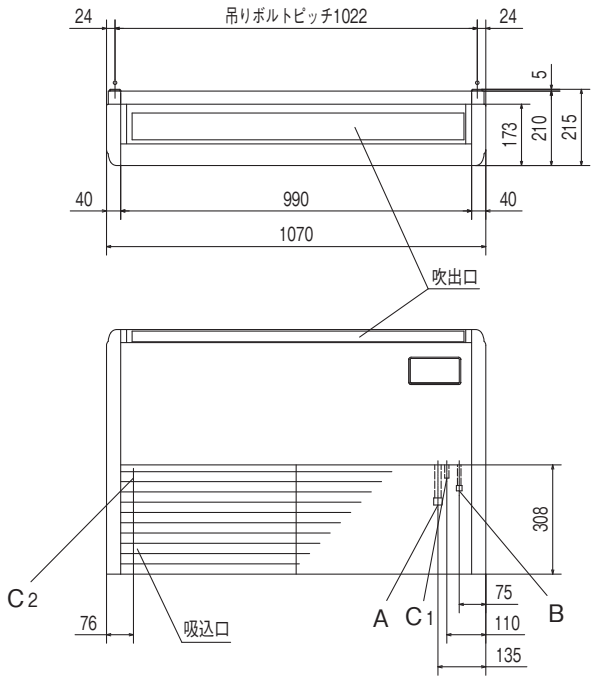


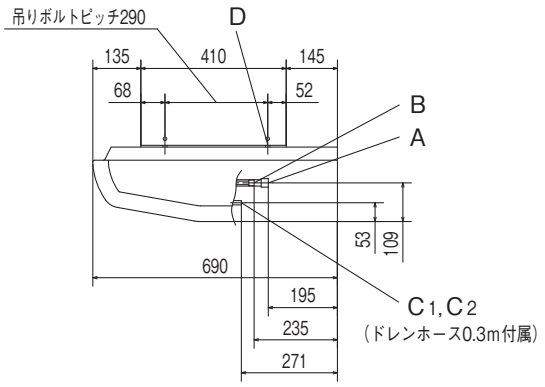
注（1）装置銘板は制御箱蓋に付いています。

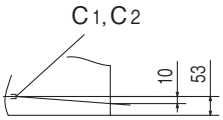
PJG000Z621

(f) 天吊形（FDE）
FDEZP565SA

注(1) P56 ユニットをツイン，トリプルに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。



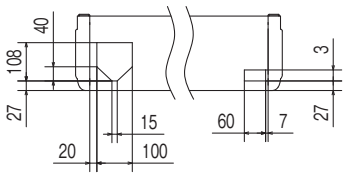




注）ドレンホースはユニット内で１０mmの
ドレン勾配をとってください。

● 記号説明

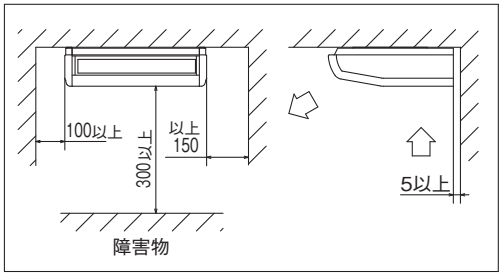
記号	内　容	
A	冷媒ガス側配管	φ12.7（フレア）
B	冷媒液側配管	φ6.35（フレア）
C 1,2	ドレン配管接続口	VP20（I.D20,O.D26）
D	吊りボルト用穴	M10
E	後抜き用穴	リッド
F	上抜き用穴	リッド
G	左後ろ抜きドレン用穴	ノックアウト



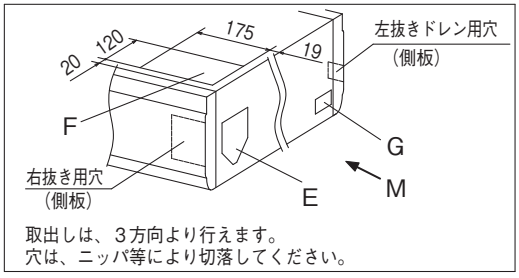
M視

注（1） 装置銘板は吸込グリル内のファンケース正面についています。

据付スペース



上方後方取出穴位置

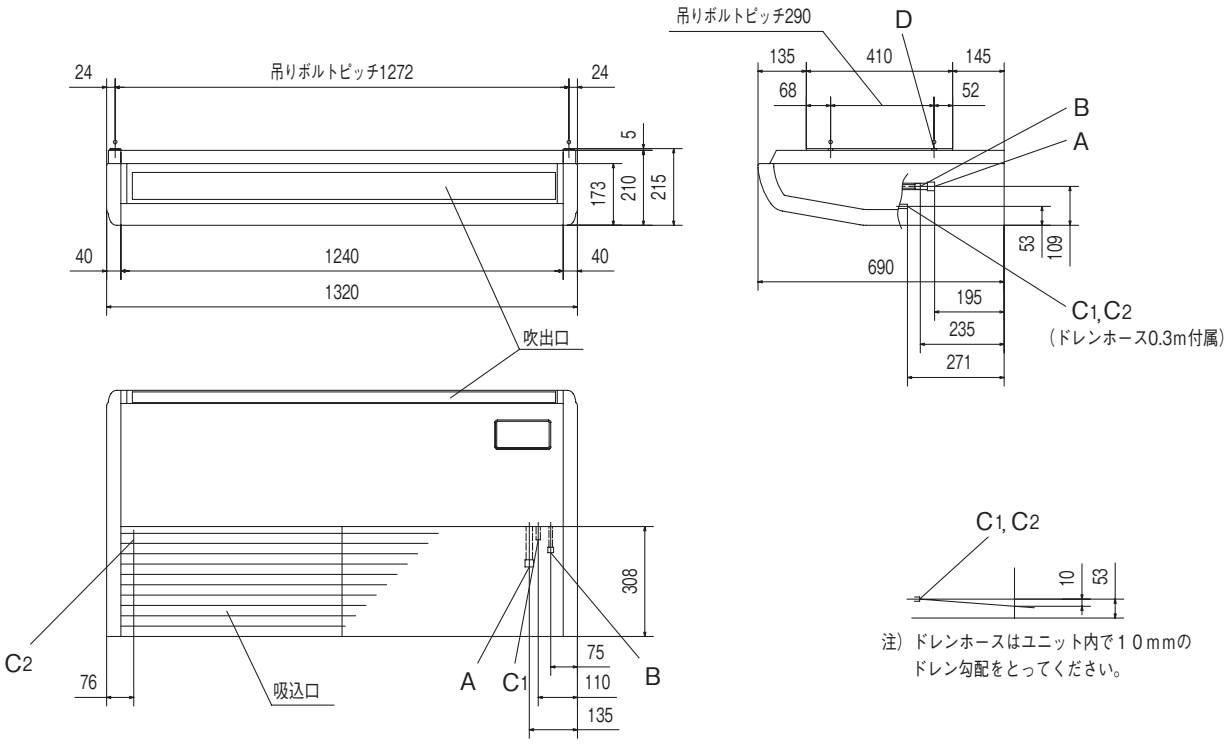


取出しは、３方向より行えます。
穴は、ニッパ等により切落してください。

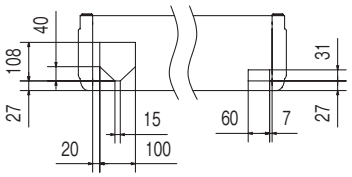
隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。

PFA004Z106

FDEZP635SA，805SA



注）ドレンホースはユニット内で１０mmの
ドレン勾配をとってください。



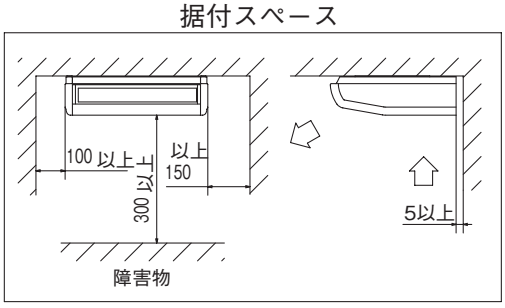
M視

●記号説明

記号	内　容		
	機種	P63	P80
A	冷媒ガス側配管	φ12.7(フレア)	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)	φ9.52(フレア)
C 1,2	ドレン配管接続口	VP20(I.D.20,O.D.26)	
D	吊りボルト用穴	M10	
E	後抜き用穴	リッド	
F	上抜き用穴	リッド	
G	左後ろ抜きドレン用穴	ノックアウト	

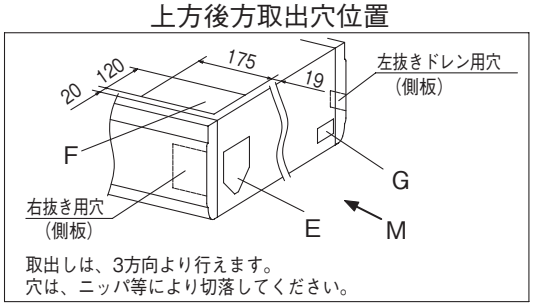
注（1） 装置銘板は吸込グリル内のファンケース正面についています。

据付スペース



隣接設置の場合は、ユニット間を4500以上離してください。

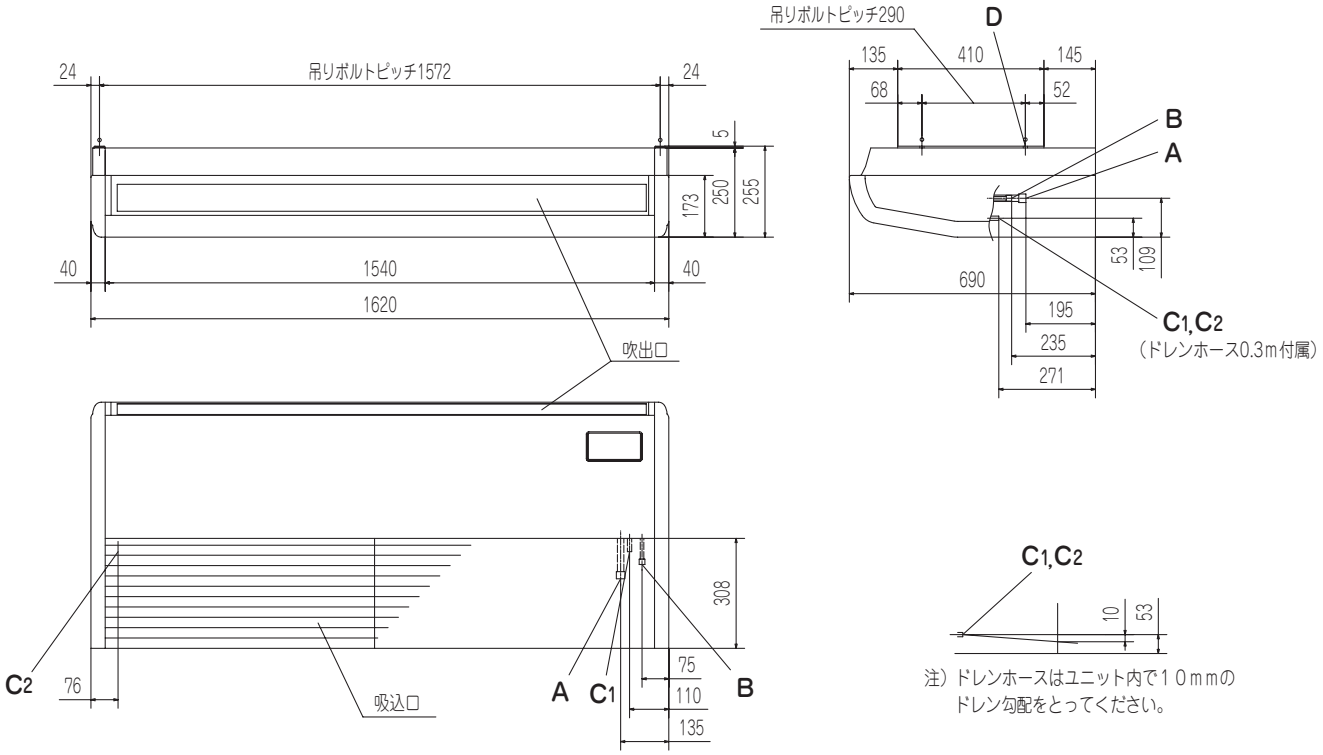
上方後方取出穴位置



取出しは、3方向より行えます。
穴は、ニッパ等により切落してください。

PFA004Z107

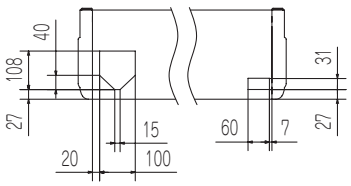
FDEZP1605SA



注）ドレンホースはユニット内で10mmの
ドレン勾配をとってください。

●記号説明

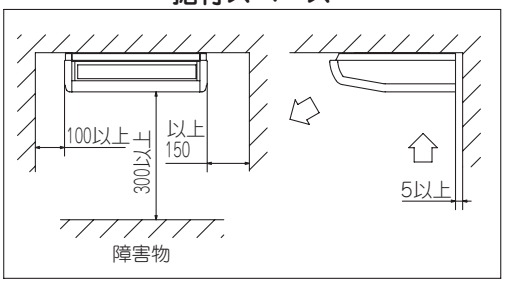
記号	内　容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88（フレア）
B	冷媒液側配管	φ9.52（フレア）
$C_{1,2}$	ドレン配管接続口	VP20（I.D.20, O.D.26）
D	吊りボルト用穴	M10
E	後抜き用穴	リッド
F	上抜き用穴	リッド
G	左後ろ抜きドレン用穴	ノックアウト



M視

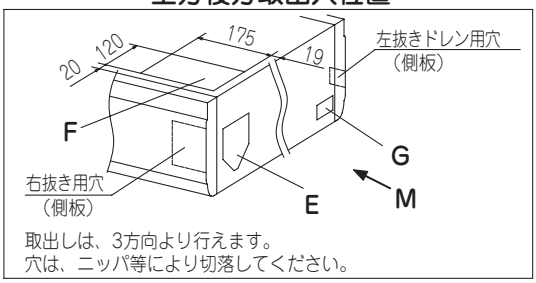
注（1） 装置銘板は吸込グリル内のファンケース正面についています。

据付スペース



隣接設置の場合は、ユニット間を5000以上離してください。

上方後方取出穴位置



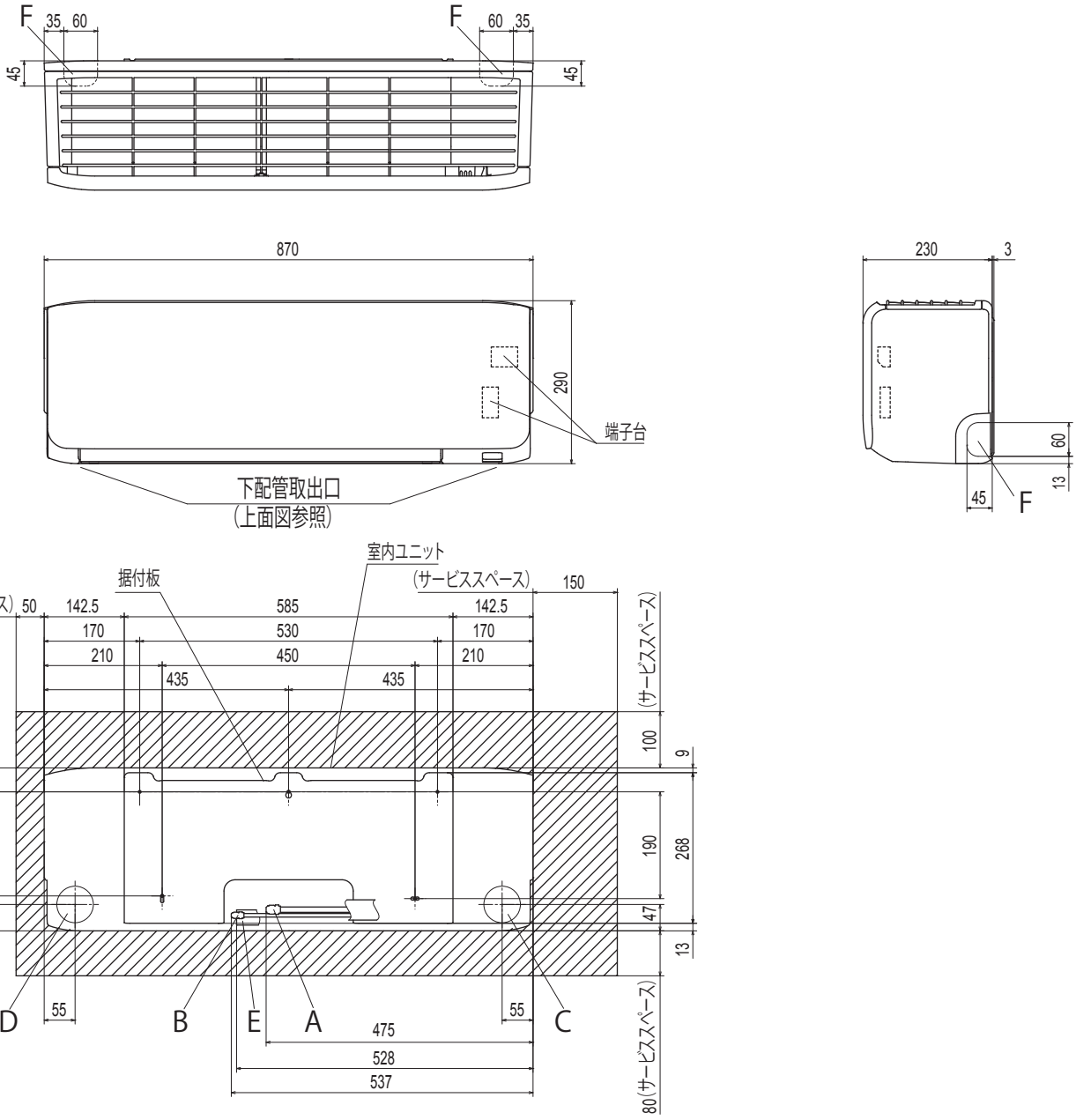
取出しは、3方向より行えます。
穴は、ニッパ等により切落してください。

PFA004Z108

(g) 壁掛形（FDK）

FDKZP565SA

注(1) P56 ユニットをツイン，トリプルに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。



正面から見た据付位置図および据付スペース

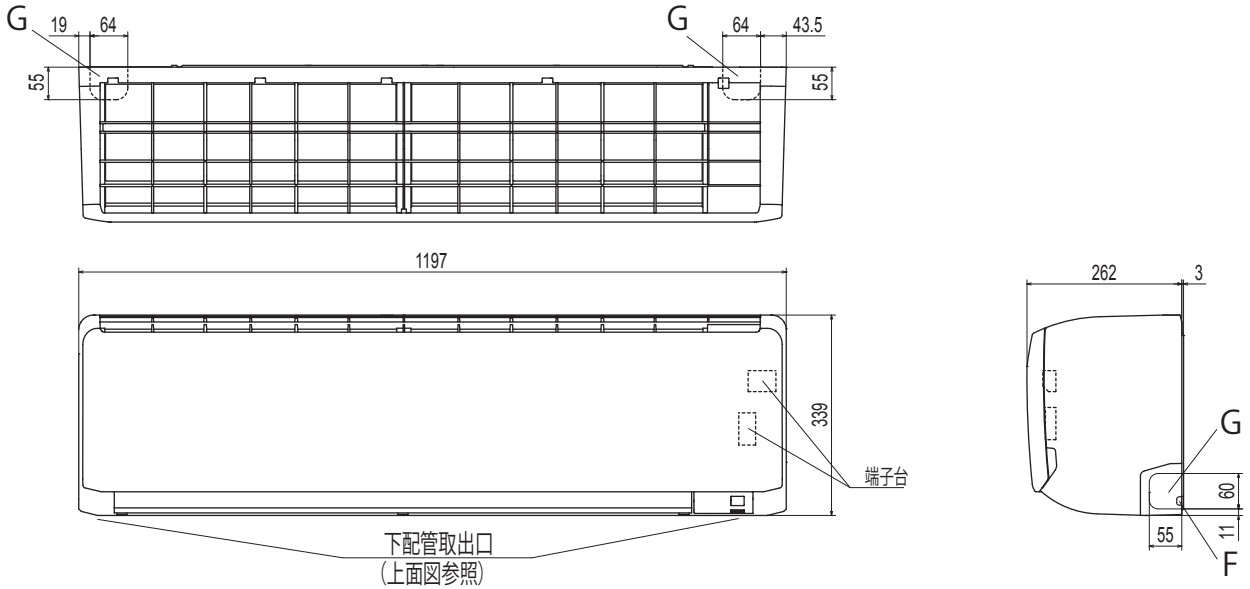
● 記号説明

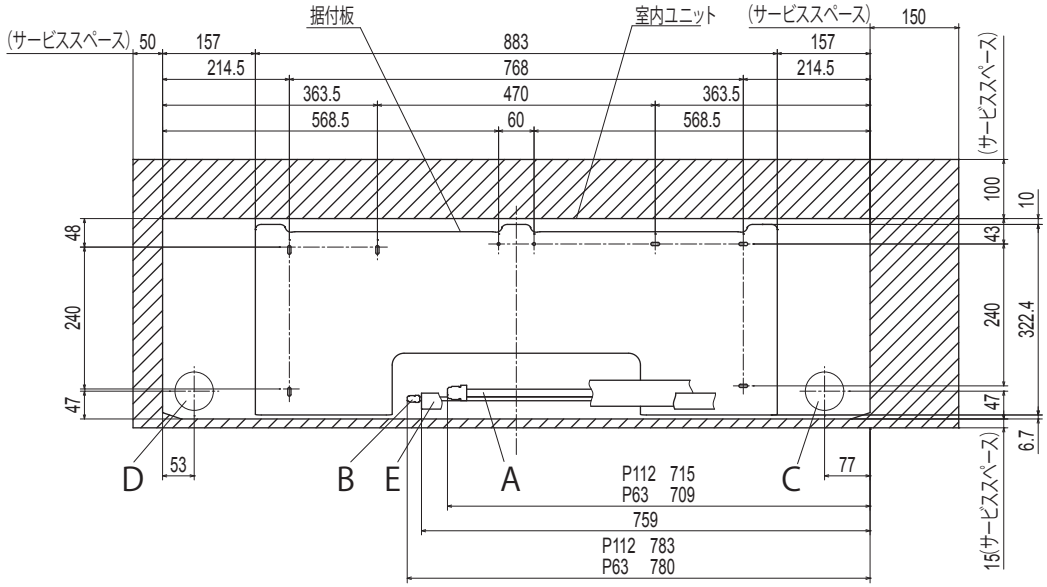
記号	内　　容	
A	冷媒ガス側配管	φ12.7(1／2") (フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(1／4") (フレア)
C	配管右後方抜壁穴	(φ65)
D	配管左後方抜壁穴	(φ65)
E	ドレンホース	VP16
F	配管取出口(左右)	

注(1)装置銘板はパネル右面に付いています。

PHA001Z150

FDKZP635SA，1125SA





正面から見た据付位置図および据付スペース

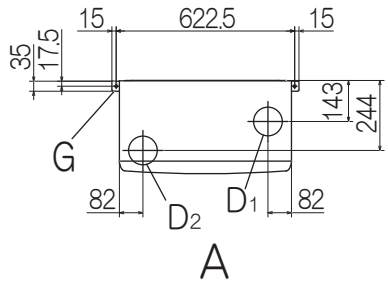
● 記号説明

記号	内容		
	機種	P63	P112
A	冷媒ガス側配管	φ12.7(1/2")(フレア)	φ15.88(5/8")(フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(1/4")(フレア)	φ9.52(3/8")(フレア)
C	配管右後方抜壁穴	(φ65)	
D	配管左後方抜壁穴	(φ65)	
E	ドレンホース	VP16	
F	電源コード取出口(左右)		
G	配管取出口(左右)		

注(1)装置銘板は下部パネルに付いています。

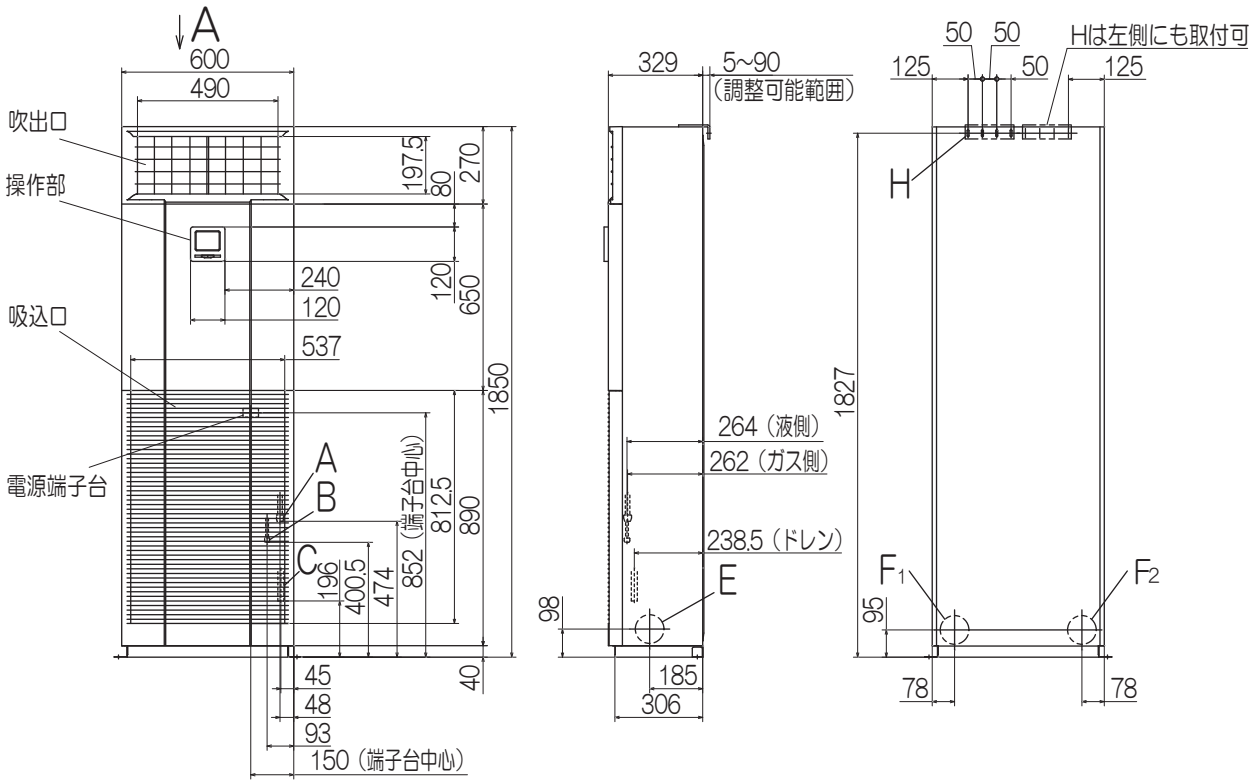
PHA001Z151

(h) 床置形（FDF）
FDFZP635SA, 805SA, 1605SA

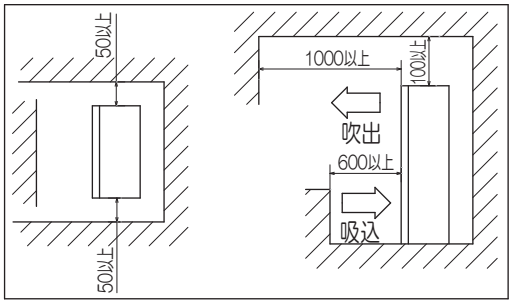


●記号一覧

記号	内容		
	機種	P63	P80,160
A	冷媒ガス側配管	φ12.7（フレア）	φ15.88（フレア）
B	冷媒液側配管	φ6.35（フレア）	φ9.52（フレア）
C	ドレン配管接続口	VP20	
$D_{1,2}$	下抜き用穴	φ100（樹脂キャップ有）	
E	横抜き穴兼新鮮空気取入口（左右共）	φ100ノックアウト	
$F_{1,2}$	後抜き用穴	φ100ノックアウト	
G	床面固定用金具	M8用 2か所	
H	転倒防止金具	4-7×25（長穴）	



据付スペース



注（1）装置銘板は吸込口グリルを開けて、左側の側板下部に貼付してあります。

（2）P63 ユニットをツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の液管サイズをφ 9.52 としてください。

PGA000Z833

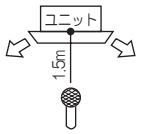
3. 運転音

運転音は，JIS規格に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は，周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。

(1) 室内ユニット

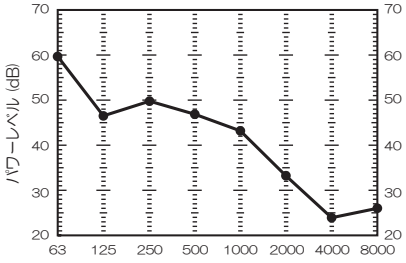
(a) 天井埋込形 4 方向吹出し（FDT）

(測定条件：JIS B 8616・冷房　測定場所：無響室
マイク位置：ユニット中央下方1.5m)



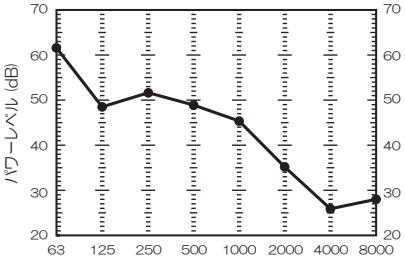
(i) パワーレベル

FDTZP635SA（P40,P45設定）



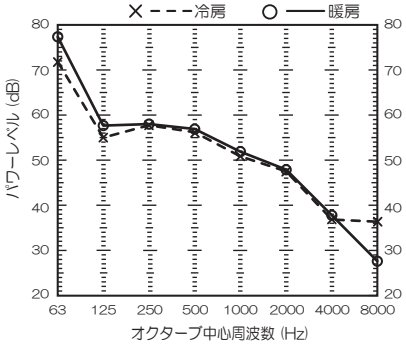
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

FDTZP635SA（P50,P56,P63設定）

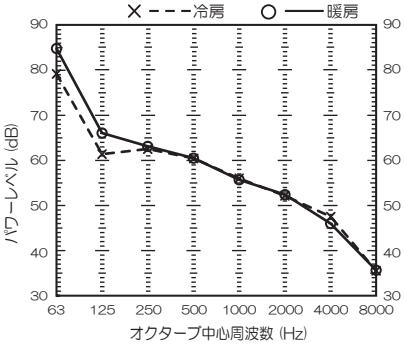


注(1) 暖房時もほぼ同じです。

FDTZP805SA

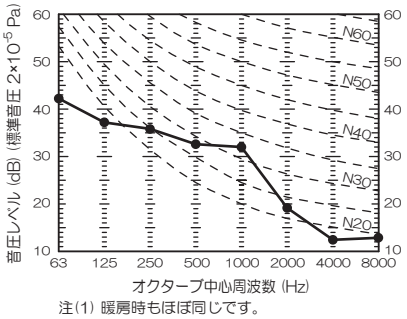


FDTZP1605SA（P112,P140,P160設定）



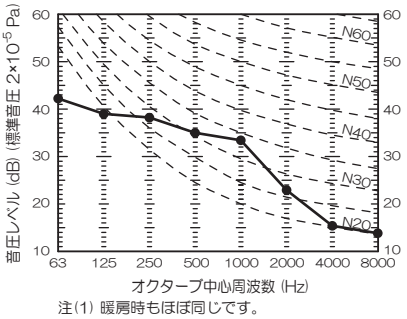
(ii) 音圧レベル

FDTZP635SA（P40,P45設定）



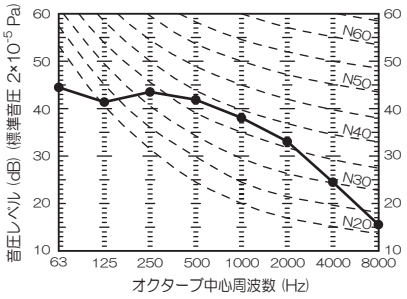
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

FDTZP635SA（P50,P56,P63設定）



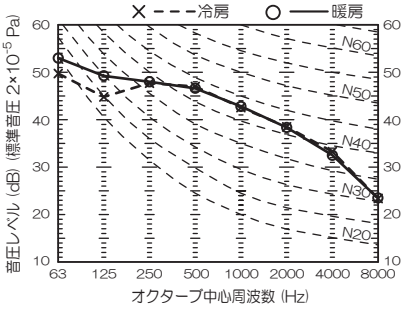
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

FDTZP805SA



注(1) 暖房時もほぼ同じです。

FDTZP1605SA（P112,P140,P160設定）



FDT以外の室内ユニットおよび室外ユニットについては，2018･2019冷熱ハンドブックをご覧ください。

4. 電 気 配 線 図

(1) 室内ユニット

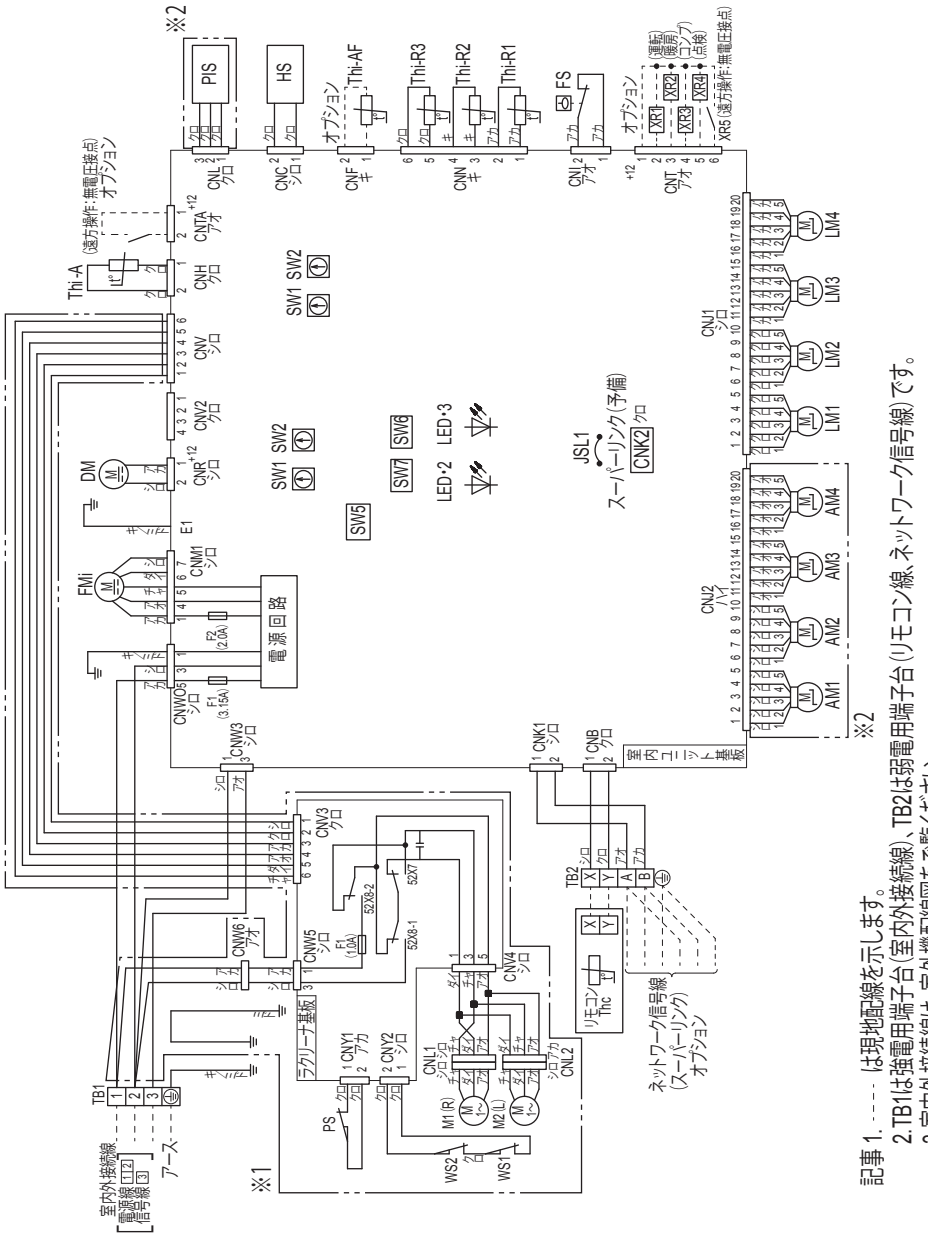
(a) 天井埋込形4方向吹出し(FDT)

FDTZP635SA, 715SA, 805SA, 1605SA

注(1) 本図はエアコン本体側部分について示しています。お掃除パネル部については，次ページをご覧ください。

●記号説明

記号	名称
AM1~4	エアフレックスモータ
CNB~Z	コネクタ
DM	ドレンポンプモータ
F1,2	ヒューズ(室内ユニット基板)
F1	ヒューズ(ラクリーナ基板)
FMi	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
HS	湿度センサ
JSL1	スーパーリンク(予備)切換
LED･2	表示灯(緑･マイコン正常表示)
LED･3	表示灯(赤･点検表示)
LM1~4	ルーバモータ
M1,2	ラクリーナモータ
PIS	人感センサ
PS	パネルスイッチ
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW5	プルーラル機 親/子設定
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック･ドレン試運転
SW7-2	スーパーリンク自動判定/旧固定
SW7-3	室内アドレスNo.100の位
TB1	端子台(電源)(□印)
TB2	端子台(通信)(□印)
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-AF	吹出空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
WS1,2	ラクリーナワイヤゆるみ検知スイッチ
■印	閉端接続子
52X7	止逆転用リレー
52X8-1,2	M1,M2用リレー

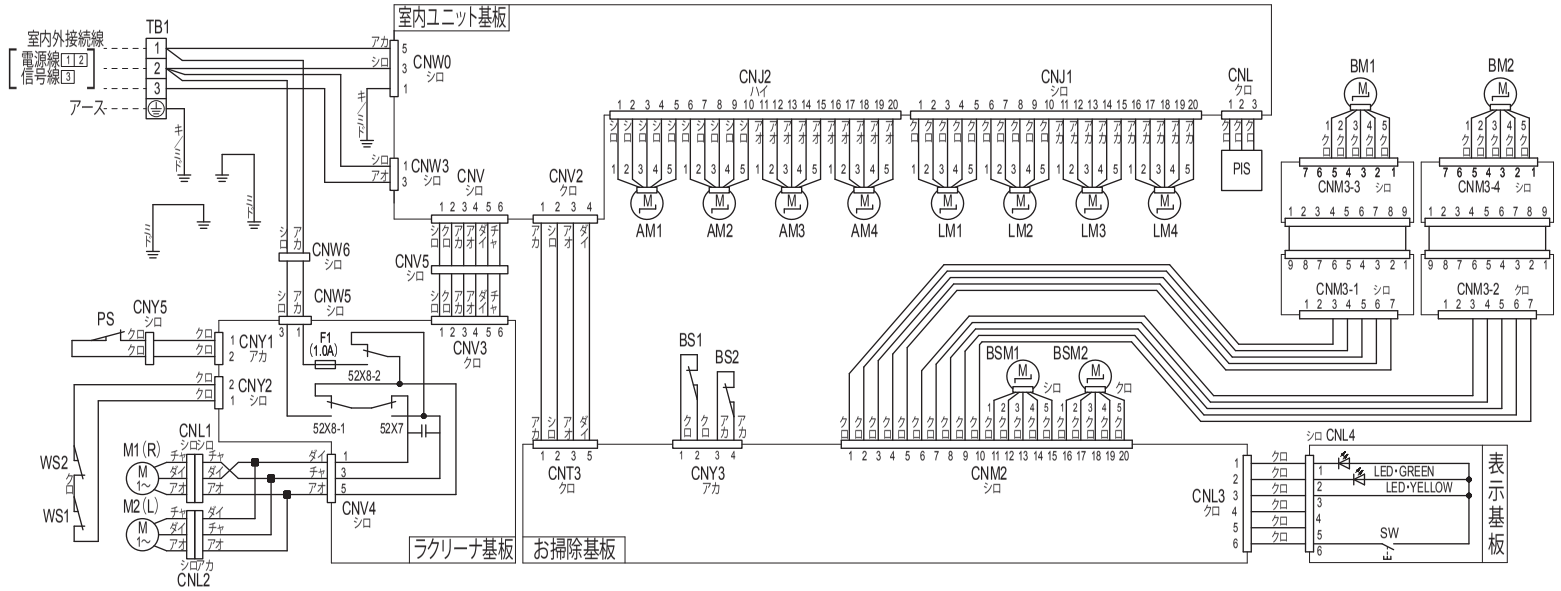


記事 1. ----- は現地配線を示します。
2. TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。
3. 室内外接続線は、室外機配線図をご覧ください。
4. リモコン配線は0.3mm²×2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。
5. 集中制御する場合はネットワーク信号線を弱電用端子台に接続してください。
6. ネットワーク(スーパーリンク)信号線は、シールド線を使用してください。
・シールド線、太さ1.25mm²を使用する場合は1000mまで
・シールド線、太さ0.75mm²を使用する場合は1500mまで
7. リモコン配線、ネットワーク信号線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
8. 標準パネルまたはエアフレックスパネルの場合は、※1のラクリーナ基板および配線等はありません。
9. 標準パネルの場合は、※2の配線等はありません。

PJF000Z531
PJF000Z532
PJF000Z533

FDTZP635SA，715SA，805SA，1605SA

注(1)　本図はお掃除パネル部分について示しています。エアコン本体側部分については，前ページをご覧ください。



●記号説明

記　号	名　称
AM1～4	エアフレックスモータ
BM1,2	ブラシモータ
BS1,2	ブラシ位置検知スイッチ
BSM1,2	シャフト駆動モータ
CNA～Z	コネクタ
F 1	ヒューズ
LED･GREEN	表示灯(緑)右表参照
LED･YELLOW	表示灯(黄)右表参照
LM1～4	ルーバモータ
M1,2	ラクリーナモータ
PIS	人感センサ
PS	パネルスイッチ
SW	バックアップスイッチ
TB1	端子台(電源)(□印)
WS1,2	ラクリーナワイヤゆるみ検知スイッチ
■印	閉端接続子
52X7	正逆転用リレー
52X8-1,2	M1,M2用リレー

パネル表示部	内　容
緑の点灯	お掃除運転中
黄の点灯	ダスト回収表示
緑の連続点滅	通信異常
緑の1回点滅	位置検知不能
緑の2回点滅	作動不良
緑の3回点滅	誤検知
緑の4回点滅	パネルSW作動

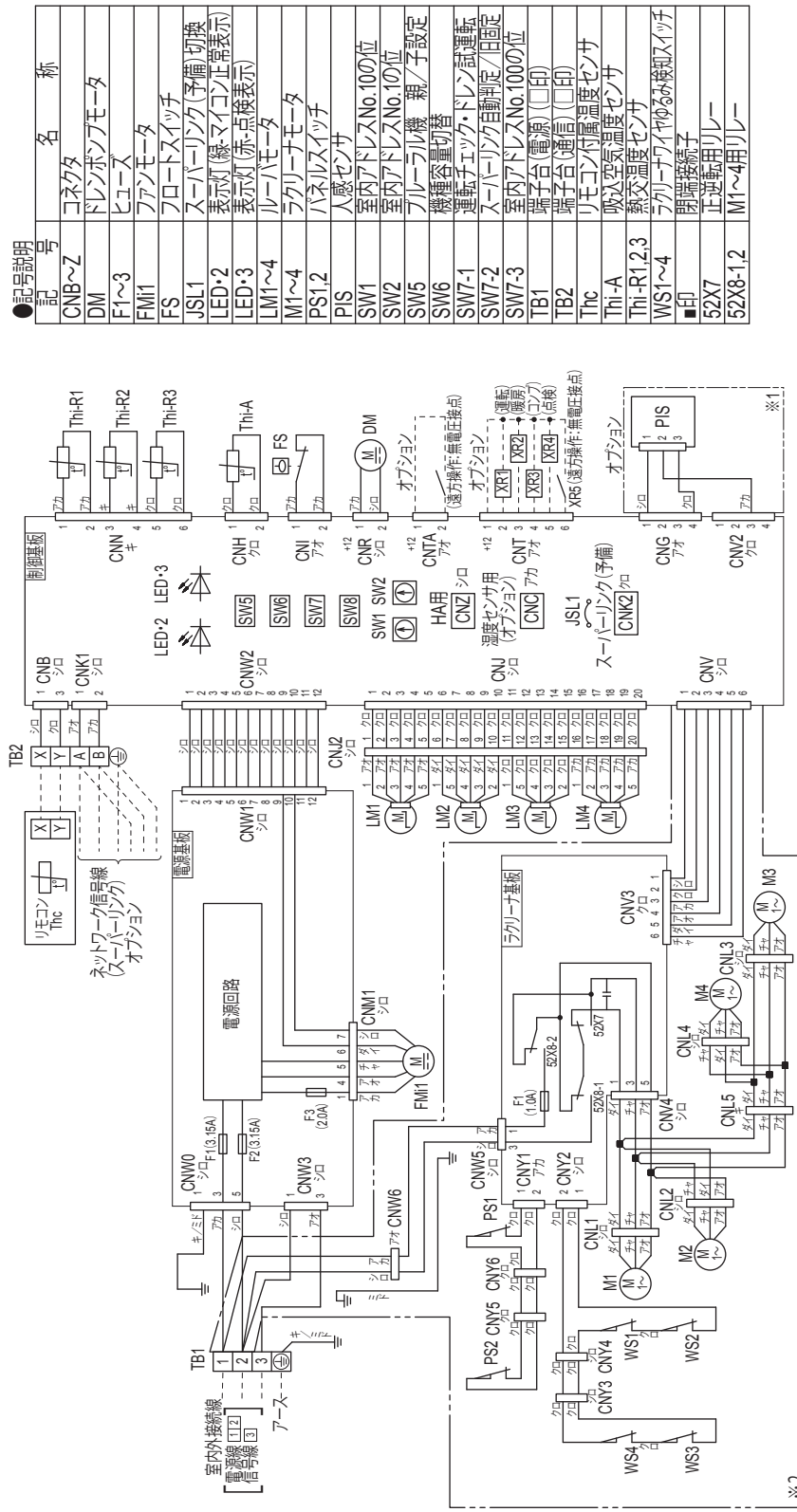
バックアップスイッチ

ON時間	制御内容
3秒未満	エアフィルタ清掃開始
3～6秒	ブラシ清掃開始
6秒以上	表示消灯

(b) 天井埋込形２方向吹出し(FDTW)

●記号説明

記号	名称
CNB~Z	コネクタ
DM	ドレンポンプモータ
F1~3	ヒューズ
FMI1	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク(予備)切換
LED･2	表示灯(緑･マイコン正常表示)
LED･3	表示灯(赤･点検表示)
LM1~4	ルーバモータ
M1~4	ラクリーナモータ
PS1,2	パネルスイッチ
PIS	人感センサ
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW5	ブルーラル機 親/子設定
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック･ドレン試運転
SW7-2	スーパーリンク自動判定/旧固定
SW7-3	室内アドレスNo.1000の位
TB1	端子台(電源)(□印)
TB2	端子台(通信)(□印)
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
WS1~4	ラクリーナワイヤゆるみ検知スイッチ
■印	閉端接続子
52X7	正逆転用リレー
52X8-1,2	M1~4用リレー

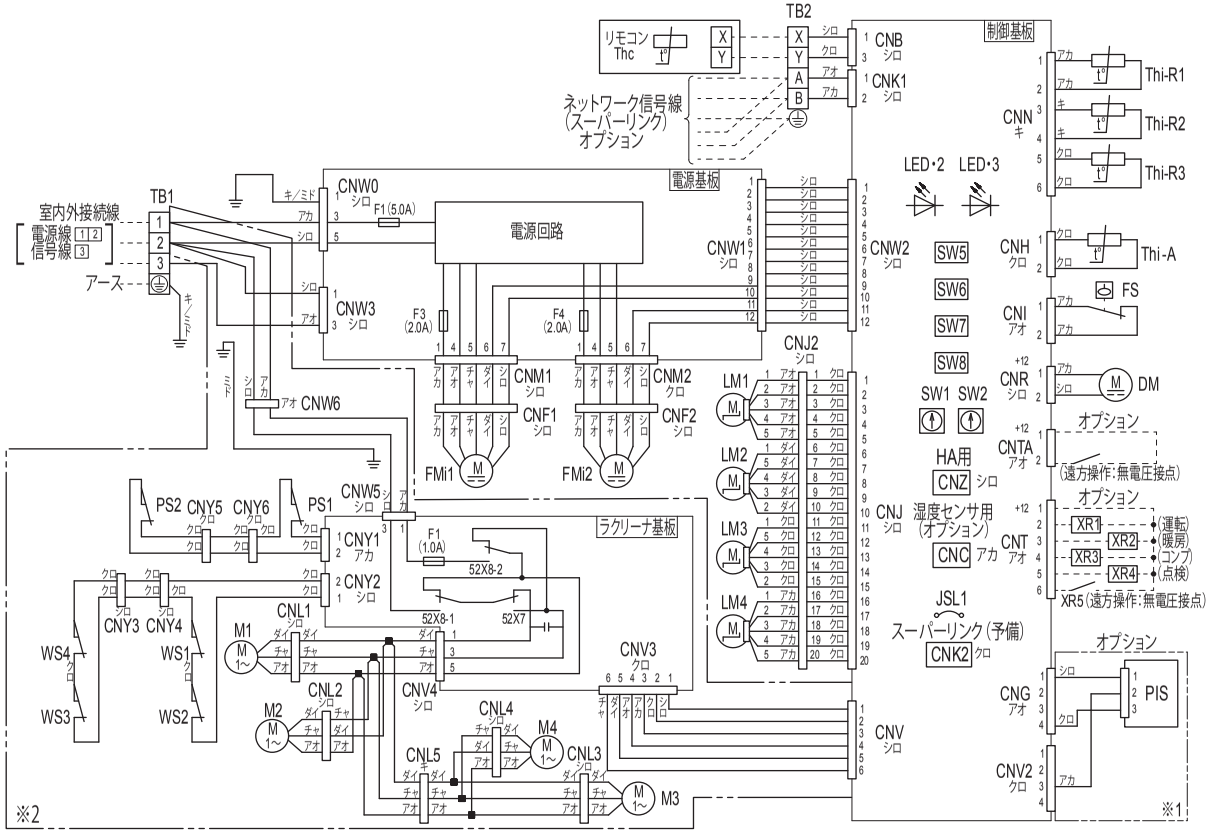


記事 1. ----- は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親･子)使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm²×2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
･シールド線太さ0.75mm²を使用する場合は1500m以内
･シールド線太さ1.25mm²を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.2点鎖線内(※1印)の回路は人感センサ(オプション)無しの場合配線されていません。
9.ラクリーナパネルを使用しない場合は※2箇所のパネル基板および配線はありません。

FDTWZP565SA，635SA，805SA

PJB001Z847

PJB001Z852



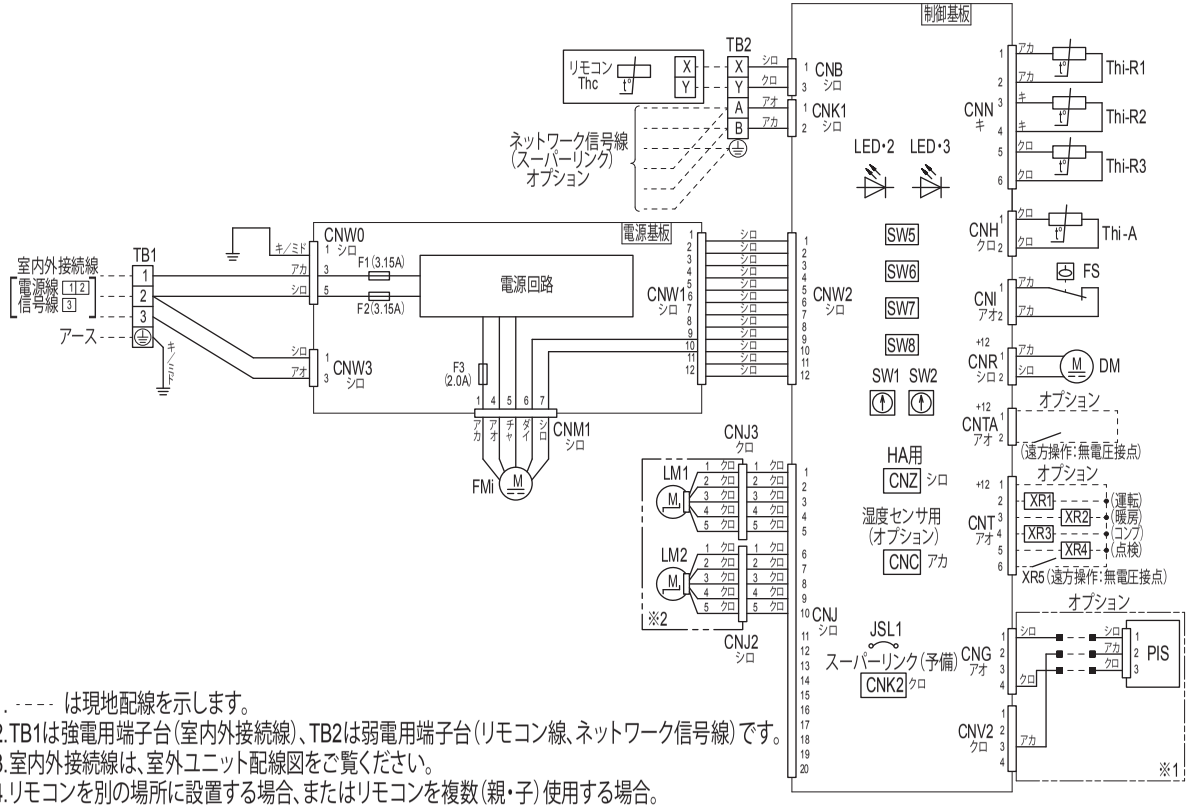
●記号説明

記　号	名　称
CNB～Z	コネクタ
DM	ドレンポンプモータ
F1,3,4	ヒューズ
FMi1,2	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク(予備)切換
LED・2	表示灯(緑-マイコン正常表示)
LED・3	表示灯(赤-点検表示)
LM1～4	ルーバモータ
M1～4	ラクリーナモータ
PS1,2	パネルスイッチ
PIS	人感センサ
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW5	プルーラル機　親／子設定
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック・ドレン試運転
SW7-2	スーパーリンク自動判定／旧固定
SW7-3	室内アドレスNo.100の位
TB1	端子台(電源)(□印)
TB2	端子台(通信)(□印)
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
WS1～4	ラクリーナワイヤゆるみ検知スイッチ
■印	閉端接続子
52X7	正逆転用リレー
52X8-1,2	M1～4用リレー

記事 1. ---- は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親・子)使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm²×2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
・シールド線太さ0.75mm²を使用する場合は1500m以内
・シールド線太さ1.25mm²を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.2点鎖線内(※1印)の回路は人感センサ(オプション)無しの場合配線されていません。
9.ラクリーナパネルを使用しない場合は※2箇所のパネル基板および配線はありません。

PJB001Z849
PJB001Z854

(c) 天井埋込形１方向吹出し（FDTS）

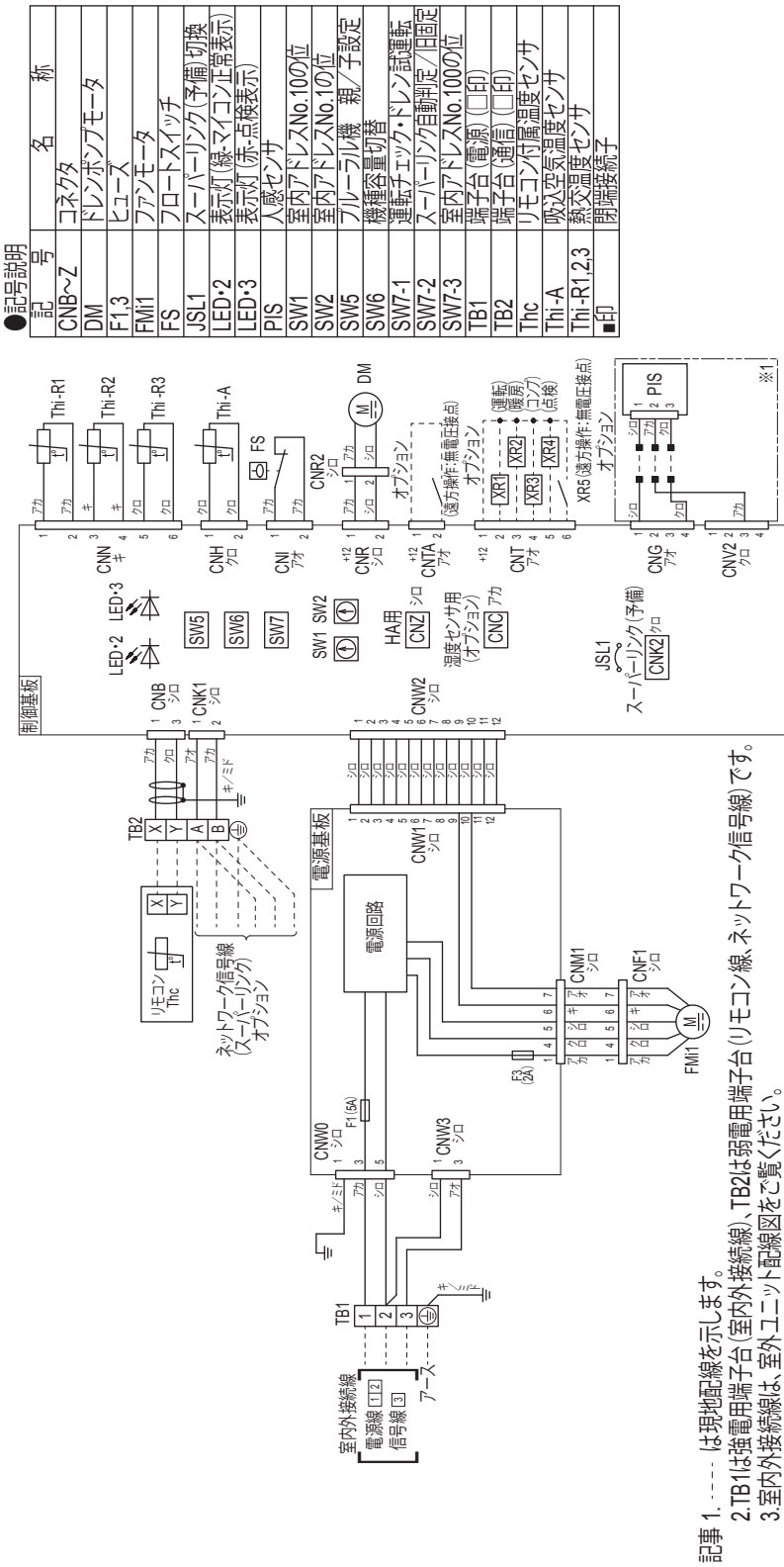


●記号説明

記　号	名　称
CNB～Z	コネクタ
DM	ドレンポンプモータ
F1～3	ヒューズ
FMi	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク(予備)切換
LED・2	表示灯(緑-マイコン正常表示)
LED・3	表示灯(赤-点検表示)
LM1,2	ルーバモータ
PIS	人感センサ
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW5	ブルーラル機　親／子設定
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック・ドレン試運転
SW7-2	スーパーリンク自動判定／旧固定
SW7-3	室内アドレスNo.100の位
TB1	端子台(電源)(□印)
TB2	端子台(通信)(□印)
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
■印	閉端接続子

記事 1. ---- は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親・子)使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm²×2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
・シールド線太さ0.75mm²を使用する場合は1500m以内
・シールド線太さ1.25mm²を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.2点鎖線内(※1印)の回路は人感センサ(オプション)無しの場合配線されていません。
9.下がり天井設置仕様では※2箇所はありません。

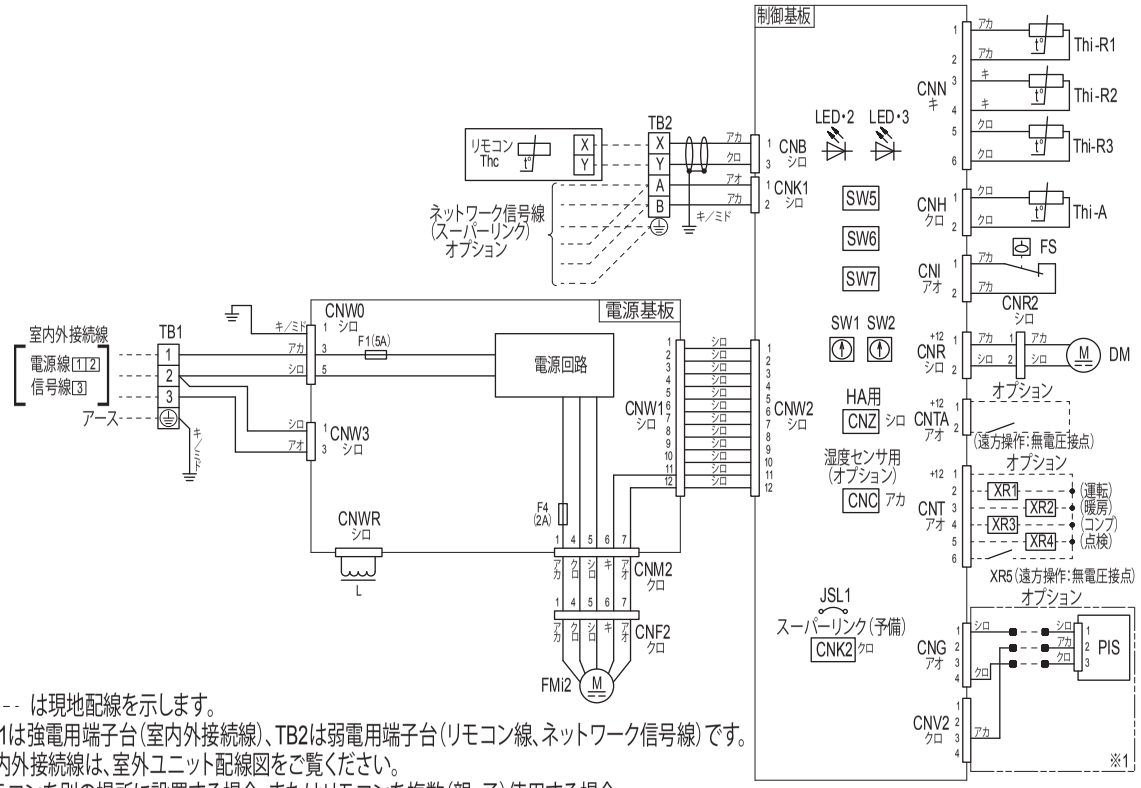
(d) 天埋カセテリア（FDR）



記事 1. - - - - は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親･子)使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm²×2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様については<リモコン<納入仕様書>をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
･シールド線太さ0.75mm²を使用する場合は1500m以内
･シールド線太さ1.25mm²を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.2点鎖線内(※1印)の回路は人感センサ(オプション)無しの場合配線されていません。

FDRZ565SA

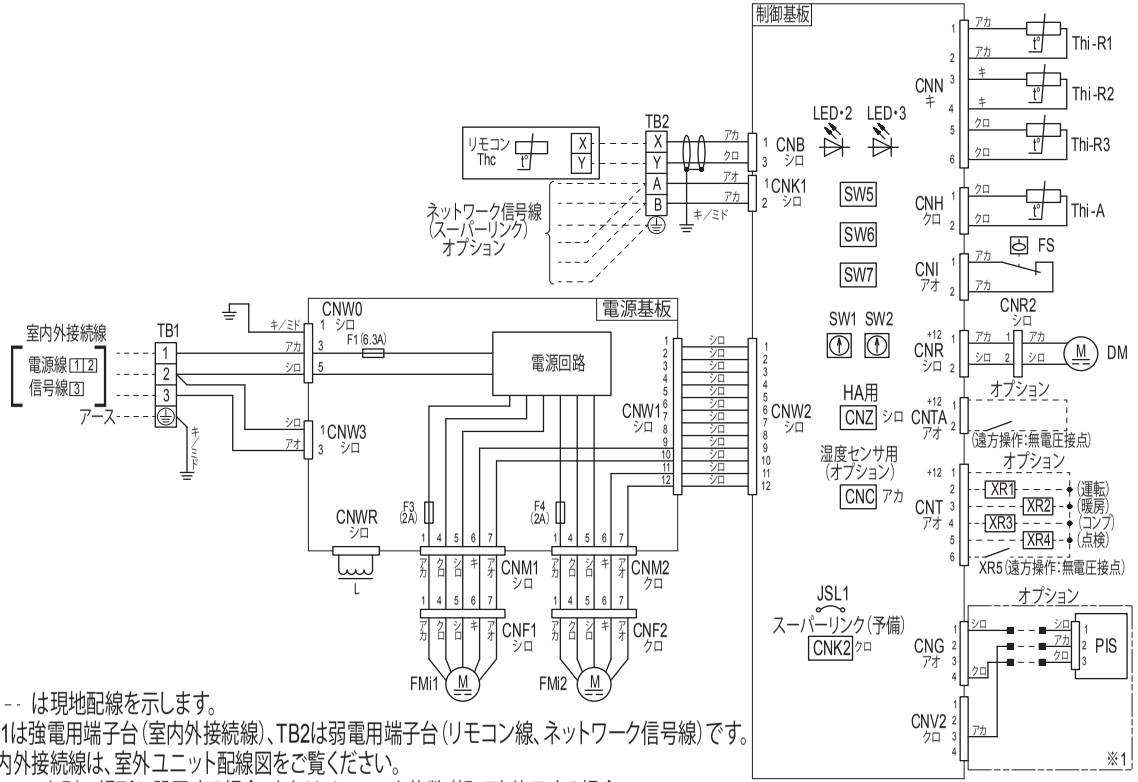
PJG000Z607



●記号説明

記　号	名　称
CNB～Z	コネクタ
DM	ドレンポンプモータ
F1,4	ヒューズ
FMi2	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク(予備)切換
L	リアクタ
LED・2	表示灯(緑-マイコン正常表示)
LED・3	表示灯(赤-点検表示)
PIS	人感センサ
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW5	ブルーラル機　親／子設定
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック・ドレン試運転
SW7-2	スーパーリンク自動判定／旧固定
SW7-3	室内アドレスNo.100の位
TB1	端子台(電源)(□印)
TB2	端子台(通信)(□印)
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交換温度センサ
■印	閉端接続子

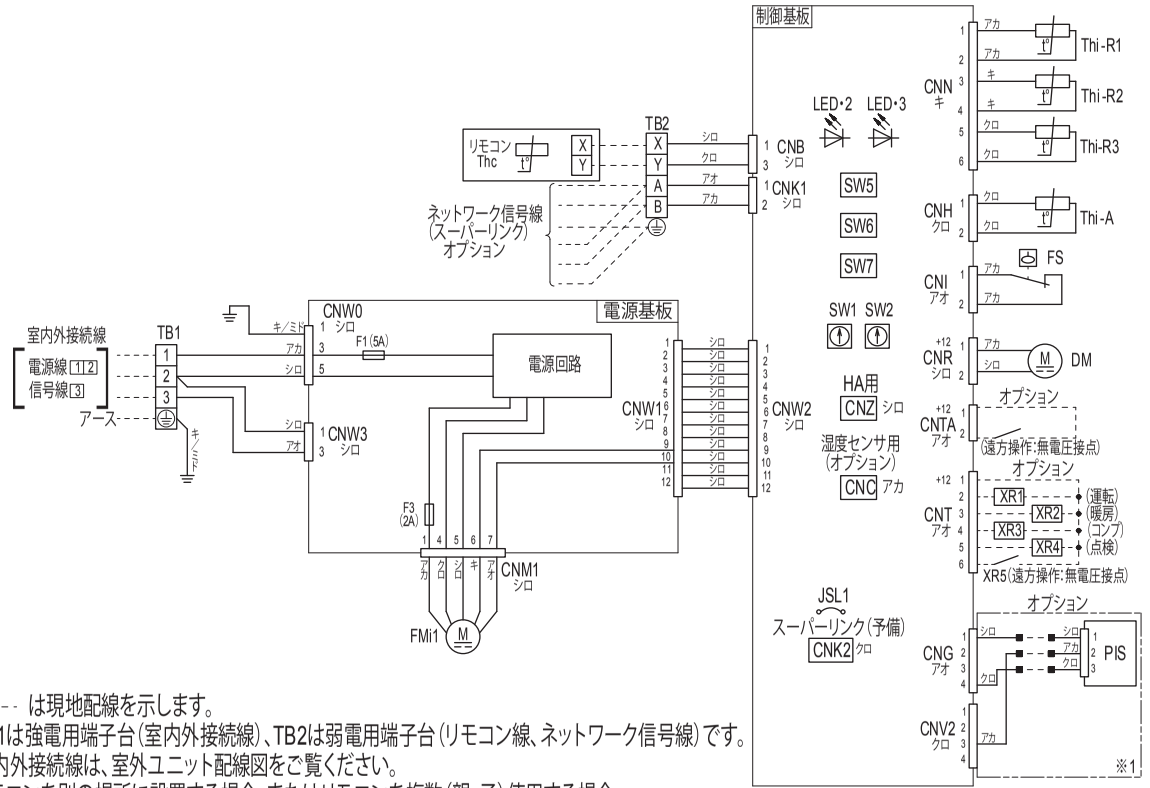
記事 1. ---- は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親・子)使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm²×2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
・シールド線太さ0.75mm²を使用する場合は1500m以内
・シールド線太さ1.25mm²を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.2点鎖線内(※1印)の回路は人感センサ(オプション)無しの場合配線されていません。



●記号説明

記　号	名　称
CNB～Z	コネクタ
DM	ドレンポンプモータ
F1,3,4	ヒューズ
FMi1,2	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク(予備)切換
L	リアクタ
LED・2	表示灯(緑-マイコン正常表示)
LED・3	表示灯(赤-点検表示)
PIS	人感センサ
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW5	ブルーラル機　親／子設定
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック・ドレン試運転
SW7-2	スーパーリンク自動判定／旧固定
SW7-3	室内アドレスNo.100の位
TB1	端子台(電源)(□印)
TB2	端子台(通信)(□印)
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
■印	閉端接続子

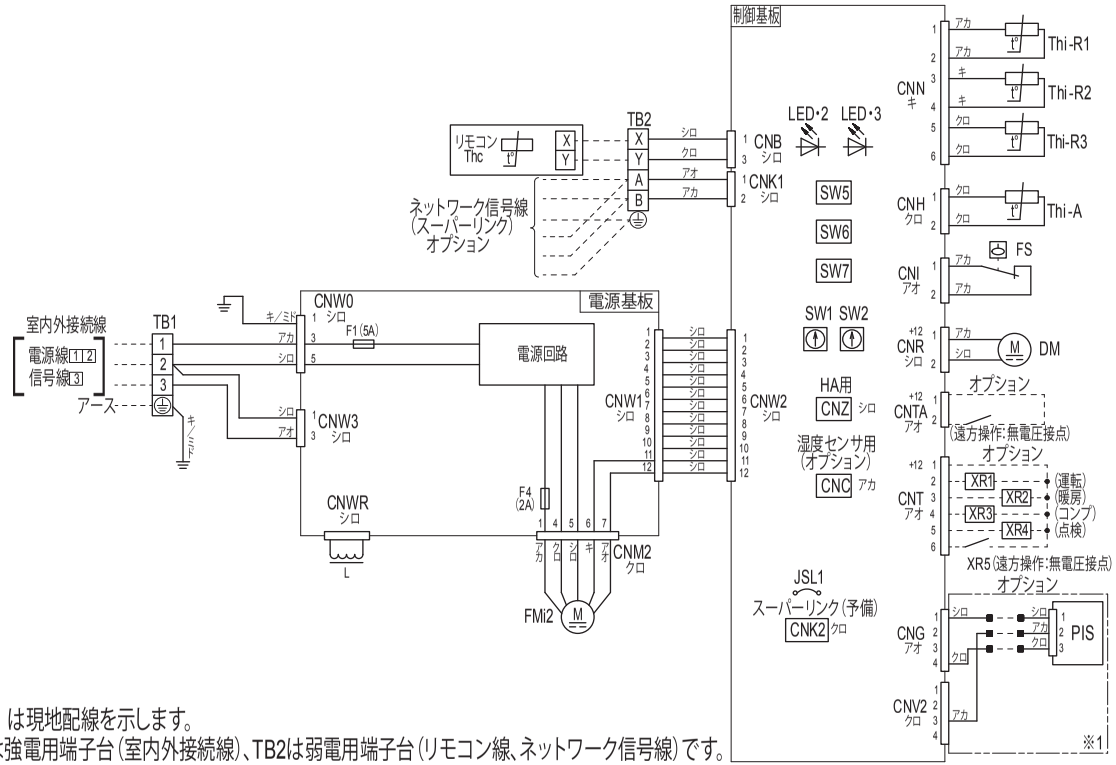
記事 1. ---- は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親・子)使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm²×2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
・シールド線太さ0.75mm² を使用する場合は1500m以内
・シールド線太さ1.25mm² を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.2点鎖線内(※1印)の回路は人感センサ(オプション)無しの場合配線されていません。



●記号説明

記　号	名　称
CNB~Z	コネクタ
DM	ドレンポンプモータ
F1,3	ヒューズ
FMi1	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク(予備)切換
LED・2	表示灯(緑-マイコン正常表示)
LED・3	表示灯(赤-点検表示)
PIS	人感センサ
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW5	ブルーラル機　親／子設定
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック・ドレン試運転
SW7-2	スーパーリンク自動判定／旧固定
SW7-3	室内アドレスNo.100の位
TB1	端子台(電源)(□印)
TB2	端子台(通信)(□印)
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
■印	閉端接続子

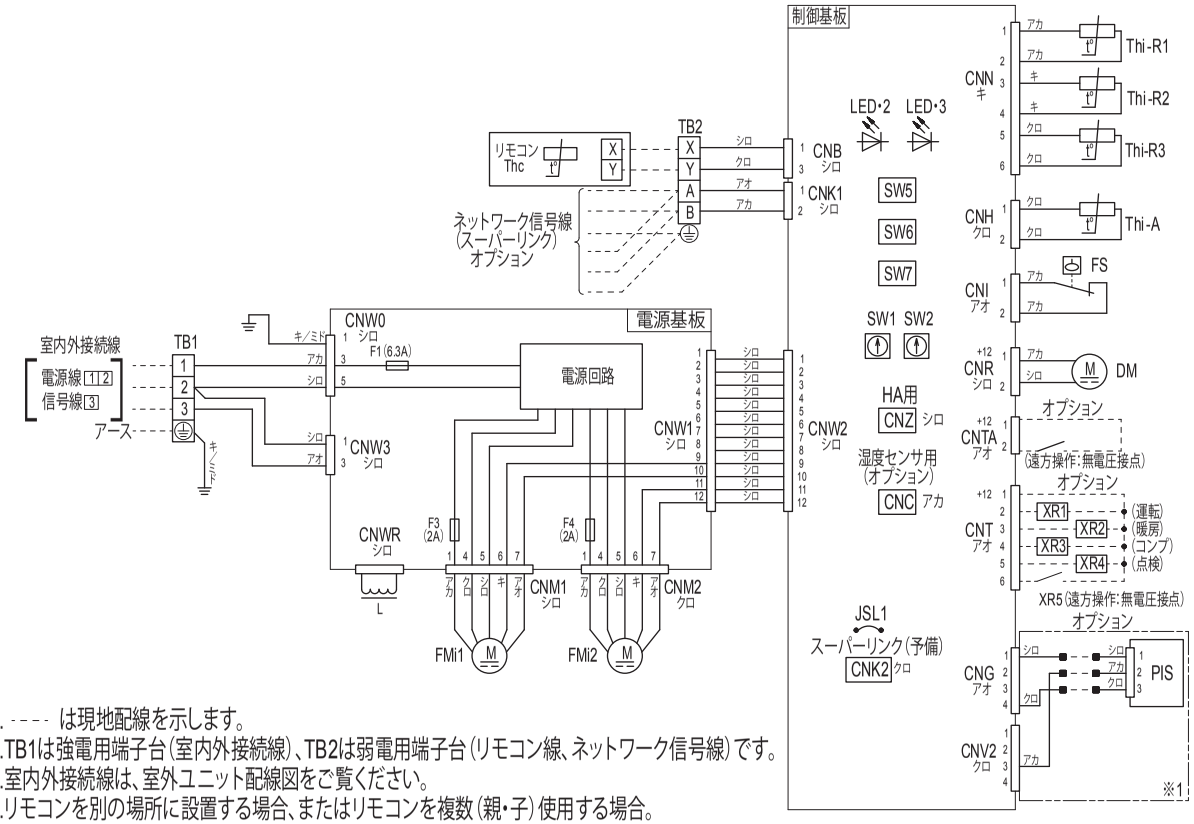
記事 1. ---- は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親・子)使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm²×2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
・シールド線太さ0.75mm²を使用する場合は1500m以内
・シールド線太さ1.25mm²を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.2点鎖線内(※1印)の回路は人感センサ(オプション)無しの場合配線されていません。



●記号説明

記　号	名　称
CNB～Z	コネクタ
DM	ドレンポンプモータ
F1,4	ヒューズ
FMi2	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク(予備)切換
L	リアクタ
LED・2	表示灯(緑-マイコン正常表示)
LED・3	表示灯(赤-点検表示)
PIS	人感センサ
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW5	ブルーラル機　親／子設定
SW6	機種容量切替
SW7-1	連転チェック・ドレン試運転
SW7-2	スーパーリンク自動判定／旧固定
SW7-3	室内アドレスNo.100の位
TB1	端子台(電源)(□印)
TB2	端子台(通信)(□印)
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
■印	閉端接続子

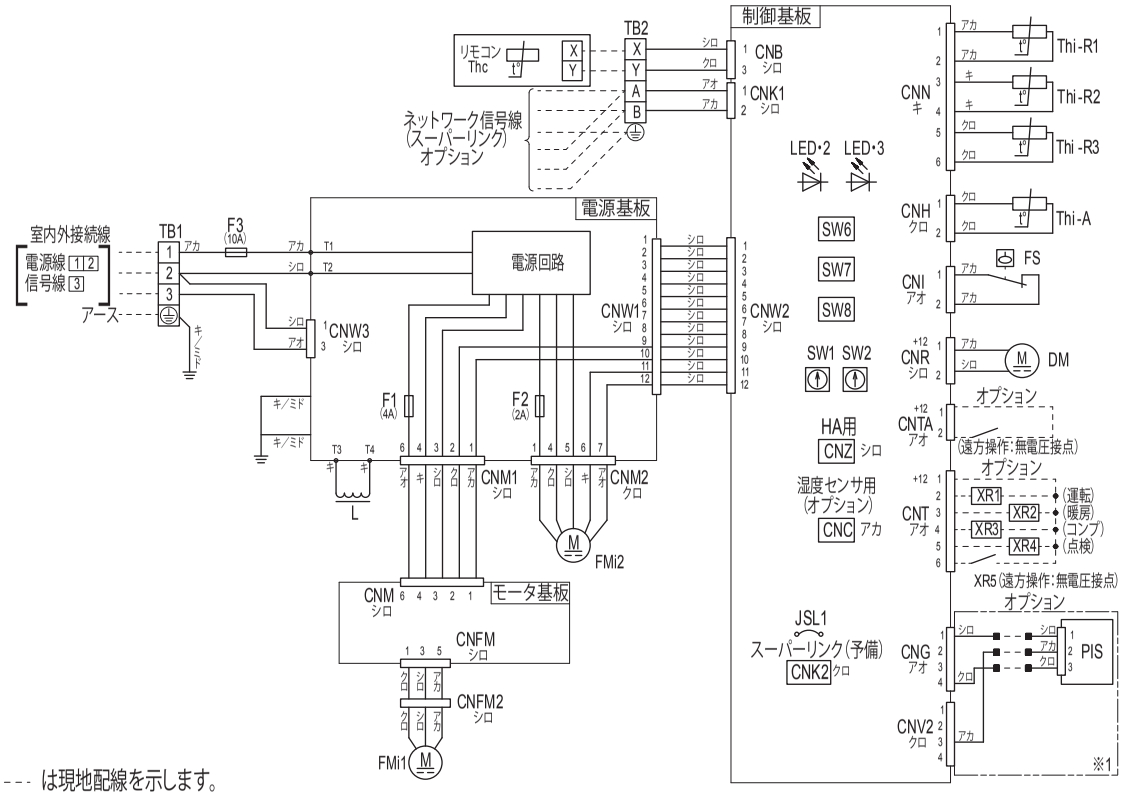
記事 1. ---- は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親・子)使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm²×2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
・シールド線太さ0.75mm²を使用する場合は1500m以内
・シールド線太さ1.25mm²を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.2点鎖線内(※1印)の回路は人感センサ(オプション)無しの場合配線されていません。



記事 1. ---- は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親・子)使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm²×2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
・シールド線太さ0.75mm²を使用する場合は1500m以内
・シールド線太さ1.25mm²を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.2点鎖線内(※1印)の回路は人感センサ(オプション)無しの場合配線されていません。

●記号説明

記　号	名　称
CNB～Z	コネクタ
DM	ドレンポンプモータ
F1,3,4	ヒューズ
FMi1,2	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク(予備)切換
L	リアクタ
LED・2	表示灯(緑-マイコン正常表示)
LED・3	表示灯(赤-点検表示)
PIS	人感センサ
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW5	ブルーラル機　親／子設定
SW6	機種容量切替
SW7-1	連転チェック・ドレン試運転
SW7-2	スーパーリンク自動判定／旧固定
SW7-3	室内アドレスNo.100の位
TB1	端子台(電源)(□印)
TB2	端子台(通信)(□印)
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
■印	閉端接続子



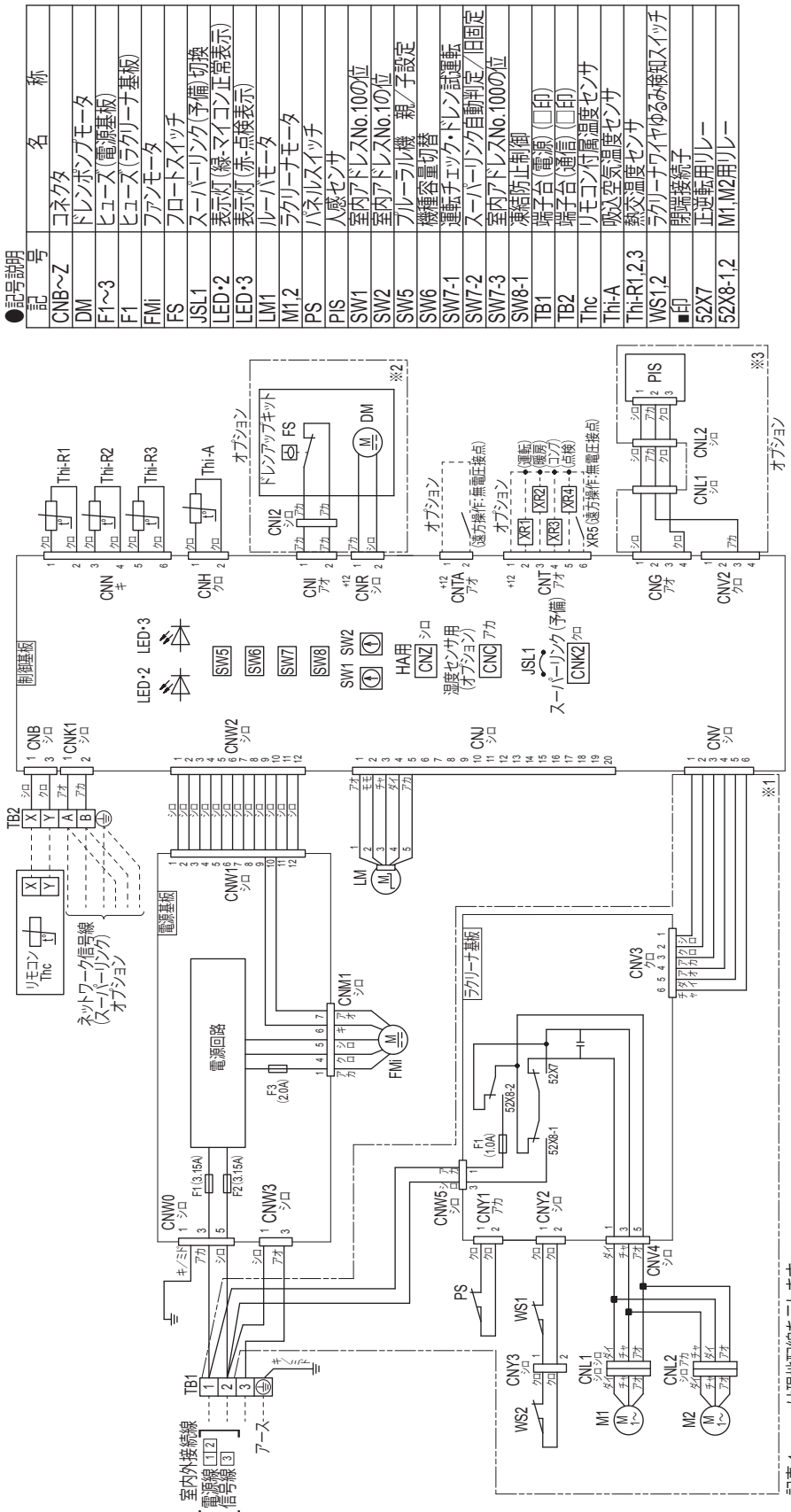
●記号説明

記　号	名　称
CNB～Z	コネクタ
DM	ドレンポンプモータ
F1～3	ヒューズ
FMi1,2	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク(予備)切換
L	リアクタ
LED・2	表示灯(緑-マイコン正常表示)
LED・3	表示灯(赤-点検表示)
PIS	人感センサ
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック・ドレン試運転
SW7-2	スーパーリンク自動判定／旧固定
SW7-3	室内アドレスNo.100の位
SW8-4	機外静圧使用範囲切替 出荷時／最大
TB1	端子台(電源)(□印)
TB2	端子台(通信)(□印)
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
■印	閉端接続子

記事 1. ---- は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親・子)使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm²×2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
・シールド線太さ0.75mm²を使用する場合は1500m以内
・シールド線太さ1.25mm²を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.2点鎖線内(※1印)の回路は人感センサ(オプション)無しの場合配線されていません。

(f) 天吊形(FDE)

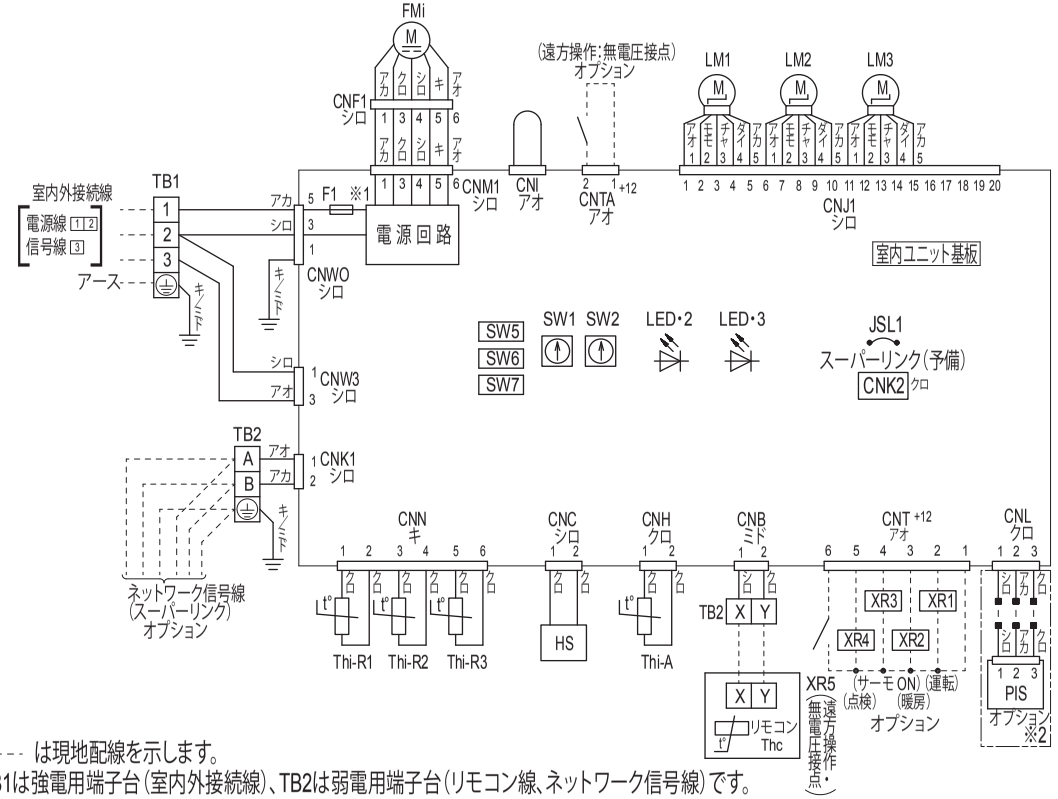
FDEZP565SA，635SA，805SA，1605SA



記事 1. ---- は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親・子)使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm²×2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
・シールド線太さ0.75mm²を使用する場合は1500m以内
・シールド線太さ1.25mm²を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.2点鎖線内(※1印)の回路はラクリーナ(オプション)無しの場合配線されていません。
9.2点鎖線内(※2印)の回路はドレンアップキット(オプション)無しの場合配線されていません。
10.2点鎖線内(※3印)の回路は人感センサ(オプション)無しの場合配線されていません。

PFA004Z109

FDKZP565SA，635SA，1125SA



記事 1. ---- は現地配線を示します。

2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。

3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。

4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親・子)使用する場合。

①リモコン配線は0.3mm²×2心を使用してください。

延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。

②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。

5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。

6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。

スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、

・シールド線太さ0.75mm² を使用する場合は1500m以内

・シールド線太さ1.25mm² を使用する場合は1000m以内

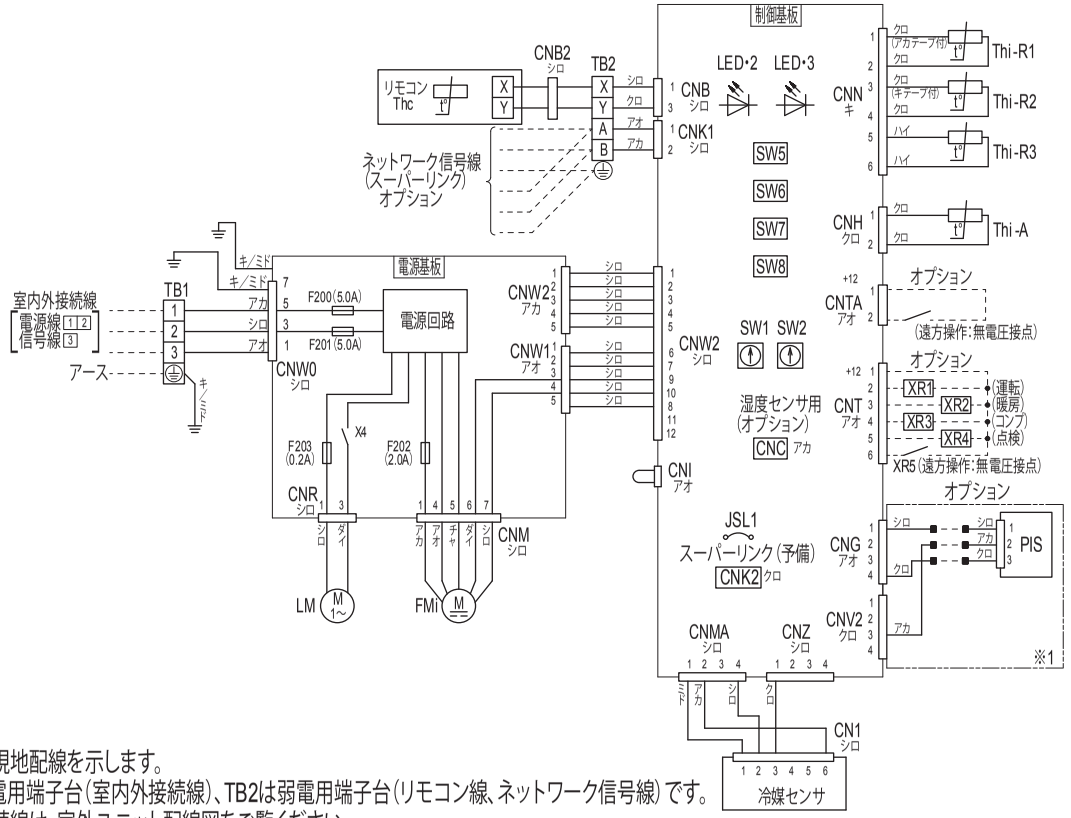
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。

8.ヒューズ(F1)(※1)は、FDKZP565の場合は3.15A、FDKZP635,1125の場合は5Aです。

9.2点鎖線内(※2印)の回路は人感センサ(オプション)無しの場合配線されていません。

●記号説明

記　号	名　称
CNB～Z	コネクタ
F1	ヒューズ
FMi	ファンモータ
HS	湿度センサ
JSL1	スーパーリンク(予備)切換
LED・2	表示灯(緑-マイコン正常表示)
LED・3	表示灯(赤-点検表示)
LM1	フラップモータ
LM2	ルーバモータ(左)
LM3	ルーバモータ(右)
PIS	人感センサ
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW5	ブルーラル機　親／子設定
SW6	機種容量切替
SW7 -1	運転チェック
SW7 -2	スーパーリンク自動判定／旧固定
SW7 -3	室内アドレスNo.100の位
TB1	端子台(電源)(□印)
TB2	端子台(通信)(□印)
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
■印	閉端接続子



●記号説明

記　号	名　称
CNB～Z	コネクタ
F200～203	ヒューズ
FMi	ファンモータ
JSL1	スーパーリンク（予備）切換
LED･2	表示灯（緑-マイコン正常表示）
LED･3	表示灯（赤-点検表示）
LM	ルーバモータ
PIS	人感センサ
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW5	ブルーラル機　親／子設定
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック
SW7-2	スーパーリンク自動判定／旧固定
SW7-3	室内アドレスNo.100の位
TB1	端子台（電源）（□印）
TB2	端子台（通信）（□印）
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
X4	LM用リレー
■印	閉端接続子

記事 1. ---- は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台（室内外接続線）、TB2は弱電用端子台（リモコン線、ネットワーク信号線）です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数（親・子）使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm²×2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン＜納入仕様書＞をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
・シールド線太さ0.75mm²を使用する場合は1500m以内
・シールド線太さ1.25mm²を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.2点鎖線内（※1印）の回路は人感センサ（オプション）無しの場合配線されていません。

5. 電源・配線仕様

（電気特性についてはそれぞれの形式の仕様をご覧ください。）

(1) エクシードハイパーシリーズ

ヒータレス冷暖房機

■単相200V機

《標準仕様》

形式 ＼ 項目（単位）		電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
40シリーズ	FDTZ405HK5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCZP405HK	1.1	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20	2.0mm²×2	14m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWZ405HK5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCZP405HK	1.3									
	FDTSZ405HK5SA 室内：FDTSZP505SA 室外：FDCZP405HK	1.2									
	FDRZ405HK5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCZP405HK	1.4	30A,30mA, 0.1sec以下		30	30		13m			
	FDEZ405HK5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCZP405HK	1.3	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20		14m			
	FDKZ405HK5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCZP405HK	1.4									
45シリーズ	FDTZ455HK5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCZP455HK	1.3	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20	2.0mm²×2	14m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWZ455HK5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCZP455HK	1.5									
	FDTSZ455HK5SA 室内：FDTSZP505SA 室外：FDCZP455HK	1.5									
	FDRZ455HK5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCZP455HK	1.6	30A,30mA, 0.1sec以下		30	30		13m			
	FDEZ455HK5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCZP455HK	1.5	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20		14m			
	FDKZ455HK5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCZP455HK	1.7									
50シリーズ	FDTZ505HK5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCZP505HK	1.5	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20	2.0mm²×2	14m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWZ505HK5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCZP505HK	1.5									
	FDTSZ505HK5SA 室内：FDTSZP505SA 室外：FDCZP505HK	1.6									
	FDRZ505HK5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCZP505HK	1.9	30A,30mA, 0.1sec以下		30	30		13m			
	FDUZ505HK5SA 室内：FDUZP565SA 室外：FDCZP505HK	1.9									
	FDEZ505HK5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCZP505HK	1.6	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20		14m			
	FDKZ505HK5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCZP505HK	1.8									
	FDFZ505HK5SA 室内：FDFZP635SA 室外：FDCZP505HK	1.6									

〔備考〕共通

（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。

（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■単相200V機

《標準仕様》

形式		電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
56シリーズ	FDTZ565HK5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCZP565HK	1.6	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20	2.0mm²×2	14m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWZ565HK5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCZP565HK	1.8									
	FDTSZ565HK5SA 室内：FDTSZP635SA 室外：FDCZP565HK	1.8									
	FDRZ565HK5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCZP565HK	2.1	30A,30mA, 0.1sec以下		30	30		13m			
	FDUZ565HK5SA 室内：FDUZP565SA 室外：FDCZP565HK	2.1									
	FDEZ565HK5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCZP565HK	1.9	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20		14m			
	FDKZ565HK5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCZP565HK	2.2									
63シリーズ	FDTZ635HK5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCZP635HK	1.8	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20	2.0mm²×2	14m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWZ635HK5SA 室内：FDTWZP635SA 室外：FDCZP635HK	2.2									
	FDTSZ635HK5SA 室内：FDTSZP635SA 室外：FDCZP635HK	2.1									
	FDRZ635HK5SA 室内：FDRZP635SA 室外：FDCZP635HK	2.4	30A,30mA, 0.1sec以下		30	30		13m			
	FDUZ635HK5SA 室内：FDUZP635SA 室外：FDCZP635HK	2.3									
	FDEZ635HK5SA 室内：FDEZP635SA 室外：FDCZP635HK	2.0	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20		14m			
	FDKZ635HK5SA 室内：FDKZP635SA 室外：FDCZP635HK	2.3									
	FDFZ635HK5SA 室内：FDFZP635SA 室外：FDCZP635HK	2.2									
80シリーズ	FDTZ805HK5SA 室内：FDTZP805SA 室外：FDCZP805HK	2.0	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×2	19m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWZ805HK5SA 室内：FDTWZP805SA 室外：FDCZP805HK	2.7									
	FDTSZ805HK5SA 室内：FDTSZP805SA 室外：FDCZP805HK										
	FDRZ805HK5SA 室内：FDRZP805SA 室外：FDCZP805HK	2.4						17m			
	FDUZ805HK5SA 室内：FDUZP805SA 室外：FDCZP805HK	2.5									
	FDEZ805HK5SA 室内：FDEZP805SA 室外：FDCZP805HK	2.3						19m			
	FDKZ805HK5SA 室内：FDKZP1125SA 室外：FDCZP805HK	2.8									
	FDFZ805HK5SA 室内：FDFZP805SA 室外：FDCZP805HK										

〔備考〕共通

（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。

（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■三相200V機

《標準仕様》

形式 ＼ 項目（単位）		電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
40シリーズ	FDTZ405H5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCZP405H	1.1	15A,30mA, 0.1sec以下	15	15	15	2.0mm²×3	21m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWZ405H5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCZP405H	1.3									
	FDTSZ405H5SA 室内：FDTSZP505SA 室外：FDCZP405H	1.3									
	FDRZ405H5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCZP405H	1.4	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20		18m			
	FDEZ405H5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCZP405H	1.3	15A,30mA, 0.1sec以下	15	15	15		21m			
	FDKZ405H5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCZP405H	1.4									
45シリーズ	FDTZ455H5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCZP455H	1.3	15A,30mA, 0.1sec以下	15	15	15	2.0mm²×3	21m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWZ455H5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCZP455H	1.6									
	FDTSZ455H5SA 室内：FDTSZP505SA 室外：FDCZP455H	1.6									
	FDRZ455H5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCZP455H	1.6	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20		18m			
	FDEZ455H5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCZP455H	1.6	15A,30mA, 0.1sec以下	15	15	15		21m			
	FDKZ455H5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCZP455H	1.7									
50シリーズ	FDTZ505H5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCZP505H	1.5	15A,30mA, 0.1sec以下	15	15	15	2.0mm²×3	21m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWZ505H5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCZP505H	1.7									
	FDTSZ505H5SA 室内：FDTSZP505SA 室外：FDCZP505H	1.7									
	FDRZ505H5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCZP505H	1.9	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20		18m			
	FDUZ505H5SA 室内：FDUZP565SA 室外：FDCZP505H	1.9									
	FDEZ505H5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCZP505H	1.7	15A,30mA, 0.1sec以下	15	15	15		21m			
	FDKZ505H5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCZP505H	1.8									
	FDFZ505H5SA 室内：FDFZP635SA 室外：FDCZP505H	1.6									

〔備考〕共通

（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。

（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■三相200V機

《標準仕様》

形式	項目（単位）	電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器 開閉器容量(A)	手元開閉器 B種ヒューズ(A)	配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用 太さ×本数	電源配線用 こう長	内外接続線 太さ×本数	アース線 太さ	アース線 ねじ
56シリーズ	FDTZ565H5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCZP565H	1.7	15A,30mA, 0.1sec以下	15	15	15	2.0mm²×3	21m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWZ565H5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCZP565H	1.9									
	FDTSZ565H5SA 室内：FDTSZP635SA 室外：FDCZP565H	1.9									
	FDRZ565H5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCZP565H	2.2	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20		18m			
	FDUZ565H5SA 室内：FDUZP565SA 室外：FDCZP565H	2.2									
	FDEZ565H5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCZP565H	2.0	15A,30mA, 0.1sec以下	15	15	15		21m			
	FDKZ565H5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCZP565H	2.2									
63シリーズ	FDTZ635H5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCZP635H	1.9	15A,30mA, 0.1sec以下	15	15	15	2.0mm²×3	21m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWZ635H5SA 室内：FDTWZP635SA 室外：FDCZP635H	2.2									
	FDTSZ635H5SA 室内：FDTSZP635SA 室外：FDCZP635H	2.1									
	FDRZ635H5SA 室内：FDRZP635SA 室外：FDCZP635H	2.4	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20		18m			
	FDUZ635H5SA 室内：FDUZP635SA 室外：FDCZP635H	2.4									
	FDEZ635H5SA 室内：FDEZP635SA 室外：FDCZP635H	2.1	15A,30mA, 0.1sec以下	15	15	15		21m			
	FDKZ635H5SA 室内：FDKZP635SA 室外：FDCZP635H	2.2									
	FDFZ635H5SA 室内：FDFZP635SA 室外：FDCZP635H	2.2									
80シリーズ	FDTZ805H5SA 室内：FDTZP805SA 室外：FDCZP805H	2.2	20A, 30mA, 0.1sec以下	30	20	20	3.5mm²×3	31m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWZ805H5SA 室内：FDTWZP805SA 室外：FDCZP805H	2.9									
	FDTSZ805H5SA 室内：FDTSZP805SA 室外：FDCZP805H	2.9									
	FDRZ805H5SA 室内：FDRZP805SA 室外：FDCZP805H	2.6						27m			
	FDUZ805H5SA 室内：FDUZP805SA 室外：FDCZP805H	2.6									
	FDEZ805H5SA 室内：FDEZP805SA 室外：FDCZP805H	2.5						31m			
	FDKZ805H5SA 室内：FDKZP1125SA 室外：FDCZP805H	3.1									
	FDFZ805H5SA 室内：FDFZP805SA 室外：FDCZP805H	3.0									

〔備考〕共通

（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。

（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■三相200V機

《標準仕様》

形式		電源容量(KVA)	漏電しゃ断器定格容量	開閉器		配線用しゃ断器定格電流	電源配線用		内外接続線太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
112シリーズ	FDTZ1125H5SA 室内:FDTZP1605SA 室外:FDCZP1125H	3.0	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	5.5mm²×3	30m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	2.0mm²	M5
	FDTWZ1125H5SA 室内:FDTWZP1405SA 室外:FDCZP1125H	3.4									
	FDRZ1125H5SA 室内:FDRZP1125SA 室外:FDCZP1125H	3.5	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40		26m		3.5mm²	
	FDUZ1125H5SA 室内:FDUZP1125SA 室外:FDCZP1125H										
	FDEZ1125H5SA 室内:FDEZP1605SA 室外:FDCZP1125H		30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30		30m		2.0mm²	
	FDKZ1125H5SA 室内:FDKZP1125SA 室外:FDCZP1125H	4.4									
	FDFZ1125H5SA 室内:FDFZP1605SA 室外:FDCZP1125H	3.4									
140シリーズ	FDTZ1405H5SA 室内:FDTZP1605SA 室外:FDCZP1405H	4.2	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	5.5mm²×3	30m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	2.0mm²	M5
	FDTWZ1405H5SA 室内:FDTWZP1405SA 室外:FDCZP1405H	4.9									
	FDRZ1405H5SA 室内:FDRZP1605SA 室外:FDCZP1405H	5.0	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40		26m		3.5mm²	
	FDUZ1405H5SA 室内:FDUZP1605SA 室外:FDCZP1405H										
	FDEZ1405H5SA 室内:FDEZP1605SA 室外:FDCZP1405H	4.8	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30		30m		2.0mm²	
	FDFZ1405H5SA 室内:FDFZP1605SA 室外:FDCZP1405H	5.0									
160シリーズ	FDTZ1605H5SA 室内:FDTZP1605SA 室外:FDCZP1605H	5.2	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	5.5mm²×3	30m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	2.0mm²	M5
	FDTWZ1605H5SA 室内:FDTWZP1605SA 室外:FDCZP1605H	5.9									
	FDRZ1605H5SA 室内:FDRZP1605SA 室外:FDCZP1605H	5.5	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40		25m		3.5mm²	
	FDUZ1605H5SA 室内:FDUZP1605SA 室外:FDCZP1605H	5.4									
	FDEZ1605H5SA 室内:FDEZP1605SA 室外:FDCZP1605H	5.9	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30		26m			
	FDFZ1605H5SA 室内:FDFZP1605SA 室外:FDCZP1605H	6.2						30m		2.0mm²	

〔備考〕共通

（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。

（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■単相200V機

《ツイン仕様》

形式 ＼ 項目（単位）		電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
80シリーズ	FDTZ805HKP5SA 室内:FDTZP635SA×2 室外:FDCZP805HK	2.0	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×2	19m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWZ805HKP5SA 室内:FDTWZP565SA×2 室外:FDCZP805HK	2.2									
	FDTSZ805HKP5SA 室内:FDTSZP505SA×2 室外:FDCZP805HK	2.3									
	FDRZ805HKP5SA 室内:FDRZP565SA×2 室外:FDCZP805HK							17m			
	FDEZ805HKP5SA 室内:FDEZP565SA×2 室外:FDCZP805HK	2.2						19m			
	FDKZ805HKP5SA 室内:FDKZP565SA×2 室外:FDCZP805HK	2.8									

■三相200V機

《ツイン仕様》

形式 ＼ 項目（単位）		電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
80シリーズ	FDTZ805HP5SA 室内:FDTZP635SA×2 室外:FDCZP805H	2.1	20A, 30mA, 0.1sec以下	30	20	20	3.5mm²×3	31m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWZ805HP5SA 室内:FDTWZP565SA×2 室外:FDCZP805H	2.4									
	FDTSZ805HP5SA 室内:FDTSZP505SA×2 室外:FDCZP805H	2.5									
	FDRZ805HP5SA 室内:FDRZP565SA×2 室外:FDCZP805H	2.5						27m			
	FDEZ805HP5SA 室内:FDEZP565SA×2 室外:FDCZP805H	2.4						31m			
	FDKZ805HP5SA 室内:FDKZP565SA×2 室外:FDCZP805H	3.2									
112シリーズ	FDTZ1125HP5SA 室内:FDTZP635SA×2 室外:FDCZP1125H	3.0	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	5.5mm²×3	30m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	2.0mm²	M5
	FDTWZ1125HP5SA 室内:FDTWZP565SA×2 室外:FDCZP1125H	3.5									
	FDTSZ1125HP5SA 室内:FDTSZP635SA×2 室外:FDCZP1125H	3.3									
	FDRZ1125HP5SA 室内:FDRZP635SA×2 室外:FDCZP1125H	3.2	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40		26m		3.5mm²	
	FDUZ1125HP5SA 室内:FDUZP635SA×2 室外:FDCZP1125H	3.3						25m			

〔備考〕共通

(1) 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
(2) シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■三相200V機

《ツイン仕様》

形式 ＼ 項目（単位）		電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
112シリーズ	FDEZ1125HP5SA 室内:FDEZP565SA×2 室外:FDCZP1125H	3.8	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	5.5mm²×3	30m	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（120mまで）	2.0mm²	M5
	FDKZ1125HP5SA 室内:FDKZP565SA×2 室外:FDCZP1125H	4.0									
	FDFZ1125HP5SA 室内:FDFZP635SA×2 室外:FDCZP1125H	3.2									
140シリーズ	FDTZ1405HP5SA 室内:FDTZP715SA×2 室外:FDCZP1405H	4.2	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	5.5mm²×3	30m	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（120mまで）	2.0mm²	M5
	FDTWZ1405HP5SA 室内:FDTWZP805SA×2 室外:FDCZP1405H	5.0									
	FDTSZ1405HP5SA 室内:FDTSZP805SA×2 室外:FDCZP1405H	4.9									
	FDRZ1405HP5SA 室内:FDRZP805SA×2 室外:FDCZP1405H	4.3	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40		25m		3.5mm²	
	FDUZ1405HP5SA 室内:FDUZP805SA×2 室外:FDCZP1405H	4.4									
	FDEZ1405HP5SA 室内:FDEZP805SA×2 室外:FDCZP1405H	4.3	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30		30m		2.0mm²	
	FDKZ1405HP5SA 室内:FDKZP1125SA×2 室外:FDCZP1405H	4.5									
	FDFZ1405HP5SA 室内:FDFZP805SA×2 室外:FDCZP1405H	4.6									
160シリーズ	FDTZ1605HP5SA 室内:FDTZP805SA×2 室外:FDCZP1605H	4.6	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	5.5mm²×3	30m	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（120mまで）	2.0mm²	M5
	FDTWZ1605HP5SA 室内:FDTWZP805SA×2 室外:FDCZP1605H	6.0									
	FDTSZ1605HP5SA 室内:FDTSZP805SA×2 室外:FDCZP1605H	6.0									
	FDRZ1605HP5SA 室内:FDRZP805SA×2 室外:FDCZP1605H	5.4	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40		25m		3.5mm²	
	FDUZ1605HP5SA 室内:FDUZP805SA×2 室外:FDCZP1605H							26m			
	FDEZ1605HP5SA 室内:FDEZP805SA×2 室外:FDCZP1605H	5.3	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30		30m		2.0mm²	
	FDKZ1605HP5SA 室内:FDKZP1125SA×2 室外:FDCZP1605H	6.0									
	FDFZ1605HP5SA 室内:FDFZP805SA×2 室外:FDCZP1605H										

〔備考〕共通

(1) 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
(2) シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■三相200V機

《トリプル仕様》

形式＼項目（単位）		電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流 (A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
160シリーズ	FDTZ1605HT5SA 室内:FDTZ635SA×3 室外:FDCZP1605H	4.6	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	5.5mm²×3	30m	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（120mまで）	2.0mm²	M5
	FDTWZ1605HT5SA 室内:FDTWZP565SA×3 室外:FDCZP1605H	5.5									
	FDTSZ1605HT5SA 室内:FDTSZP505SA×3 室外:FDCZP1605H	5.4									
	FDRZ1605HT5SA 室内:FDRZP565SA×3 室外:FDCZP1605H	5.6	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40		25m		3.5mm²	
	FDEZ1605HT5SA 室内:FDEZP565SA×3 室外:FDCZP1605H	5.5	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30		30m		2.0mm²	
	FDKZ1605HT5SA 室内:FDKZP565SA×3 室外:FDCZP1605H	5.7									

〔備考〕共通

(1) 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
(2) シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

(2) ハイパーインバータシリーズ

ヒータレス冷暖房機

■単相200V機

《標準仕様》

項目（単位） / 形式		電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
40シリーズ	FDTV405HK5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCVP405HK	1.2	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20	2.0mm²×2	14m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWV405HK5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCVP405HK	1.3									
	FDTSV405HK5SA 室内：FDTSZP505SA 室外：FDCVP405HK	1.3									
	FDRV405HK5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCVP405HK	1.5	30A,30mA, 0.1sec以下		30	30		13m			
	FDEV405HK5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCVP405HK	1.3	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20		14m			
	FDKV405HK5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCVP405HK	1.4									
45シリーズ	FDTV455HK5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCVP455HK	1.3	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20	2.0mm²×2	14m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWV455HK5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCVP455HK	1.6									
	FDTSV455HK5SA 室内：FDTSZP505SA 室外：FDCVP455HK	1.5									
	FDRV455HK5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCVP455HK	1.6	30A,30mA, 0.1sec以下		30	30		13m			
	FDEV455HK5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCVP455HK	1.5	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20		14m			
	FDKV455HK5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCVP455HK	1.7									
50シリーズ	FDTV505HK5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCVP505HK	1.5	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20	2.0mm²×2	14m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWV505HK5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCVP505HK	1.6									
	FDTSV505HK5SA 室内：FDTSZP505SA 室外：FDCVP505HK	1.7									
	FDRV505HK5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCVP505HK	2.0	30A,30mA, 0.1sec以下		30	30		13m			
	FDUV505HK5SA 室内：FDUZP565SA 室外：FDCVP505HK	1.8									
	FDEV505HK5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCVP505HK	1.7	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20		14m			
	FDKV505HK5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCVP505HK	1.9									
	FDFV505HK5SA 室内：FDFZP635SA 室外：FDCVP505HK	1.7									

〔備考〕共通

（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■単相200V機

《標準仕様》

形式 ＼ 項目（単位）		電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
56シリーズ	FDTV565HK5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCVP565HK	1.7	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20	2.0mm²×2	14m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWV565HK5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCVP565HK	1.9									
	FDTSV565HK5SA 室内：FDTSZP635SA 室外：FDCVP565HK	2.0									
	FDRV565HK5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCVP565HK	2.2	30A,30mA, 0.1sec以下		30	30		13m			
	FDUV565HK5SA 室内：FDUZP565SA 室外：FDCVP565HK	2.2									
	FDEV565HK5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCVP565HK	2.0	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20		14m			
	FDKV565HK5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCVP565HK	2.2									
63シリーズ	FDTV635HK5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCVP635HK	2.0	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20	2.0mm²×2	14m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWV635HK5SA 室内：FDTWZP635SA 室外：FDCVP635HK	2.3									
	FDTSV635HK5SA 室内：FDTSZP635SA 室外：FDCVP635HK	2.3									
	FDRV635HK5SA 室内：FDRZP635SA 室外：FDCVP635HK	2.4	30A,30mA, 0.1sec以下		30	30		13m			
	FDUV635HK5SA 室内：FDUZP635SA 室外：FDCVP635HK	2.4									
	FDEV635HK5SA 室内：FDEZP635SA 室外：FDCVP635HK	2.1	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20		14m			
	FDKV635HK5SA 室内：FDKZP635SA 室外：FDCVP635HK	2.3									
	FDFV635HK5SA 室内：FDFZP635SA 室外：FDCVP635HK	2.4									
80シリーズ	FDTV805HK5SA 室内：FDTZP805SA 室外：FDCVP805HK	2.1	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×2	19m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWV805HK5SA 室内：FDTWZP805SA 室外：FDCVP805HK	2.8									
	FDTSV805HK5SA 室内：FDTSZP805SA 室外：FDCVP805HK										
	FDRV805HK5SA 室内：FDRZP805SA 室外：FDCVP805HK	2.5						17m			
	FDUV805HK5SA 室内：FDUZP805SA 室外：FDCVP805HK	2.6									
	FDEV805HK5SA 室内：FDEZP805SA 室外：FDCVP805HK	2.4						19m			
	FDKV805HK5SA 室内：FDKZP1125SA 室外：FDCVP805HK	3.0									
	FDFV805HK5SA 室内：FDFZP805SA 室外：FDCVP805HK	2.9									

〔備考〕共通

(1) 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
(2) シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■三相200V機

《標準仕様》

形式	項目（単位）	電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
40シリーズ	FDTV405H5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCVP405H	1.2	15A,30mA, 0.1sec以下	15	15	15	2.0mm²×3	21m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWV405H5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCVP405H	1.4									
	FDTSV405H5SA 室内：FDTSZP505SA 室外：FDCVP405H	1.3									
	FDRV405H5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCVP405H	1.5	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20		18m			
	FDEV405H5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCVP405H	1.4	15A,30mA, 0.1sec以下	15	15	15		21m			
	FDKV405H5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCVP405H	1.4									
45シリーズ	FDTV455H5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCVP455H	1.3	15A,30mA, 0.1sec以下	15	15	15	2.0mm²×3	21m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWV455H5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCVP455H	1.7									
	FDTSV455H5SA 室内：FDTSZP505SA 室外：FDCVP455H	1.7									
	FDRV455H5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCVP455H	1.6	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20		18m			
	FDEV455H5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCVP455H	1.6	15A,30mA, 0.1sec以下	15	15	15		21m			
	FDKV455H5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCVP455H	1.7									
50シリーズ	FDTV505H5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCVP505H	1.6	15A,30mA, 0.1sec以下	15	15	15	2.0mm²×3	21m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWV505H5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCVP505H	1.8									
	FDTSV505H5SA 室内：FDTSZP505SA 室外：FDCVP505H	1.8									
	FDRV505H5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCVP505H	1.9	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20		18m			
	FDUV505H5SA 室内：FDUZP565SA 室外：FDCVP505H	2.0									
	FDEV505H5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCVP505H	1.8	15A,30mA, 0.1sec以下	15	15	15		21m			
	FDKV505H5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCVP505H	1.8									
	FDFV505H5SA 室内：FDFZP635SA 室外：FDCVP505H	1.7									

〔備考〕共通

（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。

（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■三相200V機

《標準仕様》

形式 ＼ 項目（単位）		電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
56シリーズ	FDTV565H5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCVP565H	1.8	15A,30mA, 0.1sec以下	15	15	15	2.0mm²×3	21m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWV565H5SA 室内：FDTWZP565SA 室外：FDCVP565H	2.0									
	FDTSV565H5SA 室内：FDTSZP635SA 室外：FDCVP565H	2.1									
	FDRV565H5SA 室内：FDRZP565SA 室外：FDCVP565H	2.2	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20		18m			
	FDUV565H5SA 室内：FDUZP565SA 室外：FDCVP565H	2.2									
	FDEV565H5SA 室内：FDEZP565SA 室外：FDCVP565H	2.1	15A,30mA, 0.1sec以下	15	15	15		21m			
	FDKV565H5SA 室内：FDKZP565SA 室外：FDCVP565H	2.2									
63シリーズ	FDTV635H5SA 室内：FDTZP635SA 室外：FDCVP635H	2.1	15A,30mA, 0.1sec以下	15	15	15	2.0mm²×3	21m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWV635H5SA 室内：FDTWZP635SA 室外：FDCVP635H	2.3									
	FDTSV635H5SA 室内：FDTSZP635SA 室外：FDCVP635H	2.2									
	FDRV635H5SA 室内：FDRZP635SA 室外：FDCVP635H	2.5	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20		18m			
	FDUV635H5SA 室内：FDUZP635SA 室外：FDCVP635H	2.5									
	FDEV635H5SA 室内：FDEZP635SA 室外：FDCVP635H	2.1	15A,30mA, 0.1sec以下	15	15	15		21m			
	FDKV635H5SA 室内：FDKZP635SA 室外：FDCVP635H	2.3									
	FDFVP635H5SA 室内：FDFZP635SA 室外：FDCVP635H	2.5									
80シリーズ	FDTV805H5SA 室内：FDTZP805SA 室外：FDCVP805H	2.3	20A, 30mA, 0.1sec以下	30	20	20	3.5mm²×3	31m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWV805H5SA 室内：FDTWZP805SA 室外：FDCVP805H	3.0									
	FDTSV805H5SA 室内：FDTSZP805SA 室外：FDCVP805H										
	FDRV805H5SA 室内：FDRZP805SA 室外：FDCVP805H	2.7						27m			
	FDUV805H5SA 室内：FDUZP805SA 室外：FDCVP805H	2.8									
	FDEV805H5SA 室内：FDEZP805SA 室外：FDCVP805H	2.6						31m			
	FDKV805H5SA 室内：FDKZP1125SA 室外：FDCVP805H	3.3									
	FDFV805H5SA 室内：FDFZP805SA 室外：FDCVP805H	3.1									

〔備考〕共通

（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。

（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■三相200V機

《標準仕様》

	項目（単位）／形式	電源容量(KVA)	漏電しゃ断器定格容量	開閉器		配線用しゃ断器定格電流	電源配線用		内外接続線太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
112シリーズ	FDTV1125HA5SA 室内:FDTZP1605SA 室外:FDCVP1125HA	3.0	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	5.5mm²×3	30m	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（105mまで）	2.0mm²	M5
	FDTWV1125HA5SA 室内:FDTWZP1405SA 室外:FDCVP1125HA	3.5									
	FDRV1125HA5SA 室内:FDRZP1125SA 室外:FDCVP1125HA	3.5	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40		26m		3.5mm²	
	FDUV1125HA5SA 室内:FDUZP1125SA 室外:FDCVP1125HA	3.5									
	FDEV1125HA5SA 室内:FDEZP1605SA 室外:FDCVP1125HA	3.5	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30		30m		2.0mm²	
	FDKV1125HA5SA 室内:FDKZP1125SA 室外:FDCVP1125HA	4.4									
	FDFV1125HA5SA 室内:FDFZP1605SA 室外:FDCVP1125HA	3.5									
140シリーズ	FDTV1405HA5SA 室内:FDTZP1605SA 室外:FDCVP1405HA	4.2	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	5.5mm²×3	30m	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（105mまで）	2.0mm²	M5
	FDTWV1405HA5SA 室内:FDTWZP1405SA 室外:FDCVP1405HA	5.0									
	FDRV1405HA5SA 室内:FDRZP1605SA 室外:FDCVP1405HA	4.7	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40		26m		3.5mm²	
	FDUV1405HA5SA 室内:FDUZP1605SA 室外:FDCVP1405HA	4.7									
	FDEV1405HA5SA 室内:FDEZP1605SA 室外:FDCVP1405HA	4.6	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30		30m		2.0mm²	
	FDFV1405HA5SA 室内:FDFZP1605SA 室外:FDCVP1405HA	5.0									

〔備考〕共通
（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■三相200V機

《標準仕様》

形式 ＼ 項目（単位）		電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	開閉器		配線用しゃ断器 定格電流	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
160シリーズ	FDTV1605HA5SA 室内:FDTZP1605SA 室外:FDCVP1605HA	5.2	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	5.5mm²×3	30m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (105mまで)	2.0mm²	M5
	FDTWV1605HA5SA 室内:FDTWZP1605SA 室外:FDCVP1605HA	6.7									
	FDRV1605HA5SA 室内:FDRZP1605SA 室外:FDCVP1605HA	6.1	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40		25m		3.5mm²	
	FDUV1605HA5SA 室内:FDUZP1605SA 室外:FDCVP1605HA	5.9						26m			
	FDEV1605HA5SA 室内:FDEZP1605SA 室外:FDCVP1605HA	5.9	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30		30m		2.0mm²	
	FDFV1605HA5SA 室内:FDFZP1605SA 室外:FDCVP1605HA	6.9									

■三相200V機

《標準仕様》

形式 ＼ 項目（単位）		電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流 (A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
224シリーズ	FDUVP2244H5A 室内:FDUVP2245A 室外:FDCVP2244H	9.0	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	14.0mm²×3	44m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	5.5mm²	M5
	FDEVP2244H3AG 室内:FDEVP2243AG 室外:FDCVP2244H	8.3					8.0mm²×3(1)	32m(1)			
	FDFVP2244H4AG 室内:FDFVXP2244AG 室外:FDCVP2244H	8.5									
280シリーズ	FDUVP2804H5A 室内:FDUVP2805A 室外:FDCVP2804H	13.0	60A, 100mA, 0.1sec以下	60	60	60	14.0mm²×3	42m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	5.5mm²	M5
	FDEVP2804H3AG 室内:FDEVXP2803AG 室外:FDCVP2804H		50A, 100mA, 0.1sec以下		50	50		51m			
	FDFVP2804H4AG 室内:FDFVXP2804AG 室外:FDCVP2804H										

（1） 外気温が45℃を超える場所に据付ける場合は，電源線太さ14mm²配線こう長54mになります。

■単相200V機

《ツイン仕様》

	形式	電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器 開閉器容量(A)	手元開閉器 B種ヒューズ(A)	配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用 太さ×本数	電源配線用 こう長	内外接続線 太さ×本数	アース線 太さ	アース線 ねじ
80シリーズ	FDTV805HKP5SA 室内:FDTZP635SA x 2 室外:FDCVP805HK	2.0	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×2	19m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWV805HKP5SA 室内:FDTWZP565SA x 2 室外:FDCVP805HK	2.4									
	FDTSV805HKP5SA 室内:FDTSZP505SA x 2 室外:FDCVP805HK	2.4									
	FDRV805HKP5SA 室内:FDRZP565SA x 2 室外:FDCVP805HK	2.5						17m			
	FDEV805HKP5SA 室内:FDEZP565SA x 2 室外:FDCVP805HK	2.3						19m			
	FDKV805HKP5SA 室内:FDKZP565SA x 2 室外:FDCVP805HK	2.9									

■三相200V機

《ツイン仕様》

	形式	電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器 開閉器容量(A)	手元開閉器 B種ヒューズ(A)	配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用 太さ×本数	電源配線用 こう長	内外接続線 太さ×本数	アース線 太さ	アース線 ねじ
80シリーズ	FDTV805HP5SA 室内:FDTZP635SA x 2 室外:FDCVP805H	2.3	20A, 30mA, 0.1sec以下	30	20	20	3.5mm²×3	31m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWV805HP5SA 室内:FDTWZP565SA x 2 室外:FDCVP805H	3.0									
	FDTSV805HP5SA 室内:FDTSZP505SA x 2 室外:FDCVP805H	3.0									
	FDRV805HP5SA 室内:FDRZP565SA x 2 室外:FDCVP805H	27						27m			
	FDEV805HP5SA 室内:FDEZP565SA x 2 室外:FDCVP805H	2.6						31m			
	FDKV805HP5SA 室内:FDKZP565SA x 2 室外:FDCVP805H	3.3									
112シリーズ	FDTV1125HPA5SA 室内:FDTZP635SA x 2 室外:FDCVP1125HA	3.1	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	5.5mm²×3	30m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (105mまで)	2.0mm²	M5
	FDTWV1125HPA5SA 室内:FDTWZP565SA x 2 室外:FDCVP1125HA	3.6									
	FDTSV1125HPA5SA 室内:FDTSZP635SA x 2 室外:FDCVP1125HA	3.5									
	FDRV1125HPA5SA 室内:FDRZP635SA x 2 室外:FDCVP1125HA	3.3	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40		26m		3.5mm²	
	FDUV1125HPA5SA 室内:FDUZP635SA x 2 室外:FDCVP1125HA	3.5						25m			
	FDEV1125HPA5SA 室内:FDEZP565SA x 2 室外:FDCVP1125HA	3.8	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30		30m		2.0mm²	

〔備考〕共通

(1) 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
(2) シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■三相200V機

《ツイン仕様》

	形式	電源容量(KVA)	漏電しゃ断器定格容量	開閉器		配線用しゃ断器定格電流	電源配線用		内外接続線太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
112シリーズ	FDKV1125HPA5SA 室内:FDKZP565SA x 2 室外:FDCVP1125HA	4.0	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	5.5mm²×3	30m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (105mまで)	2.0mm²	M5
	FDFV1125HPA5SA 室内:FDFZP635SA x 2 室外:FDCVP1125HA	3.3									
140シリーズ	FDTV1405HPA5SA 室内:FDTZP715SA x 2 室外:FDCVP1405HA	4.2	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	5.5mm²×3	30m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (105mまで)	2.0mm²	M5
	FDTWV1405HPA5SA 室内:FDTWZP805SA x 2 室外:FDCVP1405HA	4.8									
	FDTSV1405HPA5SA 室内:FDTSZP805SA x 2 室外:FDCVP1405HA	4.7									
	FDRV1405HPA5SA 室内:FDRZP805SA x 2 室外:FDCVP1405HA	4.5	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40		25m		3.5mm²	
	FDUV1405HPA5SA 室内:FDUZP805SA x 2 室外:FDCVP1405HA	4.5									
	FDEV1405HPA5SA 室内:FDEZP805SA x 2 室外:FDCVP1405HA	4.2	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30		30m		2.0mm²	
	FDKV1405HPA5SA 室内:FDKZP1125SA x 2 室外:FDCVP1405HA	4.2									
	FDFV1405HPA5SA 室内:FDFZP805SA x 2 室外:FDCVP1405HA	4.8									
160シリーズ	FDTV1605HPA5SA 室内:FDTZP805SA x 2 室外:FDCVP1605HA	4.7	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	5.5mm²×3	30m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (105mまで)	2.0mm²	M5
	FDTWV1605HPA5SA 室内:FDTWZP805SA x 2 室外:FDCVP1605HA	6.3									
	FDTSV1605HPA5SA 室内:FDTSZP805SA x 2 室外:FDCVP1605HA	6.2									
	FDRV1605HPA5SA 室内:FDRZP805SA x 2 室外:FDCVP1605HA	5.7	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40		25m		3.5mm²	
	FDUV1605HPA5SA 室内:FDUZP805SA x 2 室外:FDCVP1605HA	5.7									
	FDEV1605HPA5SA 室内:FDEZP805SA x 2 室外:FDCVP1605HA	5.4	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30		30m		2.0mm²	
	FDKV1605HPA5SA 室内:FDKZP1125SA x 2 室外:FDCVP1605HA	5.5									
	FDFV1605HPA5SA 室内:FDFZP805SA x 2 室外:FDCVP1605HA	5.9									

〔備考〕共通

（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。

（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■三相200V機

《ツイン仕様》

	形式 \ 項目（単位）	電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器 開閉器容量(A)	手元開閉器 B種ヒューズ(A)	配線用しゃ断器 定格電流 (A)	電源配線用 太さ×本数	電源配線用 こう長	内外接続線 太さ×本数	アース線 太さ	アース線 ねじ
224シリーズ	FDTVP2244HP5SA 室内:FDTZP1605SA x 2 室外:FDCVP2244H	7.5	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8.0mm²×3(3)	32m(3)	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（120mまで）	5.5mm²	M5
	FDTWVP2244HP5SA 室内:FDTWZP1405SA x 2 室外:FDCVP2244H	8.5									
	FDRVP2244HP5SA 室内:FDRZP1125SA x 2 室外:FDCVP2244H	8.0	60A, 100mA, 0.1sec以下		60	60	8.0mm²×3(4)	32m(4)			
	FDUVP2244HP5SA 室内:FDUZP1125SA x 2 室外:FDCVP2244H	8.1									
	FDEVP2244HP5SA 室内:FDEZP1605SA x 2 室外:FDCVP2244H	8.7	50A, 100mA, 0.1sec以下		50	50	8.0mm²×3(3)	32m(3)			
	FDFVP2244HP5SA 室内:FDFZP1605SA x 2 室外:FDCVP2244H	8.8									
280シリーズ	FDTVP2804HP5SA 室内:FDTZP1605SA x 2 室外:FDCVP2804H	10.5	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8.0mm²×3(3)	32m(3)	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（120mまで）	5.5mm²	M5
	FDTWVP2804HP5SA 室内:FDTWZP1405SA x 2 室外:FDCVP2804H	12.4					14.0mm²×3	51m			
	FDRVP2804HP5SA 室内:FDRZP1605SA x 2 室外:FDCVP2804H	11.7	60A, 100mA, 0.1sec以下		60	60		39m			
	FDUVP2804HP5SA 室内:FDUZP1605SA x 2 室外:FDCVP2804H	11.5									
	FDEVP2804HP5SA 室内:FDEZP1605SA x 2 室外:FDCVP2804H	12.8	50A, 100mA, 0.1sec以下		50	50		51m			
	FDFVP2804HP5SA 室内:FDFZP1605SA x 2 室外:FDCVP2804H	13.3									

■三相200V機

《トリプル仕様》

	形式 \ 項目（単位）	電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器 開閉器容量(A)	手元開閉器 B種ヒューズ(A)	配線用しゃ断器 定格電流 (A)	電源配線用 太さ×本数	電源配線用 こう長	内外接続線 太さ×本数	アース線 太さ	アース線 ねじ
160シリーズ	FDTV1605HTA5SA 室内:FDTZP635SA x 3 室外:FDCVP1605HA	4.7	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	mm 5.5mm²×3	30m	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（105mまで）	2.0mm²	M5
	FDTWV1605HTA5SA 室内:FDTWZP565SA x 3 室外:FDCVP1605HA	5.4									
	FDTSV1605HTA5SA 室内:FDTSZP505SA x 3 室外:FDCVP1605HA	5.7									

〔備考〕共通

(1) 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
(2) シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。
(3) 外気温が45℃を超える場所に据付ける場合は，電源線太さ14mm²配線こう長54mになります。
(4) 外気温が45℃を超える場所に据付ける場合は，電源線太さ14mm²配線こう長43mになります。

■三相200V機

《トリプル仕様》

項目（単位） / 形式		電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器 開閉器容量(A)	手元開閉器 B種ヒューズ(A)	配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用 太さ×本数	電源配線用 こう長	内外接続線 太さ×本数	アース線 太さ	アース線 ねじ
160シリーズ	FDRV1605HTA5SA 室内:FDRZP565SA x 3 室外:FDCVP1605HA	6.2	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40	5.5mm²×3	25m	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（105mまで）	3.5mm²	M5
	FDEV1605HTA5SA 室内:FDEZP565SA x 3 室外:FDCVP1605HA	5.4	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30		30m		2.0mm²	
	FDKV1605HTA5SA 室内:FDKZP565SA x 3 室外:FDCVP1605HA	5.3									
224シリーズ	FDTVP2244HT5SA 室内:FDTZP715SA x 3 室外:FDCVP2244H	7.9	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8.0mm²×3(3)	32m(3)	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（120mまで）	5.5mm²	M5
	FDTWVP2244HT5SA 室内:FDTWZP805SA x 3 室外:FDCVP2244H	9.4									
	FDTSVP2244HT5SA 室内:FDTSZP805SA x 3 室外:FDCVP2244H	8.9									
	FDRVP2244HT5SA 室内:FDRZP805SA x 3 室外:FDCVP2244H	8.5	60A, 100mA, 0.1sec以下		60	60	8.0mm²×3(4)	32m(4)			
	FDEVP2244HT5SA 室内:FDEZP805SA x 3 室外:FDCVP2244H	8.2	50A, 100mA, 0.1sec以下		50	50	8.0mm²×3(3)	32m(3)			

■三相200V機

《ダブルツイン仕様》

項目（単位） / 形式		電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器 開閉器容量(A)	手元開閉器 B種ヒューズ(A)	配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用 太さ×本数	電源配線用 こう長	内外接続線 太さ×本数	アース線 太さ	アース線 ねじ
224シリーズ	FDTVP2244HD5SA 室内:FDTZP635SA x 4 室外:FDCVP2244H	6.9	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8.0mm²×3(3)	32m(3)	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（120mまで）	5.5mm²	M5
	FDTWVP2244HD5SA 室内:FDTWZP565SA x 4 室外:FDCVP2244H	7.8									
	FDRVP2244HD5SA 室内:FDRZP565SA x 4 室外:FDCVP2244H	8.9	60A, 100mA, 0.1sec以下		60	60	8.0mm²×3(4)	32m(4)			
280シリーズ	FDTVP2804HD5SA 室内:FDTZP715SA x 4 室外:FDCVP2804H	9.9	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	14.0mm²×3	51m	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（120mまで）	5.5mm²	M5
	FDTWVP2804HD5SA 室内:FDTWZP805SA x 4 室外:FDCVP2804H	12.4									
	FDRVP2804HD5SA 室内:FDRZP805SA x 4 室外:FDCVP2804H	11.3	60A, 100mA, 0.1sec以下		60	60		39m			

〔備考〕共通

(1) 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
(2) シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。
(3) 外気温が45℃を超える場所に据付ける場合は，電源線太さ14mm²配線こう長54mになります。
(4) 外気温が45℃を超える場所に据付ける場合は，電源線太さ14mm²配線こう長43mになります。

6. 据付関連事項

PJF012D050

(1) 室内ユニット

(a) 天井埋込形 4 方向吹出し（FDT）

(i) 室内ユニットの据付

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。
電気配線（室内ユニット）は、電気配線工事説明書をご覧ください。リモコンの取付方法は、リモコン付属の説明書をご覧ください。
ワイヤレスキットの取付方法は、ワイヤレスキット付属の説明書をご覧ください。
室外ユニットの据付方法、電気配線（室外ユニット）および冷媒配管工事方法は、室外ユニットの付属の説明書をご覧ください。
また、故障診断は、室内ユニットの結線銘板をご覧ください。
本室内ユニットは必ずパネルを取付けてご使用ください。
この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、海外においてはアフターサービスもできません。

安全上のご注意

●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、⚠警告、⚠注意、に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に⚠警告の欄にまとめて記載しています。しかし、⚠注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 ⃠ 絶対に行わない 必ず指示に従い行う
●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など）をお客様に説明してください。
この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、室内ユニット落下によるケガの原因になります。	❗
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があると破裂・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。	❗
●小部屋に据付ける場合は万一冷媒が漏れても、限界濃度を超えない対策をする。(JRA GL-13) 限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。	❗
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、室内ユニット落下、水漏れ、火災、感電などの原因になります。	❗
●作業中に冷媒が漏れた場合は換気をする。 冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	❗
●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。 強度が不足している場合は、室内ユニットの落下などにより、ケガの原因になります。	❗
●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。 据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。	❗
●室内ユニットの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒以外の空気などを入れない。 空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	⃠
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。	❗
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。	❗
●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。 カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。	❗
●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。 冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	❗
●配管、フレアナット、工具は R32 用または R410A 用を使用する。 既存（R22）の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。	❗
●フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締付ける。 フレアナットの締付過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。	❗
●ドレン配管はイオウ系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接入れない。 室内に有毒ガスが侵入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また、室内ユニットを腐食させ、故障や冷媒漏れの原因になります。	⃠
●据付作業では圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取付ける。 冷媒配管を取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	❗
●ポンプダウン作業では、サービスバルブを閉じた後配管を外す前に圧縮機を停止する。 圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管を外すと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	❗
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	❗
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	⃠
●エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。 据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	❗
●エアコンの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。 点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。	❗
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。	⃠
●元電源を切った後に電気工事を行う。 感電、故障や動作不良の原因になります。	❗

⚠注意

●アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。

●漏電しゃ断器は必ず取付ける。
漏電しゃ断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋Ｂ種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。
万一ガスが室内ユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

●腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある所、揮発性引火物を取扱う所での据付、使用は行わない。
熱交の腐食、プラスチック部品の破損などの原因になることがあります。また可燃性ガスは発火の原因になることがあります。

●工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。

●洗濯室など、水の掛かる所では使用しない。
室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。水が掛かると感電、火災などの原因になることがあります。

●食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。
保存物の品質低下などの原因になることがあります。

●病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器、高周波の発生する機器の近くでは据付、使用しない。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。

●直射日光の当たる所にリモコンを設置しない。
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。

●次の場所への据付は避ける。
・可燃性ガスの漏れる恐れがある所
・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、機器に影響する物質の発生する所
・油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場など）
・高周波を発生する機械を使用する所
・海浜地区等塩分の多い所
・煙突の煙がかかる所
・カーボン繊維や金属粉、パウダーなどが浮遊する所
・車両・船舶等移動するものへの設置
・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所
・積雪の多い所
・標高１０００m以上の所
性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したりする原因になることがあります。

●次の場所への室内ユニットの据付は避ける。（機種により異なる制限があるので、その指示に従うこと）。
・吸込口、吹出口に風の障害物がある所
・強度が不十分で振動が発生する所
・ワイヤレス機の場合、受光部に直接太陽光や強い光が当たる所
・高周波に影響される機器のある所（TV およびラジオ等の近傍）
・ドレンの排水がとれない所
性能や機能等に影響をおよぼす原因になります。

●室内ユニットの下部には、濡れて困るものは置かない。
湿度が 80% 以上の時や、ドレン排水が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じることがあります。

●長期使用で傷んだままの据付け台を使用しない。
傷んだ状態で放置すると室内ユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。

●室内ユニット近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、室内ユニット内へのスパッタの侵入を防止する。
溶接作業時などに発生するスパッタが室内ユニットにあたった場合、ドレンパンなどに損傷（ピンホール）をあたえ、水漏れなどの原因になることがあります。室内ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため梱包状態のままとしておくか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。

●ＧＨＰ〔ガスヒートポンプ〕の場合、室外ユニットの排気ドレン管と室内ユニットの排水ドレン管は共用しない。
室内に有毒ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。

●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因となることがあります。

●ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。

●冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たれなどを発生し、天井･床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。

●室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所に設置しない。
小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。
また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。

●製品の運搬は十分注意して行う。
20kg 以上の製品は原則として２人以上で行ってください。PP バンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないで下さい。
素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

●梱包材の処理は確実に行う。
梱包材にクギなどの金属あるいは、木片などを使用していますので放置状態にしますとケガをすることがあります。

●フィルタをはずしたまま運転しない。
内部に油・ゴミなどが詰まり、故障の原因になることがあります。

●濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。

●運転中の冷媒配管を素手で触れない。
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになることがあります。

●エアコンを水洗いしない。
感電の原因になることがあります。

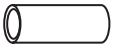
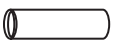
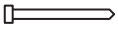
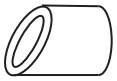
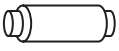
●運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず５分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。

●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

①据付前に

●据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
●次の項目を確認してください。
　○機種・電源仕様　　○配管・配線・小物部品　　○付属品

付属品

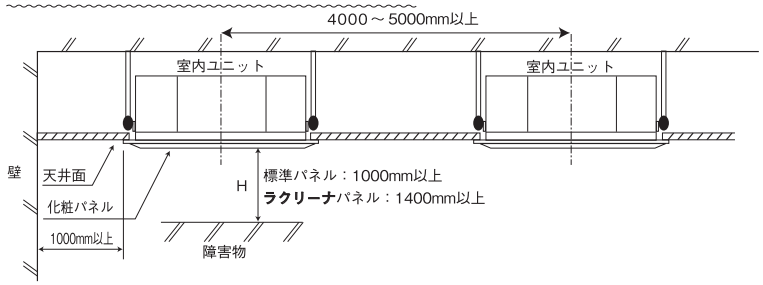
室内ユニット吊り込み用		冷媒配管用			ドレン配管用				
平座金（M10）	レベルゲージおよび平座金仮固定	パイプカバー（大）	パイプカバー（小）	バンド	パイプカバー（大）	パイプカバー（小）	ドレンホース	ホースクランプ	抗菌材
									
8個	1個	1個	1個	4本	1個	1個	1個	1個	1個
吊りボルト用	室内ユニットの位置調整および吊り込み時の補助用	ガス管断熱用	液管断熱用	パイプカバー固定用	ドレンソケット断熱用	ドレンソケット断熱用	ドレン配管接続用	ドレンホース取付用	ドレンパン防汚用

②室内ユニットの据付場所の選定

①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
・冷風または温風が十分に行きわたる所。
　据付高さが３ｍを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
　人感センサを使用する場合、据付け高さは 4m 以内としてください。センサ感度が鈍くなり、検知しにくくなります。
・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
・侵入外気の影響のない所。
・直射日光の当たらない所。
・周囲の露点温度が２８℃以下、相対湿度８０％以下の所。
　本室内ユニットは JIS 露付条件（室内：27℃ /78% RH）にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、室内ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、室内ユニットの全ておよび配管、ドレン配管にさらに10～20mmの断熱材を取付けてください。
・テレビ、ラジオより１ｍ以上離れた所。（映像の乱れや雑音が生じることがあります。）
・室内ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバー、医療機器など濡れて困るものを置かない所。
・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
・フライヤーの真上など油・粉・蒸気などを直接吸込まない所。
・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。
　ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。
②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット落下によるケガの原因になります。
③ワイヤレス機種を２台以上据付ける場合は、混信による誤動作を防止するため室内ユニット間を６ｍ以上離してください。
④室内ユニットを隣接して設置する場合は、室内ユニット間距離を４～５ｍ以上離して設置してください。

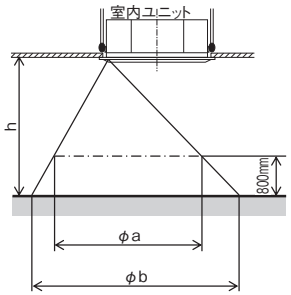
室内ユニット据付スペース

●室内ユニット－壁、室内ユニット－室内ユニット間など、間隔がとれない場合は、そちら側の吹出口をしゃ風しショートサーキットしないことを確認してください。
●**据付高さは２.５m以上としてください。**



埋設配管途中に配管継手がある場合は、接続か所の点検が可能なように点検口などを設けてください。

人感センサ検知範囲の目安



天井高さ　h [m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲①　φa [m]	約 4.5	約 6.4	約 7.6
検知範囲②　φb [m]	約 6.4	約 8.3	約 9.5

吹出パターンの設定

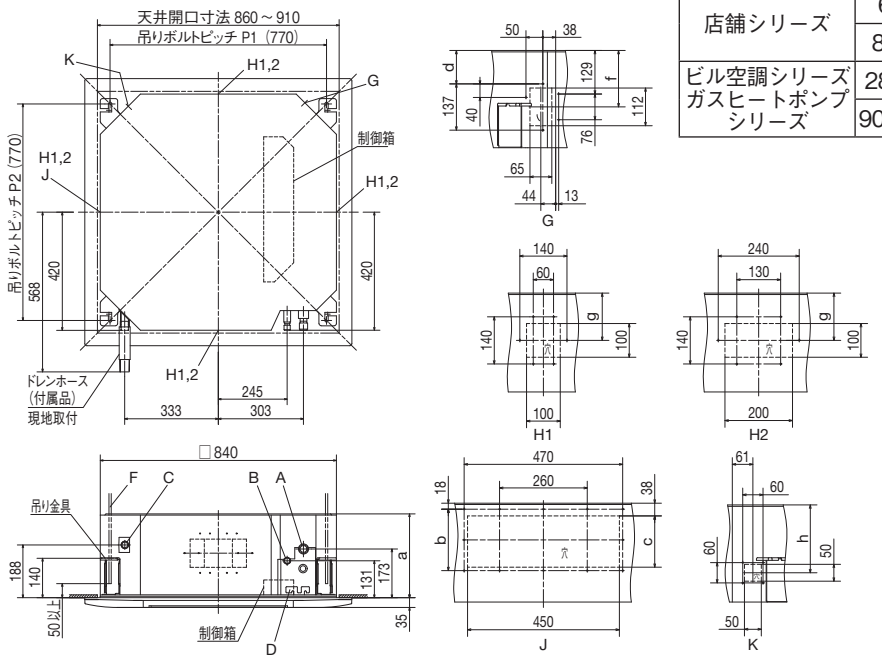
●部屋の形や据付位置に最適な吹出方向を４方向・３方向・２方向から選定してください。(１方向はできません。)
●吹出口数を変更する場合は、別売のしゃ風材を手配してください。
●２方向・３方向吹出の場合は風量「弱」での使用は避けてください。
●高温・多湿環境での２方向吹出は行わないでください。(結露・水漏れの原因になります。)
●吹出ルーバの上下位置の設定などによりさまざまな吹出パターンが設定できます。設定方法は取扱説明書をご覧ください。

③据付準備

●吊りボルト長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
　○システム天井（グリッド天井・ライン天井）の場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）５００mm以上または天井ふところ高さ７００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
　○強度が十分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）１０００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
●吊りボルト・ナット・バネ座金（Ｍ１０ or Ｍ８）を４組現地にて手配してください。

（mm）

天井開口穴・吊りボルトピッチ・各配管の位置



シリーズ	機種	a	b	c	d	f	g	h
店舗シリーズ	63,71 形	236	130	100	37	105	88	139
	80,160 形	298	182	152	99	167	140	201
ビル空調シリーズ ガスヒートポンプシリーズ	28 ～ 80 形	236	130	100	37	105	88	139
	90 ～ 160 形	298	182	152	99	167	140	201

記号	内容
A	冷媒ガス側配管
B	冷媒液側配管
C	ドレン配管
D	電源取入口
F	吊りボルト
G	ＯＡ取入口
H1	吹出分岐ダクト接続口
H2	
J	加湿器接続口
K	加湿器余剰水接続口

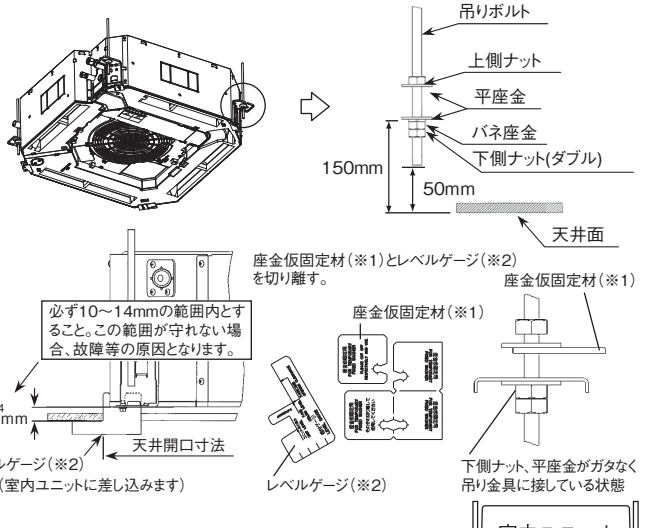
※吊りボルトピッチ P1、P2 は下表のパターンで調整可能です。

パターン ＼ 記号	P1	P2
1	770	725 ～ 770
2	770 ～ 800	725

④室内ユニットの据付

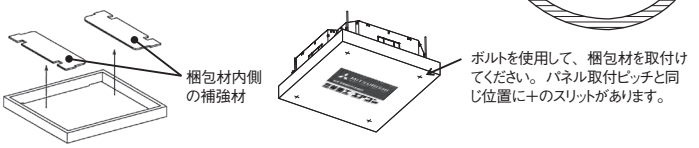
作業手順

1. 吊りボルト長さは、天井面より 50mm 程度としてください。
2. 吊りボルトの下側ナット(4か所)は、天井面から150mm 程度に仮止めしてください。
3. 吊りボルトの上側ナット(4か所)は、室内ユニット吊り込みおよび高さ調整時に支障のないよう、下側ナットから十分距離を取った位置に仮止めしてください。
4. 吊りボルトの上側ナットと上側座金(各4か所)を下側ナットから十分な距離をとった状態で、座金仮固定材(※1)を吊りボルトに挿しこんでください。上側座金が落下してきません。
5. 室内ユニットを吊り込んでください。
6. 室内ユニット吊り込み後、付属のレベルゲージ(※2)を室内ユニットの吹出口に取付け、室内ユニットの吊り込み高さを調整してください。高さ調整は上側ナット(4か所)を緩めた状態で、下側ナット(4か所)で調整してください。室内ユニット吊り金具(4か所)が下側ナット，平座金にガタなく接していることを確認してください。
7. 座金仮固定材(4か所全て)を取外してください。
8. 室内ユニットの水平度を確認してください。水平度は水準器または透明ホースに水を入れたものを使用して確認してください。
   (室内ユニットの両端での高さ許容差は 3mm 以内)
9. 吊りボルトの上側ナット(4か所)を締付けてください。



室内ユニットの養生

●パネルをしばらくの間取付けられない場合、または室内ユニットを据付け後に天井材を貼る場合は、梱包材 (天面ダンボール) を使用して、室内ユニットを養生してください。



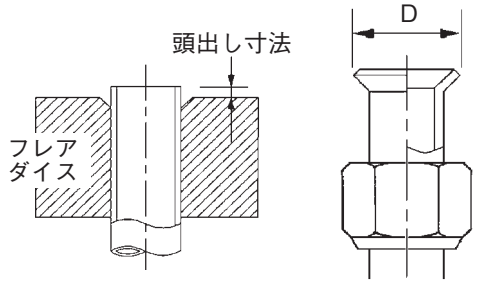
室内ユニット据付時のお願い

●上側ナットで高さ調整を行わないでください。室内ユニットに無理な力がかかり変形し、パネルが組付けできなかったり、ファン干渉音が発生することがあります。
●室内ユニットは必ず水平に据付け、室内ユニット下面と天井面の高さを正しく設置してください。据付に不備があると風漏れ、結露・水漏れ、騒音の原因になります。
●パネルを据付後、室内ユニット高さの微調整ができます。詳細はパネルの据付説明書をご覧ください。
●パネルと天井面、およびパネルと室内ユニットとの接触部は確実に密着させてください。隙間があると風漏れ、結露・水漏れの原因になります。

⑤冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは、製品付属のもの又は JIS B 8607 2種適合品をご使用ください。
他のフレアナット(1種)を使用すると冷媒漏れの原因となります。
既設配管再利用の可否および洗浄方法については、室外ユニットの据付説明書またはカタログ・技術資料で確認してください。
1) 再利用する場合、フレアナットは流用せず室内ユニットに付属のもの又は JIS B 8607 2種適合品を使用してください。
2) 再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R32 用または R410A 用のフレア加工をしてください。



配管径 d mm	配管の最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアーナット締付トルク N·m
		リジッド（クラッチ式）			
		R32 用 R410A 用	従来ツール		
6.35	0.8	0 ～ 0.5	0.7 ～ 1.3	8.9 ～ 9.1	14 ～ 18
9.52	0.8			12.8 ～ 13.2	34 ～ 42
12.7	0.8			16.2 ～ 16.6	49 ～ 61
15.88	1			19.3 ～ 19.7	68 ～ 82
19.05	1.2			23.6 ～ 24.0	100 ～ 120

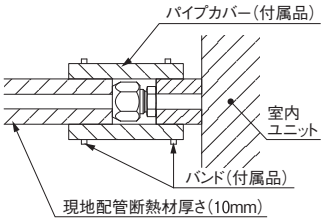
●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（C1220T、JIS H 3300）をご使用ください。また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。
冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。

●指定冷媒以外は使用しないでください。
指定冷媒以外を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。指定冷媒は室外ユニットの形式ラベルをご覧ください。

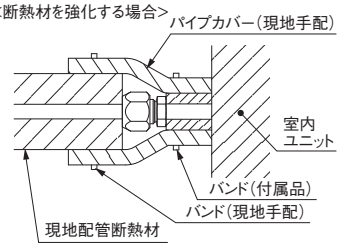
●据付に使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。
冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。

●工具はＲ３２用またはＲ４１０Ａ用の工具を使用してください。

<断熱材厚さ10mmを使用する場合>



<断熱材を強化する場合>



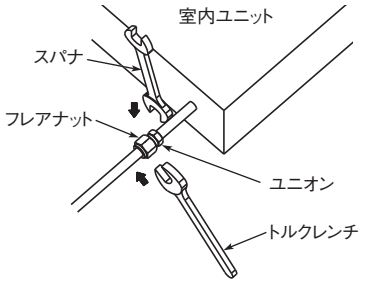
作業手順

1．室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取外してください。
※室内ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで２丁掛けして外してください。
（このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。）
●フレアナット飛びに注意してください。（内部に圧力がかかっている場合があります。）

2．液管・ガス管をフレア加工し、右図に示すように冷媒配管を接続してください。
※配管の曲げは４Ｄ以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。
また配管をねじったり、2/3D 以下につぶしたりしないでください。
※フレア接続は、以下のように行ってください。
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで３～４回転ねじ込み、２丁スパナ掛けで表の締付力で締めてください。

3．室内ユニットのフレア部は、ガス漏れチェック後、右図に示すように断熱材をかぶせ、バンドでしっかりと締付けてください。
●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
●ガス側配管の断熱材は耐熱 120℃以上のものを使用してください。
●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。

4．冷媒は室外ユニットに充填されています。
室内ユニットおよび接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。



注意
同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、またはフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しません。
冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとしてください。

⑥ドレン配管

ドレン配管時の注意事項

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。

●ドレン配管はイオウ系ガスなど有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。
室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。

●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。

●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。

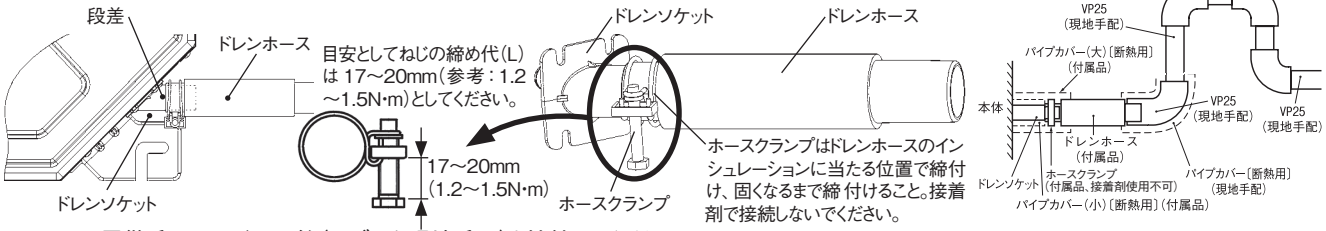
●施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。

●ドレン配管は下り勾配(1/100 以上)とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

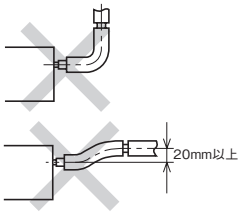
⑥ドレン配管

作業手順

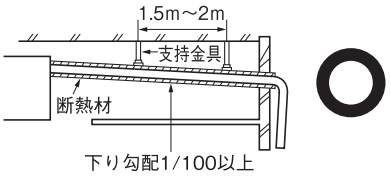
1. 付属のドレンホースの軟質側にホースクランプを通し、ソケットの段差部まで確実に挿入してください。
   その際、ホースクランプのねじが室内ユニットの外側になる位置にし、ボルトが鉛直方向になるようにしてください。
   ●接着剤使用不可
2. ホースクランプはドレンホースの断熱材に接触する位置で、ねじを締付けてください。
3. ねじを数回回転させて締付けが固くなる位置まで締付け、それ以上に締付けないでください。

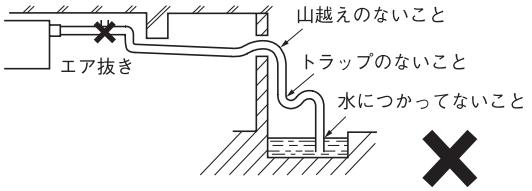


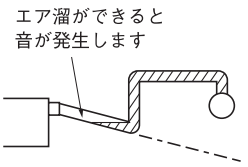
4. VP25用継手やエルボ、配管(いずれも現地手配)を接続してください。
   ※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管VP25を使用してください。
   ●接着剤は付属のドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。
   乾燥後、フレキ部に力が加わった場合、フレキ部が破損することがあります。
   ●ドレンホースは、室内ユニットあるいはドレン配管の据付け時の微小なズレを吸収するためのものです。故意に曲げたり、引っ張って使用された場合は、破損し、水漏れに至ることがあります。



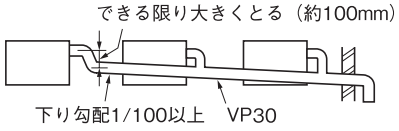
5. ドレン配管は下り勾配(1／100以上)としてください。不可能な場合はドレンアップしてください。
   途中山越えやトラップを作らないように施工してください。
   ●ドレン配管を接続する場合に室内ユニット側の配管に力が加えないように注意して行い、できる限り室内ユニット近傍で配管を固定してください。
   ●エア抜きは絶対に設けないでください。







   ●複数台のドレン配管の場合、室内ユニットドレン出口より約100mm下に集合配管がくるようにしてください。
   また集合配管はVP30以上を使用してください。

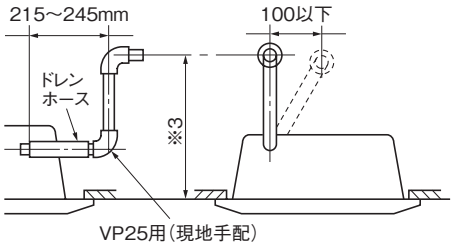


6. ドレン配管の断熱施工を行ってください。
   ●結露が発生し、水漏れをおこすおそれがありますので、ドレンソケット部および室内にある硬質塩ビパイプは確実に断熱してください。
   ※ドレンソケット部は、排水テスト実施後、付属のパイプカバー(小)をドレンソケット部に装着した後、付属のパイプカバー(大)にてパイプカバー(小)、クランプおよびドレンホースの一部を覆い、テープにより隙間のないように巻いてください。

ドレンアップする場合

●ドレン配管の出口高さは、天井面より850mmまたは960mm(※3)まで高くすることができます。天井内に障害物などがある場合、エルボなどを用いて施工してください。この場合、ドレン配管を立ち上げるまでの距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流量が多くなり、オーバーフローすることがありますので、右図寸法内で処理願います。

※3：お掃除ラクリーナパネルの場合：960mm以下、かつ天井に接触しない高さ以上
お掃除ラクリーナパネル以外の場合：850mm以下、かつ天井に接触しない高さ以上

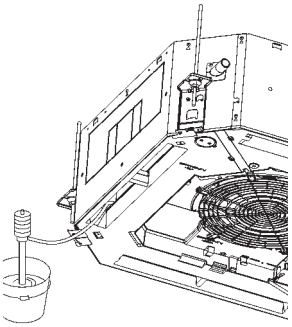


ドレン排水テスト

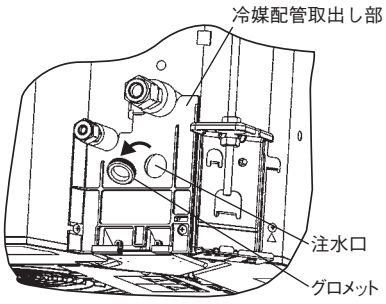
●ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていることを、接続部および室内ユニットのドレンパン部から水漏れのないことを確認してください。このとき、ドレンポンプのモータ音に異常がないことも確認してください。
●暖房期の据付の際にも必ず実施してください。
●新築の場合には天井を張る前に実施してください。

1. 室内ユニットドレンパンの中へ水を約1000cc 注水してください。注水時は､ドレンポンプなどの電機部品に水をかけないようにしてください。
   注水は、吹出口から給水ポンプなどを使用するか、冷媒配管取出し部の注水口から行ってください。
2. ドレン排水が確実に行われること、ドレン配管接続部から水漏れのないことを確認してください。
   ドレンポンプの回転音を確認しながら排水するかどうかをテストしてください。ドレン排水の確認は、ドレンソケット部(透明)より確認できます。
3. 排水テスト後は、ドレンプラグを外して水抜きを行ってください。
   水抜き確認後は、ドレンプラグを元通りにはめ込んでください。ドレン配管の断熱を室内ユニット部まで完全に行ってください。
   リッドを外して注水した場合は、リッドを装着しなおしてください。

●吹出口から注水する場合



●冷媒配管取出し部の注水口から注水する場合



⑥ドレン配管のつづき

ドレンポンプ運転方法

○電気配線工事が完了している場合

ドレンポンプの運転がリモコン(ワイヤード)操作により可能です。運転操作方法は、電気配線工事説明書の「ドレンポンプ運転操作」をご覧ください。

○電源が供給されている場合

室内ユニット基板上のSW7−1をONにし、かつ、基板上のコネクタCnBを抜いた後、電源ON(端子台①、②へAC200V)すると、ドレンポンプのみ連続運転します。ドレン排水確認後は、必ずSW7−1を元の状態(OFF)に戻し、かつ、基板上のコネクタCnBを差込んでください。

○電源が供給されていない場合

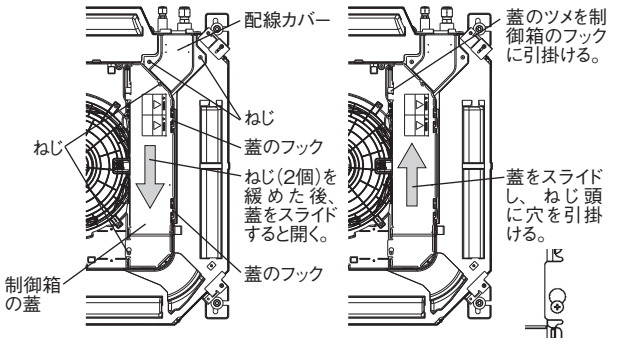
ドレンポンプ試運転用チェッカ(別売)でドレンポンプを運転することが可能です。操作方法はドレンポンプ試運転チェッカに付属の取扱説明書をご覧ください。

⑦電気配線取出位置および電気配線接続

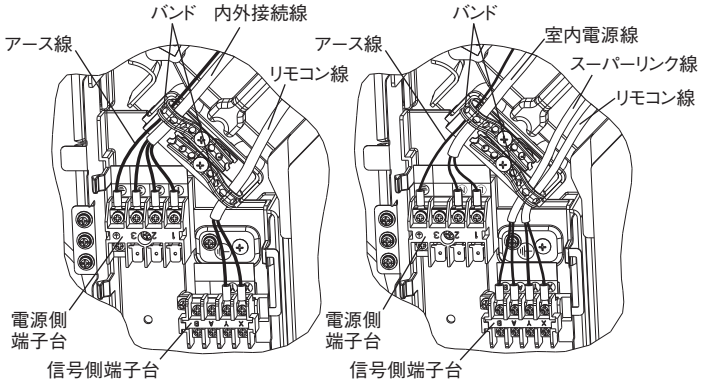
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。
●電源線と信号線は同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
●D種接地工事を必ず行ってください。
●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。

1. 制御箱の蓋のねじ(2個)を緩め、蓋を図の矢印の方向にスライドしてください。蓋を開くことができます。
2. 蓋のフックを制御箱の穴から外して、蓋を取外してください。
3. 配線カバーのねじ(2個)を取外して、配線カバーを取外してください。
4. 各配線を制御箱内に入れ、端子台に確実に接続してください。
5. 各配線をバンドで固定してください。
6. 配線カバー , 制御箱の蓋を取付けてください。

制御箱の蓋を開ける場合　制御箱の蓋を閉める場合



店舗シリーズ　ビル空調シリーズ ガスヒートポンプシリーズ

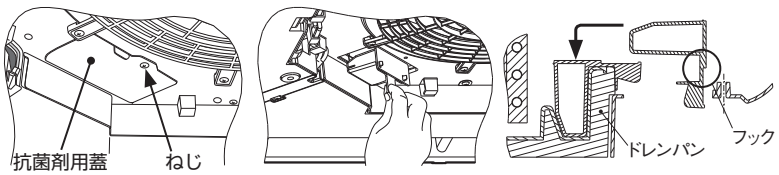


⑧抗菌剤の取付

●付属の抗菌剤ケースをドレンパン内に取付けてください。抗菌剤ケースの中に抗菌剤が入っています。
●抗菌剤ケースの取付は室内ユニットを吊った後に実施してください。室内ユニットが天地逆では取付けられません。

作業手順　(付属抗菌剤の交換目安:冷房1シーズン)

1. 抗菌剤用蓋のねじ(1個)を取外し、抗菌剤用蓋を取外してください。
2. 取出口から抗菌剤を取付けてください。抗菌剤ケースのフックの奥まで、ドレンパンが達するように取付けてください。
3. 抗菌剤用蓋を取付けてください。風漏れや異常音の原因となります。



⑨パネルの取付

●パネルは、電気配線工事完了後に、室内ユニットに取付けてください。
●パネルの取付方法は、パネル付属の据付説明書をご覧ください。

⑩室内ユニット据付工事完了後のチェック項目

●室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は室内ユニットの銘板と同じですか。	運転不能・焼損	

⑩室内ユニット据付工事完了後のチェック項目のつづき

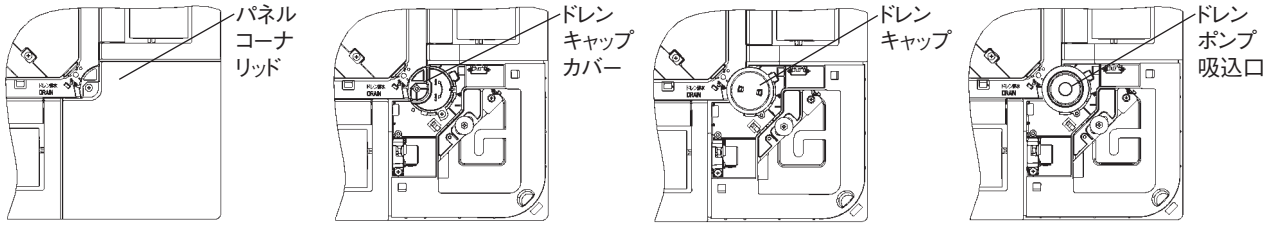
チェック項目	不良の場合	チェック欄
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

⑪ドレンパン汚れ確認、ドレンポンプ吸込口清掃（メンテナンス）

ドレンパン汚れ確認方法

●パネルを取外さずに、ドレンパンの汚れやドレンポンプ吸込口の状況を確認できます。
（高性能フィルタなどのオプションスペーサやお掃除パネルの取付時は確認できません　。）

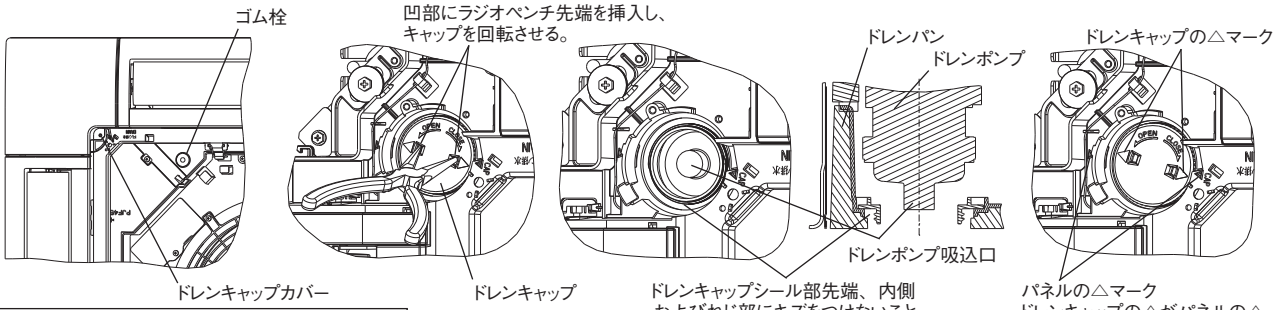
1. パネル吸込グリルを開け、ドレンポンプ側のパネルコーナリッドを取外してください。
2. パネルコーナにあるドレンキャップカバー（ねじ１個）を取外してください。
3. ドレンキャップからドレンパンの汚れやドレンポンプ吸込口を確認してください。汚れが多い場合はドレンパンを取外し、清掃してください。
4. 取外したドレンキャップカバーは確実に装着してください。
装着が不完全な場合、結露・水漏れの原因となります。



ドレンポンプ吸込口の清掃

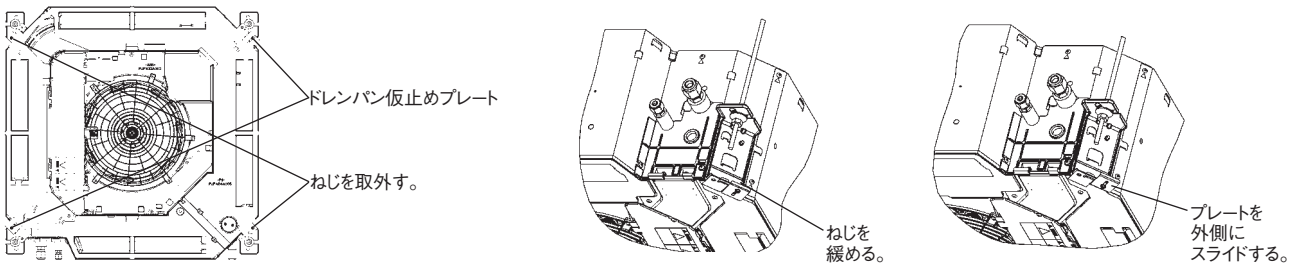
●パネルやドレンパンを取外さず、ドレンキャップを取外すことでドレンポンプ吸込口およびその付近の清掃ができます。
（高性能フィルタなどのオプションスペーサやお掃除パネルの取付時は確認できません。）
●ドレンキャップを取外す前に、ゴム栓を取外してドレンパン内のドレンを排水してください。

1. 前述のようにドレンキャップカバーを取外してください。
2. ドレンキャップの凹部（２か所）にラジオペンチの先を挿入し、反時計回りに約１回転するとドレンキャップを取外せます。
3. ドレンポンプ吸込口を清掃する場合はプラスチック製の道具を使用してください。金属製の道具を使用するとドレンキャップ取付部をキズつけ、水漏れの原因になります。
4. ドレンキャップを取付ける前に、流水で水洗いし、**ドレンキャップ内側の異物を取除いてください。**異物が付着したままドレンキャップを取付けると水漏れの原因になります。
5. ドレンキャップの取付は、ラジオペンチでドレンキャップの凹部を使用して取付けてください。時計回りに約１回転させ、**キャップが回転しなくなるまで締付けてください。**キャップが１回転以上回転しない場合は正しく取付けられていません。一度、ドレンキャップを取外し、改めて取付け直してください。
6. ドレンキャップ締付後、ドレンキャップの△マークがパネルの△マーク付近にあることを確認してください。ドレンキャップの△マークがパネルの△マーク付近にない場合は、増し締めしてください。
7. 取外したドレンキャップカバー , ゴム栓は確実に装着してください。装着が不完全な場合、結露・水漏れの原因となります。



ドレンパン取外し時の注意事項

●ドレンパンを取外す前に、ドレンパン内のドレンを排水してください。ゴム栓を取外して排水してください。
●ドレンパンは仮止めプレートで仮止めされています。ドレンパン取付ねじ（2個）を取外し、仮止めプレートのねじ（2個）を緩めてください。
仮止めプレートをドレンパンの外側にスライドしてください。ドレンパンを取外せます。
●ドレンパン取付時は、仮止めプレートを内側にスライドし、ドレンパンを仮止めしてください。その後、ドレンパン取付ねじ（2個）と仮止めプレートのねじ（2個）を締付けてください。また、取外したゴム栓は確実に取付けてください。



(ii) **パネルの据付**
標準パネル，エアフレックスパネル，ラクリーナパネル

PJF012D032

室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。

⚠ 警　告

●配線は、確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

●元電源を切った後に電気工事をする。
感電、故障や動作不良の原因になります。

機能名称について

機能の名称の意味は下記のとおりです。

エアフレックス ： ドラフト防止機能
ラクリーナ　　： エアフィルタ自動昇降機能

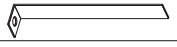
お願い <ラクリーナパネルの場合>

・吸込グリルの動作範囲の周辺および下方30cm以内に障害物を置かないでください。
・電源投入前にパネルを取付けた場合は吸込グリルの昇降動作はできません。
・電源投入前に吸込グリルを収納する場合は、付属のクランプで仮固定する事ができます。
・電源投入後は付属のクランプを外してあることを確認してから昇降動作を行ってください。
・吸込グリル取付後の初回はリモコンで「上げる」の操作を行い、吸込グリルを正規位置に収納してください。
（マイコンが収納位置を記憶します。）
・ワイヤは、折曲げ、ねじり、噛込み等により傷つけたり、たばこ等の火が触れないようにしてください。

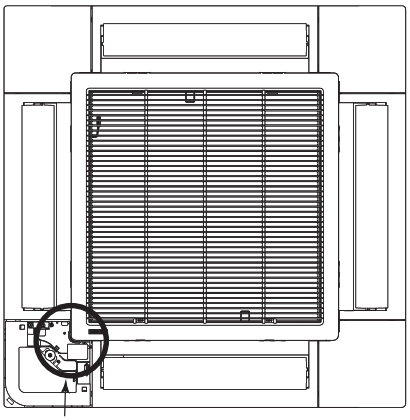
① 据付の前に

・据付けはこの説明書に従って正しく行ってください。
・次の項目を確認してください。
○パネル・リモコンのタイプ
○付属品

付属品

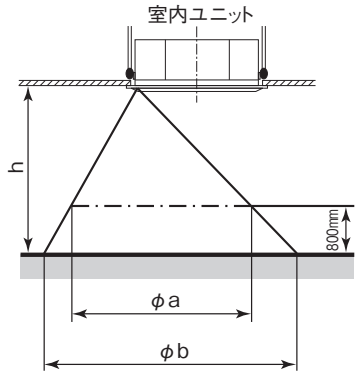
ボルト		4本	パネル取付用
ストラップ		4本	コーナリッド落下防止用
クランプ		4本	吸込グリル仮止用 （ラクリーナパネル）
ねじ		4本	コーナリッド固定用＊1

注1：＊1 ラクリーナパネルの場合、吸込グリル仮止クランプ固定用にも使用します。
注2：付属品はコーナリッドを外した位置にあります。



付属品収納位置

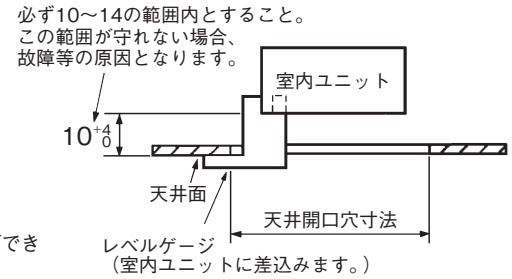
人感センサ検知範囲の目安 ＜エアフレックスパネル、ラクリーナパネル＞



天井高さ　h [m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲①　φa [m]	約4.5	約6.4	約7.6
検知範囲②　φb [m]	約6.4	約8.3	約9.5

② 室内ユニットの取付レベルの確認

・室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。
・室内ユニットに付属されているレベルゲージで室内ユニット高さおよび天井開口寸法が正しいことを確認してください。
・室内ユニットと天井材との取付レベルを確認してください。
・室内ユニット付属のレベルゲージを吹出口にセットし、
室内ユニットの吊り込み高さを調整してください。
・レベルゲージはパネル取付前に取外してください。



ご注意
室内ユニットと天井材との高さは、パネル取付の際、
パネルに無理な荷重がかからない高さにしてください。
パネルが変形し破損の恐れがあります。

・室内ユニットの取付高さはパネル取付後、コーナ開口部より微調整ができます。

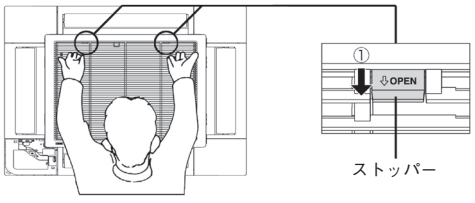
（詳細は ⑥パネルの取付 をご参照ください。）

③ 吸込グリルの取外し

＜標準パネル、エアフレックスパネルの場合＞

1．吸込グリルのストッパー（2か所）に指をかけて
「OPEN」の方向（矢印①）に押したまま吸込グリルを下方へ引くと吸込グリルが開きます。
2．吸込グリルが開いた状態で吸込グリルのヒンジ部をパネルから外します。

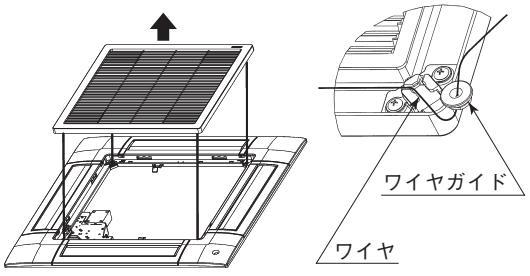
〈取外し〉



＜ラクリーナパネルの場合＞

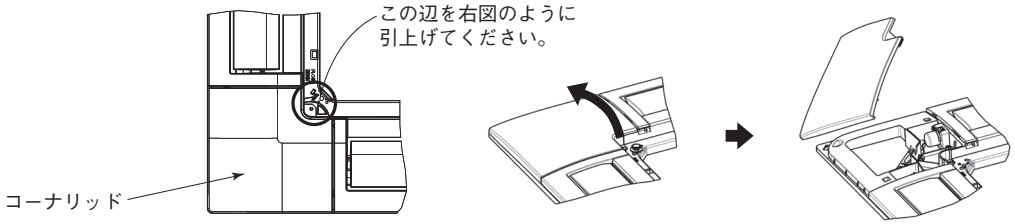
1．吸込グリルを少し持上げて、吸込グリルを開けます。
2．吸込グリルの4コーナに取付けてあるワイヤガイドを外側にスライドさせて外してください。

ご注意
吸込グリルはゆっくり持上げてください。
ワイヤおよびワイヤガイドが破損する恐れがあります。



④ コーナリッドの取外し

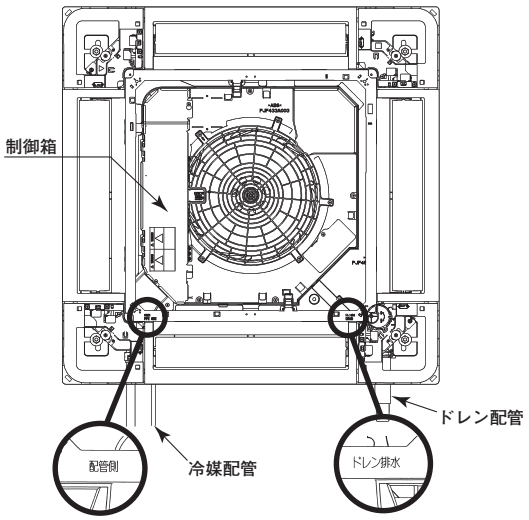
・コーナリッドを矢印の方向へ引上げて取外してください。(4コーナとも)



⑤ パネルの取付方向

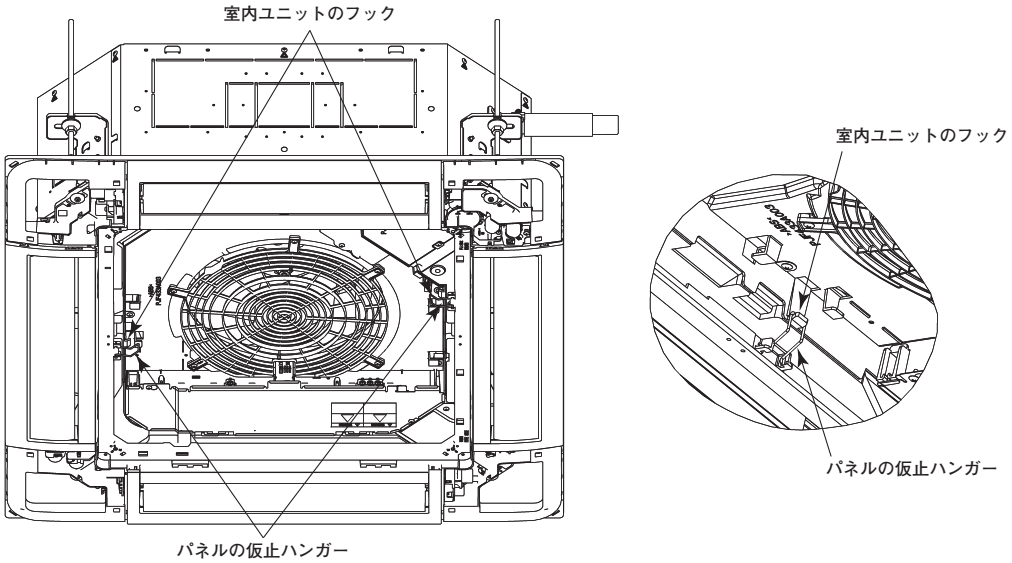
・パネルの取付方向は室内ユニットに対し方向性があります。
・パネルは、右図に示す方向で取付けてください。
・パネル吸込部の「ドレン排水」と室内ユニットのドレン配管の位置を合わせてください。
・パネル吸込部の「配管側」と室内ユニットの冷媒配管の位置を合わせてください。

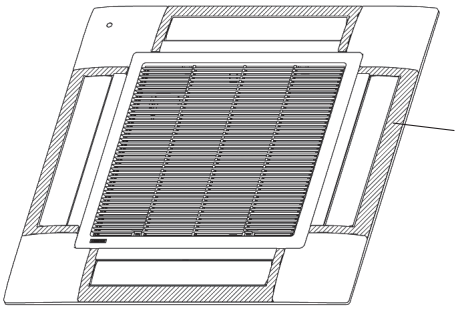
ご注意
・右図以外の方向で取付けると、風漏れの原因となり、また電気配線の接続ができません。



⑥ パネルの取付

1．パネルの仮止
・パネルの仮止用ハンガーを起こします。（2 か所）
・パネルの仮止用ハンガーを室内ユニットのフックにかけて、パネルを室内ユニットに吊るします。





標準パネル以外の場合、斜線部(４か所)は可動します。
手で無理に動かすと破損します。
標準パネルの場合もパネル本体とは別部品ですが、
取外すことはできません。

ご注意

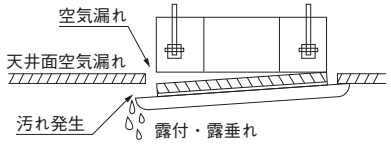
・パネルの吹出口周囲のエアフレックス(斜線部)は別部品です。パネルを持つ際は取扱いに注意してください。
特に、エアフレックスパネル、ラクリーナパネルの斜線部は可動します。手で無理に動かすと破損します。

2．パネルの室内ユニットへの固定

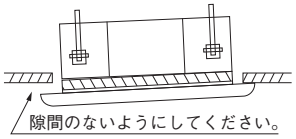
・付属のパネル取付用ボルト４本を用いて、室内ユニットに締付けてください。

ご注意

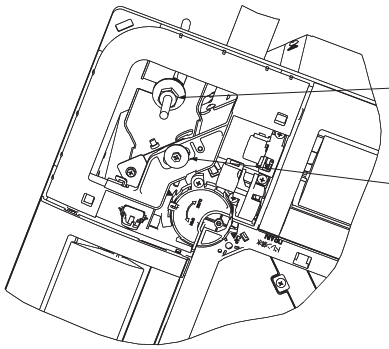
・吊りボルトの締込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締込んでください。



・吊りボルトを締込んでも天井面とパネルとの間に隙間ができる場合は、室内ユニットの高さを再調整してください。



・室内ユニットの水平度、ドレン配管などに影響がでない程度であればパネルを取付けたまま、室内ユニットの据付高さを微調整できます。



コーナ開口部よりスパナ等の一般工具にて
室内ユニットのナットを微調整してください。

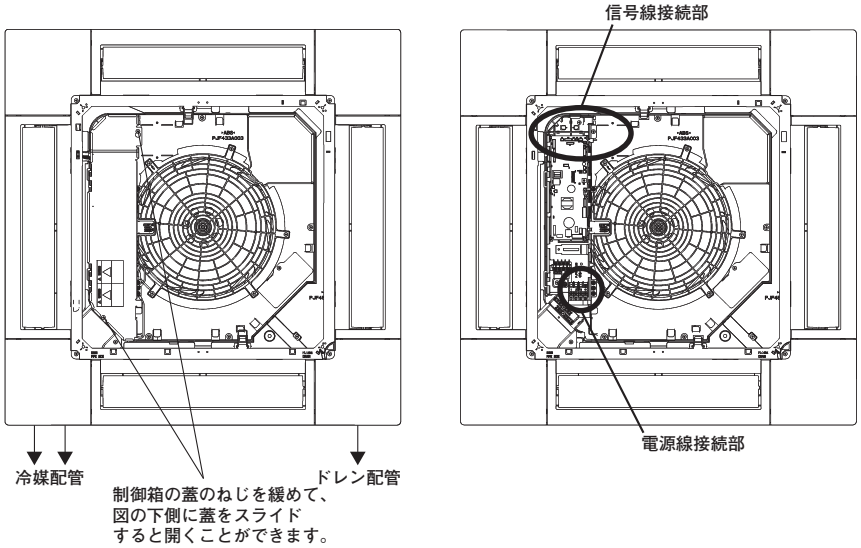
パネル取付用ボルト

ご注意

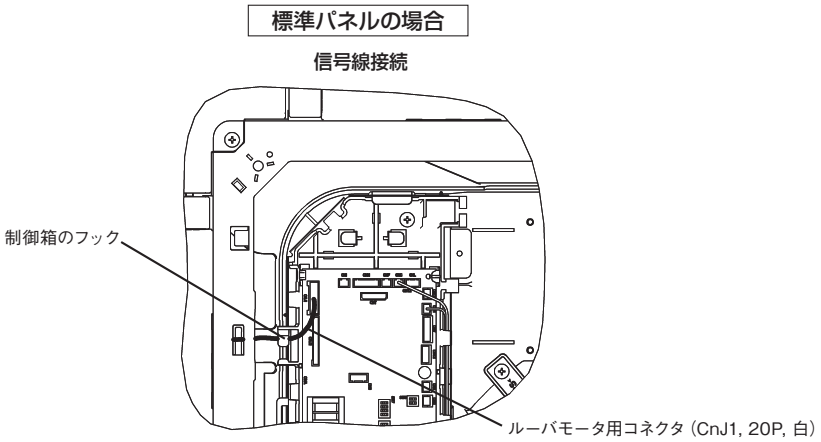
パネル取付の際、パネルに無理な荷重がかからないよう、室内ユニット据付高さを調整してください。
パネルが変形し、吸込グリル、エアフレックス部品が収まらないおそれがあります。

⑦ 電気配線

パネルの種類により、配線処理が異なります。パネルの種類にあわせて配線処理を行ってください。
室内ユニットの接続位置はパネルの種類によらず下図のとおり同じです。



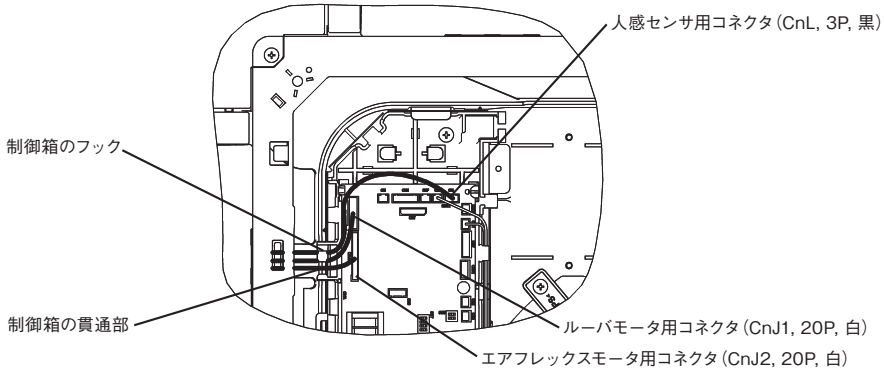
＜標準パネルの場合＞
1. 室内ユニットの制御箱の蓋のねじ（2本）を緩め、蓋をスライドして取外してください。
2. ルーバモータ線（20線）を制御箱のフックに通し、コネクタCnJ1（20P,白）を接続してください。
3. 室内ユニットの制御箱の蓋を取付け、ねじ（2本）を締付けてください。



＜エアフレックスパネルの場合＞
1. 室内ユニットの制御箱の蓋のねじ（2本）を緩め、蓋をスライドして取外してください。
2. ルーバモータ線（20線）を制御箱のフックに通し、コネクタCnJ1（20P,白）を接続してください。
3. エアフレックスモータ線（20線）を制御箱のフックに通し、コネクタCnJ2（20P,白）を接続してください。
4. 人感センサ線（3線）を制御箱の貫通部に通し、コネクタCnL（3P,黒）を接続してください。
5. 室内ユニットの制御箱の蓋を取付け、ねじ（2本）を締付けてください。

エアフレックスパネルの場合

信号線接続

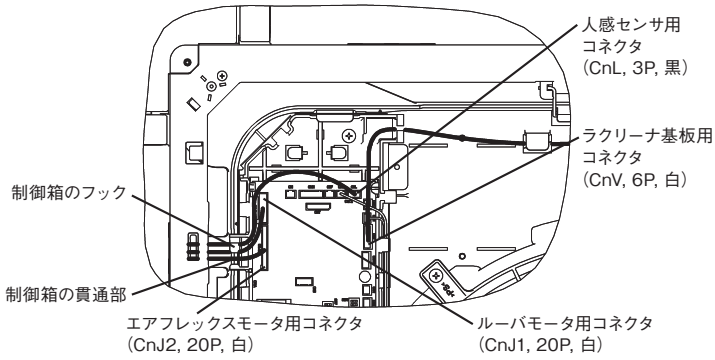


<ラクリーナパネルの場合>

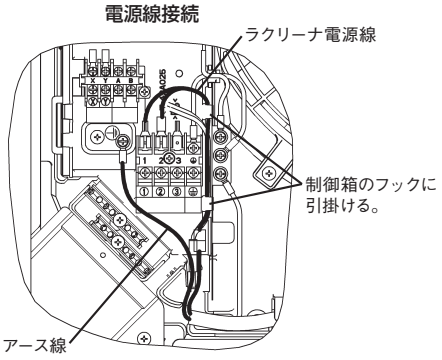
1. 室内ユニットの制御箱の蓋のねじ（2本）を緩め、蓋をスライドして取外してください。
2. ルーバモータ線（20線）を制御箱のフックに通し、コネクタCnJ1（20P,白）を接続してください。
3. エアフレックスモータ線（20線）を制御箱のフックに通し、コネクタCnJ2（20P,白）を接続してください。
4. 人感センサ線（3線）を制御箱の貫通部に通し、コネクタCnL（3P,黒）を接続してください。
5. 電源線のファストン端子を室内ユニットの電源端子台の1番,2番に挿入してください。
   電源線の赤を端子台の1番に、白を2番に挿入してください。
6. アース線[緑]を室内ユニット制御箱の⏚に接続してください。
7. ラクリーナ基板用信号線（6線）を室内ユニット制御箱内の基板のコネクタCnV（6P,白）に接続してください。
   コネクタCnVにショートコネクタが接続されている場合は取外しの上、信号線を接続してください。
8. 室内ユニットの制御箱の蓋を取付け、ねじ（2本）を締付けてください。

ラクリーナパネルの場合

信号線接続

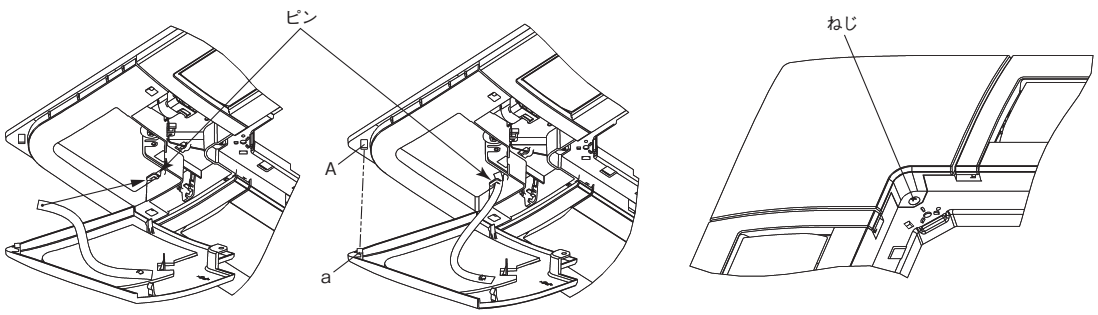


電源線接続



⑧ コーナリッドの取付

1．付属のコーナリッド落下防止用ストラップをコーナリッドのピンに折返して引掛けてください。
2．コーナリッドに取付けたストラップの反対側をパネルのピンに引掛けてください。
3．コーナリッドのａ部をパネルのA部に挿入してから、コーナリッドのつめ2か所をはめてください。
4．付属のねじで固定してください。



⑨ 吸込グリルの取付

パネルと吸込グリルには方向性がありません。

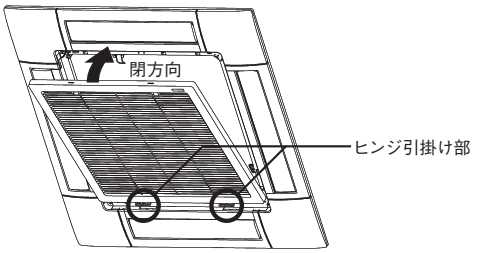
＜標準パネル、エアフレックスパネルの場合＞

吸込グリルの取付方法は ③ 吸込グリルの取外し の手順を逆に作業してください。

1．吸込グリルのヒンジをパネルのヒンジ挿入穴に取付けてください。(吸込グリルのヒンジは４辺どこでも取付可能です。)

2．吸込グリルのヒンジを取付後、ストッパー(２か所)を「OPEN」の方向へ押したまま、閉じてください。
両方のストッパーから「カチッ」と音がしたことを確認してください。

〈取付け〉



ご注意

・吸込グリルの取付は、必ずヒンジ側から行ってください。
・吸込グリルは確実に取付けてください。取付が不十分ですと落下する恐れがあります。
・ストッパーが変形・破損した場合は、速やかに修理依頼し、交換してください。吸込グリルが落下する恐れがあります。

＜ラクリーナパネルの場合＞

1．吸込グリルの方向を決定してください。

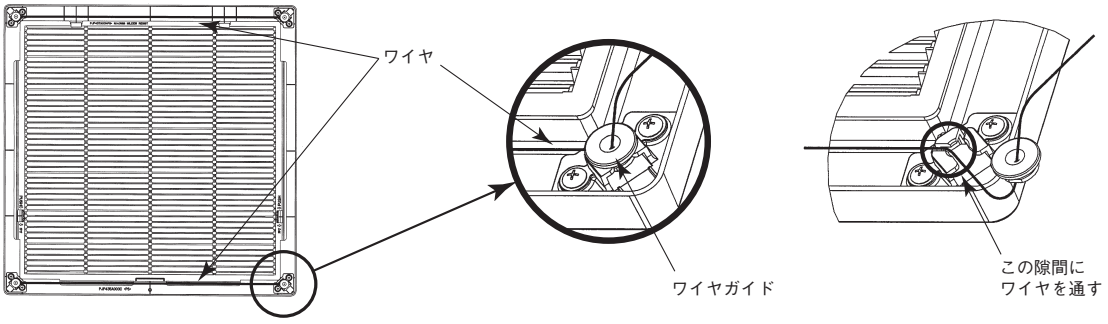
2．ワイヤを通してあるワイヤガイドを吸込グリルの４コーナの取付部に固定して装着します。

3．ワイヤガイドを吸込グリルに外側から内側にスライドさせながら装着してください。
装着の際、取付部の隙間をワイヤが通過するようにワイヤの向きに注意して確実に取付けてください。

4．ワイヤガイド装着後、ワイヤの曲がり、ねじり、噛込みがないことを確認してください。

ご注意

ワイヤガイドは確実に装着してください。確実に装着されていないと、吸込グリルを昇降できなくなったり、吸込グリルが落下する恐れがあります。



⑩ パネルの設定

＜ルーバの動作範囲設定(フリーフロー設定)＞

ワイヤードリモコンを使用することで、吹出口のルーバの動作範囲を変更することができます。本モードで上限位置と下限位置を設定すると、ルーバは設定された上限位置と下限位置の間で動作します。各ルーバ毎に個別の動作範囲の設定が可能です。

＜エアフレックスの設定(ドラフト防止設定)＞

エアフレックスパネル, ラクリーナパネルを取付け、配線接続をするだけではエアフレックスは作動しません。
エアフレックスを作動させるために、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、ドラフト防止設定を有効にしてください。(ワイヤードリモコンRC-DX2、RC-D4G以前、ワイヤレスリモコンRCN-D3G以前のリモコンでは設定できません。)
本モードで有効に設定すると運転開始時にエアフレックスが作動し、運転中は常時エアフレックスが開いています。また、停止時にエアフレックスは閉じます。各吹出口毎に有効/無効の設定が可能です。
設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。

＜人感センサの設定（赤外線センサー設定）＞

エアフレックスパネル, ラクリーナパネルを取付け、配線接続をするだけでは人感センサは機能しません。
人感センサを機能させるために、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、赤外線センサー設定を有効にしてください。（ワイヤードリモコンRC-DX2、RC-D4G以前、ワイヤレスリモコンRCN-D3G以前のリモコンでは設定できません。）
設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。

＜吸込グリル昇降の設定（グリル昇降操作）＞

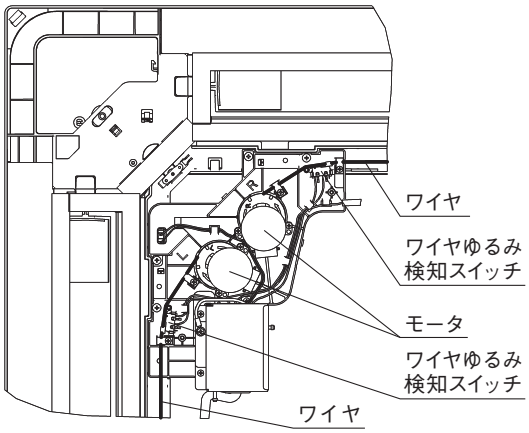
ラクリーナパネルを取付け、配線接続をするだけでは吸込グリルの昇降はできません。
吸込グリルの昇降を可能にするために、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、吸込グリル昇降を有効にしてください。
設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。

＜吸込グリル下降長さの設定（降下長設定）＞

吸込グリルの下降長さをお好みの下降長さに設定することができます。工場出荷時は２mに設定されています。
お好みの下降長さにしたい場合は、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、吸込グリルの下降長さを設定してください。
設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。

ご注意

＜ワイヤゆるみ検知機構について＞
ラクリーナパネルには、ワイヤの絡まり防止のため、「ワイヤゆるみ検知機構」を装備しています。吸込グリルを吊ったワイヤがゆるんだ場合、ワイヤゆるみ検知スイッチが働き、自動昇降用モータが自動停止します。
パネル据付後、 グリルが動かない場合、「ワイヤゆるみ検知機構」が作動している可能性がありますので、据付時にワイヤの噛込み、絡まり等が無いか、ワイヤ経路をご確認ください。

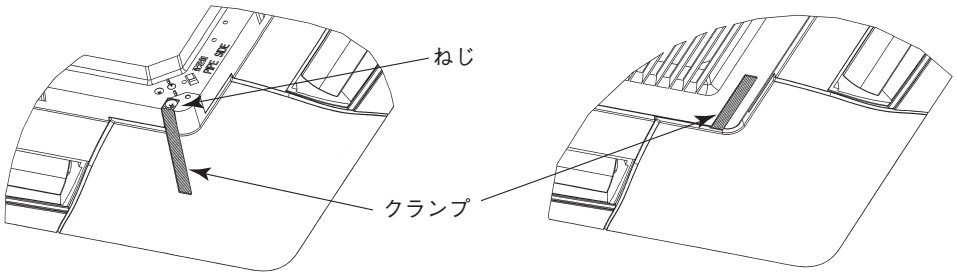


⑪ 電源投入前の吸込グリルの仮固定 ＜ラクリーナパネル＞

電源投入前は吸込グリルの自動昇降はできません。
1．電源投入前に吸込グリルを収納したい場合は、付属のクランプで吸込グリルを仮止めすることができます。
2．パネルの４コーナに付属のクランプを図のようにねじ止めしてください。（４コーナとも）
3．ワイヤを折曲げたり、かみ込んだりしないように注意しながら、持ち上げパネルに収納してください。
4．取付けたクランプを図のように吸込グリル側に折曲げ、吸込グリルを固定してください。

ご注意

クランプを装着したまま昇降動作を行った場合、吸込グリルの昇降装置が故障する恐れがあります。



5．仮固定が終わったら、クランプを取外した上で、コーナリッドをねじ止めしてください。

(b) 天井埋込形２方向吹出し（FDTW）

PJB012D315

(i) 室内ユニットの据付

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。
電気配線（室内）は、電気配線工事説明書をご覧ください。リモコンの取付方法は、リモコン付属の説明書をご覧ください。ワイヤレスキットの取付方法は、ワイヤレスキット付属の説明書をご覧ください。
室外ユニットの据付方法、電気配線（室外）および冷媒配管工事方法は、室外ユニットの付属の説明書をご覧ください。
また、故障診断は、室内ユニットの結線銘板をご覧ください。
本室内ユニットは、必ずパネルを取付けてご使用ください。
この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また海外においてはアフターサービスもできません。

安全上のご注意

●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、⚠警告、⚠注意、に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に⚠警告の欄にまとめて記載しています。しかし、⚠注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 ⃠ 絶対に行わない ❗ 必ず指示に従い行う
●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など）をお客様に説明してください。
この据付説明書は、取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、室内ユニット落下によるケガの原因になります。	❗
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があると破裂・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。	❗
●小部屋に据付ける場合は万一冷媒が漏れても、限界濃度を超えない対策をする。(JRA GL-13) 限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。	❗
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、室内ユニット落下、水漏れ、火災、感電などの原因になります。	❗
●作業中に冷媒が漏れた場合は換気をする。 冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	❗
●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。 強度が不足している場合は、室内ユニットの落下などにより、ケガの原因になります。	❗
●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。 据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。	❗
●室内ユニットの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒以外の空気などを入れない。 空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	⃠
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。	❗
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。	❗
●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。 カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。	❗
●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。 冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	❗
●配管、フレアナット、工具は R32 用または R410A 用を使用する。 既存（R22）の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。	❗
●フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締付ける。 フレアナットの締付過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。	❗
●ドレン配管は、イオウ系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接入れない。 室内に有毒ガスが侵入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また、室内ユニットを腐食させ、故障や冷媒漏れの原因になります。	⃠
●据付作業では、圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取付ける。 冷媒配管を取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	❗
●ポンプダウン作業では、サービスバルブを閉じた後配管を外す前に圧縮機を停止する。 圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管をはずすと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	❗
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付は、専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	❗
●改修は、絶対にしない。また、修理は、お買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	⃠
●エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。 据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	❗
●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。 点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。	❗
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。	⃠
●元電源を切った後に電気工事を行う。 感電、故障や動作不良の原因になります。	❗

⚠注意

●アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。

●漏電しゃ断器は、必ず取付ける。
漏電しゃ断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●正しい容量のヒューズ以外は、使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。
万一ガスが室内ユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

●腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある所、揮発性引火物を取扱う所での据付、使用は行わない。
熱交の腐食、プラスチック部品の破損などの原因になることがあります。また可燃性ガスは発火の原因になることがあります。

●工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。

●洗濯室など、水の掛かる所では使用しない。
室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。水が掛かると感電、火災などの原因になることがあります。

●食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。
保存物の品質低下などの原因になることがあります。

●病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器、高周波の発生する機器の近くでは据付、使用しない。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。

●直射日光の当たる所にリモコンを設置しない。
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。

●次の場所への据付は避ける。
・可燃性ガスの漏れる恐れがある所
・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、機器に影響する物質の発生する所
・油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場など）
・高周波を発生する機械を使用する所
・海浜地区等塩分の多い所
・煙突の煙がかかる所
・カーボン繊維や金属粉、パウダーなどが浮遊する所
・車両・船舶等移動するものへの設置
・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所
・積雪の多い所
・標高１０００m以上の所
性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したりする原因になることがあります。

●次の場所への室内ユニットの据付は避ける。（機種により異なる制限があるので、その指示に従うこと）。
・吸込口、吹出口に風の障害物がある所
・強度が不十分で振動が発生する所
・ワイヤレス機の場合、受光部に直接太陽光や強い光が当たる所
・高周波に影響される機器のある所（TV およびラジオ等の近傍）
・ドレンの排水がとれない所
性能や機能等に影響をおよぼす原因になります。
人感センサ搭載パネルは次のような場所への設置はしないでください。誤検知・検知不能・特性劣化を招く恐れがあります。
・長時間振動が加わる状態
・静電気や強い電磁波のある場所
・長時間高温、多湿になる場所
・塵埃の多い場所、レンズ面に汚れおよび損傷を与える恐れのある場所

●エアコンの下部には、濡れて困るものは置かない。
湿度が 80% 以上の時や、ドレン排水が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じることがあります。

●長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。
傷んだ状態で放置すると室内ユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。

●室内ユニット近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、室内ユニット内へのスパッタの侵入を防止する。
溶接作業時などに発生するスパッタが室内ユニットにあたった場合、ドレンパンなどに損傷（ピンホール）をあたえ、水漏れなどの原因になることがあります。室内ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため梱包状態のままとしておくか､覆いなどにより必ずカバーをしてください。

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。

●GHP〔ガスヒートポンプ〕の場合、室外ユニットの排気ドレン管と室内ユニットの排水ドレン管は共用しない。
室内に有毒ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。

●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因となることがあります。

●ドレン配管は、下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。

●冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たれなどを発生し、天井･床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。

●室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所に設置しない。
小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。
また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。

●製品の運搬は十分注意して行う。
20kg 以上の製品は原則として２人以上で行ってください。PP バンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。
素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

●梱包材の処理は確実に行う。
梱包材にクギなどの金属あるいは、木片などを使用していますので放置状態にしますとケガをすることがあります。

●フィルタをはずしたまま運転しない。
内部に油・ゴミなどが詰まり、故障の原因になることがあります。

●濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。

●運転中の冷媒配管を素手で触れない。
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになることがあります。

●エアコンを水洗いしない。
感電の原因になることがあります。

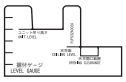
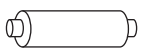
●運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず５分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。

●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

①据付の前に

●据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
●次の項目を確認してください。
　○機種・電源仕様　　○配管・配線・小物部品　　○付属品

付属品

本体吊り込み用		冷媒配管用			ドレン配管用			
平座金 (M10)	レベルゲージ	パイプカバー (大)	パイプカバー (小)	バンド	パイプカバー (大)	パイプカバー (小)	ドレンホース	ホース クランプ
								
8個	1個	1個	1個	4本	1個	1個	1個	1個
室内ユニット 吊り下げ用	室内ユニット 吊り込み調整用	ガス管断熱用	液管断熱用	パイプカバー 固定用	ドレンソケット 断熱用	ドレンソケット 断熱用	ドレン配管 接続用	ドレンホース 取付用

②室内ユニットの据付場所の選定

①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
- ・冷風または温風が十分に行きわたる所。
  据付高さが３ｍを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
- ・人感センサを取付ける場合、据付高さは 4m 以内としてください。センサ感度が鈍くなり、検知しにくくなります。
- ・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
- ・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
- ・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
- ・侵入外気の影響のない所。
- ・直射日光の当たらない所。
- ・周囲の露点温度が２８℃以下、相対湿度８０％以下の所。

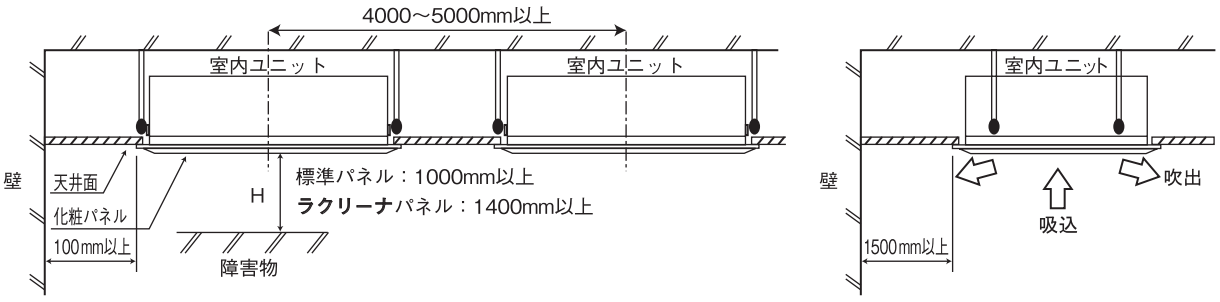
〔本室内ユニットは JIS 露付条件（室内:27℃ /78% RH）にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、室内ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、室内ユニットの全ておよび配管、ドレン配管にさらに１０～２０ｍｍの断熱材を取付けてください。〕

- ・テレビ、ラジオより１ｍ以上離れた所。（映像の乱れや雑音が生じることがあります。）
- ・室内ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバー、医療機器など濡れて困るものを置かない所。
- ・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
- ・フライヤーの真上など油・粉・蒸気などを直接吸込まない所。
- ・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。
  ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。

②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁などで補強して据付作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット落下により、ケガの原因になります。
③ワイヤレス機種を２台以上据付ける場合は、混信による誤動作を防止するため室内ユニット間を６ｍ以上離してください。
④室内ユニットを隣接して設置する場合は、室内ユニット間距離を４～５ｍ以上離して設置してください。

室内ユニット据付スペース

●据付高さは２.５ｍ以上としてください。



③据付前の準備

●吊りボルト長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
　○システム天井（グリッド天井・ライン天井）の場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）５００ｍｍ以上または天井ふところ高さ７００ｍｍ以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
　○強度が十分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）１０００ｍｍ以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
●吊りボルト・ナット・バネ座金（Ｍ１０）を４組現地にて手配してください。

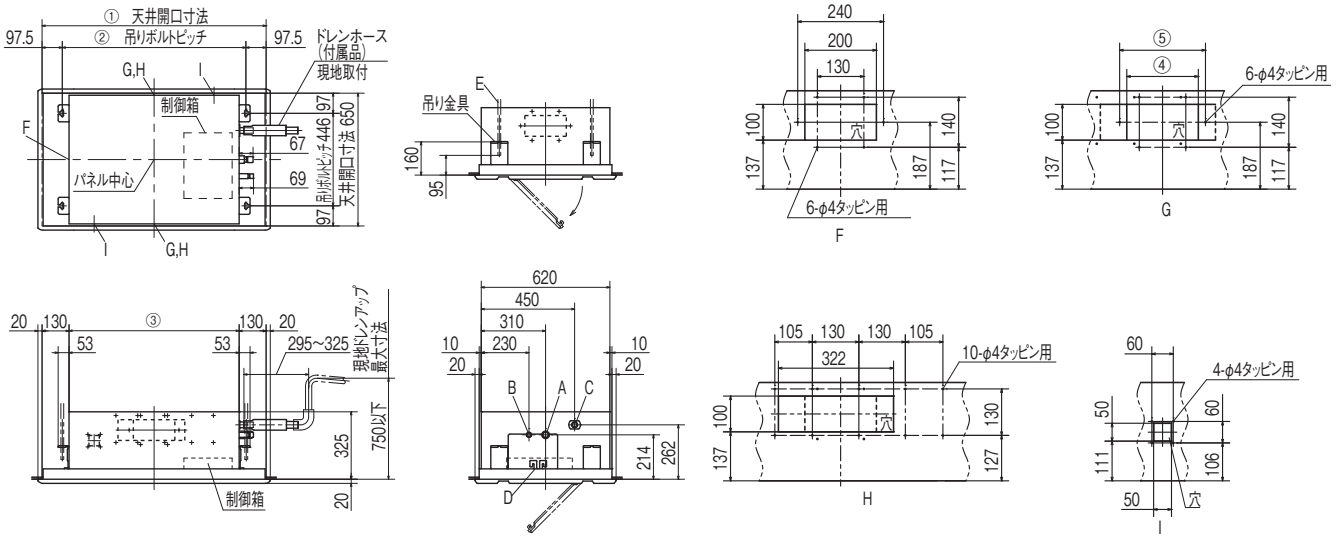
③据付前の準備の続き

天井開口穴・吊りボルトピッチ・各配管の位置

（mm）

記号	内容	記号	内容
A	冷媒ガス側接続口	F	OA 取入口
B	冷媒液側接続口	G	吹出分岐ダクト接続口
C	ドレン配管側接続口	H	加湿器接続口
D	電源取入口	I	加湿器余剰水接続口
E	吊りボルト		

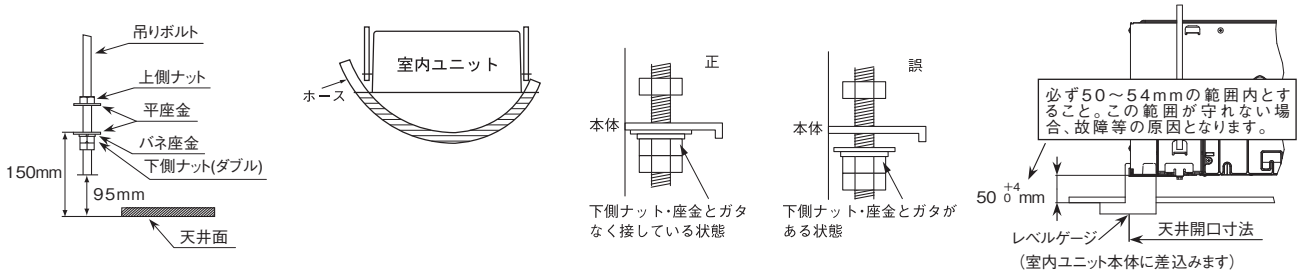
シリーズ	機種	①	②	③	④	⑤
店舗	40～80形	1080	885	820	200	240
	112～160形	1795	1600	1535	440	480
ビル空調 ガスヒートポンプ	22～80形	1080	885	820	200	240
	90～160形	1795	1600	1535	440	480



④室内ユニットの据付

作業手順

1．据付場所に天井開口寸法をあけてください。
2．所定の位置に吊りボルトを設置してください。
3．吊りボルトは４本使用してください。
4．吊りボルト長さは、天井面より９５mm程度上としてください。吊りボルトの下側ナット４箇所は天井面から１５０mm程度に仮止めし、上側ナット４箇所は室内ユニット吊り込みおよび高さ調整時に支障ないよう、下側ナットから十分距離をとった位置に仮止めし、室内ユニット本体を吊り込んでください。
5．室内ユニット吊り込み後、付属のレベルゲージを吹出口にセットし、室内ユニット吊り込み高さを調整してください。高さ調整は、上側ナット４箇所を緩めた状態で、下側ナット４箇所で調整してください。室内ユニット吊り金具４箇所が下側ナット・座金にガタなく接していることを確認してください。
6．室内ユニット本体の水平度を確認してください。水平度は、水準器または透明ホースに水を入れたものを使用して確認してください。
（室内ユニット両端での高さ許容差は３mm以内）
7．高さ調整・水平度調整後、上側ナット４箇所を締付けて室内ユニットを固定してください。



④室内ユニットの据付の続き

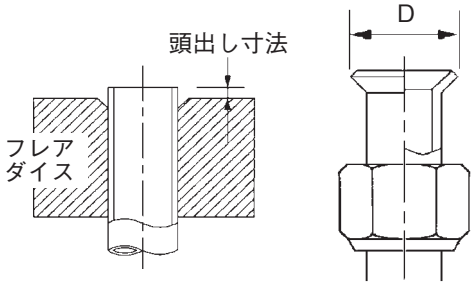
室内ユニット据付時のお願い

●上側ナットで高さ調整を行わないでください。室内ユニット本体に無理な力がかかり変形し、パネルが組付できなかったり、ファン干渉音が発生することがあります。
●室内ユニットは必ず水平に据付､室内ユニット下面と天井面の高さを正しく設置してください。据付に不備があると風漏れ、結露・水漏れ、騒音の原因になります。
●化粧パネルと天井面、および化粧パネルと室内ユニットとの接触部は確実に密着させてください。隙間があると風漏れ、結露・水漏れの原因になります。

⑤冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

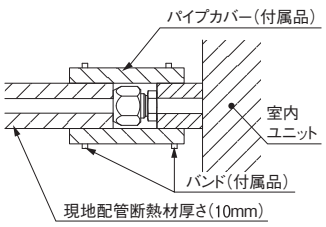
●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは、製品付属のもの（JIS B 8607 2種適合品）をご使用ください。他のフレアナット（1種）を使用すると冷媒漏れの原因となります。
既設配管再利用の可否および洗浄方法については、室外ユニットの据付説明書またはカタログ・技術資料で確認してください。
1）再利用する場合、フレアナットは流用せず室内ユニットに付属のもの（JIS B 8607 2種適合品）を使用してください。
2）再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R32 または R410A 用のフレア加工をしてください。



配管径 d mm	配管の最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアナット締付トルク N·m
		リジッド（クラッチ式）			
		R32 用 R410A 用	従来ツール		
6.35	0.8	0 ～ 0.5	0.7 ～ 1.3	8.9 ～ 9.1	14 ～ 18
9.52	0.8			12.8 ～ 13.2	34 ～ 42
12.7	0.8			16.2 ～ 16.6	49 ～ 61
15.88	1			19.3 ～ 19.7	68 ～ 82
19.05	1.2			23.6 ～ 24.0	100 ～ 120

●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（Ｃ１２２０Ｔ、ＪＩＳ Ｈ ３３００）をご使用ください。
また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。
冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。
●Ｒ３２またはＲ４１０Ａ以外の冷媒は使用しないでください。
室外ユニット表示以外の冷媒を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。
●据付に使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。
冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。
●Ｒ３２用またはＲ４１０Ａ用の工具を使用してください。

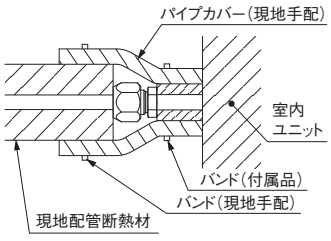
<断熱材厚さ10mmを使用する場合>

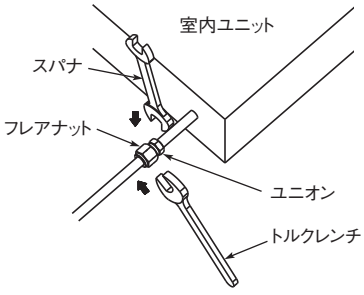


作業手順

1．室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取外してください。
※室内ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛けして外してください。
（このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。）
●フレアナット飛びに注意してください。（内部に圧力がかかっている場合があります。）
2．液管・ガス管をフレア加工し、右図の示すように冷媒配管を接続してください。
※配管の曲げは４D以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。
また配管をねじったり、2/3D 以下につぶしたりしないでください。
※フレア接続は、以下のように行ってください。
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで３～４回転ねじ込み、２丁スパナ掛けで表の締付力で締めてください。
3．室内ユニットのフレア部はガス漏れチェック後、右図に示すように断熱材をかぶせ、バンドでしっかりと締付けてください。
●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
●ガス側配管の断熱材は耐熱 120℃以上のものを使用してください。
●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。
4．冷媒は室外ユニットに充填されています。
室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

<断熱材を強化する場合>





注意
同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、またはフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しない。冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとすること。

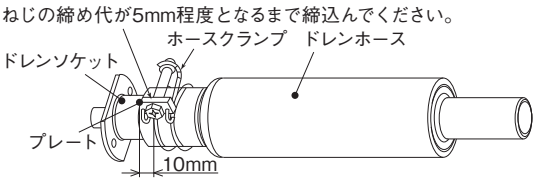
⑥ドレン配管

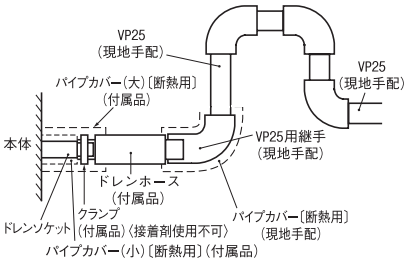
ドレン配管時の注意事項

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
●ドレン配管は、イオウ系ガスなど有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。
室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
●施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。
●ドレン配管は、下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

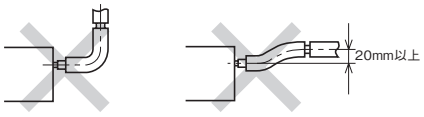
作業手順

1．付属のドレンホース（軟質塩ビ端）はソケット段差部まで確実に挿入してください。ホースクランプは、ホース先端部から 10mm 程度のところに取付け、ねじの締め代が 5mm 程度となるまで締込んでください。
●接着剤使用不可

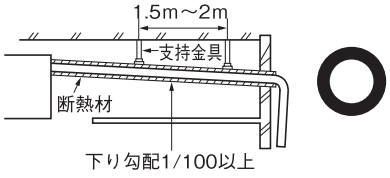


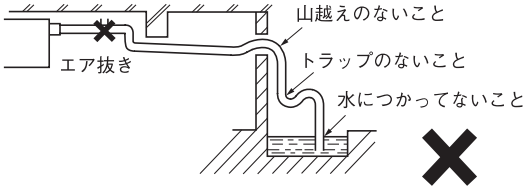


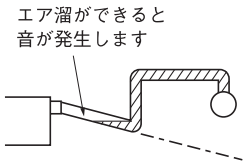
2．ドレンホース（硬質塩ビ端）に、ＶＰ２５用継手（現地手配）を接着・接続し、この継手に、ＶＰ２５（現地手配）を接着・接続してください。
※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管ＶＰ２５を使用してください。
●接着剤は付属のドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。
乾燥後、フレキ部に力が加わった場合、フレキ部が破損することがあります。
●ドレンホースは、室内ユニットあるいはドレン配管の据付時の微小なズレを吸収するためのものです。故意に曲げたり、引っ張って使用された場合は、破損し、水漏れに至ることがあります。



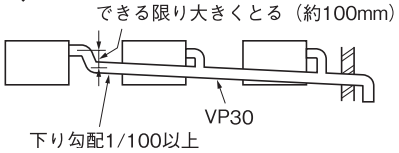
3．ドレン配管は下り勾配（1／１００以上）とし、途中山越えやトラップを作らないように施工してください。
●ドレン配管を接続する場合に室内ユニット側の配管に力が加えないように注意して行い、できる限り室内ユニット近傍で配管を固定してください。
●エア抜きは絶対に設けないでください。







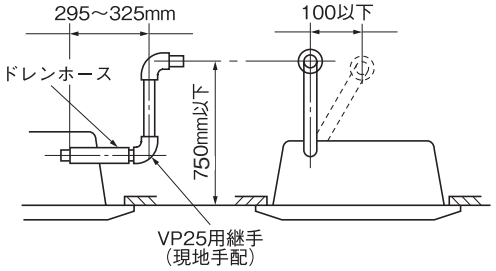
●複数台のドレン配管の場合、本体ドレン出口より約１００ｍｍ下に集合配管がくるようにしてください。また集合配管はＶＰ３０以上を使用してください。



4．ドレン配管の断熱施工を行ってください。
●結露が発生し、水漏れをおこすおそれがありますので、ドレンソケット部および室内にある硬質塩ビパイプは確実に断熱してください。
※ドレンソケット部は、排水テスト実施後、付属のパイプカバー（小）をドレンソケット部に装着した後、付属のパイプカバー（大）にてパイプカバー（小）、クランプおよびドレンホースの一部を覆い、テープにより隙間のないように巻いてください。

ドレンアップする場合

●ドレン配管の出口高さは、天井面より７５０ｍｍまで高くすることができます。天井内に障害物などがある場合、エルボなどを用いて施工してください。この場合、ドレン配管を立ち上げるまでの距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流量が多くなり、オーバーフローすることがありますので、右図寸法内で処理願います。



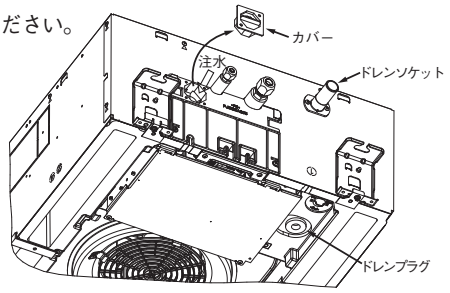
⑥ドレン配管のつづき

ドレン排水テスト

●ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていることを、接続部および室内ユニットのドレンパン部から水漏れのないことを確認してください。このとき、ドレンポンプのモータ音に異常がないことも確認してください。
●暖房期の据付の際にも必ず実施してください。
●新築の場合には天井を張る前に実施してください。

作業手順

1．配管リッド部のカバー（ねじ２個）を取外し、下図の位置より給水ポンプなどを使用して、電気部品に水をかけないように、本体ドレンパンの中へ約１０００ｃｃ注水してください。
2．ドレン排水が確実に行われること、ドレン配管接続部から水漏れのないことを確認してください。
ドレンポンプの回転音を確認しながら排水するかどうかをテストしてください。
ドレン排水の確認は、ドレンソケット部（透明）より確認できます。
3．排水テスト後は、ドレンプラグを外して水抜きを行ってください。
水抜き確認後は、ドレンプラグを元通りにはめ込んでください。



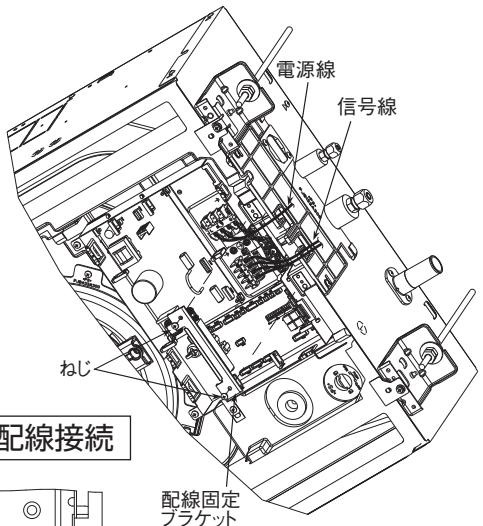
ドレンポンプ運転方法

○電気配線工事が完了している場合
ドレンポンプの運転がリモコン（ワイヤード）操作により可能です。
運転操作方法は、電気配線工事説明書の［ドレンポンプ運転操作］をご覧ください。
○電気配線工事が完了していない場合
室内ユニット基板上のＳＷ７－１をＯＮにし、かつ、基板上のコネクタＣｎＢを抜いた後、電源ＯＮ（端子台①、②へＡＣ２００Ｖ）すると、ドレンポンプのみ連続運転します。
排水確認後は、必ずＳＷ７－１を元の状態（ＯＦＦ）に戻し、かつ、基板上のコネクタＣｎＢを差込んでください。

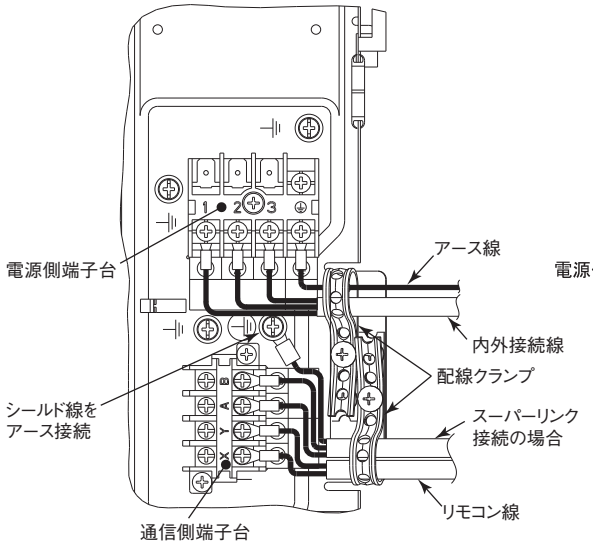
⑦電気配線取出位置および電気配線接続

●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。
●電源線と信号線は、同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
●D種設置工事を必ず行ってください。
●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。

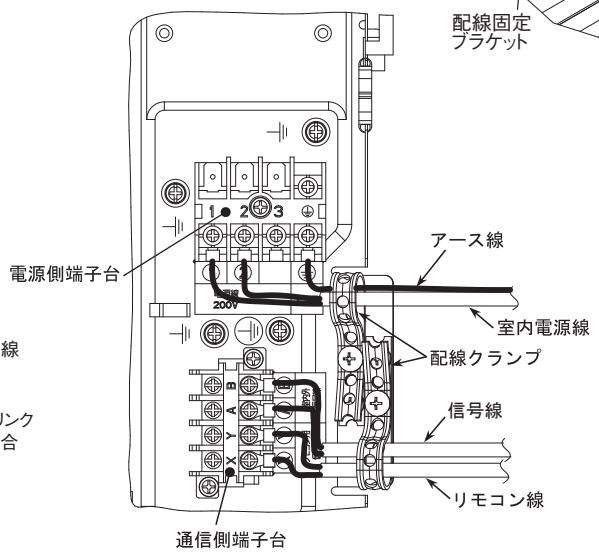
1．制御箱の蓋（ねじ２個）と配線固定ブラケット（ねじ２個）を取外してください。
2．各配線を室内ユニット内に入れ、端子台に確実に接続してください。
3．各配線を配線クランプで固定してください。
4．取外した部品を元通りに取付けてください。



シングル機の配線接続



マルチ機の配線接続



⑧パネルの取付

●パネルは、電気配線工事完了後に、室内ユニット本体に取付けてください。
●パネルの取付方法は、パネル付属の説明書をご覧ください。

⑨室内ユニット据付工事完了後のチェック項目

●室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

⑩店舗シリーズ機種容量統合機の場合

室外ユニットとの組合せにより下表の通り室内ユニット容量が自動認識されます。機種名銘板の機種容量に○印を付けてください。

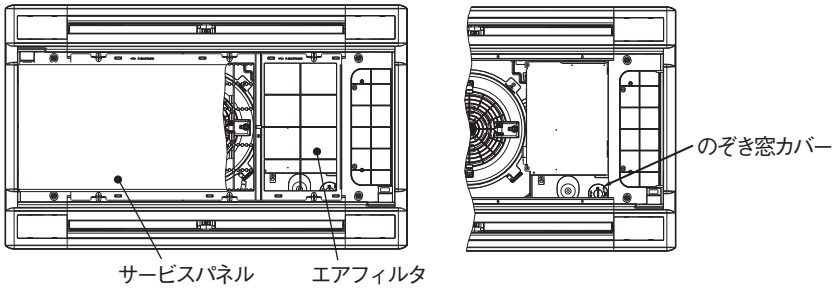
室内ユニット	室内ユニット1台接続									2台接続						3台接続		4台接続	
室外ユニット	40	45	50	56	63	80	112	140	160	80	112	140	160	224	280	160	224	224	280
FDTWZP56	P40	P45	P50	P56						P40	P56					P50		P56	
FDTWZP63					P63														
FDTWZP80						P80						P71	P80				P80		P71
FDTWZP140							P112	P140						P112	P140				
FDTWZP160									P160										

⑪ドレンパン汚れ確認（メンテナンス）

ドレンパン汚れ確認方法

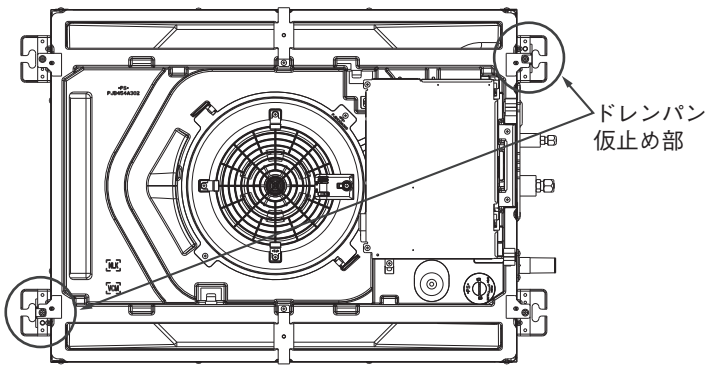
●パネル本体を取外さずに、ドレンポンプ吸込口部のドレンパンの汚れが確認できます。
（高性能フィルタなどオプションスペーサ取付時は確認できません。）

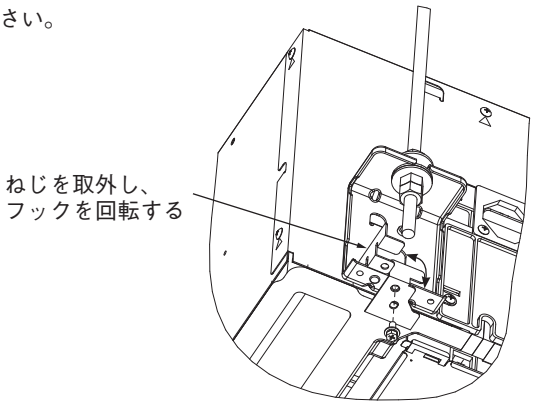
1．サービスパネルとエアフィルタを取外してください。
2．ドレンパンコーナーにあるのぞき窓カバーを取外してください。
3．のぞき窓からドレンパンの汚れを確認してください。
　汚れが多い場合は、ドレンパンを取外し、ドレンパンを清掃してください。
4．汚れ確認後、のぞき窓カバーを確実に装着してください。装着が不完全な場合、結露・水漏れの原因となります。



ドレンパン取外し時の注意事項

●ドレンパンには仮止め機構がついています。ドレンパン取外し時、および取付時には注意願います。
ドレンパン取付ねじ（４個）取外し後、仮止めフックを外してください。
ドレンパン取付時は、仮止めフックを取付後、確実にねじで固定してください。



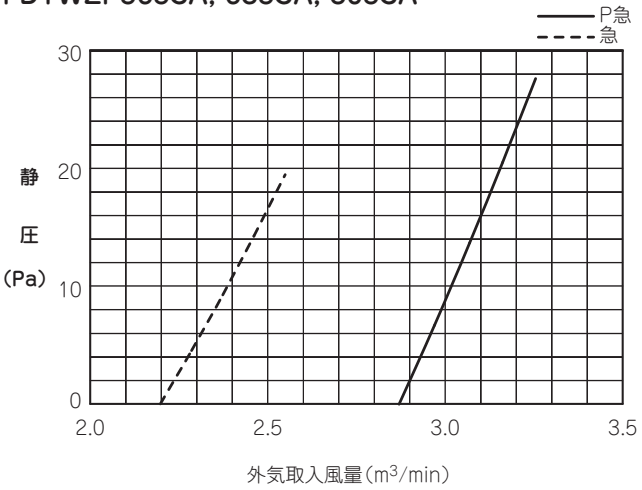


(ii) 新鮮空気 (OA) の取入れ

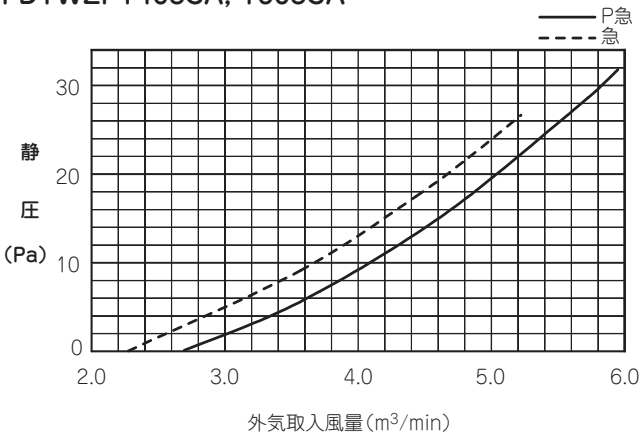
本ユニットは側板に新鮮空気取入ダクト接続口を持っています。(外形図をご覧ください。)

新鮮空気取入量は下図により求めてください。

FDTWZP565SA, 635SA, 805SA

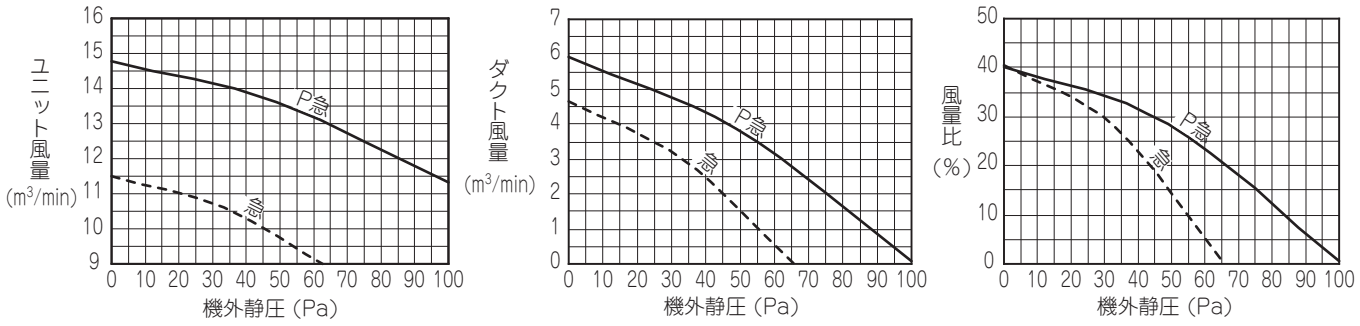


FDTWZP1405SA, 1605SA



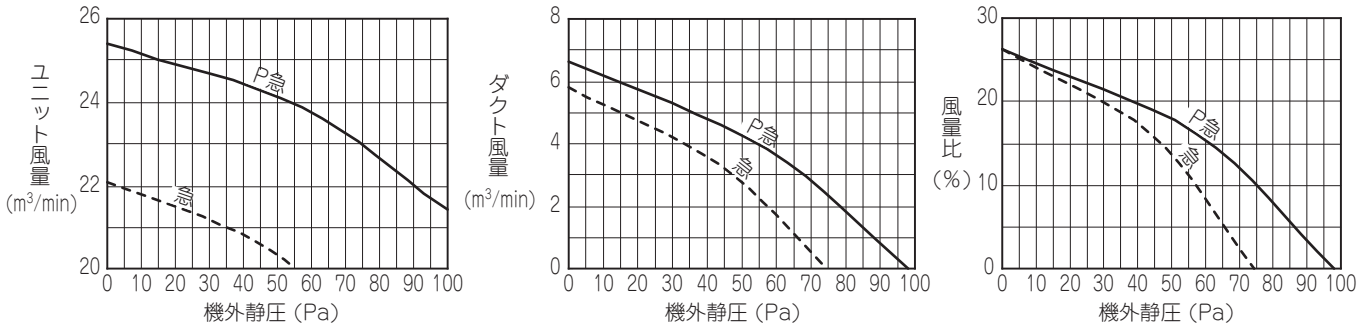
(iii) 分岐ダクト特性

FDTWZP565SA, 635SA, 805SA

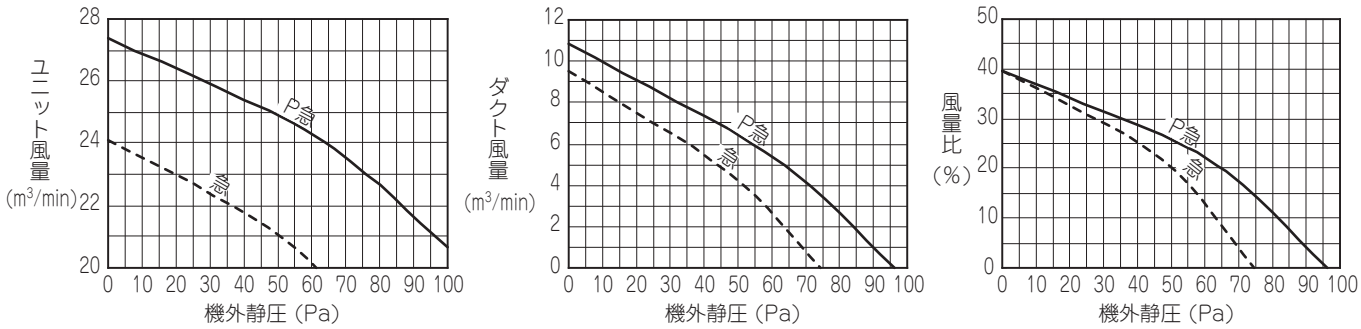


FDTWZP1405SA, 1605SA

■ダクト1個使用



■ダクト2個使用



㈣ パネルの据付

PJB012D300 A

ユニット本体の据付説明書と共にお読みください。

安全上のご注意

●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、⚠警告、⚠注意、に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に⚠警告の欄にまとめて記載しています。しかし、⚠注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 ⃠ 絶対に行わない | ❗ 必ず指示に従い行う
●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など）をお客様に説明してください。
この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニット落下によるケガの原因になります。	❗
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があると・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。	❗
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電などの原因になります。	❗
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。	❗
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。	❗
●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。 カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。	❗
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	❗
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	⃠
●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。 点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。	❗
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。	⃠
●元電源を切った後に電気工事を行う。 感電、故障や動作不良の原因になります。	❗

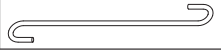
お願い <ラクリーナパネル>

・サービスパネルの動作範囲の周辺および下方には、障害物を置かないでください。
・電源投入前にパネルを取付けた場合は、サービスパネルの昇降動作はできません。
・電源投入前にサービスパネルを収納する場合は、付属のサポートで仮固定する事ができます。
・電源投入後は、付属のサポートが外してあることを確認してから昇降動作を行ってください。
・サービスパネル取付後の初回は、リモコンで「上げる」の操作を行い、サービスパネルを正規位置に収納してください。
（マイコンが収納位置を記憶します。）
・ワイヤは、折曲げ、ねじり、噛込み等により傷つけたり、たばこ等の火が触れないようにしてください。

① 据付のまえに

・据付はこの説明書に従って正しく行ってください。
・右図の付属品を確認してください。

付属品

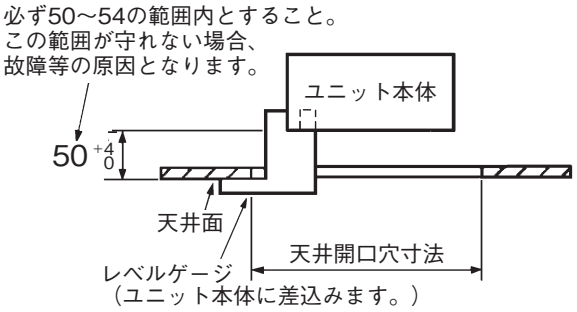
ボルト		6本	パネル取付用
サポート		4本	サービスパネル仮止め用（ラクリーナパネルのみ）

② 本体の取付レベルの確認

・ユニット本体の据付説明書と共にお読みください。
・ユニット本体に同梱されているレベルゲージで本体高さおよび天井開口寸法が正しいことを確認してください。
・ユニット本体と天井材との取付レベルを確認してください。
・ユニット本体付属のレベルゲージを吹出口にセットし、
本体の吊り込み高さを調整してください。
・レベルゲージはパネル取付前に取外してください。

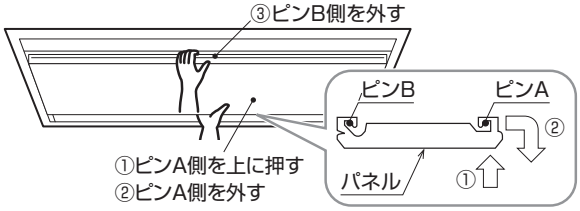
ご注意

ユニット本体と天井材との高さは、パネル取付の際、
パネルに無理な荷重がかからない高さにしてください。
パネルが変形し破損の恐れがあります。



③ サービスパネルの取外し

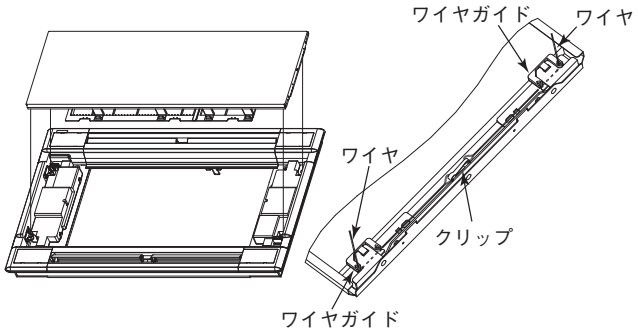
＜標準パネルの場合＞
1．サービスパネルの片側（ピンA側）を上に押し上げてください。
2．ピンAからパネルを外してください。
3．ピンB側を外し、パネルを取外してください。



<ラクリーナパネルの場合>
1．サービスパネルを少し持ち上げて、サービスパネルを開けます。
2．サービスパネルの4コーナに引掛けてあるワイヤをワイヤガイドから取外してください。

ご注意

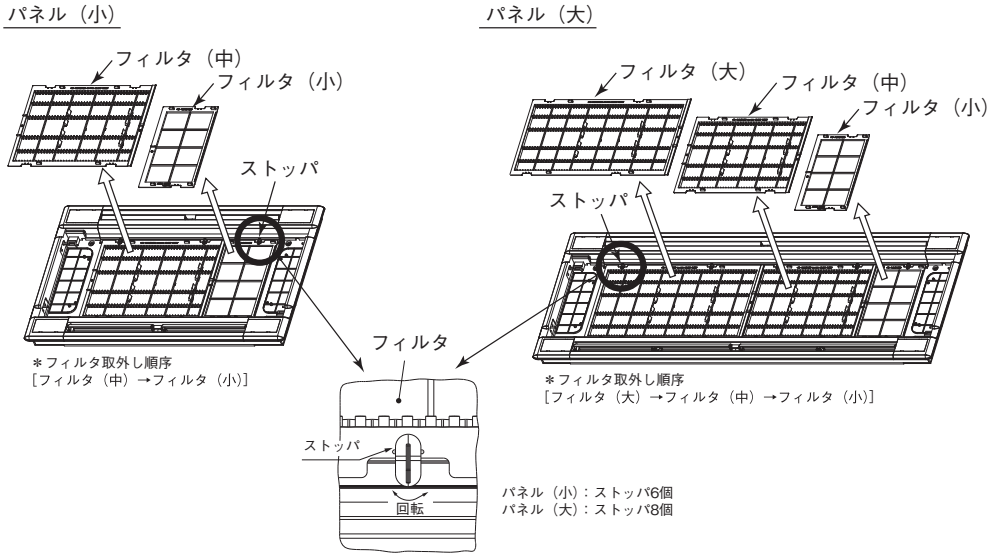
サービスパネルはゆっくり持ち上げてください。
ワイヤおよびワイヤガイドが破損する恐れがあります。



④ フィルタの取外し

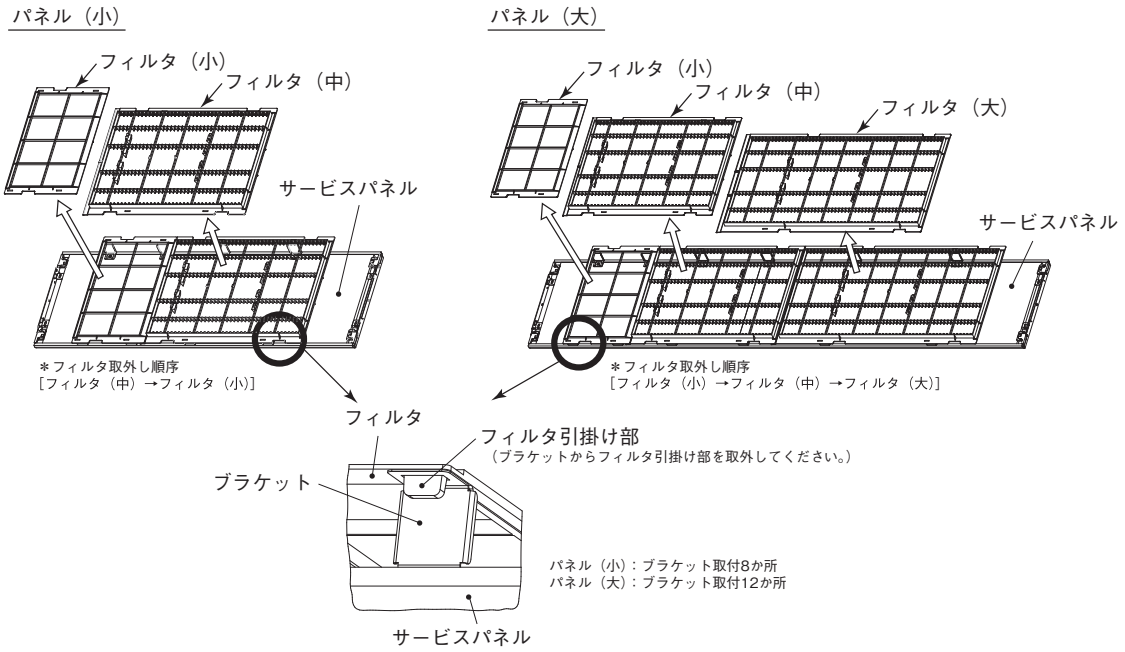
＜標準パネルの場合＞

・フィルタを押さえ、ストッパを回転させてフィルタを取外してください。



＜ラクリーナパネルの場合＞

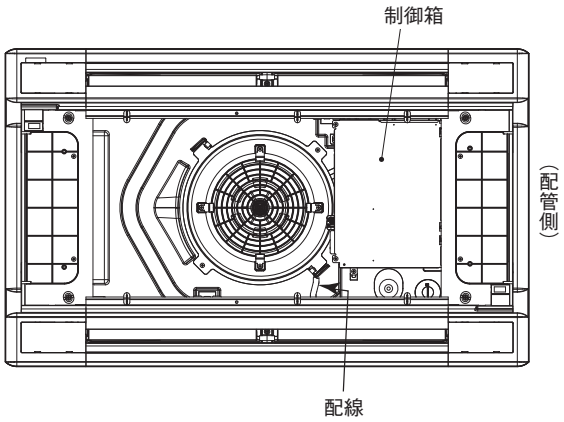
・フィルタをブラケットから取外してください。



⑤ パネルの取付方向

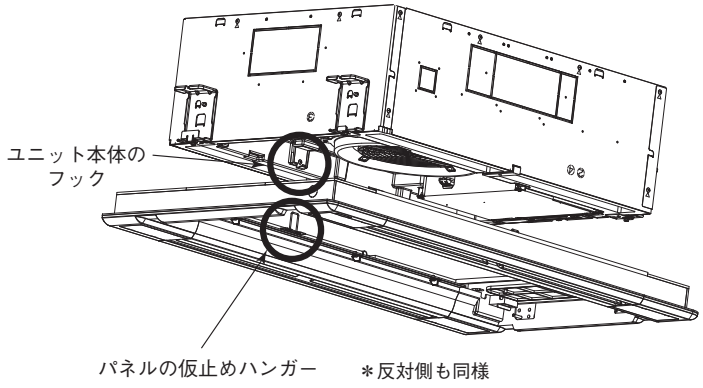
1．パネルの取付方向はユニット本体に対し方向性があります。
・パネルは、右図の様に電気配線が制御箱に近くなる方向で取付けてください。

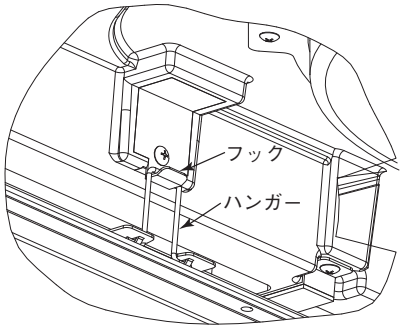
ご注意
・右図以外の方向で取付けると、エアフィルタと制御箱が干渉し風漏れの原因となります。
また電気配線の接続ができません。



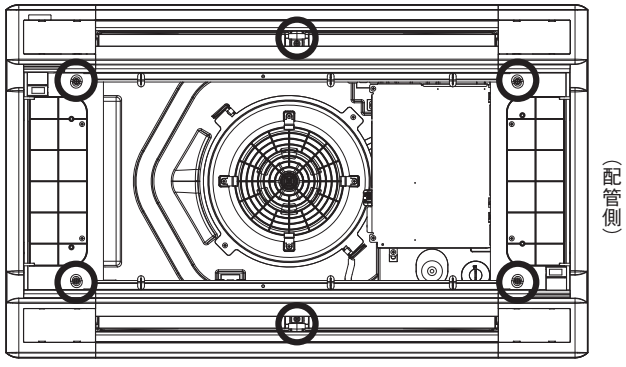
⑥ パネルの取付

1．パネルの仮止め
・パネルの仮止め用ハンガーを起こします。（２か所）
・パネルの仮止め用ハンガーをユニット本体のフックにかけて、パネルを本体に吊るします。





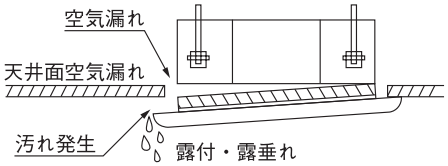
2．パネルのユニット本体への固定
・パネル付属のボルト６本を用いて、ユニット本体に締付けてください。



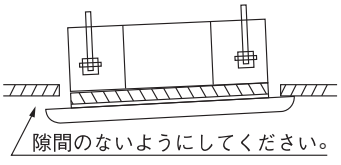
○：パネルのユニット本体への固定部

ご注意

・吊りボルトの締込みが不十分な場合、 下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締込んでください。



・吊りボルトを締込んでも 天井面とパネルとの間に隙間ができる場合は、室内ユニット本体の高さを再調整してください。



(c) 天井埋込形 1 方向吹出し（FDTS）

PJC012D314

(i) 室内ユニットの取付

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。
電気配線（室内）は、電気配線工事説明書をご覧ください。リモコンの取付方法は、リモコン付属の説明書をご覧ください。
ワイヤレスキットの取付方法は、ワイヤレスキット付属の説明書をご覧ください。
室外ユニットの据付方法、電気配線（室外）および冷媒配管工事方法は、室外ユニットの付属の説明書をご覧ください。
また、故障診断は、室内ユニットの結線銘板をご覧ください。
本ユニットは必ずパネルを取付けてご使用ください。
この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また海外においてはアフターサービスもできません。

安全上のご注意

●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、⚠警告、⚠注意、に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に⚠警告の欄にまとめて記載しています。しかし、⚠注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 ⃠ 絶対に行わない | ❗ 必ず指示に従い行う
●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など）をお客様に説明してください。
この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、室内ユニット落下によるケガの原因になります。	❗
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があると破裂・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。	❗
●小部屋に据付ける場合は万一冷媒が漏れても、限界濃度を超えない対策をする。(JRA GL-13) 限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。	❗
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、室内ユニット落下、水漏れ、火災、感電などの原因になります。	❗
●作業中に冷媒が漏れた場合は換気をする。 冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	❗
●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。 強度が不足している場合は、室内ユニットの落下などにより、ケガの原因になります。	❗
●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。 据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。	❗
●室内ユニットの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒以外の空気などを入れない。 空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	⃠
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。	❗
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。	❗
●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。 カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。	❗
●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。 冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	❗
●配管、フレアナット、工具は R32 用または R410A 用を使用する。 既存（R22）の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。	❗
●フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締付ける。 フレアナットの締付過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。	❗
●ドレン配管はイオウ系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接入れない。 室内に有毒ガスが侵入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また、室内ユニットを腐食させ、故障や冷媒漏れの原因になります。	⃠
●据付作業では圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取付ける。 冷媒配管を取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	❗
●ポンプダウン作業では、サービスバルブを閉じた後配管を外す前に圧縮機を停止する。 圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管をはずすと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	❗
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	❗
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	⃠
●エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。 据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	❗
●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。 点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。	❗
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。	⃠
●元電源を切った後に電気工事を行う。 感電、故障や動作不良の原因になります。	❗

⚠注意

●アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電の原因になることがあります。

●漏電しゃ断器は必ず取付ける。
漏電しゃ断器が取付けられていないと感電の原因になることがあります。

●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。
万一ガスが室内ユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

●腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある所、揮発性引火物を取扱う所での据付、使用は行わない。
熱交の腐食、プラスチック部品の破損などの原因になることがあります。また可燃性ガスは発火の原因になることがあります。

●工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。

●洗濯室など、水の掛かる所では使用しない。
室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。水が掛かると感電、火災などの原因になることがあります。

●食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。
保存物の品質低下などの原因になることがあります。

●病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器、高周波の発生する機器の近くでは据付、使用しない。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。

●直射日光の当たる所にリモコンを設置しない。
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。

●次の場所への据付は避ける。
・可燃性ガスの漏れる恐れがある所
・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、機器に影響する物質の発生する所
・油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場など）
・高周波を発生する機械を使用する所
・海浜地区等塩分の多い所
・煙突の煙がかかる所
・カーボン繊維や金属粉、パウダーなどが浮遊する所
・車両・船舶等移動するものへの設置
・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所
・積雪の多い所
・標高１０００m以上の所
性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したりする原因になることがあります。

●次の場所への室内ユニットの据付は避ける。（機種により異なる制限があるので、その指示に従うこと。）
・吸込口、吹出口に風の障害物がある所
・強度が不十分で振動が発生する所
・ワイヤレス機の場合、受光部に直接太陽光や強い光が当たる所
・高周波に影響される機器のある所（TV およびラジオ等の近傍）
・ドレンの排水がとれない所
性能や機能等に影響をおよぼす原因になります。
人感センサ搭載パネルは次のような場所への設置はしないでください。誤検知・検知不能・特性劣化を招く恐れがあります。
・長時間振動が加わる状態
・静電気や強い電磁波のある場所
・長時間高温、多湿になる場所
・塵埃の多い場所、レンズ面に汚れおよび損傷を与える恐れのある場所

●エアコンの下部には、濡れて困るものは置かない。
湿度が 80% 以上の時や、ドレン排水が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じることがあります。

●長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。
傷んだ状態で放置すると室内ユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。

●室内ユニット近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、室内ユニット内へのスパッタの侵入を防止する。
溶接作業時などに発生するスパッタが室内ユニットにあたった場合、ドレンパンなどに損傷（ピンホール）をあたえ、水漏れなどの原因になることがあります。室内ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため梱包状態のままとしておくか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。

●GHP〔ガスヒートポンプ〕の場合、室外ユニットの排気ドレン管と室内ユニットの排水ドレン管は共用しない。
室内に有毒ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。

●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因となることがあります。

●ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。

●冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たれなどを発生し、天井･床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。

●室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所に設置しない。
小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。
また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。

●製品の運搬は十分注意して行う。
20kg 以上の製品は原則として 2 人以上で行ってください。PP バンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。
素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

●梱包材の処理は確実に行う。
梱包材にクギなどの金属あるいは、木片などを使用していますので放置状態にしますとケガをすることがあります。

●フィルタをはずしたまま運転しない。
内部に油・ゴミなどが詰まり、故障の原因になることがあります。

●濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。

●運転中の冷媒配管を素手で触れない。
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになることがあります。

●エアコンを水洗いしない。
感電の原因になることがあります。

●運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず 5 分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。

●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

①据付の前に

●据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
●次の項目を確認してください。
　○機種・電源仕様　　○配管・配線・小物部品　　○付属品

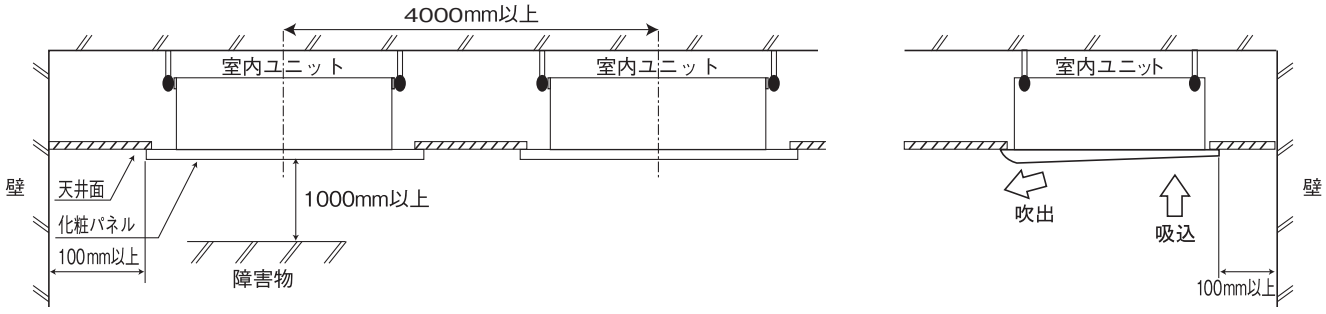
付属品

本体吊り込み用	冷媒配管用			ドレン配管用			
平座金 (M10)	パイプカバー (大)	パイプカバー (小)	バンド	パイプカバー (大)	パイプカバー (小)	ドレンホース	ホース クランプ
8個	1個	1個	4個	1個	1個	1個	1個
室内ユニット 吊り下げ用	ガス管断熱用	液管断熱用	パイプカバー 固定用	ドレンソケット 断熱用	ドレンソケット 断熱用	ドレン配管 接続用	ドレンホース 取付用

②室内ユニットの据付場所の選定

①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
　・冷風または温風が十分に行きわたる所。
　　据付高さが３ｍを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
　・人感センサを取付ける場合、据付高さは 4m 以内としてください。センサ感度が鈍くなり、検知しにくくなります。
　・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
　・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
　・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
　・侵入外気の影響のない所。
　・直射日光の当たらない所。
　・周囲の露点温度が２８℃以下、相対湿度８０％以下の所。
　　本室内ユニットは JIS 露付条件(室内：27℃ /78% RH)にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、室内ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、室内ユニットの全ておよび配管、ドレン配管にさらに10～20mmの断熱材を取付けてください。
　・テレビ、ラジオより１ｍ以上離れた所。(映像の乱れや雑音が生じることがあります。)
　・室内ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバー、医療機器など濡れて困るものを置かない所。
　・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
　・フライヤーの真上など油・粉・蒸気などを直接吸込まない所。
　・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。
　　ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。
②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット落下によるケガの原因になります。
③ワイヤレス機種を２台以上据付ける場合は、混信による誤動作を防止するため室内ユニット間を６ｍ以上離してください。
④室内ユニットを隣接して設置する場合は、室内ユニット間距離を４ｍ以上離して設置してください。

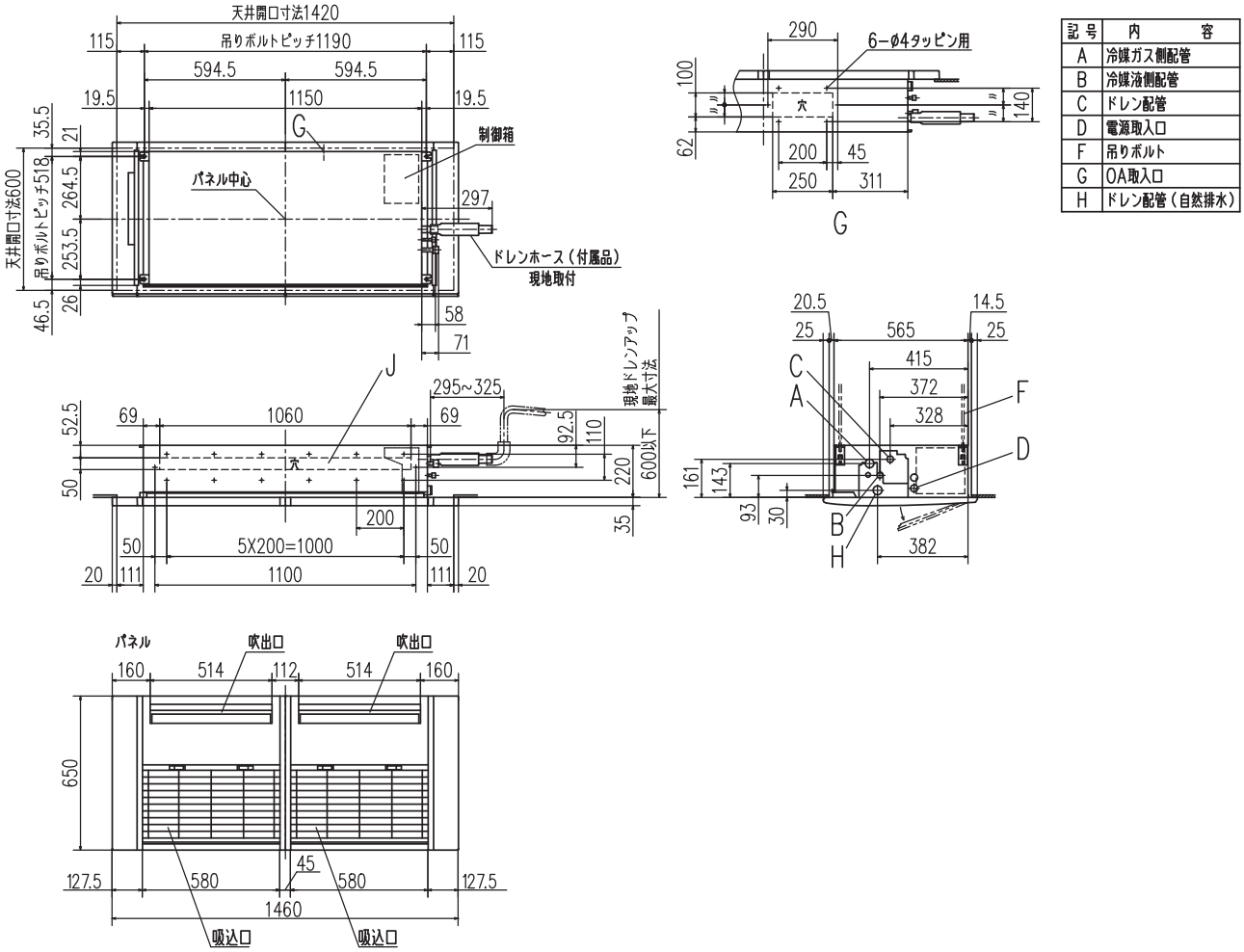
室内ユニット据付スペース



③据付前の準備

●吊りボルト長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
　○システム天井（グリッド天井・ライン天井）の場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）５００mm以上または天井ふところ高さ７００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
　○強度が十分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）１０００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
●吊りボルト・ナット・バネ座金（Ｍ１０）を４組現地にて手配してください。

天井開口穴・吊りボルトピッチ・各配管の位置



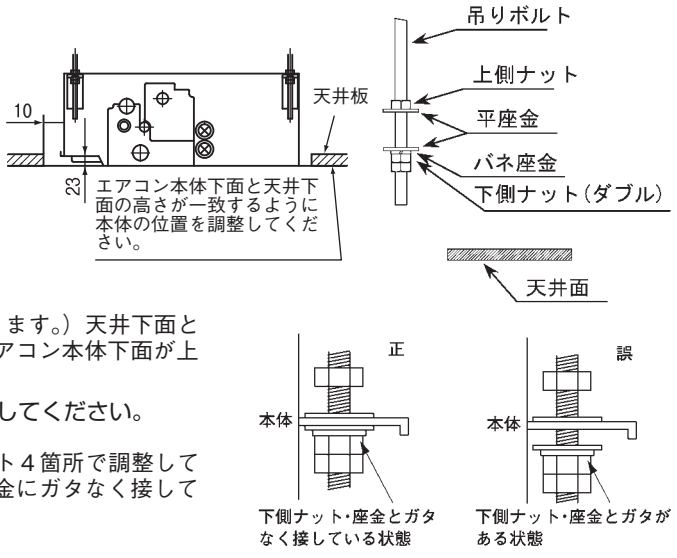
④室内ユニットの据付

作業手順

1．天井に１４２０×６００の穴をあけてください。
2．吊りボルト位置（１１９０×５１８）を決めてください。
3．吊りボルトは、４本使用してください。
4．吊りボルト長さは、天井面より１６５mm程度上としてください。吊りボルトの下側ナット４箇所は天井面から２１７mm程度に仮止めし、上側ナット４箇所は室内ユニット吊り込みおよび高さ調整時に支障ないよう、下側ナットから十分距離をとった位置に仮止めし、室内ユニット本体を吊り込んでください。
5．室内ユニット下面と天井面が一致するように室内ユニット高さを調整してください。（吹出口部分は、天井裏に入ります。）天井下面とエアコン本体下面との高さ許容差は、天井下面に対し、エアコン本体下面が上方に５mm以下です。

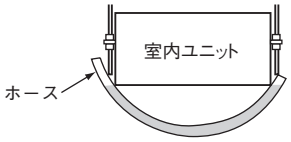
注意 エアコン本体が天井下面より下方にならないよう設置してください。

高さ調整は、上側ナット４箇所を緩めた状態で、下側ナット４箇所で調整してください。室内ユニット吊り金具４箇所が下側ナット・座金にガタなく接していることを確認してください。



④室内ユニット据付のつづき

6．室内ユニット本体の水平度を確認してください。水平度は、水準器または透明ホースに水を入れたものを使用して確認してください。（室内ユニット両端での高さ許容差は３mm以内）
7．高さ調整・水平度調整後、上側ナット４箇所を締付けて室内ユニットを固定してください。



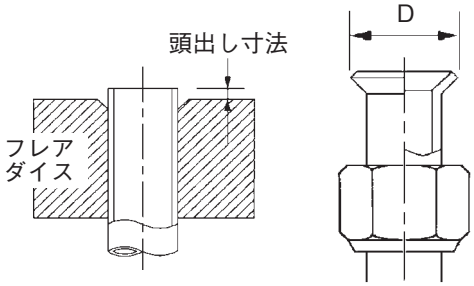
室内ユニット据付時のお願い

●上側ナットで高さ調整を行わないでください。室内ユニット本体に無理な力がかかり変形し、パネルが組付できなかったり、ファン干渉音が発生するおそれがあります。
●室内ユニットは必ず水平に据付、室内ユニット下面と天井面の高さを正しく設置してください。据付に不備があると風漏れ、結露・水漏れ、騒音の原因になります。
●化粧パネルと天井面、および化粧パネルと室内ユニットとの接触部は確実に密着させてください。隙間があると風漏れ、結露・水漏れの原因になります。
●化粧パネルをしばらくの間取付けられない場合、または室内ユニットを据付後に天井材を貼る場合は、室内ユニット内へほこりを入れない様注意してください。

⑤冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

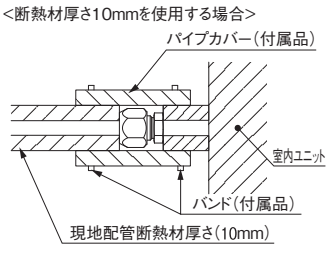
●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは、製品付属のもの（JIS B 8607 2種適合品）をご使用ください。他のフレアナット（1 種）を使用すると冷媒漏れの原因となります。
既設配管再利用の可否および洗浄方法については、室外ユニットの据付説明書またはカタログ・技術資料で確認してください。
1）再利用する場合、フレアナットは流用せず室内ユニットに付属のもの（JIS B 8607 2種適合品）を使用してください。

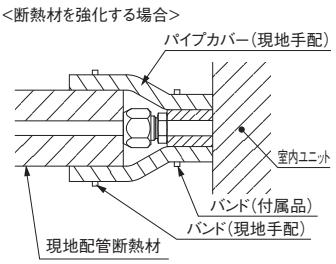


配管径 d mm	配管の最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアナット締付トルク N·m
		リジッド（クラッチ式）			
		R32 用 R410A 用	従来ツール		
6.35	0.8	0 ～ 0.5	0.7 ～ 1.3	8.9 ～ 9.1	14 ～ 18
9.52	0.8			12.8 ～ 13.2	34 ～ 42
12.7	0.8			16.2 ～ 16.6	49 ～ 61
15.88	1			19.3 ～ 19.7	68 ～ 82
19.05	1.2			23.6 ～ 24.0	100 ～ 120

2)再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R32またはR410A用のフレア加工をしてください。

●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（Ｃ１２２０Ｔ、ＪＩＳ Ｈ ３３００）をご使用ください。
また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。
冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。

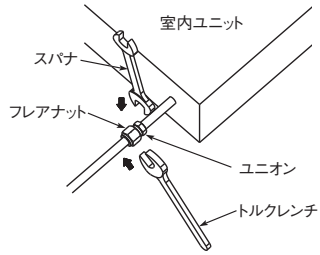




●R32またはR410A以外の冷媒は使用しないでください。
室外ユニット表示以外の冷媒を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。
●据付に使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。
冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。
●工具はR32用またはR410A用の工具を使用してください。

作業手順

1．室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取外してください。
※室内ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで２丁掛けして外してください。
（このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。）
●フレアナット飛びに注意してください。（内部に圧力がかかっている場合があります。）



2．液管・ガス管をフレア加工し、右図の示すように冷媒配管を接続してください。
※配管の曲げは４Ｄ以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。
また配管をねじったり、2/3D 以下につぶしたりしないでください。
※フレア接続は、以下のように行ってください。
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで３～４回転ねじ込み、２丁スパナ掛けで表の締付力で締めてください。
3．室内ユニットのフレア部は、ガス漏れチェック後、右図に示すように断熱材をかぶせ、バンドでしっかりと締付けてください。
●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
●ガス側配管の断熱材は耐熱 120℃以上のものを使用してください。
●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。
4．冷媒は室外ユニットに充填されています。
室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

注意
同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、またはフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しない。
冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとすること。

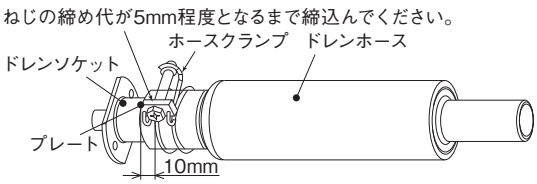
⑥ドレン配管のつづき

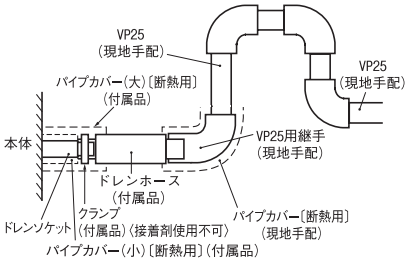
ドレン配管時の注意事項

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
●ドレン配管は、イオウ系ガスなど有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。
室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
●施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。
●ドレン配管は、下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

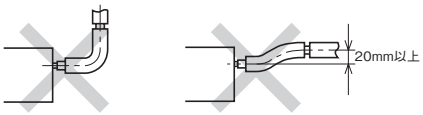
作業手順

1．付属のドレンホース（軟質塩ビ端）はソケット段差部まで確実に挿入してください。ホースクランプは、ホース先端部から10mm 程度のところに取付け、ねじの締め代が 5mm 程度となるまで締込んでください。
●接着剤使用不可

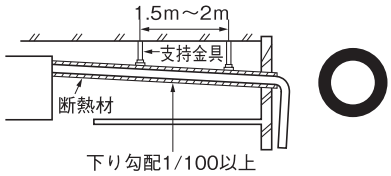


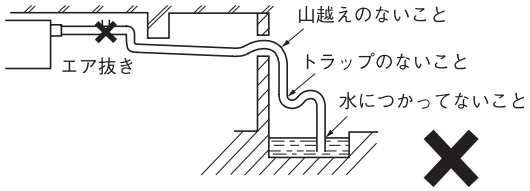


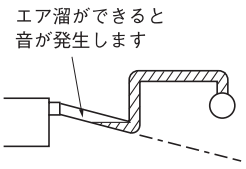
2．ドレンホース（硬質塩ビ端）に、ＶＰ２５用継手（現地手配）を接着・接続し、この継手に、ＶＰ２５（現地手配）を接着・接続してください。
※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管ＶＰ２５を使用してください。
●接着剤は付属のドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。
乾燥後、フレキ部に力が加わった場合、フレキ部が破損することがあります。
●ドレンホースは、室内ユニットあるいはドレン配管の据付時の微小なズレを吸収するためのものです。故意に曲げたり、引っ張って使用された場合は、破損し、水漏れに至ることがあります。



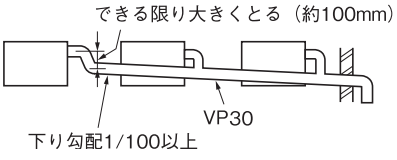
3．ドレン配管は下り勾配（1／１００以上）とし、途中山越えやトラップを作らないように施工してください。
●ドレン配管を接続する場合に室内ユニット側の配管に力が加えないように注意して行い、できる限り室内ユニット近傍で配管を固定してください。
●エア抜きは絶対に設けないでください。





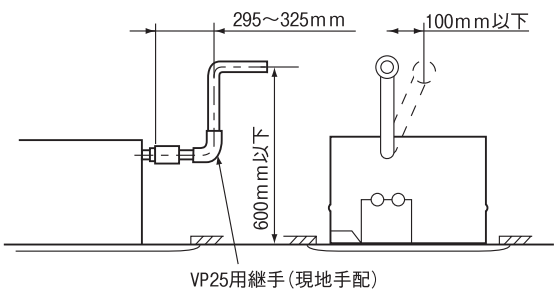


●複数台のドレン配管の場合、本体ドレン出口より約１００ｍｍ下に集合配管がくるようにしてください。また集合配管はＶＰ３０以上を使用してください。
4．ドレン配管の断熱施工を行ってください。
●結露が発生し、水漏れをおこすおそれがありますので、ドレンソケット部および室内にある硬質塩ビパイプは確実に断熱してください。
※ドレンソケット部は、排水テスト実施後、付属のパイプカバー（小）をドレンソケット部に装着した後、付属のパイプカバー（大）にてパイプカバー（小）、クランプおよびドレンホースの一部を覆い、テープにより隙間のないように巻いてください。



ドレンアップする場合

●ドレン配管の出口高さは、天井面より６００ｍｍまで高くすることができます。天井内に障害物などがある場合、エルボ等を用いて施工してください。この場合、ドレン配管を立ち上げるまでの距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流量が多くなり、オーバーフローのおそれがありますので、右図寸法内で処理願います。



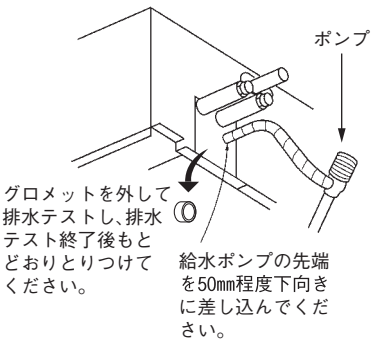
ドレン排水テスト

●ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていることを、接続部および室内ユニットのドレンパン部から水漏れのないことを確認してください。このとき、ドレンポンプのモータ音に異常がないことも確認してください。
●暖房期の据付の際にも必ず実施してください。
●新築の場合には天井を張る前に実施してください。

⑥ドレン配管のつづき

作業手順

1．配管貫通部カバーのグロメットを外し、給水ポンプなどを使用してドレンポンプなどの電気部品に水をかけないように、本体ドレンパンの中へ約１０００cc 注入してください。



2．ドレン排水が確実に行われること、ドレン配管接続部から水漏れのないことを確認してください。
ドレンポンプの回転音を確認しながら排水するかどうかをテストしてください。
ドレン排水の確認は、ドレンソケット部（透明）より確認できます。

3．排水テスト後は、ドレンプラグを外して水抜きを行ってください。
水抜き確認後は、ドレンプラグを元通りにはめ込んでください。

4．排水テスト後は、必ずグロメットを元通りはめこんでください。

5．排水テスト後は、ドレン配管の断熱を本体部まで完全に行ってください。

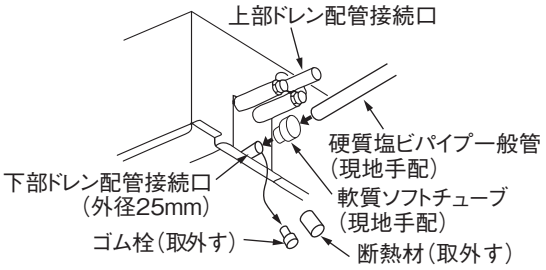
ドレンポンプ運転方法

○電気配線工事が完了している場合
ドレンポンプの運転がリモコン（ワイヤード）操作により可能です。
運転操作方法は､電気配線工事説明書の ドレンポンプ運転操作 をご覧ください。

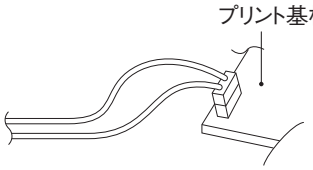
○電気配線工事が完了していない場合
室内ユニット基板上のＳＷ７－１をＯＮにし、かつ、基板上のコネクタCnB を抜いた後、電源ＯＮ（端子台①、②へＡＣ２００Ｖ）すると、ドレンポンプのみ連続運転します。
ドレン排水確認後は、必ずＳＷ７－１を元の状態（ＯＦＦ）に戻し、かつ､基板上のコネクタCnB を差込んでください。

下部ドレン配管工事要領

ドレン配管に下り勾配（１／５０～１／１００）が可能な場合下図要領にて下部ドレン配管接続が可能です。

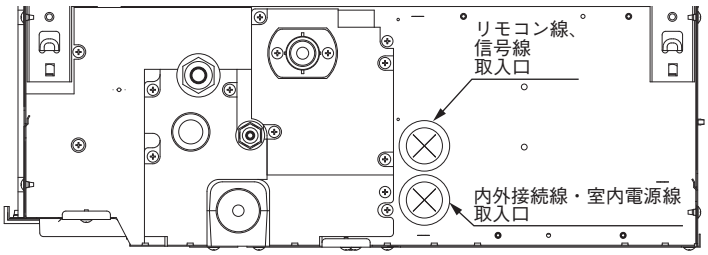


下部ドレン配管を使用する場合に必ず必要です。
〈ドレンモータ用のコネクタの取外し〉
下図に示すようにコントロールボックス内のドレンモータ用コネクタ CnR を取外してください。
注：コネクタを接続したままで使用すると、上部ドレン配管接続口よりドレン水が排出され水漏れとなります。



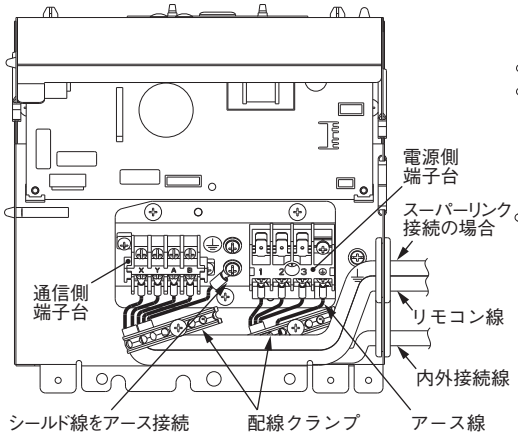
⑦電気配線取出位置および電気配線接続

●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。
●電源線と信号線は同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
●D種接地工事を必ず行ってください。
●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。

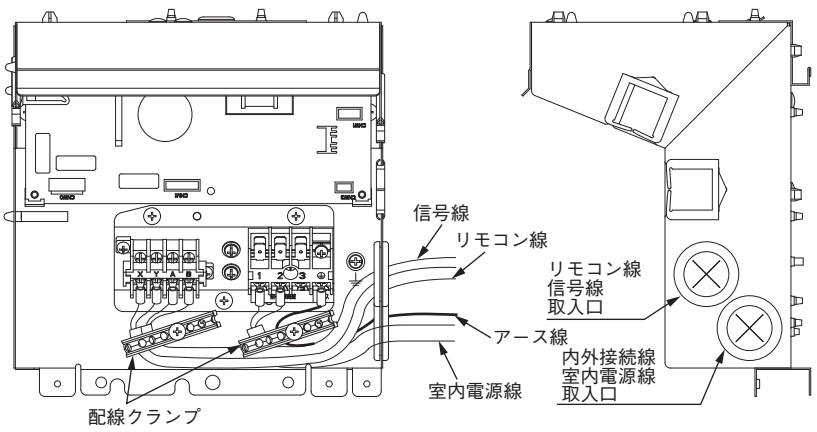


1．電装箱の蓋（ねじ２本）を取外してください。
2．各配線を室内ユニットの内に入れてください。
3．配線を端子台に確実に接続してください。
4．各配線を配線クランプで固定してください。
5．電装箱の蓋を元通りねじ２本で取付けてください。

シングル機の配線接続



マルチ機の配線接続



⑧パネルの取付

●パネルは、電気配線工事完了後に、室内ユニット本体に取付けてください。
●パネルの取付方法は、パネル付属の説明書をご覧ください。

⑨室内ユニット据付工事完了後のチェック項目

●室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレンはスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
電線の太さは仕様どおりですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

⑩店舗シリーズ機種容量統合機の場合

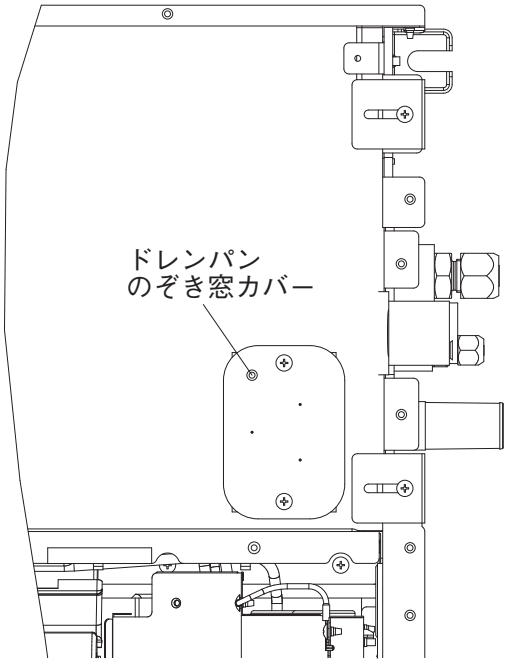
室外ユニットとの組合せにより下表の通り室内ユニット容量が自動認識されます。機種名銘板の機種容量に○印を付けてください。

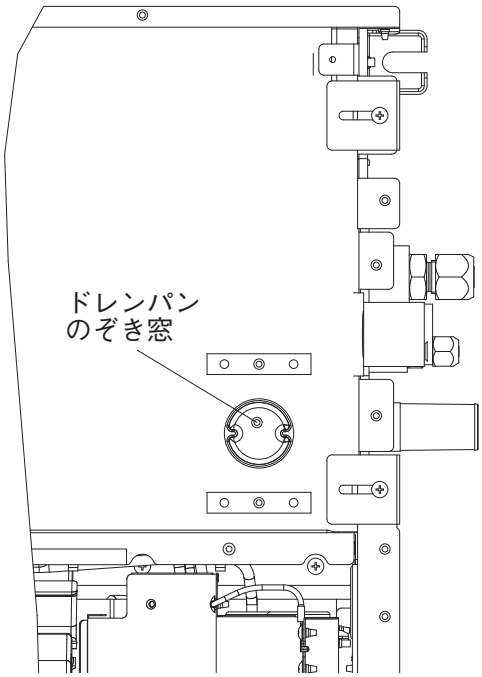
室内ユニット	室内ユニット1台接続						2台接続				3台接続	
室外ユニット	40	45	50	56	63	80	80	112	140	160	160	224
FDTSZP50	P40	P45	P50				P40				P50	
FDTSZP63				P56	P63			P56				
FDTSZP80						P80			P71	P80		P80

⑪ドレンパン汚れ確認（メンテナンス）

ドレンパン汚れ確認方法

●ドレンパンを取外さずに、ドレンポンプ吸込口部のドレンパン汚れが確認できます。
1．パネルを取外してください。
2．ドレンパンののぞき窓カバーを取外してください。
3．のぞき窓からドレンパンの汚れを確認してください。
　汚れが多い場合は、ドレンパンを取外しドレンパンを清掃してください。
4．汚れ確認後、のぞき窓カバーを確実に装着してください。装着が不完全な場合結露・水漏れの原因となります。





(ii) **パネルの据付**

1) 天井埋込仕様（直吹き）

安全上のご注意

●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、⚠警告、⚠注意、に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に⚠警告の欄にまとめて記載しています。しかし、⚠注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 絶対に行わない / 必ず指示に従い行う
●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など）をお客様に説明してください。
この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

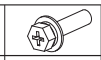
⚠警告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニット落下によるケガの原因になります。	❗
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があると・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。	❗
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電などの原因になります。	❗
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。	❗
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。	❗
●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。 カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。	❗
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	❗
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	⃠
●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。 点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。	❗
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。	⃠
●元電源を切った後に電気工事を行う。 感電、故障や動作不良の原因になります。	❗

① 据付のまえに

・据付はこの説明書に従って正しく行ってください。
・右図の付属品を確認してください。

付属品

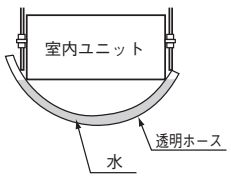
ボルト		右パネル４本，左パネル４本	パネル取付用
ねじ（M4　L=8mm）		右パネル２本，左パネル２本	チェーン取付用

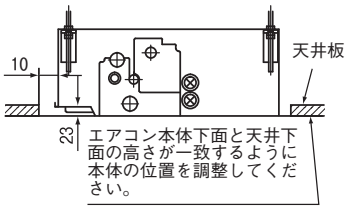
② 本体の取付レベルの確認

・室内ユニット本体の据付説明書と共にお読みください。
・室内ユニット本体と天井材との取付けレベルを確認してください。
　室内ユニット下面と天井下面が一致するように室内ユニット高さを調整してください。
　(吹出し口部分は天井裏に入ります。)
・天井下面と室内ユニット下面との高さの差は5㎜以下としてください。

ご注意

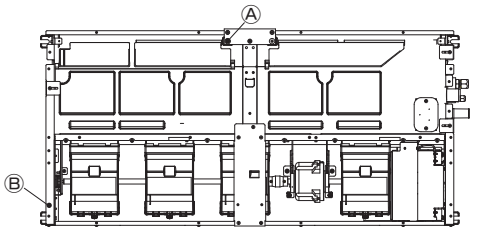
室内ユニット本体が天井下面より下方に
ならないように設置してください。



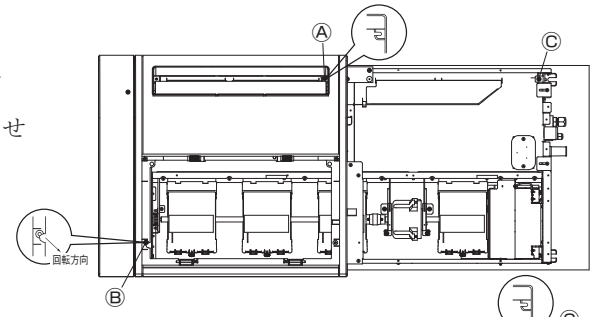


③ パネル取付

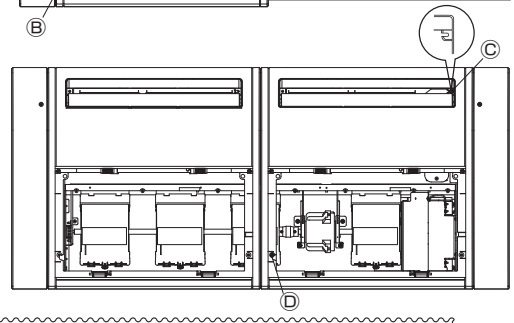
1．左パネル付属のボルト４本のうち、２本を室内ユニットの中央吹出し側とその対角に5㎜弱ねじこみます。（ⒶⒷ●印）



2．吸込グリルを開け左パネルを２本のボルトにひっかけ、仮止めしてください。
　仮止めは、先にⒶ●印のボルトにパネルをひっかけ、回転させながらⒷ●印をひっかけます。



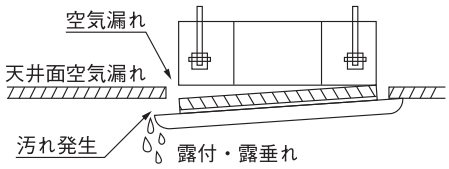
3．右パネル付属のボルト４本のうち、１本を室内ユニットの配管側に５㎜弱ねじこみます。（Ⓒ●印）
4．Ⓒ●印のボルトにパネルをひっかけ、その対角（Ⓓ●印）を仮締めします。



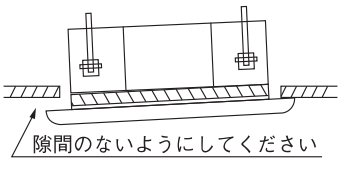
5．右パネルと左パネルの隙間を調整しながら、
　仮締めしたボルト及び残りのボルト２本を締付けてください。

ご注意

・吊りボルトの締込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締込んでください。



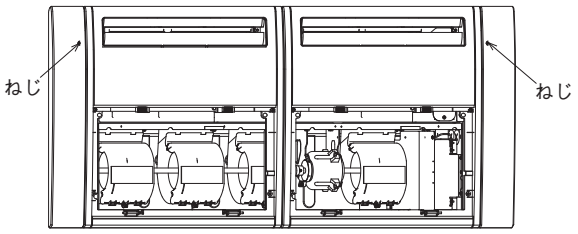
・吊りボルトを締込んでも天井面とパネルとの間に隙間ができる場合は、室内ユニット本体の高さを再調整してください。



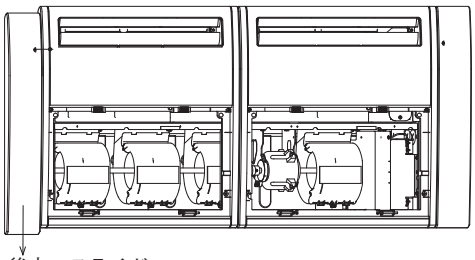
④ ユニット高さ調整方法

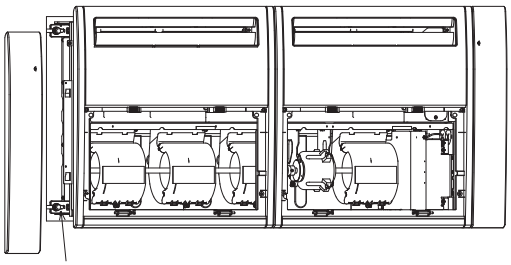
室内ユニット本体の水平度、ドレン配管などに影響がでない程度であればパネルを取付けたまま室内ユニット本体の据付高さを微調整できます。

1．サイドパネルのねじを取外してください。



2．サイドパネルを後方にスライドさせ、取外してください。（左右共同様）





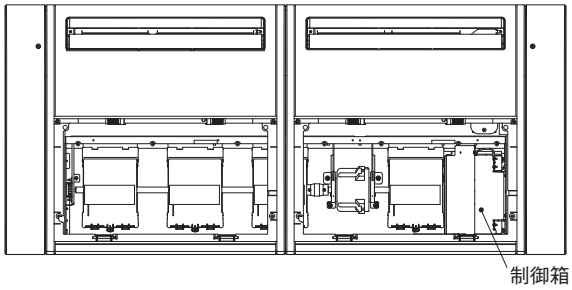
3．据付高さ調整後は、サイドパネルを元通りに戻してください。

ご注意

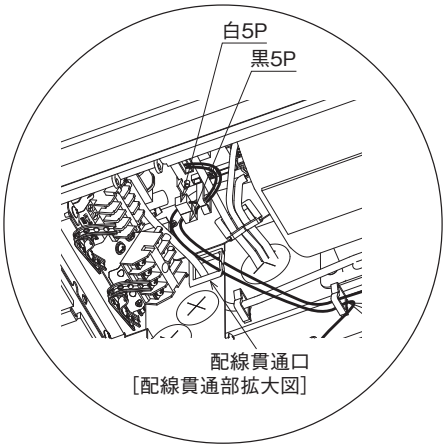
ユニット本体と天井材との高さは、パネル取付の際、パネルに無理な荷重がかからない高さにしてください。パネルが変形し破損の恐れがあります。

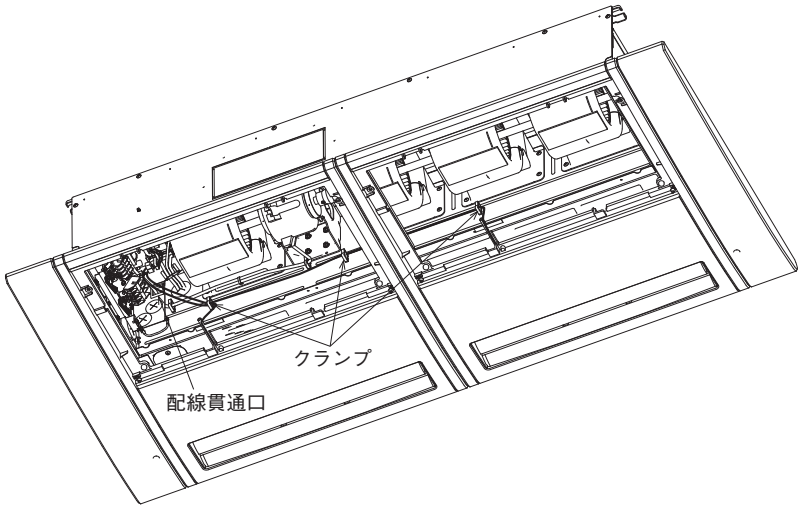
⑤ 電気配線

1．ねじ（２本）を外して、ユニット本体の制御箱の蓋を取外してください。



2．ルーバモータ配線を室内ユニットのクランプに通してください。



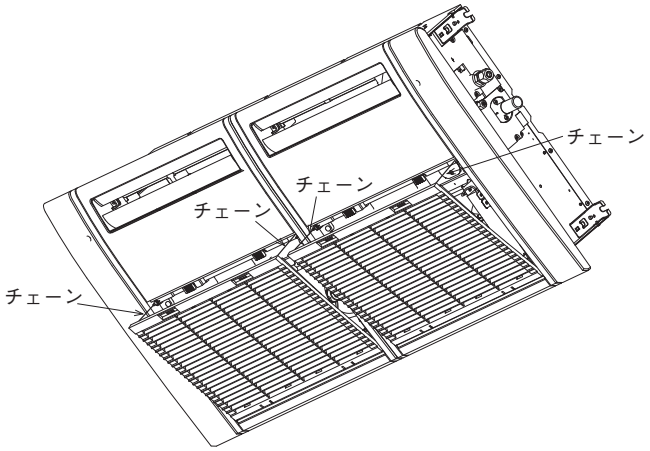


3．左パネルのルーバモータのコネクタ（黒５P）と右パネルのルーバモータコネクタ（白５P）を、
それぞれ接続してください。
室内ユニット側のコネクタは、制御箱の中にあります。
コネクタは、色を合わせて接続してください。

4．コネクタ接続後、制御箱の配線の貫通口に、パネル側の配線を通してください。
コネクタは、制御箱内に入れてください。

5．制御箱の蓋を閉めて、 ねじ（２本）を締付けてください。

6．吸込グリルについているチェーンを、 パネル側にねじ（２本）で取付けてください。
チェーンを取付けるためのねじは、ボルトと同じ袋に入っています。



7．吸込グリルを閉めて完了です。

2） 下がり天井仕様

安全上のご注意

●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、⚠警告、⚠注意、に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に⚠警告の欄にまとめて記載しています。しかし、⚠注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 絶対に行わない 必ず指示に従い行う
●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など）をお客様に説明してください。
この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニット落下によるケガの原因になります。	❗
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があると・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。	❗
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電などの原因になります。	❗
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。	❗
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。	❗
●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。 カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。	❗
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	❗
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	⃠
●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。 点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。	❗
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。	⃠
●元電源を切った後に電気工事を行う。 感電、故障や動作不良の原因になります。	❗

① 据付のまえに

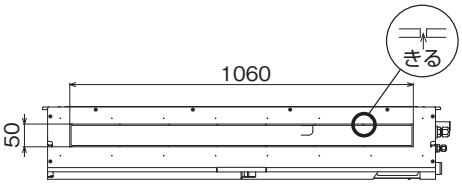
・据付はこの説明書に従って正しく行ってください。
・右図の付属品を確認してください。

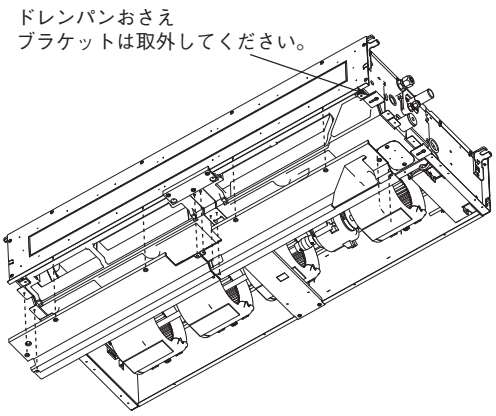
付属品

ボルト		右パネル４本，左パネル４本	パネル取付用
ねじ(M4　L=8mm)		右パネル２本，左パネル２本	チェーン取付用
ボトムプレート(左)		１個	
ボトムプレート(右)		１個	
ねじ(M4　L=8mm)		６本	ボトムプレート取付用

② 室内ユニットの据付準備

1．室内ユニットの前面外側のインシュレーションのスリットに合わせて、ナイフなどで切り込みを入れます。
2．ハーフブランキング部をニッパー等で切断し、切取ります。
3．ドレンパンを取外してください。
4．室内ユニット内側のインシュレーションを切取り、穴を開けます。
5．室内ユニット内にごみが残っていないか確認し、ドレンパンをもとにもどしてください。
6．ボトムプレート（右)(左）を付属のねじで取付けます。
その際、吹出口横にあるドレンパン抑えブラケットは取外してください。





③ 吹出しダクト・吹出しグリルの取付

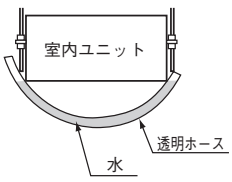
1．吹出しダクト・吹出しグリル（オプション）に付属の据付説明書に従って、取付を行ってください。

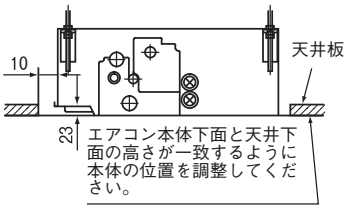
④ 本体の取付レベルの確認

・室内ユニット本体の据付説明書と共にお読みください。
・室内ユニット本体と天井材との取付レベルを確認してください。
室内ユニット下面と天井面が一致するように室内ユニット高さを調整してください。
（吹出し口部分は天井裏に入ります。）
・天井下面と室内ユニット下面との高さの差は、5㎜以下としてください。

ご注意

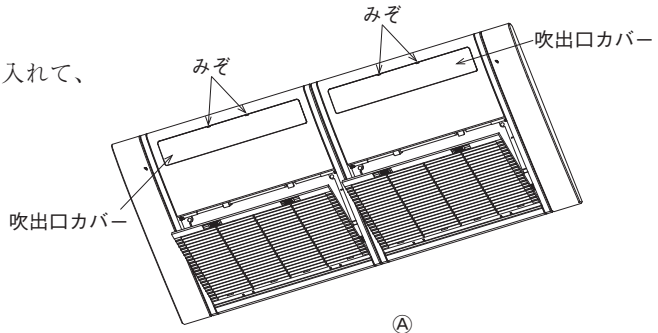
室内ユニット本体が天井下面より下方にならないように設置してください。



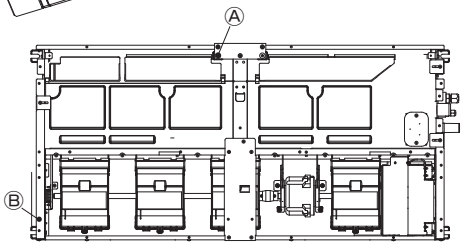


⑤ パネル取付

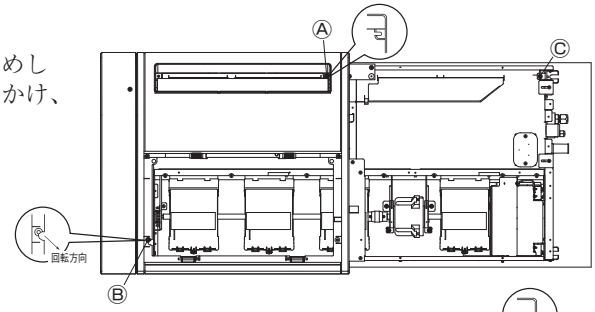
1．パネル吹出口のカバーの溝に、マイナスドライバー等を入れて、カバーをパネルから取外してください。



2．左パネル付属のボルト４本のうち、２本を室内ユニットの中央吹出し側とその対角に5㎜弱ねじこみます。（ⒶⒷ●印）



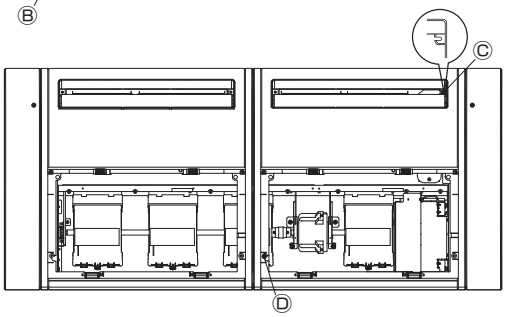
3．吸込グリルを開け左パネルを２本のボルトにひっかけ、仮止めしてください。仮止めは、先にⒶ●印のボルトにパネルをひっかけ、回転させながらⒷ●印をひっかけます。



4．右パネル付属のボルト４本のうち、１本を室内ユニットの配管側に５㎜弱ねじこみます。（Ⓒ●印）

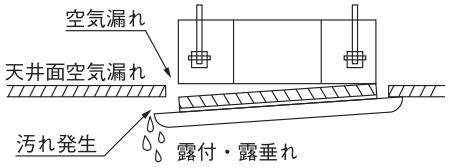
5．Ⓒ●印のボルトにパネルをひっかけ、その対角（Ⓓ●印）を仮締めします。

6．右パネルと左パネルの隙間を調整しながら、仮締めしたボルトおよび残りのボルト２本を締付けてください。

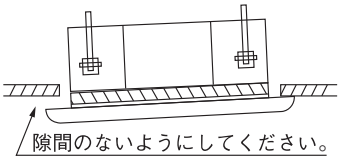


ご注意

・吊りボルトの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締込んでください。



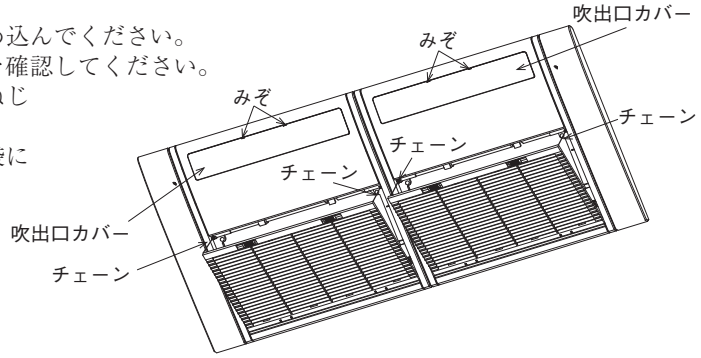
・吊りボルトを締め込んでも天井面とパネルとの間に隙間ができる場合は、室内ユニット本体の高さを再調整してください。



7．吸込グリルを閉めてください。

8．吹出口カバーをパネル下側から押込み、元通りはめ込んでください。
吹出口カバーは確実にはめこみ、落下しないことを確認してください。

9．吸込グリルについているチェーンを、パネル側にねじ（２本）で取付けてください。
チェーンを取付けるためのねじは、ボルトと同じ袋に入っています。

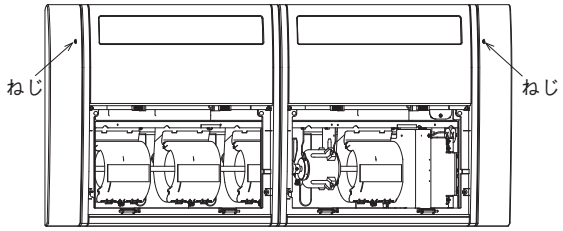


10. 吸込グリルを閉めて完了です。

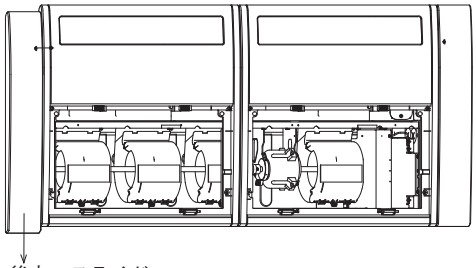
⑥ ユニット高さ調整方法

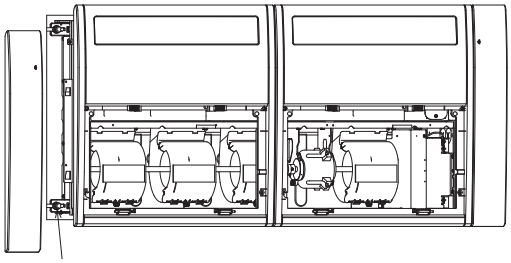
室内ユニット本体の水平度、ドレン配管などに影響がでない程度であれば
パネルを取付けたまま室内ユニット本体の据付高さを微調整できます。

1．サイドパネルのねじを取外してください。



2．サイドパネルを後方にスライドさせ、取外してください。（左右共同様）





3．据付高さ調整後は、サイドパネルを元通りに戻してください。

ご注意

ユニット本体と天井材との高さは、パネル取付の際、
パネルに無理な荷重がかからない高さにしてください。
パネルが変形し破損の恐れがあります。

(d) 天埋カセテリア（FDR）

PJG012D034

（i） 室内ユニットの取付

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。
電気配線（室内）は、電気配線工事説明書をご覧ください。リモコンの取付方法は、リモコン付属の説明書をご覧ください。
ワイヤレスキットの取付方法は、ワイヤレスキット付属の説明書をご覧ください。
室外ユニットの据付方法、電気配線（室外）および冷媒配管工事方法は、室外ユニットの付属の説明書をご覧ください。
また、故障診断は、室内ユニットの結線銘板をご覧ください。
○本機はダクト機です。直吹きでは使用しないでください。
○専用のパネル（エアフィルタ組込）またはフィルタキット（天井リターン設置）を組み合わせて使用してください。
この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。 また海外においてはアフターサービスもできません。

安全上のご注意

●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、⚠警告、⚠注意、に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に⚠警告の欄にまとめて記載しています。しかし、⚠注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 ⃠ 絶対に行わない | ❗ 必ず指示に従い行う
●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など）をお客様に説明してください。
この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、室内ユニット落下によるケガの原因になります。	❗
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があると破裂･ケガの原因となり、また水漏れや感電･火災などの原因になります。	❗
●小部屋に据付ける場合は万一冷媒が漏れても、限界濃度を超えない対策をする。(JRA GL-13) 限界濃度を超えない対策については､販売店と相談して据付ける。万一､冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。	❗
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、室内ユニット落下、水漏れ、火災、感電などの原因になります。	❗
●作業中に冷媒が漏れた場合は換気をする。 冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	❗
●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。 強度が不足している場合は、室内ユニットの落下などにより、ケガの原因になります。	❗
●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。 据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。	❗
●エアコンの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒以外の空気などを入れない。 空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	⃠
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」､「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。	❗
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。	❗
●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。 カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。	❗
●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。 冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	❗
●配管、フレアナット、工具はR32用またはR410A 専用のものを使用する。 既存（R22）の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。	❗
●フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締付ける。 フレアナットの締付過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。	❗
●ドレン配管はイオウ系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接入れない。 室内に有毒ガスが侵入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また、室内ユニットを腐食させ、故障や冷媒漏れの原因になります。	⃠
●据付作業では圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取付ける。 冷媒配管を取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	❗
●ポンプダウン作業では、サービスバルブを閉じた後配管を外す前に圧縮機を停止する。 圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管をはずすと空気などを吸引し､冷凍サイクル内が異常高圧になり､破裂､ケガなどの原因になります。	❗
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	❗
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	⃠
●エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。 据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	❗
●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。 点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。	❗
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。	⃠
●元電源を切った後に電気工事を行う。 感電、故障や動作不良の原因になります。	❗

⚠注意

●アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。

●漏電しゃ断器は必ず取付ける。
漏電しゃ断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。
万一ガスが室内ユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

●腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある所、揮発性引火物を取扱う所での据付、使用は行わない。
熱交の腐食、プラスチック部品の破損などの原因になることがあります。また可燃性ガスは発火の原因になることがあります。

●工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。

●洗濯室など、水の掛かる所では使用しない。
室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。水が掛かると感電、火災などの原因になることがあります。

●食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。
保存物の品質低下などの原因になることがあります。

●病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器、高周波の発生する機器の近くでは据付、使用しない。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。

●直射日光の当たる所にリモコンを設置しない。
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。

●次の場所への据付は避ける。
・可燃性ガスの漏れる恐れがある所
・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、機器に影響する物質の発生する所
・油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場など）
・高周波を発生する機械を使用する所
・海浜地区等塩分の多い所
・煙突の煙がかかる所
・カーボン繊維や金属粉、パウダーなどが浮遊する所
・車両・船舶等移動するものへの設置
・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所
・積雪の多い所
・標高１０００m以上の所
性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したりする原因になることがあります。

●次の場所への室内ユニットの据付は避ける。（機種により異なる制限があるので、その指示に従うこと）。
・吸込口、吹出口に風の障害物がある所
・強度が不十分で振動が発生する所
・ワイヤレス機の場合、受光部に直接太陽光や強い光が当たる所
・高周波に影響される機器のある所（TV およびラジオ等の近傍）
・ドレンの排水がとれない所
性能や機能等に影響をおよぼす原因になります。
人感センサ搭載パネルは次のような場所への設置はしないでください。誤検知・検知不能・特性劣化を招く恐れがあります。
・長時間振動が加わる状態
・静電気や強い電磁波のある場所
・長時間高温、多湿になる場所
・塵埃の多い場所、レンズ面に汚れおよび損傷を与える恐れのある場所

●エアコンの下部には、濡れて困るものは置かない。
湿度が 80% 以上の時や、ドレン排水が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じることがあります。

●長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。
傷んだ状態で放置すると室内ユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。

●室内ユニット近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、室内ユニット内へのスパッタの侵入を防止する。
溶接作業時などに発生するスパッタが室内ユニットにあたった場合、ドレンパンなどに損傷（ピンホール）をあたえ、水漏れなどの原因になることがあります。室内ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため梱包状態のままとしておくか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。

●GHP〔ガスヒートポンプ〕の場合、室外ユニットの排気ドレン管と室内ユニットの排水ドレン管は共用しない。
室内に有毒ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。

●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因となることがあります。

●ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。

●冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たれなどを発生し、天井･床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。

●室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所に設置しない。
小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。
また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。

●製品の運搬は十分注意して行う。
20kg 以上の製品は原則として２人以上で行ってください。PP バンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。
素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

●梱包材の処理は確実に行う。
梱包材にクギなどの金属あるいは、木片などを使用していますので放置状態にしますとケガをすることがあります。

●フィルタをはずしたまま運転しない。
内部に油・ゴミなどが詰まり、故障の原因になることがあります。

●濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。

●運転中の冷媒配管を素手で触れない。
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになることがあります。

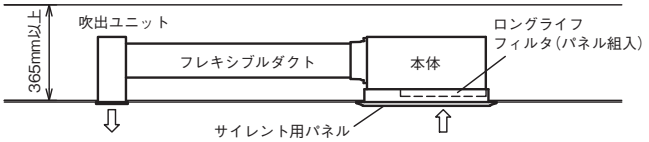
●エアコンを水洗いしない。
感電の原因になることがあります。

●運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず５分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。

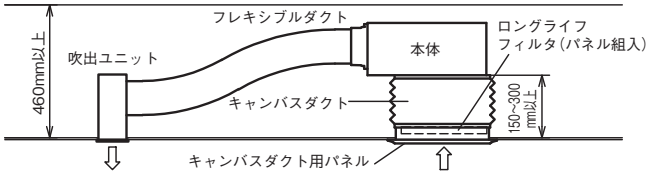
●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

設置方法

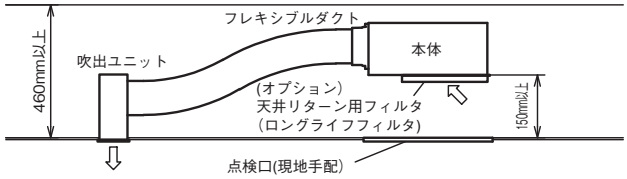
サイレント仕様



キャンパス仕様



天井リターン方式



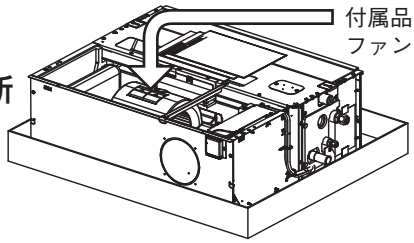
本体の大きさ・設置方法とオプションを確認してください。
吹出ダクト他のオプションを含めカタログにて確認してください。

シリーズ展開　組合せオプション		小型							中型				大型		
		P22	P28	P36	P40	P45	P50	P56	P63	P71	P80	P90	P112	P140	P160
シリーズ展開	店舗				●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
	ビル空調	●	●	●		●		●		●	●	●	●	●	
	GHP	●	●	●		●		●		●		●	●	●	
吹出口数	丸ダクト	1口	2口						3口				4口		
キャンバスダクト	パネル	R-PNC-2AW							R-PNC-3AW				R-PNC-4AW		
	キャンバス	HA01503							HA01490				HA01484		
サイレント	パネル	R-PNS-2AW							R-PNS-3AW				R-PNS-4AW		
天井リターン	フィルタ	R-FL-2A							R-FL-3A				R-FL-4A		
	点検口	現地手配													

①据付の前に

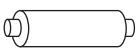
●据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
●次の項目を確認してください。
　○機種・電源仕様
　○配管・配線・小物部品
　○付属品

付属品収納場所
(梱包時)



付属品は室内ユニット内のファン室に入っています。

付属品

本体吊り込み用	冷媒配管用			ドレン配管用			
平座金（M10）	パイプカバー（大）	パイプカバー（小）	バンド	パイプカバー（大）	パイプカバー（小）	ドレンホース	ホースクランプ
							
8個	1個	1個	4本	1個	1個	1個	1個
室内ユニット吊り下げ用	ガス管断熱用	液管断熱用	パイプカバー固定用	ドレンソケット断熱用	ドレンソケット断熱用	ドレン配管接続用	ドレンホース取付用

②室内ユニットの据付場所の選定

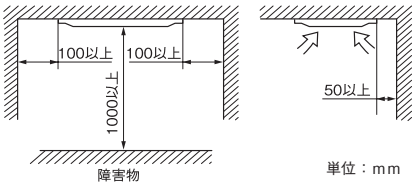
①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
　・冷風または温風が十分に行きわたる所。据付高さが３ｍを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
　・人感センサを取付ける場合、据付高さは4m以内としてください。センサ感度が鈍くなり、検知しにくくなります。
　・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
　・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
　・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
　・侵入外気の影響のない所。　・直射日光の当たらない所。
　・周囲の露点温度が28℃以下、相対湿度80％以下の所。

本室内ユニットはJIS露付条件（室内:27℃/78%RH）にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、室内ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、室内ユニットの全ておよび配管、ドレン配管にさらに10～20mmの断熱材を取付けてください。

　・テレビ、ラジオより１ｍ以上離れた所。（映像の乱れや雑音が生じることがあります。）
　・室内ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバー、医療機器等濡れて困るものを置かない所。
　・調理器具が発する熱の影響を受けない所。　・フライヤーの真上など油・粉・蒸気等を直接吸込まない所。
　・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。
　　ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。

室内ユニット据付スペース

●据付高さは２．５m以上としてください。



単位：mm

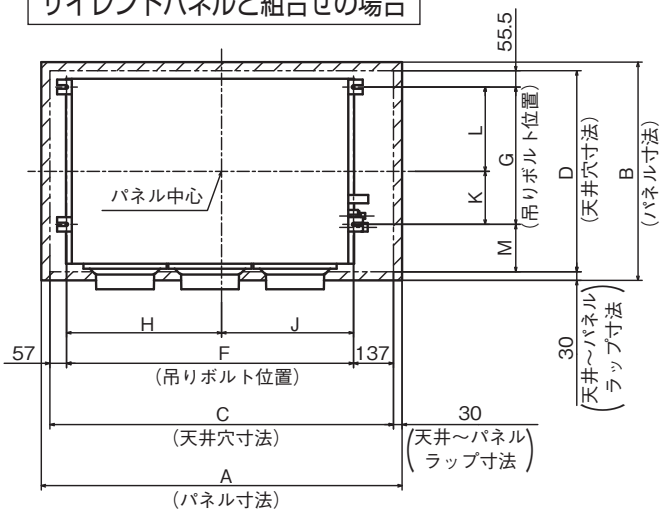
②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット落下によるケガの原因になります。
③ワイヤレス機種を２台以上据付ける場合は、混信による誤動作を防止するため室内ユニット間を6m以上離してください。
④室内ユニットを隣接して設置する場合は、室内ユニット間距離を４ｍ以上離して設置してください。

③据付前の準備

本内容を参照に最新設置基準に合わせ設置してください。

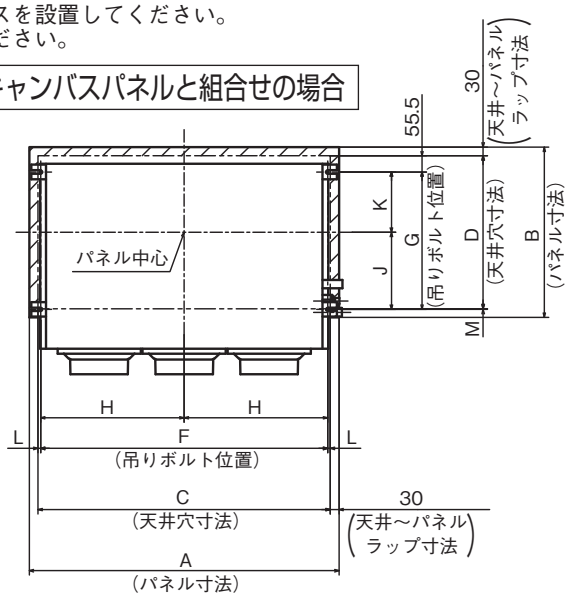
●吊りボルトの長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
　○システム天井（グリッド天井・ライン天井）の場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）５００mm以上または天井ふところ高さ７００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
　○強度が充分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）１０００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
●吊りボルト・ナット・バネ座金（Ｍ１０）を４組現地にて手配してください。

サイレントパネルと組合せの場合



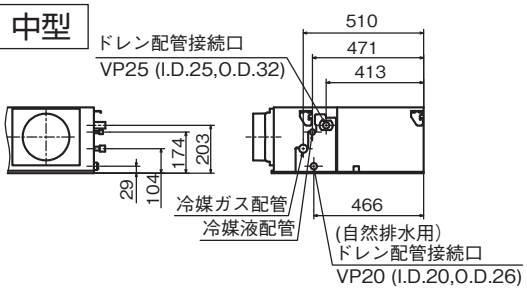
	A	B	C	D	F	G	H	J	K	L	M
小型	1040	750	980	690	786	472	433	353	182.5	289.5	162.5
中型	1240	750	1180	690	986	472	533	453	182.5	289.5	162.5
大型	1658	850	1598	790	1404	530	742	662	190.5	339.5	204.5

キャンバスパネルと組合せの場合

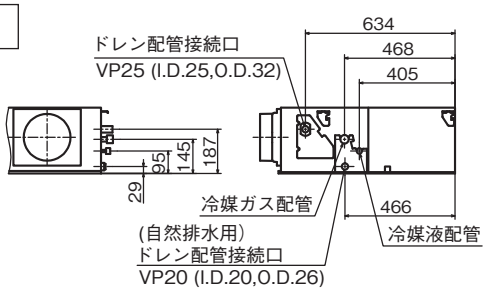


	A	B	C	D	F	G	H	J	K	L	M
小型	864	585	804	525	786	472	393	265	207	9	2.5
中型	1064	585	1004	525	986	472	493	265	207	9	2.5
大型	1484	585	1424	525	1404	530	702	323	207	10	60.5

小型、中型



大型



④室内ユニットの据付

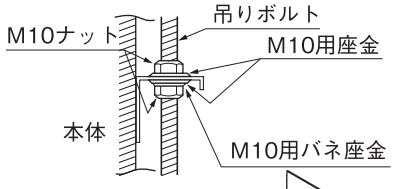
作業手順

1. 据付場所に天井開口寸法をあけてください。
2. 所定の位置に吊りボルトを設置してください。
3. 吊りボルトは４本使用してください。
4. ご使用のパネルに合うように、室内ユニット吊り込み高さを調節してください。
5. 室内ユニット本体の水平度を確認してください。水平度は、水準器または透明ホースに水を入れたものを使用して確認してください。
   （室内ユニット両端での高さ許容差は３mm以内）
6. 高さ調整・水平度調整後、上側ナット４箇所を締付けて室内ユニットを固定してください。

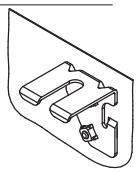
据　付

〈吊り込み〉

○室内ユニットを吊り込んでください。



○本体を据付けたとき、本体と天井穴の寸法が出ないときは、据付金具が長穴になっていますので調整してください。

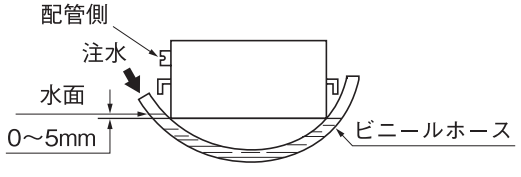


水平度の調整

お願い

○水準器を使用するか、下記の要領で水平度の調整を行ってください。

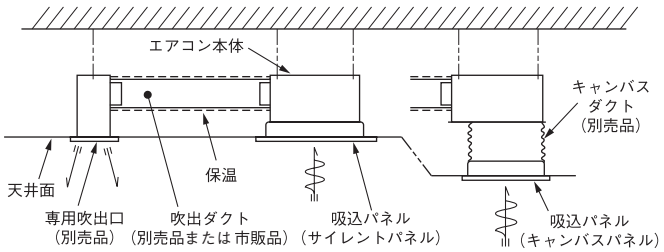
●本体下面と水面高さが下図になるように調整してください。



配管側をさがりぎみにしてください。

○水平度がでていないと**フロートスイッチの誤作動あるいは不作動**の原因となります。

⑤ダクト工事



お願い

○風量、機外静圧の計算を実施しダクトの長さ、形状、吹出口を選定してください。算出方法は、技術資料を参考にしてください。

①吹出ダクト

●φ200円ダクトを接続してください。
●各スポット間のダクト長さは、2対1以内としてください。
●ダクトは、最短長さとなるよう施工してください。
●4スポットを3スポット、3スポットを2スポットに改修する場合は、専用塞ぎ板を別売品として用意しています。中央いづれを塞いでください。
●2スポットから1スポットへの改修は、行わないでください。

お願い

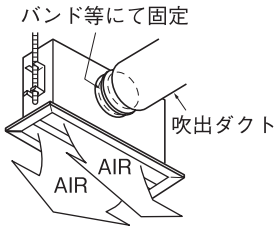
●曲りは極力少なくしてください。(曲げRは極力大きくしてください。)

●本体・吹出口のダクトフランジとの接続は、バンドを締め固定してください。さらに固定部分に断熱材を貼り結露防止を行ってください。

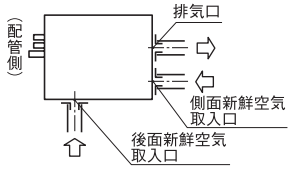
●露付防止・吸音のため、吸音断熱付フレキシブルダクト使用を推奨いたします。(別売品１m、２m、４mがあります。)
●天井貼付前にダクト工事を実施してください。

②専用吹出口

●専用吹出口は、室内全般に空気が流れるような所に据付けてください。
●ダクト接続は、φ２００円形ダクト専用です。
●専用吹出口の取付およびダクトとの接続は天井貼付前に行ってください。
●ダクト固定バンド部を断熱し、結露防止を行ってください。



③給・排気ダクトの接続



ⓐ新鮮空気取入

●後面または、側面のどちらか工事の容易な方の取入口を使用してください。
●同時給排気を行う場合は、後面新鮮空気取入口を使用してください。(側面は使用不可)

ⓑ排気（必ず給気を併用してください。)

●側面排気口を使用してください。

ⓒダクト接続

●別売品の給排気用ダクトフランジ（φ１２５丸形ダクト接続用）を利用し、φ１２５丸形ダクトを接続してください(バンド締め)。
●ダクトは結露防止のため、保温してください。

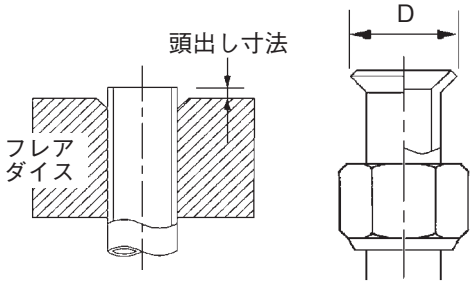
⑥冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは、製品付属のもの（JIS B 8607 2種適合品）をご使用ください。他のフレアナット（1種）を使用すると冷媒漏れの原因となります。

既設配管再利用の可否および洗浄方法については、室外ユニットの据付説明書またはカタログ・技術資料で確認してください。

1) 再利用する場合、フレアナットは流用せずユニットに付属のもの (JIS B 8607 2種適合品) を使用してください。



配管径 d mm	配管の最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアナット締付トルク N·m
		リジッド（クラッチ式）			
		R32用 R410A 用	従来ツール		
6.35	0.8	0～0.5	0.7～1.3	8.9～9.1	14～18
9.52	0.8			12.8～13.2	34～42
12.7	0.8			16.2～16.6	49～61
15.88	1			19.3～19.7	68～82
19.05	1.2			23.6～24.0	100～120

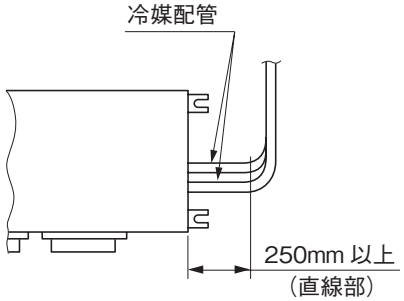
2) 再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R32用またはR410用のフレア加工をしてください。

●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（Ｃ１２２０Ｔ、ＪＩＳ Ｈ３３００）をご使用ください。
また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。
冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。

●R32またはR410A以外の冷媒は使用しないでください。
室外ユニット表示以外の冷媒を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。

●据付に使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。
冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。

●工具はR32用またはR410A用の工具を使用してください。

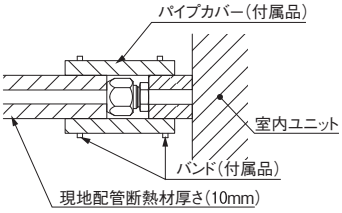


お願い
冷媒配管工事は、上図のように直線部を２５０mm以上とって行ってください。
(ドレンポンプのサービスに必要です。)

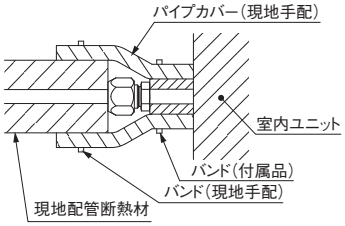
⑥冷媒配管のつづき

作業手順

<断熱材厚さ10mmを使用する場合>

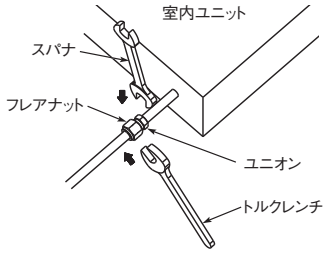


<断熱材を強化する場合>



1．室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取外してください。
※室内ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛けして外してください。
（このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。）
●フレアナット飛びに注意してください。（内部に圧力がかかっている場合があります。）

2．液管・ガス管をフレア加工し、右図の示すように冷媒配管を接続してください。
※配管の曲げは4D以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。
また配管をねじったり、2/3D 以下につぶしたりしないでください。
※フレア接続は、以下のように行ってください。
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで3～4回転ねじ込み、2丁スパナ掛けで表の締付力で締めてください。



3．室内ユニットのフレア部はガス漏れチェック後、右図に示すように断熱材をかぶせ、バンドでしっかりと締付けてください。
●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
●ガス側配管の断熱材は耐熱120℃以上のものを使用してください。
●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。

4．冷媒は室外ユニットに充填されています。
室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

注意
同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、またはフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しない。冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとすること。

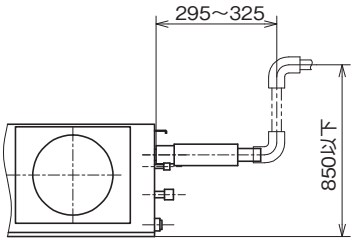
⑦ドレン配管

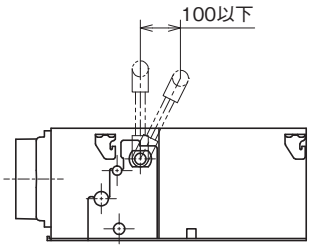
ドレン配管時の注意事項

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
●ドレン配管はイオウ系ガスなど有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。
室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
●施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。
●ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

ドレンアップする場合

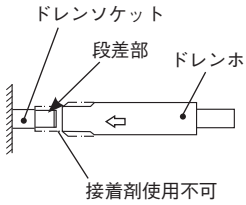
●ドレン配管の出口高さは、天井面より 850mm まで高くすることができます。天井内に障害物などがある場合、エルボなどを用いて施工してください。この場合、ドレン配管を立ち上げるまでの距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流量が多くなり、オーバーフローすることがありますので、右図寸法内で処理願います。

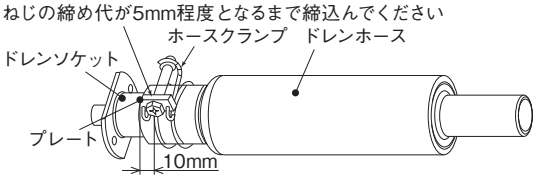


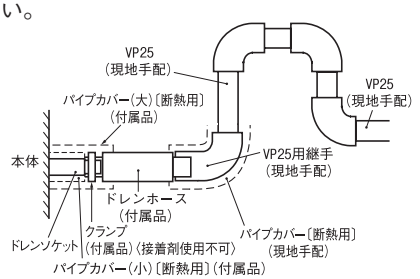


作業手順

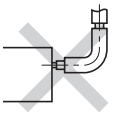
1．付属のドレンホース（軟質塩ビ端）はソケット段差部まで確実に挿入してください。ホースクランプは、ホース先端部から10mm 程度のところに取付け、ねじの締め代が 5mm 程度となるまで締込んでください。
●接着剤使用不可

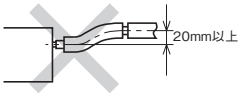






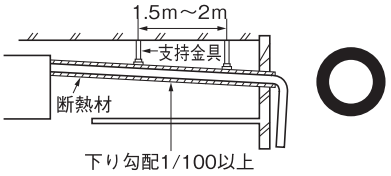
2．ドレンホース（硬質塩ビ端）に、ＶＰ２５用継手（現地手配）を接着・接続し、この継手に、ＶＰ２５（現地手配）を接着・接続してください。
※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管ＶＰ２５を使用してください。
●接着剤は付属のドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。
乾燥後、フレキ部に力が加わった場合、フレキ部が破損することがあります。
●ドレンホースは、室内ユニットあるいはドレン配管の据付時の微小なズレを吸収するためのものです。故意に曲げたり、引っ張って使用された場合は、破損し、水漏れに至ることがあります。

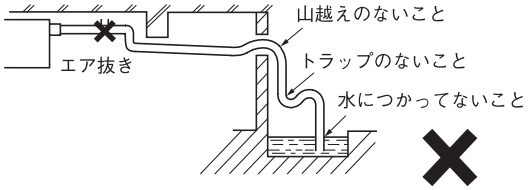


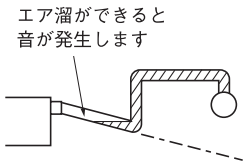


⑦ドレン配管のつづき

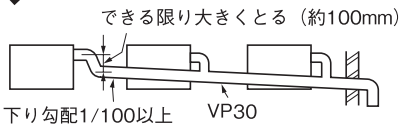
3．ドレン配管は下り勾配（1／１００以上）とし、途中山越えやトラップを作らないように施工してください。
- ドレン配管を接続する場合に室内ユニット側の配管に力が加えないように注意して行い、できる限り室内ユニット近傍で配管を固定してください。
- エア抜きは絶対に設けないでください。







- 複数台のドレン配管の場合、本体ドレン出口より約１００ｍｍ下に集合配管がくるようにしてください。また集合配管はＶＰ３０以上を使用してください。

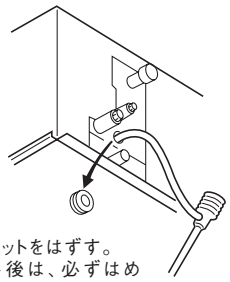


4．ドレン配管の断熱施工を行ってください。
- 結露が発生し、水漏れをおこすおそれがありますので、ドレンソケット部および室内にある硬質塩ビパイプは確実に断熱してください。
  ※ ドレンソケット部は、排水テスト実施後、付属のパイプカバー（小）をドレンソケット部に装着した後、付属のパイプカバー（大）にてパイプカバー（小）、クランプおよびドレンホースの一部を覆い、テープにより隙間のないように巻いてください。

ドレン排水テスト

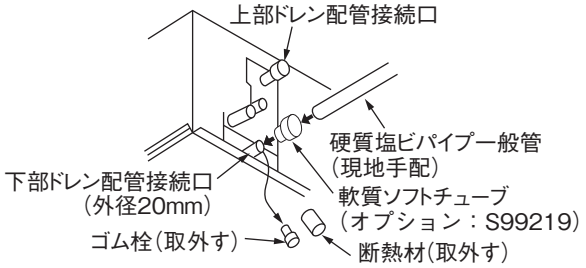
- ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていること、接続部および室内ユニットのドレンパン部からの水漏れのないことを確認してください。
- 暖房期の据付の際にも必ず実施してください。
- 新築の場合には天井を張る前に実施してください。

1．右図要領にて給水ポンプなどを使用して、本体ドレンパンの中へ約１０００ｃｃほどの水を注入してください。注水ホースを 50 ｍｍ位差し込んで注水してください。（注水ホースは必ず下向きに差込んでください。）
2．ドレン排水しているか排水口部でご確認ください。
※ドレンポンプの回転音を確認しながら排水するかどうかテストしてください。
3．排水テスト後は、本体部まで配管の断熱をしてください。



下部ドレン配管工事要領〔配管接続〕

ドレン配管に下り勾配（1／５０～1／１００）が可能な場合下図要領にて下部ドレン配管接続が可能です。



下部ドレン配管を使用する場合は必ず必要です
〈ドレンモータ用のコネクタの取外し〉
コントロールボックス内のドレンモータ用コネクタCnRを取外してください。

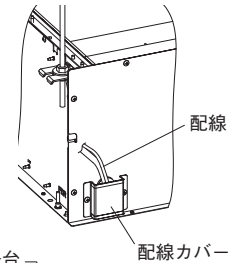
注：コネクタを接続したままで使用すると、上部ドレン配管接続口よりドレン水が排出され水漏れとなります。

⑧電気配線取出位置および電気配線接続

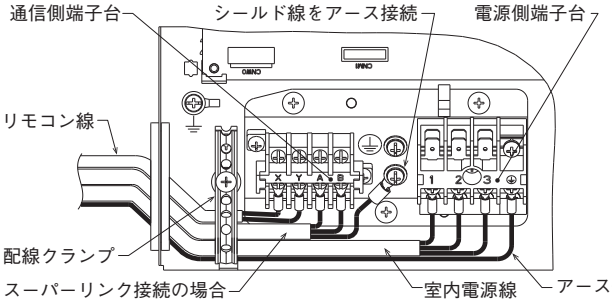
- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。
- 電源配線と通信配線は同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
- Ｄ種接地工事を必ず行ってください。
- 電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。

1．電装箱の蓋（ねじ２本）を取外してください。
2．各配線を室内ユニット内に入れ、端子台に確実に接続してください。
コントロールボックスの蓋に貼付の結線銘板を参照ください。
3．各配線をクランプで固定してください。
4．取外した部品を元通りに取付けてください。

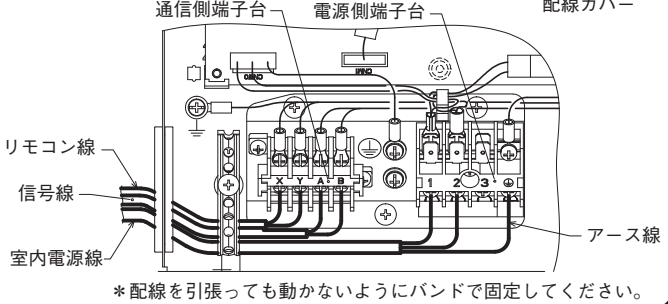
- 天井裏空気の吸込防止で配線カバーを取付けください。



シングル機の配線接続



マルチ機の配線接続



＊配線を引張っても動かないようにバンドで固定してください。

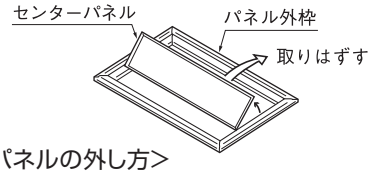
⑨パネルの取付

サイレントパネルの場合

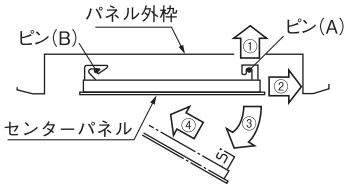
〈付属品〉

丸小ねじ（M5×35）		4個	パネル取付用

①パネル内枠を外してください。

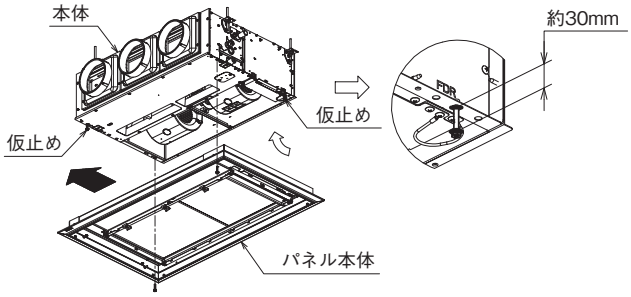


<センターパネルの外し方>



ⓐ矢印①→②順でピン（A）より外してください。
ⓑ矢印③のようにすこし開き矢印④の方向へ移動させてピン（B）より外してください。

②フィルタをパネルから外してください。
③パネル外枠を本体に取付けてください。



ⓐパネル取付ねじ（パネル付属品）４本のうち２本を図のように仮止めしてください。
ⓑパネル外枠を仮止めしたねじに引っかけ、図の矢印の方向へスライドさせ仮止めしてください。
（注：パネル外枠の装着には方向性があります。）
ⓒ仮止めしたねじおよび残りのねじ（２本）を締付けてください。
ⓓセンターパネルを①項で外す逆の要領で取付けてください。

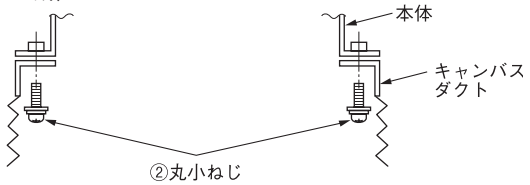
キャンバスパネルの場合

注）キャンバスパネルの取付には
キャンバスダクト（別売品）が必要です。

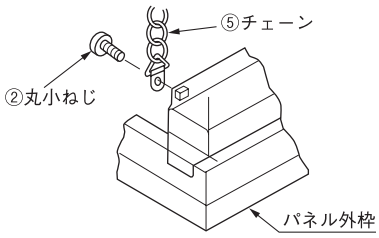
〈付属品〉

①	丸小ねじ（M4×16）		4個	パネル固定
②	丸小ねじ（M5×16）		8個	キャンバスダクト固定 チェーン固定
③	丸小ねじ（M5×25）		4個	チェーン固定
④	ホルダー		4個	
⑤	チェーン		4個	

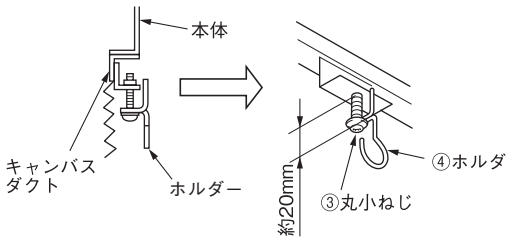
①キャンバスダクト（別売品）を本体に取付けてください。（４か所）



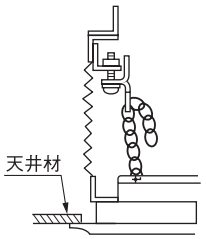
②センターパネルを上項に示す、サイレントパネルの場合と同じ要領で取外してください。
③パネル外枠にチェーンを取付けてください。（４か所）



④パネル外枠を取付けてください。
ⓐホルダを下図に示すように仮止めしてください。

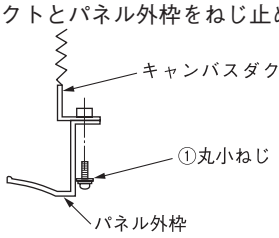


ⓑパネル外枠のチェーンをホルダーに引っかけてください。



注）チェーンを引っかける際は、パネル外枠を天井材にできるだけ密着させた状態でチェーンにたるみのないように行ってください。

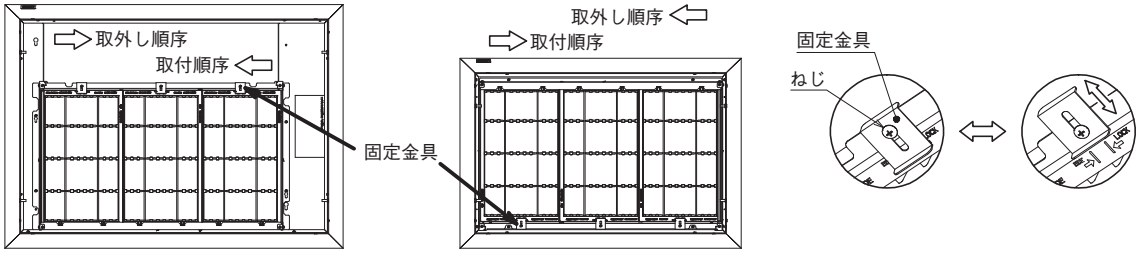
ⓒパネル外枠を天井材と密着するまでⓐ項の③丸小ねじにより吊り上げてください。
ⓓキャンバスダクトとパネル外枠をねじ止めしてください。



⑤センターパネルを上項に示すサイレントパネルの場合と同じ要領で取付けてください。

フィルタの取付方法

○ パネルに貼付のラベルを参照に取外し、取付の順番を確認してください。
○ フィルタを取外し・取付は、ねじを緩め固定金具をスライドして行ってください。



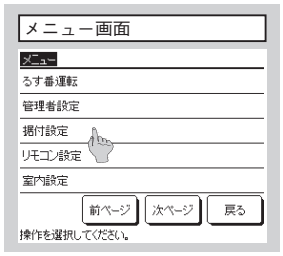
⑨機外静圧設定

ECOタッチリモコン（RC-DX2 以降）を使用し、機外静圧を設定することができます。
定格風量になるように各タップのファン回転数を変化させます。
店舗シリーズをツイン機として設定する場合は、室内ユニット同士が同一風量になるように個々に設定してください。

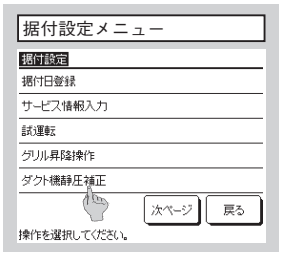
● ECOタッチリモコンからの設定方法

①メニュー画面より据付設定を選択し、サービスパスワードを入力します。
②据付設定メニューより、ダクト機静圧補正を選択します。
③“▲”、“▼”で機外静圧を設定し、“セット”をタッチしてください。
（“AUTO”を選択した場合には、100Pa で設定されます。）
詳細な設定方法については、ECOタッチリモコン付属の据付説明書を参照ください。
風量特性については、技術資料を参照ください。

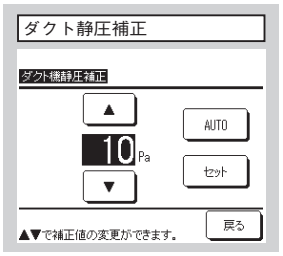
［メニュー］ボタンをタッチしてください。



［据付設定］ボタンをタッチしてください。



選択した画面に移ります。



機外静圧を選択し、［セット］をタッチしてください。

注意
・RC-DX2 以降の ECOタッチリモコン以外からは設定できません。

静圧設定上の注意

実際の機外静圧を計算し、設定してください。
実際の機外静圧よりも機外静圧設定が高い場合には風量が過大となり、水漏れが発生する恐れがあります。また、実際の機外静圧よりも機外静圧設定が低い場合には風量が過小となり、不冷・不暖の原因になります。

リモコン設定時の有効機外静圧（Pa）　／部の設定は使用範囲外になります。

リモコン設定		10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
標準パネル		10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
天井リターン	小型	15	25	35	45	55	65	75	85	95	/
	中型・大型	20	30	40	50	60	70	80	90	100	/
1スポット塞ぎ※	中型	/	/	10	20	30	40	50	60	70	80
	大型	/	10	20	30	40	50	60	70	80	90

※中型（3スポット）を2スポット、大型（4スポット）を3スポットに改修する場合は、専用塞ぎ板（HA06916）を用意しています。両端のスポットはふさがないでください。また小型（2スポット、1スポット）に塞ぎ板を使用しないでください。

⑩室内ユニット据付工事完了後のチェック項目

●室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	
機外静圧設定は完了していますか。	水漏れ、冷えない	

⑪店舗シリーズ機種容量統合機の場合

室外ユニットとの組合せにより下表の通り室内ユニット容量が自動認識されます。機種名銘板の機種容量に○印を付けてください。

室内ユニット	室内ユニット１台接続									２台接続						３台接続		４台接続	
室外ユニット	40	45	50	56	63	80	112	140	160	80	112	140	160	224	280	160	224	224	280
FDRZP56	P40	P45	P50	P56						P40						P50		P56	
FDRZP63					P63						P56								
FDRZP80						P80						P71	P80				P80		P71
FDRZP112							P112							P112					
FDRZP160								P140	P160						P140				

(ii) パネルの据付
1) サイレントパネル

PJG012D016

ユニット本体の据付説明書と共にお読みください。

安全上のご注意

●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に⚠警告の欄にまとめて記載しています。安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 絶対に行わない 必ず指示に従い行う
●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方の方法など）をお客様に説明してください。
この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニット落下によるケガの原因になります。	❗
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があるとケガの原因となり、また水漏れや感電･火災などの原因になります。	❗
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電などの原因になります。	❗
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	❗
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	⃠
●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ずOFFする。 点検・修理にあたって、電源ブレーカがONのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。	❗
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。	⃠

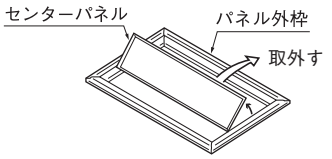
① 据付のまえに

・据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
・下記の付属品を確認してください。

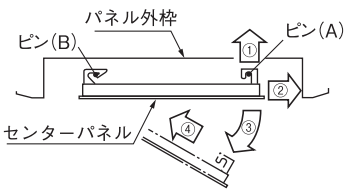
名称		個数	備考
丸小ねじ M5×35		4個	パネル固定用

② センターパネルの取外し

パネル外枠からセンターパネルを外してください。

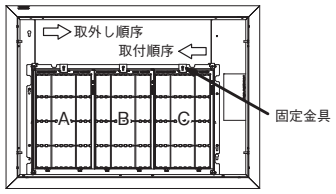


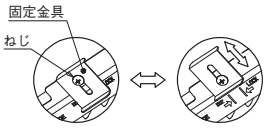
〈センターパネルの外し方〉
1.矢印①→②の順でピン（A）より外してください。
2.矢印③のように少し開き矢印④の方向へ移動させてピン（B）より外してください。



③ フィルタの取外し

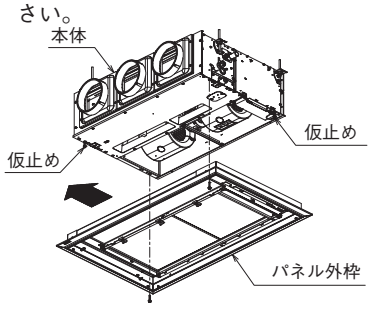
1.固定金具のねじを緩めスライドさせてください。
2.図の取外し順序に従って取外してください。
（A⇒B⇒Cの順）

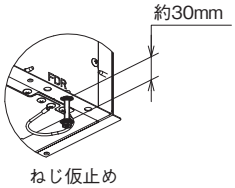




④ パネルの取付

1.パネル取付ねじ（パネル付属品）4本のうち2本を図のように仮止めしてください。
2.パネル外枠を仮止めしたねじに引っかけ、図の矢印（⬅）の方向へスライドさせ仮止めしてください。
注）パネル外枠の装着には方向性があります。図の方向で取付けてください。
3.仮止めしたねじおよび残りのねじ（2本）を締付けてください。





⑤ フィルタの取付

1.③項に示す取付順序に従って取付けてください。
（C⇒B⇒Aの順）
2.固定金具をスライドさせて、ねじを締めてください。

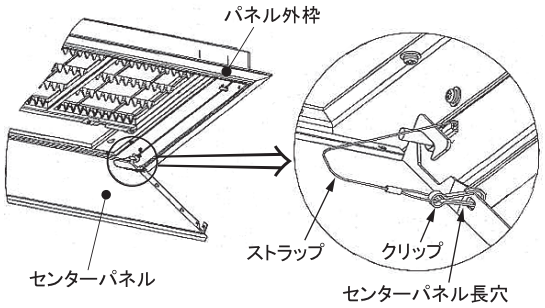
⑥ センターパネルの取付

②項に示す逆の順序で取付けてください。

⑦ ストラップのはめ込み

センターパネルの落下防止のため、パネル外枠に取付けられているストラップのクリップをセンターパネル長穴にはめてください。

注）クリップが外枠に当たり、傷つく恐れがあるため、センターパネルを閉じる際、ストラップやクリップは図のようにパネル内側を向くようにしてください。



2） キャンバスパネル

ユニット本体の据付説明書と共にお読みください。

安全上のご注意

●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に⚠警告の欄にまとめて記載しています。
安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 絶対に行わない 必ず指示に従い行う
●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方の方法など）をお客様に説明してください。
この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニット落下によるケガの原因になります。	❗
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があるとケガの原因となり、また水漏れや感電･火災などの原因になります。	❗
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電などの原因になります。	❗
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	❗
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	⃠
●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ずOFFする。 点検・修理にあたって、電源ブレーカがONのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。	❗
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。	⃠

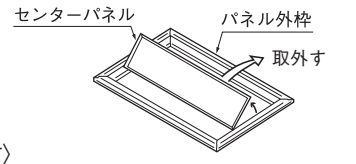
① 据付のまえに

・据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
・下記の付属品を確認してください。

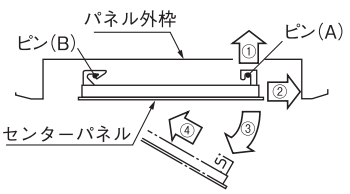
No.	名称		個数	備考
Ⅰ	丸小ねじ（M4×16）		4個	パネル固定用
Ⅱ	丸小ねじ（M5×16）		8個	キャンバスダクト固定用 チェーン固定用
Ⅲ	丸小ねじ（M4×25）		4個	ホルダー固定用
Ⅳ	ホルダー		4個	
Ⅴ	チェーン		4個	
Ⅵ	断熱材		2個	

② センターパネルの取外し

パネル外枠からセンターパネルを外してください。

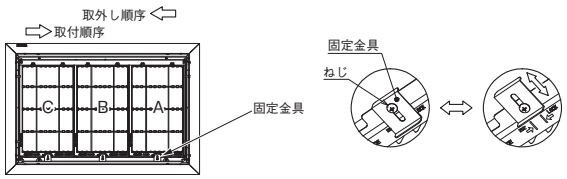


〈センターパネルの外し方〉
1.矢印①→②の順でピン（A）より外してください。
2.矢印③のように少し開き矢印④の方向へ移動させてピン（B）より外してください。



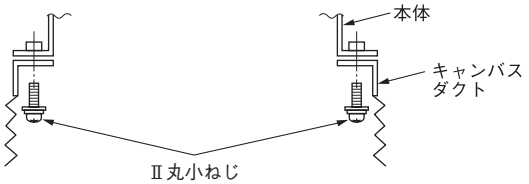
③ フィルタの取外し

1.固定金具のねじを緩めスライドさせてください。
2.図の取外し順序に従って取外してください。
（A⇒B⇒Cの順）

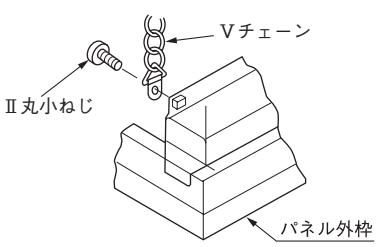


④ パネルの取付

1.キャンバスダクト（オプション品）を本体に取付けてください。（4か所）

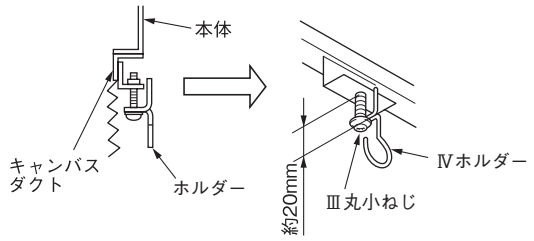


2.パネル外枠にチェーンを取付けてください。（4か所）

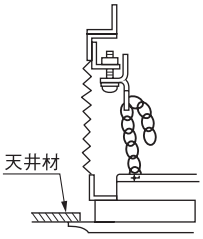


④ パネルの取付の続き

3.パネル外枠を取付けてください。
ⅰ.ホルダーを下図に示すように仮止めしてください。
（4か所）

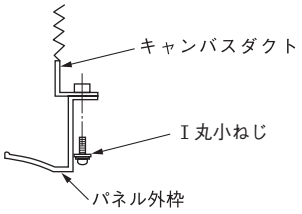


ⅱ.パネル外枠のチェーンをホルダーに引掛けてください。



注）チェーンを引掛ける際は、パネル外枠を天井材にできるだけ密着させた状態でチェーンにたるみのないように行ってください。

ⅲ.パネル外枠を天井材と密着するまでⅰ項のⅢ丸小ねじにより吊り上げてください。
ⅳ.キャンバスダクトとパネル外枠をねじ止めしてください。（4か所）



⑤ フィルタの取付

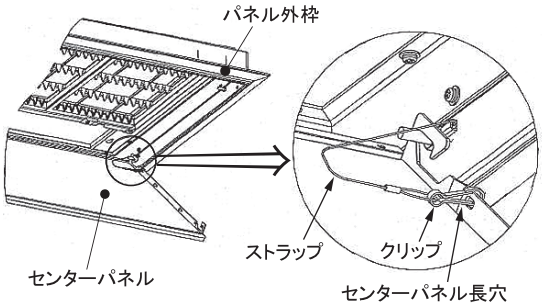
1.③項に示す取付順序に従って取付けてください。
（C⇒B⇒Aの順）
2.固定金具をスライドさせて、ねじを締めてください。

⑥ センターパネルの取付

②項に示す逆の順序で取付けてください。

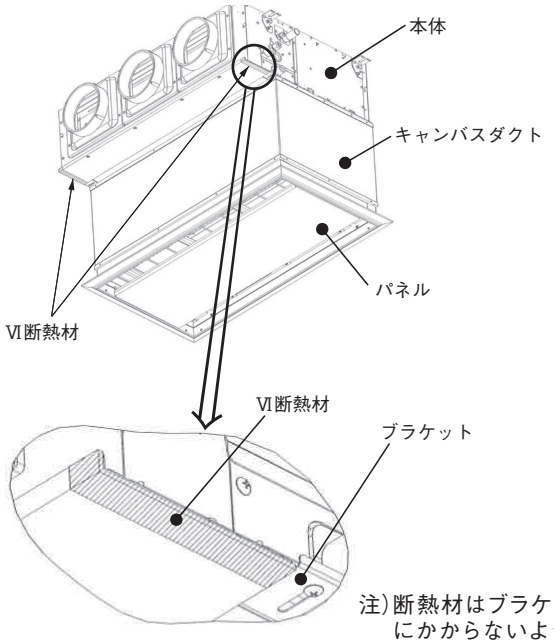
⑦ ストラップのはめ込み

センターパネルの落下防止のため、パネル外枠に取付けられているストラップのクリップをセンターパネル長穴にはめてください。
注）クリップが外枠に当たり、傷つく恐れがあるため、センターパネルを閉じる際、ストラップやクリップは図のようにパネル内側を向くようにしてください。



⑧ 断熱材の貼付

本体の下記箇所に断熱材を貼付けてください。（2か所）



注）断熱材はブラケットにかからないように貼付けてください。

PJG012D035

(e) 高静圧ダクト形（FDU）

(i) P565SA ～ P1605SA の場合

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。
電気配線（室内）は、電気配線工事説明書をご覧ください。リモコンの取付方法は、リモコン付属の説明書をご覧ください。ワイヤレスキットの取付方法は、ワイヤレスキット付属の説明書をご覧ください。
室外ユニットの据付方法、電気配線（室外）および冷媒配管工事方法は、室外ユニットの付属の説明書をご覧ください。
また、故障診断は、室内ユニットの結線銘板をご覧ください。
●この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また海外においてはアフターサービスもできません。
給気処理ユニットの場合
●他のエアコンユニットとの全接続容量は、50 ～ 100%（全給気処理ユニットの容量）にしてください。
●単独で給気処理ユニットを接続することができます。給気処理ユニットの接続容量は 50 ～ 100%にしてください。
室外機に接続できる給気処理ユニットは最大 2 台です。

安全上のご注意

●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、⚠警告、⚠注意、に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に⚠警告の欄にまとめて記載しています。しかし、⚠注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 ⃠ 絶対に行わない ❗ 必ず指示に従い行う
●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など）をお客様に説明してください。
この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、室内ユニット落下によるケガの原因になります。	❗
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があると破裂・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。	❗
●小部屋に据付ける場合は万一冷媒が漏れても、限界濃度を超えない対策をする。(JRA GL-13) 限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。	❗
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、室内ユニット落下、水漏れ、火災、感電などの原因になります。	❗
●作業中に冷媒が漏れた場合は換気をする。 冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	❗
●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。 強度が不足している場合は、室内ユニットの落下などにより、ケガの原因になります。	❗
●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。 据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。	❗
●エアコンの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒以外の空気などを入れない。 空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	⃠
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。	❗
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。	❗
●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。 カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。	❗
●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。 冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	❗
●配管、フレアナット、工具は R32 用または R410A 用のものを使用する。 既存（R22）の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。	❗
●フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締付ける。 フレアナットの締付過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。	❗
●ドレン配管はイオウ系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接入れない。 室内に有毒ガスが侵入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また、室内ユニットを腐食させ、故障や冷媒漏れの原因になります。	⃠
●据付作業では圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取付ける。 冷媒配管を取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	❗
●ポンプダウン作業では、サービスバルブを閉じた後配管を外す前に圧縮機を停止する。 圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管をはずすと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	❗
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	❗
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	⃠
●エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。 据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	❗
●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。 点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。	❗
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。	⃠
●元電源を切った後に電気工事を行う。 感電、故障や動作不良の原因になります。	❗

⚠注意

●アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。

●漏電しゃ断器は必ず取付ける。
漏電しゃ断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋Ｂ種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。
万一ガスが室内ユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

●腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある所、揮発性引火物を取扱う所での据付、使用は行わない。
熱交の腐食、プラスチック部品の破損などの原因になることがあります。また可燃性ガスは発火の原因になることがあります。

●工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。

●洗濯室など、水の掛かる所では使用しない。
室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。水が掛かると感電、火災などの原因になることがあります。

●食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。
保存物の品質低下などの原因になることがあります。

●病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器、高周波の発生する機器の近くでは据付、使用しない。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。

●直射日光の当たる所にリモコンを設置しない。
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。

●次の場所への据付は避ける。
・可燃性ガスの漏れる恐れがある所
・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、機器に影響する物質の発生する所
・油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場など）
・高周波を発生する機械を使用する所
・海浜地区等塩分の多い所
・煙突の煙がかかる所
・カーボン繊維や金属粉、パウダーなどが浮遊する所
・車両・船舶等移動するものへの設置
・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所
・積雪の多い所
・標高１０００m以上の所
性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したりする原因になることがあります。

●次の場所への室内機の据付は避ける。（機種により異なる制限があるので、その指示に従うこと）。
・吸込口、吹出口に風の障害物がある所
・強度が不十分で振動が発生する所
・ワイヤレス機の場合、受光部に直接太陽光や強い光が当たる所
・高周波に影響される機器のある所（TV およびラジオ等の近傍）
・ドレンの排水がとれない所
性能や機能等に影響をおよぼす原因になります。
人感センサ搭載の場合は次のような場所への設置はしないでください。誤検知・検知不能・特性劣化を招く恐れがあります。
・長時間振動が加わる状態
・静電気や強い電磁波のある場所
・長時間高温、多湿になる場所
・塵埃の多い場所、レンズ面に汚れおよび損傷を与える恐れのある場所

●エアコンの下部には、濡れて困るものは置かない。
湿度が 80% 以上の時や、ドレン排水が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じることがあります。

●長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。
傷んだ状態で放置すると室内ユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。

●室内ユニット近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、室内ユニット内へのスパッタの侵入を防止する。
溶接作業時などに発生するスパッタが室内ユニットにあたった場合、ドレンパンなどに損傷（ピンホール）をあたえ、水漏れなどの原因になることがあります。室内ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため梱包状態のままとしておくか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。

●ＧＨＰ〔ガスヒートポンプ〕の場合、室外ユニットの排気ドレン管と室内ユニットの排水ドレン管は共用しない。
室内に有毒ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。

●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因となることがあります。

●ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。

●冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たれなどを発生し、天井･床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。

●室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所に設置しない。
小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。
また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。

●製品の運搬は十分注意して行う。
20kg 以上の製品は原則として２人以上で行ってください。PP バンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。
素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

●梱包材の処理は確実に行う。
梱包材にクギなどの金属あるいは、木片などを使用していますので放置状態にしますとケガをすることがあります。

●フィルタをはずしたまま運転しない。
内部に油・ゴミなどが詰まり、故障の原因になることがあります。

●濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。

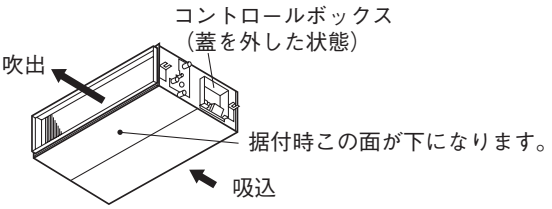
●運転中の冷媒配管を素手で触れない。
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになることがあります。

●エアコンを水洗いしない。
感電の原因になることがあります。

●運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず５分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。

●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

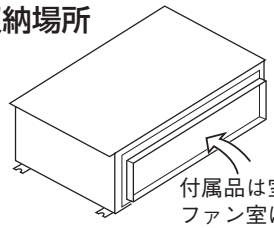
○本機は高静圧ダクト機です。
直吹では使用しないでください。



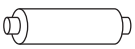
①据付の前に

●据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
●次の項目を確認してください。
○機種・電源仕様　○配管・配線・小物部品　○付属品

付属品収納場所
（梱包時）



付属品

本体吊り込み用	冷媒配管用			ドレン配管用			
平座金（M10）	パイプカバー（大）	パイプカバー（小）	バンド	パイプカバー（大）	パイプカバー（小）	ドレンホース	ホースクランプ
							
8個	1個	1個	4本	1個	1個	1個	1個
室内ユニット吊り下げ用	ガス管断熱用	液管断熱用	パイプカバー固定用	ドレンソケット断熱用	ドレンソケット断熱用	ドレン配管接続用	ドレンホース取付用

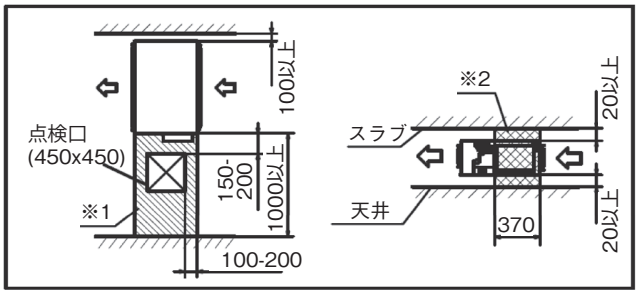
②室内ユニットの据付場所の選定

①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
・冷風または温風が十分に行きわたる所。据付高さが3mを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
・侵入外気の影響のない所。
・直射日光の当たらない所。
・周囲の露点温度が 28℃以下、相対湿度 80%以下の所。
〔本室内ユニットはJIS露付条件（室内：27℃/78%RH）にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、室内ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、室内ユニットの全ておよび配管、ドレン配管にさらに10～20mmの断熱材を取付けてください。〕
・テレビ、ラジオより1m以上離れた所。（映像の乱れや雑音が生じることがあります。）
・室内ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバー、医療機器等濡れて困るものを置かない所。
・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
・フライヤーの真上など油・粉・蒸気等を直接吸込まない所。
・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。
ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。
②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット落下によるケガの原因になります。

室内ユニット据付スペース

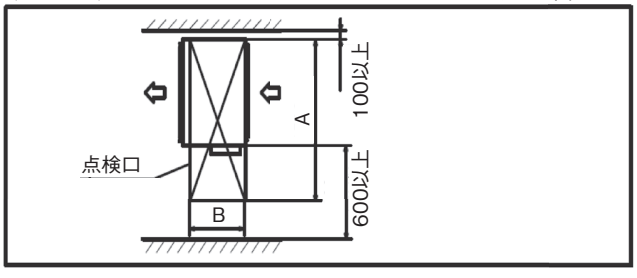
●据付高さは2．5m以上としてください。据付時、サービス時のために下記２ケースのどちらかを選んでください。

(ケース1)室内ユニット側面からメンテナンスする場合 単位: mm



※1　ファンモータを側面へ引き出す構造となっております。障害になるものを設置しないでください。（▨ 印箇所）
※2　▨ 印箇所を横切らないように冷媒配管、ドレン配管、電気配線を設定してください。

(ケース2)室内ユニット下面からメンテナンスする場合 単位: mm

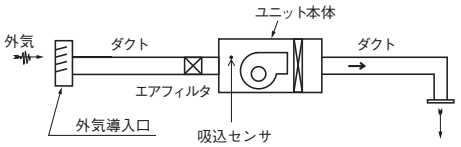


(点検口サイズ) 単位: mm

店舗シリーズ	50, 56	63-80	112-160
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ	22-56	71-90	112-160
給気処理ユニット	−	90	140
A	1100	1300	1720
B	620		725

③給気処理ユニットの据付時の注意

①給気処理ユニットは吸込センサの検知温度とリモコン設定温度に基づき、発停を制御しております。
リモコン設定温度は発停を制御する外温を示しています。冷房モードでは、サーモ OFF となると、外気を直接室内に吹出す送風モードに変わります。



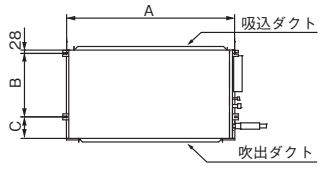
②給気処理ユニットは外気を直接吹出す場合がありますので、直接室内の人に風を当てないように配慮ください。
③ユニットは外温を検知して発停を制御しますので、リモコン設定温度の変更で室温を調整しないでください。冷房運転時にリモコン設定温度を下げ過ぎた場合、結露水が滴下する可能性があります。
④ 一般の人がリモコン操作することを避けるため、給気処理ユニットのリモコンは管理者だけが操作できる場所に設置してください。

お客様に製品をお渡しする際には、上記の注意事項、給気処理ユニットを操作するリモコンの設置場所、吹出口に位置をお知らせください。

④据付前の準備

●吊りボルトの長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
　○システム天井（グリッド天井・ライン天井）の場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）５００mm以上または天井ふところ高さ７００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
　○強度が充分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）１０００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
●吊りボルト・ナット・バネ座金（M１０）を４組現地にて手配してください。

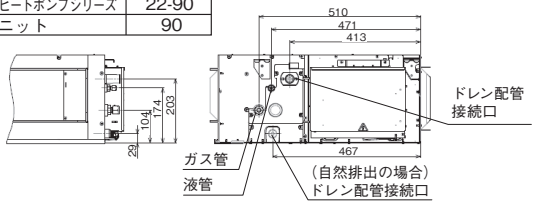
吊りボルト位置、配管位置、ダクト寸法



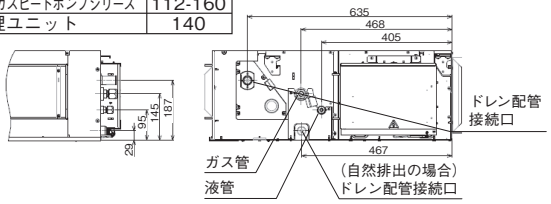
単位: mm

店舗シリーズ	50,56	63-80	112-160
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ	22-56	71, 90	112-160
給気処理ユニット	—	90	140
A	786	986	1404
B	472	472	530
C	135	135	180

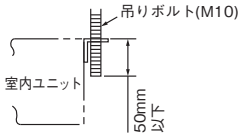
店舗シリーズ	50-80
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ	22-90
給気処理ユニット	90



店舗シリーズ	112-160
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ	112-160
給気処理ユニット	140



吊りボルト締付時には下記長さになるように調整してください。



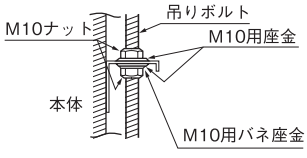
⑤室内ユニットの据付

作業手順

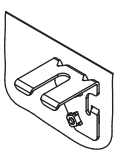
1. 据付場所に天井開口寸法をあけてください。
2. 所定の位置に吊りボルトを設置してください。
3. 吊りボルトは４本使用してください。
4. ご使用のパネルに合うように、室内ユニット吊り込み高さを調節して下さい。
5. 室内ユニット本体の水平度を確認してください。水平度は、水準器または透明ホースに水を入れたものを使用して確認してください。（室内ユニット両端での高さ許容差は３mm以内）
6. 高さ調整・水平度調整後、上側ナット４箇所を締付けて室内ユニットを固定してください。

据　付

〈吊り込み〉
○室内ユニットを吊り込んでください。



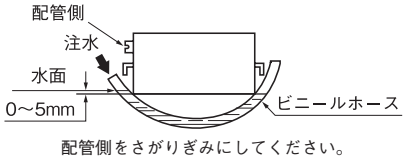
○本体を据付けたとき、本体と天井穴の寸法が出ないときは、据付金具が長穴になっていますので調整してください。



水平度の調整

お願い
○水準器を使用するか、下記の要領で水平度の調整を行ってください。

●本体下面と水面高さが下図になるように調整してください。

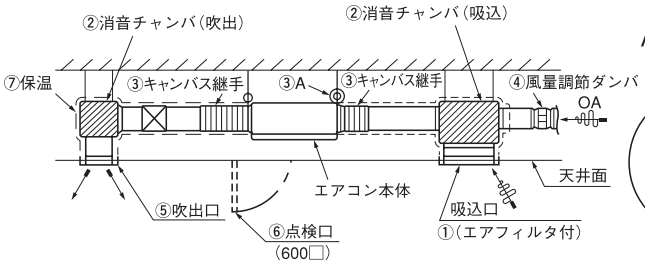


配管側をさがりぎみにしてください。

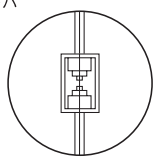
○水平度がでていないと**フロートスイッチの誤作動あるいは不作動**の原因となります。

⑥ダクト工事

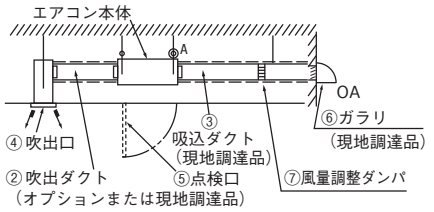
高静圧ダクト（FDU）



A部詳細
（ハンガー防振）

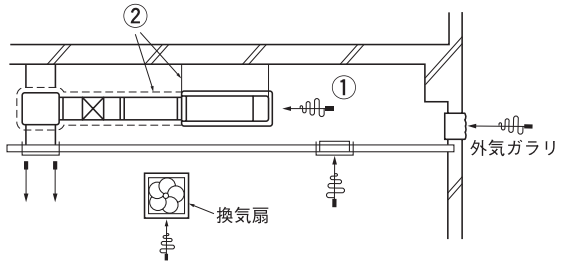


給気処理ユニット（FDU-F）



①エアコン本体にはエアフィルタが付属されていません。掃除の容易な吸込グリルにエアフィルタを組込んでください。
②消音チャンバは据付ける室内の許容される騒音値によって取付けてください。
　特に低騒音とする必要がある場合は、さらに消音装置が必要です。（事務所、会議室などでは必ず取付けること）
③エアコン本体の振動が天井およびスラブに伝わらないようにダクトはキャンバス継手、エアコン本体は防振ゴムにより防振してください。
④ OA ダクトの接続口には、据付後の風量調節ができるよう、風量調節ダンパを取付けてください。
⑤吹出口は室内全般に空気が流れるように位置、形状を選びさらに風量が調節出来る構造のものを使用してください。
⑥天井面に点検口を必ず設けてください。電装品、モータ、機能品のサービス、熱交換器洗浄のために必要です。
⑦ダクトの保温施工は必ず実施し、ダクトへの結露を防止してください。保温材の厚さは６５mm（ＪＩＳ Ａ ９５０１）です。
⑧送風機（ファンモータ）に手が触れないようにダクトを接続してください。または吸込側を直吸込で使用する場合は吸込口にエアフィルタを取付けてください。

〈ダクト施工の悪い例〉



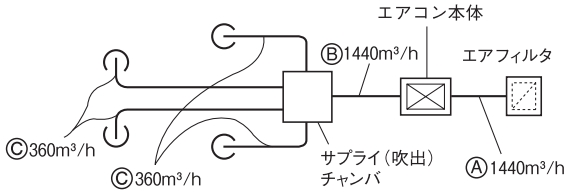
〈空気条件、風量限界〉

店舗シリーズ		50, 56	63-80	112-160
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ		22-56	71-90	112-160
最大風量（m³/min）		14.5	27	53
室内側入口空気	乾球温度（℃）	32		
	湿球温度（℃）	29		

給気処理ユニット		90	140
最大風量（m³/min）		15	25
室内ユニット吸込空気	乾球温度（℃）	32	
	湿球温度（℃）	29	

①吸込側ダクトを使用せず、天井内を吸込ダクトにすると換気扇の能力や外気ガラリに吹きつける風の強さ、天候（雨の日など）等により天井内が高湿度となります。
　㈠室内ユニットの外板に結露し天井に滴下するおそれがあります。
　　室内ユニットは上表の空気条件および風量限界内で使用してください。コンクリート建築などで新築の場合も天井内ダクトにしなくても湿度が高くなることがあります。この場合は室内ユニット全体をグラスウール（２５mm）で保温してください。（金あみなどでグラスウールをおさえてください。）
　㈡室内ユニットの運転限界（例：外温35℃DBのとき吸込空気温度24℃WB）をこえる場合も考えられ、圧縮機のオーバーロードなどのトラブルの原因となります。
　㈢換気扇の能力、外気ガラリに吹きつける風の強さによって室内ユニットの送風量が多くなり使用制限をこえてしまうため熱交換器のドレンがドレンパンへ流れず、外部に流れだすこともあり、（天井にドレンが滴下する）水漏れの原因となります。
②室内ユニットとダクト、室内ユニットとスラブの防振をしないとダクトに振動が伝わり、天井と吹出口の間で振動音が出たり、スラブに室内ユニットの振動が伝わることがあります。必ず防振してください。

〈簡易的なダクト寸法の決め方〉
ダクトの単位長さ当り摩擦抵抗を１Pa/m として、ダクトは一辺が吸込側は１７０mm、吹出側は２００mm のものを使用する場合の方法を示します。８０形、定格風量の場合を例とします。



	風　　量	ダクト(mm×mm)
Ⓐ部	1440m³/h (24m³/min)	200×440
Ⓑ部	1440m³/h (24m³/min)	170×540
Ⓒ部	360m³/h (6m³/min)	170×180

〈簡易ダクト寸法選定図〉

1Pa/m

ダクトの形 / 項目 / 風量	□角ダクト 寸法	
m³/h　(m³/min)	(mm×mm)	
100	200×70	170×80
200	200×100	170×120
300	200×140	170×150
360（6）	200×150	170×180
450	200×180	170×210
500	200×200	170×230
600（10）	200×220	170×260
800	200×280	170×340
1000	200×330	170×400
1200（20）	200×380	170×460
1400	200×430	170×530
1440（24）	200×440	170×540
1600	200×480	170×600
1800（30）	200×530	170×660
2000	200×580	170×720
2400（40）	200×680	170×850
3000（50）	200×830	170×1040

Ⓒ部（170×180）
Ⓑ部（170×540）
Ⓐ部（200×440）

○ダクト抵抗の計算（簡便的に下表の如く計算する）

直管部	長さ 1m 当り1Paで計算する1Pa/m
曲り部	曲り部 1個当り直管に直して3~4mとする
吹出部	25Paで計算する
チャンバ	1 個で 50Paで計算する
吸込グリル(フィルタ付)	1 個で 40Paで計算する

⑦冷媒配管

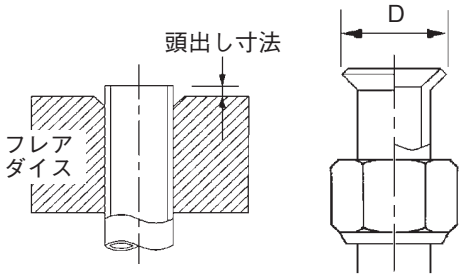
冷媒配管時の注意事項

●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは、製品付属のもの（JIS B 8607 2種適合品）をご使用ください。他のフレアナット（1 種）を使用すると冷媒漏れの原因となります。

既設配管再利用の可否および洗浄方法については、室外ユニットの据付説明書またはカタログ・技術資料で確認してください。

1）再利用する場合、フレアナットは流用せず室内ユニットに付属のもの（JIS B 8607 2種適合品）を使用してください。

2）再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R32 用または R410A 用のフレア加工をしてください。



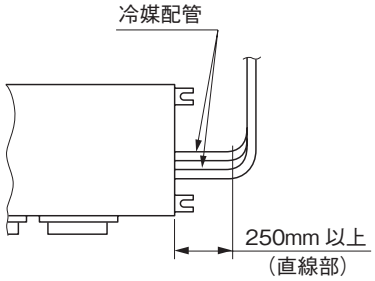
配管径 d mm	配管の最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアナット締付トルク N·m
		リジッド（クラッチ式）			
		R32用 R410A用	従来ツール		
6.35	0.8	0 ～ 0.5	0.7 ～ 1.3	8.9 ～ 9.1	14 ～ 18
9.52	0.8			12.8 ～ 13.2	34 ～ 42
12.7	0.8			16.2 ～ 16.6	49 ～ 61
15.88	1			19.3 ～ 19.7	68 ～ 82
19.05	1.2			23.6 ～ 24.0	100 ～ 120

●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（Ｃ１２２０Ｔ、ＪＩＳ Ｈ ３３００）をご使用ください。
また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。
冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。

●Ｒ３２またはＲ４１０Ａ以外の冷媒は使用しないでください。
室外ユニット表示以外の冷媒を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。
また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。

●据付に使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。
冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。

●工具はＲ３２用またはＲ４１０Ａ用の工具を使用してください。

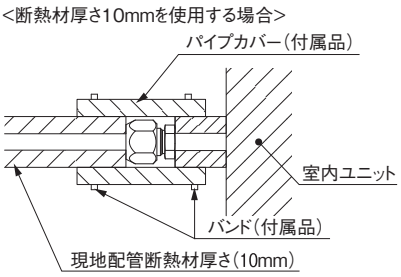


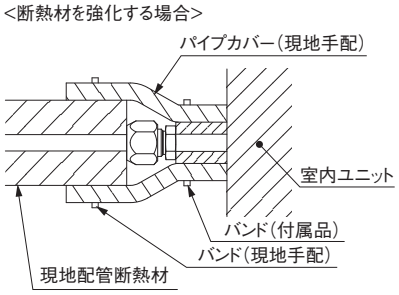
お願い
冷媒配管工事は、上図のように直線部を２５０mm以上とって行ってください。
（ドレンポンプのサービスに必要です。）

作業手順

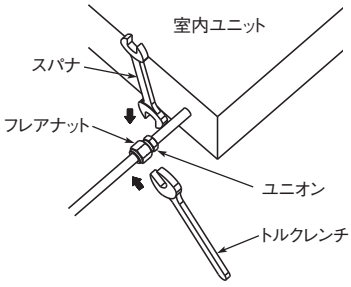
1．室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取外してください。
※室内ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛けして外してください。
（このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。）

●フレアナット飛びに注意してください。（内部に圧力がかかっている場合があります。）





2．液管・ガス管をフレア加工し、右図に示すように冷媒配管を接続してください。
※配管の曲げは４Ｄ以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。
また配管をねじったり、2/3D 以下につぶしたりしないでください。
※フレア接続は、以下のように行ってください。
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで３～４回転ねじ込み、２丁スパナ掛けで上表の締付力で締めてください。



3．室内ユニットのフレア部は、ガス漏れチェック後、右図に示すように断熱材をかぶせ、バンドでしっかりと締付けてください。

●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。

●ガス側配管の断熱材は耐熱 120℃以上のものを使用してください。

●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。

4．冷媒は室外ユニットに充填されています。
室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

注意
同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、またはフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しない。
冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとすること。

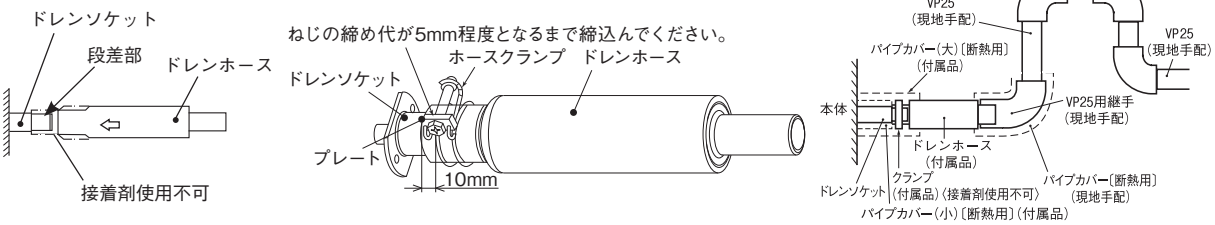
⑧ドレン配管

ドレン配管時の注意事項

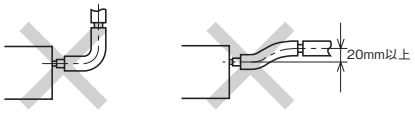
●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
●ドレン配管はイオウ系ガスなど有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。
室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
●施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。
●ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

作業手順

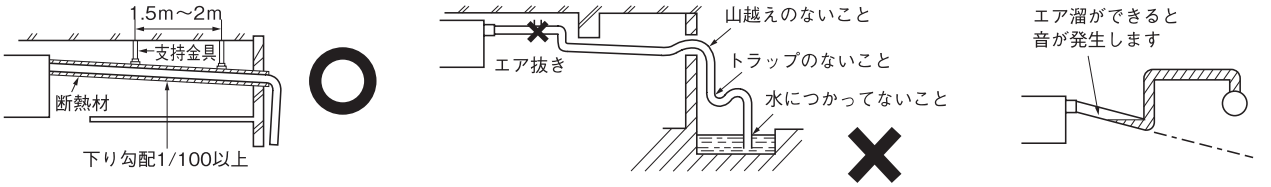
1．付属のドレンホース（軟質塩ビ端）はソケット段差部まで確実に挿入してください。ホースクランプは、ホース先端部から10mm 程度のところに取付け、ねじの締め代が 5mm 程度となるまで締込んでください。
●接着剤使用不可



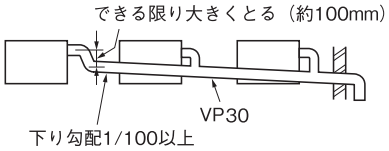
2．ドレンホース（硬質塩ビ端）に、ＶＰ２５用継手（現地手配）を接着・接続し、この継手に、ＶＰ２５（現地手配）を接着・接続してください。
※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管ＶＰ２５を使用してください。
●接着剤は付属のドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。
乾燥後、フレキ部に力が加わった場合、フレキ部が破損することがあります。
●ドレンホースは、室内ユニットあるいはドレン配管の据付時の微小なズレを吸収するためのものです。故意に曲げたり、引っ張って使用された場合は、破損し、水漏れに至ることがあります。



3．ドレン配管は下り勾配（1／１００以上）とし、途中山越えやトラップを作らないように施工してください。
●ドレン配管を接続する場合に室内ユニット側の配管に力が加えないように注意して行い、できる限り室内ユニット近傍で配管を固定してください。
●エア抜きは絶対に設けないでください。



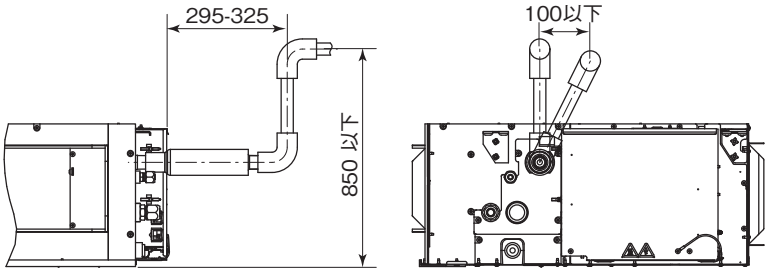
●複数台のドレン配管の場合、本体ドレン出口より約１００ｍｍ下に集合配管がくるようにしてください。また集合配管はＶＰ３０以上を使用してください。



4．ドレン配管の断熱施工を行ってください。
●結露が発生し、水漏れをおこすおそれがありますので、ドレンソケット部および室内にある硬質塩ビパイプは確実に断熱してください。
※ドレンソケット部は、排水テスト実施後、付属のパイプカバー（小）をドレンソケット部に装着した後、付属のパイプカバー（大）にてパイプカバー（小）、クランプおよびドレンホースの一部を覆い、テープにより隙間のないように巻いてください。

ドレンアップする場合

●ドレン配管の出口高さは、天井面より８５０mm まで高くすることができます。天井内に障害物などがある場合、エルボなどを用いて施工してください。この場合、ドレン配管を立ち上げるまでの距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流量が多くなり、オーバーフローすることがありますので、右図寸法内で処理願います。

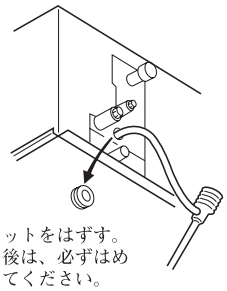


⑧ドレン配管のつづき

ドレン排水テスト

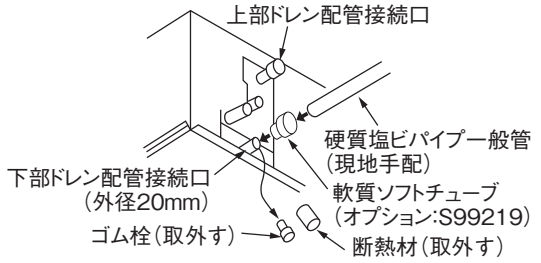
●ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていること、接続部および室内ユニットのドレンパン部からの水漏れのないことを確認してください。
●暖房期の据付の際にも必ず実施してください。
●新築の場合には天井を張る前に実施してください。

1．右図要領にて給水ポンプなどを使用して、本体ドレンパンの中へ約１０００ｃｃほどの水を注入してください。注水ホースを 50 ｍｍ位差し込んで注水してください。（注水ホースは必ず下向きに差込んでください。）
2．ドレン排水しているか排水口部でご確認ください。※ドレンポンプの回転音を確認しながら排水するかどうかテストしてください。
3．排水テスト後は、本体部まで配管の断熱をしてください。



下部ドレン配管工事要領〔配管接続〕

ドレン配管に下り勾配（１／５０～１／１００）が可能な場合下図要領にて下部ドレン配管接続が可能です。



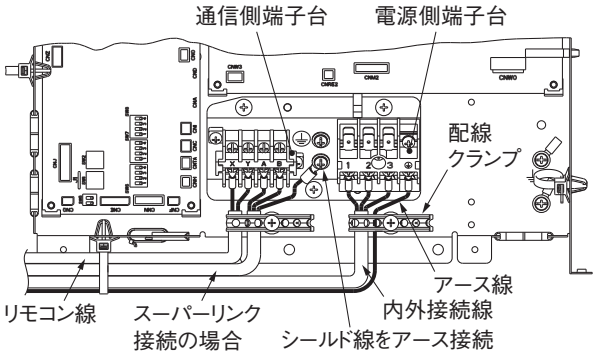
ドレンモータ用のコネクタ CnR の取外し
下部ドレン配管を使用する場合に必ず必要です
コントロールボックス内のドレンモータ用コネクタ CnR を取外してください。

注：コネクタを接続したままで使用すると、上部ドレン配管接続口よりドレン水が排出され水漏れとなります。

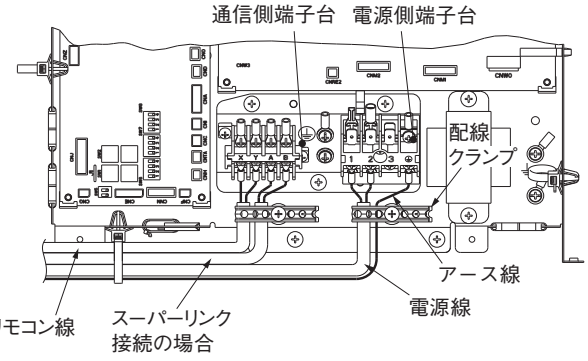
⑨電気配線取出位置および電気配線接続

●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
●電源配線と通信配線は同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
●Ｄ種接地工事を必ず行ってください。
●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。

1．電装箱の蓋（ねじ２本）を取外してください。
2．各配線を室内ユニット内に入れ、端子台に確実に接続してください。
　コントロールボックスの蓋に貼付の結線銘板を参照ください。
3．各配線をクランプで固定してください。
4．取外した部品を元通りに取付けてください。



シングル機の配線接続



マルチ機の配線接続

＊配線を引張っても動かないようにバンドで固定してください。

⑩店舗シリーズ機種容量統合機の場合

室外ユニットとの組合せにより下表の通り室内ユニット容量が自動認識されます。機種名銘板の機種容量に○印を付けてください。

室内ユニット	室内ユニット1台接続							2台接続					
室外ユニット	50	56	63	80	112	140	160	80	112	140	160	224	280
FDUZP56	P50	P56						P40					
FDUZP63			P63						P56				
FDUZP80				P80						P71	P80		
FDUZP112					P112							P112	
FDUZP160						P140	P160						P140

⑪機外静圧設定

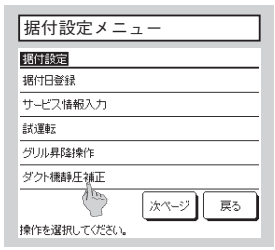
ECOタッチリモコン（RC-DX2 以降）を使用し、機外静圧を設定することができます。
定格風量になるように各タップのファン回転数を変化させます。
店舗シリーズをツイン機として設定する場合は、室内ユニット同士が同一風量になるように個々に設定してください。

● ECOタッチリモコンからの設定方法

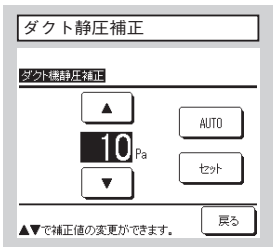
①メニュー画面より据付設定を選択し、サービスパスワードを入力します。
②据付設定メニューより、ダクト機静圧補正を選択します。
③“▲”、“▼”で機外静圧を設定し、“セット”をタッチしてください。
（“AUTO”を選択した場合には、150Pa で設定されます。）
詳細な設定方法については、ECOタッチリモコン付属の据付説明書を参照ください。
風量特性については、技術資料を参照ください。

［メニュー］ボタンをタッチしてください。

［据付設定］ボタンをタッチしてください。



選択した画面に移ります。



機外静圧を選択し、［セット］をタッチしてください。

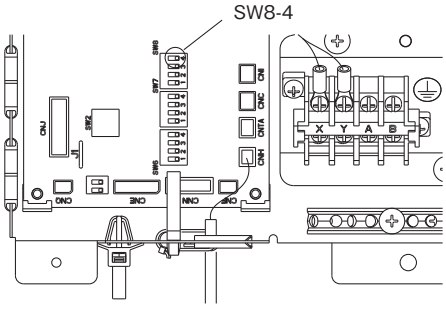
注意
・RC-DX2 以降の ECOタッチリモコン以外からは設定できません。

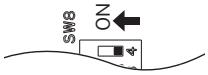
静圧設定上の注意

実際の機外静圧を計算し、設定してください。
実際の機外静圧よりも機外静圧設定が高い場合には風量が過大となり、水漏れが発生する恐れがあります。また、実際の機外静圧よりも機外静圧設定が低い場合には風量が過小となり、不冷・不暖の原因になります。

工場出荷状態では上記のリスクを減らすため、機外静圧設定範囲を 80-150Pa（給気処理ユニットは 10-120Pa）としております。
実際の機外静圧は 80-150Pa（給気処理ユニットは 10-120Pa）の範囲で使用してください。実際の機外静圧が 80Pa（給気処理ユニットは 10Pa）より低い場合には水漏れとなる恐れがあります。
（機外静圧設定を10～70Paで設定した場合、機外静圧設定は 80Pa となります。
機外静圧設定を 160～200Paで設定した場合、機外静圧設定は 150Pa となります。また給気処理ユニットは 130 ～ 200Pa で設定された場合、機外静圧設定は 120Pa になります。）

また、コントローラの SW8-4 を ON にすることにより、機外静圧設定範囲を 10-200Pa に変更することが可能です。ただし、上記リスクが高くなるため、実際の機外静圧を把握してない場合には使用しないでください。





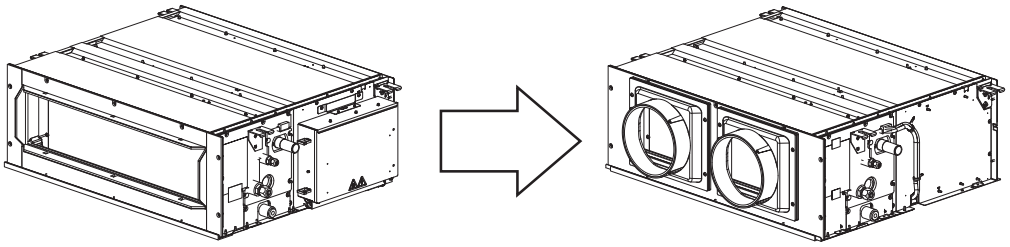
SW8-4:OFF（機外静圧設定範囲：80～150Pa）

SW8-4:ON（機外静圧設定範囲：10～200Pa）

⑫丸ダクト変換キット使用時の静圧設定について

丸ダクト変換キット(オプション)を使用する場合、工場出荷時の機内圧損に対して増加します。その為、機外静圧設定時には下表に従って設定してください。
例えば、80形の場合、機外静圧を100Paにする場合には、下表に従ってリモコンの機外静圧設定を110Paにしてください。

注意
- 機外静圧範囲は10-100Paとなります。この範囲内になるよう、下表に従いリモコン機外静圧設定を行ってください。
- ⑪機外静圧設定に示すSW8-4をONにして使用ください。
- 実際の機外静圧と設定する機外静圧が一致することを確認してください。
  異なっていると水漏れや不冷・不暖の原因になります。



工事出荷時　　丸ダクト変換キット装着時

丸ダクト変換キット使用時のリモコン機外静圧設定　対応表

店舗シリーズ		—	50,56	63	71-80	112	140	160
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ		22	28-56	—	71-90	112	140	160
オプション型式		U-UM-1A	U-UM-2A	U-UM-3A		U-UM-4A		
実際の機外静圧(Pa)	10	20	30	10	20	20	30	40
	20	30	40	20	30	30	40	50
	30	40	50	30	40	40	50	60
	40	50	60	50	50	50	60	70
	50	70	70	60	60	60	70	80
	60	80	80	70	70	70	80	90
	70	90	90	90	80	80	90	100
	80	100	100	100	90	90	110	110
	90	120	110	110	100	100	120	130
	100	130	120	120	110	110	130	140

⑬室内ユニット据付工事完了後のチェック項目

●室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	
機外静圧設定は完了していますか。	水漏れ、冷えない	

(ii) P2245A, P2805A の場合

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。
電気配線（室内）は、電気配線工事説明書をご覧ください。リモコンの取付方法は、リモコン付属の説明書をご覧ください。
ワイヤレスキットの取付方法は、ワイヤレスキット付属の説明書をご覧ください。
室外ユニットの据付方法、電気配線（室外）および冷媒配管工事方法は、室外ユニットの付属の説明書をご覧ください。
また、故障診断は、室内ユニットの結線銘板をご覧ください。
給気処理ユニットの場合
●他のエアコンユニットとの全接続容量は、50 ～ 100%（全給気処理ユニットの容量）にしてください。
●単独で給気処理ユニットを接続することができます。給気処理ユニットの接続容量は 50 ～ 100%にしてください。
室外機に接続できる給気処理ユニットは最大 2 台です。
●この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また海外においてはアフターサービスもできません。

安全上のご注意

●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、⚠警告、⚠注意、に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に⚠警告の欄にまとめて記載しています。しかし、⚠注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 ⃠ 絶対に行わない | ❗ 必ず指示に従い行う
●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など）をお客様に説明してください。
この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、室内ユニット落下によるケガの原因になります。	❗
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があると破 裂・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。	❗
●小部屋に据付ける場合は万一冷媒が漏れても、限界濃度を超えない対策をする。(JRA GL-13) 限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。	❗
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、室内ユニット落下、水漏れ、火災、感電などの原因になります。	❗
●作業中に冷媒が漏れた場合は換気をする。 冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	❗
●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。 強度が不足している場合は、室内ユニットの落下などにより、ケガの原因になります。	❗
●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。 据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。	❗
●エアコンの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒以外の空気などを入れない。 空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	⃠
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。	❗
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。	❗
●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。 カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。	❗
●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。 冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	❗
●配管、フレアナット、工具は R32 または R410A 専用のものを使用する。 既存（R22）の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。	❗
●フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締付ける。 フレアナットの締付過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。	❗
●ドレン配管はイオウ系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接入れない。 室内に有毒ガスが侵入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また、室内ユニットを腐食させ、故障や冷媒漏れの原因になります。	⃠
●据付作業では圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取付ける。 冷媒配管を取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	❗
●ポンプダウン作業では、サービスバルブを閉じた後配管を外す前に圧縮機を停止する。 圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管をはずすと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	❗
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	❗
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	⃠
●エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。 据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	❗
●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。 点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。	❗
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。	⃠
●元電源を切った後に電気工事を行う。 感電、故障や動作不良の原因になります。	❗

⚠注意

●アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。

●漏電しゃ断器は必ず取付ける。
漏電しゃ断器が取付られていないと感電や火災の原因になることがあります。

●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。
万一ガスが室内ユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

●腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある所、揮発性引火物を取扱う所での据付、使用は行わない。
熱交の腐食、プラスチック部品の破損などの原因になることがあります。また可燃性ガスは発火の原因になることがあります。

●工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。

●洗濯室など、水の掛かる所では使用しない。
室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。水が掛かると感電、火災などの原因になることがあります。

●食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。
保存物の品質低下などの原因になることがあります。

●病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器、高周波の発生する機器の近くでは据付、使用しない。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。

●直射日光の当たる所にリモコンを設置しない。
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。

●次の場所への据付は避ける。
・可燃性ガスの漏れる恐れがある所
・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、機器に影響する物質の発生する所
・油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場など）
・高周波を発生する機械を使用する所
・海浜地区等塩分の多い所
・煙突の煙がかかる所
・カーボン繊維や金属粉、パウダーなどが浮遊する所
・車両・船舶等移動するものへの設置
・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所
・積雪の多い所
・標高１０００m以上の所
性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したりする原因になることがあります。

●次の場所への室内機の据付は避ける。（機種により異なる制限があるので、その指示に従うこと）。
・吸込口、吹出口に風の障害物がある所
・強度が不十分で振動が発生する所
・ワイヤレス機の場合、受光部に直接太陽光や強い光が当たる所
・高周波に影響される機器のある所（TV およびラジオ等の近傍）
・ドレンの排水がとれない所
性能や機能等に影響をおよぼす原因になります。
人感センサ搭載パネルは次のような場所への設置はしないでください。誤検知・検知不能・特性劣化を招く恐れがあります。
・長時間振動が加わる状態
・静電気や強い電磁波のある場所
・長時間高温、多湿になる場所
・塵埃の多い場所、レンズ面に汚れおよび損傷を与える恐れのある場所

●エアコンの下部には、濡れて困るものは置かない。
湿度が 80% 以上の時や、ドレン排水が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じることがあります。

●長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。
傷んだ状態で放置すると室内ユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。

●室内ユニット近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、室内ユニット内へのスパッタの侵入を防止する。
溶接作業時などに発生するスパッタが室内ユニットにあたった場合、ドレンパンなどに損傷（ピンホール）をあたえ、水漏れなどの原因になることがあります。室内ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため梱包状態のままとしておくか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。

●ＧＨＰ〔ガスヒートポンプ〕の場合、室外ユニットの排気ドレン管と室内ユニットの排水ドレン管は共用しない。
室内に有毒ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。

●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因となることがあります。

●ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。

●冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たれなどを発生し、天井･床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。

●室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所に設置しない。
小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。
また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。

●製品の運搬は十分注意して行う。
20kg 以上の製品は原則として２人以上で行ってください。PP バンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。
素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

●梱包材の処理は確実に行う。
梱包材にクギなどの金属あるいは、木片などを使用していますので放置状態にしますとケガをすることがあります。

●エアフィルタを必ず取付ける。
内部に油・ゴミなどが詰まり、故障の原因になることがあります。

●濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。

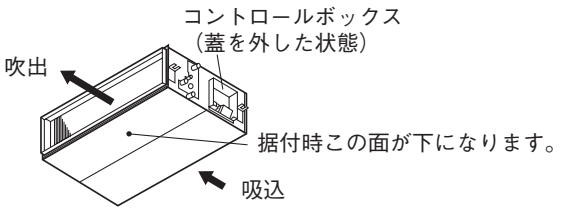
●運転中の冷媒配管を素手で触れない。
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになることがあります。

●エアコンを水洗いしない。
感電の原因になることがあります。

●運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず５分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。

●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

○本機は高静圧ダクト機です。
直吹では使用しないでください。



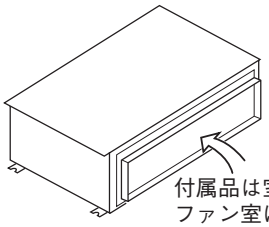
①据付の前に

●据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
●次の項目を確認してください。
○機種・電源仕様　○配管・配線・小物部品　○付属品

付属品

本体吊り込み用	ドレン配管用			
平座金(M10)	パイプカバー(大)	パイプカバー(小)	ドレンホース	ホースクランプ
8個	1個	1個	1個	1個
ユニット吊り下げ用	ドレンソケット断熱用	ドレンソケット断熱用	ドレン配管接続用	ドレンホース取付用

付属品収納場所（梱包時）



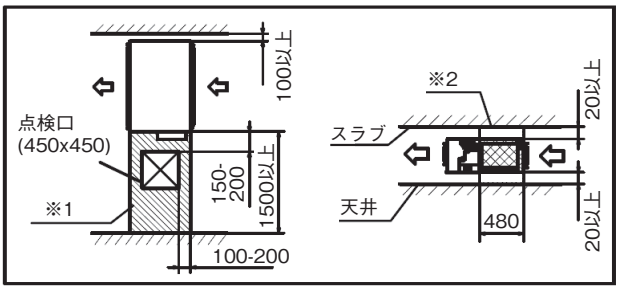
②室内ユニットの据付場所の選定

①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
・冷風または温風が十分に行きわたる所。
据付高さが３ｍを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
・侵入外気の影響のない所。
・直射日光の当たらない所。
・周囲の露点温度が２８℃以下、相対湿度８０％以下の所。
〔本室内ユニットは JIS 露付条件(室内：27℃ /78% RH)にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、室内ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、室内ユニットの全ておよび配管、ドレン配管にさらに10～20mmの断熱材を取付けてください。〕
・テレビ、ラジオより１ｍ以上離れた所。(映像の乱れや雑音が生じることがあります。)
・室内ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバー、医療機器など濡れて困るものを置かない所。
・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
・フライヤーの真上など油・粉・蒸気などを直接吸込まない所。
・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。
ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。
②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット落下によるケガの原因になります。
③ワイヤレス機種を２台以上据付ける場合は、混信による誤動作を防止するため室内ユニット間を６ｍ以上離してください。
④室内ユニットを隣接して設置する場合は、室内ユニット間距離を４ｍ以上離して設置してください。

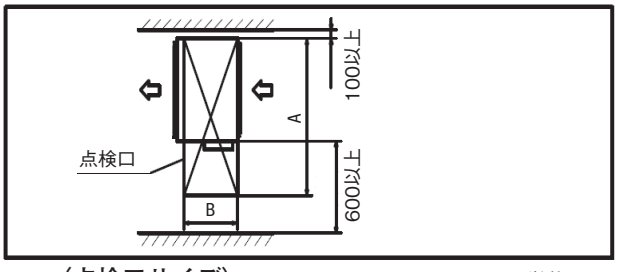
室内ユニット据付スペース

●据付高さは２．５ｍ以上としてください。据付時、サービス時のために下記２ケースのどちらかを選んでください。

(ケース1)ユニット側面からメンテナンスする場合 単位: mm



(ケース2)ユニット下面からメンテナンスする場合 単位: mm



※１　ファンモータを側面へ引き出す構造となっております。障害になるものを設置しないでください。(▨ 印箇所)
※２　▨ 印箇所を横切らないように冷媒配管、ドレン配管、電気配線を設定してください。

(点検口サイズ)　単位: mm

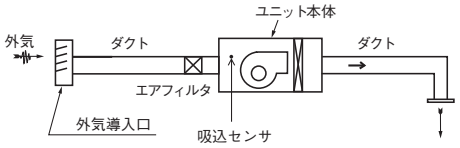
店舗VXPシリーズ	224-280
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ	224-280
給気処理ユニット	224-280
A	1900
B	880

③給気処理ユニットの据付時の注意

①給気処理ユニットは吸込センサの検知温度とリモコン設定温度に基づき、発停を制御しております。
リモコン設定温度は発停を制御する外温を示しています。冷房モードでは、サーモ OFF となると、外気を直接室内に吹出す送風モードに変わります。

③給気処理ユニットの据付時の注意のつづき

②給気処理ユニットは外気を直接吹出す場合がありますので、直接室内の人に風を当てないように配慮ください。
③室内ユニットは外温を検知して発停を制御しますので、リモコン設定温度の変更で室温を調整しないでください。冷房運転時にリモコン設定温度を下げ過ぎた場合、結露水が滴下する可能性があります。
④ 一般の人がリモコン操作することを避けるため、給気処理ユニットのリモコンは管理者だけが操作できる場所に設置してください。



お客様に製品をお渡しする際には、上記の注意事項、給気処理ユニットを操作するリモコンの設置場所、吹出口に位置をお知らせください。

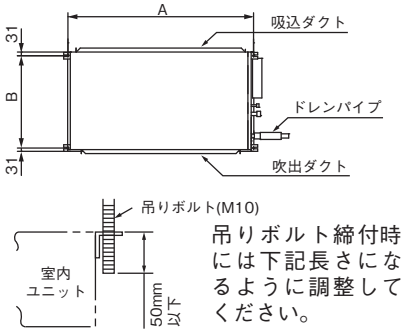
④据付前の準備

●吊りボルト長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
○システム天井（グリッド天井・ライン天井）の場合
吊り長さ（吊りボルト長さ）５００mm以上または天井ふところ高さ７００mm以上の場合に耐震ブレースを設置する。
○強度が充分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合
吊り長さ（吊りボルト長さ）１０００mm以上の場合に耐震ブレースを設置する。
●吊りボルト・ナット・バネ座金（M１０）を４組現地にて手配してください。

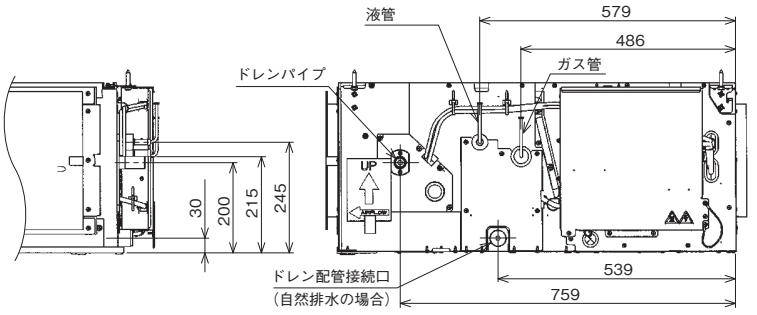
単位: mm

店舗VXPシリーズ	224-280
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ	224-280
給気処理ユニット	224-280
A	1634
B	831

吊りボルト位置、配管位置、ダクト寸法



吊りボルト締付時には下記長さになるように調整してください。



⑤室内ユニットの据付

作業手順

1. 据付場所に天井開口寸法をあけてください。
2. 所定の位置に吊りボルトを設置してください。
3. 吊りボルトは４本使用してください。
4. 室内ユニット吊り込み高さを調節してください。
5. ユニット本体の水平度を確認してください。水平度は、水準器または透明ホースに水を入れたものを使用して確認してください。（ユニット両端での高さ許容差は３mm以内）
6. 高さ調整・水平度調整後、上側ナット４箇所を締付けてユニットを固定してください。

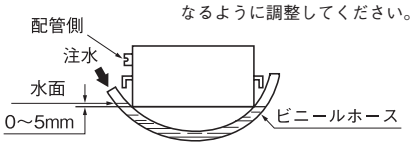
水平度の調整

お願い

○水準器を使用するか、下記の要領で水平度の調整を行ってください。

○水平度がでていないと**フロートスイッチの誤作動あるいは不作動**の原因となります。

●本体下面と水面高さが下図になるように調整してください。

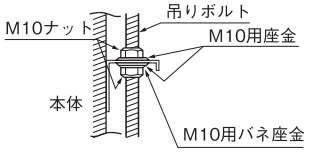


配管側をさがりぎみにしてください。

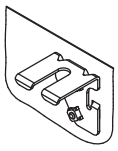
据　付

〈吊り込み〉

○室内ユニットを吊り込んでください。

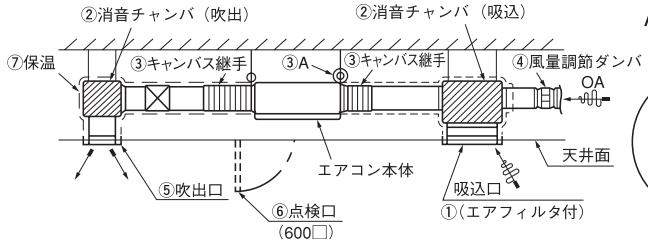


○本体を据付けたとき、本体と天井穴の寸法が出ないときは、据付金具が長穴になっていますので調整してください。

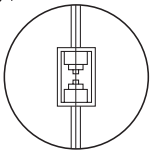


⑥ダクト工事

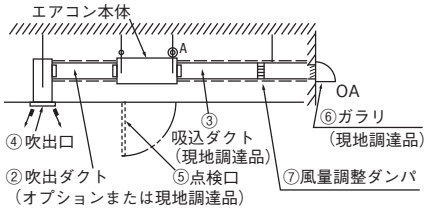
高静圧ダクト（FDU）



A部詳細
（ハンガー防振）



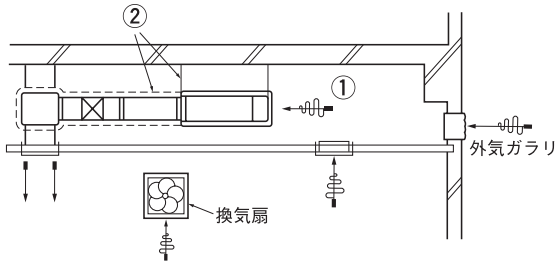
給気処理ユニット（FDU-F）



⑥ダクト工事のつづき

①エアコン本体にはエアフィルタが付属されていません。掃除の容易な吸込グリルにエアフィルタを組込んでください。
②消音チャンバーは据付ける室内の許容される騒音値によって取付けてください。
　特に低騒音とする必要がある場合は、さらに消音装置が必要です。（事務所、会議室などでは必ず取付けること）
③エアコン本体の振動が天井およびスラブに伝わらないようにダクトはキャンバス継手、エアコン本体は防振ゴムにより防振してください。
④ OA ダクトの接続口には、据付後の風量調節ができるよう、風量調節ダンパを取付けてください。
⑤吹出口は室内全般に空気が流れるように位置、形状を選びさらに風量が調節出来る構造のものを使用してください。
⑥天井面に点検口を必ず設けてください。電装品、モータ、機能品のサービス、熱交換器洗浄のために必要です。
⑦ダクトの保温施工は必ず実施し、ダクトへの結露を防止してください。保温材の厚さは６５ｍｍ（ＪＩＳ Ａ ９５０１）です。
⑧送風機（ファンモータ）に手が触れないようにダクトを接続してください。または吸込側を直吸込で使用する場合は吸込口にエアフィルタを取り付けてください。

〈ダクト施工の悪い例〉



〈空気条件、風量限界〉

店舗VXPシリーズ		224, 280
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ		224, 280
最大風量（m³/min）		88
室内側空気温度	乾球温度（℃）	32
	湿球温度（℃）	29

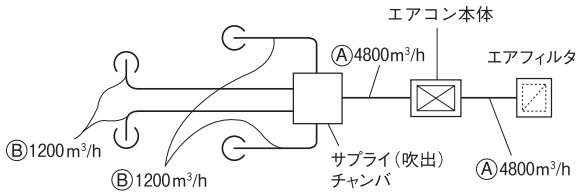
給気処理ユニット		224, 280
最大風量（m³/min）		50
ユニット吸込空気温度	乾球温度（℃）	32
	湿球温度（℃）	29

①吸込側ダクトを使用せず、天井内を吸込ダクトにすると換気扇の能力や外気ガラリに吹きつける風の強さ、天候（雨の日など）等により天井内が高湿度となります。
　㈠室内ユニットの外板に結露し天井に滴下するおそれがあります。
　　室内ユニットは上表の空気条件および風量限界内で使用してください。コンクリート建築などで新築の場合も天井内ダクトにしなくても湿度が高くなることがあります。この場合は室内ユニット全体をグラスウール（２５mm）で保温してください。（金あみなどでグラスウールをおさえてください。）
　㈡室内ユニットの運転限界（例：外温３５℃ DB のとき吸込空気温度２４℃ WB）をこえる場合も考えられ、圧縮機のオーバーロードなどのトラブルの原因となります。
　㈢換気扇の能力、外気ガラリに吹きつける風の強さによって室内ユニットの送風量が多くなり使用制限をこえてしまうため熱交換器のドレンがドレンパンへ流れず、外部に流れだすこともあり、（天井にドレンが滴下する）水漏れの原因となります。
②室内ユニットとダクト、室内ユニットとスラブの防振をしないとダクトに振動が伝わり、天井と吹出口の間で振動音が出たり、スラブに室内ユニットの振動が伝わることがあります。必ず防振してください。

〈簡易ダクト寸法選定図〉 1Pa/m

風量 ＼ ダクトの形	角ダクト 寸法
m³/h（m³/min）	（mm×mm）
100	250× 60
200	250× 90
300	250× 120
400	250× 140
450（7.5）	250× 160
500	250× 170
600（10）	250× 190
800	250× 230
1,000	250× 270
Ⓑ部 1,200（20）	250× 310
1,400	250× 350
1,600	250× 390
1,800（30）	250× 430
2,000	250× 470
2,400（40）	250× 560
3,000（50）	250× 650
3,500	250× 740
4,000	250× 830
4,500	250× 920
Ⓐ部 4,800（80）	250× 950
5,000	250×1000
5,500	250×1090
6,000（100）	250×1180

〈簡易的なダクト寸法の決め方〉
ダクトの単位長さ当り摩擦抵抗を１Pa/m として、ダクトは一辺が２５０ｍｍのものを使用する場合の方法を示します。
２８０形定格風量の場合を例とします。



	風　量	ダクト（mm×mm）
Ⓐ 部	4800m³/h（80m³/min）	250×950
Ⓑ 部	1200m³/h（20m³/min）	250×310

○ダクト抵抗の計算（簡便的に下表の如く計算する）

直　管　部	長さ1m当り1Paで計算する1Pa/m
曲　り　部	曲り部1個当り直管に直して3～4mとする
吹　出　部	25Paで計算する
チ　ャ　ン　バ	1個で50Paで計算する
吸込グリル（フィルタ付）	1個で40Paで計算する

⑦冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。
冷媒Ｒ２２で使用していた既設配管を使用する場合は、下記点を注意してください。
・薄肉配管の使用は避けてください。
●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（Ｃ１２２０Ｔ、ＪＩＳ Ｈ ３３００）をご使用ください。
また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。
冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化等の原因になります。
●Ｒ 32 またはＲ４１０Ａ以外の冷媒は使用しないでください。
Ｒ４１０Ａ以外（Ｒ２２等）の冷媒を使用すると、冷凍機油劣化等の原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂等の原因になります。

⑦冷媒配管のつづき

●据付に使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。
冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。
●工具はR32またはＲ４１０Ａ専用ツールを使用してください。
●室内機配管はサービスパネルを取り外し可能とするため配管方向がどのような方向でも必ず室内ユニットから４００mm以上のストレート部分を設けてください。

作業手順

1．ろう付作業時は、ろう付部周囲を過熱しないように濡れタオル等で冷やしながら実施してください。
2．室内機のろう付部は、ガス漏れチェック後、断熱材（現地手配）をかぶせてください。
●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。現地にて断熱材を手配し断熱してください。
●ガス側配管の断熱は耐熱 120℃以上のものを使用してください。
●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化させてください。強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。
3．冷媒は室外ユニットに充填されています。室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

機種		液配管/ガス配管	サイズ
店舗VXPシリーズ	224形	液配管	φ9.52
		ガス配管	φ25.4
	280形	液配管	φ12.7
		ガス配管	φ25.4
ビル空調シリーズ ガスヒートポンプシリーズ 給気処理ユニット	224形	液配管	φ9.52
		ガス配管	φ19.05
	280形	液配管	φ9.52
		ガス配管	φ22.22

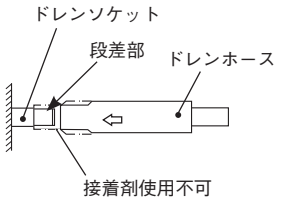
⑧ドレン配管

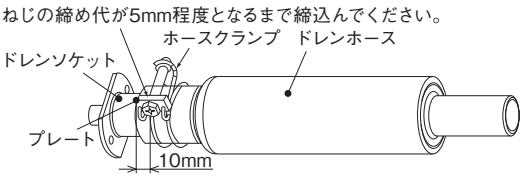
ドレン配管時の注意事項

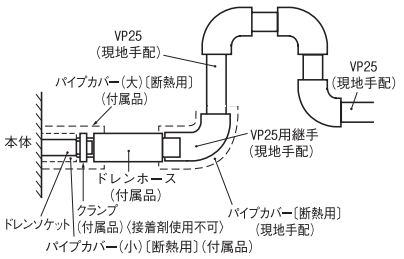
●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
●ドレン配管はイオウ系ガスなど有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。
室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
●施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。
●ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

作業手順

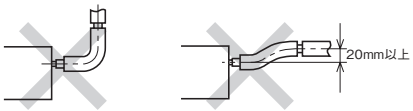
1．付属のドレンホース（軟質塩ビ端）はソケット段差部まで確実に挿入してください。ホースクランプは、ホース先端部から10mm 程度のところに取付け、ねじの締め代が 5mm 程度となるまで締込んでください。
●接着剤使用不可



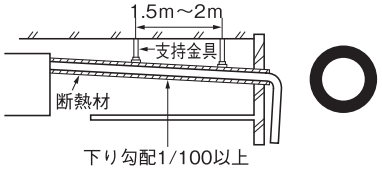


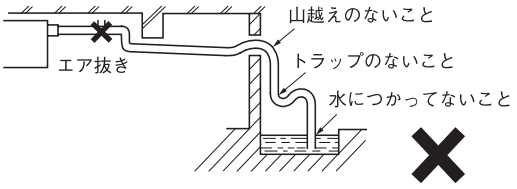


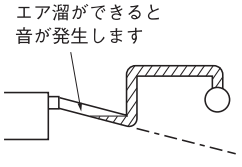
2．ドレンホース（硬質塩ビ端）に、ＶＰ２５用継手（現地手配）を接着・接続し、この継手に、ＶＰ２５（現地手配）を接着・接続してください。
※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管ＶＰ２５を使用してください。
●接着剤は付属のドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。
乾燥後、フレキ部に力が加わった場合、フレキ部が破損することがあります。
●ドレンホースは、室内ユニットあるいはドレン配管の据付時の微小なズレを吸収するためのものです。故意に曲げたり、引っ張って使用された場合は、破損し、水漏れに至ることがあります。



3．ドレン配管は下り勾配（１／１００以上）とし、途中山越えやトラップを作らないように施工してください。
●ドレン配管を接続する場合に室内ユニット側の配管に力が加えないように注意して行い、できる限り室内ユニット近傍で配管を固定してください。
●エア抜きは絶対に設けないでください。

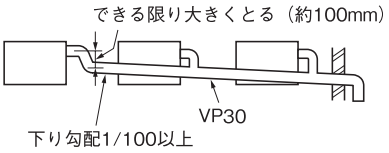






⑧ドレン配管のつづき

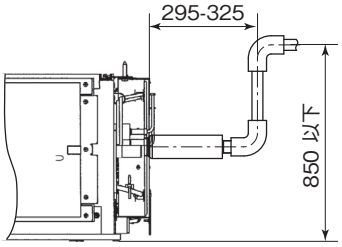
●複数台のドレン配管の場合、本体ドレン出口より約１００ｍｍ下に集合配管がくるようにしてください。また集合配管はＶＰ３０以上を使用してください。

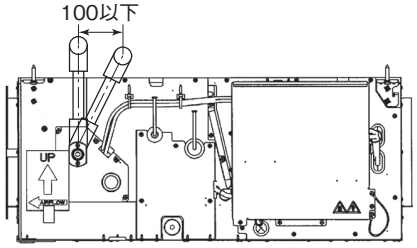


4．ドレン配管の断熱施工を行ってください。
●結露が発生し、水漏れをおこすおそれがありますので、ドレンソケット部および室内にある硬質塩ビパイプは確実に断熱してください。
※ドレンソケット部は、排水テスト実施後、付属のパイプカバー（小）をドレンソケット部に装着した後、付属のパイプカバー（大）にてパイプカバー（小）、クランプおよびドレンホースの一部を覆い、テープにより隙間のないように巻いてください。

ドレンアップする場合

●ドレン配管の出口高さは、天井面より８５０ｍｍまで高くすることができます。天井内に障害物などがある場合、エルボなどを用いて施工してください。この場合、ドレン配管を立ち上げるまでの距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流量が多くなり、オーバーフローすることがありますので、右図寸法内で処理願います。

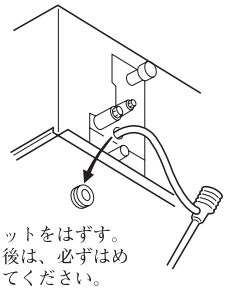




ドレン排水テスト

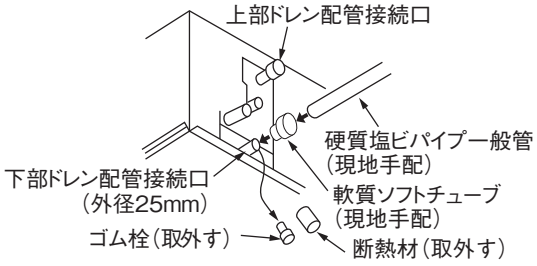
●ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていること、接続部および室内ユニットのドレンパン部からの水漏れのないことを確認してください。
●暖房期の据付の際にも必ず実施してください。
●新築の場合には天井を張る前に実施してください。

1．右図要領にて給水ポンプなどを使用して、本体ドレンパンの中へ約１０００ｃｃほどの水を注入してください。注水ホースを 50 ｍｍ位差し込んで注水してください。（注水ホースは必ず下向きに差込んでください。）
2．ドレン排水しているか排水口部でご確認ください。
※ドレンポンプの回転音を確認しながら排水するかどうかテストしてください。
3．排水テスト後は、本体部まで配管の断熱をしてください。



下部ドレン配管工事要領〔配管接続〕

ドレン配管に下り勾配（１／５０～１／１００）が可能な場合下図要領にて下部ドレン配管接続が可能です。



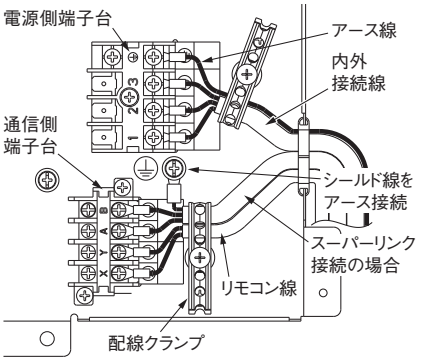
ドレンモータ用のコネクタ CnR の取外し
下部ドレン配管を使用する場合に必ず必要です
コントロールボックス内のドレンモータ用コネクタ CnR を取外してください。

注：コネクタを接続したままで使用すると、上部ドレン配管接続口よりドレン水が排出され水漏れとなります。

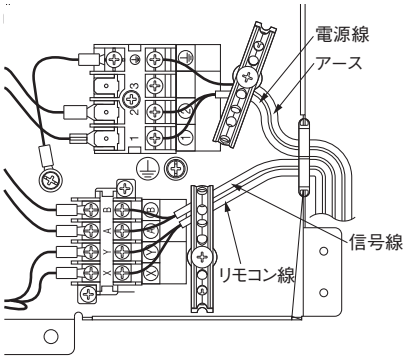
⑨電気配線取出位置および電気配線接続

●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
●電源配線と通信配線は同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
●Ｄ種接地工事を必ず行ってください。
●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。

1．電装箱の蓋 (ねじ２本) を取外し、上部の引掛けを外してください。
2．各配線を室内ユニット内に入れ、端子台に確実に接続してください。
コントロールボックスの蓋に貼付の結線銘板参照ください。
3．各配線をクランプで固定してください。
4．取外した部品を元通りに取付けてください。



シングル機の配線接続



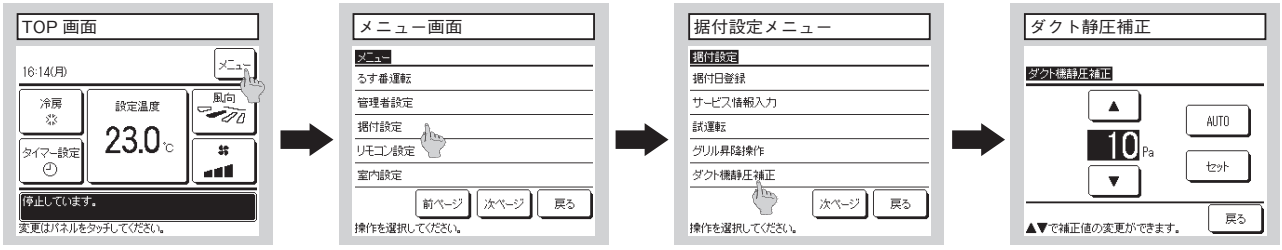
マルチ機の配線接続

⑩機外静圧設定

ECOタッチリモコン（RC-DX2 以降）を使用し、機外静圧を設定することができます。
定格風量になるように各タップのファン回転数を変化させます。
店舗シリーズをツイン機として設定する場合は、室内ユニット同士が同一風量になるように個々に設定してください。

● ECOタッチリモコンからの設定方法

①メニュー画面より据付設定を選択し、サービスパスワードを入力します。
②据付設定メニューより、ダクト機静圧補正を選択します。
③“▲”、“▼”で機外静圧を設定し、“セット”をタッチしてください。
（“AUTO”を選択した場合には、150Pa で設定されます。）
詳細な設定方法については、ECOタッチリモコン付属の据付説明書を参照ください。
風量特性については、技術資料を参照ください。



［メニュー］ボタンをタッチしてください。

［据付設定］ボタンをタッチしてください。

選択した画面に移ります。

機外静圧を選択し、［セット］をタッチしてください。

注意

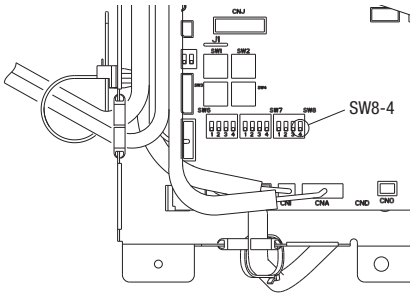
・RC-DX2 以降の ECOタッチリモコン以外からは設定できません。

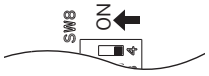
静圧設定上の注意

実際の機外静圧を計算し、設定してください。
実際の機外静圧よりも機外静圧設定が高い場合には風量が過大となり、水漏れが発生する恐れがあります。また、実際の機外静圧よりも機外静圧設定が低い場合には風量が過小となり、不冷・不暖の原因になります。

工場出荷状態では上記のリスクを減らすため､機外静圧設定範囲を 80-150Pa(給気処理ユニットは 10-120Pa)としております。実際の機外静圧は 80-150Pa（給気処理ユニットは 10-120Pa）の範囲で使用してください。実際の機外静圧が 80Pa（給気処理ユニットは 10Pa）より低い場合には水漏れとなる恐れがあります。
(機外静圧設定を10～70Paで設定した場合、機外静圧設定は 80Pa となります。
機外静圧設定を 160～200Paで設定した場合、機外静圧設定は 150Pa となります。また給気処理ユニットは 130 ～ 200Pa で設定された場合、機外静圧設定は 120Pa になります。)

また、コントローラの SW8-4 を ON にすることにより、機外静圧設定範囲を 10-200Pa に変更することが可能です。ただし、上記リスクが高くなるため、実際の機外静圧を把握してない場合には使用しないでください。





SW8-4:OFF（機外静圧設定範囲：80～150Pa）

SW8-4:ON（機外静圧設定範囲：10～200Pa）

⑪室内ユニット据付工事完了後のチェック項目

●室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレンはスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
電線の太さは仕様どおりですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

PFA012D701

(f) 天吊形（FDE）
P565SA ～ P1605SA の場合

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。
電気配線（室内）は、電気配線工事説明書をご覧ください。リモコンの取付方法は、リモコン付属の説明書をご覧ください。
ワイヤレスキットの取付方法は、ワイヤレスキット付属の説明書をご覧ください。
室外ユニットの据付方法、電気配線（室外）および冷媒配管工事方法は、室外ユニットの付属の説明書をご覧ください。
また、故障診断は、室内ユニットの結線銘板をご覧ください。
この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。 また海外においてはアフターサービスもできません。

安全上のご注意

●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、⚠警告、⚠注意、に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に⚠警告の欄にまとめて記載しています。しかし、⚠注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。⃠ 絶対に行わない ❗ 必ず指示に従い行う
●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法等）をお客様に説明してください。
この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書等をお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、室内ユニット落下によるケガの原因になります。	❗
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があると破裂·ケガの原因となり、また水漏れや感電·火災等の原因になります。	❗
●小部屋に据付ける場合は万一冷媒が漏れても、限界濃度を超えない対策をする。(JRA GL-13) 限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据え付ける。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。	❗
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、室内ユニット落下、水漏れや、火災、感電等の原因になります。	❗
●作業中に冷媒が漏れた場合は換気をする。 冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	❗
●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。 強度が不足している場合は、室内ユニットの落下等により、ケガの原因になります。	❗
●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。 据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になることがあります。	❗
●エアコンの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒以外の空気等を入れない。 空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガ等の原因になります。	⃠
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。	❗
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。	❗
●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。 カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。	❗
●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。 冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	❗
●配管、フレアナット、工具はR32用またはR410A用のものを使用する。 既存（R22）の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。	❗
●フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締め付ける。 フレアナットの締付過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。	❗
●ドレン配管はイオウ系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接入れない。 室内に有毒ガスが侵入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また、室内ユニットを腐食させ、故障や冷媒漏れの原因になります。	⃠
●据付作業では圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取付ける。 冷媒配管を取り付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	❗
●ポンプダウン作業では、サービスバルブを閉じた後配管を外す前に圧縮機を停止する。 圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管をはずすと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	❗
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	❗
●改修は絶対にしないでください。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。	⃠
●エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。 据付に不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。	❗
●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず落とす。 点検・修理にあたって、室内ユニット電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。	❗
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。	⃠
●元電源を切った後に電気工事を行う。 感電、故障や動作不良の原因になることがあります。	❗

⚠注意

●アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。

●漏電しゃ断器は必ず取付ける。
漏電しゃ断器が取付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。

●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。
万一ガスが室内ユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

●腐食性ガス（亜硫酸ガス等）、可燃性ガス（シンナー、ガソリン等）の発生、滞留の可能性のある場所、揮発性引火物を取扱う所での据付、使用は行わない。
熱交の腐食、プラスチック部品の破損等の原因になることがあります。また可燃性ガスは発火の原因になることがあります。

●工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。

●洗濯室等、水の掛かる場所では使用しない。
室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。水が掛かると感電、火災等の原因になることがあります。

●食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。
保存物の品質低下等の原因になることがあります。

●病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器の近く、高周波の発生する機器の近くでは据付、使用しない。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音等弊害の原因になることがあります。

●直射日光の当たる所にリモコンを設置しない。
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。

●次の場所への据付は避ける。
・可燃性ガスの漏れる恐れがある所
・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、機器に影響する物質の発生する所
・油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場等）
・高周波を発生する機械を使用する所
・海浜地区等塩分の多い所
・煙突の煙がかかる所
・カーボン繊維や金属粉、パウダー等が浮遊する所
・車両・船舶等移動するものへの設置
・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所
・積雪の多い所
・標高１０００m以上の所
性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したりする原因になることがあります。

●次の場所への室内機の据付は避ける。（機種により異なる制限があるので、その指示に従うこと）。
・吸込口、吹出口に風の障害物がある所
・強度が不十分で振動が発生する所
・ワイヤレス機の場合、受光部に直接太陽光や強い光が当たる所
・高周波に影響される機器のある所（TV およびラジオ等の近傍）
・ドレンの排水がとれない所
性能や機能等に影響をおよぼす原因になります。
人感センサ搭載の場合は次のような場所への設置はしないでください。誤検知・検知不能・特性劣化を招く恐れがあります。
・長時間振動が加わる状態
・静電気や強い電磁波のある場所
・長時間高温、多湿になる場所
・塵埃の多い場所、レンズ面に汚れおよび損傷を与える恐れのある場所

●エアコンの下部には、濡れて困るものは置かない。
湿度が 80% 以上の時や、ドレン排水が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じる恐れがあります。

●長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。
傷んだ状態で放置すると室内ユニットの落下につながり、ケガ等の原因になることがあります。

●室内ユニット近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、室内ユニット内へのスパッタの侵入を防止する。
溶接作業時などに発生するスパッタが室内ユニットにあたった場合、ドレンパン等に損傷（ピンホール）をあたえ、水漏れ等の原因になることがあります。室内ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため梱包状態のままとしておくか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。

●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因となることがあります。

●ＧＨＰ〔ガスヒートポンプ〕の場合、室外ユニットの排気ドレン管と室内ユニットの排水ドレン管は共用しない。
室内に有毒ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。

●ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。
試運転時に排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。

●冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
不完全な断熱施工を行うと配管等表面が結露して、露たれ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。

●室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所に設置しない。
小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。
また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。

●製品の運搬は充分注意して行う。
20kg 以上の製品は原則として２人以上で行ってください。PP バンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

●梱包材の処理は確実に行う。
梱包材にクギ等の金属あるいは、木片等を使用していますので放置状態にしますとケガをする恐れがあります。

●フィルターをはずしたまま運転しない。
内部に油・ゴミ等が詰まり、故障の原因になることがあります。

●濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。

●運転中の冷媒配管を素手で触れない。
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになることがあります。

●エアコンを水洗いしない。
感電の原因になることがあります。

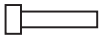
●運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず５分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。

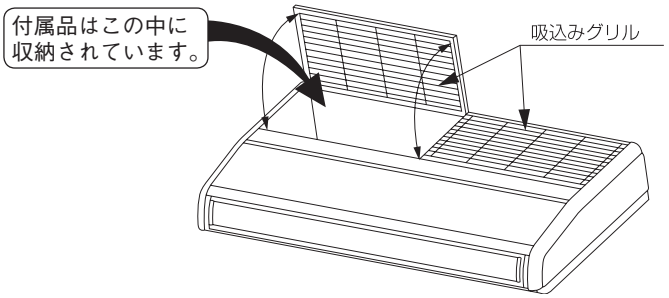
●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

①据付の前に

●据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
●次の項目を確認してください。
　○機種・電源仕様　　○配管・配線・小物部品　　○付属品

付属品

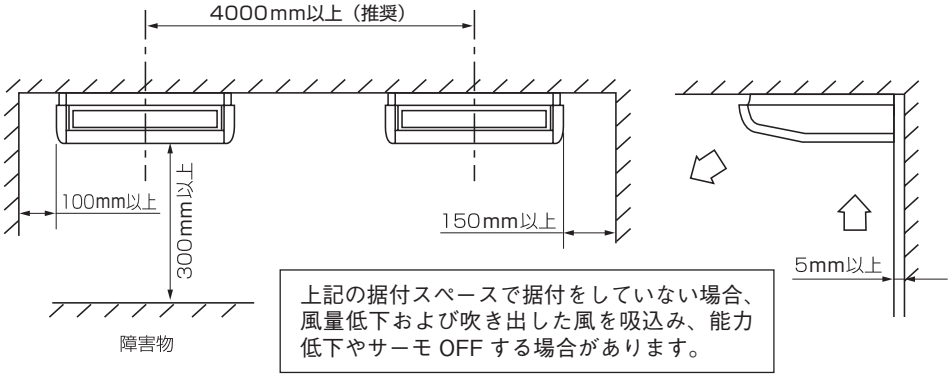
本体吊り込み用		冷媒配管用			ドレン配管用					吸込みグリル用
平座金（M10）	型紙	パイプカバー（大）	パイプカバー（小）	バンド	ドレンホース（クランプつき）	ホースクランプ	固定金具	ねじ	断熱材	ねじ
										
8個	1個	1個	1個	4本	1個	1個	1個	2個	1個	4個
室内ユニット吊り下げ用	室内ユニット吊り込み調整用	ガス管断熱用	液管断熱用	パイプカバー固定用	ドレン配管接続用	ドレンホース取付用	ドレンホース固定用	固定金具取付用	ドレンホース断熱用	グリル固定用



②室内ユニットの据付場所の選定

①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
・冷風または温風が十分に行きわたる所。据付高さが３ｍを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
・人感センサ搭載の場合据付高さは4m以内としてください。センサ感度が鈍くなり、検知しにくくなります。
・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
・侵入外気の影響のない所。　・直射日光の当たらない所。
・周囲の露点温度が 28℃以下、相対湿度 80% 以下の所。
［本室内ユニットはJIS露付条件（室内：27℃/78%RH）にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、室内ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、室内ユニットの全ておよび配管、ドレン配管にさらに10～20mmの断熱材を取付けてください。］
・テレビ、ラジオより 1m 以上離れた所。(映像の乱れや雑音が生じることがあります。)
・室内ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバー、医療機器等濡れて困るものを置かない所。
・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
・フライヤーの真上など油・粉・蒸気等を直接、吸込まない所。
・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。
　ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。
②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット落下により、ケガの原因になります。
③ワイヤレス機種を２台以上据付ける場合は、混信による誤動作を防止するため室内ユニット間を6m以上離してください。
④室内ユニットを隣接して設置する場合は、室内ユニット間距離は４m以上を推奨します。

室内ユニット据付スペース



③据付前の準備

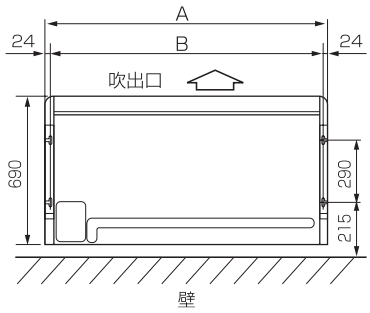
●吊りボルト長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
　○システム天井（グリッド天井・ライン天井）の場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）５００mm以上または天井ふところ高さ７００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
　○強度が充分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）１０００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
●吊りボルト・ナット・バネ座金（Ｍ１０）を４組現地にて手配してください。

天井開口穴・吊りボルトピッチ・各配管の位置

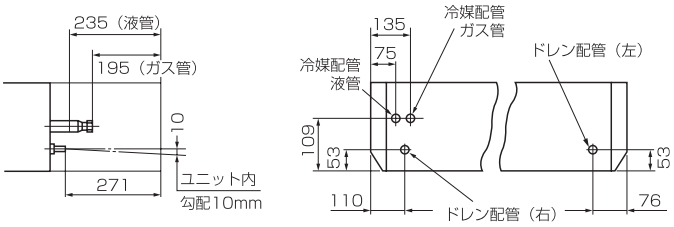
天井開口穴・吊りボルトピッチ

〔mm〕

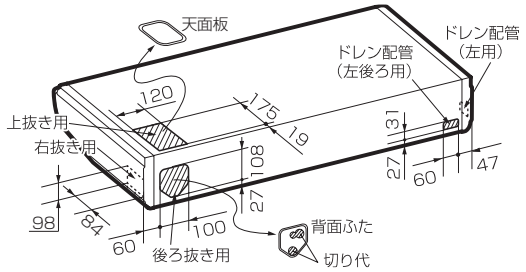
店舗	40～56型	63～80型	112～160型
ビル空調 ガスヒートポンプ	36～56型	71～90型	112～160型
A	1070	1320	1620
B	1022	1272	1572



冷媒配管位置



配管取出し位置



※配管取出しは３方向（後ろ・右・上）より行えます。
・穴はニッパ等により切り落としてください。
・背面ふたは切り代にしたがって配管取出し穴を切り抜いてください。
・上取出しの場合は、天面板を取外してください。
・右取出しの場合は、サイドパネル内側の溝に沿って切抜いてください。
・配管・配線の据付後、埃などが侵入しないよう、隙間をパテなどで塞いでください。

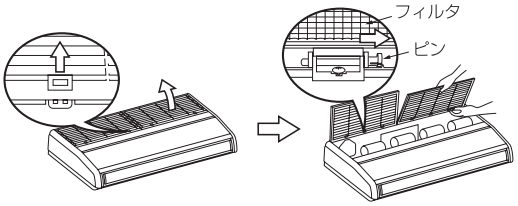
室内ユニット内への埃の侵入およびエッジ部での配線損傷防止のため、背面・天面ふたは、必ず取付けてください。右取出しの場合、切抜部は、バリ等取除いてください。

室内ユニットの搬入、据付

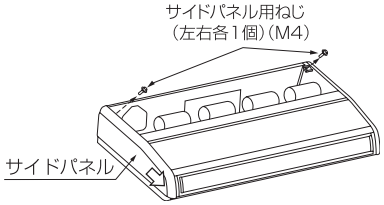
●搬入時はできるだけ据付現場の近くまで梱包のまま搬入してください。
●開梱して搬入する場合は、ナイロンスリングなどで包み、室内ユニットを傷つけないよう注意してください。
　※サイドパネル、吹出ルーバ等、プラスチック部分を持たないでください。
●開梱後室内ユニットをおく場合は、必ず吸込グリル側を上にして置いてください。

吊り込み前の準備

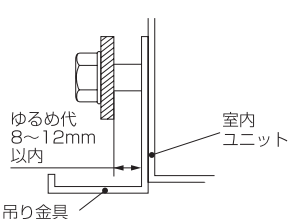
1．吸込グリルの取外し
　ストッパーをスライドさせ、ピンを抜いてください。

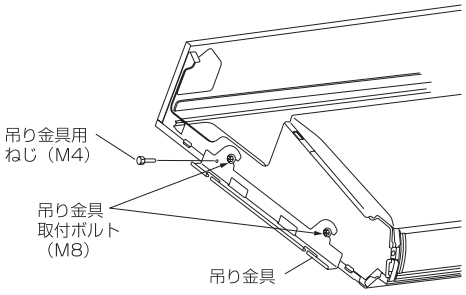


2．サイドパネルの取外し
　ねじを外し、矢印方向にスライドさせてください。



3．吊り金具の取外し
　ねじを外し、取付ボルトをゆるめてください。

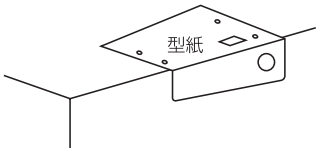




④室内ユニットの据付

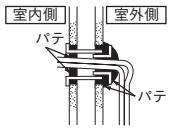
作業手順

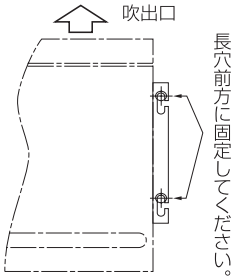
1．吊りボルト位置、配管位置を選定してください。
⑴ 付属の型紙を目安にして、吊りボルト位置、配管穴位置を選定し、吊りボルトと配管用の穴あけを行ってください。
※注意：位置決定は、実測により行ってください。
⑵ 位置決定後、型紙は取外してください。
2．所定の位置に吊りボルトを設置してください。
3．吊りボルトは４本使用してください。
4．吊りボルト長さは下図の寸法を厳守ください。
5．吊り金具を吊りボルトに固定してください。

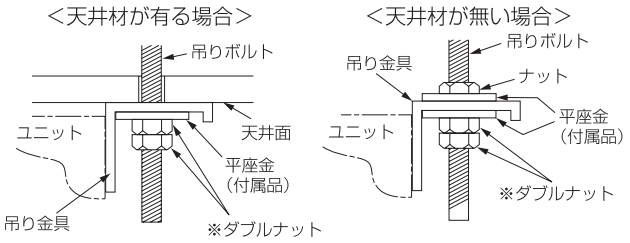


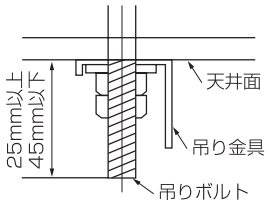
⚠警告
壁穴をパテで完全にシールしてください。
（ホコリ・昆虫・小動物・高湿度の外気が室内機内に流入し、火災の原因になることがあります。）

⚠注意
壁穴をパテで完全にシールしてください。
（水漏れ・露たれし、家財等を濡らす原因になることがあります。）



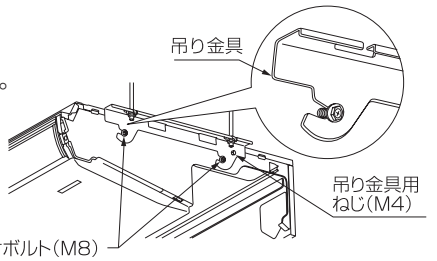




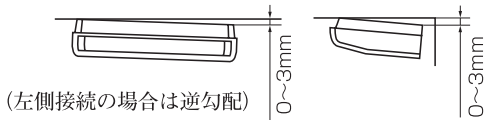


※ダブルナットで確実に固定してください。

6．室内ユニットを金具に据付けてください。（右図参照）
⑴ 吊り金具前方より、室内ユニットをスライドさせ、ボルトを引っかけてください。
⑵ 取付ボルト（M8）を左右４箇所確実に締付けてください。
⑶ ねじ（M4）を左右２箇所締付けてください。
⚠警告：サイドパネルは前から後方へ向け引っかけた後、本体に確実にねじ止めしてください。
ねじ止めされない場合、本体が落下し、ケガの原因になります。



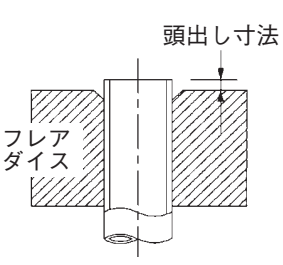
※ドレン水を流れやすくするために室内ユニットを排水側に下り勾配を設け、据付けてください。
⚠注意：逆勾配にすると水が漏れる恐れがあります。

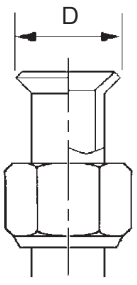


⑤冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは、製品付属のもの（JIS B 8607 2種適合品）をご使用ください。他のフレアナット（1種）を使用すると冷媒漏れの原因となります。
既設配管再利用の可否および洗浄方法については、室外ユニットの据付説明書またはカタログ・技術資料で確認してください。
1) 再利用する場合、フレアナットは流用せずユニットに付属のもの（JIS B 8607 2種適合品）を使用してください。
2) 再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R32用またはR410A用のフレア加工をしてください。





配管径 d mm	配管の最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアナット締付トルク N·m
		リジッド（クラッチ式）			
		R32用 R410A 用	従来ツール		
6.35	0.8	0～0.5	0.7～1.3	8.9～9.1	14～18
9.52	0.8			12.8～13.2	34～42
12.7	0.8			16.2～16.6	49～61
15.88	1			19.3～19.7	68～82
19.05	1.2			23.6～24.0	100～120

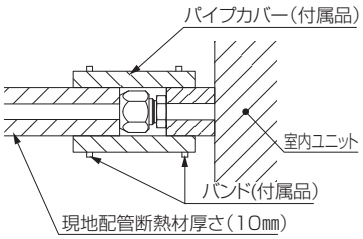
⑤冷媒配管の続き

●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（Ｃ１２２０Ｔ、ＪＩＳ Ｈ ３３００）をご使用ください。
また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。
冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。
●**ＲＳ２またはＲ４１０Ａ以外の冷媒は使用しないでください。**
室外ユニット表示以外の冷媒を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。
また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。
●**据付に使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。**
冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。
●**工具はＲ３２用またはＲ４１０Ａ用の工具を使用してください。**

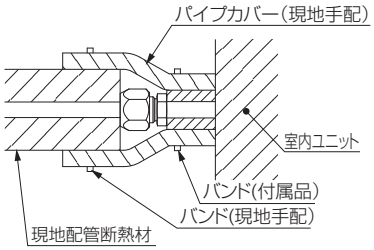
作業手順

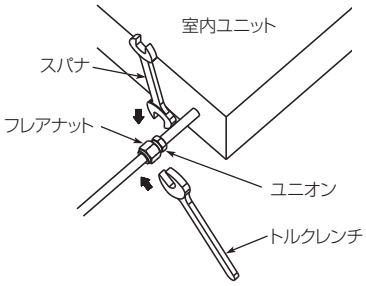
1．室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取外してください。
※室内ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで２丁掛けして外してください。
（このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。）
●**フレアナット飛びに注意してください。**
（内部に圧力がかかっている場合があります。）
2．液管・ガス管をフレア加工し、右図に示すように冷媒配管を接続してください。
・後ろ・上取出しの場合は、配管は⑦の電気配線と一緒にして、付属のふたを通して取付けてください。
・埃などが侵入しないよう、隙間をパテなどで塞いでください。
※配管の曲げは４Ｄ以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。
また配管をねじったり、2/3D以下につぶしたりしないでください。
※フレア接続は、以下のように行ってください。
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで３～４回転ねじ込み、２丁スパナ掛けで左表の締付力で締めてください。
3．室内ユニットのフレア部はガス漏れチェック後、右図に示すように断熱材をかぶせ、バンドでしっかりと締付けてください。
●**ガス側配管・液側配管ともに断熱は完全に行ってください。**
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
●**ガス側配管の断熱材は耐熱120℃以上のものを使用してください。**
●**高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。**
強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。
4．冷媒は室外ユニットに充填されています。
室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

〈断熱材厚さ10㎜を使用する場合〉

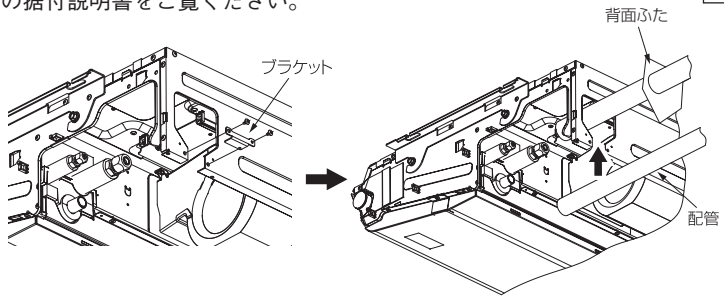


〈断熱材を強化する場合〉



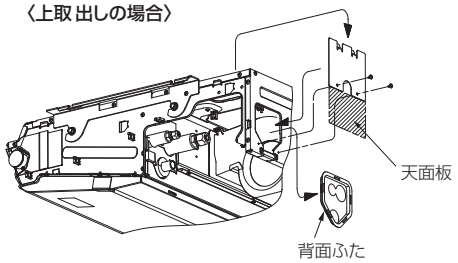


注意
同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、またはフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しない。
冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとすること。



配管取出しは、後、右、上の３方向より行えます。
後ろ配管の場合、ブラケットを取外すと作業が容易になります。
※配管作業終了後、ブラケットを元通り取付けてください。

〈上取出しの場合〉



1．天面板を取外してください。
2．天面板の斜線部をカットしてください。
3．天面板を背面ふたとして取付けてください。

⑥ドレン配管

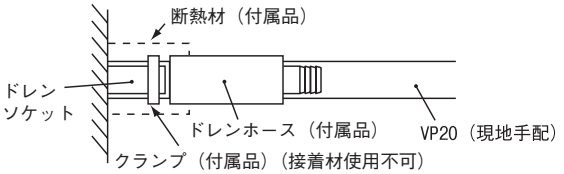
●ドレン配管の取出方向は、後向き、右向き、左向きがあります。

ドレン配管時の注意事項

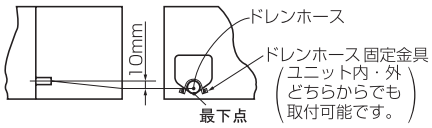
●**ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。**
不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
●**ドレン配管はイオウ系ガス等有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。**
室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
●**接続部から水漏れのないように確実に施工してください。**
●**水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。**
●**施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。**
●**ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。試運転時に排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。**

⑥ドレン配管の続き

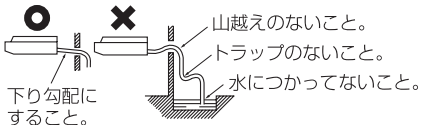
作業手順



1．付属のドレンホースを本体ドレンソケットの根元まで差込み、付属のクランプで確実に締付けてください。　（接着剤使用不可）
　※ドレン配管を左側にて行う場合、本体の左側配管接続口に付いているゴム栓と断熱材（筒状）を右側接続口に付け替えてください。
　⚠注意：ドレンプラグを外す時には、水の飛び出しに注意してください。
2．ドレンホースを付属の金具で最下点にて固定してください。
　※ドレンホースはたるまないように固定し、右図のように１０mmの勾配をつけてください。
　●電気配線がドレンホースの下に入り込まないようにしてください。
　⚠注意：ドレンホースは必ず金具で固定してください。
　ドレン水がオーバーフローする恐れがあります。



3．ドレンホースにＶＰ２０（現地手配）を接続してください。
　（接着剤使用不可）
　※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管ＶＰ２０を使用してください。
4．ドレン配管は下り勾配（1／１００以上）とし、途中山越えやトラップを作らないように施工してください。
　●エア抜きは絶対に設けないでください。



5．ドレン配管の断熱施工を行ってください。
　●ドレンホースクランプは付属の断熱材を使用して断熱してください。
　●高湿度の環境で使用する等、ドレン配管に結露する恐れがある場合は、ドレン配管に断熱材を追加する等結露に対する配慮をしてください。

ドレン排水テスト

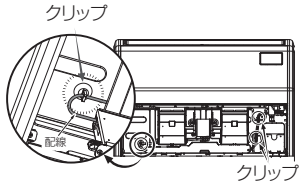
●ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていることと、水漏れのないことを確認してください。
●暖房期の据付の際にも必ず実施してください。

⑦電気配線取出位置および電気配線接続

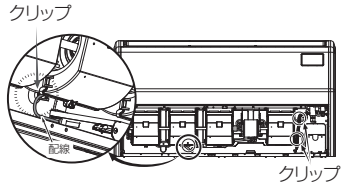
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
●配線は、所定のケーブルを使用して接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。
●電源線と信号線は同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
●Ｄ種設置工事を必ず行ってください。
●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。
1．配線をクリップから外してください。
2．制御箱 (ねじ① 2本) を取外してください。
3．制御箱をブラケットの溝に沿ってスライドさせ引き出してください。（Ⓐ→Ⓑの方向）
4．制御箱のふた (ねじ② 2本) を取外してください。
5．各配線を室内ユニット内に入れ、端子台に接続してください。
6．各配線を電源線クランプで固定してください。
7．制御箱のふた (ねじ② 2本) を取付けてください。
8．制御箱をブラケットの溝に沿ってスライドさせ（Ⓑ→Ⓐの方向）、制御箱を元の位置へ戻してください。
9．取外した部品を元通りに取付けてください。
※1 工場出荷時、ワイヤレスキット（オプション）・人感センサキット（オプション）の受信部用配線が接続されています。
　ワイヤレスキット、人感センサキットの取付方法は、キット付属の据付説明書を確認してください。
　ワイヤードリモコン接続時は外す必要はありません。
　ワイヤード／ワイヤレスを併用する場合はリモコンの親子設定が必要となります。

1.

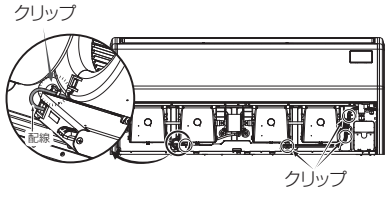
FDE(小)



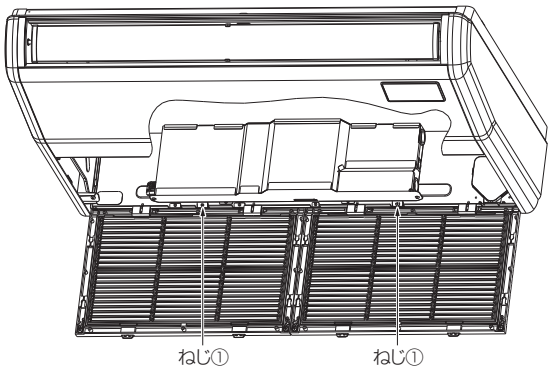
FDE(中)



FDE(大)

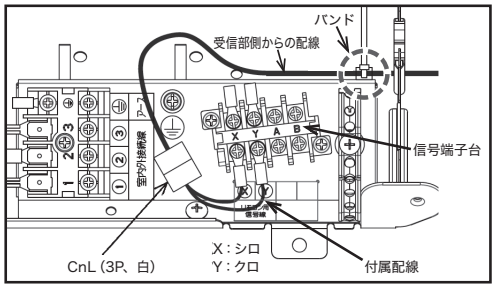


2.



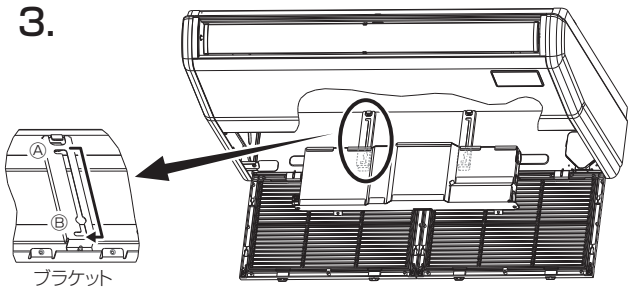
お願い

スーパリンクアダプタ取付の際は、受診部側からの配線を固定しているバンドを取外してください。

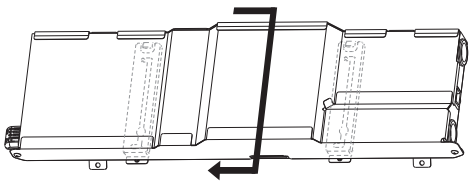


⑦電気配線取出位置および電気配線接続の続き

3.

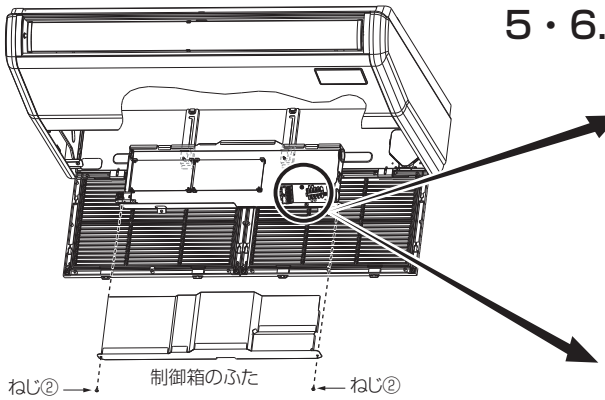


制御箱のスライド方法



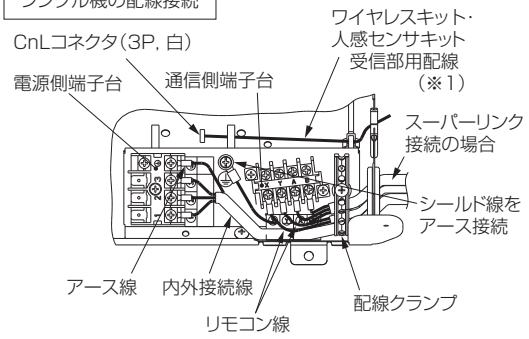
※制御箱を引き出す前に配線をクリップから外してください。

4.

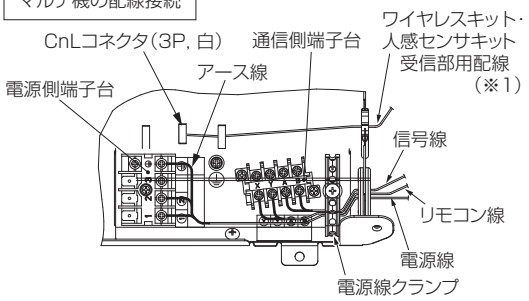


5・6.

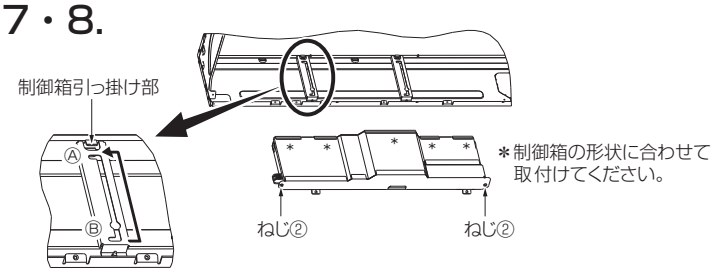
シングル機の配線接続



マルチ機の配線接続



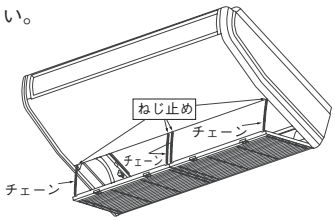
7・8.

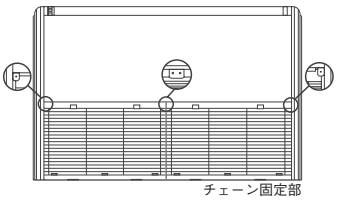


⑧吸込グリルの固定

●電気配線工事完了後、吸込グリルを固定してください。

1．吸込グリルに固定されているチェーンを、
付属のねじで室内ユニット本体に取付け、
吸込グリルを閉じてください。





⑨室内ユニット据付工事完了後のチェック項目

●室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様どおりですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

⑩店舗シリーズ機種容量統合機の場合

室外ユニットとの組合せにより下表の通り室内ユニット容量が自動認識されます。機種名銘板の機種容量に○印を付けてください。

室内ユニット	室内ユニット１台接続									２台接続						３台接続	
室外ユニット	40	45	50	56	63	80	112	140	160	80	112	140	160	224	280	160	224
FDEZP56	P40	P45	P50	P56						P40						P50	
FDEZP63					P63						P56						
FDEZP80						P80						P71	P80				P80
FDEZP160							P112	P140	P160					P112	P140		

PHA012D046

(g) 壁掛形（FDK）

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。
電気配線（室内ユニット）は、電気配線工事説明書をご覧ください。
リモコンの取付方法は、リモコン付属の説明書をご覧ください。
ワイヤレスキットの取付方法は、ワイヤレスキット付属の説明書をご覧ください。
室外ユニットの据付方法、電気配線（室外ユニット）および冷媒配管工事方法は、室外ユニットの付属の説明書をご覧ください。
また、故障診断は、室内ユニットの結線銘板をご覧ください。本室内ユニットは必ずパネルを取付けてご使用ください。
この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また海外においてはアフターサービスもできません。

安全上のご注意

●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、⚠警告、⚠注意、に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に⚠警告の欄にまとめて記載しています。しかし、⚠注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 ⃠ 絶対に行わない | 必ず指示に従い行う
●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など）をお客様に説明してください。
この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、室内ユニット落下によるケガの原因になります。	❗
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があると破裂・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。	❗
●小部屋に据付ける場合は万一冷媒が漏れても、限界濃度を超えない対策をする。(JRA GL-13) 限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。	❗
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、室内ユニット落下、水漏れ、火災、感電などの原因になります。	❗
●作業中に冷媒が漏れた場合は換気をする。 冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	❗
●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。 強度が不足している場合は、室内ユニットの落下などにより、ケガの原因になります。	❗
●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。 据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。	❗
●室内ユニットの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒以外の空気などを入れない。 空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	⃠
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。	❗
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。	❗
●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。 カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。	❗
●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。 冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	❗
●配管、フレアナット、工具は R32 用または R410A 用を使用する。 既存（R22）の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。	❗
●フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締付ける。 フレアナットの締付過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。	❗
●ドレン配管はイオウ系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接入れない。 室内に有毒ガスが侵入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また、室内ユニットを腐食させ、故障や冷媒漏れの原因になります。	⃠
●据付作業では圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取付ける。 冷媒配管を取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	❗
●ポンプダウン作業では、サービスバルブを閉じた後配管を外す前に圧縮機を停止する。 圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管をはずすと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	❗
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	❗
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	⃠
●エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。 据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	❗
●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。 点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。	❗
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。	⃠
●元電源を切った後に電気工事を行う。 感電、故障や動作不良の原因になります。	❗

⚠注意

●アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。

●漏電しゃ断器は必ず取付ける。
漏電しゃ断器が取付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。

●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋Ｂ種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。
万一ガスが室内ユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

●腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある所、揮発性引火物を取扱う所での据付、使用は行わない。
熱交の腐食、プラスチック部品の破損などの原因になることがあります。また可燃性ガスは発火の原因になることがあります。

●工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。

●洗濯室など、水の掛かる所では使用しない。
室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。水が掛かると感電、火災などの原因になることがあります。

●食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。
保存物の品質低下などの原因になることがあります。

●病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器、高周波の発生する機器の近くでは据付､使用しない。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。

●直射日光の当たる所にリモコンを設置しない。
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。

●次の場所への据付は避ける。
・可燃性ガスの漏れる恐れがある所
・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、機器に影響する物質の発生する所
・油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場など）
・高周波を発生する機械を使用する所
・海浜地区等塩分の多い所
・煙突の煙がかかる所
・カーボン繊維や金属粉、パウダーなどが浮遊する所
・車両・船舶等移動するものへの設置
・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所
・積雪の多い所
・標高１０００m以上の所
性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したりする原因になることがあります。

●次の場所への室内ユニットの据付は避ける。（機種により異なる制限があるので、その指示に従うこと）。
・吸込口、吹出口に風の障害物がある所
・強度が不十分で振動が発生する所
・ワイヤレス機の場合、受光部に直接太陽光や強い光が当たる所
・高周波に影響される機器のある所（TV およびラジオ等の近傍）
・ドレンの排水がとれない所
性能や機能等に影響をおよぼす原因になります。
人感センサ搭載パネルは次のような場所への設置はしないでください。誤検知・検知不能・特性劣化を招く恐れがあります。
・長時間振動が加わる状態
・静電気や強い電磁波のある場所
・長時間高温、多湿になる場所
・塵埃の多い場所、レンズ面に汚れおよび損傷を与える恐れのある場所

●エアコンの下部には、濡れて困るものは置かない。
湿度が 80% 以上の時や、ドレン排水が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じることがあります。

●長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。
傷んだ状態で放置すると室内ユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。

●室内ユニット近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、室内ユニット内へのスパッタの侵入を防止する。
溶接作業時などに発生するスパッタが室内ユニットにあたった場合、ドレンパンなどに損傷（ピンホール）をあたえ、水漏れなどの原因になることがあります。室内ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため梱包状態のままとしておくか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。

●ＧＨＰ〔ガスヒートポンプ〕の場合、室外ユニットの排気ドレン管と室内ユニットの排水ドレン管は共用しない。
室内に有毒ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。

●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因となることがあります。

●ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。

●冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たれなどを発生し、天井･床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。

●室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所に設置しない。
小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。
また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。

●製品の運搬は十分注意して行う。
20kg 以上の製品は原則として２人以上で行ってください。PP バンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。
素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

●梱包材の処理は確実に行う。
梱包材にクギなどの金属あるいは、木片などを使用していますので放置状態にしますとケガをすることがあります。

●フィルタをはずしたまま運転しない。
内部に油・ゴミなどが詰まり、故障の原因になることがあります。

●濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。

●運転中の冷媒配管を素手で触れない。
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになることがあります。

●エアコンを水洗いしない。
感電の原因になることがあります。

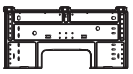
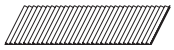
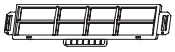
●運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず５分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。

●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

①据付の前に

●据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
●次の項目を確認してください。
　○機種・電源仕様　　○配管・配線・小物部品　　○付属品

据付関係

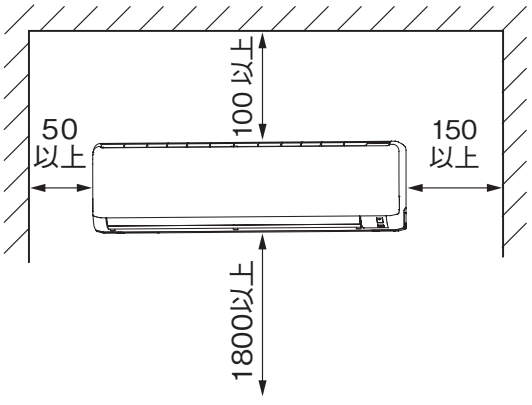
1	据付板		1個	室内ユニット裏面に付属
2	タッピンねじ		10個	据付板用　径 4mm ×長さ 25mm
3	インシュレーション		1個	断熱用　50mm × 100mm
4	空気清浄フィルタ		2個	付属品
5	フィルタホルダー		2個	付属品

②室内ユニットの据付場所の選定

①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
・冷風または温風が十分に行きわたる所。据付高さが３ｍを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
・人感センサを取付ける場合据付高さは 4m 以内としてください。センサ感度が鈍くなり、検知しにくくなります。
・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
・侵入外気の影響のない所。
・直射日光の当たらない所。
・周囲の露点温度が２３℃以下、相対湿度８０％以下の所。
〔本室内ユニットはJIS露付条件（室内：27℃/78%RH）にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、室内ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、室内ユニットの全ておよび配管、ドレン配管にさらに１０～２０ｍｍの断熱材を取付けてください。〕
・テレビ、ラジオより１ｍ以上離れた所。（映像の乱れや雑音が生じることがあります。）
・室内ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバー、医療機器等濡れて困るものを置かない所。
・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
・フライヤーの真上など油・粉・蒸気等を直接吸込まない所。
・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。
　ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。
②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット落下によるケガの原因になります。
③ワイヤレス機種を２台以上据付ける場合は、混信による誤動作を防止するため室内ユニット間を６ｍ以上離してください。

室内ユニット据付スペース

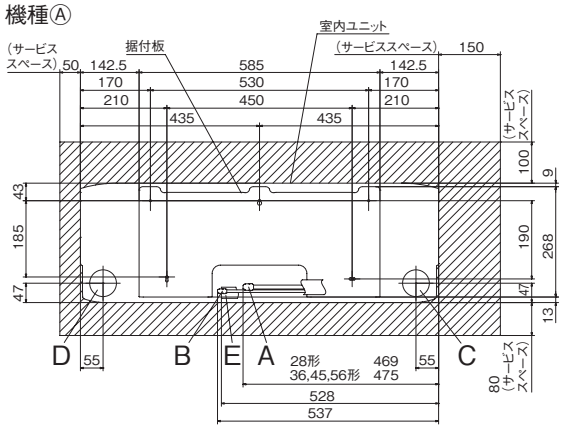
単位：〔mm〕



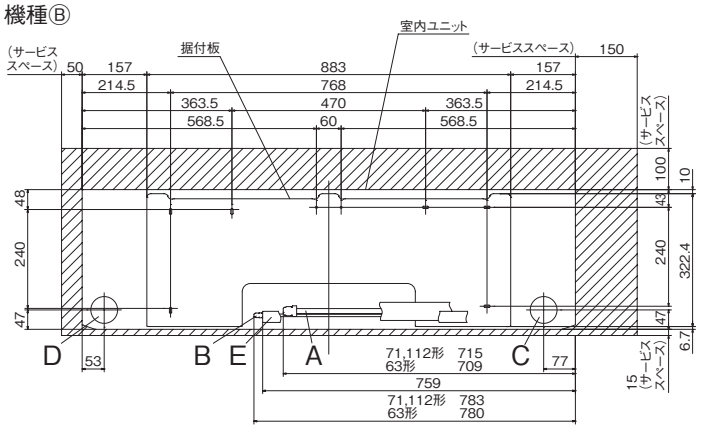
お願い
●点検、メンテナンス作業のため
　スペースを確保してください。

③据付前の準備

機種Ⓐ



機種Ⓑ



正面から見た据付位置図および据付スペース　　単位：〔mm〕

機種Ⓐ：店舗シリーズ 56 形／ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ 28 ～ 56 形
機種Ⓑ：店舗シリーズ 63，112 形／ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ 71 形

記号		記号	
A	ガス側配管	D	左配管後方抜壁穴
B	液側配管	E	ドレンホース
C	右配管後方抜壁穴		

④室内ユニットの据付

搬　入

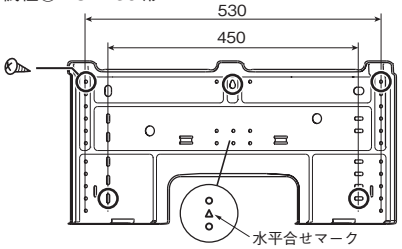
お願い
- ●搬入時は、できるだけ据付現場の近くまで梱包のまま搬入してください。
- ●やむをえず解梱して搬入する場合は、ナイロンスリングなどで包み室内ユニットを傷つけないように注意してください。
  注）吹出ルーバ部分を持たないでください。
- ●解梱後室内ユニットを置く場合は、必ず室内ユニットの前面側を上にしておいてください。

据付板の取付

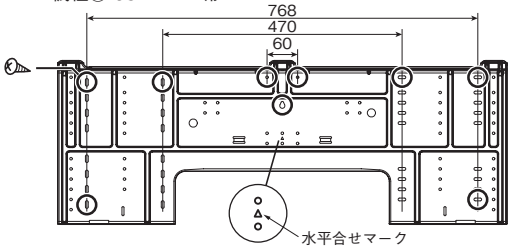
お願い
- ●この室内ユニットを直接壁面等に据付けることはできません。
  いずれの場所に据付ける場合にも**必ず付属の据付板を使って据付けてください。**

○据付板の水平調節は 5 ～ 9 本のねじを仮締めした状態で行います。

機種Ⓐ 28 ～ 56 形

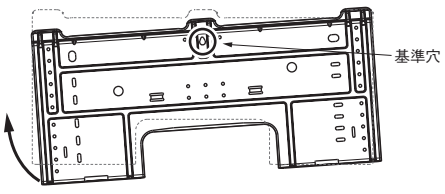


機種Ⓑ 63 ～ 112 形

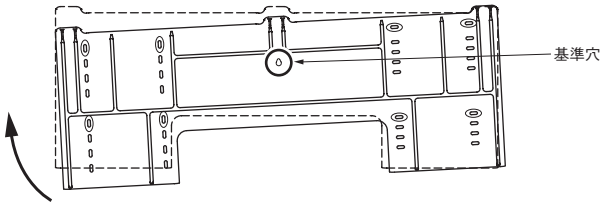


○壁内の構造物（間柱など）をさがして水平を確認してから強固に取付けてください。

機種Ⓐ 28 ～ 56 形



機種Ⓑ 63 ～ 112 形

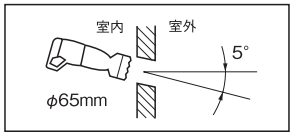


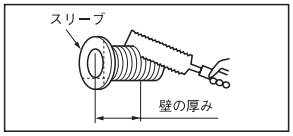
○基準穴を中心に回転し水平になるよう調節します。

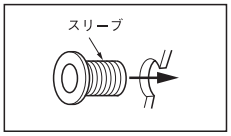
④室内ユニット据付のつづき

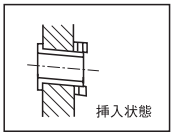
壁の穴孔け要領

●接続配線が壁の中のラスメタルなどに接触して危険が生じる場合がありますのでスリーブは必ず使用してください。
●左後抜き配管の場合、スリーブのツバが本体よりはみ出る場合がありますので、その場合はツバを切断してください。







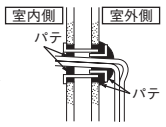


●φ65のホールコアドリルで穴あけをします。

●右後抜き配管の場合はスリーブのツバの下部および右側薄肉部を切りとります。（破線指示箇所）

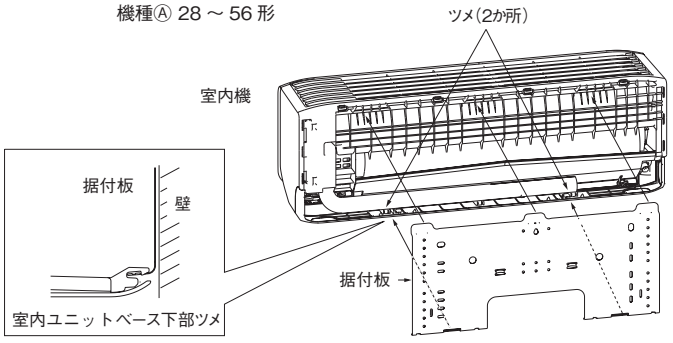
⚠警告
壁穴をパテで完全にシールしてください。（ホコリ・昆虫・小動物・高湿度の外気が室内ユニット内に流入し、火災の原因になることがあります。）

⚠注意
壁穴をパテで完全にシールしてください。（水漏れ・露たれし、家具等を濡らす原因になることがあります。）

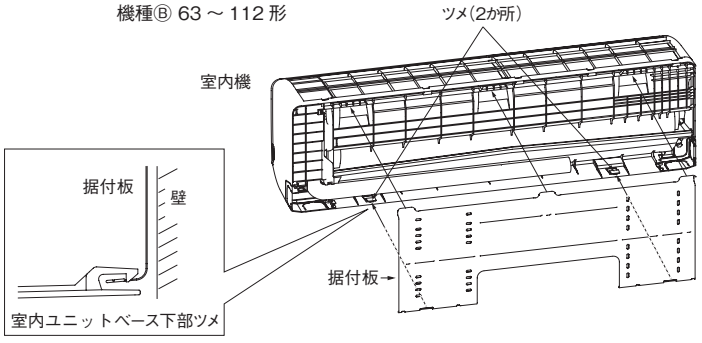


室内ユニットの据付

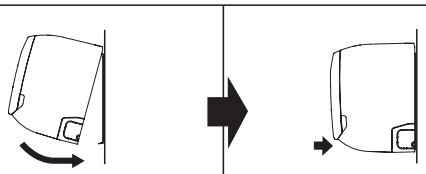
機種Ⓐ 28 ～ 56 形



機種Ⓑ 63 ～ 112 形



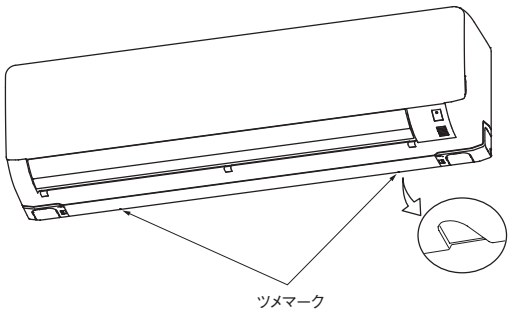
据付作業手順



①据付板に室内ユニット上部を引っ掛ける。

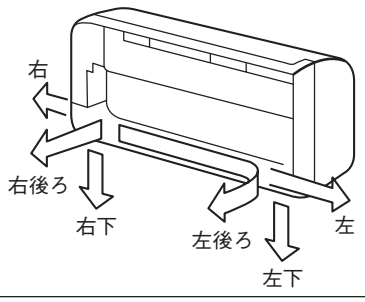
②室内ユニット下部を軽く押せばワンタッチで固定できます。

●室内ユニットを据付板から取外す場合
室内ユニットベース下部ツメ位置マーク部を指で上方向に押しながら､室内ユニット下部両端を引上げてください。室内ユニットベース下部ツメが据付板から外れます。

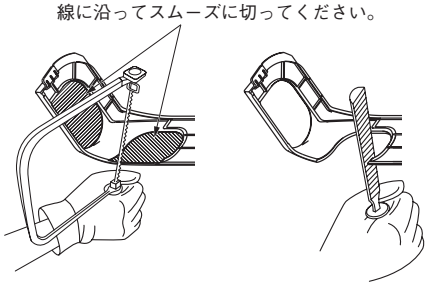


⑤配管・ドレンホースの整形

配管は、後ろ、左、左後ろ、右、下から取出せます。



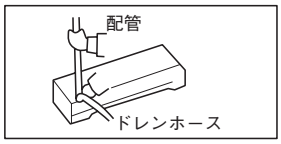
横または下部に配管する場合は、パネルを線に沿ってスムーズに切ってください。



⑤配管・ドレンホースの整形のつづき

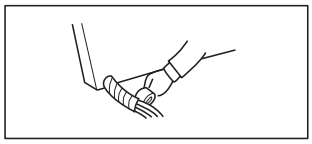
〈後ろ取出しの場合〉

○配管の整形



●配管の根元を押さえ向きを変えてから延ばし整形する

○テープ巻き



●壁穴を通す長さ分だけテープ巻きしてください。
●塗り配線は必ず配管とテーピングしてください。
●テープ巻きの際，ドレンホースが引っ張られないように注意してください。

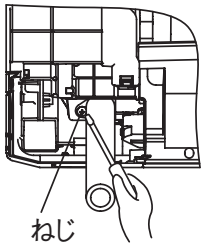
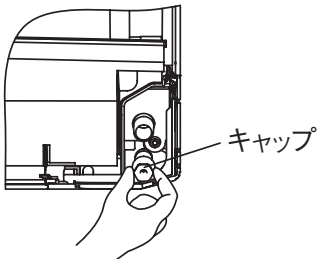
配管の整形後テープ巻きを行う前に接続電線が端子台にしっかり固定されていることを確認してください。

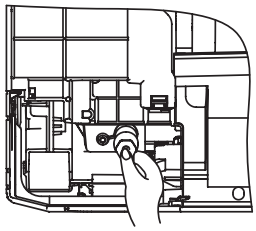
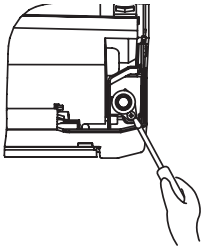
〈左取出し・後ろ取出し時の注意事項〉

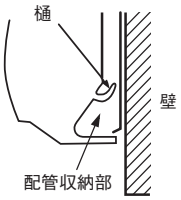
〈上から見たところ〉

左引き配管時	右引き配管時

〈ドレンホース付替え作業手順〉

1．ドレンホースを外します。	2．ドレンキャップを外します。
	
●ドレンホース固定用ねじを外しドレンホースを回転させながら外してください。	●手または、ペンチ等で外してください。

3．ドレンキャップを差込みます。	4．ドレンホースを接続します。
	
●2. で外したドレンキャップを六角レンチ等をもちいて確実に差込んでください。 注: 確実に差込まれていないと水漏れの原因になりますのでご注意ください。	●ドレンホースを回転させながら確実に差込んだあと、固定用ねじを取りつけてください。 注: 確実に差込まれていないと水漏れの原因になりますのでご注意ください。

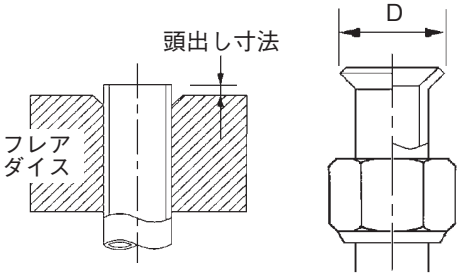


このエアコンは背面についた露をドレンパンに集めて排水する構造になっていますので、樋より上方に電源コード等を収納しないでください。

⑥冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは、製品付属のもの（JIS B 8607 2種適合品）をご使用ください。他のフレアナット（1種）を使用すると冷媒漏れの原因となります。
既設配管再利用の可否および洗浄方法については、室外ユニットの据付説明書またはカタログ・技術資料で確認してください。
1）再利用する場合、フレアナットは流用せず室内ユニットに付属のもの又はJIS B 8607 2種適合品を使用してください。
2）再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R32用またはR410A用のフレア加工をしてください。



配管径 d mm	配管の最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm リジッド（クラッチ式） R32用 R410A用	従来ツール	フレア外径 D mm	フレアナット締付トルク N·m
6.35	0.8	0～0.5	0.7～1.3	8.9～9.1	14～18
9.52	0.8			12.8～13.2	34～42
12.7	0.8			16.2～16.6	49～61
15.88	1			19.3～19.7	68～82
19.05	1.2			23.6～24.0	100～120

●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（Ｃ１２２０Ｔ、ＪＩＳ Ｈ ３３００）をご使用ください。
また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。
冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。

●指定冷媒以外は使用しないでください。
指定冷媒以外を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。指定冷媒は室外ユニットの形式ラベルをご覧ください。

●据付に使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。
冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。

●工具はＲ３２用またはＲ４１０Ａ用の工具を使用してください。

作業手順

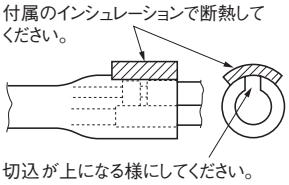
1．室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取外してください。
※室内ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛けして外してください。
（このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。）
●フレアナット飛びに注意してください。（内部に圧力がかかっている場合があります。）

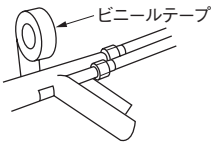
2．液管・ガス管をフレア加工し、冷媒配管を接続してください。
※配管の曲げは４Ｄ以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。また配管をねじったり、2/3D以下につぶしたりしないでください。
※フレア接続は、以下のように行ってください。
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで３～４回転ねじ込み、２丁スパナ掛けで上表の締付力で締めてください。

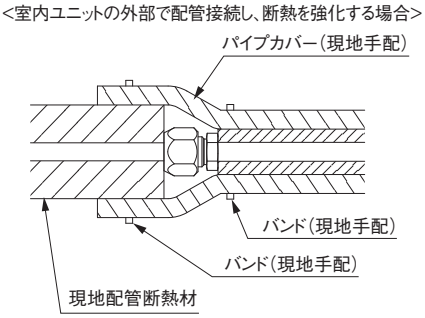
3．室内ユニットのフレア部は、ガス漏れチェック後、下図に示すように室内ユニットの断熱材で覆い、付属のインシュレーションで切込部を断熱してからテーピングしてください。
●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
●ガス側配管の断熱材は耐熱120℃以上のものを使用してください。
●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。

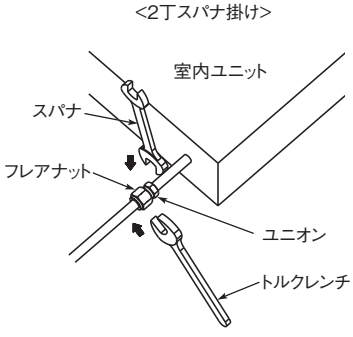
4．冷媒は室外ユニットに充填されています。
室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

注意
同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、またはフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しません。
冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとしてください。









⑦ドレン配管

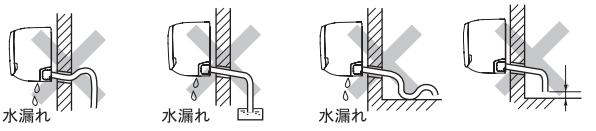
ドレン配管時の注意事項

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
●ドレン配管はイオウ系ガス等有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。
室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
●施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。
●ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。
試運転時に排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

1．ドレン配管は、ドレンホース先端に硬質塩ビパイプ一般管ＶＰ１６が接続可能です。
2．ドレン配管は**ドレン水が流れやすいように下り勾配にし、**配管途中に**トラップをつくったり山越え配管をしないように**してください。
（左、右、後ろ、下方向に取出し可能）
室内に施工の硬質塩ビパイプ（VP16）は確実に断熱してください。
3．熱交換器の下のドレンパンに水を注ぎ室外へ排水されることを確認してください。（前面パネルの取付・取外しについては本説明書 **⑩電気配線取出位置および電気配線接続** をご覧ください。）

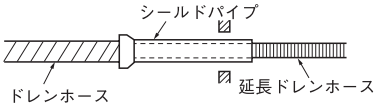
ドレン排水について

●ドレンホースは必ず下り勾配を付けてください。
●次のようなドレン排水は行わないでください。



高くなっている　ドレンホースの先が水につかっている　波打っている　地面とのすきまが5cm以下　ドレンホースの先が排水溝の中にある

●延長ドレンホースが室内にある場合は必ず、シールドパイプ（現地手配）を使用して確実に断熱してください。

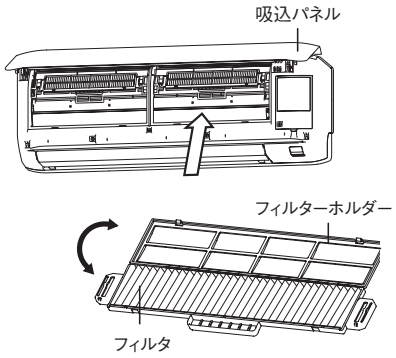


室内に露出している場合

●高気密住宅や高層マンション等に据付ける場合、または強風の影響で部屋が負圧になる場合は別売部品“エアーカットバルブ(EA455A)”をご使用ください。

⑧空気清浄フィルタの取付

下記の手順に従って室内ユニットに取付けてください。



1　吸込パネルを開け、エアフィルタを取外します。
2　付属品に同梱されている水洗いサンフィルタ（オレンジ）と酵素強力除菌フィルタ（グリーン）をフィルタホルダーに取付けます。
空気清浄フィルタ交換時は室内ユニット本体からフィルタホルダーを取外し、新しい空気清浄フィルタと取替えてください。
※酵素強力除菌フィルタはプリーツ（ひだ形状）が手前側になるように取付けてください。水洗いサンフィルタはどちらをおもてにしていただいても結構です。
3　空気清浄フィルタを取付けたフィルタホルダーをエアコン本体に取付けてください。
※水洗いサンフィルタ、酵素強力除菌フィルタは左右どちらへ装着いただいても結構です。
4　エアフィルタを取付、吸込パネルを閉じます。

⑨店舗シリーズ機種容量統合機の場合

室外ユニットとの組合せにより下表の通り室内ユニット容量が自動認識されます。機種名銘板の機種容量に○印を付けてください。

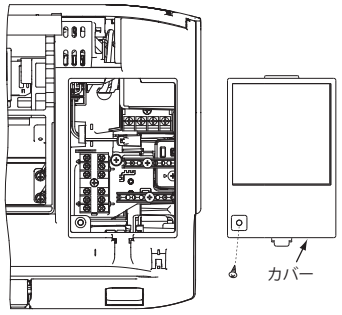
室内ユニット	室内ユニット１台接続							２台接続				３台
室外ユニット	40	45	50	56	63	80	112	80	112	140	160	160
FDKZP56	P40	P45	P50	P56				P40				P50
FDKZP63					P63				P56			
FDKZP112						P80	P112			P71	P80	

⑩電気配線取出位置および電気配線接続

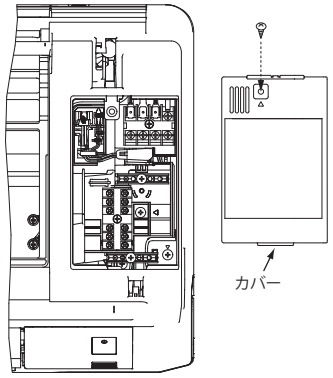
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。
●電源配線と通信配線は同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
●D種接地工事を必ず行ってください。
●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。

機種　Ⓐ：店舗シリーズ 56 形／ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ 28 ～ 56 形
　　Ⓑ：店舗シリーズ 63、112 形／ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ 71 形
①吸込パネルを手前に引上げてください。
　左右側面の凹部に手をかけ手前に引上げますと約 60 ～ 70° 開いた状態で静止します。
②カバーのねじを外して、カバーを外してください。
③各配線を端子台に確実に接続してください。
④各配線をバンドで確実に固定し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないようにしてください。
⑤カバーを取付け、ねじを締めます。
⑥吸込パネルを締めます。
　（注意）　・配線を端子台に取付けるときは、端子番号を確認してから取付けてください。

機種Ⓐ 28 ～ 56 形

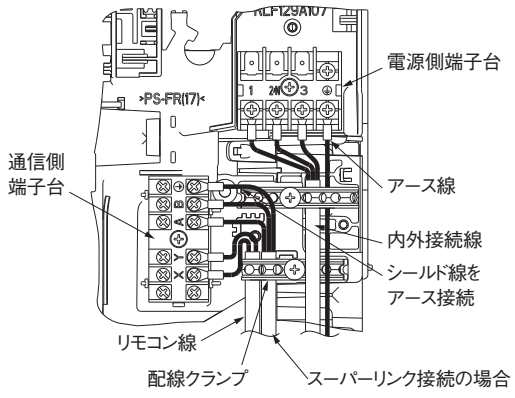


機種Ⓑ 63 ～ 112 形

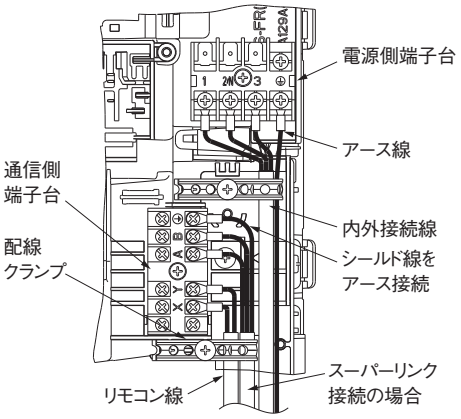


店舗シリーズ

機種Ⓐ 56形

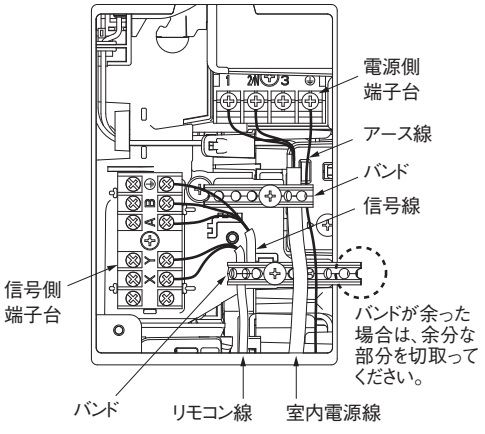


機種Ⓑ 63､112形

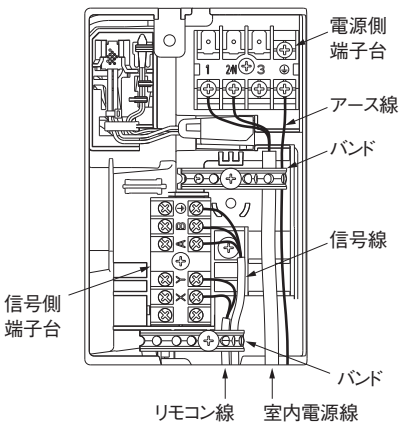


ビル空調･ガスヒートポンプシリーズ

機種Ⓐ 28～56形



機種Ⓑ 71形



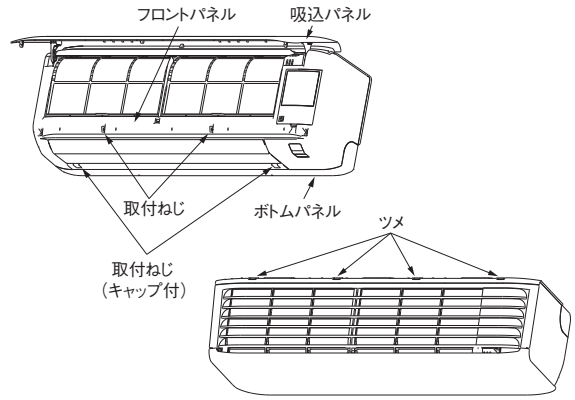
⑩電気配線取出し位置および電気配線接続のつづき

●アドレス設定

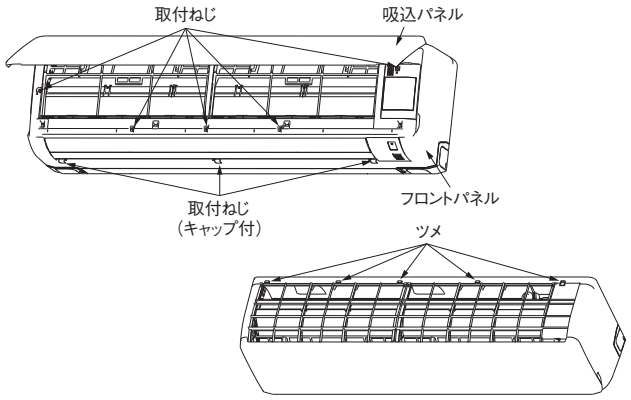
室内ユニット本体のフロントパネルと、コントロールボックスのふたを取外すことでアドレススイッチの設定が可能です。

1. フロントパネルの取外し順序
   ①吸込パネルを取外してください。
   ②ボトムパネルの取付ねじを外してください。（機種Ⓐのみ、キャップ付き）
   ③ボトムパネルの両側にあるツメ（2か所）を取外し、ボトムパネルのを取外してください。（機種Ⓐのみ）
   ④取付ねじを取外してください。（機種Ⓐ2か所、機種Ⓑ5か所・キャップ付3か所）
   ⑤上部のツメ（機種Ⓐ4か所、機種Ⓑ5か所）を外し、フロントパネルを取外してください。
2. フロントパネルの取付け順序
   ①フロントパネルを室内ユニットにかぶせ、上部のツメ（機種Ⓐ4か所、機種Ⓑ5か所）を引っ掛けてください。
   ②取付ねじを締めます。（機種Ⓐ2か所、機種Ⓑ5か所・キャップ付3か所）
   ③ボトムパネルの両側にあるツメ（2か所）を引っ掛け、ボトムパネルを取付けてください。（機種Ⓐのみ）
   ④ボトムパネルの取付ねじを締めてください。（機種Ⓐのみ、キャップ付き）
   ⑤吸込パネルを取付けてください。

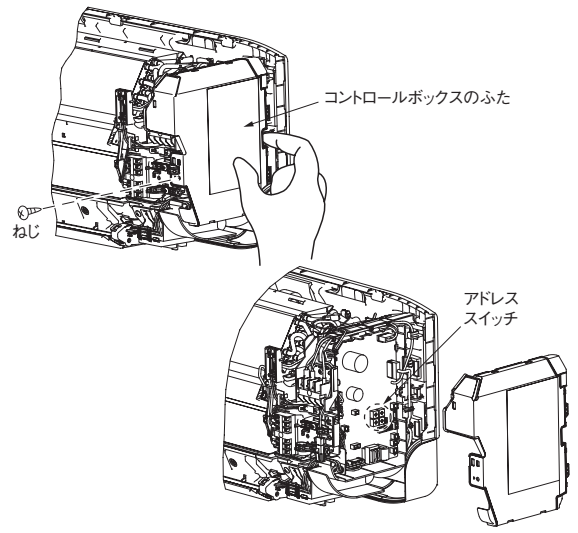
機種Ⓐ 28 ～ 56 形



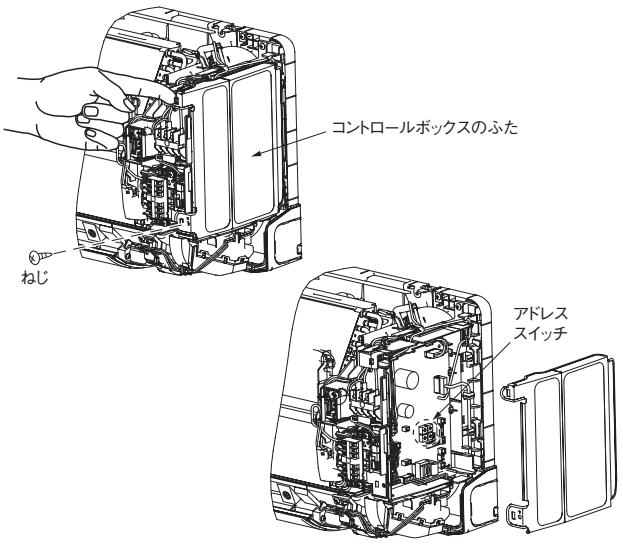
機種Ⓑ 63 ～ 112 形



機種Ⓐ 28 ～ 56 形



機種Ⓑ 63 ～ 112 形



⑪室内ユニット据付工事完了後のチェック項目

●室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は室内ユニットの銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
電線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

PGA012D413

(h) 床置形（FDF）

（i） P635SA ～ P1605SA の場合

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。
電気配線（室内ユニット）は、電気配線工事説明書をご覧ください。
リモコンの取付方法は、リモコン付属の説明書をご覧ください。
ワイヤレスキットの取付方法は、ワイヤレスキット付属の説明書をご覧ください。
室外ユニットの据付方法、電気配線（室外ユニット）および冷媒配管工事方法は、室外ユニットの付属の説明書をご覧ください。
また、故障診断は、室内ユニットの結線銘板をご覧ください。
本室内ユニットは必ずパネルを取付けてご使用ください。
この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、海外においてはアフターサービスもできません。

安全上のご注意

●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、⚠警告、⚠注意、に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に⚠警告の欄にまとめて記載しています。しかし、⚠注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 ⃠ 絶対に行わない | 必ず指示に従い行う
●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など）をお客様に説明してください。
この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、室内ユニット落下によるケガの原因になります。	❗
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があると破裂・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。	❗
●小部屋に据付ける場合は万一冷媒が漏れても、限界濃度を超えない対策をする。(JRA GL-13) 限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。	❗
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、室内ユニット落下、水漏れ、火災、感電などの原因になります。	❗
●作業中に冷媒が漏れた場合は換気をする。 冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	❗
●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。 強度が不足している場合は、室内ユニットの落下・転倒などにより、ケガの原因になります。	❗
●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。 据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。	❗
●室内ユニットの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒以外の空気などを入れない。 空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	⃠
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。	❗
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。	❗
●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。 カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。	❗
●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。 冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	❗
●配管、フレアナット、工具は R32 用または R410A 専用のものを使用する。 既存（R22）の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。	❗
●フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締付ける。 フレアナットの締付過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。	❗
●ドレン配管はイオウ系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接入れない。 室内に有毒ガスが侵入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また、室内ユニットを腐食させ、故障や冷媒漏れの原因になります。	⃠
●据付作業では圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取付ける。 冷媒配管を取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	❗
●ポンプダウン作業では、サービスバルブを閉じた後配管を外す前に圧縮機を停止する。 圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管をはずすと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	❗
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	❗
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	⃠
●エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。 据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	❗
●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。 点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。	❗
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。	⃠
●元電源を切った後に電気工事を行う。 感電、故障や動作不良の原因になります。	❗

⚠注意

●アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。

●漏電しゃ断器は必ず取付ける。
漏電しゃ断器が取付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。

●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋Ｂ種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。
万一ガスが室内ユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

●腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある所、揮発性引火物を取扱う所での据付、使用は行わない。
熱交の腐食、プラスチック部品の破損などの原因になることがあります。また可燃性ガスは発火の原因になることがあります。

●工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。

●洗濯室など、水の掛かる所では使用しない。
室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。水が掛かると感電、火災などの原因になることがあります。

●食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。
保存物の品質低下などの原因になることがあります。

●病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器、高周波の発生する機器の近くでは据付、使用しない。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。

●直射日光の当たる所にリモコンを設置しない。
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。

●次の場所への据付は避ける。
・可燃性ガスの漏れる恐れがある所
・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、機器に影響する物質の発生する所
・油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場など）
・高周波を発生する機械を使用する所
・海浜地区等塩分の多い所
・煙突の煙がかかる所
・カーボン繊維や金属粉、パウダーなどが浮遊する所
・車両・船舶等移動するものへの設置
・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所
・積雪の多い所
・標高１０００m以上の所
性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したりする原因になることがあります。

●次の場所への室内機の据付は避ける。（機種により異なる制限があるので、その指示に従うこと）。
・吸込口、吹出口に風の障害物がある所
・強度が不十分で振動が発生する所
・ワイヤレス機の場合、受光部に直接太陽光や強い光が当たる所
・高周波に影響される機器のある所（TV およびラジオ等の近傍）
・ドレンの排水がとれない所
性能や機能等に影響をおよぼす原因になります。
人感センサ搭載の場合は次のような場所への設置はしないでください。誤検知・検知不能・特性劣化を招く恐れがあります。
・長時間振動が加わる状態
・静電気や強い電磁波のある場所
・長時間高温、多湿になる場所
・塵埃の多い場所、レンズ面に汚れおよび損傷を与える恐れのある場所

●室内ユニットの下部には、濡れて困るものは置かない。
湿度が 80% 以上の時や、ドレン排水が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じることがあります。

●長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。
傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。

●ユニット近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、ユニット内へのスパッタの侵入を防止する。
溶接作業時などに発生するスパッタがユニットにあたった場合、ドレンパンなどに損傷（ピンホール）をあたえ、水漏れなどの原因になることがあります。ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため梱包状態のままとしておくか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。

●ＧＨＰ〔ガスヒートポンプ〕の場合、室外ユニットの排気ドレン管と室内ユニットの排水ドレン管は共用しない。
室内に有毒ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。

●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因となることがあります。

●ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。

●冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たれなどを発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。

●室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所に設置しない。
小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。
また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。

●製品の運搬は十分注意して行う。
20kg 以上の製品は原則として２人以上で行ってください。PP バンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないで下さい。
素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

●梱包材の処理は確実に行う。
梱包材にクギなどの　　金属あるいは、木片などを使用していますので放置状態にしますとケガをすることがあります。

●フィルタをはずしたまま運転しない。
内部に油・ゴミなどが詰まり、故障の原因になることがあります。

●濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。

●運転中の冷媒配管を素手で触れない。
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになることがあります。

●エアコンを水洗いしない。
感電の原因になることがあります。

●運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず 5 分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。

●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

●電源ブレーカが入っている時は、ファンの回転に注意する。
冷媒センサが冷媒の漏えいを検知すると、ファンが自動で回転し、ケガの原因になることがあります。

●可燃性ガスを使用する環境には設置しない。
冷媒センサの誤検知により異常停止し、運転できなくなる場合があります。

●冷媒センサに水滴が付着しないよう冷媒配管、ドレン配管を接続する。
冷媒センサに水が掛かると、冷媒センサの故障や感電・火災の原因になることがあります。

①据付前に

○据付はこの据付説明書に従って正しく行なってください。
○工事計画にあっておりますか。

機種・電源仕様
確認してください
配管・配線・小物部品

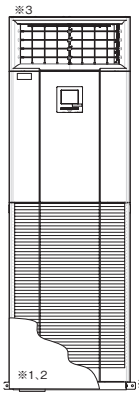
付属品

(1) フレアナット部断熱用 ※1

1	パイプカバー		1個	ガス側用
2	パイプカバー		1個	液側用
3	バンド		4個	

(2) 据付関係

1	転倒防止用金具		1個	※3
2	木ねじ		2個	記号1用
3	座金		2個	記号2木ねじ用
4	ゴムブッシュ		1個	冷媒・ドレン配管用
5	L 金具		2個	※4

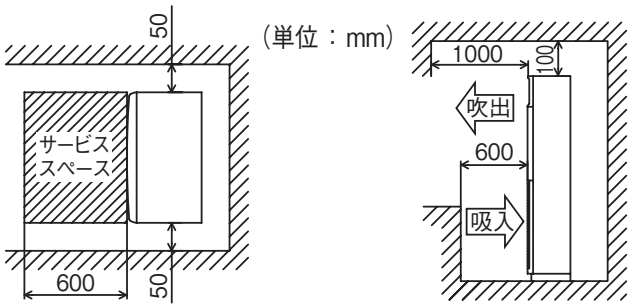


付属品収納場所（梱包時）

※1. 吸込グリルを開けると(1)フレアナット部断熱用の1～3の部品が袋詰めされ後面板の上に置かれています。
※2. 吸込グリルを開けると(2)据付関係の2～4の部品が袋詰めされ、後面板の上に置かれています。
※3. 転倒防止金具はユニット上部へ取りつけられています。
※4. L 金具はユニット下部へ取りつけられています。

②室内ユニットの据付場所の選定

室内ユニット据付スペース



お願い
●点検、メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
・冷風または温風が十分に行きわたる所。
・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
・侵入外気の影響のない所。
・直射日光の当たらない所。
・周囲の露点温度が 23℃以下、相対湿度 80%以下の所。
（本室内ユニットは JIS 露付条件（室内：27℃ /78% RH）にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、室内ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、室内ユニットの全ておよび配管、ドレン配管にさらに 10 ～ 20mm の断熱材を取付けてください。）
・テレビ、ラジオより 1 m以上離れた所。（映像の乱れや雑音が生じることがあります。）
・室内ユニットの直近に食品・食器やパソコン・サーバー、医療機器など濡れて困るものを置かない所。
・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
・フライヤーの近辺など油・粉・蒸気などを直接吸込まない所。
・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。
ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。
・室外への配管、配線のしやすい所。
・据付部の床が強固である所。
②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付け作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット転倒によるケガの原因になります。
③ワイヤレス機種を 2 台以上据付ける場合は、混信による誤動作を防止するため室内ユニット間を 6 m以上離してください。

③室内ユニットの据付

搬　入

お願い
●搬入時は、できるだけ据付現場の近くまで梱包のまま搬入してください。
●やむをえず解梱して搬入する場合は、ナイロンスリングなどで包みユニットを傷つけないよう注意してください。
注）吸込グリル、吹出ルーバ等プラスチック部分を持たないでください。
●解梱後、ユニットを置く場合は、必ずユニット前面側を上にして置いてください。

⚠警告　●冷媒R32はわずかながら燃焼性があります。そのため，下記事項を必ず守ってください。
床置き形室内機を設置・修理・移設する際の室内作業時は，冷媒センサを携行しながら作業を実施してください。冷媒漏えいが発生した場合，窒息や引火の原因となる恐れがあります。

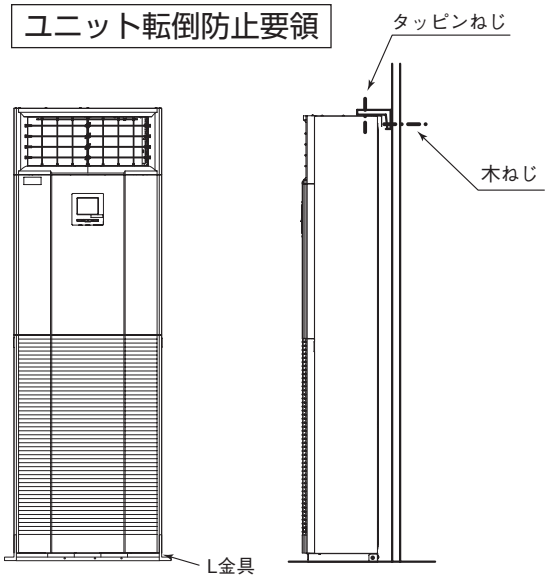
③室内ユニットの据付のつづき

お願い

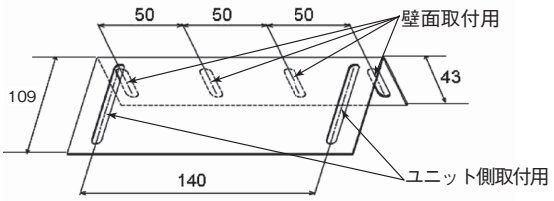
●必ず転倒防止金具、L 金具を取付けて固定してください。

・このユニットは縦長形状のため、ユニットを所定の位置にセットしたら直ちに転倒防止処置をしてください。

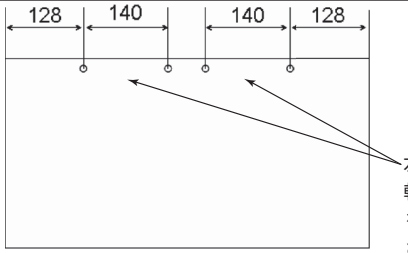
ユニット転倒防止要領



転倒防止用金具



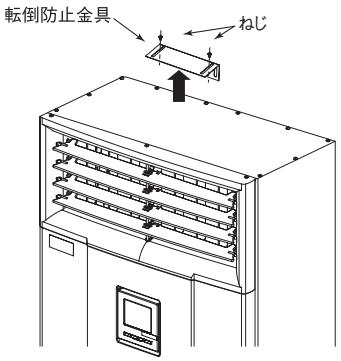
天板



（ユニット正面側）

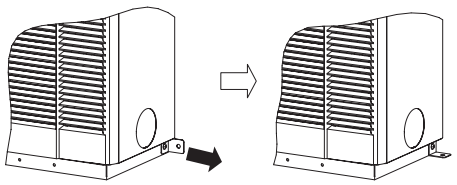
◆作業手順

⑴ 転倒防止金具の取付



① ねじ（2 本）を緩めて転倒防止金具を取外す。
② 右図のように転倒防止金具の固定位置を決定し、ユニット上部・壁面へ取付けてください。

⑵ L 金具の取付

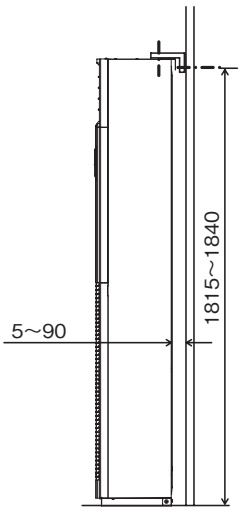
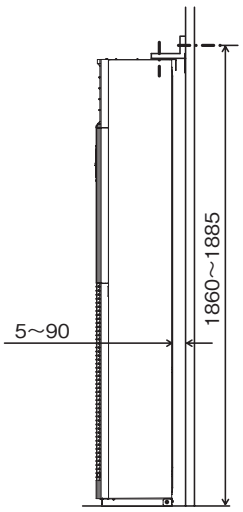


① ユニットにねじ止めされているＬ金具を取外してください。
② Ｌ金具の向きをかえ、ユニットと床面をねじで固定してください。
・Ｌ金具の取付寸法は右図の通りです。

お願い

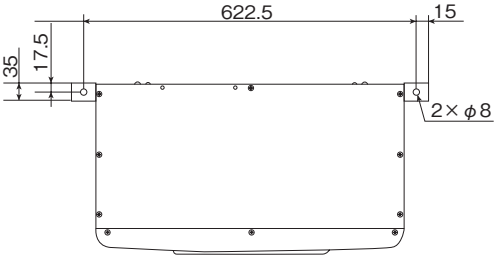
●ユニットは水平に据付てください。
前後、左右共勾配は 1° 以内としてください。

据付寸法（転倒防止用金具）

金具下向きの場合	金具上向きの場合
	

●寸法値はユニットと壁面、床面の調節可能寸法を示します。
●金具の長辺側をユニットに取付けてください。
●金具下向きの場合は、先に金具を壁へ取付けてください。

据付寸法（L 金具）

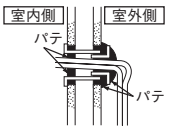


⚠警告

壁穴をパテで完全にシールしてください。
（ホコリ・昆虫・小動物・高湿度の外気が室内ユニット内に流入し、火災の原因になることがあります。）

⚠注意

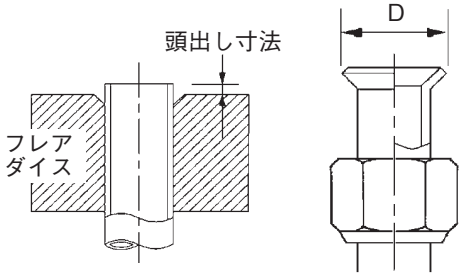
壁穴をパテで完全にシールしてください。
（水漏れ・露たれし、家財等を濡らす原因になることがあります。）



④冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは、製品付属のもの（JIS B 8607 2種適合品）をご使用ください。他のフレアナット（1 種）を使用すると冷媒漏れの原因となります。
既設配管再利用の可否および洗浄方法については、室外ユニットの据付説明書またはカタログ・技術資料で確認してください。
1）再利用する場合、フレアナットは流用せず室内ユニットに付属のもの又は JIS B 8607 2種適合品を使用してください。
2）再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R32 用または R410A 用のフレア加工をしてください。



配管径 d mm	配管の最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアーナット締付トルク N·m
		リジッド（クラッチ式）			
		R32 用 R410A 用	従来ツール		
6.35	0.8	0 ～ 0.5	0.7 ～ 1.3	8.9 ～ 9.1	14 ～ 18
9.52	0.8			12.8 ～ 13.2	34 ～ 42
12.7	0.8			16.2 ～ 16.6	49 ～ 61
15.88	1			19.3 ～ 19.7	68 ～ 82
19.05	1.2			23.6 ～ 24.0	100 ～ 120

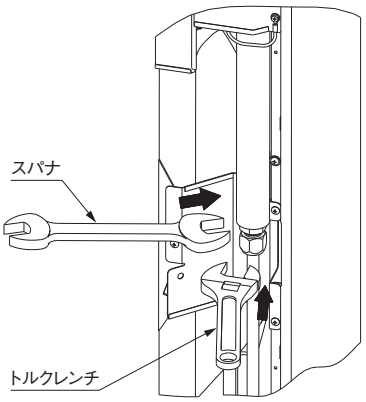
●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（C1220T、JIS H 3300）をご使用ください。
また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。
冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。

●指定冷媒以外は使用しないでください。
指定冷媒以外を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。指定冷媒は室外ユニットの形式ラベルをご覧ください。

●据付に使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。
冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。

●工具はＲ３２用またはＲ４１０Ａ用の工具を使用してください。

●冷媒センサに水滴が付着しないように冷媒配管を接続してください。



作業手順

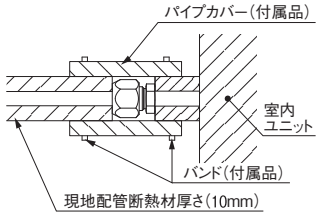
1．室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取外してください。
※室内ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛けして外してください。
（このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。）
●フレアナット飛びに注意してください。（内部に圧力がかかっている場合があります。）

2．液管・ガス管をフレア加工し、冷媒配管を接続してください。
※配管の曲げは４D以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。
また配管をねじったり、2/3D 以下につぶしたりしないでください。
※フレア接続は、以下のように行ってください。
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで３～４回転ねじ込み、２丁スパナ掛けで表の締付力で締めてください。

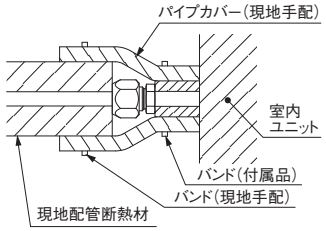
3．室内ユニットのフレア部は、ガス漏れチェック後、右図に示すように断熱材をかぶせ、バンドでしっかりと締付けてください。
●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
●ガス側配管の断熱材は耐熱 120℃以上のものを使用してください。
●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。

4．冷媒は室外ユニットに充填されています。
室内ユニットおよび接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

<断熱材厚さ10mmを使用する場合>



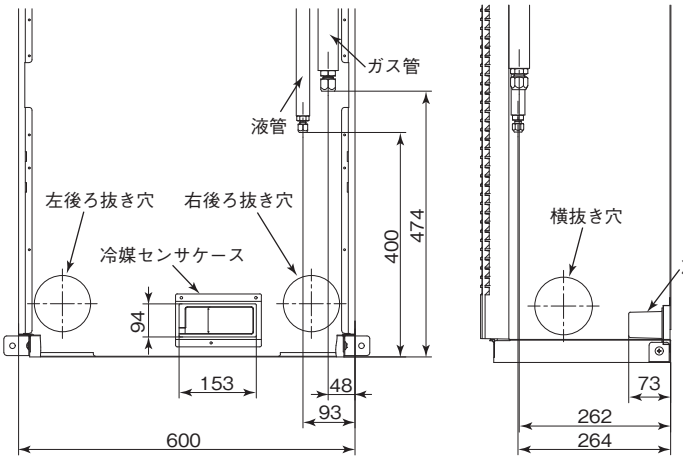
<断熱材を強化する場合>



注意
同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、またはフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しません。
冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとしてください。

④冷媒配管のつづき

◆配管・配線取出位置



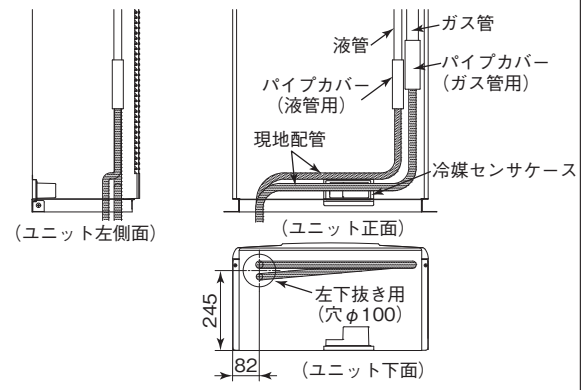
⚠お願い

●底板下抜き用穴の
フランジ部は切欠かないでください。

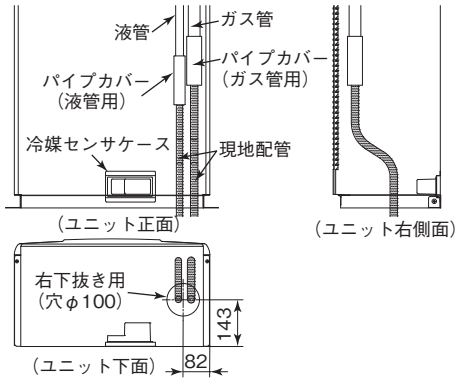
⚠注意

●冷媒センサケースの上方に冷媒配管を通さない。
水が掛かると、故障の原因になります。

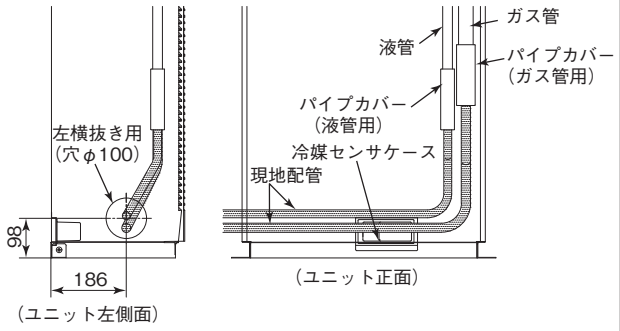
左下抜きの場合



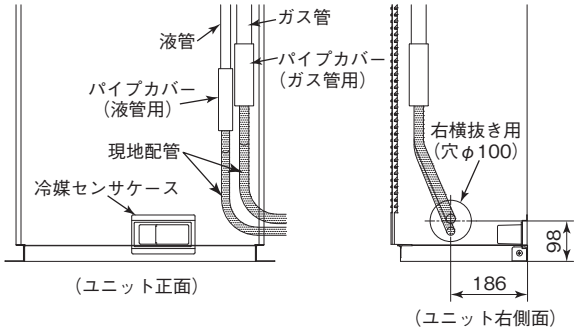
右下抜きの場合



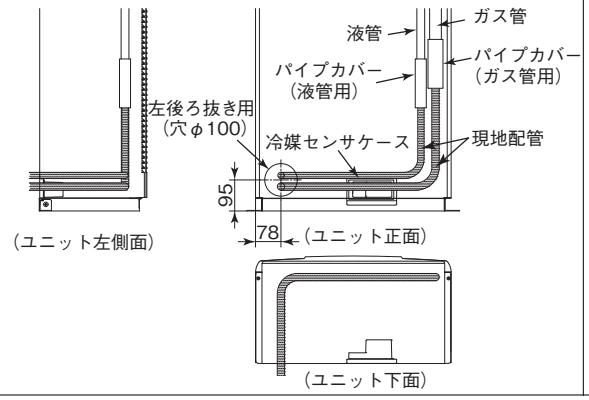
左横抜きの場合



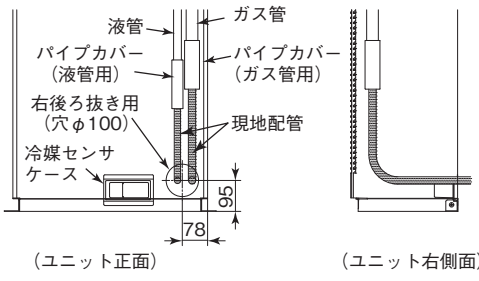
右横抜きの場合



左後ろ抜きの場合



右後ろ抜きの場合



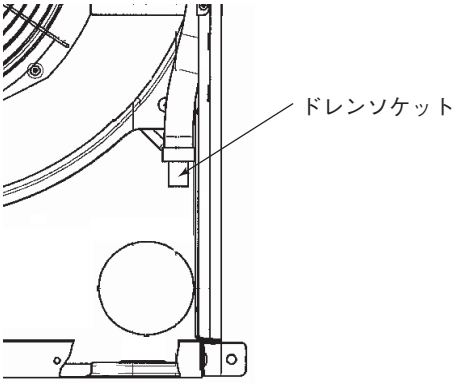
⑤ドレン配管

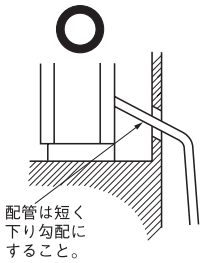
ドレン配管時の注意事項

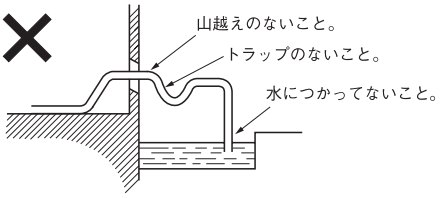
●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
●ドレン配管はイオウ系ガスなど有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。
室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
●施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。
●ドレン配管は下り勾配(1/100 以上)とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

作業手順

1. ドレンソケットに現地側ドレン配管（VP20）をつなぎ、粘着テープなどで固定してください。(接着剤使用不可)
2. 現地側ドレン配管が屋内を通る場合は必ず市販の断熱材（発泡ポリエチレン比重 0.03、肉厚 15mm 以上）を巻き、結露を防止してください。







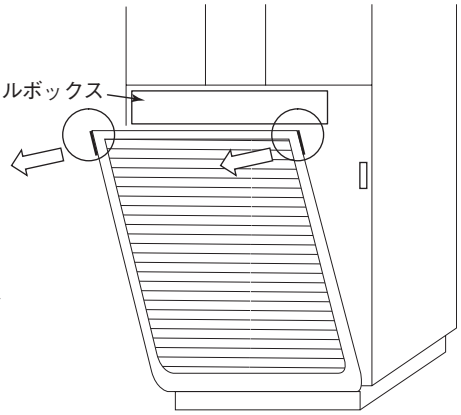
⚠注意

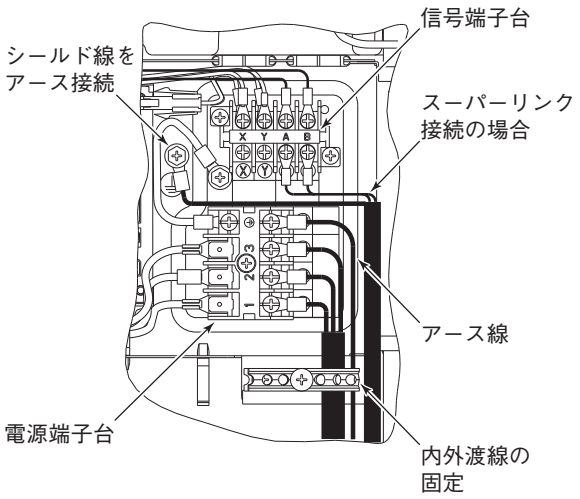
●冷媒センサケースの上方にドレン配管を通さない。水が掛かると故障の原因になります。

⑥電気配線取出位置および電気配線接続

コントロールボックス位置および電源コード経路

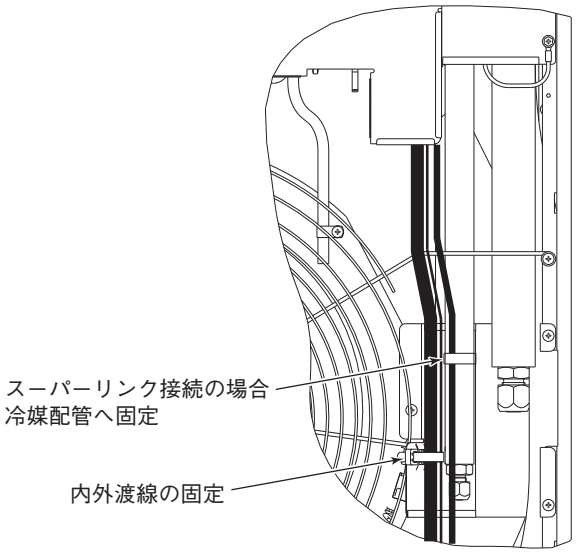
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。
●D種接地工事を必ず行ってください。
●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。





◆作業手順

① コントロールボックスの蓋のねじ（1 個）を取外してください。
② 各配線をコントロールボックス内に入れ、端子台に確実に接続してください。
③ 各配線をクランプ（固定用）で固定してください。
④ コントロールボックスの蓋を元通りに取付けてください。



⑦室内ユニット据付け工事完了後のチェック項目

●室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

(2) 電気配線工事

(a) FDT, FDTW, FDTS, FDR, FDU, FDEZP565SA～1605SA, FDK シリーズ

PSC012D115 A

電気配線工事は電気設備技術基準および内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

安全上のご注意

●作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく作業してください。

安全のため必ずお守りください。

●誤った作業、行為をしたときに生じる危害や損害を「⚠**警告**」と「⚠**注意**」に区分し、お守りいただく内容を「図記号」を使用し説明していますので、必ずお守りください。

●「⚠**警告**」「⚠**注意**」の意味

⚠警告	守らないと、死亡または重大な障害にいたる危険性がある事項について説明しています。	⚠注意	守らないと、傷害や物的損害ある事項について説明しています。

●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 絶対に行わない / 必ず指示に従い行う

●下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電または過熱、ショートによる火災のおそれがあります。

⚠警告

- ●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
  電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
- ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
  接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。
- ●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。
  カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。
- ●別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付は専門業者に依頼する。
  ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。
- ●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
  修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- ●室内外ユニットを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。
  据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- ●室内外ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。
  点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。
- ●元電源を切った後に電気工事をする。
  感電、故障や動作不良の原因になります。

⚠注意

- ●アース（接地）を確実に行う。
  アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。
- ●電源には必ず漏電しゃ断器（高調波対応品）を取付ける。
  漏電しゃ断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
- ●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋B 種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。
  不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- ●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
  針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- ●電源配線は、電流容量に合った規格品の配線を使用する。
  漏電や発熱・火災などの原因になることがあります。
- ●室内外接続用端子台および電源用端子台に単線とより線を併用しない。
  また、異なったサイズの単線またはより線を併用しない。
  端子台のねじゆるみや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になることがあります。
- ●運転停止後、すぐに電源を切らない。
  必ず 5 分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。
- ●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
  火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

制御の切換

●室内ユニットの制御内容を下記方法にて切換可能です。（ ［　］ は工場出荷時の設定）

スイッチNo.		制御内容
SW1		室内アドレス(10位)
SW2		室内アドレス(1位)
SW5−1		親/子切換(ブルーラル/子機設定)
SW5−2		
SW6−1～4		機種容量
SW7−1	ON	運転チェック・ドレンポンプ試運転
	OFF	通常運転
SW7−2（注1）	ON	旧SL通信仕様固定
	OFF	新SL/旧SL通信仕様自動判別
SW7−3	ON	室内アドレス(100の位) ON:1
	OFF	室内アドレス(100の位) OFF:0

※注 1：集中制御機器接続時の場合
通信方式であるスーパーリンクの仕様が選択できます。
旧 SL：ビル空調 2LX シリーズ，ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前
新 SL：ビル空調 3LX シリーズ，ガスヒートポンプ M8 シリーズ以降
SW7-2 が OFF（工場出荷設定）の場合は，通信仕様（新 SL/ 旧 SL）を自動判別します。
旧 SL 通信仕様固定で使用する場合は，SW7-2 を ON にしてください。
各通信仕様の特徴，制限は室内ユニット付属の説明書をご覧ください。

機種容量の設定

●本室内ユニットは、マルチV接続の場合のみ、それぞれの室内ユニット毎に機種容量設定が必要です。
機種容量設定は室内ユニットの制御箱内の基板上のスイッチ SW6 で設定してください。

シングル・ツイン・トリプル・Wツイン接続の場合

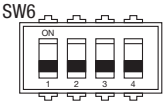
[i] 同機種 / 同容量の室内ユニットを接続する場合
①室外ユニットから電源投入すると自動で機種容量を認識しますので、スイッチ設定は不要です。
②エコタッチリモコンから、機種容量を確認できます。詳細は **③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法** を参照してください。

マルチ V 接続の場合

[i] 異機種 / 異容量、同機種 / 異容量の室内ユニットを接続する場合
①電源投入前に室内ユニットの制御箱内の基板上のスイッチ SW6 で機種容量を設定してください。形式により設定できる機種容量は下表の通りです。これ以外に設定しないでください。正常に運転できません。また破損の原因となります。

[ii] 異機種 / 同容量の室内ユニットを接続する場合
①自動で機種容量を認識するため、設定不要です。

形式	FDT	ZP635S			ZP715S	ZP805S	ZP1605S	
	FDR	ZP565S		ZP635S	ZP805S		ZP1125S	ZP1605S
容量		P50	P56	P63	P71	P80	P112	P140
SW6-1		ON	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF
SW6-2		OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF
SW6-3		ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ON
SW6-4		OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON



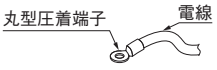
[工場出荷時設定]

注1: 工場出荷時の設定は自動認識(全てOFF)になっています。
注2: シングル・ツイン・トリプル・Wツイン接続の場合でもスイッチを自動認識以外の状態にすると、設定した機種容量として認識してしまいます。

②エコタッチリモコンから、機種容量を確認できます。詳細は **③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法** を参照してください。

①電源・室内外配線の接続

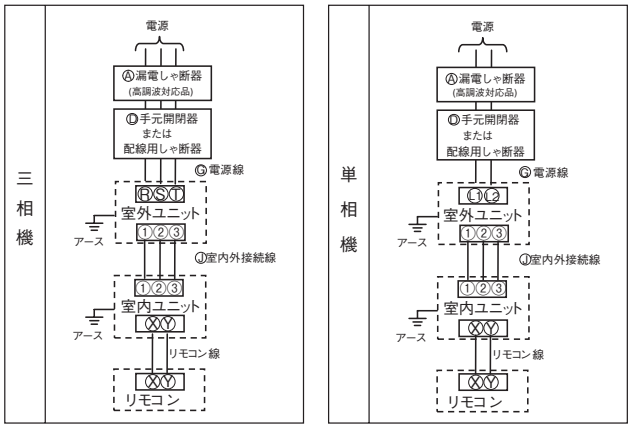
●電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。
①配線は銅線以外のものを使用しないでください。
②電源は、室外ユニットへ接続してください。
③電気ヒータ(別売品)はなしにて記載してあります。注:電気ヒータの組込みは不可です。別置ヒータを連動させる場合は、ヒータ専用電源を設けること。
●アース線は室内外接続線および室内ユニット間配線の接続前に接続してください。また、アース線は室内外接続線より長くし、アース線に力がかからないようにしてください。
●電源は工事が完了するまで入れないでください。
●D種接地工事を必ず行ってください。
●端子台への接続は、丸型圧着端子を使用してください。



●専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないでください。併用した場合、電源ブレーカ落ちによる二次災害が生じる恐れがあります。
●室内外接続線は必ず3心ケーブルを使用してください。詳細は室外ユニットに付属の据付説明書を参照ください。
●室内外接続線は途中接続しないでください。途中接続した場所に水が浸入すると、対地間絶縁不良や途中接続部の接触不良をまねき、通信異常の原因となります。(万一、途中接続する場合には、絶対に水が浸入しないような処置を行ってください。)
●天井裏内の配線 (電源・リモコン・室内外接続線など) はネズミ等により、かじられ切断することもありますので、なるべく鉄管等の保護管内に通してください。
●室内外ユニットの外部では、リモコン線と電源線が直接接触しないように施工してください。
●信号側端子台には、200V電源を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
●室内外接続線・室内ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続
①室内外接続線・室内ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続は、制御箱内の電源側端子台、信号側端子台に接続してください。室内外接続線の①②③は極性がありますので、必ず番号を合わせて接続してください。また、アース線は、電源側端子台アース端子に接続してください。
②電源には必ず漏電しゃ断器を取付けてください。漏電しゃ断器は、インバータ回路用しゃ断器(三菱電機製NV−Cシリーズまたは、その同等品)を選定してください。
③漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合には、漏電しゃ断器と直列に手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)または、配線用しゃ断器が必要となります。
④手元開閉器は室外ユニットの近傍に設置してください。
●配線の接続はねじの緩みのないように確実に行ってください。また、制御箱内のコネクタの抜けや端子外れがないことを確認してください。
●補助電気ヒータ組込の場合は、電気ヒータ組込時の説明書・または技術資料で確認してください。

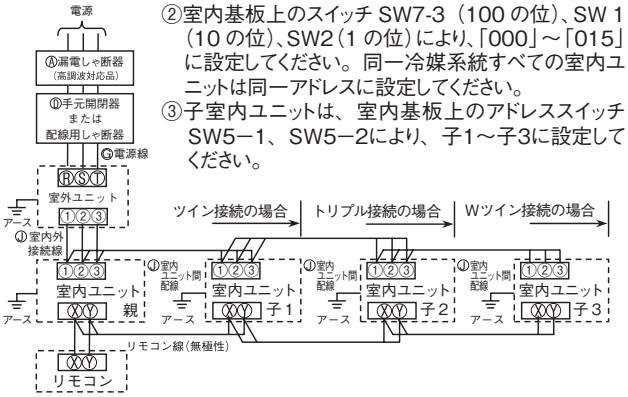
シングル接続の結線

①室内電源取りおよび室内外別電源取りは原則できません。
※例外的な接続方法の場合は技術資料を参照の上、
所轄の電力会社にご相談の上、指示に従ってください。



ツイン・トリプル・Wツイン接続の結線

①親・子室内ユニット間は端子台①②③およびⓍⓎの同一番号間を接続してください。
②室内基板上のスイッチ SW7-3 (100 の位)、SW 1 (10 の位)、SW2 (1 の位) により、「000」～「015」に設定してください。同一冷媒系統すべての室内ユニットは同一アドレスに設定してください。
③子室内ユニットは、室内基板上のアドレススイッチ SW5−1、SW5−2により、子1～子3に設定してください。



室内ユニットの親・子設定方法 (工場出荷時「親」設定)

室内ユニット		親	子1	子2	子3
室内基板 SW	SW5−1	OFF	OFF	ON	ON
	SW5−2	OFF	ON	OFF	ON

②リモコンの取付（別売部品）

●取付けの詳細はリモコンの据付説明書を参照ください。
●次の位置へ取付けないでください。

○直射日光の当たる所　○湿気の多い所、水が飛散する所　○油の飛沫や蒸気が直接触れる所
○発熱器具に近い所　○取付面が発熱・結露する所　○取付面の凹凸がある所

リモコン取付け・配線

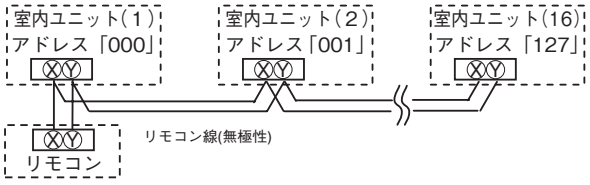
①リモコンの取付は、リモコン付属の説明書に従ってください。
②リモコン線は、0.3mm^2×2心の電線またはケーブルを使用してください。配線の被覆は 1mm 以上のものを使用してください。（現地手配）
③リモコン線の総延長は600mです。
延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。ただし、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm^{2}以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。

100～200m以内・・・・・0.5mm^2× 2心
300m以内・・・・・0.75mm^2×2心
400m以内・・・・・1.25mm^2×2心
600m以内・・・・・2.0mm^2×2心

④誤動作する場合がありますので、多芯ケーブルの使用は避けてください。
⑤リモコン線はアース（建物の鉄骨部分または金属など）からできるだけ離してください。
⑥リモコン線は確実にリモコンと室内ユニットの端子台に接続してください。（極性はありません。）

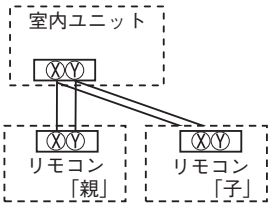
1リモコンによる複数台室内ユニット制御

①1つのリモコンで複数台の室内ユニット（最大16台）をグループ制御できます。同一モード、同一室温設定で運転します。
②グループ制御用に各室内ユニット間を2心のリモコン線にて渡り配線してください。
③室内ユニットの基板上のスイッチ SW7-3（100 の位）、SW1（10 の位）、SW2（1 の位）により、室内アドレスを重複しないよう「000」～「127」から設定してください。



複数リモコン使用時の親子設定

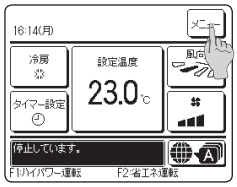
室内ユニット1台（または 1グループ）に対して、最大2個までリモコンを接続できます。後操作優先で運転します。
ワイヤードリモコン2台、あるいはワイヤードリモコン + ワイヤレスキット、あるいはワイヤレスキット2台のいずれかの組合せができます。
1 個を「親」に、残りを「子」に設定してください。
○ 注意　リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください。



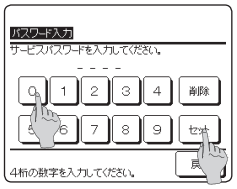
③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法

●電源投入後、接続されている室内ユニットの機種容量とアドレスがリモコンに表示されることを必ず確認してください。
（アドレス確認はシングル接続を除く）

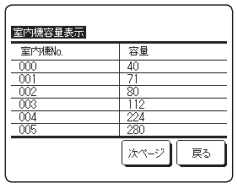
eco タッチリモコン (RC-DX シリーズ) の場合



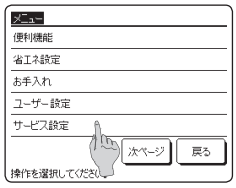
1. メニューをタッチする。
メニュー画面に切換わります。



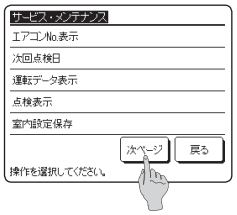
4. サービスパスワードを入力する。
5. セットをタッチする。
サービス・メンテナンスの画面に切換わります。



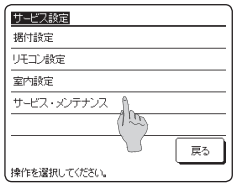
8. 接続されている室内ユニットのアドレスNo.（室内機No.）と機種容量（容量）が表示されます。



2. サービス設定をタッチする。
サービス設定画面に切換わります。



6. 次ページをタッチする。

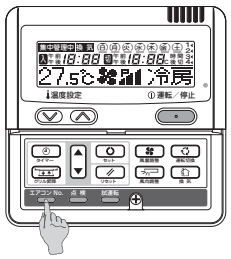


3. サービス・メンテナンスをタッチする。
パスワード入力画面に切換わります。

7. 室内機容量表示をタッチする。

③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法（つづき）

標準リモコン (RC-D シリーズ) の場合　機種容量は確認できません。



1. **エアコンNo.ボタンを押す。**
   室内ユニットアドレスが表示されます。
2. **▲▼ボタンを押す。**
   接続されている室内ユニットのアドレスが表示されます。

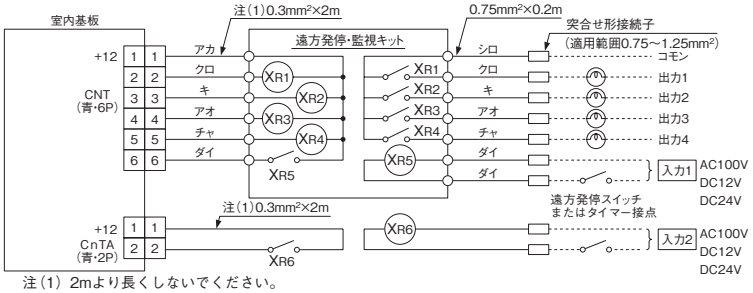
カバーを開けた状態です。また、液晶表示部は全表示してあります。

④リモコンからの操作・確認方法

No.	項目	eco タッチリモコンから操作(RC-DX シリーズ)	標準リモコンから操作（RC-D シリーズ)
1	リモコン系統内の接続室内ユニットの接続確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [エアコン No. 表示] ⇒ [個別送風運転]	①エアコン No. を押してください。 ②▲▼ボタンで室内ユニットのアドレスを選択してください。 ③ [運転切換] を押してください。送風運転します。
2	親子リモコン設定	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [リモコン設定] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [リモコン親子設定]	子リモコン切換スイッチ（SW1）を「子」に設定してください。
3	運転データの確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [運転データ表示]	[点検] ⇒運転データ表示▼⇒ [セット] ⇒データ確認中⇒室内機選択⇒▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを１台選択⇒ [セット] ⇒データ確認中⇒▲▼データ選択
4	点検表示の確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [点検表示]	[点検] ⇒運転データ表示▼⇒ [▼] ⇒エラーデータ表示▲⇒ [セット] ⇒データ確認中⇒データ表示
5	リモコンからの冷房試運転方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [試運転] ⇒ [冷房試運転] ⇒ [開始]	① [運転 / 停止] を押し、運転させてください。 ② [運転切換] により、「冷房」を選択します。 ③ [試運転] を３秒以上押します。表示が、「冷房試運転▼」となります。 ④「冷房試運転▼」の表示で、[セット] ボタンを押すと、冷房試運転を開始します。表示は「冷房試運転」となります。
6	リモコンからドレンポンプ試運転方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [試運転] ⇒ [ドレンポンプ試運転] ⇒ [運転]	① [運転 / 停止] を押し、運転させてください。表示が「冷房試運転▼」となります。 ② [▼] を一度押し、「ドレンポンプ運転」を表示させます。 ③ [セット] を押すと、ドレンポンプ運転を開始します。 表示：「セットで停止」

リモコン形式の違いにより、メニュー構成が異なる場合があります。リモコン形式が異なる場合は、リモコン付属の据付説明書をご覧ください。

⑤室内基板ＣｎＴコネクタの機能



注(1) 2mより長くしないでください。

●$X_{R1\sim4}$はＤＣ１２Ｖリレー（オムロン製ＬＹ２Ｆ相当品）
●X_{R5}は、ＤＣ１２，２４Ｖまたは１００Ｖリレー（オムロン製ＭＹ２Ｆ相当品）
●ＣｎＴコネクタ（現地側）メーカ、形式
コネクタ：モレックス製 ５２６４－０６
端　　子：モレックス製 ５２６３Ｔ
別売品（PCZ006A043）を準備しておりますのでご利用ください。
●遠方発停・監視キットを別売品にて準備しておりますのでご利用ください。
●ＣｎＴＡコネクタは、ＦＤＴ他に搭載<仕様書で確認願います>（現地側）メーカ、形式
コネクタ：日本圧着端子JST製　ＸＡＰ０２Ｖ－１－Ｅ
端　　子：日本圧着端子JST製　ＳＸＡ－０１Ｔ－Ｐ０.６
別売品（PCZ006A053）を準備しておりますのでご利用ください。

●出力1～4, 入力1・2を下記の項目より自由に選択・設定することができます。
工場出荷時は下記のように設定されています。

出力

①	運転出力	⑧	ファン運転出力3
②	暖房出力	⑨	デフロスト , 油戻し出力
③	圧縮機 ON 出力	⑩	換気出力
④	点検 (異常) 出力	⑪	ヒータ出力
⑤	冷房出力	⑫	フリークーリング出力
⑥	ファン運転出力1	⑬	室内過負荷異常出力
⑦	ファン運転出力2		

入力

①	運転 / 停止	⑤	設定温度シフト
②	運転許可禁止	⑥	強制サーモ OFF
③	緊急停止	⑦	一時停止
④	冷房 / 暖房	⑧	静音モード

工場出荷時の設定

CNT-2	出力 1	運転出力	CNT-5	出力 4	点検 (異常) 出力
CNT-3	出力 2	暖房出力	CNT-6	入力 1	運転 / 停止
CNT-4	出力 3	圧縮機 ON 出力	CNTA	入力 2	運転 / 停止

●設定の方法は技術資料をご覧ください。

⑥リモコンからの操作・設定

A：eco タッチリモコン付属の取扱説明書を参照ください。
B：eco タッチリモコン付属の据付工事説明書を参照ください。
C：インターネットよりユーティリティーソフトを配信中です。

○：eco タッチリモコンと、ほぼ同等の機能設定・操作が可能です。
△：eco タッチリモコンと、類似の機能設定・操作が可能です。
※ 1：RC-DX2 以前のリモコンには、この機能はありません。
※ 2：RC-DX3 以前のリモコンには、この機能はありません。
※ 3：RC-DX3A 以前のリモコンには、この機能はありません。

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3B	RC-D4G
1. リモコンネットワーク					
1	複数室内機制御		リモコン 1 台（リモコンネットワーク内）に最大 16 台室内機を接続制御できます。室内機側にアドレスを設定します。		○
2	親子リモコン設定		リモコンネットワーク内に 2 個のリモコン (含むワイヤレスリモコン）を接続できます。片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。	B	○
2.TOP 画面・SW 操作					
1	メニュー		制御・設定・詳細設定等の項目を追加します。	A	
2	運転モード		冷房・暖房・送風・自動・除湿を設定します。	A	○
3	設定温度		室温を 0.5℃単位で設定します。	A	○
4	風向		風向を設定します。おまかせ気流の有効 / 無効を設定します（FDK の場合）。※2	A	△
5	風量		風量を設定します。	A	○
6	タイマー設定		タイマー運転を設定します。	A	○
7	運転／停止 SW		運転を開始します。／停止します。	A	○
8	F1 スイッチ ※ 1		F1 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A	
9	F2スイッチ ※ 1		F2 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A	
10	言語切換 ※ 3		リモコンに表示する言語を選択します。 選択できる言語は下記です。 英語 / 日本語 ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / オランダ語 / トルコ語 / ポルトガル語 / ロシア語 / ポーランド語 / 中国語	A	
3. 便利機能					
1	フリーフロー設定		各ルーバの可動範囲（上限位置―下限位置）を設定します。 FDK の場合は左限位置 - 右限位置も設定します。 ※2	A	△
2	エアフレックス（風よけ）設定 ※ 1 エアフレックスパネル組合せの場合		・詳細設定：各運転モード、各吹出口のエアフレックス（風よけ）機構動作の有効・無効を設定します。 ・ON/OFF 切換：詳細設定で、有効にされている各吹出口のエアフレックス ON/OFF（作動中 / 停止中）を切換えます。※ 3	A	
3	タイマー設定	時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ・1 ～ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
		時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ・1 ～ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。	A	△
		時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・1 回のみ／毎日の切換が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
		時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・1 回のみ／毎日の切換が可能です。	A	△
		タイマー設定内容確認	各タイマーの設定内容を一覧できます。	A	
4	おこのみ設定 ※ 1 管理者パスワード		おこのみ設定運転で使用する運転モード、設定温度、風量、風向を設定します。おこのみ設定 1、おこのみ設定 2 のそれぞれに設定が可能です。	A	
5	ウィークリータイマー		1 週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ・1 日最大 8 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
6	るす番運転 管理者パスワード		お部屋を留守にするとき、お部屋は著しく高温 / 低温にならないように温度を保ちます。 ・外温と制御温度により冷房 / 暖房を行います。 ・設定温度、風量の設定が可能です。	A	
7	換気 換気機器組合せの場合		換気の ON/OFF 操作を行います。 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [リモコン設定] ⇒ [換気設定] の設定が必要です。 ・換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転 / 停止ができます。	A	○

⑥リモコンからの操作・設定（つづき）

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3B	RC-D4G
8	言語切換設定		リモコンに表示する言語を選択します。 ・選択できる言語は下記です。 英語 / 日本語 ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / オランダ語 / ※2 トルコ語 / ポルトガル語 / ロシア語 / ポーランド語 / 中国語	A	
9	室外静音設計 ※3		室外ユニットの静音性を優先して運転します。 ・室外静音運転の開始・停止を設定します。	A	
10	見てみて		室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ・室内ユニット―室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A	
11	消費電力量表示		今日、今週、今年の消費電力量をグラフで表示します。 昨日、先週、昨年と比較することができます。 ・室内ユニット―室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A	
4. 省エネ設定			管理者パスワード		
1	切忘れ防止タイマー		運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ・設定時間は 30 ～ 240 分 (10 分単位）まで選択可能です。 ・設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。	A	△
2	ピークカットタイマー		能力を制限する運転の開始時刻と停止時刻、能力制限率を設定します。 ・1 日最大 4 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・能力制限率は 0,40 ～ 80% (20%単位）から選択可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。	A	
3	設定温度自動復帰		設定時刻後に設定した温度に戻ります。 ・暖房モード / 冷房モード他、各々設定可能です。 ・設定時間は 20 ～ 120 分（10 分単位）まで設定可能です。 ・設定時刻は 10 分単位で設定可能です。	A	△
4	人感センサー制御 ※1 人感センサー付パネル組合せの場合		人感センサーを使用の場合、パワーコントロールとオートオフの有効／無効を設定します。	A	
5. お手入れ					
1	フィルタサイン リセット	フィルタサインの解除	フィルターサインの解除を行います。	A	
		次回清掃日の設定	次回清掃日の設定を行います。	A	
2	グリル昇降	ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル 組合せの場合	ラクリーナパネル　グリルの昇降操作をします。 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [グリル昇降操作] の設定が必要です。	A	○
		降下長設定 管理者パスワード	グリル昇降長さを設定します。 ・0.1 ～ 4.0 mの範囲で設定できます。 ・設定長さは 0.1 m単位で設定可能です。 ・接続室内ユニット毎に設定できます。	A	○
		ダスト回収リセット お掃除パネル組合せの場合	ダスト回収後にダスト回収タイマーをリセットします。	A	
3	お掃除パネル設定 管理者パスワード	お掃除自動設定	自動清掃の有効 / 休止を設定します。	A	
		清掃時間帯設定	自動清掃を開始する時間帯を設定します。	A	
		清掃間隔設定	自動清掃する最小の間隔を設定します。	A	
		ダスト回収設定	ダストの回収時期を設定します。	A	
		ブラシ清掃回数設定	ブラシの清掃回数を設定します。	A	
6. ユーザ設定					
1	初期設定	時刻設定	現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ・80 時間以内の停電の場合、内蔵バックアップ電源の働きにより時計は動き続けます。	A	△
		時刻表示設定	時刻表示のあり／なし、12 H／ 24 H、AM/PM 位置、を設定します。	A	
		サマータイム補正	現在時刻に対し、＋1 時間の補正を行います。	A	
		コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	A	
		バックライト	バックライトの有効／無効、点灯時間を設定します。	A	
		ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり／なしを設定します。	A	
		運転ランプ輝度 ※1	運転ランプの輝度の調整を行います。	A	
2	管理者設定 管理者パスワード	操作制限設定	・操作の許可 / 禁止を設定します。 [運転 / 停止][設定温度切換][運転モード切換][風向切換] [風量切換][ハイパワー運転][省エネ運転][見てみて][タイマー設定] [消費電力量表示]　※ 1 ・操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [フリーフロー設定][グリル降下長設定][ウィークリータイマー設定] [言語切換設定][ドラフト防止設定]　※ 1	A	△

⑥リモコンからの操作・設定（つづき）

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3B	RC-D4G
2	管理者設定 管理者パスワード	室外静音タイマー	室外ユニットの静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ・静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。	A	△
		設定温度範囲	設定温度範囲を制限します。 ・運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	A	△
		温度設定刻み切換	設定温度の刻み (0.5℃ /1.0℃) を設定します。	A	
		設定温度表示切換	設定温度の表示の仕方を切り換えます。	A	
		リモコン表示設定	リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり / なしを設定します。 点検コード、暖房準備、除霜運転中、自動冷暖の表示、リモコン･室温･外温表示のあり / なしを設定します。	A	△
		管理者パスワード変更	管理者パスワードの変更を行います。	A	
			管理者パスワードのリセットを行います。	B	
		スイッチ機能変更※ 1	F1、F2 スイッチの機能を設定します。 設定できる機能 [エアフレックス ON/OFF]　※ 3 [ハイパワー運転][省エネ運転][室外静音制御][るす番運転] [おこのみ設定運転1][おこのみ設定運転 2][フィルタサインリセット] [グリル昇降][消費電力量表示]	A	
7. サービス設定					
1	据付設定 サービスパスワード	据付日登録	据付日を登録した場合、点検表示を行います。	B	
		サービス情報入力	リモコンに連絡先を登録することができます。 ・連絡先を半角 26 文字相当以内で登録できます。 ・連絡先 TEL 番号を 13 文字以内で登録できます。	B	
		試運転	試運転の開始／停止を制御できます。	B	△
		冷房試	設定 5℃ 30 分間運転します。		
		ドレンポンプ試運転	ドレンポンプのみを運転します。		
		お掃除試運転	フィルタ清掃　ブラシ清掃運転します。　お掃除パネル組合せの場合	B	
		ダクト機静圧補正	機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ・接続室内ユニット毎に個別に設定できます。	B	
		自動アドレス変更	個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。	B	△
		親室内機アドレス設定	個別発停マルチシリーズ　設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。	B	△
		バックアップ制御	1 台のリモコンに室内ユニット 2 台（2 グループ）は接続されている時にローテーション運転、キャパシティバックアップ運転、フォルトバックアップ運転の有効／無効が設定できます。	B	
		人感センサー設定　※ 1 人感センサー付パネルの組合せの場合	リモコンに接続された室内機の人感センサー検知の有効／無効を設定します。 無効の場合は、省エネ設定の人感センサー制御を行うことができません。	B	
		グリル昇降操作	ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合	B	○
2	リモコン設定 サービスパスワード	リモコン親子設定	リモコン親子設定の変更ができます。	B	○
		吸込センサー制御	1 台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込センサーを選択できます。 ・個別／親機／平均の選択が可能です。	B	
		リモコンセンサー	リモコンセンサーに切り替えるモードを設定できます。 冷房／暖房で切替可能です。	B	△
		リモコンセンサー補正	リモコンセンサー検知温度を補正できます。 冷房／暖房　別々に補正可能です。	B	△
		運転モード選択	各運転モード毎に有効／無効を設定できます。	B	△
		設定温度単位	設定温度の単位を設定します。 ・℃／℉の選択が可能です。	B	
		ファン速度	ファン速度の選択が可能です。	B	○
		外部入力設定	1 つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnT 入力の適用範囲が設定されます。	B	○
		上下ルーバ制御	上下ルーバの [4 位置停止] ／ [フリー停止] の切換ができます。	B	○

⑥リモコンからの操作・設定（つづき）

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3B	RC-D4G
2	リモコン設定	左右ルーバ制御 ※2	左右ルーバの [固定位置停止] ／ [フリー停止] の切換ができます。	B	
		換気設定	換気ユニット組合せ制御が設定できます。	B	○
	サービスパスワード	停電補償	停電復帰した場合の制御内容を設定できます。	B	○
		設定温度自動設定	設定温度自動の有効／無効を選択できます。	B	
		風量自動設定	風量自動の有効／無効を選択できます。	B	
3	室内設定	風速設定	室内ユニットの風量タップを設定します。	B	○
		フィルターサイン	フィルターサイン点灯タイマーの設定が換えられます。	B	○
	サービスパスワード	外部入力 1 設定	外部入力 1 の制御内容を換えられます。	B	○
		外部入力 1 方式切換	外部入力 1 の信号方式を換えられます。	B	○
		外部入力 2 設定	外部入力 2 の制御内容を換えられます。	B	
		外部入力 2 方式切換	外部入力 2 の信号方式を換えられます。	B	
		暖房室温補正	暖房サーモ判定値を 0 ～ +3℃の範囲で補正できます。	B	△
		吸込温度補正	吸込センサー検知温度を± 2℃の範囲で補正できます。	B	△
		冷房ファン制御	冷房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	B	○
		暖房ファン制御	暖房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	B	○
		フロスト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。	B	○
		フロスト防止制御	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更できます。	B	○
		ドレンポンプ運転	冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。	B	○
		冷房ファン残留運転	冷房停止・冷房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	B	○
		暖房ファン残留運転	暖房停止・暖房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	B	○
		暖房ファン間欠	暖房停止・暖房サーモ OFF ファン残留運転後のファン運転を設定できます。	B	○
		送風サーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。	B	
		外調機設定	マルチユニット外調機単独運転時の圧力制御を変更できます。	B	
		運転モード自動設定	運転モード自動判定方法を 3 種類から選択できます。	B	
		サーモ判定切換	サーモ判定を室外温度で補正することができます。	B	
		風量自動切換	風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。	B	
		室内過負荷アラーム	運転開始 30 分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力（CNT-5) から過負荷アラーム信号を送信します。	B	
		外部出力設定　※1	外部出力 1 ～ 4 に割り当てる機能を換えられます。	B	
4	サービス・メンテナンス	エアコンNo. 表示	リモコン 1 台に 16 台の室内ユニットを接続できます。 個別送風運転で確認できます。	B	○
		次回点検日	次回の点検日を登録することができます。点検日に連絡先の表示をします。	A B	○
	サービスパスワード	運転データ表示	室内ユニット＋室外ユニットの運転データをモニターすることができます。	B	○
		点検表示			
		異常履歴表示	過去の異常履歴（点検コード・発生時間）を表示します。	B	△
		異常時運転データ表示	直前の異常発生時の運転データを表示します。		
		異常時運転データ消去	異常時運転データが消去されます。		
		定期点検リセット	定期点検タイマーをリセットします。		
		室内設定保存	接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。	B	
		特殊操作	[室内アドレス消去][CPU リセット][初期化設定][タッチパネル調整] の操作ができます。	B	△
		室内機容量表示 ※1	リモコンに接続されている室内アドレス番号とその容量を表示します。	B	
		お掃除パネル点検	お掃除パネルの詳細点検操作ができます。	B	○
8. 困ったときは・・・					
1	連絡先表示		登録した連絡先・TEL番号、サービスフロントセンターフリーコールを表示します。 QR コードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。	A	
2	サービスを依頼される前に Q & A		Q &Aが表示されます。	A	
9. 点検表示					
	点検表示確認		異常発生時の表示	A	△
10. パソコン接続					
	USB 接続		ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。	C	

◆組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。

(b) FDFZP635SA

電気配線工事は電気設備技術基準および内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。
集中制御（スーパーリンク）接続の場合は、セゾンエアコンスーパーリンク配線工事説明書を参照してください。

安全上のご注意

●作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく作業してください。
安全のため必ずお守りください。
●誤った作業、行為をしたときに生じる危害や損害を「⚠**警告**」と「⚠**注意**」に区分し、お守りいただく内容を「図記号」を使用し説明していますので、必ずお守りください。
●「⚠**警告**」「⚠**注意**」の意味

⚠警告	守らないと、死亡または重大な障害にいたる危険性がある事項について説明しています。	⚠注意	守らないと、傷害や物的損害ある事項について説明しています。

●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 ⃠ 絶対に行わない ❗⏚ 必ず指示に従い行う
●下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電または過熱、ショートによる火災のおそれがあります。

⚠警告

●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。
●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。
カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。
●別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付は専門業者に依頼する。
ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
●室内外ユニットを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。
据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
●室内外ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。
点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。
●元電源を切った後に電気工事をする。
感電、故障や動作不良の原因になります。

⚠注意

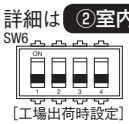
●アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。
●電源には必ず漏電しゃ断器（高調波対応品）を取付ける。
漏電しゃ断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋Ｂ種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。
●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。
●電源配線は、電流容量に合った規格品の配線を使用する。
漏電や発熱・火災などの原因になることがあります。
●室内外接続用端子台および電源用端子台に単線とより線を併用しない。
また、異なったサイズの単線またはより線を併用しない。
端子台のねじゆるみや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になることがあります。
●運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず５分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。
●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。
●電源ブレーカが入っているときは、ファンの回転に注意する。
冷媒センサが冷媒の漏えいを検知すると、ファンが自動で回転し、ケガの原因になることがあります。

制御の切換と機種容量の設定

●室内ユニットの制御内容を下記方法にて切換可能です。（□は工場出荷時の設定）

スイッチNo.	制御内容	
SW1	室内アドレス（10位）	
SW2	室内アドレス（1位）	
SW5−1	親/子切換（プルーラル/子機設定）	
SW5−2		
SW6−1〜4	機種容量	
SW7−1	ON	運転チェック･ドレンポンプ試運転
	OFF	通常運転
SW7−2	ON	旧SL通信仕様固定
	OFF	新SL/旧SL通信仕様自動判別
SW7−3	室内アドレス（100位） OFF:0 ON:100	

シングル・ツイン接続の場合 ※同機種 / 同容量の室内ユニットを接続する場合
①室外ユニットから電源投入すると自動で機種容量を認識しますので、スイッチ設定は不要です。
②エコタッチリモコンから、機種容量を確認できます。
詳細は ②室内ユニットのアドレス機種容量確認方法 を参照してください。



［工場出荷時設定］

注１：工場出荷時の設定は自動認識（全て OFF）になっています。
注２：シングル・ツイン接続の場合でもスイッチを自動認識以外の状態にすると、設定した機種容量として認識してしまいます。

集中制御（スーパーリンク）接続の場合
SW7-2 を設定してください。
セゾンエアコンスーパーリンク配線工事説明書を参照

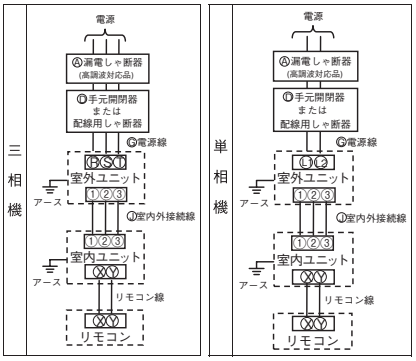
①電源・室内外配線の接続

●電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。
①配線は銅線以外のものを使用しないでください。
②電源は、室外ユニットへ接続してください。
③電気ヒータ（別売品）はなしにて記載してあります。注:電気ヒータの組込みは不可です。別置ヒータを連動させる場合は、ヒータ専用電源を設けること。
●アース線は室内外接続線および室内ユニット間配線の接続前に接続してください。また、アース線は室内外接続線より長くし、アース線に力がかからないようにしてください。
●電源は工事が完了するまで入れないでください。
●D種接地工事を必ず行ってください。
●端子台への接続は、丸型圧着端子を使用してください。

●専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないでください。併用した場合、電源ブレーカ落ちによる二次災害が生じる恐れがあります。
●室内外接続線は必ず3心ケーブルを使用してください。詳細は室外ユニットに付属の据付説明書を参照ください。
●室内外接続線は途中接続しないでください。途中接続した場所に水が浸入すると、対地間絶縁不良や途中接続部の接触不良をまねき、通信異常の原因となります。（万一、途中接続する場合には、絶対に水が浸入しないような処置を行ってください。）
●天井裏内の配線（電源・リモコン・室内外接続線など）はネズミ等により、かじられ切断することもありますので、なるべく鉄管等の保護管内に通してください。
●室内外ユニットの外部では、リモコン線と電源線が直接接触しないように施工してください。
●リモコン用端子台には、200V電源を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
●室内外接続線・室内ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続
①室内外接続線・室内ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続は、制御箱内の電源側端子台、リモコン側端子台に接続してください。室内外接続線の①②③は極性がありますので、必ず番号を合わせて接続してください。また、アース線は、電源側端子台アース端子に接続してください。
②電源には必ず漏電しゃ断器を取付けてください。漏電しゃ断器は、インバータ回路用しゃ断器（三菱電機製NV−Cシリーズまたは、その同等品）を選定してください。
③漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合には、漏電遮断器と直列に手元開閉器（開閉器+B種ヒューズ）または、配線用しゃ断器が必要となります。
④手元開閉器は室外ユニットの近傍に設置してください。
●配線の接続はねじの緩みのないように確実に行ってください。また、制御箱内のコネクタの抜けや端子外れがないことを確認してください。
●補助電気ヒータ組込の場合は、電気ヒータ組込時の説明書・または技術資料で確認してください。

シングル接続の結線

室内電源とりおよび室内外別電源とりは原則できません。
※例外的な接続方法の場合は技術資料を参照の上、所轄の電力会社にご相談の上、指示に従ってください。

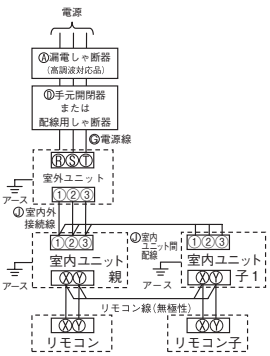


ツイン接続の結線

①親・子室内ユニット間は端子台①②③およびXY の同一番号間を接続してください。
②室内基板上のロータリスイッチ SW1, SW2 により、“00”～“15”から設定してください。同一冷媒系統子機は親機とアドレス No. を合わせてください。
③子室内ユニットは基板上のディップスイッチ SW5 により子 1 に設定してください。

室内ユニットの親・子設定方法（工場出荷時「親」設定）

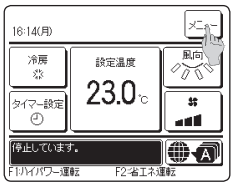
室内ユニット		親	子1
室内基板 SW	SW5-1	OFF	OFF
	SW5-2	OFF	ON



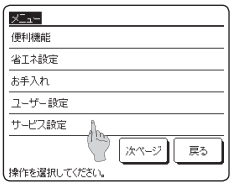
②室内ユニットのアドレス機種容量確認方法

●電源投入後、接続されている室内ユニットの機種容量とアドレスがリモコンに表示されることを必ず確認してください。（アドレス確認はシングル接続を除く）

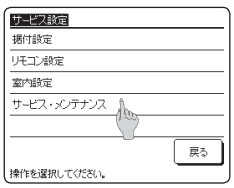
eco タッチリモコン (RC-DX3B) の場合



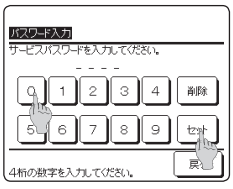
1. メニューをタッチする。
メニュー画面に切換わります。



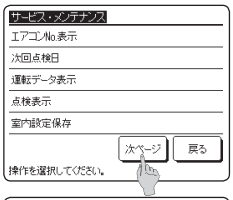
2. サービス設定をタッチする。
サービス設定画面に切換わります。



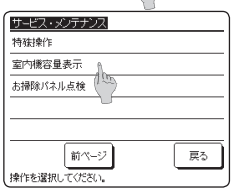
3. サービス・メンテナンスをタッチする。
パスワード入力画面に切換わります。



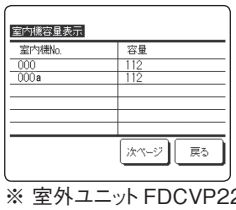
4. サービスパスワードを入力する。
5. セットをタッチする。
サービス・メンテナンスの画面に切換わります。



6. 次ページをタッチする。



7. 室内機容量表示をタッチする。



8. 接続されている室内ユニットのアドレスNo.（室内機No.）と機種容量（容量）が表示されます。

※ 室外ユニット FDCVP2244H 室内ユニット FDFZP1605SA　2 台接続の場合の例

③リモコンからの操作・設定

A：取扱説明書を参照ください。
B：据付工事説明書を参照ください。
C：インターネットよりユーティリティーソフトを配信中です。

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3B
1. リモコンネットワーク				
1	複数室内機制御		リモコン 1 台（リモコンネットワーク内）に最大 16 台室内機を接続制御できます。 室内機側にアドレスを設定します。	
2	親子リモコン設定		リモコンネットワーク内に 2 個のリモコン (含むワイヤレスリモコン) を接続できます。片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。	B
2.TOP 画面・SW 操作				
1	メニュー		制御・設定・詳細設定等の項目を追加します。	A
2	運転モード		冷房・暖房・送風・自動・除湿を設定します。	A
3	設定温度		室温を 0.5℃単位で設定します。	A
4	風向		風向を設定します。	A
5	風量		風量を設定します。	A
6	タイマー設定		タイマー運転を設定します。	A
7	運転／停止 SW		運転を開始します。／停止します。	A
8	F1 スイッチ		F1 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A
9	F2スイッチ		F2 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A
10	言語切換		リモコンに表示する言語を選択します。 選択できる言語は下記です。 英語／日本語 ドイツ語／フランス語／スペイン語／イタリア語／オランダ語／ トルコ語／ポルトガル語／ロシア語／ポーランド語／中国語	A
3. 便利機能				
1	タイマー設定	時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ・1 ～ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A
		時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ・1 ～ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。	A
		時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・1 回のみ／毎日の切換が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A
		時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・1 回のみ／毎日の切換が可能です。	A
		タイマー設定内容確認	各タイマーの設定内容を一覧できます。	A
2	おこのみ設定 管理者パスワード		おこのみ設定運転で使用する運転モード、設定温度、風量、風向を設定します。 おこのみ設定 1、おこのみ設定 2 のそれぞれに設定が可能です。	A
3	ウィークリータイマー		1 週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ・1 日最大 8 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A
4	るす番運転 管理者パスワード		お部屋を留守にするとき、お部屋は著しく高温 / 低温にならないように温度を保ちます。 ・外温と制御温度により冷房 / 暖房を行います。 ・設定温度、風量の設定が可能です。	A
5	換気 換気機器組合せの場合		換気の ON/OFF 操作を行います。 [メニュー]⇒[サービス設定]⇒[リモコン設定]⇒[換気設定]の設定が必要です。 ・換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転 / 停止ができます。	A
6	言語切換設定		リモコンに表示する言語を選択します。 ・選択できる言語は下記です。 英語 / 日本語 ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / オランダ語 / トルコ語 / ポルトガル語 / ロシア語 / ポーランド語 / 中国語	A
7	室外静音設定		室外ユニットの静音性を優先して運転します。 ・室外静音運転の開始・停止を設定します。	A
8	見てみて		室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ・室内ユニット―室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A
9	消費電力量表示		今日、今週、今年の消費電力量をグラフで表示します。 昨日、先週、昨年と比較することができます。 ・室内ユニット―室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A
4. 省エネ設定			管理者パスワード	
1	切忘れ防止タイマー		運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ・設定時間は 30 ～ 240 分 (10 分単位）まで選択可能です。 ・設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。	A

③リモコンからの操作・設定（つづき）

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3B
2	ピークカットタイマー		能力を制限する運転の開始時刻と停止時刻、能力制限率を設定します。 ・1 日最大 4 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・能力制限率は 0,40 ～ 80% (20%単位）から選択可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。	A
3	設定温度自動復帰		設定時刻後に設定した温度に戻ります。 ・暖房モード / 冷房モード他、各々設定可能です。 ・設定時間は 20 ～ 120 分（10 分単位）まで設定可能です。 ・設定時刻は 10 分単位で設定可能です。	A
4	人感センサー制御		人感センサーを使用の場合、パワーコントロールとオートオフの有効／無効を設定します。	A
5. お手入れ				
1	フィルタサインリセット	フィルタサインの解除	フィルターサインの解除を行います。	A
		次回清掃日の設定	次回清掃日の設定を行います。	A
6. ユーザ設定				
1	初期設定	時刻設定	現在の日付・時刻を設定及び修正を行います。 ・80 時間以内の停電の場合、内蔵バックアップ電源の働きにより時計は動き続けます。	A
		時刻表示設定	時刻表示のあり／なし、12 H／ 24 H、AM/PM 位置、を設定します。	A
		サマータイム補正	現在時刻に対し、＋ 1 時間の補正を行います。	A
		コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	A
		バックライト	バックライトの有効／無効、点灯時間を設定します。	A
		ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり／なしを設定します。	A
		運転ランプ輝度	運転ランプの輝度の調整を行います。	A
2	管理者設定 管理者パスワード	操作制限設定	・操作の許可 / 禁止を設定します。 [運転 / 停止][設定温度切換][運転モード切換][風向切換] [風量切換][ハイパワー運転][省エネ運転][見てみて][タイマー設定] [消費電力量表示] ・操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [ウィークリータイマー設定]　[言語切換設定]	A
		室外静音タイマー	室外ユニットの静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ・静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。	A
		設定温度範囲	設定温度範囲を制限します。 ・運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	A
		温度設定刻み切換	設定温度の刻み (0.5℃ /1.0℃）を設定します。	A
		設定温度表示切換	設定温度の表示の仕方を切り換えます。	A
		リモコン表示設定	リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり / なしを設定します。 点検コード、暖房準備、除霜運転中、自動冷暖の表示、リモコン・室温・外温表示のあり / なしを設定します。	A
		管理者パスワード変更	管理者パスワードの変更を行います。	A
			管理者パスワードのリセットを行います。	B
		スイッチ機能変更	F1、F2 スイッチの機能を設定します。 設定できる機能 [ハイパワー運転][省エネ運転][室外静音制御][るす番運転] [おこのみ設定運転1][おこのみ設定運転 2][フィルタサインリセット] [消費電力量表示]	A
7. サービス設定				
1	据付設定 サービスパスワード	据付日登録	据付日を登録した場合、点検表示を行います。	B
		サービス情報入力	リモコンに連絡先を登録することができます。 ・連絡先を半角 26 文字相当以内で登録できます。 ・連絡先 TEL 番号を 13 文字以内で登録できます。	B
		試運転	試運転の開始／停止を制御できます。	B
		冷房試運転	設定 5℃ 30 分間運転します。	
		バックアップ制御	1 台のリモコンに室内ユニット 2 台（2 グループ）は接続されている時にローテーション運転、キャパシティバックアップ運転、フォルトバックアップ運転の有効／無効が設定できます。	B
		人感センサー設定	リモコンに接続された室内ユニットの人感センサー検知の有効／無効を設定します。無効の場合は、省エネ設定の人感センサー制御を行うことができません。	B
2	リモコン設定 サービスパスワード	リモコン親子設定	リモコン親子設定の変更ができます。	B
		吸込センサー制御	1 台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込センサーを選択できます。 ・個別／親機／平均の選択が可能です。	B

③リモコンからの操作・設定（つづき）

設定および表示項目				詳細内容	RC-DX3B
2	リモコン設定	サービスパスワード	リモコンセンサー	リモコンセンサーに切り替えるモードを設定できます。 冷房／暖房で切替可能です。	B
			リモコンセンサー補正	リモコンセンサー検知温度を補正できます。 冷房／暖房　別々に補正可能です。	B
			運転モード選択	各運転モード毎に有効／無効を設定できます。	B
			設定温度単位	設定温度の単位を設定します。 ・℃／℉の選択が可能です。	B
			ファン速度	ファン速度の選択が可能です。	B
			外部入力設定	1 つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnT 入力の適用範囲が設定されます。	B
			換気設定	換気ユニット組合せ制御が設定できます。	B
			停電補償	停電復帰した場合の制御内容を設定できます。	B
			設定温度自動設定	設定温度自動の有効／無効を選択できます。	B
			風量自動設定	風量自動の有効／無効を選択できます。	B
3	室内設定	サービスパスワード	風速設定	室内ユニットの風量タップを設定します。	B
			フィルターサイン	フィルターサイン点灯タイマーの設定が換えられます。	B
			外部入力 1 設定	外部入力 1 の制御内容を換えられます。	B
			外部入力 1 方式切換	外部入力 1 の信号方式を換えられます。	B
			外部入力 2 設定	外部入力 2 の制御内容を換えられます。	B
			外部入力 2 方式切換	外部入力 2 の信号方式を換えられます。	B
			暖房室温補正	暖房サーモ判定値を 0 ～ +3℃の範囲で補正できます。	B
			吸込温度補正	吸込センサー検知温度を± 2℃の範囲で補正できます。	B
			冷房ファン制御	冷房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	B
			暖房ファン制御	暖房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	B
			フロスト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。	B
			フロスト防止制御	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更できます。	B
			冷房ファン残留運転	冷房停止・冷房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	B
			暖房ファン残留運転	暖房停止・暖房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	B
			暖房ファン間欠	暖房停止・暖房サーモ OFF ファン残留運転後のファン運転を設定できます。	B
			送風サーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。	B
			運転モード自動設定	運転モード自動判定方法を 3 種類から選択できます。	B
			サーモ判定切換	サーモ判定を室外温度で補正することができます。	B
			風量自動切換	風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。	B
			室内過負荷アラーム	運転開始 30 分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力（CNT-5) から過負荷アラーム信号を送信します。	B
			外部出力設定	外部出力 1 ～ 4 に割り当てる機能を換えられます。	B
4	サービス・メンテナンス	サービスパスワード	エアコンNo. 表示	リモコン 1 台に 16 台の室内ユニットを接続できます。個別送風運転で確認できます。	B
			次回点検日	次回の点検日を登録することができます。 点検日に連絡先の表示をします。	A B
			運転データ表示	室内ユニット＋室外ユニットの運転データをモニターすることができます。	B
			点検表示		
			異常履歴表示	過去の異常履歴（点検コード・発生時間）を表示します。	B
			異常時運転データ表示	直前の異常発生時の運転データを表示します。	
			異常時運転データ消去	異常時運転データが消去されます。	
			定期点検リセット	定期点検タイマーをリセットします。	
			室内設定保存	接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。	B
			特殊操作	[室内アドレス消去][CPUリセット][初期化設定][タッチパネル調整]の操作ができます。	B
			室内機容量表示	リモコンに接続されている室内アドレス番号とその容量を表示します。	B
8. 困ったときは・・・					
1	連絡先表示			登録した連絡先・TEL番号、サービスフロントセンターフリーコールを表示します。 QR コードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。	A
2	サービスを依頼される前に Q & A			Q &Aが表示されます。	A
9. 点検表示					
	点検表示確認			異常発生時の表示	A
10. パソコン接続					
	USB 接続			ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。	C

◆組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。

④電源投入初期設定

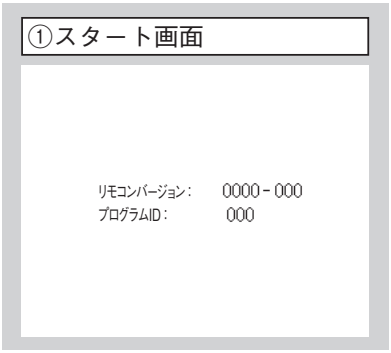
電源投入時の表示に沿って親子リモコン設定を行います。

・親子が設定されていない場合⇒(1)
・親子が設定されている場合　⇒(2)

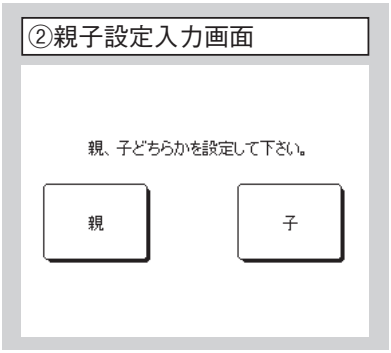
(1) **親子が設定されていない場合**

①⇒②親子入力画面を表示します。
枠で囲まれた 親 子 どちらかをタッチしてください。初期設定作業を開始します。
誤ってタッチした場合は、初期設定作業が終了後に設定変更することができます。(⑥リモコン機能設定④)
室内ユニット1台または、1グループに、2個の eco タッチリモコンが接続されている場合、1個目を 親 で設定開始すると 2個目は自動で 子 になります。

①スタート画面



②親子設定入力画面



ご注意

リモコン1台の場合は、親 をタッチしてください。
初期状態では、どちらか選択されるまで、待ち続けます。

親 を選択した場合　③⇒④⇒⑤の順で画面が遷移します。
子 を選択した場合　①⇒⑧⇒⑤の順で画面が遷移します。

③室内機検索中

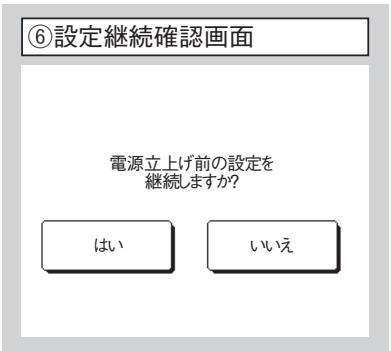
④室内機情報取得中

⑤ TOP 画面

通信が 10 分間確定しない場合、
赤 LED が点滅します。

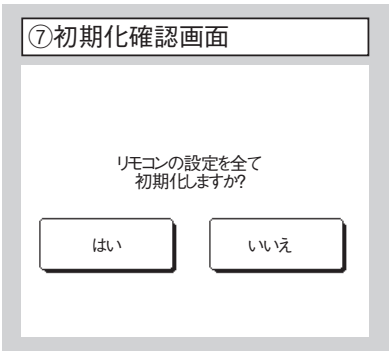
(2) **リモコンの親子設定がされている場合**

⑥設定継続確認画面



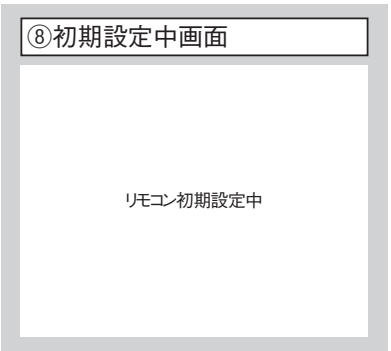
はい　⑧⇒⑤の順で画面が遷移します。
いいえ　⑦に画面が遷移します。
表示が 15 秒間タッチされない場合は はい 継続を認識して⑤画面に変わります。

⑦初期化確認画面



はい　①⇒②の順で画面が遷移します。
いいえ　⑥に画面が遷移します。
初期化すると出荷状態に戻ります。

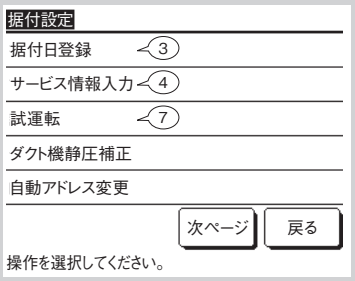
⑧初期設定中画面



⑤据付設定　試運転

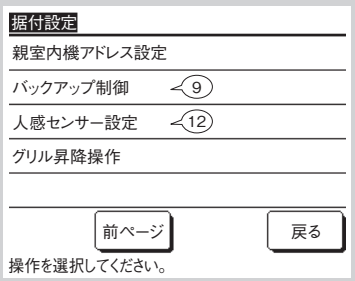
ＴＯＰ画面 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [サービスパスワード]

①据付設定メニュー＃１



選択した画面に移ります。

②据付設定メニュー＃２

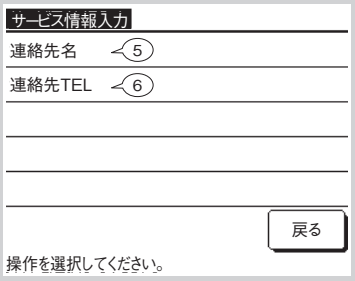


選択した画面に移ります。

③据付日登録

▲ ▼で設定してください。
セットで登録されます。

④サービス情報入力



お客様がサービスを依頼される際の連絡先を入力してください。

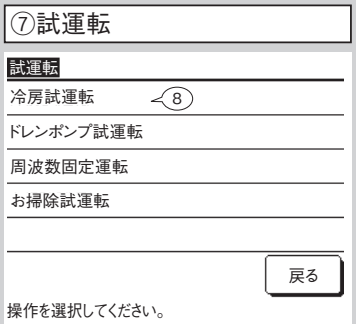
⑤連絡先名登録

連絡先名を半角 26 文字相当以内で入力し、[セット]ボタンをタッチしてください。数字、英字、カナ、漢字、キリル文字、中国文字での入力ができます。

⑥連絡先 TEL 登録

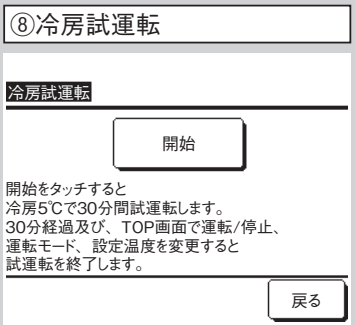
連絡先電話番号を 13 文字以内で入力し、[セット]ボタンをタッチしてください。

⑦試運転



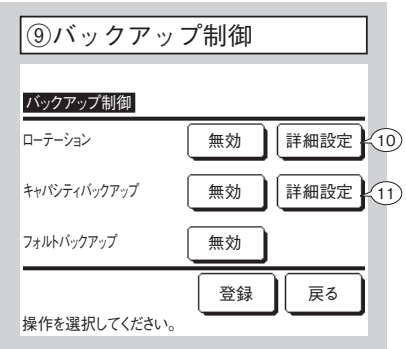
選択した画面に移ります。

⑧冷房試運転



冷房の停止中に操作可能です。室温が低く冷房試運転ができない場合、室温設定を 30 分間 5℃に下げて運転します。

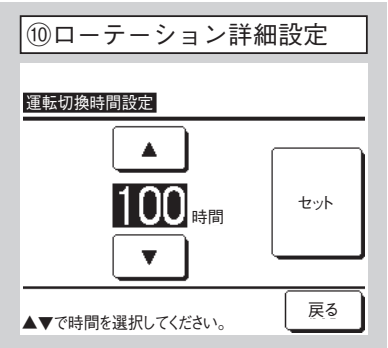
⑤据付設定　試運転（つづき）



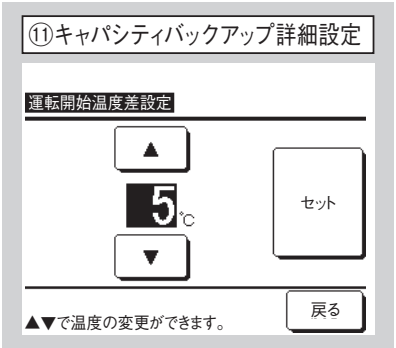
1 台のリモコンに室内ユニット 2 台（2 グループ）が接続されている時に、以下の制御が可能です。

1. ローテーション：2 台の室内ユニットが設定した時間毎に、交互に運転します。
2. キャパシティバックアップ：設定温度と室温の温度差により、室内ユニットの運転台数を 1 台⇔2 台へ切り換えます。
3. フォルトバックアップ：室内ユニット 2 台中 1 台が運転している場合、運転している室内ユニットが異常停止すると、もう 1 台の室内ユニットが運転を開始します。

有効 / 無効を選択し（無効をタッチすると有効に変わります。）、登録ボタンをタッチすると、設定内容が確定します。



ローテーションの運転を切り換える時間を設定します。
1 ～ 999 時間の間で 1 時間刻みで設定可能です。
時間切換後、セットで仮設定してください。仮設定後バックアップ制御画面に戻って登録をタッチしてください。

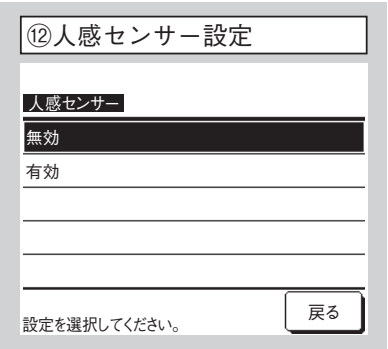


キャパシティバックアップの 1 台⇔2 台を切り換える設定温度と室温の温度差を設定します。
2 ～ 5℃の間で 1℃刻みで設定可能です。温度切換後、セットで仮設定してください。仮設定後バックアップ制御画面に戻って登録をタッチしてください。

バックアップ制御の制約条件

1. 運転モードが「自動」の場合、バックアップ制御はできません。運転モードが「自動」に設定された空調機にバックアップ制御を設定すると、運転モードは自動的に「冷房」モードに切り換わります。
2. ローテーション制御を設定した場合は、自動的にフォルトバックアップ制御も有効に設定されます。この場合、フォルトバックアップ制御のみを無効にすることはできません。ローテーション運転を無効にした場合は、フォルトバックアップ制御も無効になります。
3. キャパシティバックアップ制御を設定した場合は、自動的にフォルトバック制御も有効に設定されます。この場合、フォルトバックアップ制御のみを無効にすることはできません。キャパシティバックアップ制御を無効にした場合は、フォルトバックアップ制御も無効になります。
4. フォルトバック制御を単独で有効に設定することも可能です。
5. るす番運転、ウォームアップ設定、外部入力設定は、バックアップ制御と同時に設定することはできません。
6. ローテーション運転制御または、フォルトバックアップ制御設定時には、設定対象となっている室内機 2 台（2 グループ）の内、どちらか一方のみが運転します。両方同時に運転することはありません。
7. いずれの制御も、室内アドレスの若い室内機が先に運転開始します。

⑤据付設定　試運転（つづき）



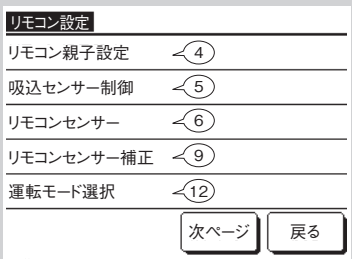
リモコンに接続されている室内機の人感センサーの有効／無効かを選択します。

・人感センサーを採用のお客様は上記の設定を行ってください。
　人の活動量を検知させたい室内機を有効にしてください。
　人感センサー設定が無効の場合には、人の活動量を検知しないため
　人感センサー制御（パワーコントロール、オートオフ）を行いません。
・４形以前の室内機は、人感センサー設定を有効にできません。
　人感センサー設定をタッチすると、「操作無効です」と表示されます。

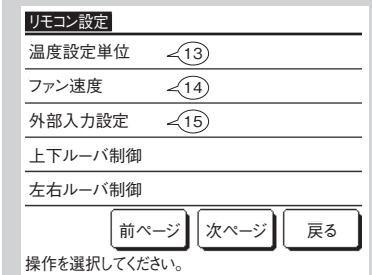
⑥リモコン機能設定　　お知らせ：停止中のみ操作可能

ＴＯＰ画面 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [リモコン設定] ⇒ [サービスパスワード]

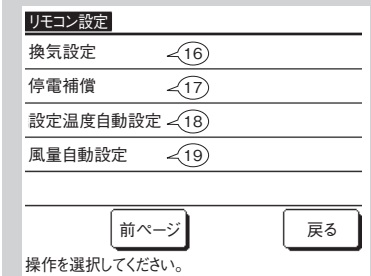
①リモコン設定メニュー＃１



②リモコン設定メニュー＃２

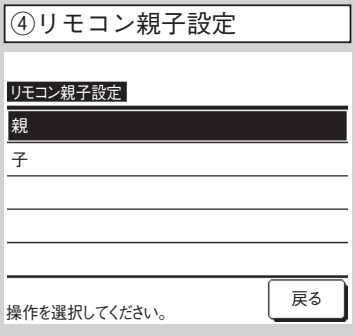


③リモコン設定メニュー＃３



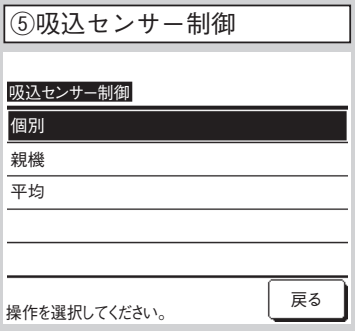
選択した画面に移ります。

④リモコン親子設定



リモコンの親子設定を変更する場合に操作します。

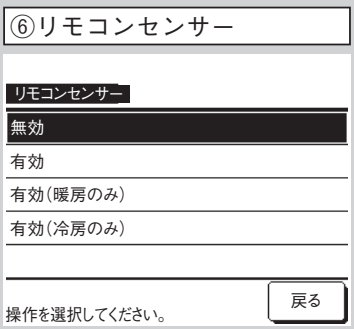
⑤吸込センサー制御



室内ユニットの吸込センサーの検知温度によりサーモ判定を行います。
1台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込温度センサーを選択できます。

1. [個別]：各々の室内ユニットの吸込温度でサーモ判定します。プルーラル接続されている場合はプルーラル親機の吸込温度を基準とします。
2. [親機]：接続されている室内ユニットの中で、アドレスの若い室内ユニットの吸込温度でサーモ判定します。
   1台のリモコンに、プルーラル接続が複数接続されている場合は、プルーラル親機間でアドレスが若い室内ユニットの吸込温度を基準とします。
3. [平均]：接続されている室内ユニットの吸込温度を平均し、サーモ判定します。

⑥リモコン機能設定（つづき）



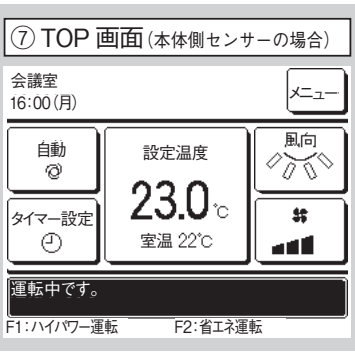
室内ユニット本体吸込センサーをリモコン側に変更できます。

無効　室温表示は、本体側センサーになります。⇒ ⑦

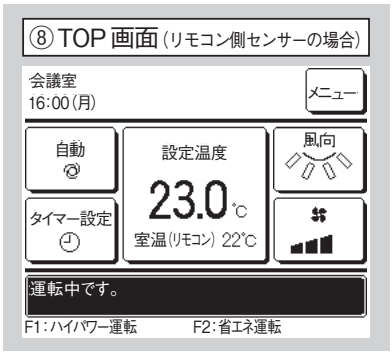
有効　室温表示は、リモコン側センサーになります。⇒ ⑧

有効(暖房のみ)　室温表示は、暖房中のみリモコン側センサーになります。

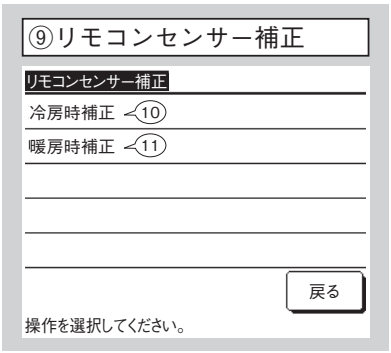
有効(冷房のみ)　室温表示は、暖房以外で運転中にリモコン側センサーになります。



リモコンセンサー無効時は、TOP画面で“室温○℃”と表示されます。



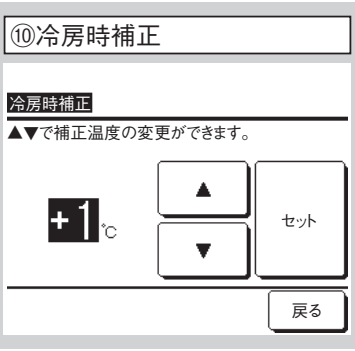
リモコンセンサー有効時は、TOP画面で“室温(リモコン）○℃”と表示されます。



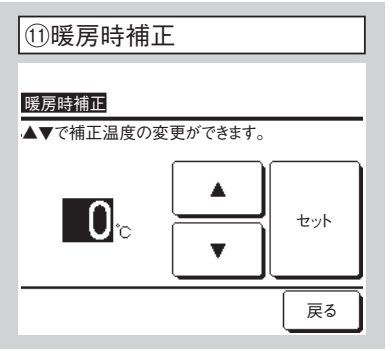
リモコンセンサー検知温度の補正ができます。

冷房時補正　⇒ ⑩

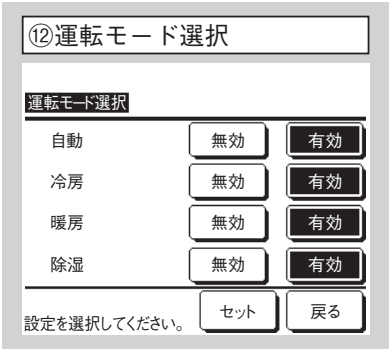
暖房時補正　⇒ ⑪



冷房運転中のリモコンセンサー検知温度補正ができます。
－３～＋３の範囲で設定します。



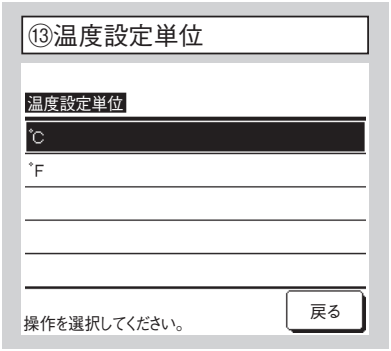
暖房運転中のリモコンセンサー検知温度補正ができます。
－３～＋３の範囲で設定します。



各運転モード毎に有効・無効を設定可能です。
冷房または暖房を無効にした場合、自動も無効になります。

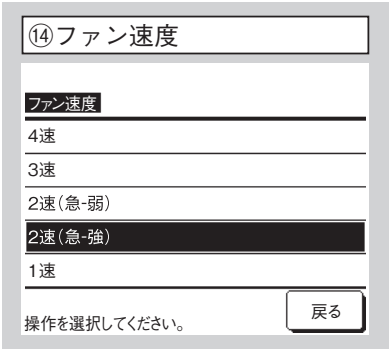
⑥リモコン機能設定（つづき）

⑬温度設定単位



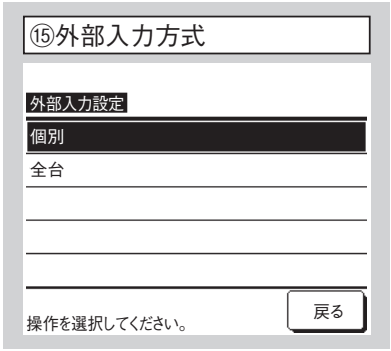
設定温度の単位を設定します。

⑭ファン速度



ファン速度選択の変更が可能です。室内ユニットにより対応できない場合があります。

⑮外部入力方式

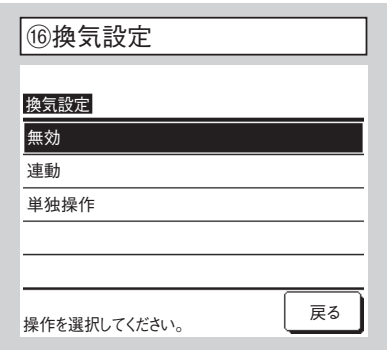


1 つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、運転／停止に対して CnT の入力の適用範囲を設定できます。

個別 CnT 入力された室内ユニットのみに適用されます。

全台 リモコンが接続されている室内ユニット全てに適用されます。

⑯換気設定



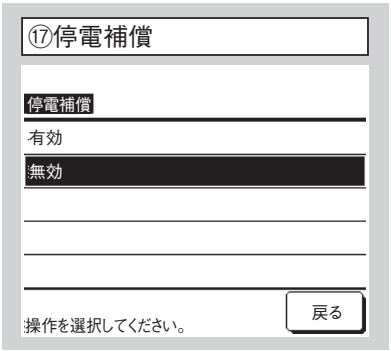
換気機器組合せの設定ができます。

無効 接続無し。

連動 エアコン運転／停止に連動し、換気出力（CnT）に出力します。

単独操作 メニューから換気を選択により換気単独で運転 / 停止出力を行います。

⑰停電補償

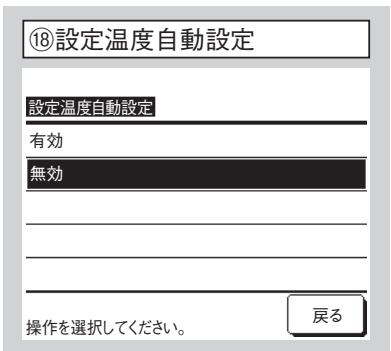


運転中に停電した場合、

有効 停電復旧（電源投入後の制御終了）しだい、停電前の状態に戻ります。

無効 停電復旧後、停止します。

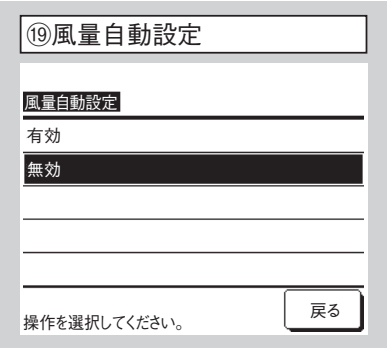
⑱設定温度自動設定



有効 室温設定画面から自動の選択が可能になります。

無効 室温設定の画面上に自動の選択スイッチが表示されません。

⑲風量自動設定



有効 風量設定画面から自動の選択が可能になります。

無効 風量設定の画面上に自動の選択スイッチが表示されません。

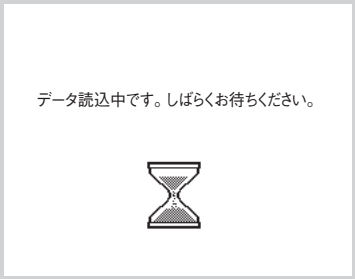
⑦室内機能設定　お知らせ：停止中のみ操作可能

ＴＯＰ画面 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [室内設定] ⇒ [サービスパスワード]

①室内機選択

②室内機選択 2

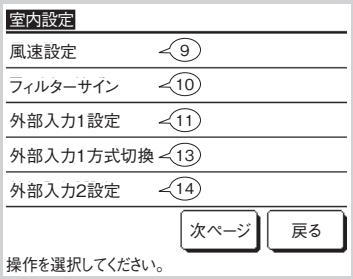
③データ読込中



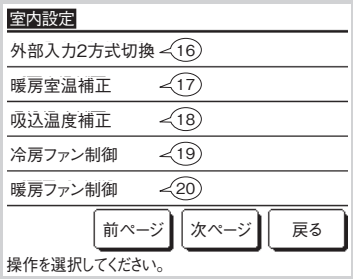
室内ユニットからデータ受信後に④に画面が切換わります

複数室内ユニットを接続の場合、接続された室内ユニットが表示されます。
[000]～[015] 各室内ユニット毎に個別設定されます。
[全台] 全台同一設定されます。

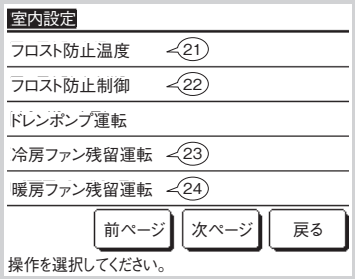
④室内設定メニュー＃１



⑤室内設定メニュー＃２

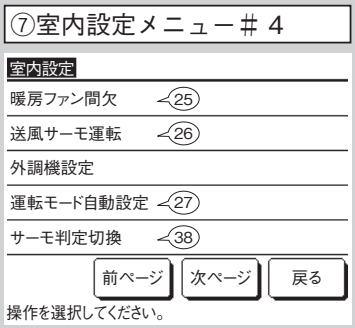


⑥室内設定メニュー＃３

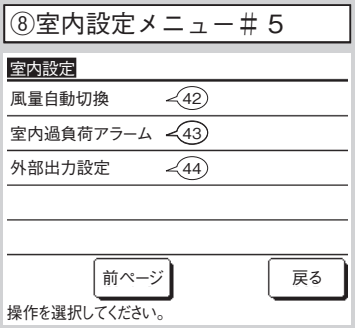


選択した画面に移ります。

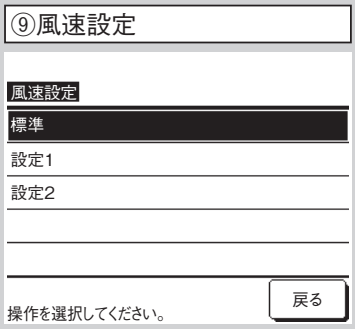
⑦室内設定メニュー＃４



⑧室内設定メニュー＃５

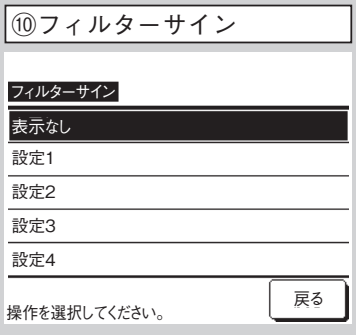


⑨風速設定



室内ユニットの風速設定を設定します。

⑩フィルターサイン

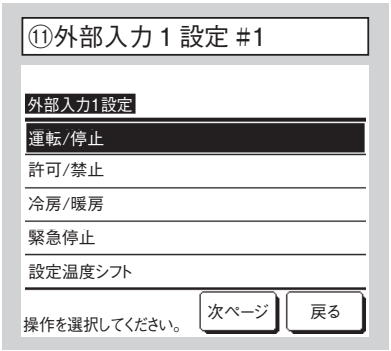


フィルターサイン点灯時間を設定します。

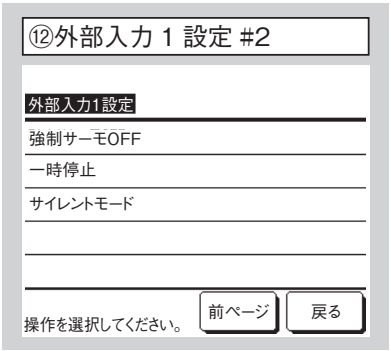
	フィルターサイン設定時間
表示なし	無し
設定１	180Hr
設定２	600Hr
設定３	1,000Hr
設定４	1,000Hr後運転停止

⑦室内機能設定（つづき）

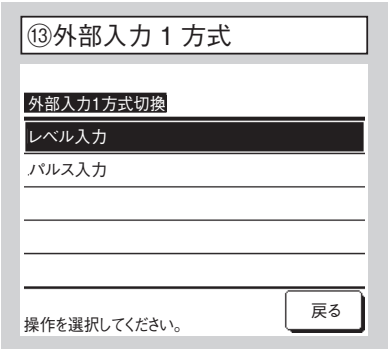
⑪外部入力 1 設定 #1



⑫外部入力 1 設定 #2



⑬外部入力 1 方式

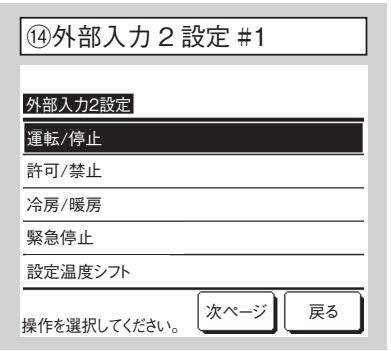


室内ユニット CnT 入力時の制御を設定します。

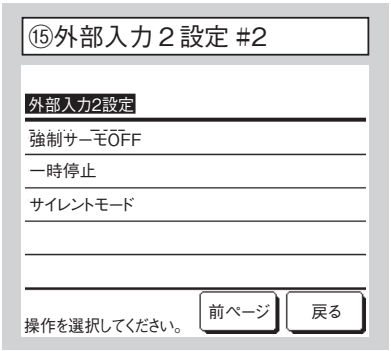
室内ユニットCnTへの入力信号方式を設定します。

外部入力２を装備している室内ユニットと組合わせた場合に操作できます。

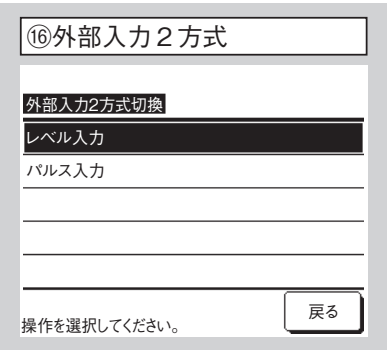
⑭外部入力２設定 #1



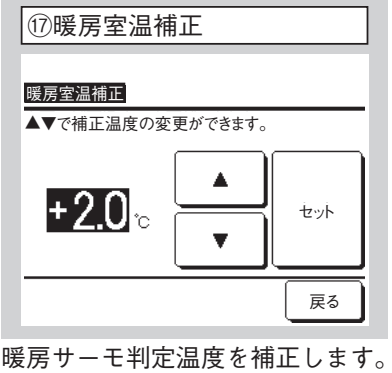
⑮外部入力２設定 #2



⑯外部入力２方式

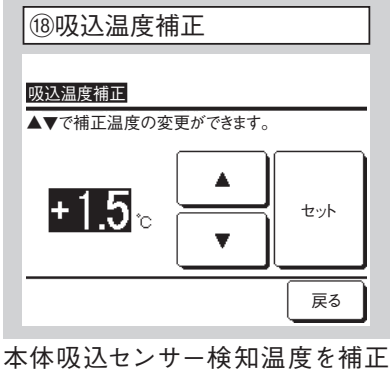


⑰暖房室温補正



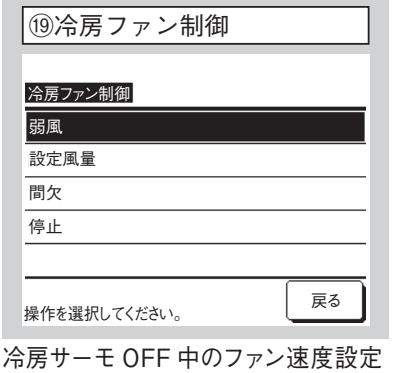
暖房サーモ判定温度を補正します。
0℃／ +1℃／ +2℃／ +3℃

⑱吸込温度補正



本体吸込センサー検知温度を補正します。
-2℃／ -1.5℃／ -1℃／ 0℃／ +1℃／ +1.5℃／ +2℃

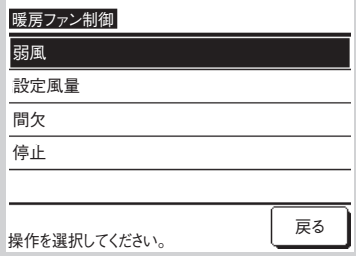
⑲冷房ファン制御



冷房サーモ OFF 中のファン速度設定
弱風　弱風運転
設定風量　サーモ ON 中と同風量
間欠　2 分Lo (ULo)運転／5 分停止
停止　停止

⑦室内機能設定（つづき）

⑳暖房ファン制御



暖房サーモ OFF 中のファン速度を設定します。

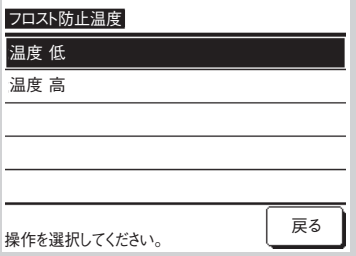
弱風　弱風運転

設定風量　サーモ ON 中と同風量

間欠　2 分 Lo(ULo)運転／ 5 分停止

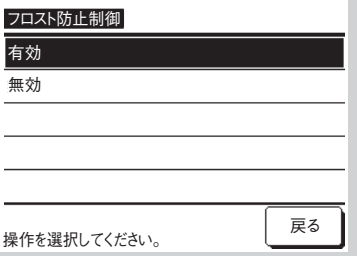
停止　停止

㉑フロスト防止温度



フロスト防止制御温度の切換ができます。

㉒フロスト防止制御

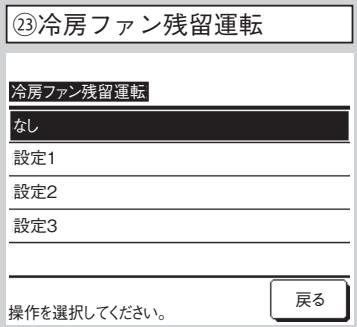


フロスト防止制御後、ファン速度が

有効　アップします。

無効　変化しません。

㉓冷房ファン残留運転



冷房運転、停止またはサーモ OFF 後のファン残留運転時間を設定します。

なし　ファン残留運転なし

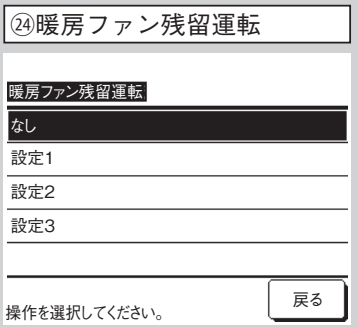
設定 1　0.5 時間

設定 2　2 時間

設定 3　6 時間

※残留時間が異なる場合があります。

㉔暖房ファン残留運転



暖房運転、停止またはサーモ OFF 後のファン残留運転時間を設定します。

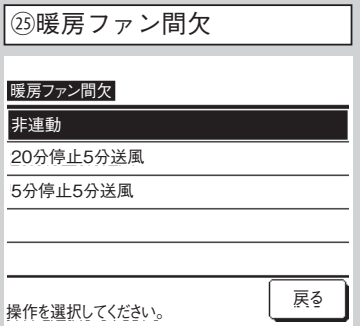
なし　ファン残留運転なし

設定 1　0.5 時間

設定 2　2 時間

設定 3　6 時間

㉕暖房ファン間欠



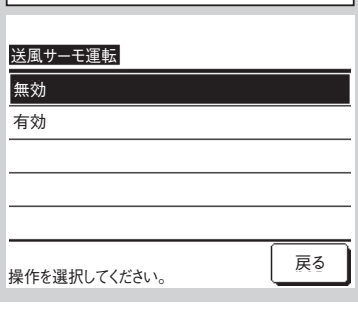
暖房運転、停止またはサーモOFF後のファン制御を設定します。

非連動　停止

20分停止 5分送風　25分毎に条件チェックして 5 分送風

5分停止 5分送風　10分毎に条件チェックして 5 分送風

㉖送風サーモ運転



サーキュレーター運転として使用する場合

無効　送風時連続運転

有効　送風時リモコンと本体の温度差を見て送風運転／停止します。

⑦室内機能設定（つづき）

㉗運転モード自動設定

運転モード自動設定
- 自動1･2･3切換 ㉘
- 自動1関連設定 ㉙
- 自動2関連設定 ㉚
- 自動3関連設定 ㉛

戻る

操作を選択してください。

㉘自動 1･2･3 切換

自動1･2･3切換
- 自動1
- 自動2
- 自動3

戻る

操作を選択してください。

自動１　設定温度と室温の温度差で、冷房／暖房が切換わります。

自動２　設定温度と室温の温度差および外気温度で冷房／暖房が切換わります。

自動３　室温および外気温度で、冷房／暖房が切換わります。

運転モード自動での冷房／暖房切換方式を３方式から選択できます。
各方式の条件を設定をします。

㉙自動 1 関連設定

自動1関連設定
- 冷房切換温度 ㉞
- 暖房切換温度 ㉟

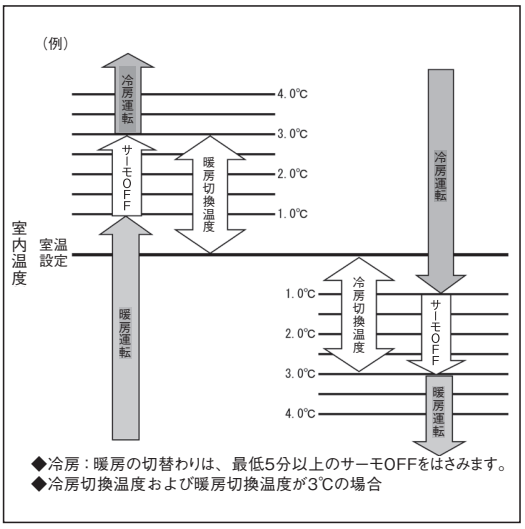
戻る

操作を選択してください。

冷房／暖房の切換温度を設定します。
切換温度は 1 ～ 4℃の範囲で設定できます。

設定温度－冷房切換温度＜室内吸込温度の場合
⇒運転モード：冷房

設定温度＋暖房切換温度＞室内吸込温度の場合
⇒運転モード：暖房



◆冷房：暖房の切替わりは、最低5分以上のサーモOFFをはさみます。
◆冷房切換温度および暖房切換温度が3℃の場合

㉚自動 2 関連設定

自動2関連設定
- 冷房切換温度 ㉜
- 暖房切換温度 ㉝
- 冷房室外温度 ㉞
- 暖房室外温度 ㉟

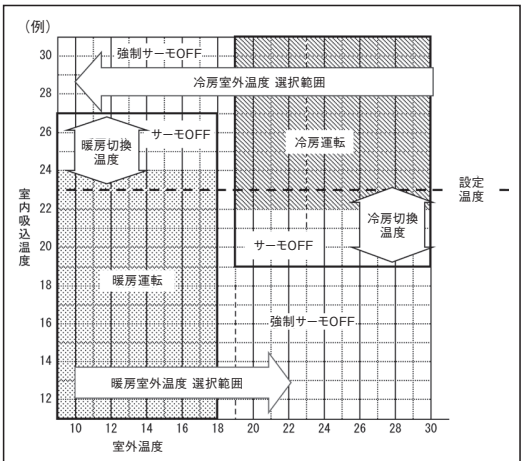
戻る

操作を選択してください。

冷房／暖房の切換温度、冷房／暖房室外温度を設定します。

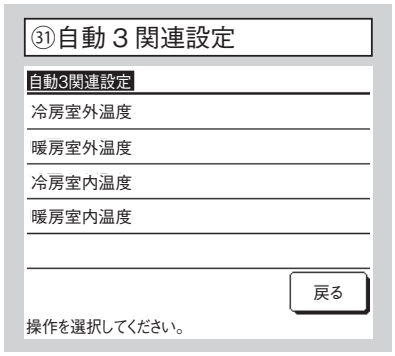
「設定温度－冷房切換温度＜室内吸込温度」かつ「設定した冷房室外温度＜室外吸込温度」の場合
⇒運転モード：冷房

「設定温度＋暖房切換温度＞室内吸込温度」かつ「設定した暖房室外温度＞室外吸込温度」の場合
⇒運転モード：暖房



◆冷房切換温度および暖房切換温度が4℃で、
冷房室外温度が19℃、暖房室外温度が18℃の場合。

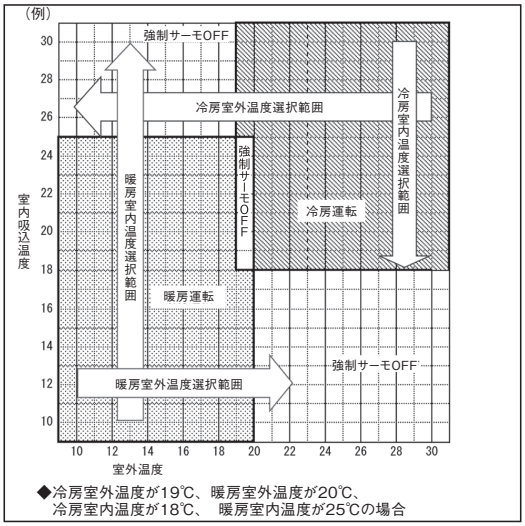
⑦室内機能設定（つづき）



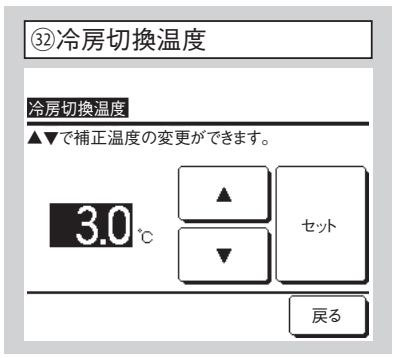
冷房／暖房室外温度、冷房／暖房室内温度を設定します。

「設定した冷房室内温度＜室内吸込温度」かつ「設定した冷房室外温度＜室外吸込温度」の場合
⇒運転モード：冷房

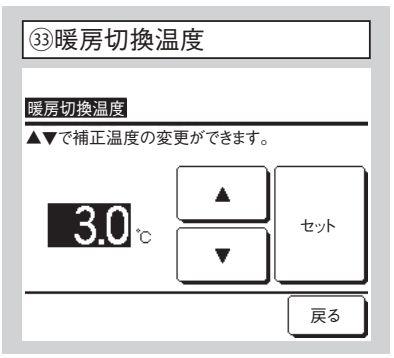
「設定した暖房室内温度＞室内吸込温度」かつ「設定した暖房室外温度＞室外吸込温度」の場合
⇒運転モード：暖房



◆冷房室外温度が19℃、暖房室外温度が20℃、
冷房室内温度が18℃、 暖房室内温度が25℃の場合

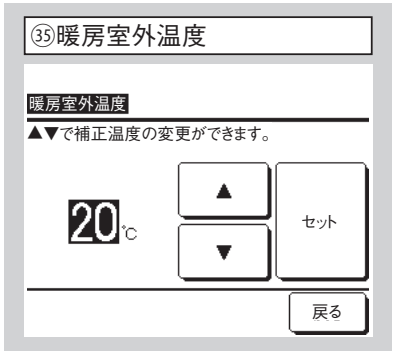


自動１、自動２で冷房切換温度を設定します。
１～４℃の範囲で設定できます。



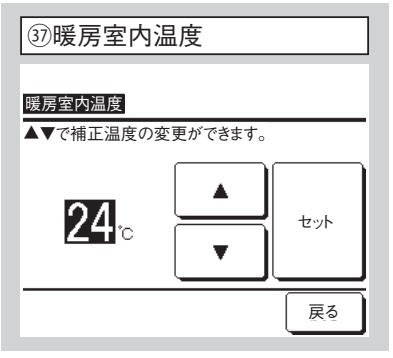
自動１、自動２で暖房切換温度を設定します。
１～４℃の範囲で設定できます。

自動２、自動３で冷房室外温度を設定します。
10～30℃の範囲で設定できます。



自動２、自動３で暖房室外温度を設定します。
10～22℃の範囲で設定できます。

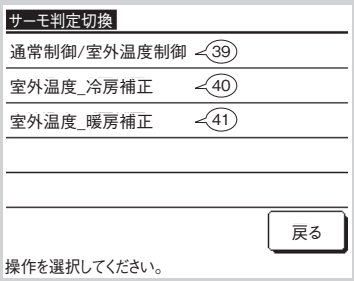
自動３で冷房室内温度を設定します。
18～30℃の範囲で設定できます。



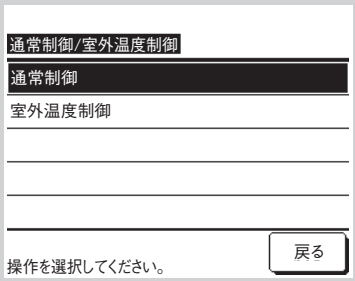
自動３で暖房室内温度を設定します。
10～30℃の範囲で設定できます。

⑦室内機能設定（つづき）

㊳サーモ判定切換

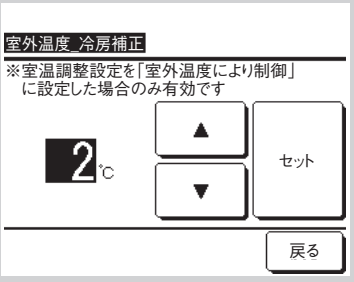


㊴通常制御／外気温度制御

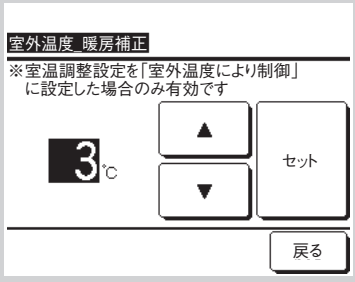


室温制御、サーモ ON ／ OFF 切換方式・条件を設定します。
通常制御 室内温度と設定温度の差でサーモ判定をします。
室外温度制御 室外温度±補正値と室内温度でサーモ判定します。
室温設定は無効となります。

㊵室外温度 _ 冷房補正

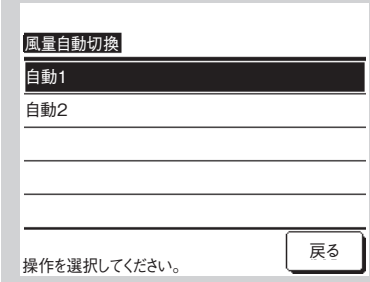


㊶室外温度 _ 暖房補正



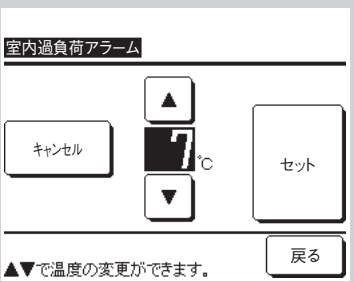
室外温度と冷房／暖房補正値によりサーモ判定します。
(a) 室外温度 _ 冷房補正：冷房中にサーモ判定します。
室内温度＞（室外温度－冷房補正値）でサーモ ON します。
冷房補正値は 0 ～ 10℃で設定できます。
(b) 室外温度 _ 暖房補正：暖房中にサーモ判定します。
室内温度＜（室外温度＋暖房補正値）でサーモ ON します。
暖房補正値は 0 ～ 5℃で設定できます。

㊷風量自動切換



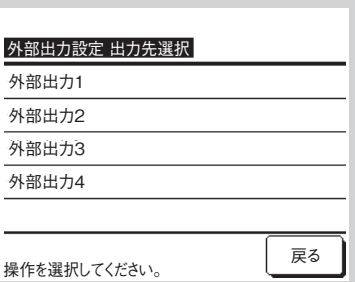
風量自動の切換範囲を設定
自動 1 急⇔強⇔弱
自動 2 P 急⇔急⇔強⇔弱

㊸室内過負荷アラーム設定

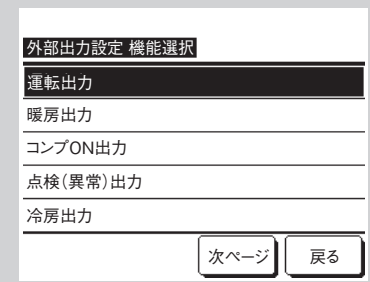


運転開始 30分後、設定温度と吸込温度差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力（CnT-5）から過負荷アラーム信号を送信します。

㊹外部出力設定　出力先選択

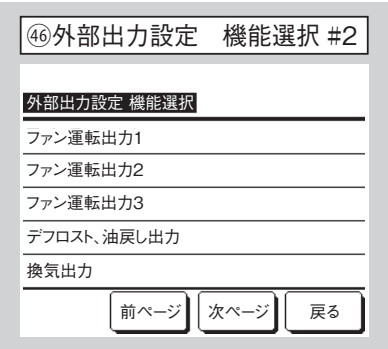


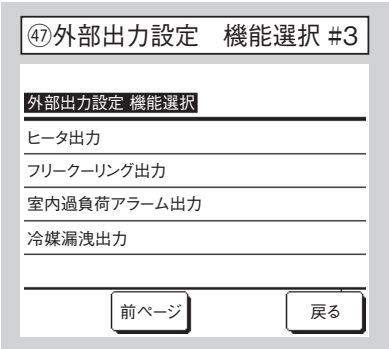
㊺外部出力設定　機能選択 #1



変更する出力先を選択後、選択した出力に割当てる機能を選択します。
各出力のコネクタと初期設定は下記です。
外部出力 1 ＣｎＴ-2 運転出力
外部出力 2 ＣｎＴ-3 暖房出力
外部出力 3 ＣｎＴ-4 コンプ ON 出力
外部出力 4 ＣｎＴ-5 点検（異常）出力

⑦室内機能設定（つづき）

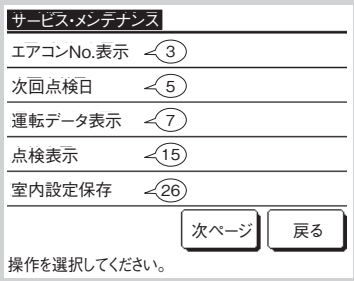

㊻外部出力設定　機能選択 #2
外部出力設定 機能選択
ファン運転出力1
ファン運転出力2
ファン運転出力3
デフロスト、油戻し出力
換気出力
前ページ
次ページ
戻る


㊼外部出力設定　機能選択 #3
外部出力設定 機能選択
ヒータ出力
フリークーリング出力
室内過負荷アラーム出力
冷媒漏洩出力
前ページ
戻る

⑧サービス・メンテナンス方法

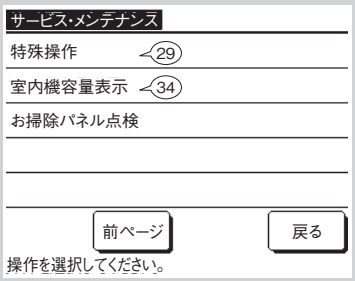
ＴＯＰ画面 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード]

①サービス・メンテナンス　メニュー



選択した画面に移ります。

②サービス・メンテナンス　メニュー

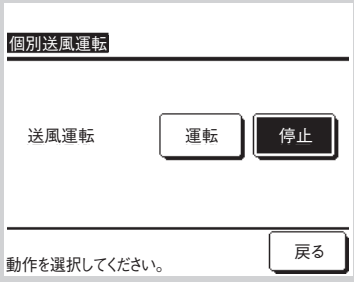


選択した画面に移ります。

③エアコン No. 表示

８台以上接続の場合は、次ページ以降に表示がでます。室内ユニット選択後[個別送風]ボタンをタッチすると、選択した室内ユニットが送風運転します。⇒④

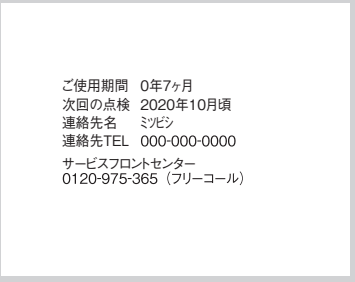
④個別送風運転



[運転] 送風運転開始。
[停止] 送風運転停止。

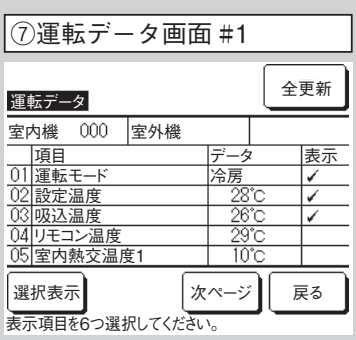
⑤次回点検日

⑥点検メッセージ

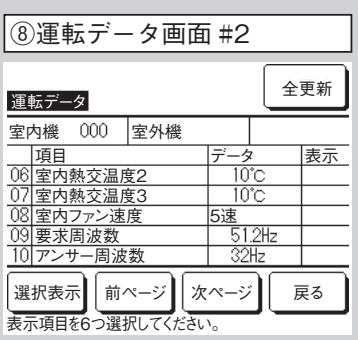


次回点検日を入力すると､点検月の運転開始／停止時にメッセージが表示されます。
表示は 、次回点検日を更新するとリセットされます。
[設定なし]をタッチするとメッセージは表示されません。

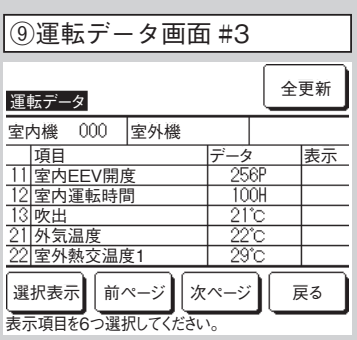
⑦運転データ画面 #1



⑧運転データ画面 #2



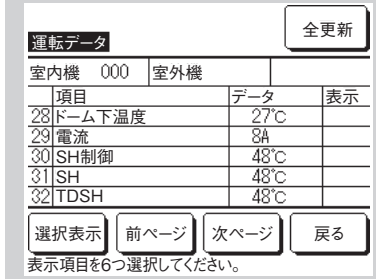
⑨運転データ画面 #3



運転データが表示されます。[全更新]タッチで全データが更新されます。
データを自動更新させて表示したい場合、６項目まで選択できます。６項目選択後、[選択表示]ボタンをタッチすると⑭の画面に変わります。

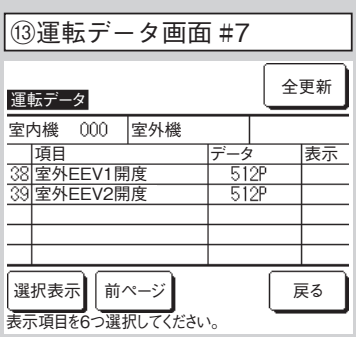
⑩運転データ画面 #4

⑪運転データ画面 #5

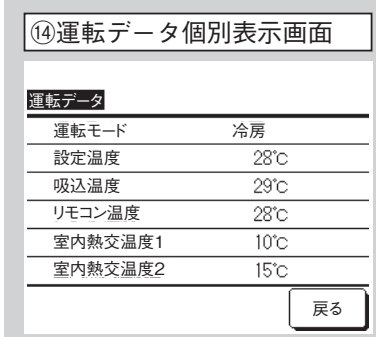


⑫運転データ画面 #6

⑬運転データ画面 #7

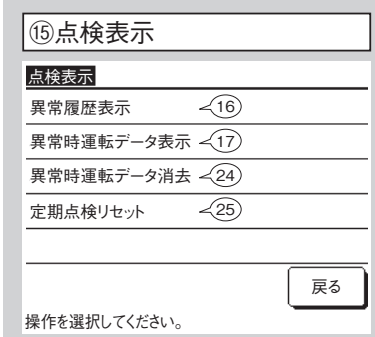


⑭運転データ個別表示画面



選択した６つの項目を自動更新して表示します。

⑮点検表示

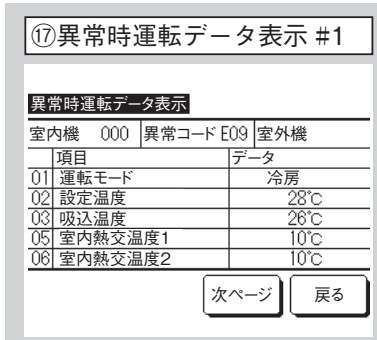


⑯異常履歴表示（例）

異常発生日時・室内アドレス・異常コードを表示します。

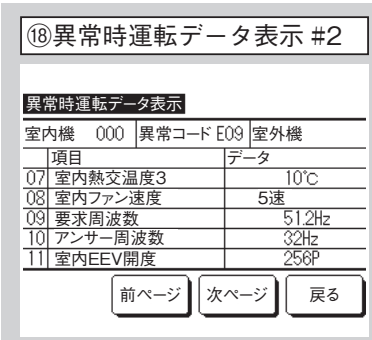
消去 ボタンをタッチすると、異常履歴を消去します。

⑰異常時運転データ表示 #1

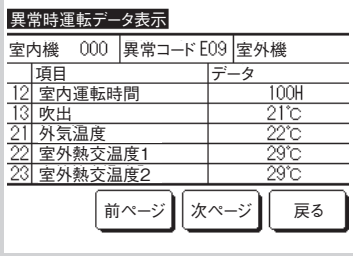


異常発生直前の運転データが表示されます。

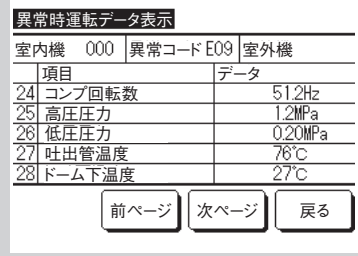
⑱異常時運転データ表示 #2



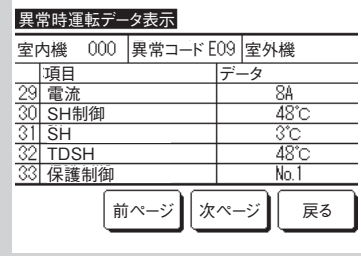
⑲異常時運転データ表示 #3



⑳異常時運転データ表示 #4

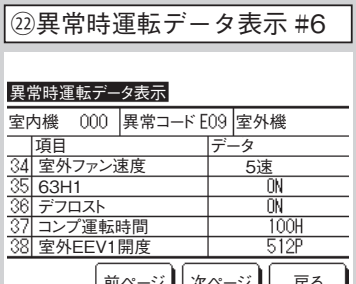


㉑異常時運転データ表示 #5

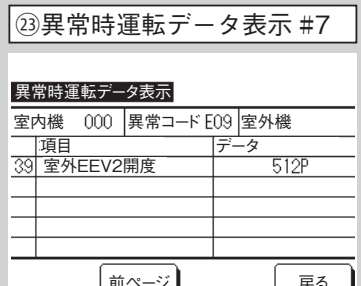


異常発生直前の運転データが表示されます。

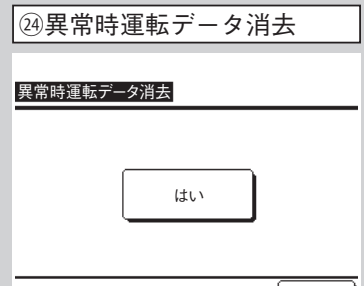
㉒異常時運転データ表示 #6



㉓異常時運転データ表示 #7

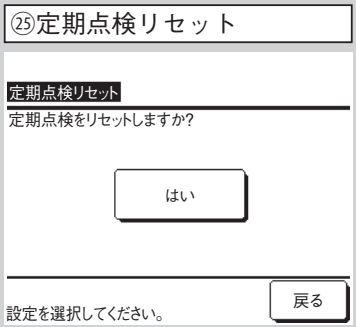


㉔異常時運転データ消去



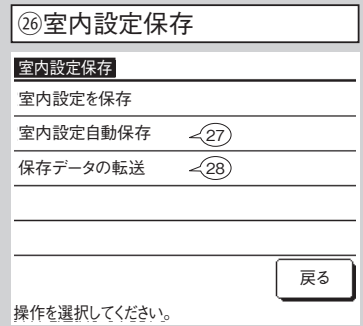
異常時運転データが消去されます。

㉕定期点検リセット



定期点検リセット操作により、時間カウントがリセットされます。

㉖室内設定保存

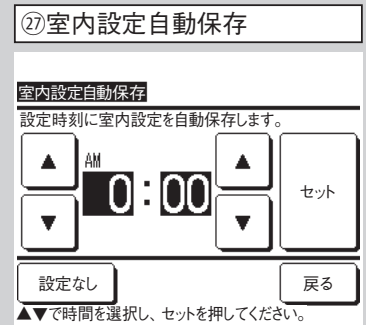


室内設定を保存 リモコンに接続されている室内ユニットすべての設定をリモコンに保存します。

室内設定自動保存 毎日の自動保存時刻を設定します。

保存データの転送 リモコンに保存した室内設定データを室内ユニットに転送します。

㉗室内設定自動保存



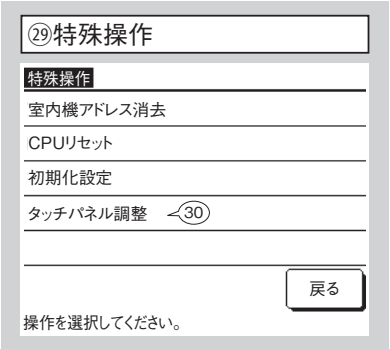
毎日の自動保存時刻を設定します。

設定なし を選択すると、自動保存は行いません。

転送する室内ユニットを選択すると、確認画面が表示されますので、データ転送を行ってください。

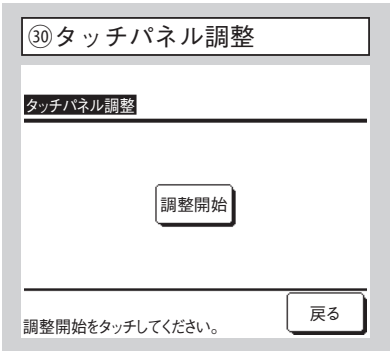
お知らせ

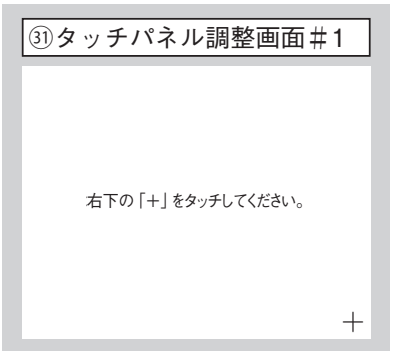
室内ユニット基板を交換したが、設定内容が判らなくなったことはありませんか？
リモコンに室内ユニット設定を保存しておくと、［保存データの転送］により、保存されたデータが室内ユニットに書込まれます。

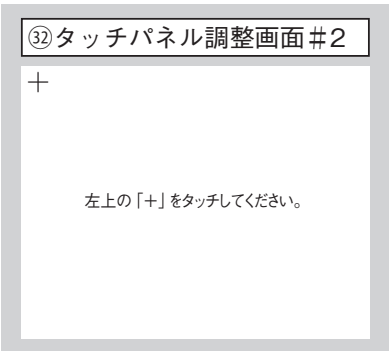


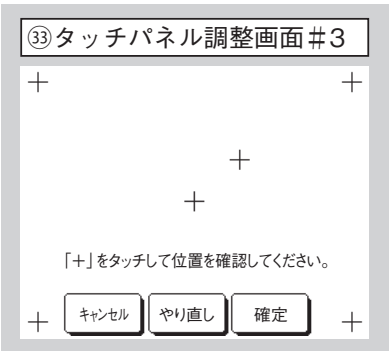
選択した画面に移ります。

室内機アドレス消去　マルチ室内ユニットの記憶が消去されます。
CPU リセット　接続されている、室内ユニット・室外ユニットのマイコンがリセット（停電復帰状態）されます。
初期化設定　接続されている、リモコン・室内ユニットの設定が初期値（出荷状態）になります。
タッチパネル調整　表示とタッチ位置が一致しない場合に調整します。









表示とタッチ位置が一致しない場合に調整します。
画面の指示にそって、［+］マーク中心をタッチしてください。
確定 で終了します。

⑧サービス・メンテナンス方法（つづき）

㉞室内機容量表示

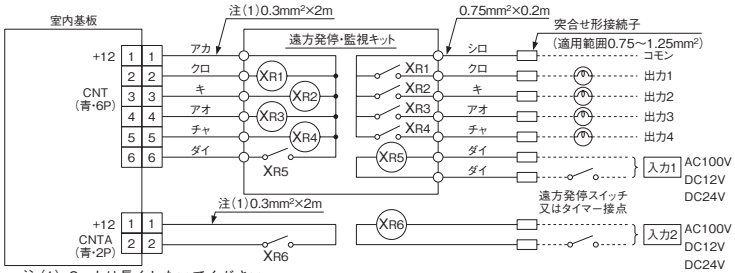
室内機容量表示

室内機No.	容量
000	40
001	71
002	80
003	112
004	224
005	280

次ページ　戻る

リモコンに接続されている室内機の容量を表示します。
7台以上接続の場合は、次ページ以降に表示がでます。
室内ユニット―室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。

⑨室内基板ＣｎＴコネクタの機能



注(1) 2mより長くしないでください。

●$X_{R1～4}$はDC12Vリレー(オムロン製LY2F相当品)
●X_{R5}は、DC12,24Vまたは100Vリレー(オムロン製MY2F相当品)
●ＣｎＴコネクタ(現地側)メーカ、形式
　コネクタ:モレックス製 5264−06
　端　　子:モレックス製 5263T
　別売品(PCZ006A043)を準備しておりますのでご利用ください。
●遠方発停・監視キットを別売品にて準備しておりますのでご利用ください。
●ＣｎＴＡコネクタは、FDT他に搭載＜仕様書で確認願います＞(現地側)メーカ、形式
　コネクタ:日本圧着端子JST製　XAP02V−1−E
　端　　子:日本圧着端子JST製　SXA−01T−P0.6
　別売品(PCZ006A053)を準備しておりますのでご利用ください。

●出力1～4, 入力1・2を下記の項目より自由に選択・設定することができます。
　工場出荷時は下記のように設定されています。

出力

①	運転出力	⑧	ファン運転出力3
②	暖房出力	⑨	デフロスト , 油戻し出力
③	圧縮機 ON 出力	⑩	換気出力
④	点検(異常)出力	⑪	ヒータ出力
⑤	冷房出力	⑫	フリークーリング出力
⑥	ファン運転出力1	⑬	室内過負荷異常出力
⑦	ファン運転出力2	⑭	冷媒漏洩出力

入力

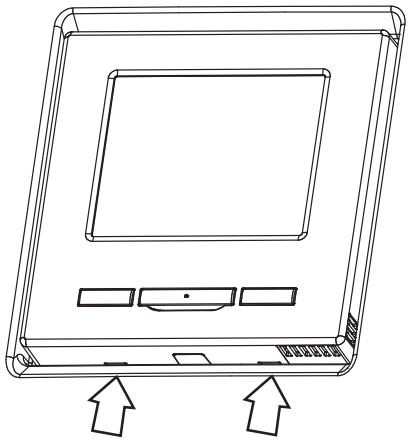
①	運転 / 停止	⑤	設定温度シフト
②	運転許可禁止	⑥	強制サーモ OFF
③	緊急停止	⑦	一時停止
④	冷房 / 暖房	⑧	静音モード

工場出荷時の設定

CnT-2	出力 1	運転出力	CnT-5	出力 4	点検(異常)出力
CnT-3	出力 2	暖房出力	CnT-6	入力 1	運転 / 停止
CnT-4	出力 3	圧縮機 ON 出力	CnTA	入力 2	運転 / 停止

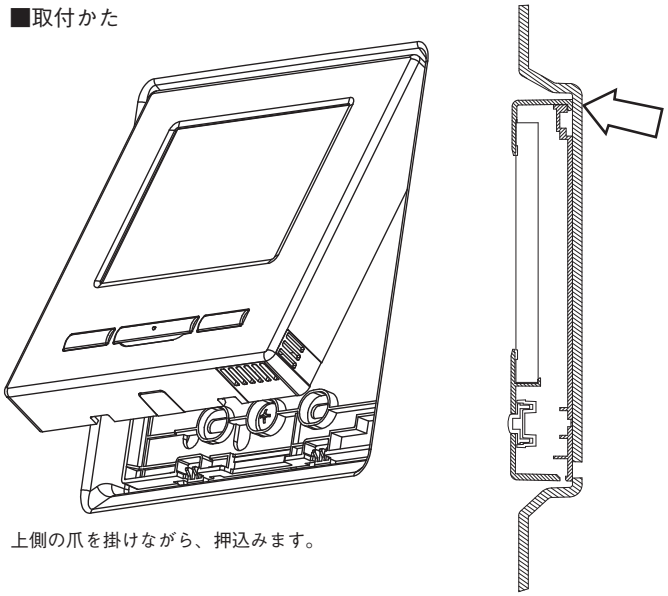
⑩リモコンの外しかた

■取外しかた



リモコン下面の凹（矢印部）にマイナスドライバーをいれて手前に引いてください。パネルを傷つけない様に注意してください。

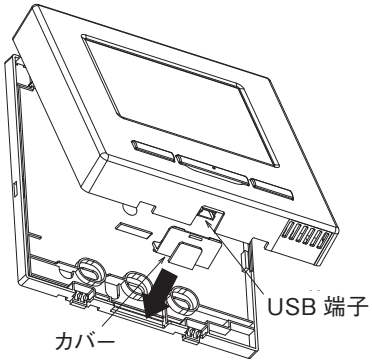
■取付かた



上側の爪を掛けながら、押込みます。

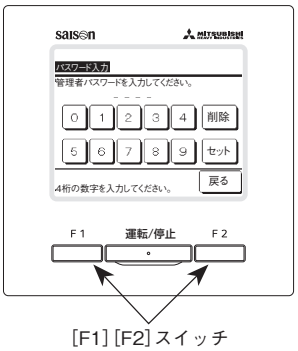
お知らせ　パソコン接続について

USB コネクター（mini-B）を介してパソコンからの設定が可能です。
上ケース下面カバーを外して接続してください。
使用後はカバーを元の位置にはめてください。
接続には、専用のソフトが必要です。
詳細は、ホームページを参照してください。



お知らせ　パスワード初期化

管理者パスワード（日常使用する項目設定用）と
サービスパスワード（据付・試運転・メンテナンス用）があります。
◯管理者パスワード初期値は、0000 です。設定変更ができます（取扱説明書参照）。
　管理者パスワードを忘れた場合は、管理者パスワード入力画面で［F1］［F2］スイッチを同時に５秒長押しするとパスワードは初期化されます。
◯サービスパスワードは、9999 です。設定変更ができません。
　管理者パスワード入力の時、サービスパスワードでも受付られます。



［F1］［F2］スイッチ

(3) スーパーリンク配線工事

PSC012D136

(a) FDT, FDTW, FDTS, FDR, FDU, FDE, FDK シリーズ

・本説明書は、集中制御オプション等を使用するためのスーパーリンクネットワーク信号線（DC5V）接続方法を記載してあります。
他の説明書と合わせてご覧ください。

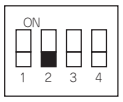
① 据付の前に

● ネットワークに接続される全ての機器が新スーパーリンク対応の場合にのみ新スーパーリンク仕様になります。
ネットワーク内に旧スーパーリンク対応機器が存在する場合は、旧スーパーリンク仕様になります。
旧スーパーリンクの場合にはディップスイッチ SW7-2（ON）に切換えてください。

通信方式		新スーパーリンク（※1）	旧スーパーリンク（※2）
ネットワーク内の接続台数	室内ユニットの台数	最大 128 台　000 ～ 127	最大 48 台　00 ～ 47
	ブルーラル機の台数	最大 16 台　000 ～ 015	最大 16 台　00 ～ 15
スーパーリンク集中制御からの距離		1000m 以内	1000m 以内
使用する配線の仕様		MVVS（シールド線）（※3）	
ネットワーク全体の信号線合計長さ	0.75mm^2	1500m 以内	1000m 以内
	1.25mm^2（※4）	1000m 以内	1000m 以内

（※1）ビル空調 3LX シリーズ，ガスヒートポンプ M8 シリーズ以降
（※2）ビル空調 2LX シリーズ，ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前
（※3）電線工業会 規格番号：JCS 4271：2003
（※4）線径 2.0mm^2 は使用しないでください。誤作動となる場合があります。

SW7-2
スーパーリンク
新旧



ON ：旧固定
OFF：自動判定

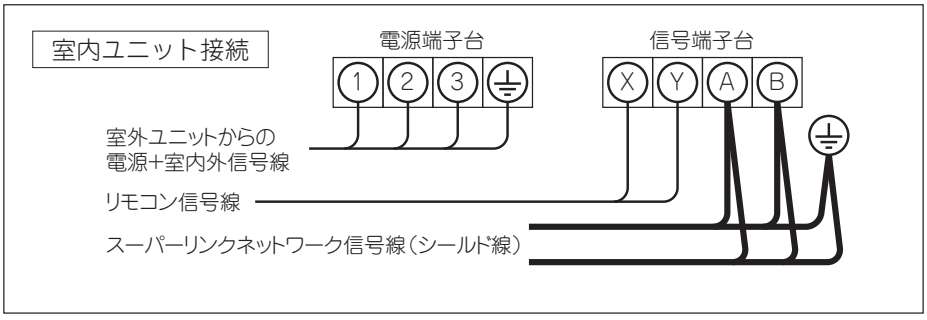
② 室内アドレスの設定

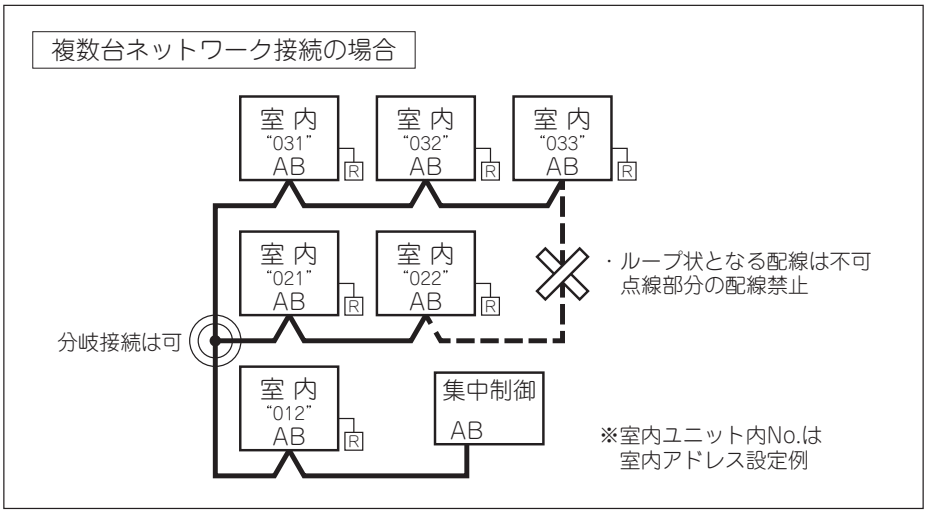
● 室内ユニットコントローラ基板のスイッチにて室内アドレス設定をしてください。
オートアドレス設定には対応していません。リモコンからのアドレス設定には対応していません。

スイッチ					出荷時設定
SW7-3 100の位		ON ： 1 OFF： 0	SW1 10の位	SW2 1の位	“000”

・プルーラルの親子設定は　ディップスイッチ SW5 にて設定してください<電気配線工事説明書参照>。
・プルーラル機の室内アドレスは、“000”から“015”に設定してください。
・プルーラル子機は親機の室内アドレスに合わせて設定してください。

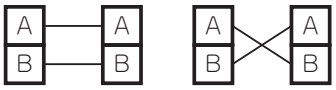
③ スーパーリンクネットワーク接続要領 <信号端子台 A B>





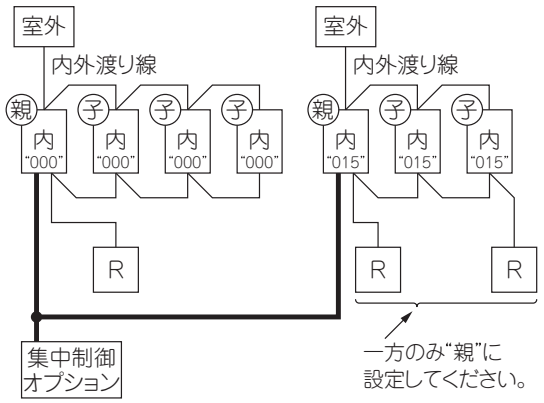
・信号端子台への接続は、M 3.5 用の圧着端子を使用してください。

・配線はシールド線を使用して両端をアースへ接続してください。
・AB 信号線には極性はありません。
AB 接続が反転しても通信します。



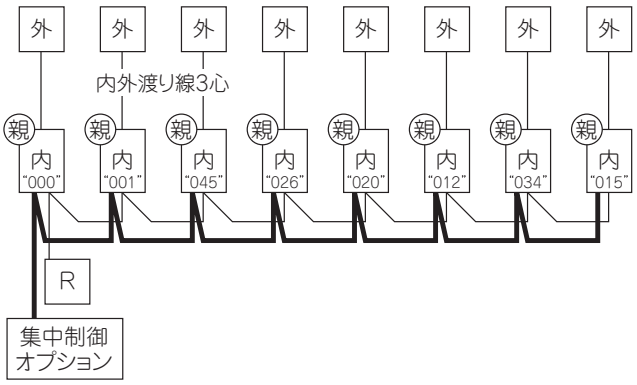
・電源 + 室内外信号線とリモコン線の並走は避けてください。
・電源 + 室内外信号線とスーパーリンク線の並走は避けてください。

プルーラル制御 複数台の混在



・ スーパーリンクは親機にのみ接続してください。
・ プルーラル接続の場合室内アドレスは、“000”～“015”から設定してください。
・ 子機の室内アドレスは親機に合わせてください。
・ リモコン 2 個接続の場合はどちらか一方のみ“親”に設定してください。<リモコン据付工事説明書参照>
※室内ユニット内 No. は室内アドレス設定例

リモコンに複数室内機接続＆スーパーリンク



・ 集中制御する全室内ユニットに信号線をつないでください。
集中制御から個別に室温設定・風量設定等が行えます。
リモコンには優先室内ユニットの情報が表示されます。
リモコンから操作した場合同一設定になります。
・ 室内アドレスは、“000”～“127”から設定してください。
※室内ユニット内 No. は室内アドレス設定例

④接続の確認要領

● A B信号線回路は DC5V ですので絶対に AC200V の配線を接続しないでください。

・ 電源投入前に信号線端子台 A-B 間の抵抗をご確認ください。
A-B 間の抵抗が 100 Ω以下の場合は、電源線を信号線端子台へ接続している可能性があります。
新スーパーリンク対応機だけが接続されている場合　**抵抗値の目安＝ 5100 ／接続台数**
旧スーパーリンク機が混在している場合　**抵抗値の目安＝ 46000 ／（(旧の接続台数 ×5）＋（新の接続台数 ×9））**
台数が多い場合は、一時的に信号線を外し、分割後の回路毎に確認してください。

⑤予備回路の接続

● A B信号線回路（DC5V）と電源線の接続を間違えますと全ての基板が焼損する場合がありますので、ご注意ください。
1. A-B 信号線に誤って 200V 電源を接続しても初めの 1 回は保護します。
2. 電源投入 15 分経過後集中制御側から室内アドレス No. が確認できない場合は、全ての信号線を確認して誤接続を修復してください。
3. 焼損（基板上の CNK1(白コネクタ) 付近にあるヒューズ※ が切れている）基板のジャンパ線 -JSL1- を切り、コネクタ CNK（白）を CNK1（白）から CNK2（黒）に差し替えてください。
※ FDTW, FDTS, FDR, FDU, FDE の場合 F1, F2　※FDT, FDTC, FDK の場合 F3, F4
4. 端子台 AB から基板までの配線に異常があれば交換してください。

⑥ 点検表示

・ 室内ユニット 基板 LED・リモコン・集中制御オプション等を確認してください。

室内ユニット 基板 LED		点検モード	エラー表示
赤	緑		
消灯	連続点滅	正常	消灯
消灯	消灯	電源不良 室内①②に電圧が無い	消灯
1 回点滅	連続点滅	室内アドレス No. 重複 室内ユニット接続台数オーバー	E 2

⑦注意事項

1. ①リモコン無（ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコン無）では使用できません。
②プルーラル機の室内アドレスは、“000”から“015”以外では使用できません。
●①②の仕様が必要な場合は、スーパーリンクアダプタ SC-ADNA の使用を検討してください。
スーパーリンクアダプタ（リモコン線接続）を使用の場合は、室内基板 CNK の接続を外してください。
2. 集中制御機器からプルーラル子機の機能設定はできません。親機のみ有効です。
子機は設定可能なワイヤードリモコンより操作してください。
3. 集中制御へのフィルタサイン出力は、親機の出力のみ有効です。
子機の情報はワイヤードリモコンより確認してください。

PGA012D415

(b) FDFZP635SA, 805SA, 1605SA

・本説明書は、集中制御オプション等を使用するためのスーパーリンクネットワーク信号線（DC5V）接続方法を記載してあります。
他の説明書と合わせてご覧ください。

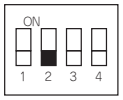
① 据付の前に

● ネットワークに接続される全ての機器が新スーパーリンク対応の場合にのみ新スーパーリンク仕様になります。
ネットワーク内に旧スーパーリンク対応機器が存在する場合は、旧スーパーリンク仕様になります。
旧スーパーリンクの場合にはディップスイッチ SW7-2（ON）に切換えてください。

通信方式		新スーパーリンク（※1）	旧スーパーリンク（※2）
ネットワーク内の接続台数	室内ユニットの台数	最大 128 台　000 ～ 127	最大 48 台　00 ～ 47
	ブルーラル機の台数	最大 16 台　000 ～ 015	最大 16 台　00 ～ 15
スーパーリンク集中制御からの距離		1000m 以内	1000m 以内
使用する配線の仕様		MVVS（シールド線）（※3）	
ネットワーク全体の信号線合計長さ	0.75mm^2	1500m 以内	1000m 以内
	1.25mm^2（※4）	1000m 以内	1000m 以内

（※1）ビル空調 3LX シリーズ，ガスヒートポンプ M8 シリーズ以降
（※2）ビル空調 2LX シリーズ，ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前
（※3）電線工業会 規格番号：JCS 4271：2003
（※4）線径 2.0mm^2 は使用しないでください。誤作動となる場合があります。

SW7-2
スーパーリンク
新旧



ON ：旧固定
OFF：自動判定

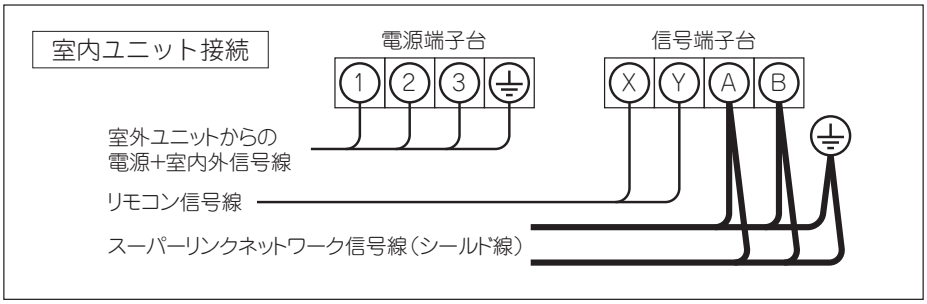
② 室内アドレスの設定

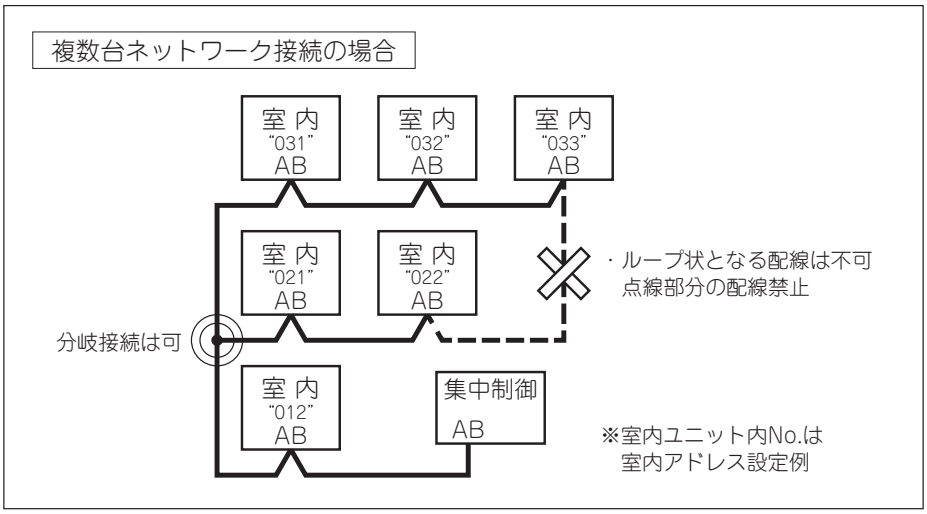
● 室内ユニットコントローラ基板のスイッチにて室内アドレス設定をしてください。
オートアドレス設定には対応していません。リモコンからのアドレス設定には対応していません。

スイッチ	SW7-3		SW1	SW2	出荷時設定
	100の位	ON ： 1 OFF： 0	10の位	1の位	“000”

・プルーラルの親子設定は　ディップスイッチ SW5 にて設定してください<電気配線工事説明書参照>。
・プルーラル機の室内アドレスは、“000”から“015”に設定してください。
・プルーラル子機は親機の室内アドレスに合わせて設定してください。

③ スーパーリンクネットワーク接続要領 <信号端子台 A B>



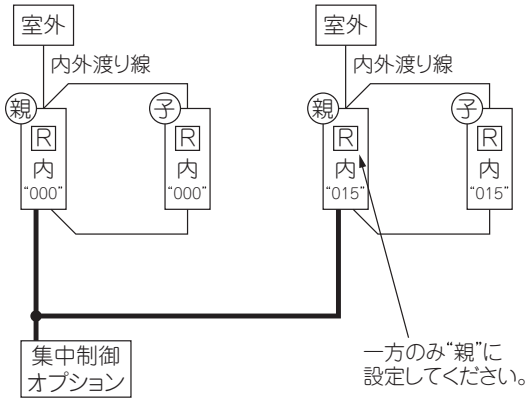


・信号端子台への接続は、M 3.5 用の圧着端子を使用してください。

・配線はシールド線を使用して両端をアースへ接続してください。
・AB 信号線には極性はありません。
AB 接続が反転しても通信します。

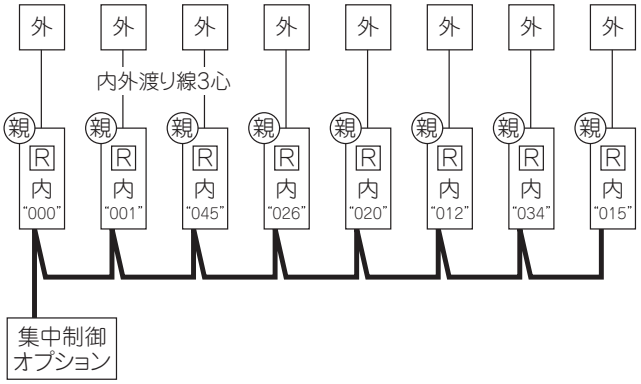
・電源 + 室内外信号線とリモコン線の並走は避けてください。
・電源 + 室内外信号線とスーパーリンク線の並走は避けてください。

プルーラル制御 複数台の混在



・ スーパーリンクは親機にのみ接続してください。
・ プルーラル接続の場合室内アドレスは、“000”～“015”から設定してください。
・ 子機の室内アドレスは親機に合わせてください。
・ リモコン 2 個接続の場合はどちらか一方のみ“親”に設定してください。<電気配線工事説明書参照>
※室内ユニット内 No. は室内アドレス設定例

スーパーリンク複数室内ユニット接続



・ 集中制御する全室内ユニットに信号線をつないでください。
集中制御から個別に室温設定・風量設定等が行えます。
リモコンには優先室内ユニットの情報が表示されます。
リモコンから操作した場合同一設定になります。
・ 室内アドレスは、“000”～“127”から設定してください。
※室内ユニット内 No. は室内アドレス設定例

④接続の確認要領

● ＡＢ信号線回路は DC5V ですので絶対に AC200V の配線を接続しないでください。

・ 電源投入前に信号線端子台 A-B 間の抵抗をご確認ください。
A-B 間の抵抗が 100 Ω以下の場合は、電源線を信号線端子台へ接続している可能性があります。
新スーパーリンク対応機だけが接続されている場合　**抵抗値の目安＝ 5100 ／接続台数**
旧スーパーリンク機が混在している場合　**抵抗値の目安＝ 46000 ／ ((旧の接続台数 ×5) ＋ (新の接続台数 ×9))**
台数が多い場合は、一時的に信号線を外し、分割後の回路毎に確認してください。

⑤予備回路の接続

● ＡＢ信号線回路（DC5V）と電源線の接続を間違えますと全ての基板が焼損する場合がありますので、ご注意ください。
1. A-B 信号線に誤って 200V 電源を接続しても初めの 1 回は保護します。
2. 電源投入 15 分経過後集中制御側から室内アドレス No. が確認できない場合は、全ての信号線を確認して誤接続を修復してください。
3. 焼損（基板上 CNK1（白）付近にある ヒューズ F1,F2 が切れている）基板のジャンパ線 -JSL1- を切り、コネクタ CNK（白）を CNK1（白）から CNK2（黒）に差し替えてください。
4. 端子台 AB から基板までの配線に異常があれば交換してください。

⑥ 点検表示

・ 室内ユニット 基板 LED・リモコン・集中制御オプション等を確認してください。

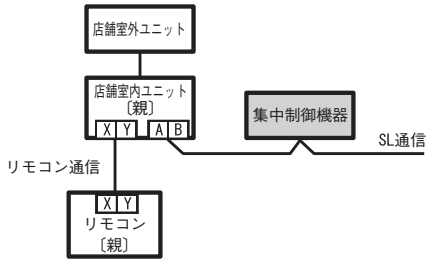
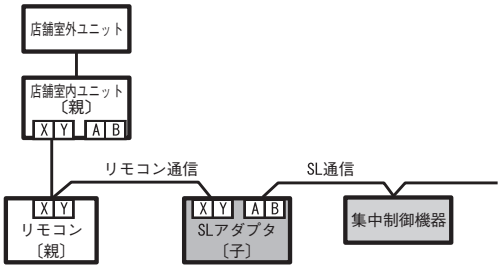
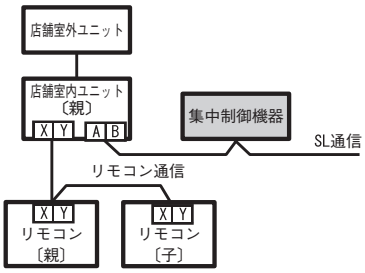
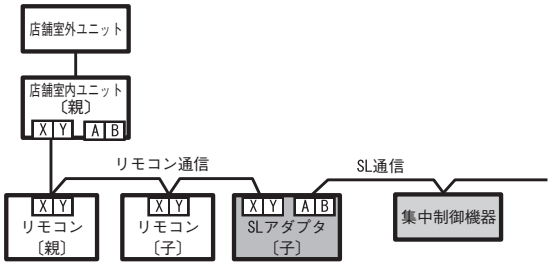
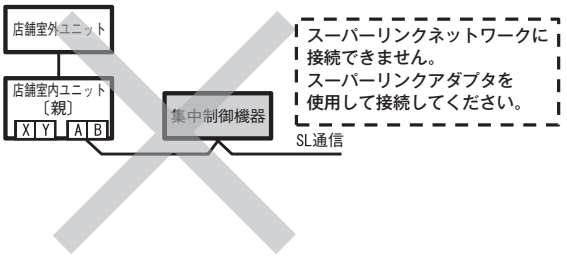
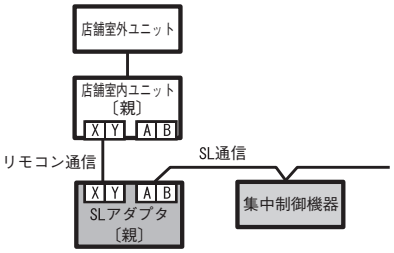
室内ユニット 基板 LED		点検モード	エラー表示
赤	緑		
消灯	連続点滅	正常	消灯
消灯	消灯	電源不良 室内①②に電圧が無い	消灯
1 回点滅	連続点滅	室内アドレス No. 重複 室内ユニット接続台数オーバー	Ｅ２

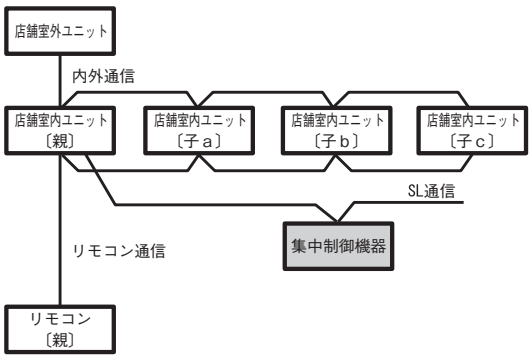
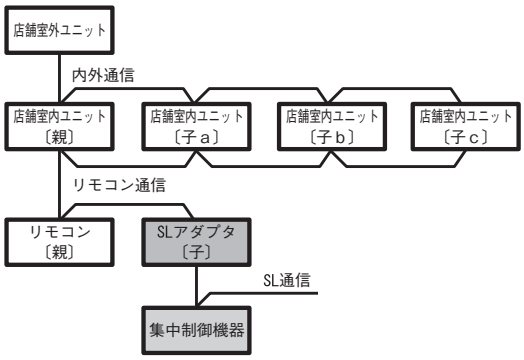
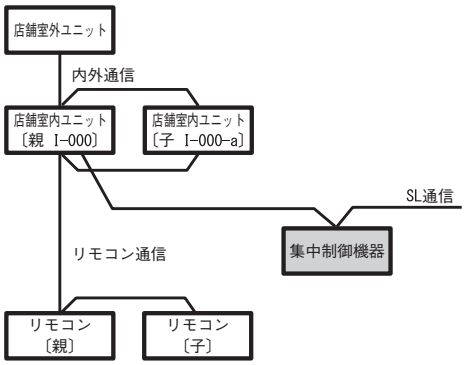
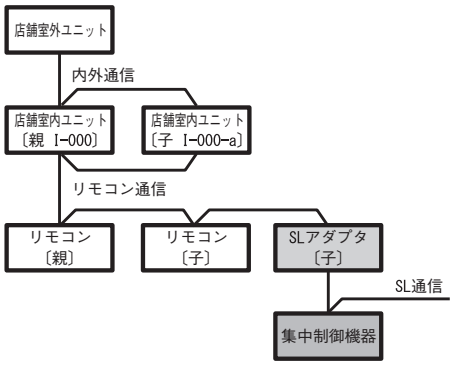
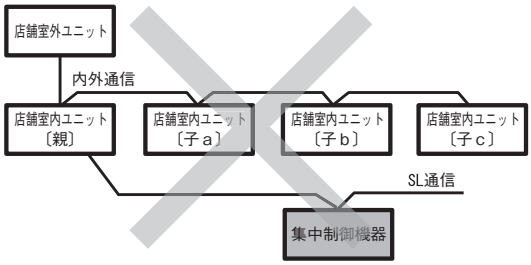
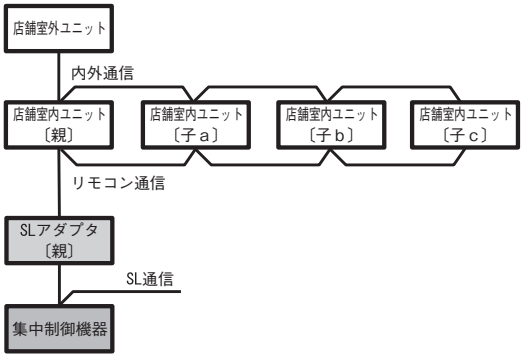
⑦注意事項

1. ①リモコン無（ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコン無）では使用できません。
②プルーラル機の室内アドレスは、“000”から“015”以外では使用できません。
●①②の仕様が必要な場合は、スーパーリンクアダプタ SC-ADNA の使用を検討してください。
スーパーリンクアダプタ（リモコン線接続）を使用の場合は、室内基板 CNK の接続を外してください。
2. 集中制御機器からプルーラル子機の機能設定はできません。親機のみ有効です。
子機は設定可能なワイヤードリモコンより操作してください。
3. 集中制御へのフィルタサイン出力は、親機の出力のみ有効です。
子機の情報はワイヤードリモコンより確認してください。

店舗機系統が１台の場合のスーパーリンクネットワーク接続例

複数台系統の場合は、据付説明書の接続要領を確認して接続してください。
リモコンを使わない場合は、下図の通りスーパーリンクアダプタ（ＳＬアダプタ）を使用してスーパーリンクネットワークに接続することができます。

		スーパーリンクアダプタを使わない場合	スーパーリンクアダプタを使う場合 ※従来の接続方法
シングル接続	１リモコン		
	複数リモコン		
	リモコン無し		

		スーパーリンクアダプタを使わない場合	スーパーリンクアダプタを使う場合 ※従来の接続方法
ブルーラル接続	1リモコン		
	複数リモコン		
	リモコン無し	 スーパーリンクネットワークに接続できません。 スーパーリンクアダプタを使用して接続してください。	

7. 耐重塩害仕様室外ユニット

(1) エクシードハイパーシリーズ

耐重塩害仕様室外ユニットを受注生産品としてシリーズ化しています。商品ご注文時，耐重塩害仕様室外ユニットとしてご注文してください。

●形式記号 （例）ＦＤＣＺ**S**Ｐ１４０５Ｈ

└――― 耐重塩害仕様

(a) 形　式

FDCZSP405HK，455HK，505HK，565HK，635HK，805HK，405H，455H，505H，565H，635H，805H，1125H，1405H，1605H

(b) 仕　様

耐重塩害仕様室外ユニットは離島・沖縄地区等の海岸線に近く直接潮風の当たらない場所に設置できる仕様ですが，設置に当っては(3)項以降に留意してください。仕様の詳細および(3)項以降については 2018・2019 冷熱ハンドブックをご覧ください。

(c) 製品質量

FDCZSP405HK，455HK，505HK，565HK，635HK の製品質量は 48kg です。（標準仕様：47kg）その他の機種は標準仕様と同じです。

(2) ハイパーインバータシリーズ

耐重塩害仕様室外ユニットを受注生産品としてシリーズ化しています。商品ご注文時，耐重塩害仕様室外ユニットとしてご注文してください。

●形式記号 （例）ＦＤＣＶ**S**Ｐ１４０５Ｈ

└――― 耐重塩害仕様

(a) 形　式

FDCVSP405HK，455HK，505HK，565HK，635HK，805HK，405H，455H，505H，565H，635H，805H，1125H，1405H，1605H，2244H，2804H

(b) 仕　様

耐重塩害仕様室外ユニットは離島・沖縄地区等の海岸線に近く直接潮風の当たらない場所に設置できる仕様ですが，設置に当っては(3)項以降に留意してください。仕様の詳細および(3)項以降については 2018・2019 冷熱ハンドブックをご覧ください。

(c) 製品質量

FDCVSP405HK，455HK，505HK，565HK，635HK の製品質量は 48kg です。（標準仕様：47kg）その他の機種は標準仕様と同じです。

三菱重工サーマルシステムズ株式会社　〒100-8332　東京都千代田区丸の内３-２-３
三菱重工冷熱株式会社　〒108-0023　東京都港区芝浦２-11-５

●製品の仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。